

スルノデハアリマセヌガ、昨年ハ非常ニ勞力ガ不足デ、朝鮮人ヲ一万八千人ダケ石炭ノ山ヘ坑夫トシテ入レテ居ル、一方ソレニモ拘ラズ昭和十五年度豫算ニ五万人ニ近イ人ヲ滿洲ヘ送出シテ居ル、一寸考ヘマスト此ノ計畫ハ、勞力ノ方面カラ見マシテ、調和ヲ得テ居ナイヤウニ考ヘル、朝鮮人ヲ一万八千人モ入レル位勞力拂底ナラバ、滿洲ヘ移民ヲ五万人モ送ル勞力ノ餘裕ガ何處ニアルカ、是等ハ單ニ勞力カラハ考ヘラレ

スデセウ、國防上ノ必要モアルダラウト思ヒマス、此ノ點ヲ拓務大臣カラ一ツ明ニシテ載キタイ、前申上ゲマシタ勞力ノ點ニ付テ、此ノ豫算デハドレ位ニ勞力ヲ見テ居ルカ、其ノ勞力ヲ更ニ賃銀トシテ、此ノ豫算ニ現ハレタ賃銀ハ、櫻内藏相ノ本會議ニ於ケル豫算ノ單價ニ付テ御答辯ニ依リマスト、一昨年ノ八月頃ノ單價ヲ以テ、豫算ノ單價トセラレト云フノデアリマスガ、勞力ノ單價ハ何年何月ノ賃銀ヲ以テ標準トセラレタノデアルカ、相當ニ此ノ豫算ハ勞力ノ含マレテ居ル部分ガ多ク、河川改修ノ如キハ大體七割見當ガ勞力費デアリマス、港灣ハ五割見當ガ勞力費デアツテ、アトガ資材デアリマス、砂防工事モ六七割ガ勞力費デアリマス、斯様ニ勞力ノ拂底ニ憚ンデ居ル今日ニ於キマシテハ、全體ノ勞力ヲドレ位ニ見積ツテ居ルカ、ソレヲ今申上ゲタ各方面ニ於テ調整致シマシテ、茲ニ勞力計畫ト云フモノガ出來タ上デナケレバ、此ノ豫算ハ組メナイ管デス、組ンデモハ實行サレナイ管デス、昨年ノ七月デアリマシタガ、私ハ或ル縣ニ行キマシテ、軍需工業ニ勞力ガ集中サレテ土木工事ガヤレナクナリ、一圓九十錢ニ見積ツテアル單價ガ二圓五十

錢出サナケレバ實行ガ出來ナイ、サウデナケレバドウシテモ人ガ集マラナイ、恐ラク昨年度豫算ニ頭ヲ出シテ居ル河川改修、砂防工事ト云フモノハ、餘程繰延バサナケレバヤリ切レナイヤウナ狀況ガ起ツテ居ルコトヲ觀察シテ參リマシタガ、此ノ點ニ付キマシテドウ云フ勞力ノ分配ヲヤツテ居ルカ、サウシテ其ノ單價ハ何ボニ見積ツテ居ルカ、何時ノ單價デアツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 勞力ノドノ位ナ數ヲ此ノ豫算ノ中ニ見積ツテアルカト云フコトニ付キマシテハ、今私明確ニ御答致シ兼ねマスノデ、後程調べテ御答致シタイと思ヒマス、勞銀ニ付テ、ドウ云フ所ニ見當ヲ付ケテ此ノ豫算ヲ組ンダカト云フ點ニ付キマシテハ、先般申上ゲマシタ通り、一般會計ニ於キマシテハ一昨年ノ七八月ヲ土臺ニ置イテ、豫算ヲ組ンデ居ルノデアリマス、尤モ特別會計ニ於キマシテハ、昨年ノ暮ニナリマシテ、今日ノ騰貴シタル所ノ勞銀、其ノ他ノ物資ノ價格ヲ相當織込ンデ作ツテアルノデアリマス、一般會計ニ組ミマシタ勞銀ノ單價モ、固ヨリ物其ノモノニ作ツテ各、違フノデアリマシテ、或ハ勞銀ノ高イモノモアリマスシ、安クテ出來上ルモノモアリ、一概デハナイノデアリマスガ、大體ニ於テ其ノ基準ヲ一昨年ニ置イタト云フコトハ事實デアリマス、今日御話ノ如ク、勞銀ノ如キハ數割、其シキニ至リマシテハ數倍ト云フ風ナ大キナ騰貴ヲ致シテ居ル、隨テ其ノ數字ニ依ツテ此ノ豫算ノ實行ガ出來ルカ否カト云フコトニ付キマシテハ、是ハ餘程考究ヲ要スル點デアリマシテ、私モ深ク之ニ注意ヲ拂ツタノデアリマス、勿論私ハ此ノ豫算

ニ織込ンデアル所ノ勞力ガ、現在ノ豫算ノ費用ニ於テ開進ヒナク是ガ進行出來ルト云フコトハ申上ゲ兼ねマスケレドモ、種々ナル豫算ノ計畫ニ對シテ、其ノ目的ニ反セザル限リ、十分デナクとも、其ノ目的ヲ達シ得ルル範圍内ニ於テ、豫算ヲ切詰メテ實行シタナラバ、實行ガ出來ルカ否カト云フコトニ付テ、考ヘテ見タノデアリマス、非常ナ大キナ豫算デアリマスガ、其ノ中デ所謂臨時軍事費ハ是ハ別問題ト致シマシテ、其ノ以外ニ於テ、一般會計ト致シマシテ、此ノ値上リは勞銀ノ騰貴等ヲ見込マナケレバナラヌ所ノ基本ノ數字ガ、ドノ位ニナルカト云フコトヲ考ヘテ見マシタ時ニ、全體ノ豫算ノ中デ、十三億二千七百萬圓位ノ見當ニ相成ルヤウニ考ヘルノデアリマス、其ノ中更ニ種々ナル變化ガナクシテ相濟ミマスル金額ガ相當ニアリマシテ、ソレ等ヲ差引キマシテ、其ノ以外ニ供給デアルトカ、或ハ恩給デアルトカ、サウ云フモノヲ引キマスト云フコト、殘ツタ金額ハ比較的少イ數字ニナルノデアリマス、其ノ數字ニ對シテ今回ノ値上リ其ノ他ヲ勘定ニ入レテ見マスト云フコト、或ル程度マデハ遺線ガ付クノデハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、是モ詳細數字ニ依ツテ研究致シテ居ルノデアリマスガ、出來得ル限リハ豫算ノ範圍内ニ於テ、豫算ノ實行ヲ致シタイ、若シ少額ノ不足デアラナラバ、豫備金ノ中カラ支出シテ之ヲ補充致シタイ、サウシテ更ニドウシテモ金額ガ足ラナイ場合ガ起ツク際ニ於キマシテハ、時々ニ考慮ヲ拂ハネバナラヌノデアリマシテ、其ノ際ニ於テ必ズ遂行シナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、適當ナル方針ニ依ツテ或ハ追加豫算ヲ

要求スルトカ、或ハ其ノ他ノ方法ニ依ツテ、此ノ遂行ノ出來ルヤウニ致サナケレバ、相成ラヌヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、勞銀ノ問題ニ付キマシテハ、一般會計ノ或ル部分ニ於キマシテハ、御話ノ通り現在ノ時價トハ相當ナ懸隔ノアルコトハ、私モ亦之ヲ認メルノデアリマシテ、隨ヒマシテ、此ノ豫算ノ實行ニ付キマシテハ、細心ノ注意ヲ拂ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○小磯國務大臣 中島君ヨリ拓務大臣ニ對スル御質問ト致シマシテハ移民政策ニ付テハ不同意ヲ唱ヘル者デハナイガ、勞力不足ヲ告ゲテ居ル今日、移民ヲ敢行スルノハ適切デナイデハナイカ、更ニ國全體カラ見テ、勞務ト云フモノヲ更ニ調整シタ立場ニ於テ、之ヲ決定スルノヲ至當トスルノチヤナイカト云フ御質問ト承リマシタ、一應至極御尤モト思ヒマス、以下御答辯申上ゲマスガ、滿洲ニ對スル、開拓民ノ送出ト云フコトハ、先刻申上ゲタ如ク、皇國日本ノ一重要ナル國策デアリマス、滿洲事變ノ發生ト云フモノガ、此處ニ今マデ資金ヲ投ジテ居ツタケレドモ、人間資源ヲ投ジテ居ラナカツタト云フ活キタ教訓デアル、假令他ニ相當ノ障礙ガアルニセヨ、之ヲ排除シテ決行セバナラヌ國策デアルト云フコトヲ物語ツテ居ルモノト確信致シマス、然ラバ勞力不足ト豫算トノ關係ハ如何デアルカ勞力不足デアルト云フノガ、一般ノ豫算デアリマス、併シ私ノ信ズル限リニ於テハ成程工業方面ノ勞力ハ相當ノ不足ヲ告ゲテ居リマス、隨テ工場所在地ノ近傍ニアリマス町村ノ方面カラモ、勞力ヲ相當多分ニ吸收セラレツツアルコトハ事實デアリマス、併シ中島君モ

一圓九十錢ニ見積ツテアル單價ガ二圓五十

錢出サナケレバ實行ガ出來ナイ、サウデナケレバドウシテモ人ガ集マラナイ、恐ラク昨年度豫算ニ頭ヲ出シテ居ル河川改修、砂防工事ト云フモノハ、餘程繰延バサナケレバヤリ切レナイヤウナ狀況ガ起ツテ居ルコトヲ觀察シテ參リマシタガ、此ノ點ニ付キマシテドウ云フ勞力ノ分配ヲヤツテ居ルカ、サウシテ其ノ單價ハ何ボニ見積ツテ居ルカ、何時ノ單價デアツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 勞力ノドノ位ナ數ヲ此ノ豫算ノ中ニ見積ツテアルカト云フコトニ付キマシテハ、今私明確ニ御答致シ兼ねマスノデ、後程調べテ御答致シタイと思ヒマス、勞銀ニ付テ、ドウ云フ所ニ見當ヲ付ケテ此ノ豫算ヲ組ンダカト云フ點ニ付キマシテハ、先般申上ゲマシタ通り、一般會計ニ於キマシテハ一昨年ノ七八月ヲ土臺ニ置イテ、豫算ヲ組ンデ居ルノデアリマス、尤モ特別會計ニ於キマシテハ、昨年ノ暮ニナリマシテ、今日ノ騰貴シタル所ノ勞銀、其ノ他ノ物資ノ價格ヲ相當織込ンデ作ツテアルノデアリマス、一般會計ニ組ミマシタ勞銀ノ單價モ、固ヨリ物其ノモノニ作ツテ各、違フノデアリマシテ、或ハ勞銀ノ高イモノモアリマスシ、安クテ出來上ルモノモアリ、一概デハナイノデアリマスガ、大體ニ於テ其ノ基準ヲ一昨年ニ置イタト云フコトハ事實デアリマス、今日御話ノ如ク、勞銀ノ如キハ數割、其シキニ至リマシテハ數倍ト云フ風ナ大キナ騰貴ヲ致シテ居ル、隨テ其ノ數字ニ依ツテ此ノ豫算ノ實行ガ出來ルカ否カト云フコトニ付キマシテハ、是ハ餘程考究ヲ要スル點デアリマシテ、私モ深ク之ニ注意ヲ拂ツタノデアリマス、勿論私ハ此ノ豫算

要求スルトカ、或ハ其ノ他ノ方法ニ依ツテ、此ノ遂行ノ出來ルヤウニ致サナケレバ、相成ラヌヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、勞銀ノ問題ニ付キマシテハ、一般會計ノ或ル部分ニ於キマシテハ、御話ノ通り現在ノ時價トハ相當ナ懸隔ノアルコトハ、私モ亦之ヲ認メルノデアリマシテ、隨ヒマシテ、此ノ豫算ノ實行ニ付キマシテハ、細心ノ注意ヲ拂ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

御意見トシテ述ベラレマシタ如ク、之ヲ全  
國のニ能ク見テ努力ヲ調整シマスルナラ  
バ、果シテ日本ニ努力ガ絶對的ニ不足デア  
ルノカ、一方ニ過剩ニシテ一方ニ不足ヲ告  
ゲテ居ルノデアアルカト云フコトハ、檢討ノ  
必要ガアルト思ヒマス、此ノ點ニ關シマシ  
テハ、中島君ノ御質問ノ中ニアツタ全國的  
ニ見テ努力ノ調整ヲ、更ニ徹底スル必要  
ガナイカト云フ御意見ニ付テハ、全幅ノ費  
意ヲ表シマス、併シ滿洲ニ送り出ス移民ノ  
關係ニ關スル限り、私ハ次ノヤウニ考ヘマ  
ス、一應ノ勞務動員計畫ト云フモノガ、國  
家ヲ確立サレテ居リマス、其ノ國家ヲ確立サ  
レテ勞務動員計畫ノ中ニ於テ、青少年義勇  
軍三万ト云フモノハ、確實ニ送出シ得ルヤ  
ウニ計上セラレテ居リマス、五万ト云フ數  
字ヲ御示シニナリマシタ、恐ラク其ノ五万  
ト云フ數字ハ、青少年義勇軍三万ノ外  
ニ、送出見込ノ集團集合農民二万二百ヲ計  
上セラレテ居ルモノト思ヒマス（中島委員  
「其ノ通り」ト呼フ）此ノ二万二百ハ御承知ノ  
如ク農林當局ニ於テ農村更生ノ必要上、言  
葉ヲ換ヘテ申上ゲマスルナラバ、現在六百  
万町歩ノ總耕地面積ニ對シテ、農家ノ戶數ガ  
約五百六十萬戸デアリマスノデ、一戸當リ平  
均一町ソコノデアリマス、其ノ一町ソコ  
ソコノ耕地面積ヲ與ヘルコトダケヲ以テ  
マシテ、農家ソレ自體ノ經濟生活ヲモツ  
ト向上セヨト云フコト其ノコトガ、無理  
デアルト云フヤウナ見地カラ、農林當局ハ  
農村ニ於ケル經濟更生ノ着眼ト致シマシテ、  
分村分合ノ計畫ヲ實行シツツアリマス、ソ  
レト順應シテ實行シツツアリマス開拓民送  
出計畫デアリマスノデ、此ノ點モ亦ソコ  
ニ無理ハナイモノト思ヒマス、更ニ青少

年義勇隊ノ三万ニ付テ、モウ一言附加ヘ  
テ御答辯申上ゲテ置キタイト思ヒマスル  
コトハ、十六歳乃至十九歳ノ青年ヲ採用  
シツツアリマスガ、年々其ノ統計ニ依ツ  
テ見ル所デハ、十六歳乃至十九歳ノ男子ハ、  
全國的ニ見テ三百數万デアリマス、三百數  
万ノ中カラ三萬人、百人ニ一人ヲ採用スル  
ト云フコトノ決シテ無理デナイコトハ、其  
ノ數字ダケヲ以テシテモ明瞭デハナイカト  
思ヒマス、又前申上ゲマスル通り、此ノ採  
用スル青少年ハ、主トシテ農家ノ子弟ヲ希  
望シマス、尤モ最近ハ大消費地タル東京及  
ビ大阪方面カラ、非常ニ多數ノ志願者ヲ輩  
出シツツアリマス、一面喜ブベキ現象ト考  
ヘマスガ、府市ヲ除イタ町村ノ數ハ、御承  
知ノ如ク約一萬二千デアリマス、ソコデ三  
萬人ノ中、其ノ四割ヲ農村カラ採用スルト  
致シマシタナラバ、各町村カラ僅ニ一名ツ  
ツデアリマス、三萬人ノ中デ八割ヲ農村カ  
ラ採用スルト致シマシテモ、各町村カラ僅  
ニ一名ツツ出シテ戴ケバ宜イト云フコトニ  
ナリマスルノデ、隨テ努力不足ヲ叫バレテ居  
ル今日、滿洲ニ移民ヲ送出スルト云フコト  
ハ、一寸考ヘルト矛盾シテ居ルヤウニ見エ  
マスルガ、國策上重要デアリ、サウシテ送  
出シ得ル所ノ實力ヲ持ツテ居ルト致シマス  
ルナラバ、ソレハドウシテモ敢行シテ行カ  
ナケレバナラスモノト信ジテ居ル譯デゴザ  
イマス、ドウカ是非左様ナ境地ニ於カレマ  
シテ、多クノ地方同胞ニ接觸ヲ持ツテ居ラ  
レマス諸君ニ於カレマシテモ、其ノ滿洲  
ニ送り出シマスル開拓民ノ問題ニ對シマシ  
テハ、出シ得ルナラバ一議ナク送出シ得ル  
ヤウニ御協力ヲ御願ヒ致シテ已ミマセス  
○中島委員 拓務大臣ノ御答辯ハ非常ニ良

イ答辯デアリマス（笑聲）簡單ニシテ要ヲ得  
マシタ、併シ其ノ觀點カラノミ見タ答辯デ  
アリマシテ、全體のノ努力ノ調整ニ付キマ  
シテハ、御承知ノ通りニ勞務動員計畫ガ出  
來テ居ル管デス、企畫院總裁ニ依リマシテ  
此ノ軍需努力、官需努力、純民需努力、  
ソレカラ割出シマシタ結果滿洲移民其ノ他  
ニ付テモ是ダケノ餘裕ガアルト云フコトノ  
説明ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマス  
○竹内（可）政府委員 勞務調整ハ勞務動員  
計畫ト致シマシテ、總動員計畫ノ相當重要  
ナ部分ヲ占メテ居リマスコトハ私カラ申上  
ゲルマデモナイコトデアリマス、隨ヒマシ  
テドウ云フ部門ニドウ云フ風ナ配當ヲシテ  
居ルカト云フ計畫ヲ今此處申上ゲマスノ  
ハ少シ適當デナイヤウニ思フノデアリマス  
ガ、何レ他ノ機會ヲ拵ヘマシテ御説明ヲ致  
シタイト思ヒマス、唯今問題ニナツテ居リ  
マスル十五年度ノ豫算ニ關係シマシテノ愚  
見ヲ申上ゲマスルナラバ實ハ十四年度ノ勞  
務動員計畫ガ其ノ設定モ少シ遲レマシタ、  
實施對策モ多少遲レマシタ關係上、一般ニ  
努力不足ノ感ヲ與ヘテ居リマスルコトハ洵  
ニ遺憾デアリマスガ、此ノ調整ヲモウ少シ  
巧クヤリマシタナラバ、餘程緩和シ得ルモ  
ノダト實ハ見當ヲ付ケテ居ルノデアリマス、  
隨ヒマシテ只今滿洲開拓移民等ノ問題ハ、  
現在ノ計畫ハ全體ノ努力需要ノ中ノ少部分  
デアリマスカラ、計畫通りニハ進行シ得ル  
モノカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中島委員 今ノ答辯ハ抽象的デアツテ、拓  
務大臣ノ答辯ヨリカ悪イ（笑聲）モウ少シ私  
共ハ具體的ノコトヲ懸キタカツタ、他ノ機  
會ニ於テ話スト言ヒマスカラ、其ノ他ノ機  
會ハ秘密會ノ意味デアアルノデアアルカ、ソレ  
カラモウ一ツハ、是位ナコトハ發表致シマ  
シテモ決シテ私ハ差支ナイト思フ、殊ニ此  
ノ物資關係ノコトト違ウテ、外國ニ響クコト  
デモナイ、是位ノコトサハ秘密主義デアツ  
テ居ツタナラバ、國務大臣ノ御答辯ノ中ニ  
モ私共ハ其ノ觀點カラ見タダケデアツテ、  
全體カラ見テ之ヲ適正デアルト云フコト  
ノ判斷ニ苦シムモノデアアル、洵ニ是ハ遺憾  
デアリマスルガ、他ノ機會ト云フコトハ秘  
密會ヲ以テスル意味デアリマスカ、又此ノ  
機會デハヤラナイ意味デアリマスカ、之ヲ  
軍需努力、官需努力、純民需努力ト云フヤ  
ウナ方面ニ分ケマシテ詳細ニ一ツ報告シテ  
戴カナケレバイケナイ  
ソレカラ藏相ニモウ一遍御申シマスル  
ガ、努力ノ關係ニ於テ、十三億ノ金ガ要ル、  
斯ウ仰シヤツタヤウニ聽キマシタガ、私ノ  
聽落シカモ知レマセス、其ノ點ニ付テハ非  
常ニ心配シテ居ルト仰セニナツタコトニ付  
テ、更ニ足ラナケレバ豫備金ヲ支出スル、  
或ハ追加豫算、斯ウ仰シヤラレマシタ、ソ  
ウスルト此ノ單價ノ問題ニ付テモ足ラナケレ  
バ非常ニ考慮スルト仰シヤラレマシタノデ  
アリマスガ、ヤハリ此ノ努力ト共ニ足ラナ  
イノデアルト私ハ考ヘル、足ラヌヤウニナ  
ツテ來タ時ニハ計畫ヲ變更スルカ、事業ノ  
繰延ヲヤルカ、實行豫算ニ於テヤルカ、色  
色シナケレバナラスト思ヒマス、追加豫算ト  
云フコトヲ言ハレマシタガ、是ハ臨時議會  
ヲ開イテ追加豫算ヲ要求スル意味デアリマ  
スルカ、此ノ議會中ニ於テソレヲ檢討シマシ  
テ、追加豫算ヲ出スト云フ考ヘデアリマスカ  
○櫻内國務大臣 誤解ヲ招キマスツイケナ  
イカラ御斷リシマスガ、先刻十三億九千万  
圓ト云フ數字ヲ申上ゲマシタノハ、此ノ總

豫算ノ中デ所謂物資ニ關係ヲ持チ、或ハ勞銀ニ關係ヲ持ツ部分ノ金ノ概略ヲ申上デマシタノデ、其ノ點ニ付キマシテハ改メテ又申上ゲル機會ガアルト思ヒマス、勞務ノ問題ニ付キマシテハ、企業院ニ於テ設ケマシタ勞務需給調整ト云フモノヲ基準トシマシテ、是ト見合ツテ大體此ノ程度ノ仕事ナラ出來ルデアラウト云フ風ニ見マシテ、此ノ豫算ヲ組ンダ譯デアリマシテ、此ノ勞務需給ノ關係ニ付キマシテハ、先刻企業院總裁ガ申シタ通り、適當ナル機會ニ於テ御話ヲ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、而シテ之ヲ實行スル上ニ於テ不足スル金額ニ付キマシテハ、豫備費ヲ使フ、豫備費ガ足ラヌ場合ニ於テハ、已ムヲ得ズ、ドウシテモ實行シナケレバナラヌ問題ニ對シテハ、追加豫算ヲ要求スル場合ガアルカモ知ラヌト云フ風ニ申上ゲマシタガ、私ハ大體ニ於テ此ノ豫算ニ於テ實行ガ出來ルト考ヘテ居リマス、併シ今尙ホ熱心ニ研究致シテ居ルノデアリマシテ、ドウシテモ此ノ點ニ付テ缺陷ガアルト云フコトヲ考ヘマシタ場合ニ於テハ、此ノ議會中ニ於テ十五年度追加豫算トシテ御要求致スヤウナコトガアルカモ知レマセヌガ、今日デハマダ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、尙ホ臨時議會ヲ開イテ之ヲ要求スル考ヲ持ツテ居ルノカト云フ話デアリマシガ、今日ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、大體ニ於テ此ノ豫算ヲ實行シテ其ノ目的ヲ達シ得ルモノト斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○中島委員 此ノ點ニ付キマシテ更ニ追究シタイ點ガアリマスルガ、時間ノ關係上先ニ進ミマス、ソレカラ資金關係ヲ勘案シテ此ノ豫算ヲ編成スルト纏ツテアリマスガ、十五年度分ノ公債計畫ガ五十七億八千二百

萬圓ニナツテ居リマス、昨年ヨリカ一億二千萬圓減ジテ居ル、サウスルト資金關係ヲ勘案シタト云フコトニナリマス、對滿投資ヲ大體ドレ位ト見テ此ノ五十七億ト云フ公債計畫ヲシタノデアアルカ、對支投資又ドレ位ト見タカ、民間ノ事業ノ生産擴充其ノ他ニ必要ナル資金ヲドレ位ト見タノデアリマス、更ニ此ノ豫算ヲ執行スルニ當ツテ、國民貯蓄ト致シマシテ、ドレ位ノモノヲ貯蓄サスト云フ考デ此ノ五十七億八千二百萬圓ト云フモノガ出テ來タノデアアルカ、此ノ五十七億八千二百萬圓ト云フ公債借租稅收入、官業收入、特別會計ヨリノ繰入、是等ノ點ヲ勘案シマシテ、五十七億ト云フモノハ十五年度内ニ一發行未済ニナリマシテ幾ラカハ十六年度ニ繰越ガアルデセウ、是ハ當然デアリマスガ、兎ニ角此ノ五十七億ト云フ數字ハドウ云フ理由ニ依ツテ之ヲ捉ヘテ來タカ、資金關係ヲ勘案シテ、ソレガ國民經濟ニ非常ニ影響ヲスルモノデアリマス、又公債消化ノ點ニ付テモ重大ナル影響ヲスルモノデアリマス、他ノ歳入トモ對照シテドウシテモ五十七億デ喰止メナケレバナラヌ、是レ以上ハイカヌ、斯ウ云フ一ツノ御考デアルノカ、唯五十七億ト云フモノハ色々ナ歳入ノ足ラヌモノヲ補ツテ行ク、ソレ以外ニ方針ハナイノデアアルカ、資金關係ヲ考慮シテ此ノ豫算ヲ編成シタト書イテアルノデアアルカ、此ノ五十七億ノ出テ來タ理由ガハツキリ之ニ浮ンデ來ナケレバ、公債計畫ノ所謂核心ガ分ラナイト云フコトニナツテ來マス、其ノ點ヲ御説明願ヒタイ

○櫻内國務大臣 公債發行ニ對シテドウ云フ計畫ノ下ニナツタカト云フ御話デアリマスガ、大體ニ於テ十四年度ヲ基準ト致シマシテ、是ト相似寄ツタ經濟界ノ狀況デ進ムモノト考ヘテヤツタノデアリマス、此ノ場合ニ於テ、或ハ銀行預金トノ見合デアルトカ、事業資金トノ見合デアルトカ、斯ウ云フ問題ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、勿論本年ハ事業資金トシテ新ニ投ゼラレタモノハ僅カ四十二億萬圓デアツタト考ヘテ居リマス、又銀行預金等ノ増加モ今一寸正確ニ記憶シテ居リマセヌガ、五十九億萬圓デハナカツタカト思フノデアリマス、郵便貯金モ亦十何億増加致シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、而シテ公債ヲ消化致シマシタ關係上、何等經濟界ニ大ナル動搖ヲ與ヘテモ居リマセヌト云フ、即チ昭和十四年度ヲ基準トシテ財界ノ總テノ發展狀況等モ考慮致シマシテ、此ノ程度ノ公債ハ發行シテモ差支ナカラウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論政府ノ特別會計ニ於テモ相當之ヲ保有スルト云フコトニ付キマシテハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、有ニル角度カラ種々調査ノ結果、此ノ程度ノ公債ナラバ差支ナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、滿洲ニ於ケル投資ノ狀況モ本年ハ直接投資シタル金額ヲ私今記憶シテ居リマセヌガ、輸出入ノ上カラ申シマスルト、實ニ九億圓内外輸出超過ニナツテ、ソレダケハ滿洲ニ向ツテ投資シタ結果ト相成ツテ居リマス、其ノ程度ハ或ハ又本年モ見ルコトガナイトハ限リマセヌト云フ、其ノ點ダケハ大體極度、其ノ程度ノモノトシテ公債消化ハ大ナル困難ナクシテ出來ルモノト斯様ニ信ジテ、之ヲ認メテ次第デアリマス

○中島委員 外ノ歳入、租稅收入デアルトカ、官業收入デアルトカ、是等ノ方面ト此ノ五十七億ト云フ公債ハドウ云フ標準ニ依ツテ按排シタノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御尋ハ租稅收入其ノ他ノ關係ト公債ノ關係ガドウデアアルカト云フ風ヲ御質問デアツタヤウニ考ヘマスガ、租稅收入ハ本年ハ非常ナ増加ヲ致スノデアリマシテ、實ニ二十五億八千九百萬圓程ノ租稅ト相成ツテ居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ只今御話シタ通り臨時軍事費並ニ一般會計ニ於テ合計五十七億萬圓餘ノ公債ヲ募集スル譯デアリマスガ、其ノ割合等ハドウナリマス、勘定スレバ直グ分リマスガ、大體サウ云フ程度デアリマス

○中島委員 私ノ考ト致シマシテハ、公債計畫ニ付キマシテハ、前年カラズツト未發行ニナツテ來タモノ、之ヲ今後發行スルモノノ割出シニ付キマシテ參考ニ致シ、更ニ對滿投資、對支投資、民間資金計畫ヲ立テ國民貯蓄ハ去年ハ百億デアリマシタガ、今年ドレ位ヤラスカ、ヤリ得ルカト云フコトヲ勘案シマシテ、適當ナル計畫ノ下ニ公債計畫ヲ立テラレルコトヲ希望シテ居リマス、ソレカラ其ノ次ハ物資ノ點デアリマス、此ノ豫算ハ勞力、資金、物資、三ツヲ考慮シテ作ツタアルカラ、此ノ三ツノ點ガ分ラナケレバ、此ノ豫算ノ編成ノ方針ノ根本ガ分ラナイト云フコトニナツテ來ル、物資即チ物動計畫ト十五年度ノ豫算トノ關係ニ付キマシテ質問致シマスルガ、藏相ハ小川君ノ質問ニ對シテ、十五年度ノ豫算ノ編成ニ當ツテ物動計畫案ト見合セタ、萬一物資ガ不足スレバ更ニ深キ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、斯ウ本會ニ於テ御答ニナツテ居リマス、ソコデ私ノ間ヒタイノハ、十五年度ノ豫算ハ十四年度ニ比シテ一般、特別會計ヲ合セテ總テノ物資ヲドレ位多ク見積

ツテ居ルノデアルカ、金額ニ付キマシテド  
レ位見積ツテ居ルノデアルカ、去年ガ九  
十五億ノ豫算デアツテ、今年ガ百三億ナラ  
バ、其ノ殖エタ八億ノ中ニハ物資ガ入ツテ  
居ルト私ハ考ヘル、是ハ臨時軍事費ト一般  
會計ダケデアリマス、其ノ他ノ特別會計ハ  
別ニシテ置キマシテ、サウシテドレ位此ノ  
物資ヲ餘計見積ツテ居ルノカ、此ノ點ニ付  
テ承リタイ

○櫻内國務大臣 物資ノ問題ニ付キマシテ  
ハ本會議デモ申シマシタ通り、物動計畫ノ  
方ノ物動計畫概案ト云フモノヲ基礎ト致シ  
マシテ、之ト見合ツテ拵ヘタノデアリマス、  
ソレカラ物資ニ付キマシテハ前年ヨリ多イ  
デアラウト云フ風ナ御話デスガ、大體ニ於  
テ前年同様デアツテ、前年ヨリハ多クナイ  
見當ニ考ヘテ居リマス

○中島委員 サウシマスト前年度豫算ニ比  
シマシテ八億増加シテ居リマスガ、是ハ事  
務當局カラ結構デアリマスガ、此ノ内譯ヲ  
伺ヒタイ、私ノ想像スル所ニ依リマス、  
此ノ八億ノ中ニハ、國債利子ノ増加モアリ  
マセウ、ソレカラ地方ニ與ヘル分與金ノ増  
加モアリマセウ、ソレカラ又警察費連帶支  
辨金ノ増加デアルトカ、徵稅費ノ増加デア  
ルトカ云フヤウナ色々ナモノガ増加シテ居  
リマスガ、ソレ等ノモノヲ私ノ目ノ子で見マ  
スルト、四億三千万圓見當ノモノガ出テ來  
ル、アトハ物資チヤナイカト思フノデアリマ  
スガ、サウデアリマスカアリマセウ、今  
申シタ物資ト然ラザルモノ、國債利子、地  
方分與金——是ハ豫算ニ依ツテ分ツテ居  
リマスガ、警察費連帶支辨金其ノ他徵稅費  
ノ増加ト云フヤウナモノガドレ位含マレテ  
居ルカ、八億増加シテ居ルノデアルト云フ

ノダカラ、其ノ増加ノ内容ガハツキリ分レ  
バ、物資ト云フモノガドレ位増加シテ居ル  
カト云フコトガ分ツテ來ルト思フノデス  
○谷口政府委員 只今ノ中島サシノ御質問  
デアリマスガ、大體ノ見當ハ仰セノ通りデ  
アリマス、内譯ヲ申上ゲマス、五十八億ノ  
豫算ノ中デ、大體ニ於キマシテ、軍部兩省  
二十三億、其ノ他文治各省等ニ於テ三十五  
億ガ大體ノ内譯デアリマス、其ノ三十五億  
ノ中デ、臨時軍事費總入六億、地方分與金二  
億七千七百萬圓、諸拂戻及ビ補填金三千百  
萬圓、國債費九億二千三百萬圓、年金及ビ  
恩給二億八千八百萬圓、只今御質問ノ中ニ  
モサウ云フ筋合ノ御話ガアツタノデアリマ  
スガ、是等ノ系統ニ於テ前年度ヨリ相當ノ  
増額ヲ見テ居ルノデアリマス、只今舉ゲマ  
シタ以外ノモノニ付キマシテハ十三億九千  
九百萬圓、ソレニ該當スル前年度ガ十二億  
七千九百萬圓デアリマスカラ、此ノ系統ニ於  
キマシテハ一億二千九百萬圓ノ増加ニナ  
ツテ居ルノデアリマス、更ニ其ノ内譯ニ付  
キマシテハ、只今御話ノ中ニモアツタノデ  
アリマスガ、皇室費ノ四百五十萬圓ハ別ト  
致シマシテ、國庫豫備金九千九百萬圓、警察費  
連帶支辨金三千八百萬圓、特別會計經費補  
充金等七千九百萬圓、小學校教員俸給分擔  
金九千二百萬圓、軍事扶助費五千二百萬圓、  
町村交付金等一千六百萬圓、其ノ他補助及  
ビ事務費、俸給、給料、手當等ノ類ヲ差引  
キマシテ政府ノ直接事業ヲ營ミマスモノノ  
關係ハ十五年度ノ豫算ニ於テハ三億圓ニ達  
セザル關係ニアルノデアリマス、只今物資  
ノコトニ付テノ御考ヲ戴イテ居ルノデアリ  
マスガ、其ノ問題ニ關聯交シマスルノハ  
只今申シマシタ約三億圓ニ滿タザル金額デ

アリマス  
○中島委員 物資ハ三億ニ滿タザル金額ガ  
増加シテ居ルト仰セラレ、藏相ハ物資ハ  
去年ト同様デアルト仰セラレ、一寸大藏  
大臣ノ御答辯ト矛盾シテ居マス  
○谷口政府委員 私ノ説明ガ甚ダ不十分デ  
アツタノデスガ、只今申シマシタ三億圓ト  
云フモノガ物資ニ關係ノアル經費デアルト  
申シタノデアリマシテ、三億圓ガ全部物資  
ヲ要スル經費デアアル、殊ニ物資動員計畫ト  
ノ來聯テ御考ヲ戴イテ居ルノデアリマスガ、  
サウ云フ重要物資ヲ要スルモノガ三億圓デ  
アルトハ申上ゲハ致サナカツタノデアリマス、  
尙ホ此ノ三億圓ト申シマスモノモ、本年度  
額デアリマシテ、前年度ト比較致シマシテ、  
先程大臣ノ仰セラレマシタ重要物資ノ使用  
量ガ前年度ト比ベテ大體ニ於テ殖エテ居  
イ見當デアルト云フコトト矛盾ヲ致スコト  
ヲ申上ゲタ積リデハナイノデアリマス

○中島委員 尙更、八億ヲ増加シテ居レバ  
八億増加シテ居ルト云フ所ニ算出ノ根據ガ  
ナケレバイヤカト思ヒマス、其ノ算出ノ  
根據ハ、今申サレマシタヤウニ、國債利子  
デアルトカ、分與金、警察費連帶支辨金、  
徵稅費、其ノ他色々ナモノヲ合計致シマシ  
テ私ガ四億三千万圓位デアラウト云フ言ツ  
タラ承認シタ、スルト之ヲ引イタ三億七千  
萬圓ハ物資デナケレバナラス、全部ガ物資  
ノ關係デアルトカナイトカ云フコトデハ是  
ハ引退レス、ソコヲハツキリシナケレバ、  
物動計畫ニモ影響スルシ、此ノ豫算全體ガ  
ドウ云フ風ニ運行サレルカト云フコトニ重  
要ナル關係ガアルノデアリマシテ、物動計  
畫ノコトヲ前提ト致シマシテハツキリシテ  
戴キタイ、物資ノ關係ガアルトカナイトカ

仰シヤラレマシタガ、アレバアル、ナケレ  
バナイ、前年ヨリ殖エテ居レバ殖エテ居ル、  
殖エテ居ラナケレバ殖エテ居ラヌ、之ヲ仰  
シヤツテ戴ケバ宜イ  
○谷口政府委員 昭和十五年度ノ豫算ノ内  
譯ヲ申上ゲマシテ、軍事費ト其ノ他トニ區  
別致シマシテ、最初ニ申上ゲマシタ二十三  
億ガ軍事費デアリマシテ……  
○中島委員 ソレハ分ツテ居リマス、殖エ  
タト云フ八億ノ内譯ヲ承レバ宜イ  
○谷口政府委員 八億圓ト仰セラレマスノ  
ハ……

○中島委員 九十五億ト百三億トノ差デス、  
ソレガ八億ニナリマス、其ノ八億殖エテ居  
ルノダカラ、ソレニ物資ガドレ位入ツテ居  
ルカト云フコトヲ聽キタイ  
○谷口政府委員 百三億ト昨年ノ九十五億  
トノ差額ハドウナツテ居ルカト云フ仰セデ  
アリマスガ、ソレハ軍事費ニ於ケル所ノ増  
加ガ第一番デアリマス、軍事費ニ於ケル所  
ノ増加ハ別ニ致シマシテ、私ノ先程カラ申  
上ゲテ居リマスノハ文治擴張ノ中ノ内譯ヲ  
申上ゲテ居ツタノデアリマス、文治擴張ノ  
昭和十五年度ノ經費ノ内譯ヲ申上ゲマシテ、  
補助費デアリマス、年金恩給デアルト  
カ、色々細カイトコトヲ申上ゲマシテ、結局  
三億圓バカリハ政府ノ直接營ミマスル事業  
ノ關係デアルト認メテ宜シイ經費デアルト  
申上ゲタノデアリマス、其ノ三億圓タルヤ  
文治擴張ダケノ經費デアリマス、而シテ其  
ノ三億圓ノ關係ニ付キマシテ、ソレガ物資  
ヲ必要トスル經費デアラカドチラデアルカ  
ト云フコトヲハツキリ言ヘト云フ仰セデア  
リマスガ、是等三億圓ニ付キマシテハ、  
物資ヲ要スル經費デアルト申上ゲテ宜シイ

○谷口政府委員 百三億ト昨年ノ九十五億  
トノ差額ハドウナツテ居ルカト云フ仰セデ  
アリマスガ、ソレハ軍事費ニ於ケル所ノ増  
加ガ第一番デアリマス、軍事費ニ於ケル所  
ノ増加ハ別ニ致シマシテ、私ノ先程カラ申  
上ゲテ居リマスノハ文治擴張ノ中ノ内譯ヲ  
申上ゲテ居ツタノデアリマス、文治擴張ノ  
昭和十五年度ノ經費ノ内譯ヲ申上ゲマシテ、  
補助費デアリマス、年金恩給デアルト  
カ、色々細カイトコトヲ申上ゲマシテ、結局  
三億圓バカリハ政府ノ直接營ミマスル事業  
ノ關係デアルト認メテ宜シイ經費デアルト  
申上ゲタノデアリマス、其ノ三億圓タルヤ  
文治擴張ダケノ經費デアリマス、而シテ其  
ノ三億圓ノ關係ニ付キマシテ、ソレガ物資  
ヲ必要トスル經費デアラカドチラデアルカ  
ト云フコトヲハツキリ言ヘト云フ仰セデア  
リマスガ、是等三億圓ニ付キマシテハ、  
物資ヲ要スル經費デアルト申上ゲテ宜シイ

ノデアリマス、ソレハ文治擴張ノ經費デア  
リマス、サウシテ其ノ三億圓ノ中ニハ各省  
ノ國費ノ如キモ入レテ居リマス、廳費ノ如  
キハ物資方要リマスケレドモ、是ハ机トカ  
筆墨類、サウ云フヤウナ物資モ入レテ置キ  
マシテ、サウ云フ意味ニ於テ物資ノ要ル經  
費デアカト云フ御尋デアリマスレバ其ノ  
三億圓ハ物資方要ル經費デア、サウ云フ  
意味デ御答申上ゲタノデアリマス

○中島委員 ハツキリ分リマシタ、スルト物  
資ガ殖エテ居ルト云フコトデア、ソレカ  
ラ蔵相ハ物動計畫ヲ勘案シテ此ノ十五年度  
ノ豫算ヲ編成サレタアリマスルカラ、物動  
計畫ノ概案ト云フモノヲ勘案セラレタト云  
フコトデアリマスカラ、概案ガアルニハ違  
ヒナイ、概案ガナクシテ此ノ豫算ガ出來ル  
答ガナイト私ハ考ヘル、サウ致シマス、  
此ノ概案ハ大體ニ於キマシテ企畫院ノ方デ  
御作リニナツタコトデアルト考ヘマスガ、企  
畫院總裁カラ概案ノ御説明ヲ願ヒタイ、勳力  
計畫デサヘ詳シクハ秘密會デナケレバ御漏  
シガ出來ヌヤウナコトヲ仰シヤラレテ居リ  
マシタカラ、私ハ此處デ細カク話セト云フノ  
デハナイ、私ガ此ノ豫算案議ニ當ツテ標準ト  
ナルベキモノニ付キマシテ、抽象的ニハ話  
シテ與レバ宜イ、前企畫院總裁モ昭和十二  
年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテハ概略此ノ  
公開ノ豫算委員合ノ席上ニ於キマシテ御話  
ガアリマシタガ、今度ノ竹内君モ此ノ事ヲ十  
分ニ前總裁ト同ジヤウナ態度ヲ持ツテ、秘密  
主義ヲ打破セラレンコトヲ希望致シマス

其ノ第一八十五年度ノ生産力ハ十四年度  
ノ實績ニ比シテ幾ラ殖エテ居ルカ、減ツ  
テ居ルカ、是ハ計畫概案ダカラ——十四  
年度ノ實績ハ分ツテ居ル答デア、ソレ

ガ殖エテ居ルカ減ツテ居ルカ、其ノ點ヲ御  
伺シタイ

○谷口政府委員 私人中島君ノ御質問ニ對  
シテ諒イヤウデ其ノ失禮デアリマスケレド  
モ、前年度ノ金額ト比較シテ三億圓ヲ増加  
スルト云フコトニ御聽取リヲ願ヘレバ申分  
ナイノデアリマスガ、其ノ説明ハ又別ノ時  
ニ申上ゲタイト考ヘマス

○竹内(可)政府委員 簡單ニ御答致シマス、  
十四年度ハ十三年度ニ比シマシテ増加スル  
見込デアリマスカラ、十五年度ハ十四年度  
ノ推定ニ比較致シマシテ、是モ増加スル見  
込デゴザイマス

○中島委員 増加スルト云フコトハ分リマ  
スガ、其ノ次ニハ「ストック」ガ十四年度ヨリ  
モ十五年度ハ減ルト見ル、此ノ「ストック」  
カラ補給サルベキ關係ハドウナツテ居ルカ、  
十四年度ノ實績ニ對シテ十五年度ノ計畫ハ  
殖エルカ減ルカ、是ダケ承リタイ

○竹内(可)政府委員 在庫品ニ期待シテ居  
ル額ハ、十五年度ニ於キマシテハ十四年度  
ニ比シ、或ル程度減ル見込デアリマス  
○中島委員 ソレカラ廢品ノ回收ニ付キマ  
シテハ増加スルノデアリマスカ、減ルノデ  
アリマスカ

○竹内(可)政府委員 廢品ノ回收モ若干減  
ルダラウト思ヒマス

○中島委員 滿支ヨリノ輸入ノ見込ハ、十四  
年度ニ比シテ十五年度ハ増加スルカ減ルカ  
○竹内(可)政府委員 滿支ニ期待シテ居ル  
額ハ、十四年度ノ實績推定ニ對シテハ、或  
ル程度増加ヲ期待シテ居リマス、尙ホ先程  
ノ御答ヲ少シ補足致シマスガ、所謂廢品回  
收、是ハ今後ノ施設如何ニ依リマシテハ、  
減リ方ハ幾ラカ少クシ得ルノデハナイカト

思ヒマス、相當程度ヲ期待シテ宜イト、斯  
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨年ノ七、八、九ト  
歐羅巴戰爭ガ起ルコトヲ見越シマシテ、世  
界各國共ニ亞米利加ノ持つテ居ル物資ノ買  
付競争ヲヤツタ、日本ハヤツタノカ、ヤラ  
ヌノカ、ソレカラヤツタトスレバ、ドレダ  
ケノ物資ヲ獲得シタノデア、ソレカラ  
此ノ物資獲得ニ要シタ資金ト云フモノハ、  
如何ナル資金ヲ以テ之ニ充當シタノデア  
カ、産金又ハ回收金ヲ使ツタノデア、  
輸出「ピル」其ノ他ノ外貨ニ代ヘルベキモノ  
ヲ使ツタノデア、其ノ獲得ノ物資ノ總  
額ト、其ノ資金ノ調達方法、之ヲ承リタイ

○竹内(可)政府委員 御承知ノ通り、今日  
ノヤウナ非常ナ國際關係ノ微妙ナ際デアリ  
マスルカラ、遺憾ナガラ只今ノ御質問ニ對  
シマシテハ「ツモ御答シ兼ネルヤウナ事情  
デアリマス

○中島委員 其ノ點ニ付キマシテハ、我黨  
ト致シマシテハ、是ハ日銀正貨準備ヲ全部  
發表シテモ宜シイ、此ノ物資ノ買付ヲ是非  
ヤツテ貫ハナケレバ、此ノ戰爭ノ目的ヲ達  
スルコトハ出來ナイト云フコトヲ、私共ハ  
政務調査會デ發表シテ居リマス、此ノ通り  
ヤルカ否カト云フコトヲ聽クノデアリマス  
ガ、御答ガ出來ヌト云フナラバ、他日秘密  
會ニ於テ答ヘテ戴カレンコトヲ希望致シマ  
ス、其ノ時ニハ輸出ヲ、十五年度ノ豫想ハ、  
十四年度ノ實績ニ比シテ如何ナル程度ニ見  
積ツタノデアリマスカ、程度ダケデモ宜シ  
ウゴザイマス

○竹内(可)政府委員 御承知ノ通り歐洲ノ  
戰爭ノ發展如何ニ依リマシテ、見透シハ頗  
ル困難デアリマス、併シ大體ノ想定ノ下ニ

考ヘテ居リマスコトハ、若干昨年九月以降  
ノ狀況等ヲ基礎ト致シマシテ、引續キ輸出  
増加ヲ期待シ得ルモノト、斯様ニ考ヘテ居  
リマス

○中島委員 輸出増加ヲ期待シ得ルト致シ  
マシタナラバ、米國貿易關係ヲドウ見タノ  
デアリマスカ、日米通商航海ノ廢棄、對日  
禁輸ノ見透シ等カラ鑑ミマシテ、米國トノ  
貿易ニ重大ナル關係ガアルノデアリマス

(委員長退席、篠原委員長代理著席)  
是ハ十四年度ニ比シテドレ位ノ程度ニ見テ  
居ルノデアリマセウカ、輸出輸入ニ付キマシ  
テ、我國ノ此ノ物動計畫ノ決定ノ上ニ於テ  
モ、産業上ノ將來ニ於テモ、豫算ノ實行ニ  
付キマシテモ、非常ニ重大ナル關係ヲ持つ  
テ居ル、八千万國民等シテ此ノ問題ニ關心  
ヲ持つテ居ルヤウナ状態デアリマス、此ノ  
點ニ付キマシテ今申シマシタ日米通商航海  
條約ノ廢棄、對日禁輸ノ此ノ見透シカラ論  
ゼスレマシテ、サウシテ貿易ヲドウ云フヤ  
ウニ見テ居ルノデア、此ノ點ヲ承ツテ  
置キタイ、ソレガ第一點、ソレカラ貿易ニ  
付キマシテハ英佛獨ノ如キ戰爭ヲシテ居ル  
國ノ日本ニ對スル貿易關係ハ、昨年ニ比シ  
テ減ジテ居ルト考ヘマスガ、是ハドウ見テ  
居ルカ、其ノ他ノ中立國ヲドウ見ラレテ居  
ルノデア、ソレカラ石炭、電力問題ガ  
昨今ノヤウナ状態デアリマシタナラバ、輸  
出ニ非常ナ影響ヲ及ボスト考ヘマスガ、此  
ノ點カラ考ヘマシテ輸出品ノ生産ニ非常ニ  
影響スルコトト思ヒマス、以上數點ニ互ツ  
テ明快、正確ナル御答辯ヲ伺ヒタイ

○竹内(可)政府委員 大體今物動ノ計畫ヲ  
立テル上ニ於キマシテ考ヘテ居リマスコ  
トハ、亞米利加ノ關係ニ於キマシテハ、非

二〇

常ナ變化ハナイモノダト云フコトヲ前提ニシテ計畫ヲ立テ積リデゴザイマス、英佛獨ニ對シマシテモ、是ハ大體品物ニ依ルモノト思フノデアリマスガ、此ノ英佛獨ニ期待出來ナイ品物ハ、他ノ國へ轉換シテ輸出ヲ圖リ得ルト思ヒマス、其ノ他ノ國ニ付キマシテハ別ニ申上ゲルコトモゴザイマセス

〔篠原委員長代理退席委員長著席〕

尙ホ石炭、電力ニ付キマシテハ、現在ノヤウナ状態ハ、十五年度ニ於キマシテハ餘程改善サレルモノト云フコトヲ前提ニシテ、物動案ヲ作ル積リデゴザイマス

○中島委員 只今ノ答辯ハ承服シ難イノデス、貿易全體ニ付テハ十四年ニ比シテ十五年ノ方ガ、輸出ガ多クナルト云フ御答デアツテ、日米間ハ變化ガナイ、日米間ハ去年ト同ジコトダト云ヘバ、輸出ハ六億四千万圓デナケレバナラス、輸入ハ十二億八千万圓デナケレバナラスト云フコトニナツテ來ル、ソレカラ英佛獨ハ品物ニ依ル、其ノ他ノ中立國ニ付テハ申上ゲルコトモナイ、石炭、電力ノ問題ハ改善サレルト思フ、斯ウ云フ答辯デハ答辯ニナツテ居ナイ、モウ少シ親切ニ真相ヲ明ニシテ貰ヒタイ、是ハ國民齊シク聽カントスル所デアリマス、私ハ數字ヲ聽イテ居ルノデアリマセス、ドウ云フヤウナ見透シデ、殖エルカ減ルカ、十四年度ト十五年度ト對照シテ居ル問題デアリマス

○竹内(可)政府委員 初メノ御質問ヲ取違ヘテ居リマシタ、是等ノ諸國カラ物資ヲ輸入スル上ニ於テドウ云フ變化ガアルカ、斯ウ云フ風ニ諒解シマシテ御答シタノデアリマス、輸出ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタ通り、相當ノ計畫ヲ立テマシタ後ニ於

テ、事情ノ變化ニ依ツテ計畫ヲ又調整シテ行ク必要ガ無論アル譯デアリマスガ、只今ノ所デハ是等ノ即チ亞米利加ニ對シマシテモ、亦英佛獨其ノ他ノ國ニ對シマシテモ、相當額ノ期待ヲ致シテ居リマス、石炭、電力ニ付キマシテモ、此ノ物動計畫ニ於キマシテモ、亦生産擴充計畫ニ於キマシテモ、重要産業ノ中デモ特ニ基礎的ノ物ニ對シマシテハ、極力所謂重點主義デ、其ノ改善ヲ圖ツテ行ク積リデゴザイマス

○中島委員 サウ云フ輸出ヲ期待シテ居ルトカ、期待シテ居ナイトカ云フコトヲ問ウテ居ルノデハナイ、亞米利加、交戰國、其ノ他ノ中立國、此ノ三ツニ分ケテ減ルカ殖エルカヲ聽イテ居ルダケデス、ソレカラ石炭、電力ノ如キ基礎的産業ニ付テハ心配ハナイヤウニ言ツテ居リマセドモ、是ハモウ今非常ナ問題ニナツテ居ツテ、是ガ輸出貿易ニ影響スルカセスカト云フコトヲ聽イテ居ル、改善サレテ行クモノト思フト云フ、ソナナ杜撰ナ考デ物動計畫ヲ立テラレマシテハ、到底此ノ豫算ハ十分ニ實行サレザイト思フ、私ハ其ノ事ヲ聽イテ居ルノデアル、要領ヲ得マセヌカラ次ニ移リマス

次ニ新産金、回收ノ金銀ハ、十四年度ニ比シテ十五年度ハ多イカ少イカ、此ノ點ヲ御尋シマス

○竹内(可)政府委員 來年度ニ於ケル金ノ産出ニ付キマシテハ、或ル程度殖エルコトヲ基礎ニ考ヘテ居リマス、回收ハ是モ今後ノ施設ニ依ルコトデアリマスガ、餘リサウ多クヲ期待シナイコトヲ前提ニシテ、物動計畫ノ案ヲ立テ積リデゴザイマス

○中島委員 金買上ガ昨年度ニ比シテ殖エルト云フコトハ私ハ大間違ヒダト思フ、勞

力モ足ラズ、物資モ足ラズ、此ノ状態デ私ハ昨年度ヨリモ買上金ハ殖エナイト考ヘル、ソレカラ回收金銀ハ減ルト云フコトガ分リマシタガ、其ノ次ニ貿易外ノ收支ハドウ考ヘテ居リマスガ、貿易外ノ收支ハ殖エルカ減ルカ、サウシテ其ノ前提ト致シマシテ、大陸ト我國トノ間ニ我方軍隊ヲ輸送シテ居ル船ハ、全部日本ノ船デヤツテ居ルモノト私ハ考ヘル、外國船ハ使ツテ居ナイト考ヘル、果シテ然ラバ貿易ニ關シマシテハ、外國船ヲ使ハナケレバ、日本ノ貿易ハサウスレバ貿易外ノ國際收支關係ハ、大體想像ガ出來マスルガ、即チ運賃等ニ於テドウ御考ニナツテ居リマスカ

ハ或ル程度殖エマシテモ、單價ノ値上リ、運賃ノ昂騰、或ハ物資ノ現實的ノ入手難ト云フモノモ、相當考慮ノ中ニ入レテ置カナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘマス

○中島委員 只今企畫院總裁カラノ御答辯ヲ基礎ト致シマシテ考ヘテ見マスルナラバ、櫻内藏相ガ豫算ノ編成ニ當ツテ參考トセラレタ物動計畫概案ナルモノニ付キマシテハ、大體ニ於キマシテ物資ノ供給力ハ十五年度ハ十四年度ニ比シテ減ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウナツテ來マスト、豫算ノ實行ニ當ツテモ非常ニ物資ノ供給力減ツテ來ル、十五年度ノ豫算ノ實行ニ付キマシテハ益々困難ナ關係ニナツテ來ル、今ノ竹内企畫院總裁ニ對スル私ノ數十點ニ互ル質問カラ考ヘマシタナラバ、サウ云フコトヲ藏相ハ御承認サレタノデアリマスカ

○竹内(可)政府委員 貿易外ノ收支勘定ニ付キマシテモ、努力スベキコトハ色々アルト思ヒマスガ、大體ニ於テ餘リ樂觀ヲ許シテハイケナイ狀況ニ在ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○中島委員 ソレカラ在外日本人ノ送金等ハ殖エルカ減ルカ伺ヒタイ

○竹内(可)政府委員 是ハ貿易外收支ノ内譯ニナルノデゴザイマスガ、只今貿易外收支ノ内譯ニ入りマシテ此處デ申上ゲマスコトハ、差控ヘタイト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、出來ルダケ他ノ適當ナ機會ニ於テ御説明申上ゲルコトニシタイト思ヒマス

○中島委員 最後ニ輸入ノ見込ハドウナツテ居リマスガ、是ハ世界的ノ物價高ノ爲ニ金額ハ増加シマスケレドモ、物資自體ハ減ツテ來ルノデアリナイカト云フコトヲ私ハ心配スルノデスガ、其ノ見込ハドウデスカ

○竹内(可)政府委員 御話ノ通り輸出金額

ハ或ル程度殖エマシテモ、單價ノ値上リ、運賃ノ昂騰、或ハ物資ノ現實的ノ入手難ト云フモノモ、相當考慮ノ中ニ入レテ置カナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘマス

○中島委員 只今企畫院總裁カラノ御答辯ヲ基礎ト致シマシテ考ヘテ見マスルナラバ、櫻内藏相ガ豫算ノ編成ニ當ツテ參考トセラレタ物動計畫概案ナルモノニ付キマシテハ、大體ニ於キマシテ物資ノ供給力ハ十五年度ハ十四年度ニ比シテ減ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウナツテ來マスト、豫算ノ實行ニ當ツテモ非常ニ物資ノ供給力減ツテ來ル、十五年度ノ豫算ノ實行ニ付キマシテハ益々困難ナ關係ニナツテ來ル、今ノ竹内企畫院總裁ニ對スル私ノ數十點ニ互ル質問カラ考ヘマシタナラバ、サウ云フコトヲ藏相ハ御承認サレタノデアリマスカ

○櫻内國務大臣 企畫院總裁ノ話ノ中デ、所謂生産擴充ノ點ニ付キマシテハ増加ヲ認メテ居ルノデアリマス、其ノ以外ノ輸入ノ關係其ノ他ニ對シマシテ物資ノ減少ヲ來スト考ヘマスガ、大體ニ於テハ現在此ノ豫算ノ上ニ要シマスル所ノ物資ト云フモノハ、今企畫院總裁ノ話シマシタ豫算ノ概算ヲ或ル機會ニ於テ企畫院總裁カラ御説明申上ゲルト思ヒマスケレドモ、私ハソレガ大ナル減少ヲ來シテ居ルトハ考ヘナイノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ此ノ豫算ノ實行ノ上ニ於テ、非常ナル困難ヲ來サウナコトハナイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○三土委員長 一寸此ノ際御話リシテ置キマスガ、此ノ昭和十五年度ノ豫算ヲ案議スルニ當ツテ、オ五ニ吾々委員トシテ最モ聽カント欲スル所ハ物ノ關係デアルト思フノデス、ソレカラソレニ關係シテ國際貨借ノ

關係、ソレニ依ツテ此ノ計畫通り行クカ行カスカト云フコトガ重點デアツテ、今中島君方質問サレテ居ルノデス、此ノ中ニハ物動計畫ニ付キマシテハ政府モ秘密ノ點ハ言ヘヌコトガアラウト思ヒマス、併シナガラ吾々トシテハ出來ルダケ御聴シナケレバナラスコトダト思ヒマス、故ニ或ル特別ノ時開ヲ決メテ、機會ヲ作ツテ、政府ニソレマデニ準備シテ貰ツテ、出來ルダケ吾々ノ満足スルヤウニ説明シテ貰フ、斯ウ云フコトニシタラドウデスカ

(賛成)ト呼フ者アリ

○三土委員長 ソレデハ政府ニ於テモ其ノ御積リデーツ御考慮ヲ願ヒマス

○中島委員 委員長ノ仰シヤラレマシタヤウニスルトシマスナラバ、此ノ物動計畫概案ナルモノノ秘密會ハ、早イ機會ニ於テヤツテ戴カナケレバナラス、之ヲ豫算審議期間方過ギテカラヤツテ見タ所デ何ニモナラス、其ノ點能ク政府ニ御報告セラレンコトヲ希望致シマス

○三土委員長 成ベク早イ機會ニ於テヤラレタ方ガアトノ質問等モアリマスカラ宜カラウト思ヒマス、其ノ御積リデ御準備ヲ願ヒマス——ソレデハ各省トノ打合せ等ヲ要スル準備ガアリマスカラ、明日午後政府ノ希望通りニ物動計畫ヲ中心トスル秘密會ヲ開クコトニ致シマス

○中島委員 ソレデハ明日ノ午後物動計畫ノ概案ノ説明ヲ伺フト致シマスナラバ、此ノ點ニ付テ私ハ二三質問ノ點ガアリマスケレドモ、ソレハ今日ハ省キマス、竹内企畫院總裁カラノ今マデノ私ノ質問ニ對スル御答辯ニ依リマス、相當ニ去年ヨリ物動計畫ガ窮屈ニナツテ來ルヤウナ感ジモ與ヘ

ラレル、隨テ軍需及ビ輸出生産力擴充用官需等ノ物資ガ、民需ヲ非常ニ壓迫シテ來ルノチヤナイカト云フヤウナ結論ヲ得ラレマシタノデアリマス、ソレハ尙ホ其ノ詳細シイ案ヲ見テカラモウ一遍御質問致シマシテ、只今ハ保留シテ置キマス

ソレカラ其ノ次ニ蔵相ハ、實行豫算ハ小川君ノ本會議ノ質問ニ對シマシテ編成シナイ、斯ウ仰シヤラレタノデアリマスガ、何故實行豫算ヲ編成シナイノデアリマセウカ、昭和十二年度、昭和十三年度共ニ其ノ内閣ハ自分ノ作ツタ豫算ヲモ實行豫算ト云フモノヲ作ツタ、況ヤ現内閣ハ檢討サレマシタノデセウケレドモ、是ハ短時日デアアル、故ニ前内閣ノ作ツタ豫算ヲ實行豫算ナシテハ、ヤツテ行ケルベキモノデアイト私ハ考ヘル、其ノ物ト見合セテ豫算ヲ執行シテ行ク時ニ當ツテ節約シテ行クト云フケレドモ、是ハ中々容易ニヤレルモノチヤナイ、各省ハ一旦取ツタ豫算ハ中々難シハシナイ、實行豫算ニ於テ血ノ出ルヤウナ協議ヲ致シマシテ新ニ作ラナケレバ本當ノ豫算ガ出來ナイ、私共ノ貧弱ナル經驗カラ致シマシテモ左様ニ推斷サレマス、サウシテ此ノ非常時局ニナツテ以來、林内閣ハ大體豫算ニ付テハ廣田内閣案ヲ襲踏致シ、平沼内閣ハ近衛案ヲ襲踏致シ、米内閣ハ阿部案ヲ襲踏致シ、僅ニ賀屋藏相ガ近衛内閣ノ時ニ於テ一回ダケ自分デ作ツタ豫算ヲ執行シテ居ルノデアリマシテ、其ノ豫算サヘ賀屋藏相ハ實行豫算ヲ作ツテ二億數千万圓ダケ節約シテ居ルノデアリマス、林内閣、廣田内閣カラ今日ニ至リマスマデ、タツタ一ツノ例外ヲ除ケテ、アトハ全部前内閣ノ豫算ヲ襲踏シテ來タヤウナ形ニナツテ、其ノ度毎ニ實

行豫算ヲ作ツテ來テ居ル、豫算カラ政變ヲ眺メマスナラバ、政變チヤナクシテ、一種ノ内閣改造ト云ウテ宜イ、首相及ビ閣僚ガ迭ツタニ過ギナイ、是デハ國務ノ進展ガ妨ゲラレル、幸ニシテ此ノ内閣ハ新任匈々デ、時間ガナカウツタノデアリマスルカラ、是ハ已ムヲ得ナイノデアリマセウケレドモ、是非實行豫算ヲ御作リニナラレタラドウデアリマスガ、作ラヌト展、本會議ニ於テ仰シヤラレマシタカラ、此ノ點ニ付テナゼ作ラスカ、作ラナクチキハヤレナイ、サウシテ蔵相ノ今マデノ御答辯ニ依ルト努力カラ言ヒマシテモ物資カラ言ヒマシテモ、實行豫算ヲ作ラナケレバナラスト云フ結論ニナツテ來マス、其ノ點ニ付キマシテ蔵相ノ明快ナル御答辯ヲ戴キマス

○櫻内國務大臣 只今ノ實行豫算ノ問題ニ對シマシテハ、本會議ニ於テモ私ハ度々答辯シテ居リマス、即チ只今ノ所デハ實行豫算ヲ作ル考ハ持チマセヌ、併シナガラ豫算ノ實行ニ當リマシテハ、十分慎重ナル注意ヲ致シマシテ、物トモ見合ツテ、能ク考究致シマシテ遺憾ナキヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、今ノ中島君ノ御質問ニ對シマシテモ、今日只今ノ場合ニ於テハ、私實行豫算ヲ作ル考ヲ持ツテ居ナイ、斯ウ申上ゲテ置キマス

○中島委員 只今ノ所ハ作ラヌノデアアルガ、先ニナツタラ作ルカモ知レス、斯ウ解釋シテ置キマス

ソレカラ其ノ次ニ第二ノ問題ニ移リマス、是ハ臨時軍事費ノ問題デアリマスカラ、陸海軍大臣及ビ大藏大臣、其ノ他事務當局、誰デモ宜シウゴザイマスカラ御答願ヒタイト思ヒマス、私ハ細カク入ツテ此ノ點ニ付

テ御伺ヲシテ見タイト考ヘル、臨時軍事費ハ四十四億六千万圓デアリマシテ、陸軍臨時軍事費ガ二十九億七千万圓、海軍ガ七億三千七百万圓ニナリマシテ、ソレカラ豫備費ト云フモノガ七億五千万圓取ツテアル、サウシテ十五年度ト十四年度トノ臨時軍事費ノ本費ヲ比較シテ見マスルト、陸軍ニ於テハ一億七千万圓減ツテ海軍ニ於テモ七千五百万圓減ツテ居リマス、合計二億四千五百万圓ダケ臨時軍事費ノ内ノ本費ハ減ツテ居リマスガ、豫備費ニ於キマシテハ十四年度ト十五年度トヲ比較シテ見マスルト、六億五千万圓デアリマシテ、一億万圓増加シテ居ル、此ノ豫備費一億ノ増加ハドウ云フ理由ノ爲ニ増加シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺シマス

○櫻内國務大臣 只今ノ七億五千万圓ノ問題デアリマスガ、ソレハ事態ノ關係ヨリ種種ナル方面カラ考ヘマシテ、豫備費ヲ多ク取ツテ置クコトガ必要ト看做サレルノデアリマシテ、兩相ノ申出ヲ適當ト認メマシテ、其ノ通りニ致シタノデアリマス

○三土委員長 中島君マダアリマセウネ

○中島委員 マダアリマス

○三土委員長 政府ノ方デ正午ニ參議ノ會ガアルノデ總理大臣ハ無論出席サレンケレバナラス、ソレデスカラココデ一遍休憩シテ、一時カラ引續イテヤルコトニシタラドウデスカ

○中島委員 一寸今ノ點ハ總理大臣ニ付テハ質問アリマセスカラ、陸海軍大臣ニ御伺ヒスレバ宜シイノデス

○三土委員長 參議ノ會議デスカラ、總理大臣モ陸海軍大臣モ行カレルノデス

○中島委員 ソレデハ……

○三土委員長 ソレカラ此ノ議會ハ政變ノ爲ニ非常ニ會期ガ短クナリマシテ、法規ニ依ツテ延バスト云フコトモ餘程困難ニナツテ來ハセヌカト思ヒマスカラ、成ベク三週間ニ審議シテシマヒタイ、而シテ各委員ノ御質問ナドハ出來ルダケ多ク御質問ヲスル機會ヲ與ヘタイト思フ、ソレニハ餘程午前午後トモ開會ノ時分ニハ時間正シクヤラナケレバナラスト思ヒマスノデ、私ハモウ此處デ諸君ニ申シタ時間、即チ午前十時ナラバ午前十時ニハ必ズ委員長ノ席ニ、ドンナコトガアツテモ著イテ居リマスカラ、ソレカラ午後一時ト言ツタラ一時ニ必ズ著イテ居リマスカラシテ、其ノ積リテ出來ルダケ五分デモ十分デモ成ベク勉強シテ早ク集ツテ載キタイ、政府ニ於テモ其ノオ積リテ、大臣方モ御忙ガシイデセウガ、コツチガ捕ツタラ直グ申シマスカラ、待機ノ姿勢デ居ツテ貴ヒタイト思ヒマス、是デ休憩致シマシテ午後一時ニ開會致シマス

○三土委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ、質疑ヲ繼續致シマス——中島彌團次君

○中島委員 豫備費ノ増加シタ問題ニ付キマシテ、陸海軍大臣ニ御尋致シマス、ドウ云フ譯デ臨時軍事費ニ對シマシテ、豫備費ヲ増加シテアルノデアリマセウカ、是ハ陸軍ノ爲デアルカ、海軍ノ爲デアルカ、其ノ點ニ付テ御伺致シマス

○烟國務大臣 私カラ御答致シマス、目下作戰ノ進行中デアリマスルカラ、イツ何時ドンナ突發事件ガ起ラストモ限リマセヌ、

午後一時十七分開議

○中島委員 事務當局ニ尋ネマスガ、本費

○中島委員 事務當局ニ尋ネマスガ、本費增加セズシテ、豫備費デ何故ニ増加シタデアリマセウカ、御承知ノ通り憲法第六十九條ハ、避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生ジタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシトアリマス、詰リ謂ハバ不測ノ場合ニ豫備費ヲ使フノデアル、豫算編成當時ニ想像サレテ居ナイ豫算外ニ生ジタル必要ノ場合ノ爲ニ豫備費ヲ設ケテアルト私ハ考ヘル、サウ云フコトハ一億圓モノ金方豫算ニ想像サレルトスレバ、何故ニ本費ニ於テ要求シナイノカ、是ガ私共ニハ分ラナイ、本費ノ方ハ陸海軍合セテ二億四千五百萬圓減ツテ居ルノニ、豫備費ノ方ニ持ツテ來テ一億圓増加シテ居ル、其ノ内譯等ハ大藏省ニ委スト、只今陸相ノ御答辯デアリマシタガ、何故ニ斯ウ云フヤウナ豫算ノ編成方針ニシタノカ、私共ニハ分ラナイ、其ノ點ヲ説明シテ載キタイ

○谷口政府委員 臨時軍事費ノ本費ノ御尋デアリマスガ、是ハ只今御話ノヤウニ、陸軍費、海軍費兩方ニ於キマシテ二億四千五百萬圓減額ニナツテ居リマシテ、豫備費ガ一億圓殖エテ居ルノデアリマスガ、豫備費ヲ増額致シマシタ理由ハ、前年來ニ於キマスル豫備費ノ支出ノ狀況等ニ鑑ミマシテ、又萬一ノ場合ニ備ヘマシテ、本費トシテハ事變ノ推移ニ伴ヒマシテ、前年ヨリモ二億四

千五百萬圓減額ノ程度デ適當ト認メタノデアリマスガ、豫備費ト致シマシテハ前年ノ狀況ヲ見マス、當初本費ノ豫定シテ居リマセヌモノヲ、相當支出シナケレバナラナイ事情モアリマス、且ツ萬一ノ場合ニ備ヘマシテ、此ノヤウニ増額シテ置クノヲ適當ト考ヘタ次第デアリマス

○中島委員 サウスルト十四年度ノ豫備費ハ使用済デアリマスカ、使用済ナレバ何月頃ニ使用シテシマツタノデアリマスカ、陸海軍ノ臨時軍事費ノ豫算ニ付テ載キタイ

○谷口政府委員 第七十四回議會ノ時ニ協賛ヲ得マシタ豫備費ハ、大體若干ノ殘額ヲ殘シマシテ支出済デアリマシテ、其ノ支出致シマシタノハ本年一月ニ入ツテカラデアリマス、支出済ト云フコトハ少シ訂正ヲ要スルノデアリマスガ、支出スルコトニ勅裁濟デアリマス

○中島委員 昨年ノ主計局長ノ答辯デハ、臨時軍事費ト云フモノハ、二月カラ一月マデガ豫算期間デアアル、サウ云フ答辯デアリマシタ、ソレデ此ノ豫備費ヲ一月ニ使ツテシマツテアルノダ、サウスルト昨年度ハ豫備費モ合セマシテ全部使ツテシマツタコトニナルガ、今年ハ昨年ニ比ベテ、作戰用兵ノ關係ニ於テハ、昨年程ノコトハナイ、又本費ニ於テ陸海軍合セテ二億四千五百萬圓減額ノニ、豫備費ニ持ツテ行ツテ殖ヤスト云フ理由ガ分ラナイ、本費ノ減リ方モ、海軍ガ七千五百萬圓減ツテ、陸軍ガ一億七千萬圓シカ減ツテ居ナイ、一昨年ハ非常ナ大キナ戰闘ガアリマシタガ、昨年ハ大シタ戰闘ハアリマセヌ、今年ニ於キマシテハドウ云フ譯デ本費ノ減少方ガ少イノカ、陸海共ニ五分ニモ足ラヌヤウナ減少ノ仕方デア

ル、殊ニ海軍ニ於テハ左程ニ殖ス必要ハナイト思フ、ソレニ拘ラズ海軍ニハ豫算外國庫ノ負擔トナリマスル契約ノ件ニ付キマシテ、豫算書ヲ見マスルト七千萬圓殖エテ居ル、本費ニ於テ七千五百萬圓減シテ、豫算外國庫負擔トナルノ契約ノ件ニ付テ、何故ニ七千萬圓ヲ殖シタノデアアルカ、ソレガ私共ニハ分ラナイ、ソレカラ豫算外國庫ノ負擔ノ契約トナリマス件ニ付キマシテハ、十四年度ニ於テハ使用シテ居ルカ否ヤ、此ノ點モ聽キタイノデアリマス、此ノ豫算外國庫ノ負擔トナル件ハ、十四年度ニ於キマシテ陸軍五億、海軍二億、合計デ七億ト云フ數字ガ、初メテ現ハレテ來タノデアリマス、之ヲ昨年ハ使用シテ居ルカ否ヤ、使用シテ居ナイトスレバ、何故ニ本年ニ於テ海軍ニ限ツテ七千萬圓ノ金ヲ殖シタカ否ヤ、サウカト思ヘバ片方ニ於テ、本費ニ於テ七千五百萬圓ケケ減シテアル、此ノ立テ方ノ理由ガ私共ニハ分ラナイ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ件デアリマシテモ、豫備費デアリマシテモ、是ハ足ラヌ時ノ萬一ノ場合ヲ想像シタモノデアアル、而モ此ノ臨時軍事費ト云フ組ミ方ガ起ツテ來タノハ、十四年度カラデアツテ、十二年度、十三年度ニハ是ガナイ、十五年度ニナツテハ本費デ要求スベキガ、豫算ノ精神カラ考ヘマシテモ當然デアアル、兎ニ角臨時軍事費ト云フモノハ款項ダケ分ツテ、目節ハ分ラナイ、吾々ガ審議スルニ付キマシテハ非常ニ不便ナモノデアリマス、是ハ作戰計畫上ノ理由モアリマセウ、ケレドモ、豫算ノ立テ方其ノモノガ、本費デ要求スベキモノヲ、豫備費デ取ツテ見タリ、或ハ豫算外國庫負擔ノ契約ニ付ケテ見タリシテ居ル、是ハ本費デ要求スルノ



ガ豫算ノ精神ニ副フ所以デアル、大藏當局及陸海軍大臣ヨリ、此ノ點ニ付キマシテノ明快ナル御答辯ヲ戴キタイノデアリマス

○谷口政府委員 大藏大臣ノ御答ニナリマス前ニ事務ノ方ニ關係致シマシタコトヲ御答致シマス、先程御質問ノ中ニ、臨時軍事費ノ豫算外契約ヲ、昨年ハ陸軍五億圓、海軍二億圓ノ御協賛ヲ得タノデアリマスルガ、其ノ豫算外契約ノ件ニ基キマシテ、只今マデニ其ノ契約權ヲ行使シタカドウカト云フ御質問デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、陸軍ニ於キマシテモ、海軍ニ於キマシテモ、只今マデノ所其ノ契約權ニ基キ、契約權ヲ行使シテ契約ヲシタコトガナイノデアリマス、ナクシテ只今マデ經過シテ參ツタノデアリマス、然ルニモ拘リマセズ海軍ニ於テ、今回二億圓ヲ二億七千万圓ニ改メルト云フコトニ、協賛ヲ仰グコトニナツテ居リマスルノハ、兵器ノ複雑化致シマシタコト、又國際情勢ノ推移等ニ依リマシテ、兵器其ノ他ノ製造調達方、相當長時日ヲ要スルモノガ多クナリマシタノニ依リマシテ、萬一ノ場合ニ備ヘマシテ、此ノ額ヲ七千万圓ダケ増加シテ置キタイ、斯ウ云フ次第デアリマス、ソレカラ本費ト豫算費トノ關係デアリマスガ、本費ノ方ハ事變ノ關係ニ基キマシテ、前年程ハ必要ガナイト云フコトノ見込方立ツタノデアリマスガ、前年ニ於キマシテ六億五千万圓ノ豫備費方、相當思ハザル方面ニ支障ヲ生ジタヤウナ事情ガアリマシタ、サウ云フ事情等ヲ考ヘマシテ、本費トシテハ計上スル必要ガアリマセヌケレドモ、豫備費トシテ萬一ノ場合ニ備ヘルト云フコトガ必要デアルト云フノデ、今回ノヤウナ計上ノ致シ方ヲ致シマシタノデア

リマス ○吉田(善)國務大臣 豫備費ノ件ニ付キマシテハ、先程陸軍大臣カラ述ベラレタ通りデアリマス、所謂豫備費デアリマシテ臨時必要ナ作戦ガアルカモ知レナイト云フ點カラ計上シタモノデアアルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、尙ホ臨時軍事費豫算外國庫ノ負擔ノ契約ヲ爲スヲ要スル額七千万圓ト云フ理由ニ付キマシテハ、只今ノヤウナ内外ノ情勢デゴザイマスカラ、重要物資ニシテ入手ニ長イ期間ヲ要スルヤウナモノガアリマス、サウ云フ方ハ大分増加致シマシタノデ、是等ハ此ノ際見積リノ豫想金額ヲ計上シテ置クコトガ必要ダト考ヘマシテ、斯様ナ額ヲ計上シタ次第デアリマス

○中島委員 御二方ノ御答辯トモ要領ヲ得マセズ、其ノ得ナイ理由ハ、豫備費ハ萬一不足ノ場合ニ之ヲ使フノダ、サウスルト一億圓ノ金デアリマスルカラ、相當大キナ物資ダト思ヒマス、ソレナラ本費ノ中ニ何故ニ要求シナイカ、其ノ點私ニハ分ラナイ、本費ノ中デ要求スベキガ當然デアアルガ、是ハ海軍ノ爲カ、陸軍ノ爲カ、ソレヲ一ツ説明シテ戴キタイ、豫備費デ要求シテ居ルトスルナラバ、無論是ハ物動計畫外ダト思ヒマスルガ、物動計畫外ニ於テ一億圓ノモノガ本年度昭和十四年度ニ比シテ必要ニナツテ來タトシマスルナラバ、ドウヤツテ調達スルノデアリマスカ、物動計畫外ノ物資デアレバ、ヤハリ民需ヲ壓迫シテ之ヲ喰ツテ行クノデアアルカ、ヤハリ外國カラ購入シテ行クノデアアルカ、ソレ等ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○谷口政府委員 豫備費ノ中デ、本年増額ニナツテ居リマスル一億圓ト、ソレカラ物

資動員計畫ニアル重要物資トノ關係ニ付テノ御答デアリマスガ、此ノ豫備費ニ計上シテアリマス物資ニ付キマシテハ、前年ヨリ増加致シテ居リマスル一億圓ハ勿論ノコト、其ノ他ニ付キマシテモ、此ノ物資動員計畫ニ基ク物資ノ供給力トハ、能ク見究メテ付ケケ上デ、支出スルコトニナルモノヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ豫備費ハ陸軍ダケノモノデアアルカ、海軍ダケノモノデアアルカト云フ御答モアツタヤウデアリマスルガ、是ハ陸軍ニ必要ヲ生ジマシタ場合ニハ、陸軍ノ方ニ支出スル、海軍ニ必要ヲ生ジマシタ場合ニ於キマシテハ、海軍ノ方ニ支出スルコトニナルト思フノデアリマス

○中島委員 サウスルト物動計畫ノ中ニ入ツテ居ルト云フノデスカ ○谷口政府委員 豫備費ノ中ニ計上サレテ居ルモノニ付キマシテハ、今後物資動員計畫トノ見究メヲ付ケルコトガ、將來ニ殘サレテ居ル部分モアリマス、本費ニ計上シテ居リマスモノニ付テハ、物資動員計畫ニ付キ照應ヲ致シタノデアリマスガ、豫備費ノ中ニハ將來物資動員計畫ニ基キマシテ、供給ノ見究メノ付キマシタ場合ニ支出スル、必ズシモ當初カラ物資動員計畫トノ見究メヲ付ケテ居ラナイ部分モアルノデアリマ

○中島委員 今ノ答辯ハハツキリ致シマセヌ、豫算外國庫負擔トナルベキ件ノ十四年度ニ於テ使用済デナイト、斯ウ仰シヤラレタ、サウシテ海軍ノ方デハ七千万圓ダケ増加シテ居ル、此ノ理由ガ、是ニ御説明下サイマシタケレドモ、此ノ豫算書ヲ見テミマスト、此ノ中ニハ兵器、糧秣其ノ他ノモノ

ヲ必要トスル額、斯ウ書イテアルカラ、是ハヤハリ豫算ノ中ニアルヤウニ、兵器ト云フモノガ必要デアツテ、七千万圓ガ臨時豫算外國庫負擔トナルベキ契約ノ件デ、計上サレテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、十四年度ノ二億圓ハ殘ツテ居ル、其ノ上ハ持つテ行ツテ又七千万圓ダケ増加スル、十四年度ノ二億圓ハ使ツテ居ナイ、マダ七千万圓要ル、二億七千万圓ト云フモノヲ、十五年度ニ於テハ、兵器、糧秣其ノ他ノ物資デスカ、ソレニ使フト云フ考ヲ以テオヤリニナツテ居ル、十四年度ハ使ツテ居ナイト云フコトハ、谷口主計局長ノ説明デ明カデアル、十五年度ニ於テ又之ヲ使フ、皆使ツテシマフ、サウ云フ御考デスカ、二億圓ガ殘ツテ居ルノニ、七千万圓此處デ何故積ヤスカ、兵器ト書イテアル、物資ダカラ本費デ何故要求セスカ、本費デ要求スルノガ豫算ノ形式ニ適フノデハナイカスウ考ヘル ○武井政府委員 十四年度ノ國庫負擔ノ契約ヲ爲スベキ金額ハ、先程主計局長ノ言ハレマシタ通りニ、今日マデノ所ハ實行ノ運ビニ至ル必要ハナイノデアリマスガ、今後此ノ豫算デ公布セラレルマデニハ、相當實行ヲ要スル場合ガ起ルト思ヒマス、十五年度ノ關係ハ十四年度ノ狀況ニ鑑ミマシテ、物資ノ入手ニ長時日ヲ要スルコトハ、先程大臣モ申サレマシタガ、外國品等モアル關係上、二億圓ハ若干手薄デアルト云フノデ、更ニ七千万圓増加シタ次第デアリマシテ、二億七千万圓全部契約致スカドウカト云フコトハ、只今ノ所申上ゲラレマセヌガ、大體ソレニ近イ所マデハ必要ガ起ルモノト考ヘテ居リマス、物資ノ關係ニ付テ一般會計ノ國庫負擔契約ト大體同様ノ取扱デ、今回御

協賛ヲ經ベキ臨時軍事費ヲ支出スル期間内ニ契約ダケハスル、支拂ハ其ノ期間以後ニ延ビルト云フ關係デアリマスカラ、或ハ契約ニ伴ツテ早期ニ物資ヲ準備スル必要ノモノモ若干ゴザイマセウ、併シ出來上ツテ受取ルノハ、大分遅レルコトニナルデアリマシテ、大部分ノ物資ハ翌年度ニ調達スレバ宜イ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○中島委員 大部分ノ物資ガ翌年度ニ要スルトスルナラバ、十六年度ノ物動計畫ニ對シテ、此ノ二億七千万圓ト云フモノハ、非常ニ影響シテ來ルト考ヘマス、其ノ點ハドウ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ、陸海軍大臣ニ御尋ヲシマスガ、陸軍ノ方デモ五億圓ヲ十四年度ニ於テ取ツテ置キナガラ、一文モ之ヲ使ツテ居ナイ、其ノ理由ハ何處ニアルデアリマセウカ、陸軍ハ一億七千万圓シカ臨時軍事費ハ本費ニ於テハ減ツテ居ナイ、即チ三十一億四千三百万圓ガ、二十九億七千万圓ニナツテ居ル、今年ハ是ガモウ少シ減ラナケレバナラスト思フノデスガ、作戰行動ニ付テハ新聞デ見マスルト、一昨年ヨリモ昨年、昨年ヨリモ今年ハドン／＼治安モ改善サレ匪賊モ平定サレテ行キ居ルヤウニ書イデアリマス、大キナ戰爭ハサウ起ラナイト云フ風ニ、國民ノ眼ニハ映ツテ居ル、ソレニ僅ニ一億七千万圓ノ減ハドウ云フ理由デアルカ、殊ニ海軍ノ如キハ、全艦隊方向フヘ派遣サレルコトモ少イデアラウ、動的状態カラ段々靜的状态ニ移リツツアルヤウニ私共考ヘル、ソレナラバ僅ニ五分ニモ足ラヌ經費ノ節減デアリマシテハ、此ノ臨時軍事費ノ内容全體ニ付テ、臨時軍事費支辨スベカラサル豫算上ノ性質ノモノ、即チ恒久的ノ設備ノモノヲモ賄

ヒツツアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ國民ニ對シマシテモ十分ニハツキリサシテ載キタイノデアリマス

○畑國務大臣 只今中島君ノ御質問ハ、段段作戦ノ範圍ガ狭クナルノデハナイカ、餘リ大キナ戰ハナイチヤナイカト云フヤウナ御質問ノヤウニ拜承致シマシタガ、今後作戦ヲドウヤルカト云フコトハ、此處デハ答辯ノ限リデハアリマセウ、併シ段々占領區域ヲ擴張ガツテ參リマシテ、殊ニ昨今御承知ノ通り、南滿方面ニ於キマシテモ作戦ヲ致シテ居リマスルシ、又今後新中央政權ガ出來マスニ付キマシテハ、所謂支那事變處理遂行ノ爲ニハ、一層政略ト戰略ト協調ガ必要ニナリマス、デアリマスルカラ、第三年目デアアルカデ、戰ハモウ宜イチヤナイカト云フヤウナコトハ、決シテナイノデアリマシテ、或ハ狀況ニ依リマシテハ、假令我ハ欲セズトモ、必要ナ作戦ヲシナケレバナラスト云フコトハ考ヘラレルノデアリマス、無論吾々ト致シマシテハ、成ルベク支那ニ於キマスル兵力ヲ、早ク整理ヲ致シマシテ、一文デモ費用ヲ節減シタイト云フコトハ考ヘテ居リマスルガ、今申シマスヤウナコトカラ致シマシテ、サウ前年ニ比ベテ著シク節減ハ出來ナイト云フ考デアリマス、尙ホ細部ハ政府委員ヲシテ御答辯致サセマス

○石川政府委員 豫算外國庫負擔ノ契約ノ五億圓ヲ、ナゼ使ハナカッタカト云フコトデアリマスガ、協賛ヲ得マスル時ニハ、萬一必要ナ場合ガアルカモ知レヌ、其ノ時ニ手落ちノナイヤウニト云フ考デ、御協賛ヲ得テ居ツタノデアリマスルガ、豫算實施ノ狀況上、此處マデ手ヲ付ケナクテモ済ムト云フ状態ニ立至リマシタノデ、其ノ儘ニナ

ツテ居ル次第デアリマス

尙ホ本年要求致シマスル所ノ豫算ガ、昨年ヨリ減リ方ガ少イデハナイカト云フコトニ對シマシテハ、今大臣カラ御答ニナリマシタ通りデアリマシテ、將來ノコトハ大體斯ウナルグラウト云フ見込ヲ立テマシテ、積算ハシテアリマスルケレドモ、其ノ見込ニ於キマシテモ、中島委員ノ思ハレル程節減ガ出來兼ネルト云フ状態デアリマシテ、結局アレダケノ減少ニナツテ居ル次第デアリマス

○中島委員 陸軍大臣及ビ經理局長ノ御答辯ハ、抽象的デアリマシテ私ニハ諒解シ兼ネマス、私ハ作戰上ニ付テドウ斯ウト云フノデハナイノデス、新聞紙ニ報道スル所ノ大體ノ傾向ヲ見マスルニ、一昨年ヨリ昨年、昨年ヨリ今年ト大キナ戰爭ガナツテ行キ居ル、ソレナラバ常識論トシテ、モウト減ラナケレバナラヌノデハナイカト云フコトヲ言ツタノデス、モウ一點ハ十四年度ノ臨時軍事費、豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ニ付キマシテ、五億ヲ使ハズニ濟ンダ、契約セズニ濟ンダト云フコトハ、私共ノ想像致ス所ニ依リマスルト——是ハ想像ガカラ當ラナイカモ知レマセウガ、御承知ノ通りニ昨年ハ非常ニ製造能力ガ足ラナカッタノデハナイカ、物資供給ガ足ラナカッタノデハナイカ、物動計畫ニ食違ヒガ起ツテ來タノデハナイカ、是ガ爲ニ欲スル兵器モ造レナカッタノデハナイカト云フコトヲ、私共ハ心配シテ居ル、ソレ故ニ豫算デ取ツテ置キナガラ使ヘナカッタノデハナイカ、即チ設備ダ々出來テ居ツテモ、民間ノ資材ガ不足シタノデハナイカ、御承知ノ通り電力、石炭ノ問題ハ今起ツタ

問題デナク、モウ昨年ノ八九月頃カラ渴水期ニ乘ジテ、日本ノ生産擴充計畫ニ付キマシテ、再檢討ヲセナケレバナラヌヤウナ重大ナル狀況ガ起ツテ來テ居ルノデス、ソレガ爲ニ製造ヲ欲スル兵器ガ間ニ合ハナカッタノデハナイカ、ソレデ豫算ヲ取ツテ置キナガラ使ヘヌヤウナ結果ニナツタノデハナイカ、是ハ私ノ想像デスガ、サウ云フコトノ爲デアルトスレバ、十五年度ニ海軍ニ豫算外國庫負擔ヲ七千万圓増シマシテモ、又陸軍ノ現在權利トシテ持ツテ居ル所ノ五億圓デアリマシテモ相當大キナ額デアリマス、陸海軍ヲ合セマシテ、十五年度ニ使ヒ得ベキ權利ノモノハ七億七千万圓ト云フ大金ニ上ツテ居リマス、此ノ物資ハ又相當ナモノデアルト考ヘル、曩ニ企業院總裁ノ物動計畫ノ内容ニ互リマシテ説明サレマシタ所ニ依リマス、大體ノ輪廓ニ依ツタナラバ、十四年度ヨリモ十五年度物資獲得ハ苦シイヤウニ私共ハ考ヘル、現在ノ石炭、電力ノ問題カラ考ヘテモ、出來タ設備ヲ動カスニ付テ、相當ニ困難ガアルノデハナイカト考ヘル、其ノ點カラ考ヘマシタナラバ、是等ノ問題モ私ノ想像ガ當ツテ居ルノデハナイカト考ヘマスガ、其ノ點ニ付テ如何ニ御考ニナルデアリマセウカ、又海軍デハ其ノ理論ガ正シイトスルナラバ、七千万圓増シテモ是ガ使ヘナイト云フコトニナル、其ノ増ス理由ナシト云フヤウナ結果ニナルノデアリマセウカ、ソレナラバ今年ニ於テ増ス必要モナク、來年度ニ於テヤツテモ宜シイト云フ結果ニナル、斯ウ云フヤウニ結論サレルノデアリマスルカ、陸海軍大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマス

○石川政府委員 少シ事務的ニナリマスノ

デ、便宜私カラ御答致シマス、豫算外國庫  
負擔ノ契約ヲ行使シナカフコト云フコト  
ハ、今中島委員方御想像ニナリマシタヤウ  
ニ、生産擴充ガ思フ通りニ行カナカフコト  
云フコトモ、一ツノ原因デアリマス、又御  
承知ノ通りニ昨年ノ今頃ハ、陸軍ノ調辨價  
格ガ非常ニ高イ、何トカシテ單價ヲ切下ゲ  
ナケレバナラス、斯ウ云フ御説モ盛デゴザ  
イマシテ、陸軍ニ於キマシテモ夙ニソレヲ  
認メ、何トカシテ十四年度ニ於キマシテ  
ハ、合理的ニ物ノ調辨ヲシナケレバナラ  
ス、サウナリマスト註文ヲ致シマスニ付キ  
マシテモ、十三年ニ行ヒマシタヤウニ、軍  
事上ノ必要カラモ何處デモ構ハス、物ヲ調  
辨シテ、高クテモ取ラナケレバナラスト云  
フ状態ヲ緩和サセマシテ、サウシテ値段ヲ  
安タスルト云フ關係カラ、註文狀モ若干手  
控ヘナケレバナラスト云フ状態デアリマシ  
テ、色々ノ關係デ以テ生産擴充計畫ヲ實行  
シナクテ済ンダノデアリマス、十五年ニ於  
キマシテハ、既定ノ計畫ニ基キマシテ十四  
年ノ生産擴充以上ニ、擴充計畫モ上ツテ參  
リマスシ、漸次生産量モ殖エルト云フコトニ  
ナリマスルカラ、十四年度ハ様子ガ違ツテ  
來ルト云フヤウナ省察ガ出來ルモノト想像  
シテ居リマス

○吉田(善)國務大臣 只今中島委員カラ、  
殊ニ海軍ハ戦局ノ工合モ平靜ニナツテ居リ  
マスノデ、餘リ減リ方ガ少イノデハナイカ  
ト云フヤウナ意味ノ御質問ガアリマシタ  
ガ、是ハ私共ハサウ思ツテ居リマセヌ、本  
會議デ劈頭御報告致シマシタ通りニ、今日  
海軍ノ封鎖、或ハ各河川其ノ他ノ作戰ノ状  
況ノ範圍ハ非常ニ廣クナツテ居リマス、サ  
ウ云フ風ナ状態デ、華々シイ戰鬪ト云フモ

ノハ減リマシタガ、海軍ノ作戰シテ居ル方  
面ハ可ナリ廣クナリマシタ、又重要ナル戰  
闘ニハ協力シテ居リマスノデ、サウ云フ點  
ハ私共ト非常ニ考ガ違フヤウニ思ヒマス、  
其ノ點御含ミ置キ願ヒタイト思ヒマス、尙  
ホ豫算關係ニ付テハ經理局長カラ御答申上  
ゲマス

○武井政府委員 御質問ニ對シテ、作戰行  
動ガ減ラナイ、隨テ臨時軍事費ノ豫算總額  
ガ餘リ減ラナイト云フ點ハ、大臣ノ御答デ御  
諒解戴イタモノト思ヒマスガ、尙ホ一言中  
島委員カラ他ノ施設等ニモ使ツテ居ルノデ  
ハナイカト云フ御答デアリマシタカラ、其  
ノ點ニ付テ御答致シマス、事變處理ノ爲ニ  
急速實施シナケレバナラス方面ノ施設ハ、  
臨時軍事費ニ計上シテ居リマス、併シ其ノ  
他ノモノハ總テ作戰關係ニ要スルモノデア  
リマシテ、中島委員ノ仰シヤツタヤウナ事  
項ハ含マレテ居リマセヌ

シタ點ハ先程申シタコトヲ稍、繰返サヤウ  
ナ形ニナリマスガ、物資ノ入手其ノ他ニ長  
時間ヲ要スルト云フ新シイ事情ニ鑑ミマシ  
テ、成ベク本豫算ニ組ミマスヨリハ、國庫  
負擔トシテ納期ヲ延長シテ先ニ支出スルヤ  
ウナ形ニ致シマスガ、無理ナ工事をサセズ  
隨テ價格モ安クナルシ、又民需ヲ壓迫スル  
コトモ少イ、事務的ニ甚ダ都合デアル、  
サウ云フ考カラ我儘シ得ル限リ納期ヲ延長  
シテ入手ガ樂ニナルヤウニ致シタノデアリ  
マス、但シ二億七千万圓全部ガ今回協費ヲ  
經マス臨時軍事費ノ支出期間内ニ實行スル  
コトニナルカト云フコトハ、現在ノ所デハ  
分リマセヌ、先程申上ゲタ通りデアリマス

○中島委員 先ニナツタラ物價ハ益、騰貴  
シテ參リマス、物價政策ト云フモノニ付キ  
マシテハ、私共未ダ展望ヲ持ツテ居リマス  
ガ、先ニ延バシマス程金額ハ同ジコトデア  
ツテ、物資ノ調達ノ量ガ少クナリハシナイカ  
ト私共考ヘル、此ノ點ガ經理局長ノ御答辯  
ト私共ノ見解トガ違フト思ヒマス、一般  
會計ニ於テ支辨スベキモノヲ、臨時軍事費  
デ支辨ヲ致シテ居ルト申サレテ居リマス、  
茲ニ一ツ疑問トナルベキ點ハ、昭和十四年度  
ニ於キマシテハ一億一千九百万圓ト云フモ  
ノヲ、一般會計ヨリ臨時軍事費ノ支辨ニ移  
シタルノ件ト云フコトデ、豫算書ニ計上シ  
テゴザイマス、十五年度トナツタナラバ、  
陸軍ノ方デ一般會計カラ臨時軍事費ニ移ス  
額ガ、一億一千九百万圓カラ二億三千一百  
万圓ニ増加シテ居ル、海軍モ同様デアツ  
テ、十四年度ニ四千三百万圓デアリマシタ  
モノヲ、一億六千三百万圓ニ一般會計カラ  
臨時軍事費ニ移シテ居ル、年々是ガ増加シ  
テ行ク、此ノ理由ニ付キマシテ陸海軍大臣  
カラ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○畑國務大臣 先程中島委員カラ斯ウ云フ  
御質問ガアリマシタ、即チ昨年度ニ於テハ  
物資不足ノ爲ニ作戰ニ不便ヲ來シハシナカ  
ツタカト云フヤウナ御質問ガアツタカト思  
ヒマスガ、荷モ物資即チ兵器彈藥等ニ依ツ  
テ作戰、軍ノ行動ヲ制シタコトハ絕對ニ  
アリマセヌ、又所謂此ノ兵器彈藥等ノ作戰  
資材ヲ調辨致シマシテ、作戰ヲ思フ存分ヤ  
ラセル、作戰軍ヲシテ全能力ヲ發揮サセル  
ト云フコトハ、是ハ陸軍大臣ノ任務デアリ  
マスカラ、此ノ點御安心ヲ願ヒマス

○石川政府委員 一般會計カラ支辨シテ居  
ツタモノヲ、臨時軍事費ニ移シタ額ガ殖エ  
テ居ルト云フ理由ハ何カト云フ御答デアリ

マシタガ、ソレハ主トシテ内地ノ補充業務  
ヲ擔任スル者ノ殖エタ關係デアリマス、從  
來ハ海外ニ出テ居リマス所ノ補充業務ヲ擔  
任スル所ノ部隊數ガ、十五年度ヨリモ十四  
年度ノ方ガ少ナカフコトデアリマス、ソレガ  
多クナリマシタ關係上、ソレ等ノモノガ一  
般會計カラ臨時軍事費ニ移リマシタノデ、  
多クナツタノデアリマス

○武井政府委員 一般會計ノ支辨カラ臨時  
軍事費支辨ニ移シマシタ額ガ、前年ハ四千  
万圓何ガシ、此ノタビハ一億六千万圓何ガ  
シトナツタ理由ハドウウカト云フ御質問デア  
リマスガ、戰地ニ派遣ヲ致シマス艦船部隊、  
航空隊等ハ各固有ノ維持費ヲ持ツテ居リマ  
ス、其ノ固有ノ維持費ヲ全部此ノタビハ臨  
時軍事費ニ移シタト云フコトニナルノデア  
リマシテ、前年ハ其ノ中若干ハ依然一般會  
計ノ支辨ノ儘ニ止メテ置イタノデアリマス、  
併シ是ハ會計經理ノ實際ノ便宜上カラ申シ  
マシテ、全部臨時軍事費ニ移シ、其ノ額ヲ  
一般會計ヨリ減額スル方ガ便宜デアアル、斯  
ウ云フ昨年來ノ經驗ニ鑑ミマシテ、今回ノ  
ヤウナ取計ヒヲ致シタ譯デアリマス、隨ヒ  
マシテ此ノ一億六千ナニガシハ臨時軍事費  
ハ増、一般會計ハ減、サウ云フ形ニナツテ  
居リマス

○中島委員 サウシマス陸軍ノ方デハ補  
充部隊ヲ作ツテ、其ノ補充部隊ノ經費  
ハ内地ノ各師團ニ於テハ皆臨時軍事費支  
辨デアアル、サウスルト平時部隊ノ經費ハド  
ウナツテ居リマスカ、平時部隊ノ經費モ一  
緒ニ臨時軍事費支辨ニナツテ居ルノデアリ  
マスカ、換言スレバ全日本ノ師團ノ現在ノ  
平時部隊ノ支辨ト云フモノハ、全部臨時軍  
事費ノ中ニ埋沒シテシマツテ、一般會計カ

ラシタガ、ソレハ主トシテ内地ノ補充業務  
ヲ擔任スル者ノ殖エタ關係デアリマス、從  
來ハ海外ニ出テ居リマス所ノ補充業務ヲ擔  
任スル所ノ部隊數ガ、十五年度ヨリモ十四  
年度ノ方ガ少ナカフコトデアリマス、ソレガ  
多クナリマシタ關係上、ソレ等ノモノガ一  
般會計カラ臨時軍事費ニ移リマシタノデ、  
多クナツタノデアリマス

ラ離レテ居ル、斯ウ解釋シテ宜イノデスカ

○石川政府委員 大體御質問ノ通りデゴザイマシテ、補充ヲ擔任シマス所ノ師團ノ經費ハ、全部臨時軍事費ノ中ニ來年カラハ入ツテ居ルノデアリマス、ソレハドウカト申シマス、一ツノ部隊デ以テ是ダケノモノガ一般會計ダ、是ダケノモノガ臨時軍事費ダト云フコトヲ分ケルノハ非常ニ困難ナノデアリマス、ソレデ若シソレヲ無理ニシヨウト致シマスルト、別ニ此ノ中隊ダケハ一般會計デアアル、コチヲノ中隊ハ戰地ノ方ニ補充スル人間ヲ入レテアルカラ、是ハ臨時軍事費ダ、ト云フヤウナ風ニハイカナイノデアリマス、各中隊ニ補充要員ヲヤハリ等分ニバラ撤キマシテ、其處デ教育シテ行カナケレバナラス、サウスルト一ツノ中隊ノ中デ、此ノ者ダケハ一般會計、此ノ者ハ臨時軍事費ト云フ風ニ明確ニ分ケルコトハ非常ニ困難デアリマス、ソレデアリマスカラサウ云フモノヲ全部臨時軍事費ト致シマシテ、經理ノ實施上ノ便宜ヲ圖ツタ次第デアリマス

○中島委員 サウシマスルト昨年マデハ平時部隊ノ外ニ特設部隊ヲ設ケテ、一般會計ト臨時軍事費支辨トヲ區別シタガ、今年ハソレヲ一緒ニ入レテ行ツテ、又來年ハ陸海軍共ニ段々一般會計ノ費用ヲ全部臨時軍事費ニ移シテ行クヤウニ感ゼラレル、サウシテ一方ニ於キマシテハ、海軍ニ於キマシテモ大體數字ガ似テ居ルノデアリマスガ、水陸整備費外數件ニ付キマシテ一億三千三百万圓ノ新規要求ヲ今度爲シテ居ル、サウシテ置イテ臨時軍事費ノ方ニ、一億六千三百万圓ヲ一般會計カラ移シテ居ル、大體此ノ數字ガ似テ居ル、臨時軍事費ハ御承知ノ通り目節ニ付テハ吾々ガ知り得ナイモノデア

ル、一般會計ハ是ハ知り得ルノデアアル、段々ト臨時軍事費ニ移シテ行クヤウナ傾向ガアル、此ノ點ガ最モ豫算審議ノ上カラ言ヒマシテモ、國民ニ軍備費ノ全貌ヲ明ニスル上ニ於キマシテモ遺憾ナ點デアリマス、サウ云フ考デハナクシテ、單ニ事務的ノ考ヲ以テヤウテ居ラレルノデアリマセウカ、片方ハ一般會計カラ臨時軍事費ニ移シテ行ツテ、一方一般會計デハ新規要求デドンドン殖エル、其ノ點ニ付キマシテ明快ナル御答辯ヲ戴キタイ

○石川政府委員 内地部隊ノ經費ノ支出區分ハ只今御答申上ダマシタヤウニ經理實情ノ便宜ヲ考慮致シマシテ臨時軍事費ニナツタノデアリマスガ、ソレニ對應スル一般經費ハ即チ節減ニナツテ居ルノデアリマス、明十六年度ニ於キマシテ段々又ソレガ殖エルカドウカト云フコトハ、其ノ時ニナツテ見ナケレバ分リマセスケレドモ、只今考ヘル所ニ於キマシテハ段々ト臨時軍事費ニ移ツテ行クモノガ殖エルトハ私モ考ヘテ居リマセス、大體狀況ガ現在ノヤウデアリマスレバ、現在ノ狀態ニ落著クモノデハナイカト想像致シテ居リマス

○武井政府委員 海軍ニ關シマシテモ、今陸軍ヨリ述ベラレタコトト大體同様デアリマシテ、ドン／＼臨時軍事費ニ移ス部分ガ殖エルトハ考ヘテ居リマセス、又先程申シマシタコトガ簡單ニ過ギマシテ、或ハ御分リニナラナカクツタ爲ニ、サウ云フ御疑問ヲ抱カレタノデハナイカト思ヒマスカラ、多少補足シテ置キマス、臨時軍事費ニ移シタモノガ一億何ガシモ殖エタト申シマスルノハ、一ツノ例ヲ取ツテ申シマスレバ、假ニ島海ナラ島海ト云フ巡洋艦ハ固有ノ維持費

トシテ一般會計ニ於テ其ノ船ニ乗ツテ居リマス乗員ノ普通ノ俸給、或ハ日本沿岸ノ航海加俸、或ハ若干ノ燃料ト云フモノヲ持ツテ居リマスガ、戰地ニ派遣致シマスレバ、俸給ノ外ニ戰時増俸方付キマスシ、航海加俸モ殖エル、或ハ燃料モ餘計要ル、彈丸モ餘計要ルト云フコトデ増加致スノデアリマス、其ノ増加部分ダケヲ臨時軍事費デ支辨スルノモ一法デアリマス、又固有ノ維持費ヲ一般會計カラ落シマシテ、全部合セテ臨時軍事費ト云フ一ツノ科目ヨリ支出スルコトモ一法デアリマスガ、十五年度ニ於キマシテハ會計上ノ便宜ニ基イテ、後ノ方法ニ依ツタ、ソレデ殖エタ形ニナルノデアリマス、右ノ減額ガ十五年度ノ新規要求ノ一億三千万圓ト稱シ數字ガ近イト仰セラレタガ、是ハ全ク暗合デアリマシテ、何等其ノ間ニ因果ノ關係ハアリマセス

○三土委員長 中島君マダ長イデスカ、分科ニ讓レルモノハ分科ニ讓ツテ成ベク總會デ必要ナモノダケニ限ツテ裁キタイ

○中島委員 モウ少シヤリマス、新國防計畫ニ付テモウ少シ裁キタイ(簡單ニ顯ヒマス)次ニ新國防計畫ニ付テ承リマス、此ノ新國防計畫ハ私ト板垣前陸相トノ間ニ於キマシテ、質疑應答ノ結果、陸軍ノ方ハ大體十四年度ニ於キマシテ、合計四億九千四百万圓ト云フモノガ出テ來タノデアリマス、是ハ新國防計畫ノ頭デアアルカト言ツタラ、頭デアアルト言フ、海軍ノ方デハ去年全貌ヲ現ハシマシタガ、陸軍ハ現ハサナカクツタ、今度出テ來マシタ新國防計畫ト稱スルモノハ、兵備改善費ト、航空、防空ノ費用、作戰資材費ヲ合セマシテ、大略三十五億九千七百万圓ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ

去年ノ四億九千四百万圓ノ副體ニナツテ居リマシテ、是デ全部陸軍ノ方ハ出盡シテシマツタ、是ガ全貌デアアル、斯ウ解釋シテ宜イノデアリマス

○畑國務大臣 軍ノ希望致シマスル軍備充實計畫ノ實施ニ付キマシテハ、時局殊ニ支那事變ノ推移、財政ノ事情其ノ他資金、物資、金融等色々ナ經濟狀態ヲ考慮シナカラ、之ヲ豫算ニ出スノヲ相當ト認メマスル部分ガマダ相當アルノデアリマス、デアリマスルカラ今度ノ計畫ノ全貌ヲマダ豫算化シテアルトハ申サレマセス、全貌デアリマセ

○中島委員 全貌デナケレバ、アト大體ドレダケ出テ來ル計畫デアアルカ、今申上ダマシタ全體ノ數字ハ昭和十五年カラ四箇年乃至六箇年計畫ニナツテ居リマスガ、マダ來年度若クハ再來年度ニドレ位ノ數字ガ大體出テ來ルノデアリマセウカ、其ノ全貌ガ分ラナケレバ——海軍ノ方デハ前米内海相ガ製鐵費ニ付テ全貌ヲ現ハシマシテ、是以上ハモウ出サストハツキリ仰シヤツタ、陸軍ノ方デモ是ハ非常ニ重要ナコトデアリマシテ、全貌ガ分ラナケレバ、此ノ豫算審議上ニ於テモ、マダ出ルカ、マダ出ルカト云フ考ヲ國民ニ與ヘル、成ベク此ノ全貌ヲ明ニシテ、サウシテ陸海軍合セテ大體是位ナ金額ニナルト云フコトガ、新國防計畫ニ於テ分リマシタナラバ、即チ昨年板垣陸相ハ「ソ」支兩面ノ作戰トシテ、次ノ會計年度カラ全貌ヲ現ハス、是ハ頭ダケダ、斯ウ仰シヤラレタノデアリマス、二十何億ノ金ガ今日出テ居ルニ拘リマセズ、是ハ全貌デアリト云フコトニナリマスルト、何時全貌ガ出テ來ルノデアアルカ、今日ノ此ノ豫算ガ果シテ實行ガ出來ルカ出

來スカト云フコトが本會及ビ此ノ豫算委員  
會ニ於ケル重大問題ニナツテ居ルノデアリ  
マスニ拘ラズマダ全貌ガ分ラヌトナツテ來  
マス、將來ノ財政計畫ノ立テ方、又生産  
擴充ノ方針、物動計畫ノ上カラ申シマシテ  
モ、洵ニ吾々ハ豫算審議上ニ於テ見透シ上  
非常ナ困難ナル點ニ陥ルノデアリマスガ、  
陸軍大臣ハ其ノ點ニ付テ大體此ノ次ニハ何  
年度カラドレ位ノモノガ出テ來ル——去年  
板垣陸相ハ今研究中デアル、研究シテ直チ  
ニ次ノ年度カラ之ヲ現ハス、サウシテ新國  
防計畫ノ全貌ヲ國民ニ分ラス、斯ウ言ハレ  
タノデアリマスガ、如何ニ御考ニナリマセ  
ウカ

○中島委員 此ノ通リデゴザイマス  
テ來マシク此ノ陸軍ノ新國防計畫ト云フモ  
ノト、海軍ノ水陸ノ整備費ヲ航空隊設備  
ノ費用、軍需品整備費、製鐵費、是等ノモ  
ノヲ全部合セテ見マス、大體陸海軍デ五  
十九億圓、約六十億圓ニナル、陸海軍ヲ合  
セマシテ非常ニ大キナモノニナツテ參ルノ  
デアリマシテ、斯ウナリマス陸軍ノ方デ  
ハ臨時軍事費ト新國防計畫ト兩方デ日滿支  
一體ノ國防計畫ヲ立テテ居ル、斯ウ解釋シ  
テ宜シイノデアリマスガ、即チ此ノ新國防  
計畫ハ大體十八九年頃マデニ完成サレマス  
ガ、海軍亦大體此ノ第四次補充計畫ガ十九  
年頃ニ完成サレル、此ノ頃ニハ臨時軍事費  
ト一緒ニナツテ海軍ノ方デハ西太平洋岸ノ  
制海權維持ノ爲ニ、陸軍ハ日滿支一體ヲ以  
テ此ノ計畫ヲ守ル、之ヲ實現シタモノデ守  
ルト云フ考ノ意味デ、是デ國防ハ十分デア  
ル、尙且ツ是ダケハドウシテモヤラナケレ  
バナラヌト云フ御決心デヤツテ居ルノデア  
リマセウカ

○中島委員 昨年ノ議會ノ時ニ色々御話ガ  
アリマシタガ、非常ニ此ノ點ニ付キマシテ  
前板垣陸相ト今度ノ相トノ間ニ違ヒガ  
アル、昨年ハ全貌ヲ現ハサナイ、サウシテ  
陸海軍共ニ今年ハ吾々ニ對シマシテ全貌ガ  
分ルヤウニスルノダト云フヤウニ私共解釋  
シテ居リマシタガ、唯目先ノ二三年ノ間ノ  
問題ニナツテ來タ、斯ウナツテ來マス、非常  
ニ國防豫算全體ノ見透シガ付カナイ、サウシ  
テ私共ノ考デハ此ノ陸海軍合セテ大體十五年  
度カラ十八九年頃マデニ六十億近イ金ガ出  
ル、其ノ外ニ一般會計、臨時軍事費モアリマセ  
ウ、ソレカラ又特別會計ノ大キナ金モアリマス、  
サウ云フヤウナ意味カラ考ヘマシタナラバ、  
今日マデノ軍備計畫ヲ含メテ豫算デスラモ電  
力ヤ石炭其ノ他ノ物資及ビ人力ノ不足デ實  
行ニ困ツテ居ル、是ガ爲ニ生産設備ヲ十分ニ  
備カシテ行クコトガ出來ナイヤウナ状態デ  
アリマス、是ダケノ大キナ陸海軍豫算ダケ  
ヲ考ヘマシテモ六十億ニ餘ルモノヲ、ココ  
四五箇年間ニ日本ノ經濟界ニ於テ之ヲ生産  
擴充ニ依ツテ消化シテ行カナケレバナラヌ  
トシマスナラバ、其ノ方針デドウシテモ行  
カナケレバナラヌ、是デナケレバ日本ノ國  
防ガ安全デナイト云フヤウナ御考デアリマ  
スナラバ、從來ト違ツタ考ヘ方デ、非常ナ  
ル躍進ノ生産擴充ヲヤラナケレバナラヌ  
ト考ヘマス、又物動計畫モ其ノ通りデアリ  
マス、チウデアルナラバ如何ナル方針デ輸  
出力ヲ躍進的ニ増進シ、輸入力ヲ國ヲテ物  
資ノ獲得ヲ増大スルカ、是ハ今日デチヘ困

ツテ居ルノニ、此ノ六十億以上ノ大キナモ  
ノヲ吞ミ込シテ行クニハ、是ハ餘程官民協  
力一致シテ大奮闘ヲシナケレバナラヌ、此  
ノ點ニ付キマシテ藏相及ビ商工大臣ハドウ  
御考ニナツテ居ルノデアリマスルカ、陸海  
軍當局ハ又是等ニ要スル物資ハ見込ガ付イ  
テ居ルノデアリマセウカ、物資及ビ勞力ガ  
見込ガ付イテ居ルトスルナラバ、ドウ云フ  
方法デ之ヲ調達シテ行ク御考デアリマスガ、  
又滿洲、支那ヨリ物資ノ獲得ヲドンナ方法  
デヤツテ行クノデアリマセウカ、又物價ヲ  
中心トシテ統制經濟モ亦非常ニ躍進的ニ強度  
化シテ行カナケレバナラヌ、其ノ方法ニ付  
テドウ云ウヤウニ御考ニナツテ居ルノデア  
リマセウカ、細カク聽キタイノデアリマス  
ケレドモ、時間ノ關係上聽ク暇ガアリマセ  
スカラ、私ハ大體ノ點ヲ端折ツテ御伺シマ  
スガ、其ノ外國民精神總動員態勢ノ強化ハ  
ドウスルノデアリマセウカ、又惡性「イン  
フレーション」ヲ徹底的ニ防止シテ行カナ  
ケレバナラヌト考ヘル、是ハ藏相ノ演說サ  
レタ所ニ依ルト、施政ノ方針及ビ其ノ他答  
辯ニ依リマス、消費ノ節約デアルトカ、  
或ハ物資ノ節約デアルトカ、勤儉貯蓄ノ獎  
勵位ノコトデハ到底ハイカナイ、餘程惡  
性「インフレーション」防止ニ付テモ力ヲ入  
レテ行カナケレバナラヌト考ヘマス

○烟國務大臣 此ノ軍備ノ充實計畫ハ國際  
情勢ニ鑑ミ、又將來ノ國防關係ヲ能ク檢討  
致シマシテ、御承知ノ如ク國際關係ハ朝ニ  
變リタニ變ルト云フ變轉極マリナイモノデ  
アリマスガ、大體ノ見透シヲ付ケマシテ、  
今後二三年ノ間ハ大體斯ウナルダラウト云  
フヤウナ見當ニ依ツテ計畫サレタモノデア  
リマス、此ノ全貌ヲ公表致シマスコトハ、  
直チニ國軍ノ作戰計畫ガ明瞭ニナルノデア  
リマシテ、事統帥ニ關係致シマスカラ、此處  
デハ發表ヲ致シ兼ねマスルガ、大體今後二  
三年ノ間ヲ目標ニシテ計畫ヲシタモノダト  
云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○中島委員 此ノ計畫ハ四年乃至五箇年計  
畫ニナツテ居リマス、今後ノ二三年ト言ヒ  
マスコトハ、此ノ豫算書ニ現ハレタ所ト違  
ツテ來ル

○烟國務大臣 私申上ゲマシタ二三年ト云  
フノハ、吾々ノ希望スルノガ二三年デアリ  
マシテ、實際ノ豫算化スル際ニハ今御話ノ  
アリマシタ通り、色々關係ヲ考慮サレマ

○中島委員 此ノ通リデゴザイマス  
テ來マシク此ノ陸軍ノ新國防計畫ト云フモ  
ノト、海軍ノ水陸ノ整備費ヲ航空隊設備  
ノ費用、軍需品整備費、製鐵費、是等ノモ  
ノヲ全部合セテ見マス、大體陸海軍デ五  
十九億圓、約六十億圓ニナル、陸海軍ヲ合  
セマシテ非常ニ大キナモノニナツテ參ルノ  
デアリマシテ、斯ウナリマス陸軍ノ方デ  
ハ臨時軍事費ト新國防計畫ト兩方デ日滿支  
一體ノ國防計畫ヲ立テテ居ル、斯ウ解釋シ  
テ宜シイノデアリマスガ、即チ此ノ新國防  
計畫ハ大體十八九年頃マデニ完成サレマス  
ガ、海軍亦大體此ノ第四次補充計畫ガ十九  
年頃ニ完成サレル、此ノ頃ニハ臨時軍事費  
ト一緒ニナツテ海軍ノ方デハ西太平洋岸ノ  
制海權維持ノ爲ニ、陸軍ハ日滿支一體ヲ以  
テ此ノ計畫ヲ守ル、之ヲ實現シタモノデ守  
ルト云フ考ノ意味デ、是デ國防ハ十分デア  
ル、尙且ツ是ダケハドウシテモヤラナケレ  
バナラヌト云フ御決心デヤツテ居ルノデア  
リマセウカ

上ツタ曉ノ軍備ト云フモノハ、輸送能力ノ  
點カラ重大ナル考慮ヲシナケレバイカヌト  
考ヘル、今デサヘ困ツテ居ル、今日ノ鐵道  
ノ豫算ニハ複々線ヲ東京カラ下關マデ造ル  
コトニナツテ、十年計畫ニナツテ居リマス  
ガ、陸軍ノ新國防計畫ハ四五箇年ノ間ニ出  
來ル計畫デス、ソレマデノ間ニ今デサヘ困  
ツテ居ルノニ輸送力ノ増進ヲ一體ドウスル  
ノデアリマセウカ

ソレカラ總理大臣ニ最後ニ御伺申上ゲマ  
スルガ、此ノ國防ノ強化ト云フコトハ已ム  
ヲ得ナイ今日ノ狀態デアルト致シマスナラ  
バ、如何ニシテ國民生活ヲ確保シツツ國防  
力ヲ強化シテ行クカ、總理大臣ハ施政演說  
ノ御方針ノ中ニ國防力ノ強化ト云フコトヲ  
謳ハレマシタ、ソレガ爲ニハ國民精神ノ昂  
揚、經濟力ノ發展、其ノ外國民生活ヲ確保  
シテ行クト云フコトヲ言ハレテ居リマシ  
テ、更ニ平時ニ於テモ忍ブベカラザル困苦  
缺乏ニ耐ヘテ之ヲ忍ベ、斯ウ言ハレテ居ル、  
サウシマスト是ハ餘程民需ニ向ツテ重壓ヲ  
加ヘテ切下ゲテ行カナレバナラヌト私ハ考  
ヘル、曩ニ企業院總裁ヤ藏相ノ御答辯デア  
リマシタガ、物動計畫ト云フモノハ十五年  
度ノ豫算サヘ十四年度ニ比シテ苦シイヤウ  
ナ御答辯ニナツテ居ル、將來ノ此ノ四五箇  
年間ニ於ケル軍備ヲ強化シテ行クコトニ付  
キマシテハ餘程ノ統制經濟ノ強化、又輸出  
貿易ノ進展、或ハ生産力ノ擴充、殆ド全部  
ガ調和シテ、物動計畫ニ付キマシテハ是ト  
關聯スル生産擴充計畫、資金計畫、ソレカラ  
貿易計畫等ガ杜撰粗漏デアツテハナラヌ、全  
體ニ付キマシテ的確ナモノヲ作ツテ行カナケ  
レバナラヌ、今デサヘ困ツテ居ル今日以上ノ  
モノヲ國民方背負ツテ行カナケレバナラヌ、政

府ニ於キマシテモ非常ナル大キナ決心ヲ以テ  
重大ナル覺悟ノ下ニ事ニ當ルト共ニ、國民ニ  
モ亦ソレヲ要求センケレバナラナイ、其ノ  
方法手段ニ付キマシテ十分ニ是ガヤツテ行  
ケルモノデアルカナイカ、ヤルニ付テハド  
ウスルカ、眞劍ナ一ツノ政府ノ御答辯ヲ得  
マシテ、此ノ議會ヲ通ジテ國民ニ知ラシテ  
戴キタイ、國民モ亦其ノ内容ト其ノ方法ガ  
分レバ、總理大臣ノ施政ノ方針ノ演說ニア  
ルガ如クニ自肅シマス、今マデハ一切秘密  
ニ隠シテ居ツテ、物動計畫サヘ一ツモ發表  
シナイ、物動計畫ヲ發表セズ、生産擴充計  
畫モ發表セズ、勞務動員計畫モ發表セズニ  
置イテ、國民ニ自肅セシ、國民ニ生産擴充  
ヲヤレ、國民ニ働ケ、國民ニ節約セシト言  
ウタ所ガ、何ヲ標準トシテ國民ハ消費節約  
ヲヤリマスカ、消費ノ規正ガ第一ナイ、物  
ノ生産高ガドレ位アルカ、需要高ガドレ位  
アツテ消費高ガ是位アル、一國一縣一郡一  
村個人ニ付テ大體米ハ、ドレ位消費シタラ  
宜イ、電力ハドレ位消費シタラ宜イ、石炭  
ハドレ位消費シタラ宜イ、其他木炭「マッ  
チ」數多色々ナ生活ノ必需品、及ビ是位ノモ  
ノニ付キマシテハドウ云フモノヲドレダケ  
節約シタラ宜イカト云フコトノ消費規正  
ト云フモノヲ與ヘテナイ、ソレカラ消費規  
正ヲ行フ所ノ權限ガナイ、國民精神總動員  
ガアリマスケレドモ、是亦頗ル效果ヲ擧ゲ  
テ居ナイ、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、唯  
一片ノ施政ノ方針ノ演說ヲ總動員態勢ヲヤ  
レ、強化セシト言ウタ所ガ國民ハ動キマセ  
ス、斯ウ云フ方法、斯ウ云フ手段、斯ウ云  
フ統制ヲヤルンダ、是ダケノ國防力ヲ増加  
スルニハオ前等ノ負擔ハ斯ウナルノダゾ、  
之ヲ快ヘテ行ケ、行クニ付テハ何々ハドウ

節約シテ行ケ、ドノ方面ハドウ云フヤウニ  
生産擴充ヲシテ行ケ、斯ウ云フヤウニヤラ  
ナケレバ國民全體ガ打ツテ一丸トナリマシ  
テ一糸亂レザル方針ニ行クコトハ出來ナイ  
ノデアル、惡性「インフレーション」ニナリツ  
ツアル、今マデノヤリ方デモ生産擴充關係  
ハ行詰ツテ居ル、到ル所ニ其ノ矛盾撞著ヲ  
起シテ居ルコトハ明カデアアル、陸海軍ニ於  
テ石川政府委員ガ言ツタ如クニ、豫算外國  
庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件ニ付テ  
使ヒ得ナカツタト云フコトモ、生産擴充ガ  
出來テ居ナカツタ結果デアアル、今度此ノ飛  
躍的ナ大ナル軍備ヲヤルニ付テハ、餘程統  
制ヲ強化シテ、總動員態勢ヲ強化シナケレ  
バ出來ナイと思フ、最後ニ其ノヤリ方ニ付  
テデアリマスガ、總理大臣ハドウ云フ所ノ  
方針デ、一方ニ國防力ヲ強化シツツ、國民  
生活ヲ確保シテ行クカ、此ノ點ニ付テ明ニ  
シテ貫ヒタイ、大藏大臣モサウデアアル、惡  
性「インフレーション」ハ將ニ起ラントシテ  
居ル、之ヲドウシテ止メテ行クカニ付キマ  
シテ——私ハ具體案ヲ澤山持ツテ居リマス  
ケレドモ、時間ガアリマセヌカラ申上ゲマセ  
ヌガ、其ノ點ニ付テ御答ヲ戴キタイ、陸海軍  
大臣ニ付キマシテモ、是カラ先々ノ見透シ  
ガ出來ナケレバ、是ダケハドウ云フ風ニシ  
テヤツテ行ツタラ宜イカ、陸軍モヤハリ國  
民ニ呼掛ケテヤツテ行ツテ貫ヒタイ、ソレ  
カラ鐵道大臣モ、先刻ノ輸送力關係ニ付テ  
十分ニ御考慮ヲシテ戴キタイ、此ノ點ニ付  
キマシテ、私ガ今結論ト致シマシテ述ベマ  
シタ點ニ付テ、各相カラ御答辯ヲセラレン  
コトヲ希望シマス

○櫻內國務大臣 現在ノ重大ナル時局ニ際  
シマシテ、國防ノ充實ヲ完備シ、而シテ生  
産擴充ノ目的ヲ達シテ、國民生活ヲ確保致  
シマス上ニ於テ、物資ヲ充實スルト云フ事  
柄ハ、極メテ大切ナコトデアリマスコトハ  
御話ノ通りデアリマス、此ノ問題ニ付キマ  
シテ、是ハ商工當局トモ十分ニ協力致シマ  
シテ、何トシテモ必要ナダケノ物資ヲ供給  
スルダケノ、生産擴充ニマデ進ンデ行キタ  
イト考ヘテ居リマス、輸出ノ振興等ニ付キ  
マシテモ、是ハ商工大臣カラ御話ガアルデ  
アラウト存ジマスガ、私共モ極力之ニ對シ  
テハ努力シテ行キタイと思ヒマス

更ニ私ニ對シテノ御質疑ノ主要ナル問題  
ハ、惡性「インフレーション」ヲ阻止スルノ  
ニ、單純ナル貯蓄獎勵ヤ、消費節約ハ到  
底目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、幾多ノ方  
法ガアルガ、之ニ對シテ之ヲ實行シテ、將  
ニ來ラントスル惡性「インフレーション」ヲ  
完全ニ阻止スルト云フコトニ付テ、ドウ云  
フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ御話デアリマス、  
是ハ申スマデモナク、撒布セラレタル資金  
ヲ完全ニ回收スルコトガ必要デアリマス  
同時ニ、一面ニ於テハ消費ノ節約ヲ致シマ  
シテ、此ノ消費ノ節約ニ付テモ、單ニ一般  
民間ニ於テ生活品ノ消費ヲ節約スルバカリ  
デナク、政府モ亦出來ルダケ消費ノ節約ヲ  
致ス必要ナルコトハ、之ヲ認メテ居リマ  
ス、又一般ノ經濟界ニ於キマシテモ、吾々  
ハ或ハ資金調整デアルトカ、或ハ民間大衆  
ニ公債ヲ保有セシメルトカ、或ハ特殊ノ貯  
蓄方法ヲ講ズルトカ、或ハ年金制度ト云フ  
ヤウナモノヲ設ケテ、撒布セラレタル資金  
ヲ集メルトカ、幾多ノ方法ガアルと思ヒマ  
ス、是等ニ付キマシテモ最善ノ注意ヲ拂ツ  
テ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ズル次第  
デアリマス

節約シテ行ケ、ドノ方面ハドウ云フヤウニ  
生産擴充ヲシテ行ケ、斯ウ云フヤウニヤラ  
ナケレバ國民全體ガ打ツテ一丸トナリマシ  
テ一糸亂レザル方針ニ行クコトハ出來ナイ  
ノデアル、惡性「インフレーション」ニナリツ  
ツアル、今マデノヤリ方デモ生産擴充關係  
ハ行詰ツテ居ル、到ル所ニ其ノ矛盾撞著ヲ  
起シテ居ルコトハ明カデアアル、陸海軍ニ於  
テ石川政府委員ガ言ツタ如クニ、豫算外國  
庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件ニ付テ  
使ヒ得ナカツタト云フコトモ、生産擴充ガ  
出來テ居ナカツタ結果デアアル、今度此ノ飛  
躍的ナ大ナル軍備ヲヤルニ付テハ、餘程統  
制ヲ強化シテ、總動員態勢ヲ強化シナケレ  
バ出來ナイと思フ、最後ニ其ノヤリ方ニ付  
テデアリマスガ、總理大臣ハドウ云フ所ノ  
方針デ、一方ニ國防力ヲ強化シツツ、國民  
生活ヲ確保シテ行クカ、此ノ點ニ付テ明ニ  
シテ貫ヒタイ、大藏大臣モサウデアアル、惡  
性「インフレーション」ハ將ニ起ラントシテ  
居ル、之ヲドウシテ止メテ行クカニ付キマ  
シテ——私ハ具體案ヲ澤山持ツテ居リマス  
ケレドモ、時間ガアリマセヌカラ申上ゲマセ  
ヌガ、其ノ點ニ付テ御答ヲ戴キタイ、陸海軍  
大臣ニ付キマシテモ、是カラ先々ノ見透シ  
ガ出來ナケレバ、是ダケハドウ云フ風ニシ  
テヤツテ行ツタラ宜イカ、陸軍モヤハリ國  
民ニ呼掛ケテヤツテ行ツテ貫ヒタイ、ソレ  
カラ鐵道大臣モ、先刻ノ輸送力關係ニ付テ  
十分ニ御考慮ヲシテ戴キタイ、此ノ點ニ付  
キマシテ、私ガ今結論ト致シマシテ述ベマ  
シタ點ニ付テ、各相カラ御答辯ヲセラレン  
コトヲ希望シマス

更ニ私ニ對シテノ御質疑ノ主要ナル問題  
ハ、惡性「インフレーション」ヲ阻止スルノ  
ニ、單純ナル貯蓄獎勵ヤ、消費節約ハ到  
底目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、幾多ノ方  
法ガアルガ、之ニ對シテ之ヲ實行シテ、將  
ニ來ラントスル惡性「インフレーション」ヲ  
完全ニ阻止スルト云フコトニ付テ、ドウ云  
フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ御話デアリマス、  
是ハ申スマデモナク、撒布セラレタル資金  
ヲ完全ニ回收スルコトガ必要デアリマス  
同時ニ、一面ニ於テハ消費ノ節約ヲ致シマ  
シテ、此ノ消費ノ節約ニ付テモ、單ニ一般  
民間ニ於テ生活品ノ消費ヲ節約スルバカリ  
デナク、政府モ亦出來ルダケ消費ノ節約ヲ  
致ス必要ナルコトハ、之ヲ認メテ居リマ  
ス、又一般ノ經濟界ニ於キマシテモ、吾々  
ハ或ハ資金調整デアルトカ、或ハ民間大衆  
ニ公債ヲ保有セシメルトカ、或ハ特殊ノ貯  
蓄方法ヲ講ズルトカ、或ハ年金制度ト云フ  
ヤウナモノヲ設ケテ、撒布セラレタル資金  
ヲ集メルトカ、幾多ノ方法ガアルと思ヒマ  
ス、是等ニ付キマシテモ最善ノ注意ヲ拂ツ  
テ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ズル次第  
デアリマス

更ニ私ニ對シテノ御質疑ノ主要ナル問題  
ハ、惡性「インフレーション」ヲ阻止スルノ  
ニ、單純ナル貯蓄獎勵ヤ、消費節約ハ到  
底目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、幾多ノ方  
法ガアルガ、之ニ對シテ之ヲ實行シテ、將  
ニ來ラントスル惡性「インフレーション」ヲ  
完全ニ阻止スルト云フコトニ付テ、ドウ云  
フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ御話デアリマス、  
是ハ申スマデモナク、撒布セラレタル資金  
ヲ完全ニ回收スルコトガ必要デアリマス  
同時ニ、一面ニ於テハ消費ノ節約ヲ致シマ  
シテ、此ノ消費ノ節約ニ付テモ、單ニ一般  
民間ニ於テ生活品ノ消費ヲ節約スルバカリ  
デナク、政府モ亦出來ルダケ消費ノ節約ヲ  
致ス必要ナルコトハ、之ヲ認メテ居リマ  
ス、又一般ノ經濟界ニ於キマシテモ、吾々  
ハ或ハ資金調整デアルトカ、或ハ民間大衆  
ニ公債ヲ保有セシメルトカ、或ハ特殊ノ貯  
蓄方法ヲ講ズルトカ、或ハ年金制度ト云フ  
ヤウナモノヲ設ケテ、撒布セラレタル資金  
ヲ集メルトカ、幾多ノ方法ガアルと思ヒマ  
ス、是等ニ付キマシテモ最善ノ注意ヲ拂ツ  
テ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ズル次第  
デアリマス

第一類第一號 豫算委員會議錄 第四回  
昭和十五年二月七日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第四回  
昭和十五年二月七日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第四回  
昭和十五年二月七日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第四回  
昭和十五年二月七日

○藤原國務大臣 生産力ノ擴充ニ付テ商工省ト致シマシテハ、此ノ際最モ力ヲ盡サナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテハ、第一ニ焦眉ノ急務デアリマスルモノハ、石炭ト動力デアリマスカラ、何トデモシテ此ノ問題ヲ解決シテ、ソレノ供給ヲ豐カニシテ、國民ヲシテ今日ノヤウナ状態ニ、苦シムト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト思ヒマシテ、最善ノ努力ヲシテ居リマス、尙又貿易振興ノ點デゴザイマスルガ、是モヤハリ石炭ト動力ガ一番必要デゴザイマスルノデ、此ノ點ニ向ツテヤハリ重點ヲ置カナケレバナラナイト存ジマス、其ノ次ハ諸雜貨ニ致シマシテモ、其ノ他纖維工業ニ致シマシテモ、資材ヲ供給シテ行クト云フコトガ、今日ノ現狀ニ於テ最モ必要デアリマスカラ、此ノ資材ノ供給ヲ出來ルダケ圓滑ニ致シマシテ、サウシテ出來ルダケ多ク、最モ早く、最モ多量ニ輸出セシメ、是ガ振興ノ途ヲ講ジタイト存ジテ居リマス、是亦目下非常ニ焦眉ノ急務デゴザイマシテ、色々努力ヲシテ居ル次第デゴザイマス

○畑國務大臣 國防ノ安固ヲ圖リマス爲ニ、此ノ際大ナル經費ヲ提出スルコトニナリマシタコトハ、國家ノ財政經濟ノ狀況、生産力、殊ニ國民ノ實生活ニ鑑ミマス、陸軍ト致シマシテハ、洵ニ甚ニ重大ナ責任ヲ感ジテ居ルノデアリマス、就キマシテハ、此ノ豫算ヲ執行スルニ當リマシテハ、微ニ入り細ニ互リ一文ト雖モ之ヲ忽セシナイ強イ覺悟ヲ以テ參ル積リデ居リマス

○松野國務大臣 御答致シマス、生産力ノ擴充ト輸送力ノ増強ハ、是ハ當然デアリマスカラ、鐵道省ト致シマシテハ十三年度ノ豫算カラ、輸送力ノ増強ニ伴ヒマスル爲ニ必要ナ經費ノ御協賛ヲ受ケテ居リマス、其ノ方策トシテハ輸送力ノ増強ヲ如何ナル方法デヤルカ、先ヅ車輛ノ新造デアリマス、此ノ車輛ノ新造費ニ對シテハ十二年度ニ三千万圓、十三年度ニ七千万圓、十四年度ニ一億二千万圓、尙ホ本豫算ニ對シテ、一億二千万圓ノ計上ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ目下増設工事進行ノ途中ニアル線路ガ各所ニゴザイマス、操車場ノ改良、水陸連絡設備ノ改良、自働信號區間ノ擴張、ソレカラ其ノ他日鮮滿ヲ通ズル輸送ノ計畫、又中島君ノ御承知ニナツテ居リマス東京・下關間ノ幹線増設、サウ云フ各種ノ方面ニ對シテ輸送力ノ増強ニ努ムベク、折角計畫ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○米內國務大臣 東亞新秩序ノ建設ニ伴フ現下ノ國際情勢ヲ能ク考ヘマス時ニ、軍備ノ充實ノ最モ大事デアルト云フコトハ申スマデモアリマセス、而シテ軍備ノ充實ト申シマスケレドモ、其ノ基礎ハ之ヲ國民ニ置カナケレバナラヌデアリマス、國民ノ力無クシテ軍備ノ充實ハ出來マセス、ソコデ戰時國民生活ヲ確保スル爲ニハドウスルカト云フ御質問ガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、是ガ爲ニハ只今關係閣僚ヨリ御答ノアリマシタ通り、要スルニ最モ必要ナル品物ヲ、最モ圓滑ニ配給スル爲ニ、生産モ必要ナコトハヤラナケレバイカヌ配給モ圓滑ニシナケレバイカヌ、又價格ノ方モ考ヘナケレバナラス、斯クシテ供給ノ圓滑ヲ期サナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、更ニ又消費ノ方ノ節約ト致シマシテハ、吾々ハ國民ノ一人ト致シマシテ、餘程考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、一體是

ガ必要デアルト云フ、此ノ「ガ」ハ是ハ絕對デアリマス、是モ必要デアル、アレモ必要デアルト云フ、「モ」ハ必ズシモ必要ナモノデアリマセスカラ、此ノ「ガ」ト「モ」トヲ區別致シマシテ「ガ」ノ方ニ集中スル、是ガ大事デアリマス、ソレトモウ一ツハ吾々ドウ云フコトヲ考ヘナケレバナラヌカト申シマス、第一ニ時局ノ認識ニ伴フ所ノ愛國心ノ發露、犧牲ニ伴フ所ノ節約上ノ信念、是ダケヲ養成シテ行キマスレバ、此ノ苦シイ状態ヲ、所謂本當ノ意味ノ自肅自戒、緊縮ニ依リマシテ突破シテ行クトモ出來ルト確信シテ居ル次第デアリマス

○中島委員 總理大臣初メ各大臣ノ答辯ニ付キマシテハ、遺憾ナガラ満足致シ兼ネマシ、具體的ノ案ニ付キマシテハ何等ノ持合セガナク、唯鐵道大臣一人細カク述べラレマシタケレドモ、是ハ現在ヤツテ居ルコトダケデアツテ、私ノ質問致シマシタ點ハ、飛躍的ニ擴大スル此ノ軍備、六十億ニ近イ所ノ四五箇年間ニヤル軍備ニ對應シテ輸送力ヲ如何ニ増加スルカ、一朝事ガアツタ場合ニ關門海峽ハ固ヨリ、大阪、神戸、其ノ他上陸スベキ青島トカ、塘沽トカ、或ハ太沽トカ、支那滿洲ニ於テモ設備シナケレバイカヌ點ガアルト思ヒマス、關釜連絡初メ、朝鮮ノ鐵道モ中央ヲ二線ニシナケレバイカヌトカ、斯ウ云フヤウナ大キナ意味カラ考ヘマシテ、此ノ軍備改革ヲ實現シ、大陸ニ事ガアツタ場合ニ於テ、ドウ云フ輸送計畫ヲ持ツテ居ルカ、是ガ私ノ問デアル、車輪ガドウシタトカ斯ウシタトカ云フ問題デハナイ、モ少シ國務大臣トシテ大所高所カラ答ヘテ貰ヒタカツタ、總理大臣ノ如キニ至ツテハ、正ニ「ガ」トカ「モ」トカ云フコトデ全然國民ノ

消費ニ對スル所ノ規正ヲ國民ニ指示スル方方法ヲ御存ジタイト言ツテ宜シイデアリマシテ、今ノ御言葉ソレ自身ヲ以テ國民ニ發表致シマシタナラバ、國民ハ失望落膽スルデアラウト私ハ考ヘル、尙モ總理大臣タルモノハ自分ハ斯ウ云フ抱負經驗デ政治ヲヤルノダト云フ憂國ノ大精神ヲ國民ノ心ニ吹キ込ミ又國民ニ對シテ之ニ對應スベキ方法ヲ示スニ於テハ國民ハ喜んで從ツテ行クモノデアリマス、今日ハモウ消費節約ハ說教時代デハナイ說教時代ヲ過ギ去ツテ居ル、唯役人ヤ、役人ノ古手ノ人々ガ絶叫シテ居ル所デ駄目デアル、具體的ニ現ハシテ、斯ウ云フ方法デ、此ノ事ハ斯ウヤラケレバイカヌト云フ所ニ進ンデ居ル、況ンヤ此ノ大キナ軍備計畫ヲ實行シテ行カントスルナラバ國民ニ之ニ對シテ一大覺悟ヲ促ガサナケレバイカヌ、商工大臣ニ於キマシテモ、貿易政策ニ付テモ適當ニヤルトカ、最善ノ努力ヲスルト云フダケノ御話、サウ云フコトナラバ、吾々ハ甚ニ國民ヲ代表シテ承ル必要ハナイ、併シナガラ組閣匈々ノコトデアリマスカラ、吾々ハ死一等ヲ減ジテ置キマス、サウシテ能ク御研究サレテ、國民ヲ安心サセマシテ、此ノ時局ヲ乗切ルヤウニ努力サレンコトヲ私ハ切望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

但シ前ニ申シマシタ保留ノ點ニ付キマシテハ、委員長ニ於カレマシテモ、其ノ發言ノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス、而シテ私ハ尙ホ問ヒタイ點ガ澤山アリマスガ、遺憾ナガラ後ノ人ノ爲ニ之ヲ以テ打切りマス(拍手)

○三土委員長 次ハ窪井義道君

○窪井委員 現下非常時局ニ當リマシテ、

米内海軍大將が組閣ノ大命ヲ受ケラレテ、國政變理ノ大任ニ當ラレマシタコトハ、洵ニ御苦勞ノコトト存ジマス、私ハ國民トシテ此ノ事變處理ニ邁進セラレル決意ヲ承ツテ、出來ルダケ御協力申上ゲントスル者デアリマス、併シナガラ東亞ノ新秩序ノ建設ト申シマスルコトハ、我等日本民族ノ一億同胞ニ課セラレタル、重大ナル歴史的使命デゴザイマシテ、私ハ此ノ意味カラ、此ノ心持ヲ以テ政府ニ虚心坦懐ニ私ノ所信ヲ述ベテ、政府ノ率直ナル御意見ヲ聽カント欲スル者デアリマス、私ノ質問ノ大要ハ事變處理ト、事變處理ヲ廻ツテ帝國ノ外交政策ニ付テ、主トシテ御聽キシタイト存ジマス、更ニ最後ニ國內ノ政治體制ノ問題ニ付テ承リタイト思フノデアリマス、先ツ私ハ一般ノ質問ヲ申上ゲル前ニ、外務大臣ニ承リタイトデアリマスガ、外務大臣ノ本月一日日本會議ニナサレマシタ御演說中ニアツタ國境ノ問題ナノデアリマス、所謂「ソ」滿蒙三箇國ノ國境確定ノ問題デアリマス、此ノ國境確定ノ問題ニ付テ、當日夜外務省情報部ノ發表ニ依リマス「滿蒙國境確定混成委員會ハ昭和十四年（康德六年）十二月七日ヨリ同月二十五日迄「チタ」市ニ於テ又昭和十五年（康德七年）一月七日ヨリ同月三十日迄哈爾濱市ニ於テ前後十六回ニ互リ其ノ會議ヲ開催セルガ右會議ニ於テ日滿代表部及「ソ」蒙代表部ノ國境確定問題ニ關スル見解ハ完全ニ對立セルコト明瞭トナレリ、右雙方見解ノ完全ナル對立ニ鑑ミ委員會ハ久保田日本委員主催ノ下ニ開催セラレタル一月三十日ノ最終會議ニ於テ其ノ義務ヲ終了スルコトニ決定セリ」此ノ國境確定ノ問題ハ解消シタノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、外務大

臣ニ御伺シタイト思ヒマス

○有田國務大臣 發表ニモゴザイマス通り、意見ガ完全ニ一致ヲ見ルニ至ラナカッタ爲ニ、臨時國境確定委員會ノ任務ヲ終了シタト云フコトニナツテ、一應其ノ問題ハ尙ヲ付ケタコトニナツテ居ルノデアリマス

○窪井委員 一應尙ヲ付ケタコト申サレルコトハ、確定委員會ガナカッタ同様ナ、白紙ノ狀態ニ返ツテ滿「ソ」ノ間ニ於テハ國境ノ問題ニ付テ、今何等日本政府ト「ソ」聯ト及ビ滿洲國トノ間ニ協定シタル事實ガナイ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○有田國務大臣 御承知ノ通り國境確定ノ問題ニ付キマシテハ、全線ニ互ル國境確定ノ問題ト「ソ」モンハンノ事件ニ關聯シテ、アノ地方限リノ國境確定ノ問題ト二ツアルノデアリマス、ソノモンハンノ事件ニ依ツテアノ方面ノ國境ヲ確定シマスノハ、臨時國境確定委員會ト云フモノガ、アノ停戦ノ話合ノ際ニ出來タノデアリマス、是ハアノ方面ダケノ國境ヲ確定スル委員會デアリマス、モウ一ツハ全線ニ互ル國境確定ノ委員會デアリマ

スルガ、是ハ委員會ヲ構成スルト云フコトニ「ソ」兩方ノ意見ガ一致シマシテ、唯委員會ノ構成ヲ如何ニスルカト云フコトガ問題トナツテ居リマス、目下其ノ話合中デアリマシテ、委員會ハマダ出來テ居ナイノデアリマス、ソコデ「ソ」モンハンノ附近ノ國境確定ハ、臨時國境確定委員會デ取上ゲテ、先程申上ゲマスルヤウニ、話合ヲシテ居ツタノデアリマスルガ、其ノ話合ガ付カズシテ、臨時委員會ノ任務ハ終了致シタコトニ相成リマシタノデ、其ノ委員會トシテハモウナクナツタ譯デアリマスカラ、再ビ此ノ問題ヲ取上ゲ得ナイノデアリマスカ、併シ國

境問題ト致シマシテハ、或ハ「モスコ」レデ此ノ話合ヲ續ケルナリ、或ハ近ク成立スルデアラウカト思ハレル一般ノ國境委員會デ、此ノ仕事ノ一部トシテ之ヲヤルト云フコトハ、マダ確定シテ居ラヌノデアリマ

スガ、アリ得ナイ所デアハナイノデアリマシテ、全然モウ此ノ話ハシナイデシマフコトニナツタノデアハナイノデアリマス

○窪井委員 外務大臣ノ御答辯デハ「ソ」モンハンノ附近ニ於ケル國境問題ハ、解消致シタト云フコトデゴザイマス、ソコデ私ハ改メテ外務大臣ニ御伺致シタイトデアリマ

スガ、外務大臣ハ本月一日、本會議ニ於ケル御演說ニ於テ、國境問題ハ昨秋「ソ」モンハンノ事件ニ關シテ停戦協定ノ成立ヲ見タルニ續イテ、舊曆以來紛争地域ニ於ケル國境確定ノ爲、關係國間ニ臨時滿蒙國境確定委員會ノ開催ヲ見ルニ至ツタガ、政府ハ單ニ「ソ」モンハンノ附近ノ國境ノミナラズ、滿「ソ」滿蒙國境全線ニ互リ國境ヲ確定シテ紛争ノ防止ニ資スルト共ニ、國境附近ニ發生スベキ紛争ノ平和的解決ヲ圖リ、以テ極東國境全線ノ平和化ヲ實現シタイト所存デア

ルノデアリマスカ、一體是ハ外務大臣ハ國境問題ガ解消シタト云フコトヲ御存ジデ、此ノ御演說ヲナサツタノデアリマスカ、本會議ニ於ケル外務大臣ノ御演說ト云フモノハ、閣議ノ決議ヲ經マシテ、更ニ最高ノ慎重ナル態度ヲ執ツテナサルベキコトハ申スマ

デモアリマセヌ、然ルニ此ノ演說ノ事實ハ、既ニ全ク解消シテ居ツテ、其ノ解消シタ事實ハ、「ソ」聯政府ガ「タス」通信社ヲ通ジテ、正式ナル「ソ」通信社ニケルヲ發表シテ居ル、既ニ三十日「ソ」聯通信社ノ發表ヲ見テモ日「ソ」兩國ノ見解ニ著シキ相違ガアリ、全ク相背馳シテ居ルコトガ明瞭トナツタ爲ニ、解消シタト云フコトヲ發表シテ居ルノデアリマス、私ハ外務大臣ハ三十日ニ解消シタ事實ヲ知ツテ居ラレテ、此ノ御演說ヲナサツタノデアリマスカドウカト云フコトヲ、一應承ツテ置キタイトデアリマス

〔正確ナルコトガ分ラナケレバ一時休憩シテハドウデスカ、曖昧ナコトハ此ノ場合甚ダ迷惑致シマス〕ト呼フ者アリ

○三土委員長 外務大臣ドウデスカ

○有田國務大臣 當時幾多ノ折衝ヲ重ネテ居リマシテ、一時妥協ノ氣運ガ非常ニ濃厚ニナツテ來テ居ツタノデアリマス、ソレガ實際ニナツテ、「ソ」聯側デ此ノ妥協案ヲ認メナイト云フコトニナツテ、急ニ決裂致シタノデアリマス、只今正確ナ會議終了ノ事實ヲ取調中デアリマスカラ、其ノ點ハ後デ御返事致シマス

○窪井委員 申スマデモナク總理大臣、大藏大臣、外務大臣ノ本會議ニ於ル御演說ハ、最高ノ慎重ナル態度ヲ執ツテサレタモノデアリマシテ、事實ニ相違スルコトガゴザ



イマシタナラバ、私ハ非常ニ重大ナル結果ニナルト思フデアリマス、政府ニ於カレマシテモ、慎重ニ御取調ノ上デ御返事ヲ願ヒタイト思ヒマス

私ハ陸軍大臣ニ御伺シタイノデアリマスガ、同日ノ陸軍大臣ノ御演説ノ中ニ「併シ國境確定ニ付テハ相當困難ヲ豫想セラルルノミナラズ、國境ノ他ノ部分ニ於ケル「ソ」聯側ノ不法行為ハ、依然トシテ其ノ跡ヲ絶タズ」ト述ベテ居デニナルノデアリマスガ、此ノ國境問題ハ「ノモンハン」ニ於キマシテモ一万數千名ノ死傷者ヲ出シテ、血ヲ以テ埋メラレタ線デアリマス、此ノ線ニ對シテ國民ガドレダケ關心ヲ持ツテ居ルカト云フコトハ、私ガ申スマデモナイノデアリマス、

義ニ張鼓峰ノ問題ガ起リ、又「ノモンハン」ノ問題ガ起リ、只今申シタ通り陸軍大臣ノ御演説ニモアツタ如ク、頻々トシテ數十件モ「ノモンハン」協定以來此ノ國境ノ問題ガ起キテ居リ、國民ノ關心ハ日「ソ」ノ間ノ國境線ガ如何ナル風雲ヲ捲起スカ、其ノ間ニ間違ヒガナケレバ宜イガト云フコトハ、日支事變ヲシナガラ常ニ念頭カラ去ラナイノデアリマス、此ノ問題ニ付テ陸軍大臣ハ今述ベリマス、此ノ問題ニ付テ陸軍大臣ハ今述ベリマス、此ノ問題ニ付テ陸軍大臣ハ今述ベリマス、

ト言ツテ居デニナリ、一方ニ於テ外務大臣ハ國境ノ確定ニ付テハ今交渉ヲシテ居テ、平靜化ニナラントシテ居ルト言ハレテ居ル、ドウモ私ハ其ノ二人ノ大臣ノ演説デハ、何カ其ノ國境ニ對スル見透シガ違ツテ居ルヤウニ感ゼラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ陸軍大臣ノ御所見ヲ改メテ御伺シタイト思ヒマス

○烟國務大臣 「ソ」滿國境確定ノ問題ハ、現地ノ交渉ヲ離レマシテ外交々渉ニ移ツタ

ノデアリマス、隨テ其ノ外交々渉ノ細部ハ、私ト致シマシテハ詳シイ報告ヲ聽イテ居リマセヌ、唯「ソ」滿國境ニ於キマシテハ彼我ノ兵力ヲ以テスル衝突ハ、其ノ後二回バカリシカアリマセヌ、是ハ僅カノ部隊デアリマスガ、其ノ後ハ頻々トシテ越境ヲスル、斥候ガ來レバコチカラ射撃スルト云フヤウナ事故ガ始終アリマシテ、ソレガ總件數十件ニナルノデアリマスルカラ、此ノ國境問題ト云フモノハ、相當難カシイモノデアルト云フ考ヲ私ハ抱キマシテ、アノ時ニ戰況トシテ報告ヲシタノデアリマス

○窪井委員 私ハ更ニ外務大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、外務大臣ハ先程ノ御話ノ中ニ、國境ノ問題ニ付テハ全面的ニ之ヲ確定スルヤウニ努力スルト言ハレタノデアリマスガ、私ハ出來ルダケ此ノ國境ノ問題ニ付テハ「ソ」聯政府ト交渉ナサイマシテ、是ノ決定ハ別トシテ沙漠ノヤウナ所ハ一時ハドツチニナラウトモ大シタコトハナイト思フノデアリカラ此ノ問題ニ付テ早ク線ヲ確定致シマシテ、日「ソ」ノ國境ノ問題ニ付テ紛争ノナカラシコトヲ希望スルノデアリマス、此ノ點ニ關シテ外務大臣ハ將來如何ナル御考ヲ國境確定ニ付テ持ツテ居デニナルカ、改メテ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○有田國務大臣 先程ノ陸軍大臣ヘノ御質問ニ關聯シテ、一寸申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、陸軍大臣ガ御話ニナツタヤウニ、國境ノ各所ニ於テ色々ナ衝突事件ガ今日續發シテ居ルト云フコトハ、事實デアリマシマス、併シ是アルガ爲ニ實ハ國境ノ確定ト云フコトガ、必要ニナツテ來ルノデアリマス、國境ノ不明確デアル爲ニ、其

ノ線ヲ越シタトカ越サストカ云フヤウナ問題ガ起キルノデアリマス、現ニサウ云フ風ナ幾多ノ事件ガ起キツツアリマスガ、成ベク早ク國境ヲ確定スルヤウニシテ、サウシテ一般ノ平靜化ヲ圖リタイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ國境確定ハ一日モ速ニ其ノ事業ヲ完了スベキモノデモアルシ、又スル必要ガアルノデアリマスガ、何ヲ申シマシテモ國境ハ御承知ノヤウニ非常ナ長イ線ニナツテ居リマスノデ、是等ノ現地ニ就テ色々色々ナ雙方ノ言分主張ヲ照シ合セテ、確定シテ行クト云フ風ナコトニ付テハ、實ハ相當ナ困難、相當ナ時日ヲ要スルト思フノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ出來ルダケノ努力ヲシテ、成ベク速ニ國境ヲ確定ニ至ラシメタイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○窪井委員 私ハ次イデ日支事變處理ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シマス、先ツ第一ニ總理大臣ニ御伺ヒ申上ゲマス、此ノ日支事變處理ノ問題ハ、申スマデモナク數次ノ近衛聲明ニ依リマシテ、我國ノ態度ハ確乎不拔ナルモノデゴザイマス、私ハ此ノ事變處理ノ近衛聲明ニ付テ、逐次御質問申上ゲタイト思フノデアリマスガ、先ツ此ノ事變ハ何故起ツタカト云フ原因カラ述ベテ見タイト思フノデアリマス、此ノ原因ヲ述ベマスコトニ依ツテ、日支事變ガ起キタ其ノ原因ヲ確認スルコトガ、即チ日支事變ノ解決ニナルト考ヘルカラデアリマス、私ノ見ル所ニ依リマス、日支事變ノ第一ノ原因ハ所謂蔣介石ガ力ト力トノ抗争ノ態度ニ出タコトデアリマス、抗日ノ思想ヲ國民ニ徹底的ニ植付ケマシテ、軍備ヲ充實シ、強力ナル國軍ヲ作ツテ、力ヲ以テ日本ニ對抗スル方針ヲ執

ツタコトガ、先ツ第一番ダラウト思フノデアリマス、而シテ蔣介石ハ其ノ目的ヲ達スル爲ニ、支那ニ於ケル共產黨ト手ヲ握リマシテ、所謂抗日人民戦線ト手ヲ握ツテ人民戦線ヲ作り、此ノ兩者ノ所謂國共合作ニ依ツテ、更ニ抗日ノ勢ヲ強メテ參ツタノデアリマス、一方ニ蔣介石ハ英、米、佛諸國ノ援助ヲ求メテ、是等ノ國カラ資金ノ融通ヲ受ケ、或ハ將校ヲ招聘シ、軍器ヲ輸入致シマシテ、國軍ノ擴充ニ努メル、斯ウ云フヤウナ總テノ要素ガ第一ニナリマシテ、所謂力ト力トノ抗争ノ「イデオロギー」ノ下ニ國民黨ヲ指導シテ參ツタノデアリマス、之ヲ爲スコトガ、即チ吾々日本ガ考ヘテ居リマシヤリ方カラ見ルト、非常ニ危險ナルヤリ方デアリ、又全然相反シテ居ルノデアリマシテ、日本ノ考ヘテ居ツタコトハ、申スマデモナク、日本ノ長所ト支那ノ長所ト互ニ相結合セテ、之ヲ發揮シテ、支那ト協力ヲ致シマシテ、東洋ノ平和ヲ維持セントシテ居ルノガ、日本ノ所謂日滿支一體ノ相互聯關的政策デアツタノデアリマス、日本ハ平和ノ裡ニ善隣友好ノ關係ヲ結バントシタノデアリマスガ、蔣介石ノ所謂力ト力トノ對立觀、此ノ對立觀ト日本ノ日滿支協同體ノ根本觀念トガ相反シテ居ルコトガ、此ノ事變ヲ起シタ最大ノ原因ト思フノデアリマスガ、總理大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○米內國務大臣 只今ノ御質問ハ要點ガ三點アツタト思ヒマスルガ、御質問ノ要旨ニハ御同感デアリマス

○窪井委員 次ニ私ハ此ノ事變ノ起キタ原因ハ、英米佛等、主トシテ英國ガ主ニナツテ居リマスルガ、多年支那ニ植付ケタ所ノ勢力ヲ維持シテ、其ノ權益ヲ擁護スル爲ニ

蒋介石政権ト云フモノト握手シテ、又ソレヲ  
支援シテ、何處マデモ現狀維持ノ態度ヲ執  
ツテ參ツタ、隨テ支那ヲ半植民地トナシテ來  
通リノ取扱ヲ維持セントシテ態度ニ對シテ、  
日本ハ申スマデモナク所謂滿洲國ノ獨立ヲ  
見、其ノ滿洲國ト日本ト支那ト、三ツガ一  
ツニナツテ、此ノ東洋ノ平和ヲ來サントス  
ル此ノ現狀打破ノ觀念ト相反シテ居ルト云  
フ點ガ、事變ヲ起シタ原因ノ一ツト思ヒ  
マスガ、總理ハサウ御考デアリマスカ  
○米内國務大臣 只今ノ問題ハ國際關係ノ  
機微ナル點ヲ顧ミマシテ、此ノ席ニ於テハ  
御答ヲ保留致シマス  
○窪井委員 私人總理ガ保留サレルト云フ  
コトハ、ドウモ承服シ難イノデアリマス、  
私ガ御質問申上ゲタコトハ、所謂新秩序建  
設ト云フコトハ、今マデノ支那ノ狀態ヨリ  
別個ノモノヲ作り出ス、支那ガ今マデ多年  
歐米ノ勢力ニ依ツテ壓迫サレ、擄取サレ、  
サウシテ不法ナル色々ノ權益ニ苦シメラレ  
テ居ツタコトハ事實ナシデアリマス、而シ  
テ此ノ中ニ起キタ一番大キナモノガ滿洲國  
ノ獨立デアアル、更ニ日本ガ已ムヲ得ズ途ニ  
軍ヲ進メテ四百餘州ニ戰フト云フコトハ、  
斯ウ云フ舊狀態ヲ打破シテ、新シキモノヲ  
生マントスル所謂日本ノ本當ニ支那ヲ愛ス  
ル精神カラ出テ來テ居ル、茲ニ私ハ新秩序  
ノ建設ナリ、聖戰ノ目的ガ存スルノダト思フ  
ノデアリマス、之ニ對シテ私ハ總理ガ保留  
サレルト云フコトハ、ドウ云フ譯デ保留セ  
ラレルノカ諒解ニ苦シムノデアリマスガ、  
御答辯ガナケレバ保留デ結構デアリマス、  
私ハサウ信ジテ居ルノデアリマス、其ノ次  
ハ申スマデモナク支那ニ於ケル所ノ所謂共  
産黨、此ノ思想デアリマス、私ハ是等ノ三

ツノ原因ト云フモノガ、今次事變ノ原因ヲ  
成シタコトト思フノデアリマシテ、又天下  
殆ド此ノ三ツノ原因ニ付テ疑フ者ハ私ハナ  
イト思フ、隨テ此ノ原因ヲ一掃スルコトガ  
事變ノ目的デアリ、戰爭ノ目的デアリ、又  
日本ノ使命デアアルノデアリマス、私ハ此  
ノ觀點ニ立ツテ御質問申上ゲタイノデア  
リマス  
先ツ第一ニ質問申上ゲタイコトハ、隨  
テ此ノ原則カラ考ヘテ見マスルト、蔣介石  
政権ヲ打倒スル、是ハ勿論デアリマス、近衛  
聲明ニハ國民政府ヲ對手ニセズト謳ツテ居  
リマス、對手ニセズト云フコトハ、國民政  
府ノ考ヘテ居ル考ヘ方、詰リ容共抗日ノ思  
想ト、日本ガ持ツテ居ル東亞新秩序ノ思想  
ト相反シテ居ル、デアアルカラ國民政府ヲ對  
手ニセズ、ソレハ私ガ申スマデモナイノデ  
アリマスルガ、此ノ國民政府ヲ對手ニセズ  
ト云フコトニ付テ、更ニ近衛聲明ハ蔣介石  
ガ其ノ本質ヲ改メテ、全部内容ヲ變ヘテ、  
所謂下野ヲ致スト申シマスルカ、其ノ性格ヲ  
變ヘテ來タナラバ、之ヲ敢テ拒ムモノデハ  
ナイト云フコトヲ申シテ居リマスルガ、蔣  
介石ガ如何ナル條件ニ於テ頭ヲ下ゲテ來タ  
時ニハ、日本政府ハ之ヲ新シタ生レントス  
ル新興政府ニ入レテヤル御積リデアアルカ、  
此ノ點ニ付テ總理大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置  
キタイト思ヒマス  
○米内國務大臣 ソレハ近衛聲明ニモアリ  
マス通り、國民政府ガ改組改宗若クハ改替  
ヲシテ個人的ニ入ツテ來ルナラバ、ソレハ  
入レテモ宜イ、蔣介石亦然リデアリマス、  
要スルニ國民政府トシテノ性格ヲ變ヘテ來  
ル、或ハ國民黨トシテモ改組改宗ヲスルト  
云フヤウナコトデアレバ、傘下ニ入レテモ

宜シイ、斯ウ云フ意味デアリマス  
○窪井委員 此ノ點極メテ重要ナル點デア  
リマシテ、蔣介石ト今ハ戰フシテ居ルノデ  
アツテ、蔣介石ノ奴ガヘコラレテ日本ニ降  
參スルナラ、ドウ云フ場合ニアイツガ降  
參スルガラウカト云フ點デアリマシテ、戰  
争ノ相手方ガ日本ニ屈服スル、日本ハ之ヲ  
許シテヤルト云フコトニ對シテ總理大  
臣ガ明確ナ指針ヲ示サレタコトハ、私共  
感謝申上ゲル次第デアリマス、次ニ私ハ近  
衛聲明ニアル通りニ、近衛聲明ニ支那  
ニ於ケル具限ノ士ガ東洋平和ノ爲ニ起  
ツテ、新興中央政権ヲ作ルコトヲ希望  
スル、ソレハ蔣介石政権ト云フモノガ、  
本質的ニ日本ノ主張ト相容レナイカラ、我  
等ハ新シキ政権ヲ作ツテ、是ト手ヲ握ルト  
云フコトデアリマスガ、是ハ此ノ事變ノ處  
理ノ上ニ於テ最重要ナルコトデ、私共ハ近  
ク成立セントシテ居ル汪兆銘政権ニ付キマ  
シテハ、一日モ速ニ其ノ立派ナル政府ノ建  
設ヲ希望シテ居ル者デアリマス、此ノ汪兆  
銘政権ニ付キマシテモ、是モ既ニ第三次近  
衛聲明ニ於テ聲明サレタ善隣友好、共同防  
共及ビ經濟提携ノ三原則ヲ以テ、此ノ新政権  
ニ當ルト云フコトヲ示サレテ居ルノデアリ  
マスカラ、新政権ノ性格ト云フモノハ既ニ  
吾々ハ大體ヲ窺フコトガ出來ルノデアリマ  
ス、併シナガラ最近日本政府ガ決定シマシ  
タ所ノ基本原則ニ付テ、私共ハ之ヲ伺フコ  
トガ出來マセスカラ、汪兆銘政権、近ク出  
來ントスル支那ノ中央政権ノ性格、及ビ其  
ノ政權ガ如何ナル方針ヲ持チ、如何ナル態  
度デ國際間或ハ日本ニ臨マントスルカト云  
フコトノ細目ニ付テ、吾々ハ承知スルコト  
ハ出來ナイノデアリマス、既ニ私ハ願議ニ

依ツテ決定ヲ致サレタ此ノ基本原則ニ付テ、  
之ヲ速ニ此ノ豫算總會ニ、秘密會デモ結構  
デアリマスガ、發表サレルトニ依ツテ汪  
兆銘政権、事變處理ト云フコトニ對シテ、  
私共議員ガ豫算ノ檢討ノ上ニモ、又事變處  
理ノ上ニモ、非常ニ仕合セナノデアリマス  
ガ、總理大臣ハ此ノ基本條項ヲ何時御發表  
ニナル御積リデアリマセウカ、是ハ色々國  
際間ノ事情、事變ノ關係ガアルト思ヒマス  
ルガ、私ハ一日モ早ク之ヲ御發表ニナルコ  
トヲ切望致スノデゴザイマスガ、總理大臣  
ノ御所見ヲ承ツテ置キタイ  
○米内國務大臣 成ベク早ク適當ノ機會  
ニ發表致サウト思ツテ居リマス、多分二三  
日ノ中ニ此ノ席デ、或ハ秘密會等ヲ要求致  
シマシテ發表スル段取ニナルト考ヘテ居リ  
マス  
○窪井委員 次ニ私ハ總理大臣ニ御何致シ  
タイノデアリマス、先程私ガ事變ノ原因ノ  
第二トシテ擧ゲマシタコトニ付テ、總理大  
臣ハ答辯ヲ保留サレテ居ルノデアリマスガ、  
此ノ事變處理ハ、即チ多年支那ガ半植民地  
的ヲ取扱フ受ケテ、所謂被壓迫ノ狀況カラ  
支那四億ノ民衆ヲ救ヒ出シテ、言葉ヲ換ヘ  
テ言ヒマス、擄取主義ノ桎梏カラ解放シ  
テヤルコトガ、日本民族ニ課セラレタル、  
東洋民族ヲ生成化育セシメル大使命デア  
ルト考ヘル、是ガ即チ近衛聲明ニアリマス支  
那ニ於ケル新文化ノ建設ト云フコトデア  
ウト私ハ思フ、又我國ガ戰ヲ致シマシテモ、  
領土モ取ラズ、賠償金モ取ラズ、所謂支那  
ノ民ヲ自由ナ民ニシテヤリ、東洋ヲ歐米ノ  
壓迫カラ解放シテ本當ノ東洋ノ新文化ヲ建  
設セン、是ガ私ハ東亞新秩序建設ノ主ナル  
目標デアルト考ヘル、就キマシテハ、今日

支那ニ於ケル英米等ノ現狀維持ノ態度ヲ  
變革シテ、新シイ秩序ヲ建設スルコトガ  
此ノ事變ノ目的デアアル、又是ガ存在スルコ  
トガ事變ノ起ル禍根ヲ成シタモノダト思フ  
ノデアリマスガ、今日租界其ノ他從來無理  
ニ壓迫シテ獲得シタル支那ニ於ケル所謂第  
三國ノ權益ニ付テ、列國ヲシテ十分ノ新秩  
序建設ニ付テ了解セシメテ、サウシテ此ノ  
新秩序建設ノ精神ニ違反セザルヨウ、而モ  
之ニ協力スルヨウ、正シイ状態ニ引戻スコ  
トニ努力スルコトガ日本ノ大キナ務ドラウ  
ト私ハ思フノデアリマス、隨テ之ヲ何等努  
力セズシテ、此ノ事變處理ニ協力セシメナ  
イデ其ノ儘ニシテ置クコトハ禍根ヲ千載ニ  
貽スモノデアアル、アノ複雑ナ支那ニ全國ニ  
互ツテ歐米ノ權益ノ網ガ張ラレテ居ル、其  
ノ網ノ中ヲ潜ツテ今我が日本軍ハ戰爭ヲシ  
テ居ル、之ヲ其ノ儘ニシテ置キマシテ、復  
タ斯ウ云フ事變ノ如キ戰爭ヲ見ルヤウナ禍  
根ヲ將來ニ貽スコトハ、此ノ事變ノ解決上  
ニ於テ極メテ不當デアアル、又サウ云フ考へ  
方ハ惡イ考ト私ハ思フノデアリマス、勿論  
第三國ノ權益ノ中ニ事變處理ノ精神ト合致  
スルモノガアルナラバ、之ヲ尊重スベキモ  
ノデアアルコトハ當然デアリマスガ、苟モ事  
變處理上支障ヲ來シ、又ハ妨害トナルベキ  
モノハ斷乎トシテ之ヲ排撃致スノガ當然ダ  
ラウト思フノデアリマス、第一次近衛聲明  
ニアル列國ノ權益ヲ尊重スル方針ト云フモ  
ノハ、是ハ何デモナイ權益ヲ退ケト言フノ  
デハナイノデアリマシテ、是ハ毫モ變  
ルコトガアツテハナラナイト私ハ思フ、  
併シナガ列國ガ蔣介石政權ヲ露骨ニ援助  
シ、又戰爭ノ遂行ニ支障ヲ與ヘルガ如キ國  
國ノ權益ニ付テハ之ヲドウナサル積リデア

ルカ、近衛第三次聲明ニ於テハ、特ニ善意  
ノ第三國ノ利益ヲ制限スルガ如キコトハ主  
張シナイト言ツテ居リマスガ、善意ト云フ  
コトハ如何ナル意味デアアルカ、此ノ點ニ付  
テ總理大臣ニ御伺シ、更ニ善意ナラザル第  
三國ノ權益ニ付テハ、政府ハ之ヲ如何ニ取  
扱フ積リデアアルカ、此ノ點ヲ私ハ總理大臣  
及ビ外務大臣ニ御答辯願ヒタイト思ヒマス  
○米内國務大臣 先程御答辯ヲ保留致シマ  
シタノハ、特定ノ國ヲ指名サレタ故デアリ  
マス、ソレカラ東亞新秩序ノ建設ト云フノ  
ハ、是ハ所謂盟國ノ大理想、アノ聖旨ヲ以  
テ行クベキダト云フコトハ申スマデモアリ  
マセス、ソコデ其ノ理想ニ從ツテ東亞ノ新  
秩序ノ建設ヲヤル爲ニ、惡意ヲ以テ妨碍ス  
ルモノガアルナラバ、ソレハ斷然排撃スベ  
キデアアルト考ヘルノデアリマス、近衛聲明  
ニモアリマス通り、第三國ノ權益ハ尊重ス  
ル、ソレカラ第三國ニシテモ日本ノ意ノ在  
ル所ヲ能ク了解シテ支那ニ於テ資本等ノ投  
下ヲヤル場合ニ於テハ、是ハ敢テ拒否シナ  
イノダト云フコトモ昨々ニ言ツテ居リマス、  
之ヲ要スルニ、色々租界問題デアルトカ、  
其ノ他ノ問題ニ付キマシテ、善意デアアルモ  
ノハ之ヲ受容シヨウ、其ノ反語ハ、惡意デ  
アルモノハ之ヲ排撃スル、斯ウ云フコトニ  
ナルノデアリマス、租界其ノ他ノ問題ニ付  
キマシテハ、尙ホ將來ノ情勢ヲ能ク判斷致  
シマシテ、適當ニ考慮シタイト考ヘテ居リ  
マス

テ居ルコトハ、支那四億ノ民衆ヲ塗炭ト戰  
禍ノ奈落ニ陥レルモノデアルト言ツテ、斷  
然トシテ重慶政府ヲ脱出致シマシテ、一家  
眷族ノ生命ノ危險ヲ顧ミズシテ、東奔西走  
シテ居ル其ノ勇氣ニ對シテ、私ハ恰モ明治  
ノ初メニ維新ノ志士ガ妻子眷族ヲ顧ミズ生  
命ヲ捨テテヤツタアノ雄キシイ妻ヲ想ヒ浮  
ベテ、同情禁ジ得ザルモノガアルノデアリ  
マス、是ガ日本ト一體トナツテ支那ノ再  
建、所謂東亞新秩序ノ黎明ヲ造リ、段階ヲ  
造ルノデゴザイマスガ、汪兆銘政權ガ出來  
マシタ場合ニ、日本政府ハ直チニ之ヲ承認  
シテ、大使或ハ公使ヲ交換スル御考ガアル  
カドウカ、又新政權ト一體デアアルカラ是ト  
軍事同盟ヲ結バレル用意ガアルカドウカ、  
又新政權ガ成立シタ時ニハ、支那ニ於ケル  
日本ノ租界ヲ適當ナ機會ニ新政府ニ返シテ  
ヤル用意ガアルカドウカ、是ハ近衛聲明ニ  
モ書イテアルノデアリマスガ、第三國ノ租  
界ヲ併セテ支那ニ返スヨウニ日本ガ努力  
シテヤル用意ガアルカ、前議會デアリマシ  
タカ、平沼首相ハ我國ノ租界ヲ返ス用意ガ  
アル、又外國租界ニ對シテモ、之ヲ何トカ  
シナケレバナラヌト云フコトヲ言明シテ居  
ラレタノデアリマスガ、總理大臣ノ御所見  
ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○米内國務大臣 新中央政府ガ樹立サレマ  
シテ、ソレガ速ニ整理ガ出來、其ノ基礎ノ  
鞏固ナランコトヲ欲スルノデアリマス、其  
ノ曉ニ於キマシテ新中央政府ヲ認メテ、公  
使ト申シマスカ、大使ト申シマスカ、ソレ  
ヲ遣ルコトハ當然ノコトト思ツテ居リマス、  
次ニ軍事同盟云々ノ御話ニ付キマシテハ、  
是ハ言明ヲ避ケタイト思ヒマス

テ居ルコトハ、支那四億ノ民衆ヲ塗炭ト戰  
禍ノ奈落ニ陥レルモノデアルト言ツテ、斷  
然トシテ重慶政府ヲ脱出致シマシテ、一家  
眷族ノ生命ノ危險ヲ顧ミズシテ、東奔西走  
シテ居ル其ノ勇氣ニ對シテ、私ハ恰モ明治  
ノ初メニ維新ノ志士ガ妻子眷族ヲ顧ミズ生  
命ヲ捨テテヤツタアノ雄キシイ妻ヲ想ヒ浮  
ベテ、同情禁ジ得ザルモノガアルノデアリ  
マス、是ガ日本ト一體トナツテ支那ノ再  
建、所謂東亞新秩序ノ黎明ヲ造リ、段階ヲ  
造ルノデゴザイマスガ、汪兆銘政權ガ出來  
マシタ場合ニ、日本政府ハ直チニ之ヲ承認  
シテ、大使或ハ公使ヲ交換スル御考ガアル  
カドウカ、又新政權ト一體デアアルカラ是ト  
軍事同盟ヲ結バレル用意ガアルカドウカ、  
又新政權ガ成立シタ時ニハ、支那ニ於ケル  
日本ノ租界ヲ適當ナ機會ニ新政府ニ返シテ  
ヤル用意ガアルカドウカ、是ハ近衛聲明ニ  
モ書イテアルノデアリマスガ、第三國ノ租  
界ヲ併セテ支那ニ返スヨウニ日本ガ努力  
シテヤル用意ガアルカ、前議會デアリマシ  
タカ、平沼首相ハ我國ノ租界ヲ返ス用意ガ  
アル、又外國租界ニ對シテモ、之ヲ何トカ  
シナケレバナラヌト云フコトヲ言明シテ居  
ラレタノデアリマスガ、總理大臣ノ御所見  
ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

ラ色々情勢モ變ルコトデアリマセウシ、又  
考慮シナケレバナラヌコトモアルト思ヒ  
マス、是ハ考慮スルト云フ御返事ヲ致シマ  
ス

○窪井委員 更ニ私ハ防共ノ點ニ付テ御覽  
問申上ゲタイノデアリマス、ソレハ申スマ  
デモナク支那事變ノ原因ヲナシタ重要ナル  
點デアリマシテ、支那ニ於ケル「コミンテ  
ルン」ノ擊滅ト云フコトハ日本ノ戰爭ノ大  
キナ目的デアアルノデアリマス

（委員長退席石坂委員長代理著席）  
支那ニ於ケル共產黨ハ非常ニ因縁ガ蔣介石  
トモ結バレテ居リ、又一番初メ「ソ」聯ノ代  
表「ヨッフエ」ト國民黨ノ首領ノ孫文トガ連  
「ソ」容共ヲシタコトニ依ツテ始マル程、支那  
ト共產黨ト云フモノハ相結バレテ離レザル  
因縁ヲ持ツテ居ルコトハ私ガ申上ゲルマデ  
モナイノデアリマス、此ノ共產黨ノ問題デ  
アリマスガ、日本ガ徹底的ニ東洋カラ此ノ  
共產黨ノ入ツテ來ルコトヲ擊滅セントシテ  
居ツテ、更ニ日本ノミナラズ是ト志ヲ同ジウ  
致シマスル國ガアルナラバ、ソレト手ヲ握ツ  
テ互ニ防共ノ態度ニ出タイト云フコトヲ  
考ヘテ、即チ日獨防共協定ガ出來タノデゴ  
ザイマス、日獨防共協定ガ出來タ時ノ日本

ノ國民ノ喜ビハ、小石川ノアノ野球ノ「ス  
タジウム」デ澤山ナ人ガ集ル程、全國民ノ  
感激ハ口デ言ヘナイ程ノモノガアツタノデ  
アリマス、是ハ恐ラク私ハ日英ノ同盟ノ三十  
年モ績イテ居ツタモノガ歐洲大戰後破レテ、  
所謂同盟國ト云フモノガナカツタ、孤立ノ  
日本デアツタ時ニ、防共ノ精神ニ付テ考テ  
同ジウスル所ノ國ガ歐羅巴ニ出來タ、是ト  
手ヲ握ルト云フコトハ所謂歐羅巴ニ於テ強  
國獨逸ト日本ト手ヲ握ツテ、國際間ニ二人  
歩ンデ行クト云フ強味ヲ日本ガ感ジタト云  
フコトニ於テ、國民ガ非常ナ感激ヲ致シタ  
コトト考ヘルノデアリマス、更ニ翌年ニハ  
事變中ニ伊太利ガ之ニ加ハリマシテ、日獨  
伊三國ノ防共協定ガ出來タノデアリマス、  
此ノ防共協定ガ出來タコトニ付キマシテ第  
三次ノ近衛聲明ニ斯ウ云フコトヲ言ツテ居  
ラレル、「東亞ノ天地ニハ、コモンテレン」勢  
力ノ存在ヲ許スベカラザルガ故ニ、日本ハ  
日獨伊防共協定ノ精神ニ則リ、日支防共協  
定ノ締結ヲ以テ日支國交調整上喫緊ノ要件  
トス」ト云フコトガ書イテアルノデアリマ  
スガ、外務大臣ハ此ノ日獨伊防共協定ガ今  
日ト雖モ事變處理上ニ於テ喫緊ノ要件ナリ  
ト御考ニナリマスカ

○有田國務大臣 防共ト云フコトハ日本ノ  
國策デアリマシテ、此ノ目的ヲ達シマスル  
爲ニハ、出來ルダケ多クノ志ヲ同ジウスル  
國ト提携ヲシテ行クト云フコトガ必要デア  
ルノデアリマス、支那ヲモ此ノ協定ノ中ニ  
入レル、或ハ日本ト支那ト獨立ニ協定ヲス  
ルカ、兎ニ角其ノ防共ト云フ精神ヲ結合シ  
テ行クトガ時局ヲ解決シ、又日滿支ノ結  
合ヲ鞏固ナラシムル途デアルト考ヘテ居ル  
ノデアリマス

○窪井委員 外務大臣ノ本會議ニ於ケル御  
演說中ニモ「日獨伊ノ關係ハ防共協定締結  
以來親交ヲ加ヘ來ツタノデアリマスガ、支  
那事變ニ際シ獨伊兩國官民ガ我國ニ寄せ來  
ツタ同情ト聲援トハ、國民ノ特ニ感謝シツ  
ツアル所デアリマス、帝國政府ノ防共ノ方  
針ハ不變デアリマシテ、此ノ方針ニ從ヒ防  
共協定調印諸國トノ間ニハ、從來通り緊密  
ナル關係ヲ維持シテ行キタイ」ト述ベラレ  
テ居ルノデアリマス、緊密ナル關係ト云フ  
ノハ單ナル外交上ノ文字デゴザイマスカ、  
更ニ進ンデ日獨伊ノ外交ノ關係ノ上ニ今日  
ヨリ一層緊密ナル關係ヲ結バントスル御用  
意ガアルノデゴザイマスカ、此ノ點ヲモウ  
一度改メテ御聽キシタイ

○有田國務大臣 ソレハ日獨伊間ニ限ツテ  
居ナイノデアリマシテ、防共協定ニハ其ノ  
後洪牙利、又西班牙モ參加致シテ居ルノデ  
アリマス、又今後モ加入スル國ガアルカト  
思フノデアリマスガ、此ノ防共協定ノ調印  
國トノ間ノ密接ナル關係ヲ維持シテ行キタ  
イ、斯ウ云フノデアリマス

○窪井委員 私ノ質問シタ點ト少シ食違ツ  
テ居ルノデアリマスガ、更ニ私ハ外務大臣  
ニ御質問ヲ申上ゲタイノデアリマス、昨年  
ノ議會ノ終了日、三月二十五日デアリマシ  
タカ、吾々衆議院議員ノ有志ノ者ガ日獨伊  
ノ防共協定ヲ更ニ強化致シマシテ、日獨伊  
ノ軍事同盟ヲ成立セヨト云フコトヲ政府ニ  
要請致シマシテ、平沼總理大臣ニ會ツテ吾  
吾ノ所見ヲ述ベタノデアリマス、此ノ日獨伊  
防共協定ノ強化ト云フ問題トハ、昨年四月頃  
ヨリ八月頃ニ至ル間ニ於テ朝野ニ於ケル議  
論ノ對象トナリマシテ、所謂喧々囂々ノ議  
論方起リ、政府ニ於テ幾十回モノ五相  
會議ヲ開イテ慎重ニ協議ナサレタヤウ  
ニ私共ハ拜聽致スノデアリマス、此ノ  
防共協定ノ強化ノ問題ガ論議サレル途中ニ  
於テ、天津ノ租界問題ニ關シテ日本ト英吉  
利トノ所謂交渉方起ツタ、此ノ交渉方起  
ルト又時ヲ同ジウシテ、亞米利加ガ一方的  
意思ヲ以テ日本ニ對シテ通商條約破棄ノ通  
告ヲ致シテ來タノデアリマス、私共ハ昨年  
ノ四月カラ秋マデニ於ケル日本ノ外交ノ交  
渉ニ於テ幾多ノ重大案件ガ一時ニ幅廣ヲシ  
タヤウナ感ヲ持ツタノデアリマス、又事實  
サウデアツタ、此ノ三者ハ何等ノ關係ガナ  
イノデアリマセウカ、日獨伊ノ防共協定ノ  
強化ヲスルコトニ對シテ、英吉利ハ好マナ  
カツタ、好マナカツタカラシテ、隨テ遂  
ニ天津ノ事件ニ對シテ如何ニモ日本ニ讓歩  
セントスルガ如キ觀ガアツテ、中々老翁ナ  
英吉利ハ讓歩セズニ、片方ニサウ云フヤウ  
ナ狀況ガ見エントスル時ニ當ツテ、亞米利  
加ハ突如トシテ通商條約ノ破棄ヲ通告シテ  
居ル、私ハ此ノ三者ノ間ニ重大ナル關係ガ  
アルト考ヘルノデアリマス、是ハ私一己  
ノ考デアリマスガ、サウ考ヘル、斯ウ云フ  
ヤウニ此ノ問題ハ我方朝野ヲ驚カシ、世界  
ノ輿論ヲ集メタル外交史上曾テ見ナイヤウ  
ナ我國ノ重大案件デアリマスガ、又日支事  
變解決ノ上ニ於テモ、國民ノ頭ヲ流レタル  
潮流デアリマス、所謂日獨伊ノ防共協定ノ  
強化ヲスベキヤ、或ハ又英米ノ何レカニ味  
方ヲスルカト云フコトハ、私ハ國民トシテ  
考ヘザル者ハ恐ニクナカツタラウト思フ、  
此ノ事變解決ヲスルノニ如何ナル方途ヲ執  
ツタ方ガ我國ノ爲ニ有利デアルカ、又東亞  
永遠ノ秩序ヲ保持スル上ニ於テ、正シイ行キ  
方デアラウカト云フコトハ、日本國民トシ

第一類第一號 豫算委員會議錄 第四回 昭和十五年二月七日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第四回 昭和十五年二月七日

キ秩序ノ建設ヲ見ントシテ居ル、此ノ新シイ秩序ノ建設ト云フモノハ何デアルカ、是ハ私ガ申スマデモナク、歐洲ノ「グループ」ニ於テ不平均ナモノガ何カナカウツカ、又歐洲ノ現狀ニ於テ之ヲ破壊シテ新シキモノガ生レントスル氣配ハナカウツカ、又サウ云フ原因ハナカウツカ東洋ニ於テモ依然トシテサウデアアル、日支事變ガ起ルニハ、起ルベキ大キナ原因ガアツタ、ソレハ今マデノ古イ秩序ト云フモノガ惡イノダ、之ヲ叩キ壊シテデモヤラウト云フノガ、所謂日本ノ今ノ戰デアアル、百万、二百万ノ軍隊ヲ出シテ、年々何十億ノ金ヲ使ツテヤラウトスルノハ、此ノ古イ秩序ヲ破壊シテ、吾々ハ何モ求メナイノダ、サウシテ求メルモノハ本當ニ東洋ノ平和デアアル、日滿支三國ノ「プロック」ガ出来タナラバ、此ノ「プロック」ノ力所謂國家群ノ力ニ依ツテ將來ノ國際情勢ニ乗出シテ行カウト云フ尊イ考、是ハ陸軍大臣ガ言ハレタヤウニ、是ガ出来上ツタナラバ價ウテ餘リアルト云フコトデシタガ、私モ餘リアルト思フ、是ガ國民ガ所謂臥薪嘗膽シテモ此ノ事變ヲ遂行セントスル根幹ナノデアルト私ハ考ヘル即チ日本一國デハイケナイノデ、出来ルナラバ我國ト手ヲ握ツテ行クモノヲ先ツ東洋ニ求メル、更ニ吾々ガ手ヲ延バシテ歐洲ニモ自分ノ味方ガアルナラバ是ト手ヲ握ラウト云フノガ日獨伊防共協定ノ強化ノ問題デアツタト思フノデアリマ

ドモ、歐洲ニ於テ新秩序ヲ作ラントスル所ノ、所謂獨逸其ノ他伊太利ト云フモノト、東洋ニ於テ新秩序ヲ作ラントスル日本トヲ見マス、是ハ現狀維持ト現狀打破トデアリマス、其ノ現狀ヲ打破セントスル國家群ヲ作ラントスルヤウナコトニ對シテ、何等カノ所見ヲ承ルコトガ出来レバ結構ダト思ヒマス

更ニ防共協定ノ強化ノ問題ニ付テ、政府デ當時考ヘテ居ラタリ——平沼總理大臣モ強化ニ付テハ考ヘテ居ルト言ハレタノデアリマス、所ガソレ等ノ防共協定ノ強化ト云フヤウナ問題ガ、歐洲ノ戰爭ガ勃發スルト、何時ノ間ニカ消エテシマツタノデアリマス、現外務大臣ハ日本ノ政府ノ態度トシテ、歐洲ノ戰爭ニ不介入ノ態度ヲ執ツテオ居デニナリマスガ、此ノ不介入ノ立場カヲ考ヘテ、又サウ云フ立場ヲ乘越エテ更ニ何等カ此ノ問題ニ付テ御考ニナツテ居ル點ガアルナラバ、此ノ際承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○有田國務大臣——所謂防共協定ノ強化ト云フコトハ、只今考ヘテ居ラナイノデアリマス

○窪井委員——此ノ問題ニ付テハ外務大臣ハ只今考ヘテ居ラナイト言ハレタノデアリマスガ、私ハ此ノ程度ニシテ置キタイト思ヒマス

更ニ私ハ此ノ事變處理ヲ解決スル上ニ於テ、外務大臣及ビ總理大臣ニ御聽シタイノデアリマスガ、政府ハ九箇國條約ヲ廢棄スル御考ガアルカドウカ、九箇國條約ト云フモノハ、當時日本ハ日英同盟ヲ結ンデ居リマシタ信義ノ上カラシテ歐洲大戰ニ加ツタ、所ガ御承知ノ通りニ日本ガ歐

洲大戰ニ加ツタ爲ニ東洋ハ平和ニナリ、青島ノ獨軍ヲ討チ、或ハ地中海マデ我方海軍ハ進ンダノデアリマスガ、此ノ戰爭ガ済ムト同時ニ日英同盟ト云フモノハ英吉利ガ止メテシマツテ、華盛頓ニ於テ日英同盟ガ葬ラレタ、其ノ御葬式ノ一ツノ返禮ト云フヤウナモノガ九箇國條約デアツタノガラウト思フノデアリマスガ、此ノ九箇國條約ハ所謂英米ガ日本ノ大陸政策ヲ牽制セントスル意圖ヲ以テ爲サレタル英米工作デアアルコトハ私ガ申上ゲルマデモナイノデアリマス、今日本ハ支那ト戰爭シテ居ラタ、東亞ノ新秩序ヲ建設シテ居ルノデアリマスガ、此ノ九箇國條約ト云フノハ今後事變處理ノ上ニ於テモ、又今戰爭スル上ニ於テモ、非常ニ邪魔ニナル條約デアアルコトハ申上ゲルマデモナイノデス、而シテ此ノ條約ガアル爲ニドレダケ日本ガ外交ニ心配シ、第三國ノ爲ニドレダケ日本ノ外務省ナリ又政府ガ頭ヲ悩マシタカ測リ知レナイ、而モ此ノ九箇國條約國會議ガ先年「ブラッセル」デアリマシタカ開カレマシタ時ニハ、日本ハ之ヲ認メナイデ、代表ヲ送ツテ居ナイ、サウ云フヤウナ態度ニ日本ガ今日出テ居ルノニ、而モ是ガ存在ヲシテ居ツテ日本ガ之ヲ廢棄シナイト云フコトハ、私ハ事變處理上考ヘラレナイノデアリマス、ナゼ政府ハ勇氣ヲ出シテ此ノ九箇國條約ヲ廢棄シナイノデアアルカ、世界ノ情勢ヲ見テ、此ノ條約ノ廢棄ト云フモノハ、其ノ事情ニ重大ナル變化ガアル場合デナケレバ、廢棄出来ナイノデアリマスガ、今日ハ條約ヲ拵ヘタ當時ニ比ベテ見ルト、支那ト云フ中ニ滿洲國ガ獨立シテ居ル、サウシテ日本ハ前古未會有ノ戰爭ヲシテ居ル、是程事情ガ變化シタモノハアリ

マセス、普段ハ手ヤ足ヲ踏ンダカ言ツテモ外國同士ハ喧嘩ヲスル、一體戰爭ヲ起シテ滿洲國ガ出来タト云フ程、大キナ國際上ノ變化ハナイ、東洋ニ於ケル、支那ニ於ケル事情ノ變化シタコトハ、是ヨリ大キナモノハナイノデアリマス、此ノ點ニ於テ政府ハ此ノ國際原則ニ照シテ、東亞ニ於ケル重大ナル事情ノ變化ガアルカラ、此ノ事情變更ノ國際法上ノ原則ニ依ツテ、九箇國條約ノ廢棄ノ通告ヲナサル決心ガアルカドウカ、又此ノ條約ハ日支事變處理ノ上ニ於テモ、先程申上ゲマシタヤウニ近ク新興ノ中央政權ガ出来マス、此ノ中央政權ガ出来タ時ニ於テモ、中央政權ガ第三國ト交渉スル有ル場合ニ於テ、非常ニ厄介ナ國際問題ヲ惹起スコトハ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、又現ニ此ノ事變遂行上ドレダケ日本ガ苦シンダカト云フコトハ、陸海軍大臣モ御承知ノ通りト思フノデアリマス、又外務大臣モ度々此ノ問題ニ付テ如何ニ苦シマレタカ、所謂亞米利加ガ通商條約廢棄ノ通告ヲシタノモ、恐ラク九箇國條約ニ基イテ私ハシタコトダト思フノデス、斯ウ云フヤウニ事變ヲ遂行スル上ニ於テ、日本ニ非常ニ不利ナル條約ガ、而モ日本トシテハ之ヲ殆ド認メナイヤウナ條約ガ存在シテ居ルト云フコトハ、非常ニ不利ナルデアアル、此ノ九箇國條約ノ條文ニ照ラシテ見テモ、例ヘバ茲ニ近衛聲明ガアツテ、近衛聲明ノ筋ヲズツト讀ンデ見マスルト、大體九箇國條約ノ決メテ居ル條項ノ上カラ、ズン／＼斯ウ云フヤウニ支那事變ニ對スル日本ノ態度ヲ決メテ居ルヤウニ見エル、其ノ精神ハ違フケレドモ、日本ノ考ヘ方ハ違フケレドモ、一ツノ條約文ガアリマス、隨テ是ハ外務

省ナリ外交ニ携ハル者ハ、其ノ條約文ニ因ハレルノデアリマス、精神ハナト云ツテモ、現在條約ガアル以上ハ之ニ因ハレルコトハ當然デアアル、デアルカラ私ガ一寸近衛聲明ヲ讀ンデ見テモ、近衛聲明ト九箇國條約ノ文書ヲ比ベテ見ルト、何ダカ此ノ九箇國條約ニ追ハレテ、文字ガスラノト動イテ居ルヤウナ感ジヲ持ツ、是程厄介ナ條約ニ付テ、外務大臣ハ此ノ九箇國條約ヲ廢棄スル決意アリヤ否ヤ

〔石坂委員長代理退席、委員長著席〕

又更ニ進ンデ考ヘマスナラバ、所謂新興中央政權ト云フモノガ成立シタ曉ニ、此ノ中央政權ト共同シテ廢棄ノ通告ヲ爲ス用意アリヤ否ヤ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒ申上ゲマス

○有田國務大臣 九箇國條約ノ或ル條文ハ、今日東亞ニ於ケル事態ニ即シナイモノガアル、即チ所謂古イ原則觀念ハ、今日ノ東亞ノ状態ニ其ノ儘適用スルコトガ出來ナイト云フノハ其ノ趣旨デアアルデアリマス、併シ之ヲ廢棄スルト云フコトガ、一方カラ見レバ東亞ノ新秩序建設ノ上ニ、或ハ時局收拾ノ上ニ便宜デアルト云フ見方モアリマスルガ、又反面ニ於テ其ノ廢棄ト云フコトノ及ボス影響ト云フコトモアリ得ルノデアリマシテ、此ノ雙方ヲ比較考慮シテ見ル必要モアリマスシ、旁々此ノ九箇國條約ノ廢棄ノ問題ニ付キマシテハ、慎重考慮ヲ要スルト考ヘテ居ル次第デアリマス、又支那ノ中央政權ノ出來マシタ場合ニ、日本ト新中央政權トガドウ云フ風ナ處置ヲ之ニ付テ取ルカト云フコトニ付キマシテハ、是亦將來ノ問題トシテ其ノ際更ニ慎重考慮スベキモノダト思フノデアリマス

○窪井委員 私ハ此ノ問題ニ付テ陸軍大臣及ビ海軍大臣ノ御所見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○畑國務大臣 是ハ事ガ相當大キウゴザイマスシ、吾々ト致シマシテハ無論政府ノ方針ニ從フベキモノト思ツテ居リマス

○窪井委員 外務大臣ハ條約ガアツテ大分厄介ダト云フコトハ認メテオキデナル、併シ之ヲ廢棄スルコトニ付テハ、廢棄スベシト云フ議論ト、廢棄ニ付テハモツト慎重ニ考慮スベキモノデアリカト云フ議論トガ、國內ニ在ルト云フヤウニ只今承リマシタガ、ソレハ私ハハイケマセヌ、事變ヲスル上ニ斯ナ邪魔ノモノハナイ、陸海軍大臣モサウ思ツテ居ラレト思フ、新政權ガ出來マス場合、此ノ條約ガアル爲ニドレダケ苦シマナケレバナラナイカト云フコトハ、私ハ今カラ言明シテ憚ラナイ、又此ノ條約ガアル爲ニ恐ラク色々ノ取極ガ出來ナイト思フ、日本ト新中央政權トノ取極モ、此ノ條約ガ許サナイノデアリカ、恐ラク汪兆銘政權ノ出來ルコトモ、此ノ條約ガ許サヌ、此ノ條約ヲ讀ンデ見ルト、支那ニ對スル日本ノ行動ニ付テハ何一ツ出來ナイヤウナ、繩ヲ縛ラレテ居ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ問題ニ付テ外務大臣ハ斷乎タル處置ヲ執ラレルコトヲ切望申上ゲマシテ、此ノ問題ニ對スル私ノ質問ヲ打切りマス

次ニ私ハ總理大臣及ビ陸軍大臣、海軍大臣ニ御伺ヒ致スノデアリマスガ、政府ハ交戰權ヲ發動スル考ヲ持ツテオ出デニナルカドウカト云フ點デアリマス、交戰權ヲ發動スルカシナイカ、所謂戰爭ヲシテ居ル場合ニ宣戰ヲ布告シナイデ戰爭ガ出來ルカ、又

交戰權ヲ發動シナイデ戰爭ガ出來ルカ、宣戰ヲ布告シタリ交戰權ヲ發動スルコトガ戰爭ノ普通ノ状態デアリ、又普通ノ行キ方デアルト云フコトハ、日清日露ノ戰爭ノ状態ニ依ツテ見テモ明デアリマス、今回ノ場合ハ特殊ノ國際關係ヲ持ツテ居リ、非常ニ複雜ノ關係ヲ持ツテ居ルコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、支那ノ樞要ノ土地ニハ、英、米、佛、伊等ノ租界ガ存在シテ居リマシテ、恰モ是等ノ諸國ノ領土ノ延長ノヤウニナツテ居ルコトハ申スマデアリマセヌ、即チ支那ト戰爭スルコトハ、複雜ナル外國ノ權益網ノ中ニ於テ戰鬪行爲ヲシテ居ルノデアリマシテ、陸、海、空軍ノ苦心ト云フモノハ察スルニ餘リアルノデアリマス、特ニ蔣介石ヲ援助スル爲ニ是等ノ諸國ガ事變以來恣ニ軍需資材、軍機等ヲ蔣介石ニ送ル、其ノ爲ニ敵軍ヲ利シタコトハ申上ゲルマデモナイノデス、遂ニ海軍ハ全支那ノ海ヲ封鎖シナケレバナラナイ程、非常ニ戰鬪行爲ヲシナイデ第三國ノ船ヲ擊沈シナイデ之ヲ封鎖スルト云フコトハ、非常ニ困難デアッタラウト私ハ思フ、私ハ今次事變ノ突發後間モナク上海ニ皇軍ノ慰問ニ參ツタノデアリマスガ、其ノ時ニ上海ハ丁度黃浦江ノ兩岸ハ敵デアツテ、吳淞ノ一部ト上海ノ一部ヲ占領シテ居ツタデアリマス、其ノ時ニ私ハ其ノ市街戰ヲ目前ニ眺メ、交戰權ヲ發動シナイデ、アノ複雜ナル國際都市上海ヲ戰爭シテ居ラレル所ノ陸海軍ノ將兵ヲ見テ、而モ蘇州河ヲ中心トシテ日本ノ方ハ眞暗デアツテ、又一方ハ熾キトシテ夜中火ヲ點シテ居ル、サウシテ亞米利加、佛蘭西其ノ他ノ軍艦ハ邪魔ヲシテ、サーチライトヲ照シ信號ヲシテ居ル、斯ウ云フコ

トヲ見タ時ニ、私ハ實ニ殘念ニ感じタノデアリマス、第三國ノ權益侵害ノ問題ガソレ以來ドレダケアツタカ、一體「ハネー」號其ノ他ノ問題デ、日本ガ戰爭スル上ニドレダケ不便ヲ感じタカ、交戰權ヲ發動シテ居ラヌ爲ニ、ドレダケ外交交渉ノ上ニ手間ヲ取り、或ハ戰爭遂行ノ上ニ不便ヲ感じタカト云フコトヲ考ヘマス、若シモ事變處理ノ上ニ於テ早ク交戰權ヲ發動シテ居ツタラ、此ノ戰爭ノ上ニ非常ニ便宜ガアツタト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ問題ハ、非常ニ複雜ナル支那ノ國際關係及ビ日本ノ諸種ノ事情ヲ考慮致シテ、發動サレナカウタト思フノデアリマスガ、今日デハ九箇國條約ヤ國際聯盟ト云フモノハ、既ニ日本ニ經濟封鎖同様ノ決議ヲシタコトモアル、又諸外國ハ日本ト現ニ戰爭シテ居ル所ノ敵國ニ、有ラユル援助ヲシテ居ルト云フ狀況デアリマスカラ、私ハ今日トナツテハ遠慮ハ要ラヌト思フノデアリマス、併シ此ノ點ハ非常ニ重大ナ問題デアアル、更ニ私共ガ一番心配シテ居ツタノハ亞米利加デアツタノデアリマスガ、此ノ亞米利加モ最近ニ日米通商條約ヲ破棄シテ、日本ニ對シテ一方的ニ何時デモ輸出禁止ヲ爲スベキ状態ニ居ルノデアリマス、私ハ是等ノ點カラ考ヘテ見テ、政府ガ交戰權ヲ發動シテ、有ラユル蔣介石ヲ援助ノ途ヲ遮斷シタナラバ、蔣介石軍ノ擊滅ヲ見ルコトガ、非常ニ早ク行クノチヤナイカ、外國ガ之ヲ助ケルコトガ出來ナイト云フヤウニナルノデアリカ、所謂蔣介石トノ戰ニ最後ノ「ピリオド」ヲ打ツモノハ、日本ノ交戰權ヲ發動デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、又之ヲ發動スルコトニ依ツテ、

今日モ日本國民ノ意氣ハ旺ンデアリマスガ、更ニ一段ノ緊張ヲ加ヘテ、日本國民ガ本當ノ戰時體制ノ氣持ニナルト云フコトモ考ヘラレルデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ總理大臣及陸海軍大臣ハ、交戦權ヲ發動スルコトニ對シテ何等カノ御考ガゴザイマシクナラバ、此ノ際ニ所信ヲ聽カシテ戴キタイト思フデアリマス

○米内國務大臣 只今ノ所交戦權ヲ發動スル考ヲ持ツテ居リマセス

○窪井委員 陸海軍大臣モ同様デアリマスカ

○三土委員長 無論同一政府ダカラ同様デアリマセウ(笑聲)

○窪井委員 私ハ更ニ商工大臣、外務大臣及ビ企畫院總裁等ニ對シマシテ、日米ノ通商條約廢棄ノ問題ニ付テ御伺致シタイト考ヘマス、昨年ノ七月二十六日ニ米國政府ハ突如トシテ、恰モ青天ノ霹靂ノ如クニ、日本ニ對シマシテ明治四十四年以來友好關係ヲ繼續シテ居リマシク日米通商航海條約ヲ何等ノ豫告モナクシテ、相談モナクシテ、米國ノ一方的意思ニ依ツテ之ヲ廢棄スルト云フ通告ヲ致シタデアリマス、而シテ先月二十六日ヲ以チマシテ、日米間ニ於テハ最モ悲シムベキ無條約ノ状態ヲ出現シタコトハ、洵ニ遺憾ニ存ズルデアリマス、私ハ米國ノ此ノ非友誼的ナ行動ハ、日本國及ビ日本國民ニ加ヘタル所ノ絶大ナル侮辱デアル、恰モ淺間丸事件ト共ニ國民ノ志ルコト能ハザル問題ト思フデアリマス、日本ハ常ニ米國トハ友好關係ヲ結ンデ來タ、日本人デ米國ヲ敵トスルヤウナ考ヲ持ツ者ハ日本人ノ中ニハ居ナカツタ、又日本ノ國民ハ明治初年ヨリ布哇諸島ニ行キ、又亞米利加ノ西岸ニ移民シテ居ツテ、今日デハ亞米利加ニ

十万人ノ日本人ガ居ツテ、何万ト云フ日本人ニシテ亞米利加ノ國籍ヲ持ツ第二世ガ居ルデアリマス、斯ウ云フヤウニ日本ト亞米利加ト云フモノハ、ベルリガ來テ以來實ニ永イ間親交關係ヲ持ツテ居ツテ、日米間ノ國交上ニ於テ、日本ガ非友誼的行動ヲ執ツタコトハ、一度モナイデアアル、國民ハ斯ウ云フヤウニ考ヘテ來タデアリマス、特ニ今事變以來亞米利加ニ對シテハ、日本ノ國トシテ手ヲ替ヘ品ヲ替ヘテ日米ノ親善ニ努力シタコトハ、國民ノ承知スル所デアリマス、此ノ日本ノ態度ニ對シテ米國ガ日本ニ報イタモノガ、日米通商條約ノ破棄デアリマス、私ハ何ガ故ニ米國ガ日本ニ對シテ、此ノ數十年來ノ友好ヲ破ツテ、無警告ニ亞米利加ダケノ意見ヲ以テ日本ニ通商條約ノ破棄ヲシタカ、千九百二十九年ノ七月二十六日ト云フ日ハ、永遠ニ日本國民ノ腦裡ニ牢固トシテ記念スベキ日デアアルト私ハ思フデアリマス、有田外務大臣ハ無條約ニナツタケレドモ米國ハ從來ノ條約ガアツタト同ジ状態ニ於テ關稅、噸稅或ハ燈臺稅ト云フヤウナモノヲ特別ニ日本ニ課セナイ、所謂最惠國ノ取扱ヲスルト云フコトヲ亞米利加ガ言ウテ居ルカラシテ、別段今貿易上、通商上變化ハナイト申サレテ居リマス、私共成程サウアリタイコトヲ希望スル者デアリマス、日米間ノ貿易ハ、亞米利加ノ方カラ見マスルナラバ大シタコトハナイ、千九百三十八年、一昨年ハ日本カラ見マスルト、日本ノ總輸出額二十六億八千九百萬圓ノ中、亞米利加ニ輸出シテ居ルモノガ四億二千五百萬圓デゴザイマシテ、日本ノ總輸出額ノ一五%デアリマス、又日本ノ輸入總額カラ見マスルト、日本ノ輸入總額ガ一昨年ハ二十六億六

千三百萬圓デゴザイマシテ、其ノ中亞米利加カラ吾々ガ必要ナ物ヲ買ツテ居リマス、金額ハ九億一千五百餘萬圓デアリマシテ、實ニ日本ノ輸入總額ノ三四%ニ相當シテ居リマシテ、所謂米國ハ日本カラ致シマスト最大ノ輸入國デアアルデアリマス、然ルニ米國側カラ見マスルト、米國輸出總額ノ三十億九千四百萬弗ノ中デ僅ニ日本ニ對スルモノハ七%デアリ、輸入總額ハ十九億六千萬弗ノ中デ六%餘リデアリマス、所謂米國全體カラ見マスルト、日本ニ對スル通商條約ノ廢棄シタカラト云ツタツテ、僅ニ七%乃至八%ト云フ低イ率デゴザイマス、併シナガラ日本トシテハ日本ノ貿易上非常ニ影響スル所デアリマス、外務大臣ハ自主的見地ニ立ツテ國交調整ヲ專念ナサルト云フコトヲ唱ハラレテ居リマスガ、日米國交ヲ提唱シテ、改メテ日米通商航海條約ヲ締結ナサレルコトニ付テドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、又近イ内ニ條約ノ締結ヲ見ルト云フヤウナ見込ガアルカドウカト云フコトニ付テ御所見ヲ述ベテ戴キタイト思ヒマス

○有田國務大臣 日米通商航海條約ノ破棄ノ問題ニ付キマシテ、昨年七月ニ亞米利加カラ其ノ通告ヲ致シテ參リマシタノハ成程突然ノコトデアリマスガ、是ハ條約ノ中ニ廢棄條項云フモノガ御承知ノヤウニゴザイマシテ、私ハ法律上ノ議論ヲ言ツテ居ル譯デアリマスルガ、各締約國ハ六箇月ノ豫告ヲ以テ廢棄ヲ通告スルコトガ出來ル、廢棄ヲ通告シタ場合ハ六箇月ノ經過ヲ以テ、其ノ條約ガ無クナル、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマス、法律論トシマスレバ亞米利加モ一方的ニ廢棄ノ通告ヲ爲シ得ルト同様ニ、日本モ廢棄ノ通告ヲ一方的ニ爲シ得ル

譯デアリマシテ、此ノ點ハ亞米利加ガ廢棄ノ通告ヲシタト云フコトハ條約上バカリノ問題カラ言ヒマスレバ別ニ不法ト認ムベキコトハナイデアリマス、唯其ノ突如トシテ通告ヲシタト云フコトニ日本國民ニ於テ不満足思ツテ居ル、ソレハ感情問題トシテ存シテ居ルコトデアリマス、ソレデ本年ノ一月二十六日ニ其ノ六箇月ノ豫告期間ガ經過致シマシテ條約ガ日米間ニハ無クナツタデアリマスルガ、只今御述ニナツタヤウニ事實上ノ關係トシテハ大體ニ於テ條約ノアツタ時ト同ジコトニナツテ居リマスガ、條約ガナケレバ所謂條約ノ保障ガナイノデアリマスカラ、一方的ニ其ノ國ノ都合ニ依ツテ其ノ状態ヲ變ヘ得ルト云フコトデアリマシテ、其ノ意味カラ申シマスレバ日米間ノ通商關係ハ幾分不安定ノ状態ニアルト云フコトヲ言ヒ得ルデアリマス、此ノ不安定ノ狀況ト云フモノハ貿易上ノ點カラ申シマシテモ亦、一般ノ日米ノ關係カラ申シマシテモ、好マシクナイ所デアリマスルカラ、成ベク條約ヲ速ニ締結スルヤウニ致シタイトハ考ヘテ居ル譯デアリマスルガ、亞米利加ガ通商條約破棄ノ通告ヲシテ來タ其ノ氣持等カラ考ヘマシテ、必ズシモ容易ナコトデハナイト云フ風ニ考ヘテ居ルデアリマス、ソコデ問題ハ一方ニ於テ條約ヲ作ルト云フコトニ極力努力ヲ致シマスト共ニ——併シソレハ私ハ常ニ考ヘルノデアリマス、條約ヲ作ル、或ハ條約ガ出來ルト云フコトハ單ニ日本ガ利益スルト云フバカリデハナイ、亞米利加ノ方カラ言ツテモ利益ニナルコトデアツテオ五ノコトデアアル、若シ害ガアルトスルナラバ、兩方ニ害ガアルコトデアアルデアリマス、併シ少クモ日本トシテハ

出來ルダケ之ヲ成立セシムルヤウニ致シタ  
イト云フコトデ努力ヲ致ス積リデアリマス  
ガ、此ノ條約ガ出來ナイ間、努メテ實際上  
ノ關係ヲ變更シナイデ行クト云フコトヲ目  
標トシナケレバナラヌト思フデアリマス、  
私方屢、自主的立場ニ立ツテ國交ヲ調整シテ  
行キマスト云フコトハ、日本ノ當然スベキ  
コトハシテ行ク、日本側ノスベキコトハ自  
主的ニヤツテ行ク、サウシテソレガ國交調  
整ノ因ヲ成スト云フ風ニ仕向ケテ行クベキ  
モノデアルト考ヘテ居ルデアリマス、此  
ノ日米間ガ、條約ガ無クナツテモ實際ノ關係  
ガ條約アリシ時ト略、同ジヤウナ状態デ行  
クト云フガ爲ニハ、日本トシテハ例ヘバ亞米  
利加ガ色々不満足ヲ述ベテ居リマス支那ニ  
於テ起ツタ日米間ノ色々ナ問題ニ付テモ、  
日本ノ立場カラ見テ當然解決スベシト云フ  
モノハドシク解決シテ行クト云フコト  
デナクテハナラヌト考ヘテ居ルデアリマ  
ス、勿論亞米利加ニ對シテ日本トシテ期待ス  
ベキモノモアルデアリマスガ、日本側カ  
ラ言ヘバサウ云フコトダト思フデアリマ  
ス、之ヲ要スルニ條約締結ノ問題ニ付キマ  
シテハ、一方ニ於テ其ノ締結ニ向ツテ努力  
ヲ致シマスト共ニ、條約ガ出來マスマデノ  
間ノ無條約状態ト云フモノヲ成ベク不安定  
デナイヤウニシテ、實際條約ガアル時ト變  
ラナイヤウニシテ行クト云フコトニ努力シ  
テ行キタイト考ヘテ居ルデアリマス

私ハ次ニ揚子江ノ開放ノ問題ニ付テ簡單  
ニ外務大臣ニ御尋申シテ見タイト思ヒマス  
ガ、野村「ダグラー」兩氏ノ昨年十二月十八  
日ノ第三次會見ニ於テ野村外相ハ一定ノ條  
件ノ下ニ揚子江及ビ珠江ノ開放ヲ斷行スル  
コトヲ聲明サレタデアリマスガ、是ハ勿  
論貿易其ノ他國際上ノ關係ヲ考慮サレマ  
シテ、深甚ナル外交國策ノ方針ニ依ツテ爲  
サレタモノト私ハ考ヘマス、此ノ問題ニ關  
シテ國內ニハ相當ナ議論ガヤハリアルノデ  
アリマス、而シテ此ノ揚子江ノ開放ヲシタ  
時ニ亞米利加ニハドウ云フヤウナ反響ヲ與  
ヘテ居ルカト云フコトノ一例トシテ、紐育  
ノ「ウオールド・テレグラム」ノ論調ノ中ニ  
コシナコトヲ書イテアリマス、揚子江下流  
ヲ我方通商航行ニ開放セントスル日本ノ決  
定ノ背後ニハ、日本ヨリ必須ノ原料ヲ奪ハ  
ントスル米國ノ對日輸出禁止ニ對スル日本  
側ノ恐怖ヨリ來レルコトハ確カデアリ、今  
回ノ決定ハサシタル差異ヲ生ズルモノデハ  
ナイ、由來日本ガ米國人ヲ怒ラセタノハ、  
單ニ揚子江航行ノ禁止ノミデハナイ、問題  
ハ支那全土ニ新政府ヲ建設シ、之ヲ通ジテ  
外國權益ヲ排除シテ、通商ヲ獨占セントス  
ル日本ノ意圖ニ存ス、亞米利加人ト云フモ  
ノハ非常ニ突飛ナ人間デ、無禮ナ言辭ヲ弄  
スルコトハ、常ニ亞米利加ノ新聞雜誌ニ於  
テ見ルノデアリマスガ、是モ其一ツダラウ  
ト思フノデアリマス、併シナガラ斯ウ云フ  
ヤウナコトヲ亞米利加ノ新聞ハ率直ニ書イ  
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見テ、  
揚子江ト云フモノハ、支那ノ大陸ヲ流レテ  
居ル所ノ支那ノ大動脈デアツテ、此ノ支那  
ノ大動脈タル揚子江及ビ珠江ハ、申スマデモ  
ナク皇軍ノ血ヲ彩ラレタル尊キ犧牲ノ生

命線デアリマス、此ノ意味ニ於テ之ヲ開放  
スルト云フコトハ、日本ガ大ナル犧牲ヲ拂  
ツテモ、斯ウ云フコトニ眞劍ニ努力シテ居  
ルト云フ點デアリモ拘ラズ、亞米利加ノ  
論說ハ隨分亂暴ヲコトフ言ツテ居ル、今日  
デモ御承知ノ通り、毎日日本ノ新聞ニ米國  
通信ガ載セテ居ルヤウニ、上院ニ於テハ日  
本ニ對シテ亞米利加ハ輸出ヲ禁止スベシト  
云フヤウナ亂暴ナ議論ヲ致シテ居ルデア  
ル、亞米利加ガ通商條約ヲ破棄セル點ト云  
フモノハ、眞ニ那邊ニ在ルカト云フコトハ、  
是ハ分リマセヌ、併シナガラ從來九箇國條  
約ト云フモノヲ表看板トシテ、種々ナル抗  
議ヲ日本ニ提出シテ來テ居ルト云フコトハ  
外務大臣御承知ノ通りデ、私共ガ知ラヌコ  
トノ方ガ多イサウデアリマスガ、日本ノ支  
那ニ於ケル行動ガ此ノ九箇國條約ニ違反シ  
テ居リマシテ、東亞ノ新秩序建設ニ付テ米  
國ガ考ヘテ居ル點ト、日本ガ考ヘテ居ル點  
ト、全然相背馳シテ居ルト云フ主張ノ下ニ、  
亞米利加ハ常ニ門戶開放、機會均等ヲ叫  
ンデ居ルノデアリマス、私ハ是等ノ點ニ鑑  
ミテ、米國ノ主張ヲ吾々ガ次カラ次ニ容レ  
ルナラバ、延テハ私ハ事變處理、東亞新秩  
序建設ト云フモノガ甚ダ出來難クナルノ  
デハナイカ、又日本トシテハ米國ノ考ヘ方  
ニ全然同意ハ出來ナイト云フヤウナコト  
ガ、事變處理ノ根本方針ノ中ニ存スルノデ  
ハアルマイカ、此ノ兩者ノ見解ハ絕對ニ相  
容レヌモノガ存スルノデハナイダラウカト  
云フコトノ疑ヲ私共ハ挾マザルヲ得ヌノデ  
アリマス、米國ト親善關係ヲ持續シテ行キ  
タイト云フ考ハ、日本ノ國民ノ心情ノ中ニ  
モ多分ニアル、又吾々モソレヲ念頭シテ居  
ル者デアリマス、所ガ亞米利加モ其ノ位ナコ

トハ知ツテ居ルト思フ、一體亞米利加ハ日  
本ニ色々ナ抗議ヲ申込シテ來テ居リマス  
ガ、日本ハ今戰爭シテ居ル、戰爭シテ居ル  
最中ニ亞米利加人ガ支那ニ居ツテ、日本人  
ガ其ノ足ヲ踏シタ、日本人ガ射ツタ彈ガ當  
ツタ、船ニ命中シタト云フヤウナコトガ起  
ル、是ガ二百件、三百件位起ルト云フコト  
ハ、アノ聰明ナル「ルーズヴェルト」ハ百モ  
承知シテ居ルノダラウト思フ、百モ承知シ  
テ居ツテ、サウシテ條約ノ破棄ヲ通告シテ  
來ルト云フコトハ、私ハドウモ亞米利加ノ  
抱イテ居ル考ガ分ラナイ、又或ル論者ハ、  
亞米利加ノ太平洋支配ノ制覇感、或ハ東洋  
ニ進出セントスル根本觀念ニ於テ、日本ガ  
日滿支一體ノ體制ヲ建設セントスルコトニ  
相反スルモノガアルノデハナイカ、ト云フ  
ヤウナコトマデモ論ズル者ガアルノデアリ  
マス、私ハ單ニ揚子江ノ開放問題位デ、米  
國ト日本ノ間ニ通商條約ノ締結ヲ來タスト  
云フコトハ考ヘラレマセヌ、此ノ點ニ付テ  
私ハ揚子江ヲ開放セラレタコトニ對シテ外  
務大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○有田國務大臣 揚子江開放ノ點ニ付キマ  
シテハ、昨日日本會議等ニ於テモ一兩度申述  
ベマシタ通りニ、元來揚子江ノ閉鎖ヲシタ  
ト云フコトハ、軍事上ノ必要ニ基イテ閉鎖  
シタノデアリマス、今回或ル條件ノ下ニ其  
ノ閉鎖ヲ一部分解クコトニ決定セラレタト  
云フコトモ、作戦上ノ絕對ノ必要ガ緩和セ  
ラレタト云フ理由ニ基クノデアリマス、野  
村外相ガ之ヲ「ダグラー」大使ニ話シテ、外  
交交渉ニ利用シタト云フコトハ、是ハアリ  
得ルト思フノデアリマスガ、併シ茲ニ明ニ  
シテ置カナケレバナラヌ點ハ、條約ヲ締結  
スル目的ノ爲ニ揚子江ノ開放ヲ決定シタノ



デナイト云フ點アルノデアリマス、又只今御話ノヤウニ、私共ノ考デハ、條約締結ノ問題ハ、相當マダ前途ニ困難ガアルト思ツテ居ルノデアリマシテ、揚子江ノ一部開放ト云フヤウナコトデ、ソレガドウナル斯ウナルト云フヤウナモノデハナカラウト私自身ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ先程モ申シマシタヤウニ、日本ノ方デ適當ト考ヘルモノニ付キマシテハ、獨自ノ立場カラ處理シテ行ク、是ハ是非必要ナコトデアルト思フノデアリマス、只今ノ御話ノ中ニモ亞米利加ガ次カラ次ヘト色々ナコトヲ言ツテ來ル、ソレヲ一々日本トシテ容レル譯ニハイカナ、容レナケレバ條約モ何モ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ御話モアツタヤウデアリマスガ、ソコハ亞米利加ノ中ニ色々ナ考ヘ方ノ者ガアリマシテ、先程御讀ミニナツタ新聞ノヤウナ説ヲ抱イテ居ル者ハ其ノ一デアリ、又ソコマデ至ラナイ者ハ其ノ二デアルノデアリマス、要スルニ先程申述ベマシタヤウニ、日米間ガ無條約狀態デアルニ拘ラス、其ノ間條約ガアツタ時ト大體同ジヤウナ形ニシテ行クト云フガ爲ニハ、ドウシテモ或ル程度ノ空氣抜キヲ付ケツツ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、自主的立場ニ於テ解決スベキモノハ解決シ、處置スベキモノハ處置シテ行クト云フコトガ、或ル程度此ノ空氣抜キノ役ヲナスモノデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

トハ、寧ロ亞米利加モ將來非常ニ國際情勢上困ル立場ニナルト云フコトヲ論ズル者モ相當多イヤウニ私共見受ケルノデアリマス、併シナガラ日米間ニ於テハ、何時亞米利加ガ日本ニ對シテ輸出禁止ヲシテ來ルカ、或ハ色々ナ措置ヲ執ツテ來ルカト云フコトハ、無條約ニナツテ居ツテ、亞米利加ノ一方の意思決メラレルコトデゴザイマスカラ、誰モ保證出來ナイノデアリマス、何カ東亞ニ於テ、或ハ其ノ他國際間ノ情勢ニ於テ或ル變化ガ起キテ、ソレガ亞米利加人ヲ刺戟シタ場合ガアルト假定スルナラバ、ドウ云フ狀態ガ起ルカ私ハ保證出來ナイ、出來ナイトナツテ見ルト、今日既ニ上院デモ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、萬一亞米利加政府ガ日本ニ對シテ輸出禁止ヲシタ時ニハドウナルカ、是ハ私ハ當然日本トシテ考ヘテ置カナケレバナラナイシ、又事變處理ヲ遂行スル上ニ於テ重大ナル關係ヲ持ツコトダト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ私ハ商工大臣並ニ企業院總裁ニ御伺シタイノデアリマスガ、米國カラ日本ガ輸入シテ居ル物ノ主ナルモノハ、棉トカ、鐵トカ、銅トカ、石油トカ、工作機械ト云フヤウナモノデアリマス、是等ノ重要品ト云フモノハ、日本ニ於テハ極メテ生産工業上緊要ナル原料デゴザイマスガ、是等ノ品物ガ、若シモ亞米利加ガ一方の意思ニ依ツテ、日本ニ對シテ輸出ヲ禁止シタト云フヤウナ時ニハドウナルカ、尤モ今禁止スルカ、一年先ニ禁止スルカ、ソレハ私ハ分リマセヌガ、將來サウ云フヤウナ吾々トシテ不幸ナル、悲シムベキ狀態ガ起ルト假定シナケレバナラス、隨テサウ云フコトヲ今カラ考ヘテ、用意シテ置カナケレバナラス、

ソレガアツタカラ困ルノダ——ソコナコトデハ戰爭ハ出來ハシマセヌ、今日日本ノ經濟ト云フモノハ、經濟ダケデハ見當付カヌデ、外交ニ依ツテ影響スル、是ハ勿論今日ノ國際關係ニ於テ、又原料ノ狀態ニ依ツテサウナルコトハ、是ハ國際通商上當然ナ状態ニ今日ハナツテ居ルノデアリマスガ、併シ私共ハ日本ノ國ト致シマシテハ、此ノ外交ノ上ニ經濟ガ依存スル、米國一國ニ對シテ、或ル特殊ナ原料ヲ依存スルト云フ形ハ、是ハ漸次改メテ行カナケレバナラスト云フコトハ私ガ申スマデモナイ、既ニ一ツノ國家ガ自給自足ノ原則ニ立歸ツテ來テ居ツテ、最近ニ於テハ自國内ニ於ケル總テノ生産工業ハ、成タケ國内ノ資源ニ依リ、國內ノ勞働力ニ依リ、國內ノ機械ニ依ツテヤラウトスル行キ方ガ、今日ノ世界ノ行キ方デアリマス、其ノ場合ニ於テ日本ノ生産工業ナリ、日本ノ生産擴充ナリ、其ノ他ガ亞米利加一國ニ依存シテ、日本ノ輸入品ノ中ノ三四%ト云フモノヲ、亞米利加カラ買ツテ居ルト云フ此ノ狀態ハ、日本ノ爲ニ考ヘテモ非常ニ私共トシテ心配ナノデアリマス、デアリマスルカラ若シ亞米利加ガ禁輸ヲ斷行スルヤウナ場合ガアツタ時ノコトヲ當然政府トシテハ考ヘテ居ラレ、用意シテ居ラレモノト吾々ハ信ズル、又信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、ソレヲ信ジラレナイヤウナコトニナリマス、吾々ハ非常ナ不安ヲ感ズル、此ノ點ニ付テサウ云フ場合ガアツタ時ニ、政府ハ所謂日滿支三國ノ經濟圖ト申シマスルカ、此ノ經濟圖ヲ強化シ、更ニ其ノ經濟圖ヲ中心トシテ、日本ノ隣國ヨリ色々ナ物ヲ補給スルト云フ方法モアリマセウ、其ノ對策ニ付テハ幾多經濟學

者ナリ色々ナ人々ガ考究シテ居ラレルコトト思ヒマスシ、私ハ少クトモ企業院ニ於テハ、之ニ對スル對策ガ立ツテ居ルモノダト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ企業院總裁及ビ商工大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 只今ノ御尋ニ付キマシテハ、大體ノ考ヘ方ハ窪井君ノ今ノ御話ノヤウニ考ヘテ居リマス、ケレドモ其ノ詳細ヲ玆ニ申上ゲマスコトハ、聊カ考慮ヲ要スルト存ジマスカラ、明日ノ秘密會ニ於テ、企業院總裁、若クハ必要デアリマシタナラナイカト存ジマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○竹内(可)政府委員 差支ナイコトダケ御答申上ゲマス、只今日米通商條約ノ失效ニ依ツテ、亞米利加カラ輸入ヲ豫定シテ居リマスモノノ輸入ニハ大シタ支障ハゴザイマセヌ、尤モ是ハ今マデノ所デアリマス、御質問ノ將來大體ドウ考ヘルカト云フコトデアリマスガ、是ハ別ニ亞米利加ト申サズ、特ニ昨年ノ秋以來ノ歐洲情勢ノ變化ニ依リマシテ、特定ノ物資ガ特定ノ國カラ、豫定サレタ通りノ輸入ガ困難ニナツタト云フ事情ハ若干起ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ國內ノ生産ヲ増加シマストカ、或ハ在庫品ノ利用ヲ致シマストカ、或ハ又輸入先ヲ轉換スルト云フヤウナ臨機ノ措置ヲ現在講ジテ居リマスシ、又今後モサウ云フヤウナ措置ヲ講ジテ行ク積リデアリマス、更ニ進ンデ只今御尋ニナリマシタマア最悪ノ場合ト申シマスカニ對シマシテハ、帝國ガ其ノ存立ヲ維持シ、又使命ヲ完全ニ遂行シテ參リマス爲ニ必要ナル手段ニ付テハ、企業院トシテモ目下色々研究中デアリマス、日

滿支ヲ通ズル生産擴充、或ハ經濟圈ノ確立ト云フヤウナコトモ其ノ一ツダト思フノデアリマスケレドモ、色々研究シテ居リマスト云フコトハ極メテ最悪ノ場合デアリマシテ、唯目下ソレヲ研究シテ居ルト云フ程度デアリマスシ、又ソレニハ相當ナ覺悟ヲ要スルコトハ、只今御述ニナツタ通りダト思フノデアリマス

○窪井委員 私人企業院總裁ノ御答辯ハ間違ツテ居ルノダト思ヒマス、研究中デハナクテ、本當ハ對策ガ出來テ居ルト私ハ思フ、ソレヲ此處デ發表出來ナイノダト云フ御答辯ダト拜承致シマス、私ハ斯ウ云フ質問ヲスルコトハ、日本ノ國民トシテ實ハ殘念デアルノデアリマス、亞米利加ガ一方的ニ日本ノ横而ヲ張ルヤウナコトヲシタ時ニハドウシナケレバナラヌカト云フ相談ヲスル其ノ事自體ガ、私ハ非常ニ殘念ニ感ズルノデアリマス、實ニ此ノ機會ニ、日本ノ經濟ノ所謂條約上ノ採算主義ニ依ル對米依存——豈ニ對米依存トハ申シマセヌ、サウ云フヤウナ外國依存ノ我が日本ノ偏在貿易ニ對シテ、一大等鐘ヲ受ケタモノダト吾々ハ覺悟スルノデアリマス、サウシテ日本ハ、ヤハリ此ノ日滿支ノ經濟圈ヲ確保シ、之ヲ主體トシテ、有ニル經濟圈ニ於ケル「アウトクルキー」ニ全力ヲ集中シテ、日本ノ經濟政策ニ一大歴史的轉換期ニ遭遇シテ居ルト云フコトヲ吾々ハ覺悟シテ、サウシテ今次ノ事變ニ處スルニ當ツテ、私ハ今次事變ノ所謂三大原則ト云フモノガ非常ナル重要性ヲ帯ビテ來テ、一日モ早く汪兆銘政權ガ成立シ、茲ニ日滿支ノ經濟「プロック」ト云フモノガ出來ルコトヲ希望スル、又政府ニ於テモ之ニ對シテハ十分ナル計畫ガ存スルコトト思ヒマスガ、

更ニ一段ト有ニル角度カラ見テ、有ニル點ヲ檢討ナサイマシテ、今日ヨリ未然ニソレニ對抗シ得ルヤウナ用意ヲ爲サレンコトヲ、國民ノ一員トシテ切望ヲ申上ゲテ、此ノ問題ニ對スル御質問ハ打切りタイト思フノデアリマス、此ノ問題ニ付テ更ニ私ハ相當突込ダ御質問ヲ申上ゲタイト、實ハ思ツテ居ツタノデアリマスガ、是ハ私御遠慮申上ゲテ、サウ云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○三土委員長 窪井君ノ質問ハ長イデスカ、今日ハ初日デ以テ、各國務大臣モ全部揃ツテ居ル時分ニ餘程進捗シテ置カナイト、後ノ方ノ通告者ノ時間ヲ壓迫スルヤウニナルカラ、私ハ初メカラ調整シテ行カウト云フ考ナンダガ、今日ハドウシテモ三人濟マサウト思フノデス、此ノ次ノ松本君マデ……

○窪井委員 大體私ハ簡潔ニ、一問一答デナク述ベテ行ツテ居ル積リデス、モウ直グ濟ミマス、併シ私ノ時間ハマダ二時間ニナラヌノデス、長イ〜ト言ハレルケレドモ……

○三土委員長 イヤ、長イトハ言ツテ居ラス、希望スルノデス

○窪井委員 私人次ニ外務大臣ニ御伺シタイノデアリマスガ、「ソ」聯邦ニ對スル問題デアリマス、ソノ聯邦日本トノ經濟關係ハ、日獨伊ノ防共協定以來兎角圓滿ヲ缺イテ居ツテ、北樺太ノ石油問題トカ、或ハ「カムチツカ」ノ漁區ノ問題ト云フヤウナモノニ付テ、日露間ニ兎角ノ意見ノ齟齬ヲ來シテ居ルコトハ事實デアアルノデアリマスガ、私ハ漁區ノ問題ニ付テハ、最近ハ稍、何カ解決ノ曙光ヲ見ルニ至ツタト云フコトニ付テハ、同慶ニ堪ヘナイノデアリマスガ、私ハ現在ノ此ノ問題ニ付テハ大體ノ交渉ノ

經過ヲ、此ノ際外務大臣カラ承ツテ置キタイ、所謂北樺太ノ石油ノ問題ト、ソレカラ「カムチツカ」ノ漁區ノ問題、此ノ問題ニ付テノ交渉ノ經過ヲ今一應此處デ承ツテ置キタイ、更ニ今露西亞ト通商條約ノ問題ニ付テ交渉サレテ居ルト思ヒマスガ、此ノ露西亞トノ通商條約ノ問題ハ、私ハ此ノ際極メテ重大ト思ヒマスノデ、其ノ交渉ヲ、ドウ云フヤウニナサツテ居ルカト云フコトニ付テ承ルコトガ出來レバ結構ダト思フノデアリマス

○有田國務大臣 漁業條約ノ問題デアリマスガ、本年一杯ハ昨年押詰ツテ出來マシタ暫定取極ニ依ツテ、從來通り權利ヲ行使シテ居ルノデアリマスガ、此ノ暫定取極ノ中ニ、御承知ノヤウニ長期ノ漁業條約ノ交渉ヲスルト云フコトニナツテ居リマスノデ、只今「モスコ」ニ於テ交渉ヲ開始セントシツツアルノデアリマス、ソレカラ北樺太ニ於ケル權利ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ度々「ソ」聯邦ノ妨害ニ付テ抗議ヲシテ參ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ調整問題ガ起キマシテ以來、特ニ其ノ點ニ付テ重キヲ置イテ居リマスガ、マダ實際ノ上ニ於テサシタル改善ヲ見ナイノデアリマス、勿論石油並ニ石炭ノ點ニ付キマシテハ色々妨害行爲ガアル、例ヘバ是等ノ從業員ニ對スル妨害行爲、或ハ其ノ事業自體ニ對スル妨害行爲ト云フヤウニ色々アリマス、從業員ニ對スル妨害等ハ稍、緩和セラレタト云フ風ナコトモ聞イテ居ルノデアリマスガ、併シ之ヲ全體カラ考ヘテ見マスト云フト、サシタル改善ノ跡ヲマダ見テ居リマセヌ、ソレカラ通商協定ハ目下「モスコ」ニ於テ交渉中デアリマスガ、其ノ中ニハ一二ト申シマスガ、二三ト申シ

マスガ、難問題等ガアリマシテ、マダドウ云フ風ナ結果ニナルカト云フコトハ、豫測ヲ許サナイヤウナ状態ニアルノデアリマス

○窪井委員 私人總理大臣ニ御伺シタイト思ヒマスガ、總理大臣ハ、米内内閣ノ三大目標トシテ事變處理ノ遂行、ソレカラ自主的見地ニ立ツ國交調整、國民生活ノ安定、私ハ大體斯ウ三ツニ分ケテ、米内内閣ガ之ヲ根幹トシテ施政ヲナサルヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、此ノ事變處理ノ遂行ト云フコトト、國交調整ト及ビ國民生活ノ安定、此ノ三ツガ互ニ其ノ原因トナリ結果トナツテ、初メテ東亞ノ新建設ヲ爲シ得ルト思フノデアリマスガ、併シ此ノ三ツト云フモノハ、本當ニ政府ガ之ヲ完全ニナサレルコトガ出來マシタナラバ、非常ニ國家ノ爲ニ同慶ニ堪ヘナイノデアリマス、併シナガラ此ノ三ツノ要素ト云フモノハ、要素ハ三ツデアラレルドモガ、一ツノ要素ノヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、不可分ノ問題ト私ハ思ヒマス、是ト同時ニ此ノ重大ナ時局ヲ切抜ケテ行ツテ、事變處理ヲシヨウトスルニ當リマシテハ、其ノ一ツヲ理想的ニ遂行スル——事變處理ヲ本當ニヤラウト致シマスナラバ、ソコニドウシテモ國民生活ト云フモノニ對スル吾々ノ生活上ニ於ケル無理ガ少シ出テ來ル、又國民生活ト云フモノヲ本當ニ安定サスヤウナコトヲ考ヘルナラバ、又事變處理ノ上ニ於ケル支障ヲ來ス、又事變處理ヲ完全ニヤツテ行カウト云フナラバ、所謂第三國トノ國交ノ調整ト云フモノハサウ旨ク行クモノデアリマセヌ、又第三國トノ國交調整ノミヲ主眼トシテ考ヘル場合ニハ事變處理ガ旨ク行カヌ、此ノ三者ト云フモノハ私ハ非常ナ微妙ナ關係ニア

ト云フモノハ私ハ非常ナ微妙ナ關係ニア

ルモノダト思フノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ一體此ノ事變處理ヲシテ行クノニ付テ、國民生活ノ安定ト言ヒマスカ、所謂戰爭ヲスルト色々資材ハ、大砲ヲ造リ、鐵砲ヲ造リ、何ヲ造ルト云フヤウニ、軍需資材ノ方ニ多クノ物ガ要ルコトハ明瞭デアリマス、又サウシナケレバナリマセヌ、サウシテ見ルト云フト、吾々ガ日常生活ヲスル所ノ所謂平和産業ト言ヒマスカ、サウ云フヤウナ吾々ノ生活ノ必需品ト云フモノハ、ドウシテモ是ハ狭メラレル、今マデ十圓デヤツテ行ツタモノガ、今度ハ八圓デ食ツテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ状態ニナルト思フノデアリマスガ、此ノ國民生活ノ安定ト云フコトハ、事變遂行ヲシテ行クノニハ吾々ハ忍ブモノハ忍ビ、節約スルモノハ節約シ、十圓ノモノハ五圓デヤツテ行クト云フヤウニ、私共ハ國民生活ト云フモノハ考ヘナクチヤナラヌカラ、所謂國民生活ノ最小限度ニ物ヲ政府ガ確保スル、生活安定ト云フ意味デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、又國交調整ト云フコトハ、事變ヲ處理シテ行ク上ニ於テ、國交ヲ調整シテ行ケルモノハ行ク、併シ事變處理ニ障碍トナルモノニ付テハ、國交ニ摩擦ヲ生ズルモ已ムヲ得ナイ——私ハサウ思フ、ドウシテモ此ノ三者ヲ皆皆クヤツテ行カウツテ行ケナイノチヤナイカ、此ノ點ニ付テ事變處理、外交、國民生活ノ安定、此ノ三大目標ヲ總理大臣ハ掲ゲテ居デニナリマスガ、如何ナル考ヘ方ニ依ツテ、此ノ三ツヲ遂行シテ行カウトナサルノデアラウカ、其ノ御考ヲ承リタイノデアリマス

○米内國務大臣 非常ニ重大ナ問題ト思ヒマス、事變處理ハドウシテモ遂行シテ行カネベナリマセヌ、是ガ爲ニ第一ニ御質問ノ國民生活ト云フモノハ、最小限度ニ緊縮スルニアルト思ヒマス、又事變處理ニ關シマシテ、第三國ガ妨害的ナ態度ニ出ル、所謂外交交渉ヲヤツテモイカヌト云フ場合ニハ、覺悟シナケレバイカヌト考ヘテ居リマス

○窪井委員 私ハ最後ニ一點總理大臣ニ御伺シタイト思ヒマス、ソレハ國內ノ政治體制ノ問題デアリマス、今日ノ國家ノ政治體制ノ動向ト云フモノハ非常ニ難カシイノデアツテ、先程私ガ申上テマシタヤウニ、實際ニ處シテ國家ガヤツテ行クノニ、自一國ダケデハイケナイノデ、國家群ヲ作ツテヤツテ行クト云フヤウナ傾向ガ顯著ニナツテ來テ居ル、日本デモ日滿支ノ協同體ト云フモノニ依ツテ經濟提携ヲシ、一體トナツテ行ク、所謂日滿支ガ一ツノ國家群ヲ作ツテ行ク、サウ云フ傾向ヲ取ツテ行クヤウナ形デアリマス、其ノ一ツノ、例ヘバ東亞新秩序建設ヲ考ヘテ見ルトキニ、日本ノ國家ガ是等ノ國ヲ指導シテ行カウトスルニ當ツテ、日本ノ國家ガ其ノ地位ニ立ツ場合ニハ、日本ノ國ト國民トハ一定ノ方向ニ吾々ノ總テノ活動方向ハナケレバナラヌ、所謂事變處理、東亞ノ新秩序建設ヲ目標トシテ、總テノ日本人ノ氣持ガソコニ集中サレテ行カナケレバナラヌト思フ、即チ之ヲ言換ヘマスルト、日本ノ國民ガ東亞ノ新秩序建設ト云フ大ナル目的ニ、國民ノ總テガ非常ナ元氣ヲ出シテ、逞シイ所ノ國民ノ總力量ト云ヒマスカ、其ノ總力量ト又日本國民ガ持ツテ居ル所ノ偉大ナル教智、智慧、知識、之ヲ一ツニ綜合統一シテ、東亞新秩序ノ目標ニ向ハセル、是ガ一ツノ方向ニ向ツテ統一サレ、綜合サレ、組織サレテ行クトキニ、

初メテ國家ノ力ト云フモノガ大キナル働キヲ爲スノダト私ハ考ヘル、獨逸、伊太利ノ例ヲ見テモサウデス、伊太利ガ第二羅馬帝國ヲ建設スル、茲ニ總テノ國民ノ頭ヲ向ケル、獨逸モサウダ、獨逸モ第三帝國ヲ作り、之ヲ作ル爲ニハ總テ——所謂公益ハ私益ニ優先スル、個人思想ノ考ヲ止メ、自由主義ノ考ヲ止メテ、全體ノ目的ニ向ツテ行クト云フ建前ヲ執ツタ爲ニ、アノ貴族ナ伊太利ヤ二十年前ニ負ケタ獨逸ガ復興シタ、是ハ國民ノ心ト力ヲ一ツニシテ、其處ニ集中サセタ私ハ結果ダト思フ、今日ノ日本ガ東亞ノ新秩序建設ト云フ歴史的使命ヲ以テ——三千年來吾々ノ民族ガ先祖カラ受ケテ來タ此ノ血液ヲ、此ノ新秩序ノ建設ト云フモノニ向ツテ注ガントスル今日ノ日本ノ行動、言葉ヲ難シク言フト生命體ト云フモノハ、是ハ又永遠ニ悠久ニ傳ハツテ行クモノト考ヘル、サウシク場合ニ、現在此ノ國ニ生ヲ享ケテ居ル私共ガ、此ノ國民ノ總力、教智ト云フモノヲ完全ニ發揮シ得ナカッタナラバ、吾々ハ子孫ニ對シテ、又事變處理ノ上ニ於テ、非常ナ日本ノ歴史ノ上ニ於ケル吾々ノ行動ト云フモノハ、腹ヲ切ツテモ濟マナイヤウナ状態ニナルト私ハ思フ、此ノ意味ニ於テ、日本ノ國民ヲ國家ノ大キナル一ツノ目的、大使命ノ下ニ結合シテ、國民ヲサウ云フヤウニ指導シテ、又ソレヲ訓練シテ、國民ガ此ノ國家目的ト云フモノヲ完全ニ理解シタ時ニ當ツテ、初メテ國民ガ政治ニ參與スルコトガ出來ルト思フ、政治ニ國民ガ參與シテ、政府ト國民ト一體不可分ノ體制ノ下ニ政府ニ協力スルコトガ、事變處理ノ上ニ於テ最モ緊急ノコトダト存ズルノデアリマス、此ノ私ノ考ノ如ク、國民ヲソコヘ持ツテ行

ツテ統制アル一ツノ組織體トスル、是ガ一口ニ言ヒマス、所謂國民ノ政治組織化ト云ヒマセウカ、國民ノ再組織ト申シマセウカ、言葉ハドチラデモ宜シイガ、今ハサウ云フヤウニ持ツテ行クテノミ國家目的ガ完遂サレルト考ヘル、此ノ國民ノ政治組織ヲ更ニ強化シテ——今日ノ戰爭ト云フモノハ、戰爭ソレ自體ガ國家ノ大キナ政治行動デアル、同様ニ戰爭ト云フモノハ又國民全體ノ政治行動ナケレバナラヌ、故ニ私ハ國民ハ眞劍ニ政治ニ加ハル、サウシテ國家ノ目的ニ向ツテ、ソレヲ理解シ協力シテ行クト云フヤウナ形デアリマス、初メテ皇運扶翼、天業翼贊ノ責任ヲ果スコトガ出來ルノデアリマス、之ニ依ツテノミ國民、國家ト云フモノハ、其ノ總力ト教智トヲ完全ニ發揮シテ、政治上ノ大キナル活動ヲスルコトガ出來ル、之ヲ私ハ一ツ組織化シテ、茲ニ初メテ日本ノ本當ナル政黨ト云フモノガ出來ルノデハナイカ、今日國民ハ政治ニ參與スルコトニ對シテ、私ハ嫌フヤウナ傾向ガアリハシナイカト思フ、是ハ實際アル、例ヘバ政黨ニ入レト言ツテモ厭ダト言フ人ガ多イ、役人ニ政黨ニ入レト言ツテモ入りハセヌ、在郷軍人ガ政黨ニ入ルカト云フト入ラヌ、サウ云フヤウナバラ／＼ノ形デ、此ノ大キナ目的ヲ遂行スルコトハ、非常ニ困難ダト思フノデアリマス、ソレデ私ハ今言フ一ツノ國家目的ノ爲ニ國民ヲ一ツノ方向ニ向ハシメル、官吏モ、在郷軍人モ、勞働者モ、社員モ、商人モ總テ政治ニ參與スルト云フコト、是ガ吾々ノ一ツノ義務デアアル、兵役モ義務デアリ、納稅モ義務デアリ、又教育ノ義務ヲ負擔スルヤウニ——從來ノ如ク自由民權ノ思想ノ下ニ於テハ、政治ヲ參政權ト

カ言ツテ居リマシタガ、是ハ權利デナクシテ國家ニ奉仕スルノ義務デアルト云フ觀念ノ下ニ於テ、初メテ私ハ國民ガ政治ニ協力スル、自ラ政府ニ協力スルト云フ偉大ナルソコニ力ガ生レ、睿智ガ生レテ來ルト私共ハ信ズル、サウ云フコトニ依ツテ日本ノ國內ニ一ツノ政治組織ヲ作り、國民ノ組織ヲ作ル、サウシテソレガ政黨トナリ、其ノ組織ノ下ニ政府ガ立ツテ居ツテ、初メテ私ハ本當ノ革新ヲ斷行スル、本當ニ大キナ國家目的一本ニ之ヲ持ツテ行クノデアリマスカラ、政府ノスルコトハ直ク國民ガ考ヘル、國民ノ考ヘタコトハ政府ガシテ呉レル、サウシテ此ノ天業ヲ費ヤスルト云フコトハ、日本ノ國體ノ本質デアルト私ハ思フ、其ノ意味ニ於テ是ガ其ノ形ニナツテ居ラスカラ、例ヘバ近衛内閣ニ致シマシテモ、ドウシテモ私ハシクジツタト思フ、是ハ眞劍ニ總理大臣ニ考ヘテ貫ヒタイト思フ、又平沼内閣ニシテモイケマセヌ、阿部サンノ内閣ニシテモ、何ダカ國民ト政府トガチヤント一ツニナツテハ居ナイ、政府ガ國民ニ協力ヲ求メナケレバナラヌト云フヤウナ馬鹿ナコトガ、日本ニアリマスカ、政府ト國民ハ一體デア

ル 天皇陛下ガ總理大臣ニ大命ヲ降サレ、サウシテ此ノ事變處理ヲセヨト仰セラレテ、俺ハ事變處理ヲスルノダ、ソレヲドウシテ國民ニ協力ヲ求メナケレバナリマセヌカ、私共國民ハ進ンデ協力シナケレバナラヌコトハ當然ナコトデアアル、サウ云フコトヲ政府ガ言ハナケレバナラヌヤウナコトデア、事變處理ガ出來ルカ、例ヘバ貿易省ノ問題、官吏ノ身分保障令撤廢ノ問題、ソレ一ツ出來ナイヤウナコトデア、此ノ東亞新秩序ノ建設ハ出來ルモノデヤナイ、ソレハ今マデノ形

ガ私ハ惡イト思フ、是ハ直サウト思ヘバ何時デモ直セル、ソレヲ直シテ初メテサウ云フモノ、所謂一ツノ動向ニ國民ヲ持ツテ行ツテ、サウシテソレヲ國民ノ總力ニ依ツテ、ソレカラ偉大ナル睿智ヲ集メテ、サウシテ茲ニソレヲ一ツノ組織化シ、其ノ上ニ政府ガ乗ツテ居ツタ場合ニハ、政府ノスルコトハ直ク國民ノ總力ヲ協力ヲ求メルコトニナル、サウ云フ形ハ日本ノ國體ノ上ニ於テハ當然デアツテ、私ハ此ノ故ニ總理大臣ハ、サウ云フヤウナ國內ノ政治體制ト申シマスカ、所謂新シイ政黨ト言ヒマスカ、サウ云フモノニ對シテ、サウ云フヤウナコトヲスベキモノデアアルカドウカト云フコトニ付テ、總理大臣ノ率直ナル御所見ヲ披瀝シテ戴キタイト思フノデアリマス

○米内國務大臣 戰時經濟ノ運用、ソレカラ東亞新秩序建設、此ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、強力ナル政治ヲ必要ト致シマス、但シ只今ノ御説ノヤウナ、所謂全體主義的國民再組織トデモ申シマスカ、ソレハマダ考ヘテ居リマセヌ、凡ソ國政ノ大本ハ憲法ノ下ニ強ク正シキ政治ノ行ハルルコトヲ考ヘテ居ルノミデアリマス

○窪井委員 只今總理ノ御話デスガ、私ハ何モ全體主義的ト云フヤウナコトヲ、申上ゲタノデハナイノデアリマス、日本ノ國民ハ所謂自分ノ節ヲ盡シ、臣民道ヲ盡スト云フコト以外ニハ何モナイ、ソレヲ私ハ臣民道ヲ盡ス上ニ於テ、目標ヲ東亞新秩序建設ト云フヤウナモノニシナケレバナラヌト云フノデアリマス、從來ノ政黨ト云フモノハ、是ハ申上ゲルマデモナク自由民權、開族打破、軍閥打破ト云フヤウナコトカラ生レタト云フコトハ分り切ツタコトデアアル、

○米内國務大臣 是ハ強力ナル政治ノ力ニ依リマス、先程カラノ御話ヲ聽イテ居リマスルト云フト、或ハ伊太利ノ例ヲ取り、或ハ獨逸ノ例ヲ取ツテ、其ノ御言葉ノ中ニ全體主義的の云々ト云フ御言葉ガアリマシタカラ、私ハ假ニ全體主義的の國民再組織ト申シタノデアリマス、若シ全體主義ト云フコトガイカスト仰シヤルナラバ、ソレハ削ツテモ宜シウゴザイマス、唯アナタノ御言葉ヲ借用シタダケデアリマス

○窪井委員 私人質問ハ是デ終リマス

○有田國務大臣 先程窪井君ノ御質問ノ中ニ、私ノ答辯ヲ差控ヘテ置イタ點ガアリマスカラ、ソレヲ一言御答致シマス、ノモンハン」方面ニ於ケル國境確定ノ爲ニ、臨時國境確定委員會ガ、日ソ兩國ノ意見ガ對立シテ、其ノ任務ヲ完全ニ遂行スルコトガ出來ナクナツタト云フ御話ニ付キマシテハ、其ノ發表ニ付キマシテドウ云フ風ナ發表、詰リ兩國デ其ノ發表ノ内容ヲ打合セテ、所謂共同「コンミニニケ」ヲ出ス譯デアリマスガ、其ノ發表内容ガ二月一日ノ演説ノ間ニ合ハナイヤウナ時間ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ正式ノ外務省ノ發表ハ、二月一日ノ午後四時ニ致シタ次第デアリマス、國內手續ノ關係等モアリ、又今ノ共同「コンミニ

○三土委員長 松本忠雄君

○松本委員 私人質問ニシテ外交ノ問題ニ付テ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、私ノ御尋申上ゲルコトハ、吾々局外者ガ外交ニ付テ抱イテ居ル疑問ヲ明ニ致シマシテ、事態ヲ明瞭ニ致シタイト云フノデアリマシテ、決シテ當局ヲ糺彈スルトカ、問責スルトカ云フ積リハ毛頭ナイノデアリマス、隨テ現内閣御成立以前ノコトニ付テモ、御尋ヲセザルヲ得ナイコトニナルト思ヒマスガ、大臣カラデナクテモ、政府委員ノ方デモドナタデモ宜ウゴザイマスカラ、明確ニ事實ノ御示シヲ願ヒタイゴザイマス

第一ハ亞米利加ノ問題ニ付テデゴザイマスカ、其ノ一問ハ日米兩國ノ間ガ、現在ノ如ク無條約ニ入リマシタコトハ、東京ニ駐在スル亞米利加ノ大使「ダグ」ニ、帝國政府ガ欺カレタノデハナイカ、斯ウ云フコトデゴザイマス、一國ノ元首ヲ代表スル大使ガ、或ル任國ノ政府ヲ欺イタト云フヤウナ言葉ハ、洵ニ矯激デゴザイマス、私モ左様ナ言葉ヲ使ヒタクナイノデアリマスガ、遺憾ナガラ吾々局外者ガ事實ヲ靜ニ見テ居リ

マスト、サウ云フ感ジヲ抱カザルヲ得ナカ  
ツクノデアリマス、米國政府ハ昨年ノ七月  
二十六日ニ、帝國政府ニ對シテ、六箇月ノ  
猶豫期間ヲ置イテ、現ニ其ノ當時行ハレテ  
居ツク通商條約廢棄ヲ申込デ來タノデア  
リマス、是ハ米國政府ガ、日米ノ間ヲ無條  
約状態ニ置キタイト云フ目的ニ出タモノデ  
アルコトハ、一點ノ疑義ヲ挾ムコトガ出來  
ナイノデアリマス、更ニ昨年十二月二十二  
日ニ、日米ノ間方無條約ニナツタ後ニ、米  
國トシテハ日本ノ通商ニ對シテ如何ナル處  
置ヲスベキカト云フ國內手續ヲ終ツタノデ  
アリマス、此ノ二ツノ事實ヲ見テ、吾々局  
外者トシテハ、亞米利加ガ一月二十六日ヲ  
以テ、日米ノ間方無條約ニスル意思デア  
ルコトハ最早一點ノ疑ナシト、斯ウ觀  
察セラレルノデアリマス、然ルニ昨年十二  
月二十二日ニ外務省ノ情報部長ハ、斯ウ云  
フ談話ヲ發表サレテ居リマス、是ハ昨年清瀨  
君ニ依ツテ本會議場ニ紹介セラレマシタケ  
ドモ、私ノ質問ヲ進メル上ニ於テ必要デア  
リマスカラ、モウ一遍繰返スコトヲ許シテ  
戴キタイ、斯ウ申サレテ居リマス「本日野  
村大臣トノ會見ニ於テ「グルー」大使ハ本  
國政府ノ訓令ニ基キ日米間ニ無條約状  
態ハ出來ナイデアラウト云フ明ルイ表示ヲ  
齎シタ、之ニ依ツテ今後日米間ニドウ云フ  
措置ガ現實ニ執ラレルカニ付テハ東京會談  
ヲ重ネル必要ガアルガ、日米雙方ノ實業界  
等デ懸念シテ居タ事態ハ、吹飛バヤウナ光  
明アル兩國關係ガ展開サレルコトガ先ヅ明  
カトナツタ」斯ウ言ハレタノデアリマス、  
亞米利加ノ日本ニ對スル態度措置ガ、日米  
ヲ無條約ニスベクヤツテ居ルコトガ明ニ思  
ハレタト云フ、外務省ノ情報部長ガ斯ノ如

キ談話ヲ發表セラレタト云フコトハ、當日  
ノ會談ニ於テ「グルー」大使ガ餘程力強ク、  
餘程明確ナ言葉ヲ以テ、一月二十六日以後  
日米ヲ無條約ニシテ置カナイト云フコトヲ  
言明サレタモノト、吾々局外者ハ判斷セザ  
ルヲ得ナイノデアリマス、然ルニ今日ノ事  
態ハ御覽ノ通り、然ラバ其ノ當日ノ野村  
「グルー」ノ會談ニ於テ、我方情報部長ヲシ  
テ斯ノ如キ樂觀的言辭ヲ國民ノ前ニ發表セ  
シムルニ至ツタ、「グルー」大使ノ意見ハド  
ウ云フコトデアツタカ、ドウシテ帝國政府  
ヲ欺クコトニナツタカト云フ真相ヲ、御説  
明願ハナケレバナラズ存ズルノデアリマ  
ス、此ノ點ヲ御尋致シマス  
○有田國務大臣 亞米利加ノ昨年ノ廢棄通  
告ハ、必ズシモ一月二十六日ニハ無條約ニ  
シヨウト云フ考ヲ以テヤツタノデアリマス  
カ、或ハ日本ノ考ヘ方ヲ變ヘシメ得ルモノ  
ガアルナラバ變ヘシメテ、條約ヲ締結シタ  
イト云フ風ニ考ヘテ居ツタノデアリマスカ、  
其ノ邊ノ所ハ私ニハ何レトモ斷言ハ出來ナ  
イノデアリマス、併シナガラ兎ニ角此ノ新  
シイ通商航海條約ノ締結ニ付テハ、廢棄ノ  
通告ヲシナイ前ハ兎モ角モ、一タビ廢棄通  
告ヲ致シタ以上ハ、相當困難ガアルト云フ  
コトハ、私ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、  
ソレハ本問題ニ直接關係ノナイコトデアリ  
マスガ、ソコデ此ノ野村前外務大臣ト「グ  
ルー」大使トノ會見ニ付テデアリマスガ、私  
ノ承知致シテ居リマス所デハ、「グルー」大使  
ハ決シテ日本、或ハ日本政府ヲ欺クト云フ  
風ナ考ヲ持ツテ居ラナイコトハ勿論、サウ  
云フ風ナ話ガアツタトハ私ハ考ヘテ居マセ  
ス、恐ラク「グルー」大使ハ條約ガナクナ  
ツテモ、條約ガアルト同ジヤウナ状態ニ於

ケルヤウナ——ト斯ウ云フ意味デアツタト  
思フノデアリマスガ、併シソレヲ情報部長  
ノ談トシテ新聞ニ傳ヘラレマス際ニハ、只  
今松本君ガ御讀ミニナツタヤウナコトデ一  
般ニ現ハレタモノト存ジマス、私ハ世間ニ  
サウ云フ風ナ誤解ヲ興ヘマシタトスルノナ  
ラバ、ソレハ甚ダ心外ナ、残念ナコトダト  
思フテ居ルノデアリマシテ、野村「グルー」  
兩氏ノ會見ニ於テ、亞米利加大使ガ日本ヲ  
欺クト云フ風ナ意思ノナカツタト云フコト  
ハ、私ハ確信シテ疑ハナイ所デアリマス  
○松本委員 只今ノ外務大臣ノ御答辭ニ依  
ツテ、尊敬スル大使ガ帝國政府ヲ欺イタノ  
デハナイト云フコトガ分ツタコトハ、甚ダ  
仕合せデアリマス、ソレト共ニ外務省當局  
ガ、國民ヲシテソシナ間違ツタ考ヘ方ヲ持  
タシムルヤウナ發表ノ仕方ハ、私ハ面白ク  
ナカツタト思ヒマスガ、ソレハ感想デゴザ  
イマスカラ、宜シウゴザイマス  
其ノ次ニ伺ヒタイコトハ日米暫定協定ト  
云フモノガ、兩國ノ間ニ話合ヒノ議題ニ上  
ツテ居ルカノヤウニ傳ヘテ居リマスガ、是  
ハ現在堀内大使ガ「ハル」長官ニ提示シタト  
云フコトガ傳ヘラレテ居リマスガ、其ノ  
提示サレタモノハ日米間ノ交渉ノ議題トナ  
ツテ居ルノデゴザイマスカ、其ノ事ヲ明確  
ニ伺ヒタイノデアリマス  
○有田國務大臣 暫定取決メニ對スルコト  
ハ、目下別ニ問題トナツテ居マセヌ、唯先  
程モ窪井君ノ御質問ニ對シテ答ヘタカト思  
フノデアリマスガ、兩國ノ條約ヲ締結スル  
ト云フコトハ、相當困難ガアルトハ思ヒマ  
スルケレドモ、ソレヲ結バウト云フ努力ハ  
是ハ捨テナイノデアリマス  
○松本委員 其ノ點ハソレト致シマシテ、

新聞ノ報ズル所ニ依ルト、堀内大使カラ「ハ  
ル」長官ニ暫定協定草案ヲ提示シテ、サウシ  
テ之ニ對スル帝國政府ノ意向ヲ説明シタト  
云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスカラ、  
ソレガ議題ニナツタカドウカト云フコトヲ  
御伺致シタノデアリマス、ソレデ日米ガ  
無條約ニナリマス今日マデノ日米間ノ交  
渉ノ内容ト申シマスガ、私共局外カラ拜  
見シテ居リマス、帝國政府ノ亞米利加  
ニ對スル態度ハ何ト申シテモ讓歩的デアリ  
マス、妥協的デアリマス、是ハ私ハ申サナ  
ケレバナラズカト思ヒマス、野村大臣ト  
「グルー」大使ノ會見ニ依ツテ、帝國政府ハ  
亞米利加トノ間ニアル懸案多數ノ中、少ク  
トモ數十件ヲ一舉ニ解決スルト云フ意向ヲ  
表示シタト云フコトガ傳ヘラレテ居リマス、  
更ニ昨日來問題ニナツテ居リマス揚子江  
江開放ト云フコトノ意向モ傳ヘラレタコト  
ハ事實デアリマス、然ルニ之ニ對スル帝國  
政府ノ今日マデノ態度ヲ私共總括シテ考ヘ  
マスナラバ、最初ノ内ハ米國政府ハ屬ト  
申上ゲテ宜イ程度ニ、帝國政府ニ對シテ色  
色ナ申入レヲ致シマシタ、更ニ歐羅巴戰爭  
ガ起ツテカラ、其ノ傾向ハ著シクナツタノ  
デアリマスガ、米國海軍ハ帝國海軍ニ對シ  
テ、示威的ノ態度ヲ執ツテ居リマス、更ニ  
日本ノ實業家ガ米國ニ於テ「クレヂット」ヲ  
設定シヨウトスレバ、米國ノ方ハ明ニ之ヲ  
妨害致シテ居リマス、更ニ亞米利加ハ日本  
ニ對シテ事實上ノ禁輸ヲ行ツテ居ルモノガ  
少クアリマセヌ、之ヲ德義的輸出禁止ト申  
シマセウカ、何ト申シマスカ知リマセヌ  
ガ、事實的ニハ輸出禁止ガ澤山行ハレテ居  
リマス、飛行機、生護謨、特殊金屬、飛行  
機用「ガソリン」製造工程及ビ特許權、是等

ハ今日既ニ明ニ輸出ガ禁止サレテ居リマス、更ニ肩鐵ハ割當ト云フコトニナツテ、輸出禁止ノ一步前マデ來テ居ルヤウナ状態デアリマス、其ノ後ニ來タモノガ只今ノ條約廢棄デアリマス、而シテ更ニ近ク來ラントスルモノガ日本ニ對スル所ノ輸出禁止案デアリマス、此ノ輸出禁止案ガ米國ノ議會デ取極メラレルカ知リマセヌケレドモ、日本政府ノ態度ガ讓歩的デアツタコトニ對シテ、亞米利加ノ態度ガ益々非友誼的デアツタト云フコトハ、私ハ否定スルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソコデハ吾々局外者ノ批評デゴザイマスカラ、唯外務大臣ノ御參考ニ申上ゲルノデアリマスガ、吾々ハ帝國政府ガ米國ニ對シテ斯ノ如キ妥協的ノ態度ヲ執ツタコトガ、却テ米國ヲシテ益々日本ニ對シテ非友誼的ノ態度ヲ執ラシメルコトニナツタノデハナイカト云フヤウナ感想ヲ抱イテ居ルカドゴザイマス、此ノ感想ガ當ツテ居ルカドウカハ、是ハ別問題デゴザイマスガ、私ハソコデ外務大臣ニ向ツテ、揚子江開放ノ問題ハ、昨日及ビ只今モ問題ニナリマシタケレドモ、揚子江開放ガ日米通商條約締結ト云フコトニ對スル帝國ノ條件デナイカト云フコトヲ、昨日誰カガ御聽キニナリマシタ、是ハ確信致シマス、條件デハナイカ、是ガ日米ノ間ヲ無條約ニシナイ爲ノ帝國ノ或ル「ゼスチユア」デアツタト云フコトハ、私共ハ外観カラ見テ否定出來ナイト思ヒマスガ、其ノ點ヲ御尋致シマス

○有田國務大臣 亞米利加ノ日本ニ對スル態度ニ比シテ日本ノ態度ガヨリ妥協的デアツタト云フ風ニ、而シテ今日日米間ノ關係ノ寧ろ惡化ト申シマスガ、サウナツテ居ルノハ、日本ノ此ノ妥協的ノ態度ニ原因スルノ

道部カラ發表サレマシタノガ十二月十八日午後三時、野村外務大臣ガ「グルー」大使ニ會見サレテ此ノ問題ヲ通告サレタノガ、同日ノ午後三時半デアリマス、而シテ谷次官ガ英國大使ニ此ノ問題ヲ通告シタノハ其ノ夜デアリマス、歐亞局長ガ佛蘭西、獨逸、伊太利ノ三國ノ大使館員ヲ招イデ之ヲ通告サレタノモ、其ノ夜デアリマス、ドウモ斯ウ云フ事實ヲ見ルト、局外者カラ見レバ見ル程如何ニモ是ガ對米「ゼスチユア」デアツタヤウニ見エルノデアリマス、外務大臣カラサウデナカツタト云フハツキリシタ御言葉ヲ賜ツテ置クコトガ私共ニ必要デアリマス、併シハ私共ガ見テ居ルガケデハナイノデアリマス、現ニ當ノ亞米利加ガサウ見テ居ルノデゴザイマシテ、先刻窪井君カラ亞米利加ノ新聞ノ報道ガアリマシタカラ、煩ハシクナリマスカラ、ソレハ略シテ置キマスガ、其ノ翌日十九日「ニューヨーク」タイムス」ノ上海ニ居ル「アーベント」通信員ハ斯ウ云フコトヲ書イテ居ル、從來日本側ガ支那事變ノ繼續スル限リ揚子江閉鎖ハ續ケラレヤウト繰返シ確言シタノニ、今突然廻レ右ヲシタノハ通商條約廢棄ト米國海軍ノ太平洋ニ於ケル増強其ノ他華盛頓カラノ壓力ニ依ルモノダト云フノガ上海デ——私ハ是ハ括弧ハ入レルガ、上海デ日本筋以外デ信ゼラレテ居ルノデアアル、斯様ニ通信ヲ致シテ居リマス、更ニ「ニューヨーク」タイムス」ノ十九日ノ社説ニハ斯ウアリマス、日本側今何ノ讓歩ハ米國ノ不平ノホソノ僅ナ一部ヲ除去シタモノニ過ギナイ、併シ今何ノ措置ニ含マレタ妥協的意圖ハ假令小ナリト雖モ讓歩ノ實證デアリ、歡迎スベキデアラウ、米國ガ日本貿易ヲ必要トスル以上

ニ日本ハ米國ヲ市場及ビ原料品ノ供給地トシテ必要トスル、日本ガ明年一月二十六日以後ノ日米關係ニ付キ有シテ居ル不安ノ念ハ日本ニ通商條約廢棄當時豫期サレタ效果ヲ生ジツアルヤウニ見エル、同ジヤウナ新聞ノ報道ガ澤山アリマスガ、是ハ略シテ置キマス、少クトモ亞米利加筋デハ日本ガ日米ヲ無條約ニ陥レナイ爲ノ讓歩デアルト見テ居ルヤウデアリマス、ソコデ亞米利加トシテハ日米ヲ無條約ニシテ置キサヘスレバ、日本ハ此ノ上又讓歩スル、斯ウ云フ風ナ感じヲ抱イタト吾々ガ推定スルノハ必ズシモ間違ツタモノデハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、併シ濟ンダコトハ私ハ強ヒテ追窮ハ致シマセヌガ、此ノ對米「ゼスチユア」デナカツタト考ヘルト云フ御言葉ヲ戴イタコトハ國家ノ爲欣幸ト致シテ此ノ點ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス

ソコデハ軍ノ方ニ御尋致シタイガ、揚子江下流一帶ノ最近ノ治安状態ハ如何ナル状態デアルカト云フコトヲ御尋致シタイ

○烟國務大臣 揚子江ノ下流ノ我が占據地ニ於キマスル敵ノ兵力ハ現在約九万デアリマス、其ノ主ナルモノハ共產軍及ビ各省ノ舊保安隊及ビ自衛團等デアリマス、是等ノ敵兵力ハ主トシテ湖北地方、太湖附近ニ位置シテ居リマシテ、又杭州ノ南方地區ニハ約二十箇師以上ノ正規軍ガアリマシテ、我が占據地域内ノ所謂匪團ヲ操縱スルト共ニ我軍ノ據守ニ乘ジマシテ治安ノ擾亂ヲ企圖シテ居リマス、併シナガラ我軍ハ之ヲ積極的ニ討伐ヲシテ居リマスシ、又一方ソレニ附隨スル綏靖工作ニ依リマシテ歸順部隊ハ漸次増加ヲ致シマシテ目下約一万ニ達シテ居リマス、且ツ維新政府ノ治安行政機構ノ

整備ニ依リマシテ警察力モ漸次擴大シ、自衛團ノ設立及ビ保甲制度ヲ確立致シマシテ、段々其ノ成果ヲ擧ゲツツアリマス、我軍ノ占據地域内ノ各縣ハ殆ンド全部縣政ヲ回復致シマシテ、省政府統轄ノ下ニ行政地域ノ擴大強化ニ努メツツアル状態デアリマス、要シマスルニ、揚子江下流地域、殊ニ三角地帯ニ於ケル治安ト云フモノハ最近著シク良イ方ニ向イテ來テ居リマス

○松本委員 陸軍大臣カラ最近ノ情勢ヲ説明セラレタガ、私共軍報道部カラ出テ居リマス所ノ新聞記事ニ依ツテ拜見致シマス、昨年十二月中ニ南京附近ニ於テ我軍ガ兵匪ヲ討伐サレタ所ノ回数ハ七百六十六回、敵ノ遺棄屍體二千四百六十一、更ニ南京附近ニ於ケル昨年一年中ノ兵匪討伐回数ハ三千九百六十五回、敵ノ遺棄屍體一万六千二百四十三、斯ウアリマス、更ニ昨年十二月中ノ揚子江下流地域ノ戰果トシテ、我軍ガ交戦シタ兵力十萬、敵ノ遺棄屍體一万二千ト發表サレテ居リマス、尙ホ此ノ揚子江ノ下流地方一帯ニマダ敵ノ兵力ガ相當蔓延ツテ居ルヤウニ拜見出來ルノデアリマス、斯ノ如キ状態ノ下ニ揚子江下流ヲ開放シマス時、是等ノ兵匪ニ武器ヲ供給シ、彼等ノ勢ヲ加ヘルコトニナツテ皇軍ヲシテ益、治安維持ニ困難ヲ感ゼシメルヤウナ事態ニハナラナイノデゴザイマセウカ、此ノ點ニ對スル御見透シヲ承リタイ

○畑國務大臣 只今松本君ノ御述ニナリマシタ我軍ノ討伐回数、是等ハ要スルニ明ニ揚子江下流地域ニ於キマシテ殘敵匪賊、元來ノ自衛團並ニ保安隊等ガ匪賊ニ變化シタモノヲ、一々討伐シタ所ノ巨細ノ數ヲ總テ統合シタモノデアリマス、併シ全般ニ於キ

マシテハ、只今申シマシタ通り逐次治安モ回復シテ居リマスシ、揚子江ノ開放ト云フコトハ、現地軍ガ作戰ノ状況上之ヲ許スコトニナツタノデ、今準備ヲ始メタト云フヤウナ發表ヲ致シタコトハ、既ニ御承知ノ通りデアリマス

○松本委員 吾々ハ忠勇ナル將士ノ血ヲ流サナケレバナラナイヤウニナルヤウナ事態ハ、極力之ヲ回避シナケレバナラナイト存ジマス、隨テ揚子江開放ノ問題ニ付テモ、勿論軍當局ノ御聲明ニハ時期モ認メテゴザイマセス、條件モゴザイマセス、隨テイツ何時之ヲ開クト云フコトノ御聲明デハナイノデアリマスカラ、我が忠勇ナル將士ノ血ヲ一滴ト雖モ多ク流スコトノナイヤウナ状態ニナツタ時ニ、其ノ開放ヲ實行サレテ戴カシコトヲ希望シテ置キマス、此ノ十二月十八日カノ通告ニ依ツテ、帝國ハ揚子江下流ヲ開放シナケレバナラナイト云フ義務ヲ負ハサレテ居ルモノト解釋スベキデゴザイマセウカ

○有田國務大臣 一方的聲明デアリマスカラ、別ニ義務ハ負ウテ居リマセス  
○松本委員 外務大臣ノ洵ニ力アル御言葉ヲ得タコトヲ嬉シク存ジマス、ソコデ亞米利加ハ日本ニ對シテ色々ナコトヲシテ、帝國ニ對シテ色々ノ要求ヲ出シテ居ルヤウデアリマスガ、一體米國ガ日本ニ對シテ此ノ事變ニ付テ要求シテ居ルモノハドノ點デスカ、之ヲ一ツ明確ニ示シテ戴キタイと思フノデス、是ハ此ノ事變ノ結果、支那ニ於ケル米國ノ權益ニ何等カノ支障ヲ與ヘラレタモノニ對スル彼等ノ要求カ、或ハ支那ニ於ケル米國人ノ通商上ニ色々ノ障礙若クハ差別ノ待遇ヲ被ツテ居ル、ソレヲ恢復シヨウト

スルカ、或ハ亞米利加ガ振替シテ居ル所ノ九箇國條約、之ニ盛ツテアル所ノ色々ノ主義方針、之ヲ日本ガ尊重シナイトカ云フコトデ、其ノ恢復ヲ求メルカ、或ハ此ノ三ツノモノ全部ヲ日本ガ何トカシロト云フノカ、米國ガ日本ニ求メルモノハドノ點ニアルカト云フコトヲ、一ツ明確ニ教ヘテ戴キタイと思ヒマス

○有田國務大臣 ソレハ一寸松本君ニ私ガ明瞭ニ理解シナカッタノデ御尋シマスガ、條約締結ノ爲ニ如何ナル範圍ノモノヲ要求シテ居ルカト云フノデスカ、或ハ條約締結ト云フコトヲ離レテ、亞米利加ハ如何ナルコトヲ希望シテ居ルノカト云フ御尋デゴザイマスカ  
○松本委員 離レテデゴザイマス  
○有田國務大臣 離レテ一般的ニドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フコトデスネ、是ハ一昨年ノ十月十六日カノ亞米利加ノ公文ニ於テ明ニナツテ居ルト思フノデアリマスガ、支那ニ於ケル亞米利加人ノ生命財產、其ノ他ノ個人的ノ權利ニ付テ被ツタ損害ヲ補償ヲシテ貰ヒタイ、或ハ之ヲ尊重シテ貰ヒタイト云フ風ナモノモアリマス、又亞米利加人ノ貿易上ニ對スル差別待遇ヲ止メテ貰ヒタイト云フコトモアルト思ヒマス、アノ書面ニ現ハレテ居ル所ハ、大體サウ云フヤウナ所デアルト今記憶致シテ居ルノデアリマス

○松本委員 米國ノ求メル所ハ、現在大規模ノ戰爭ヲシテ居ル日本トシテ、到底俄ニ應諾スルコトガ出來ナイト云フコトハ輪廓トシテ分ルト思フノデアリマス、米國ノ方デハ頻リニ日本トノ間ニ相當多數ノ懸案ガアル、或ル新聞ノ如キハ六百件ト書イテ居ル、

吾々ハサウ云フ所ノ内容ヲ實ハ詳シク承知致サス譯デスガ、サウ云フ所ノ内容ヲ一ツ承リタイノデアリマス、ナゼ私ガサウ云フコトヲ申スカト云フト、昨年ノ十月十九日ニ「グルー」駐日大使ガ日米協會ニ於テ行ツタ演説ガアリマス、其ノ演説ハ其ノ當時相當問題ニナツタノデアリマスガ、「グルー」大使ハ其ノ終リニ於テ斯ウ申シテ居リマス、此ノ日本ト亞米利加トノ間ニ色々懸案ニナツテ亞米利加ガ今日喧シク言ツテ居ル問題ハ、詳シク説明スルナラバ、來會者諸君ハ何等ノ問題ナク米國ノ態度ガ當然デアルト云フコトガ御分リニナルダラウト思ヒマス、言ツテ居ル、我が帝國朝野ノ貴顯紳士ヲ前ニシテ米國ノ大使ガ東京ノ真中ニ於テ斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルト云フコトハ、吾々ハ一ツノ國辱デアルト感ジナケレバナラヌヤウナ氣持ガ致シマス、即チ米國大使ノ言葉ノ裏ヲ言ヘバ、諸君ハ何モ知ラス、日本政府ハ亞米利加ノ日本ニ對スル態度ガ無理ダト思ツテ居ルガ、ソレヲ自分ガ率直ニ話シタナラバ、諸君ハ亞米利加ガ日本ニ對シテ今日色々ノ非友誼的ノ態度ヲ執ツテ居ルコトガ當リ前デアルト云フコトヲ、文句ナク理解セザルヲ得ナイダラウト言ツテ居ルノデアリマス、吾々ハ米國ノ大使カラ帝都ノ玄關口ニ於テ斯ウ云フコトヲ言ハレタトスレバ、ドウシテモ米國ト日本トノ間ニ如何ナル問題ガ引懸ツテ居ルカト云フコトヲ承知シテ置キタイノデアリマス、サウシテ私ハ米國大使ノ言フコトハ勿論間違ツテ居ルト思ヒマス、間違ツテ居ルコトヲ事實ノ上ニ於テ吾々ハ認識シタイ、サウシテ吾々モ米國ニ向ツテ、オ前カラ聞カナクテモ吾々ハ

吾々ハサウ云フ所ノ内容ヲ實ハ詳シク承知致サス譯デスガ、サウ云フ所ノ内容ヲ一ツ承リタイノデアリマス、ナゼ私ガサウ云フコトヲ申スカト云フト、昨年ノ十月十九日ニ「グルー」駐日大使ガ日米協會ニ於テ行ツタ演説ガアリマス、其ノ演説ハ其ノ當時相當問題ニナツタノデアリマスガ、「グルー」大使ハ其ノ終リニ於テ斯ウ申シテ居リマス、此ノ日本ト亞米利加トノ間ニ色々懸案ニナツテ亞米利加ガ今日喧シク言ツテ居ル問題ハ、詳シク説明スルナラバ、來會者諸君ハ何等ノ問題ナク米國ノ態度ガ當然デアルト云フコトガ御分リニナルダラウト思ヒマス、言ツテ居ル、我が帝國朝野ノ貴顯紳士ヲ前ニシテ米國ノ大使ガ東京ノ真中ニ於テ斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルト云フコトハ、吾々ハ一ツノ國辱デアルト感ジナケレバナラヌヤウナ氣持ガ致シマス、即チ米國大使ノ言葉ノ裏ヲ言ヘバ、諸君ハ何モ知ラス、日本政府ハ亞米利加ノ日本ニ對スル態度ガ無理ダト思ツテ居ルガ、ソレヲ自分ガ率直ニ話シタナラバ、諸君ハ亞米利加ガ日本ニ對シテ今日色々ノ非友誼的ノ態度ヲ執ツテ居ルコトガ當リ前デアルト云フコトヲ、文句ナク理解セザルヲ得ナイダラウト言ツテ居ルノデアリマス、吾々ハ米國ノ大使カラ帝都ノ玄關口ニ於テ斯ウ云フコトヲ言ハレタトスレバ、ドウシテモ米國ト日本トノ間ニ如何ナル問題ガ引懸ツテ居ルカト云フコトヲ承知シテ置キタイノデアリマス、サウシテ私ハ米國大使ノ言フコトハ勿論間違ツテ居ルト思ヒマス、間違ツテ居ルコトヲ事實ノ上ニ於テ吾々ハ認識シタイ、サウシテ吾々モ米國ニ向ツテ、オ前カラ聞カナクテモ吾々ハ

吾々ハサウ云フ所ノ内容ヲ實ハ詳シク承知致サス譯デスガ、サウ云フ所ノ内容ヲ一ツ承リタイノデアリマス、ナゼ私ガサウ云フコトヲ申スカト云フト、昨年ノ十月十九日ニ「グルー」駐日大使ガ日米協會ニ於テ行ツタ演説ガアリマス、其ノ演説ハ其ノ當時相當問題ニナツタノデアリマスガ、「グルー」大使ハ其ノ終リニ於テ斯ウ申シテ居リマス、此ノ日本ト亞米利加トノ間ニ色々懸案ニナツテ亞米利加ガ今日喧シク言ツテ居ル問題ハ、詳シク説明スルナラバ、來會者諸君ハ何等ノ問題ナク米國ノ態度ガ當然デアルト云フコトガ御分リニナルダラウト思ヒマス、言ツテ居ル、我が帝國朝野ノ貴顯紳士ヲ前ニシテ米國ノ大使ガ東京ノ真中ニ於テ斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルト云フコトハ、吾々ハ一ツノ國辱デアルト感ジナケレバナラヌヤウナ氣持ガ致シマス、即チ米國大使ノ言葉ノ裏ヲ言ヘバ、諸君ハ何モ知ラス、日本政府ハ亞米利加ノ日本ニ對スル態度ガ無理ダト思ツテ居ルガ、ソレヲ自分ガ率直ニ話シタナラバ、諸君ハ亞米利加ガ日本ニ對シテ今日色々ノ非友誼的ノ態度ヲ執ツテ居ルコトガ當リ前デアルト云フコトヲ、文句ナク理解セザルヲ得ナイダラウト言ツテ居ルノデアリマス、吾々ハ米國ノ大使カラ帝都ノ玄關口ニ於テ斯ウ云フコトヲ言ハレタトスレバ、ドウシテモ米國ト日本トノ間ニ如何ナル問題ガ引懸ツテ居ルカト云フコトヲ承知シテ置キタイノデアリマス、サウシテ私ハ米國大使ノ言フコトハ勿論間違ツテ居ルト思ヒマス、間違ツテ居ルコトヲ事實ノ上ニ於テ吾々ハ認識シタイ、サウシテ吾々モ米國ニ向ツテ、オ前カラ聞カナクテモ吾々ハ

帝國政府カラ事態ヲ能ク開カサレテ居ル、サウシテ米國ガ今日日本ニ對シテ色々文句ヲ言ツテ居ルノハ、オ前ノ方ノ間違ヒデアルト云フコトヲ、事實ニ基イテ言ヒ返シテヤリタイノデアリマス、其ノ爲ニドウソ此ノ點ヲ明確ニ御説明ヲ戴キタイト思ヒマス、決シテ大臣ヲ煩ハサウトハ思ヒマセズ、政府委員ヲ結構デアリマスカラ、ドウカ吾々ノ理解シ得ルヤウニ、此ノ日米間ノ懸案ノ詳細ヲ御説明ヲ願ヒタイト考ヘマス

○有田國務大臣 是ハ御尤モナ御尋デアルト思フノデアリマス、大體如何ナル懸案ガアルカト云フコトハ、本豫算總會ニ於テ御話シテ差支ナカラウト思ヒマスルガ、何レ次ノ機會ニ其ノ點ハ御話致シタイト思フノデアリマス、ト云フコトハ私實ハ承知シナイノデアリマスガ、斯ウ云フ風ナコトノ内容ノ發表トカ、或ハドノ程度ニ發表スルカト云フヤウナコトハ、多少對手國トノ間ノ關係等モアルカト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ今私此處デ現在ドンナ風ナ状態ニナツテ居ルカト云フコトハ承知致シマセズ、松本君ノ求メテ居ラレル所ハ尤モダト思フノデアリマスカラ、出來得ル限リニ於テ御希望ニ副フヤウニ致シタイト思フノデアリマス

○松本委員 ドウソサウ願ヒタイノデゴザイマスガ、私ハ外務大臣カラ、實ハソレ等ノ事件ハ之ヲ詳シク御話スルガ、其ノ話ヲシタナラバ、諸君ハ怒ルコトガ亞米利加トシテ無理デアルト云フコトヲ、日本人ハ理解スルノデアラウト云フ言葉ヲ實ハ願ヒタカツタノデアリマスガ、ソレハ止メテ置キマス、私ハ一體亞米利加ガ日本ニ對シテ色々文句ヲ言ツテ來ル其ノ基ハ、今

日支那ニ於テ大規模ノ戰闘ガ行ハレテ居ル際ニ、亞米利加ガ支那ニ米國人ヲ殘シテ置イテ、支那ニ於テ色々權益ヲ遂行シヨウトスル、其處ニ私ハ發足點ガアルヤウニ考ヘマス、米國ハ今日外國ニ對シテ如何ナル態度ヲ執ツテ居ルカト申シマス、ト、實例ニ於テ西班牙ニ内亂ノアリマシタ時ニハ、西班牙カラ全日本人ニ引揚ゲテ命ジテ居リマス、最近或ハ瑞典ニ戰果ガ及ボウトスルト、戰爭ノチツトモ始ツテ居ラナイ所ノ瑞典カラ、既ニ全米國人ヲ引揚ゲルコトヲ命令シタト新聞紙ハ報道シテ居リマス、眞偽ハ存ジマセズ、若シソレ等ノコトガ眞實デアルトスレバ、米國ハ此ハ大規模ノ戰闘ノ行ハレテ居ル支那カラ全米國人ヲ引揚ゲルノハ、當然ダト私ハ思フノデアリマス、然ルニソレヲ殘シテ置イテ、ソレヲ誰トカニ彈ガ中ツタトカ、或ハ誰トカノ家ノ硝子ヲ壞シタトカ云フヤウナコトヲ、今更日本ニ文句ヲ言ツテ來ル、亞米利加ハ日本ヲ譽メテ居ル、吾々ハ亞米利加ニ譽メラレテ居ルト云フヤウナ感ジヲ持タザルヲ得ナイノデアリマスガ、外務大臣ハ米國ガ西班牙若クハ瑞典ニ於テ執ツタ所ノ事實ヲ確メラレテ、若シソレガ其ノ通りデアルトスルナラバ、進シテ亞米利加ニ對シテ斯ウ云フコトヲ勸告ナサル所ノ御意思ハナイノデゴザイマセウカ、之ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○有田國務大臣 重大ナル問題ト思ヒマスルガ、色々是ニハ考究ヲ要スル點ガアルト考ヘマスルノデ、此ノ席上ニ於テ私ノ意見ヲ申述ベルコトハ、差控ヘサセテ載キタイト思フノデアリマス

○松本委員 御責任アル外務大臣トシテハ洵ニ御尤モダト存ジテ諒承致シマス、ソコ

デ私ハ亞米利加ニ對スル問題ノ總括リデゴザイマスガ、米國ハ今後日本ニ對シテ、私ハ益々非友誼的行動ヲ執ツテ來ルデアラウト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、若シ執ツテ來ナカツタナラバ仕合セデアリマスガ、併シナガラ亞米利加ヲシテ日本ニ對シテ是以上ノ非友誼的行動ヲ執ラシムルコトハ、實ニ日本ニ取ツテ不幸デアアルノミナラズ、米國ニ取ツテモ非常ナ不幸デアルト云フコトハ、外務大臣ノ御言葉ニ依ツテ私共理解致シマス、外務大臣モ亦其ノ通りデアラウト思ヒマス、併シナガラ米國ヲシテ是以上帝國ニ對シテ非友誼的行動ヲ執ラシメナイ爲ニハ、帝國トシテモ之ニ備ヘル所ノ途ガナケレバナリマセズ、今マデ帝國ガ亞米利加ニ對シテ執ツタヤウナ讓歩主義、妥協主義、叩頭主義、斯様ナ態度デハ、亞米利加ニ對シテ日本ニ對スル是以上ノ非友誼的行動ヲ止メシメヨウトシテモ、是ハ望ミ得ベカラザルコトト存ジマス、帝國トシテハ、唯亞米利加ガ日本ニ對シテ非友誼的行動ヲ執ルナラバ、帝國トシテソレニ對處スル用意ガアル、ソレニ對スル所ノ用意ガアルト云フコトヲ示サナケレバ、私ハ亞米利加ノ日本ニ對スル非友誼的行動ハ止マナイト思ヒマス、此ノ點ニ付テ昨日有田外務大臣カラ本會議ノ議場ニ於テ力強イ御言葉ヲ承リマシタ、併シナガラ先刻ノ企業院總裁ノ御言葉ハ、外務大臣ノ言明ヲ裏切ルヤウナ御言葉デゴザイマス(ヒヤ)現ニ攻究中デアル、研究中デアル、研究中デアルト云フヤウナ企業院總裁ノ御言葉ガ亞米利加ニ聞エレバ、亞米利加ハ日本ニ對シテ益々非友誼的態度ヲ執ルデアラウト思ヒマス、是ハ私ハ明ニ企業院總裁ノ御言葉ノ間違ヒデアルト斯様

ニ存ジマス、窪井君モサウ仰セラレマシタ、ソコデ私ハ左様ナ些々タル問題ハ何レデモ宜シウゴザイマスガ、今日此ノ時局重大ノ折柄、國政變理ノ重任ニ當ラレル所ノ米内首相トシテハ、吾々國民ヲ安心セシメ、亞米利加國民ニ對シテ力強キ御警告ヲ與ヘルダケノ強イ御覺悟ガ有リニナルカ、吾々ハ帝國國民ノ名ニ於テ、力強キ御言明ヲ是非總理大臣カラハツキ承ツテ置キタイノデゴザイマス

○米內國務大臣 亞米利加ノ行動ニ對シマシテハ十分ニ注意ヲ致シマスルガ、惡意ヲ以テ解釋ヲヤリタクナイノデアリマス、唯我が帝國ノ眞意ヲ諒解セズシテ飽クマデ干涉スル、是以上ニ益々帝國ニ對シテ壓迫ヲ加ヘル、斯ウ云フ態度ニ出マシタ場合ニハ、帝國トシテハ十分ナル用意ヲ持ツテ居ルト云フコトヲハツキ申上ゲマス

○松本委員 此ノ點ハ總理大臣ノ御言明デ私ハ満足ヲ表シテ置キマス、ソコデ私ハ問題ヲ轉ジテ第二ニ支那事變ノ處理ノ問題ニ入りタイノデゴザイマスガ、米國ノ日本ニ對スル態度ハ、只今マデ私ノ申上ゲタ通り極メテ非友誼的デアリマス、而モ吾々ノ判斷ヲ以テスレバ、將來益々非友誼的ニナリサウデアリマス、而シテ第三國ハ依然トシテ蔣介石援助ヲ止メナイノデアリマス、此ノ米國ガ日本ニ對シテ益々非友誼的態度ヲ執リ、第三國ガ依然トシテ蔣介石援助ヲ止メナイ、此ノ事實ヲ認メルトスル、而シテ事變ハ將來マダ相當長ク續クト云フコトハ、是ハ政府ノ御執リニナツテ居ル措置ニ於テ極メテ明瞭デアリマス、第三國ノ帝國ニ對スル態度、蔣介石ニ對スル態度ノ如クニシテ、而シテ事變ハ將來長



ク續クト云フコトヲ、私共前提トシテ考ヘマスル時ニ、我が支那ノ戰線ニ於テ御働キヲ戴イテ居ル所ノ將兵ノ犧牲ヲ、成ベク少カラシメルコトヲ私共ハ考ヘナケレバナラスコトハ勿論ダト思ヒマス、其ノ爲ニハ第三國ヲシテ、此ノ戰爭ニ對シテ中立ノ義務ヲモツトハツキリ負ハシムルヤウナコトガ考ヘラレルベキデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テ窪井君ノ質問ニ對シテ總理大臣ハ、只今ノ所交戰權ヲ發動スル意思ハナイト仰セラレマシタ、嘗テ七十三議會ニ於テ廣田外務大臣ハ斯ウ仰セラレテ居リマス、日支事變勃發以來今日マデ宣戰布告ト云フ手段ハ執ツテ居ナイガ、時局ノ進展ニ伴ツテ或ハ其ノ必要ヲ生ズルカモ知レナイ、斯ウ言ツテ居リマス、私ハ總理大臣ノ御言葉ハ差當ツテノ所執ル積リハナイト理解シテ宜シウゴザイマセウカ、將來長キニ互ツテサウ云フコトハナサラナイト承ツテ宜シウゴザイマセウカ、此ノ點ヲ一ツ首相カラ御説明ヲ戴キタイノデアリマス

○米内國務大臣 長イ先ノ將來ノコトマデハ考ヘテ居リマセス、只今ノ所交戰權ヲ發動スル意思ナシト、斯ウ言フ意味デアリマス

○松本委員 吾々ハ米國ガ日本ニ對シテ經濟的ノ壓迫ヲ加ヘ、第三國ガ益ヲ得テ接助スル、其ノ爲ニ我ガ忠勇ナル將兵ノ犧牲ガ幾分デモ多クナルト云フコトハ忍ビ得ザルコトデアリマス、ソコデ私ハ事變ガ今日此ノヤウナ段階ニナツタ以上ハ、第三國ヲシテ中立ノ義務ヲ遵守セシムル爲ノ方法ヲ執ルト云フコトニ付テモ、政府トシテ慎重ナル御考慮ヲ遊バサレテ然ルベキコトト思ヒマス、併シ總理大臣ハ只今ノ所其ノ積リハナイト云フコトデアリマスカラ、ソレ以

上ハ含蓄アル御言葉トシテ承ツテ置キマス、併シナガラソコデ問題トナリマスコトハ、若シ此ノ事變ニ對シテ交戰權ヲ發動スル、或ハ戰爭狀態ノ存在ヲ宣言致スト云フコトニナリマスレバ、ソレガ直チニ事變處理其ノモノト關聯ヲ致シテ來ルノデアリマス、米内總理大臣ハ過日衆議院ノ本會議ニ於キマシテ、汪兆銘政權ガ成立シタナラバ、成ベク速ニ之ヲ承認スルト申サレタノデアリマス、私共モ其ノ事ノ一日モ早カラシテハ、其ノ汪兆銘ノ新政權ガ成ベク速ニ組織セラレテ、成ベク健全ナル發達ヲ遂ゲルコトヲ極力切望致シテ居ル者デゴザイマス、併シナガラ其ノ汪兆銘ノ新政權ヲ承認スルト云フコトト、交戰權ヲ發動スルト云フコト、或ハ戰爭狀態ノ存在ヲ宣言スルト云フコトハ兩立シ得ナイノデアリマス、汪兆銘政權ヲ承認シテシマヘバ、最早交戰權ノ發動モ、戰爭狀態ノ存在モ宣言ハ出來ナイコトト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御解釋ハ如何デアリマセウカ

○有田國務大臣 戰爭ハ國ト國トノ關係デアリマスルノデ、汪兆銘政權ガ出來マシテ、ソレヲ支那ノ正式ノ政府デアルト日本ガ承認スルヤウナコトニナリマスレバ、即チ支那ヲ代表スルモノハ汪兆銘ノ政權デアリマスカラ、之ニ對シテ戰爭ヲ布告スルト云フヤウナコトハ困難デアアルノデハナカラウカト思フノデアリマス

○松本委員 其ノ程度ノ御説明デ満足致シテ置キマスガ、汪兆銘政權ヲ支那ノ正式ノ政府トシテ承認致シマスコトハ、現在ノ戰爭ノ態様ト申シマスガ、性質ト云フモノヲ一變セシムルコトニナリハシナイカト云フ

ヤウナ感ジヲ持ツノデアリマス、例ヘバ支那ノ沿岸封鎖ト云フヤウナ問題モ、ドウモ變ツテ來ルノデハナイカト云フヤウナ心持ガ致スノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御説明ヲ煩ハシマス

○有田國務大臣 海軍大臣ガ見エヌヤウデスカラ、私カラ私ノ見ル所ヲ申上ゲタイ、今ノ沿岸封鎖ハ戰爭狀態ニ基イテ封鎖ヲシテ居ルノデハナイノデアリマス、隨ヒマシテ汪政權ガ出來テ、之ヲ日本ガ正式ニ承認シタ後ニ於キマシテハ、汪政府トノ間ノ諒解ニ依ツテ封鎖ヲシテ、蔣介石方面ニ物資ノ行クノヲ防グト云フヤウナコトハ勿論出來得ルコトト思フノデアリマス

○松本委員 外務大臣ノ御言葉ニ依ツテ性質ノ一變シタモノデアルト云フコトハ分リマシタカラ、ソレデ宜シウゴザイマスガ、支那ノ政府ノ意ニ反シテ支那ノ沿岸ヲ封鎖シタ、只今外務大臣ノ御説明ニ依リマスルト、新シイ政府ノ諒解ノ下ニト云フコトデアリマスカラ、ソコデ性質ハ完全ニ一變シタコトト思ヒマスガ、ソレデ宜イコトニ致シマス

ソコデ事變處理ノ問題デゴザイマスガ、此ノ事變處理ノコトニ付キマシテハ、私共今日マデ此ノ事變處理ノ爲ニ、蹇蹇匪躬ノ節ヲ致サレタ前内閣、其ノ前ノ内閣、更ニ其ノ前々内閣ノ非常ナル努力ニ對シテ敬意ヲ表スル者デアリマスガ、私共靜カニ此ノ事變ヲ如何ニ處理スベキカト云フコトニ對スル所ノ當局ノ御苦心ヲ拜察致シマスルト、帝國ハ此ノ事變ノ後ニ於テ日支永遠ノ親善ハ之ヲ確立シナケレバナラス、東亞ノ安定ハシナケレバナラス、日支永遠ノ親善ヲ爲シ、東亞永遠ノ安定ヲ爲スガ爲ニハ、帝

國ガ支那ニ於テ侵略主義的態度ヲ執ツテ居ルコトノ不都合デアアルコトハ最早極メテ明瞭デアリマス、併シナガラ日本ガ此ノ事變ヲ起シタ以上ハ、今日日本ガ事變ノ目標トシテ居リマス所ノ善隣友好、共同防共、更ニ經濟提携ノ三原則ニ對スル十分ナル保障ダケハ得テ置カナケレバナラスコトハ申スマデモアリマセス、此ノ三ツノ帝國ノ要望スル條件ニ對スル所ノ完全ナル保障ヲ得ヨウトスレバ、ソコニ何等カ形ニ現ハレタモノヲ擱ンデ置カナケレバナリマセス、ソレヲ擱ムコトガ多ケレバ、動モスレバ帝國ガ支那ニ於テ多キヲ求メルカノヤウナ感ジヲ與ヘルノデアリマス、日支永遠ノ親善ヲ來シ、東亞永遠ノ安定ヲ期スル爲ニハ、日本ハ支那ニ於テ餘リ多クヲ望ンデハナラナイ、併シナガラ帝國ガ此ノ聖戰ノ目的ヲ完全ニ達成スル爲ニハ、或ル程度ノモノハ擱マナケレバナラス、之ヲ如何ニシテ調和セシムルカト云フコトハ、當局ノ御苦心ノ存シタ所ト私ハ密ニ拜察致シテ居リマス、私共今日マデ擱ラレタ所ノ結果、ソレヲ擱ゲルコトニ付テノ御苦心ノ一方ナラヌモノノアツタコトハ認メテ居リマス、併シ其ノ事變處理ノ爲ニ御結ビニナツタ所ノ協定ノ内容ガ如何ナルモノデアアルカト云フコトハ、總理大臣ノ先刻ノ御言葉ニ依リマスレバ、何レ近キ機會ニ於テ此ノ委員會ニ於テ御示シヲ戴クト云フコトデアリマスカラ、ソレヲ待チマスガ、唯日本國民ガ此ノ大規模ノ戰爭ヲシ、是ダケノ大キナ犧牲ヲ拂ヒナガラ領土モ取ラナイ、賠償モ求メナイト云フ、此ノ極メテ寛大ナル條件デ此ノ時局ノ收拾ヲシヨウトスル、此ノ帝國政府ノ絶大ナル所ノ好意ガ果シテ支那ノ方ニ徹

底シテ居ルデゴザイマセウカ、若シ是ガ支那人ニ徹底シナカツタナラバ、其ノ結果ハ實ニ恐ルベキモノガアルト思ヒマス、支那人ガ之ヲ唯表面的ニ考ヘテ、日本ガ是ダケノ戰爭ヲシテ、是ダケノ大規模ナ軍事行動ヲシナガラ、支那カラ一寸ノ領土モ取ラナカツタ、一錢ノ賠償金モ取ラナカツタ、是ハ日本ガ弱イカラダ、支那ガ強イカラダト云フヤウナ間違ッタ感ジヲ支那人ノ中ニ一人ト雖モ持ツ者ガアツタナラバ、吾々ノ聖戰ノ目標トシテ、帝國ガ掲ゲテ居ル所ノ日支ノ親善モ、東亞ノ安定モ得ラレナイト思ヒマスカラ、此ノ點ハ果シテ支那ノ方面ニ十分ニ徹底シテ居ルノデアリマセウカト云フコトヲ私ハ總理大臣カラ承リタイノデアリマス

○米内國務大臣 肇國ノ大理想ハ至德(イデオロギ)ヲ以テ八紘(シタ)ヲ宇(イ)トナス、斯レウ云フコトデアリマス、東亞新秩序ノ建設亦此ノ大理想ニ基イテ行カネバナラヌコトト存ズルノデアリマス、只今御話ノ善隣友好、共同防共、經濟提携、總テ是等ハ何レ後テ遠カラズ具體的ノコトヲ申上ゲマスルガ、其ノ精神ニ依ツテ此ノ三ツノモノヲ解決シテ行ク、而シテソレヲ支那側ガ諒解シテ居ルダラウカドウカ、私ハ少クモモ汪政權ハ——汪兆銘ハ十分ニソレヲ諒解シテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○松本委員 私モ汪兆銘並ニ其ノ周圍ノ者ガ諒解シテ居ルコトヲ信ズルノデアリマス、又信ジタイノデアリマス、併シナガラ私ガ敢テ斯ウ云フコトヲ御尋シナケレバナラヌト云フコトハ、最近ニ汪兆銘ノ陣營カラ高宗武、陶希聖ノ兩人ガ逃去ツタノデアリマス、彼等ハ或ハ利ヲ以テ誘ハレタカ、或ハ

權勢ヲ以テ誘ハレタカ知リマセヌガ、如何ナルコトヲ誘ハレタカ知リマセヌガ、兎ニ角日本ガ是ダケノ寛大ナル條件ヲ以テ時局ヲ收拾シヨウトスルニ拘ラズ、帝國ノ條件ハ極メテ過重ナルモ、支那ヲ屬國トスルモノデアアル、保護國トスルモノデアアルカノ如キ宣傳ヲ爲シテ居ルノデアリマス、支那人ノ多數ノ中ニハ斯ノ如キ宣傳ニ迷ハサレタ者ガナシト云フコトヲ保證出来ナイト思ヒマス、此ノ宣傳ニ迷ハサレタル者ガ支那人ノ中ニアルト云フコトハ聖戰ノ目的ヲ貫徹スル上ニ非常ナル障礙ガアルノデアリマス、帝國ガ是ダケノ寛大ナル條件ヲ以テ満足シテ居ルト云フコトヲ支那人ノ腦裡ニハツキリト刻ミ込マナケレバナラヌト考ヘルノデアリマシテ、是ガ帝國政府ノ重大ナル責任デアルト私共ハ信ズルノデアリマス、此ノ點ニ對スル總理大臣ノ御考ヲ承リタイ、私ハ肇國ノ大精神ヲ承ツテ居ルノデアリマセヌ、東亞ノ新秩序ノ内容ヲ承ツテ居ルノデアリマス、是ガ果シテ支那民衆ノ間ニ徹底シテ居ルカドウカ、彼等ガ、日本ガ此ノ寛大ナル條件ヲ以テ時局ヲ收拾シテヤラウト云フコトニ對シテ、眞ニ感謝ノ念ヲ持ツテ居ルカ、眞ニ理解シテ居ルカト云フコトヲ私ハ承リタイ、若シソレガ足りナイトスルナラバ、帝國政府トシテハ其ノ爲ニコソ全力ヲ傾注スベキデハナイカ、斯様ナ感ジヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ對スル總理大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○米内國務大臣 徹底セシメナケレバナラヌノデアリマス、又徹底スルヤウニ努メナケレバナリマセヌ、先程裏切者ガアルト仰セラレマシタガ、汪兆銘一派カラサウ云フ異分子ガドン／＼出テ來ルト云フコトハ、

總テ地盤ガ固マルコトヲ考ヘテ居リマス

○松本委員 此ハ此ノ事變處理ノ目的ニ付テ政府ノ責任ノ極メテ重大ナルコトヲ茲ニ強調致シテ置キマス、此ノ戰爭ノ終局ノ目的ハ、領土ヲ取ルノデアリマセヌ、賠償金ヲ取ルノデアリマセヌ、隨テ事變處理ノ爲ニ協定ガ出来タト云フコトニ依ツテ此ノ戰爭ノ目的ハ達セラレナイノデアリマス、其ノ協定ノ出来タ問題ヲ如何ニシテ實行シ、如何ニシテ之ヲ事實ノ上ニ行フカト云フコトニコソ此ノ事變ノ全生命方懸ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ政府ハ思ヒマシテサレ、只今取極メラレタモノヲ其ノ通りニ實行シテ、十分ニ聖戰ノ目的ヲ貫徹スルト云フコトニ思ヒ及バレナケレバナラナイト思ヒマス、私ガ申上ゲルマデモナイ、政府ハ御理解ニナツテ居ルコトト存ジマス、唯土地ヲ取ル、金ヲ取ル、ト云フコトニ依ツテ、時局ノ收拾ヲスルナラバ問題ハ極メテ容易デアリマス、ソレハシナイノダ、唯將來ニ於テ日支ノ親善、東亞ノ安定、之ヲ目指シテ居ルノデアリマスカラ、問題ハ總テ將來ニ向ツテ居ル、此ノ將來ニ向ツテ居ルト云フコトニ私ハ政府ハ大イニ思ヒマシテ致サレタイト考ヘルノデアリマス、若シ總理大臣ノ此ノ點ニ對スル御所見ガ何ヘルモノナラバ伺ヒタイノデアリマス

○米内國務大臣 御同感デアリマス

○松本委員 此ノ事變處理ニ對スル所ノ條件ハ私ハ如何ナル日本人ガ日本人ガ考ヘテモ、寛大ニ過ギルト云フ感ジヲ持タザル者ハ一人モアルマイト思ヒマス、然ルニ帝國臣民ノ中ニ、此ノ條件ガ寛大ナルト云ツテ、敢テ憤ル者モナク、此ノ寛大ナル條件ニ満足ノ意ヲ表シテ居ルト云フコトハ、是

レ何故デアルカ、是ハ日本國民ノ總テノ者ニ、聖戰ノ意義ガ徹底シテ居ルカラデアリマス、東亞新秩序建設ノ意義ガ徹底シテ居レバコソ、日本國民ハ此ノ寛大ナル條件ニ對シテ、満足ヲシテ居ルノダト斯様ニ私ハ考ヘマス、之ヲ若シ支那人ガサウ考ヘズニ、日本ハ國力ガ弱イカラ、國力ガ續カナイカラ、是以上ノ支那ニ勝テ得ナイカラ、斯ノ如キ條件ヲ満足シタノダト云フヤウナ感ジヲ持ツトスレバ、ソレコソ由マシイコトデアリマス、私ハ此ノ點ニ於テ聖戰ノ意義ガ國民ニ徹底シ、東亞新秩序ノ目標ニ付テ、國民ノ全部ガ十分ナル理解ヲ得テ居ルモノト斯様ニ信ズルノデアリマス、吾々ハ此ノ國民ノ期待、此ノ國民ノ心理状態、心中ニ燃エ上ル、血ノ滲ムヤウナ不平不滿ヲ持チナガラモ、此ノ爲ニコソ辛抱シテ居ルト云フ、此ノ國民ノ期待ヲ政府ハ裏切ラナイヤウニシテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ希望トシテ申添ヘテ置キマス

茲デ此ノ事變處理ニ付テ、總理大臣カラ明確ナル御答辯ヲ一ツ得テ置キタイコトガゴザイマス、是ハ敢テ言葉ヲ強クシテ、總理大臣ヲ煩ハスマデモナイトハ存ジマスルガ、世上一部ノ者ノ間ニハ、若干間違ッタ噂モ傳ヘラレテ居リマスガ故ニ、私ハ敢テ御尋ラスルノデアリマス、マサカ日本ノ政府ハ、事變處理ノ此處マデ來タ過程ニ於テ、今度總意改替シナイ重慶政府ヲ相手ニスルヤウナコトハ、萬々アルマイト云フコトヲ確信致シマスルガ、此ノ點ニ付テ一言總理大臣カラハツキリシタ言明ヲ戴イテ置キタイノデアリマス

○米内國務大臣 ソレハ明瞭過ギル程明瞭デアリマシテ、敢テ附言致シマセヌ

○松本委員 總理大臣ハ明瞭過ギル程明瞭  
ダト仰セラレマス、併シナガラ世ノ一部ニ  
ハ、總理大臣ガ明瞭過ギル程明瞭ダト仰セ  
ラレルコトニ付テモ、色々上寓語致シテ  
居ル者ガアリマス、吾々ハ此ノ議會ヲ通ジ  
テ、サウ云フコトノ取沙汰ガ全ク根モ葉モ  
ナイモノデアルト云フコトヲ知ラセタイノ  
デアリマスカラ、敢テ御尋ヲ致シタノデア  
リマス

事變處理ノ問題ハ此ノ程度デ打切ツテ置  
キマスガ、對ソノ關係ニ付テ御尋致シタイ  
ノデゴザイマス、ソノモンハンノ停戰協定、  
是ハ外務大臣ノ外交方針ノ御演說ノ中ニモ  
アルノデアリマスガ、此ノ停戰協定ノ實行  
ニ付テ、「ソ」聯側ハ果シテ十分ノ誠意ヲ示  
シタカドウカト云フコトデアリマス、ソレ  
ダケデハ御答シニクイデゴザイマセウカラ、  
私ハ具體的ニ申上ゲテ置キマス、ソノモンハ  
ンノ停戰協定ハ三箇條アリマス、停戰ヲ  
スルト云フコト、屍體竝ニ俘虜ノ交換ヲス  
ルト云フコト、更ニ國境確定ノ爲ニ委員會  
ヲ設定スルト云フコトデアリマス、第二ノ  
屍體及ビ俘虜ノ交換ト云フコトハ、支障ナ  
ク約束ノ通り行ハレテ居ルデアリマセウカ、  
私共傳ヘ聞ク所ニ依リマスレバ、屍體ヲ搜  
索ニ行ツタ我軍ノ將兵ガ、若干「ソ」聯側ニ  
抑留サレタト云フヤウナコトモ傳ヘラレテ  
居リマス、更ニ「ソ」モンハンノ戰鬪ニハ全  
ク關係ノナイ人間ノ引渡シヲ求メテ居ルト  
云フ説モアリマス、或ハ斯ノ如キハ間違ヒ  
デアレバ幸デゴザイマスガ、世上サウ云フ  
取沙汰ヲシ、新聞紙上ニモサウ云フコトガ  
書イテアリマスニ願ミテ、其ノ點ヲ一ツ明  
確ニ承ツテ置キタイノデゴザイマス

○有田國務大臣 俘虜ノ交換ハ大體終ツタ

サウデアリマス、屍體ノ交換モ同様デアリ  
マス

○松本委員 大體終ツタト云フコトハ諒承  
致シマシタ、「ソ」聯側ハ停戰協定ニ從ツテ、  
誠意ヲ以テ之ヲ實行シタデアリマセウカト  
云フコトヲ私ハ承リタイノデゴザイマス

○有田國務大臣 誠意ニモ程度ガアツテ、  
（笑聲）國境確定ノ問題ニ付キマシテモ、  
際ニ至ツテ「ソ」ビエトノ方デ意見ヲ變更シ  
タ爲ニ纏ラナカウツタト云フヤウナコトモア  
ルノデアリマス、併シ其ノ他、停戰協定ノ  
如キハ完全ニ行ハレテ居ルト思ヒマスシ、  
又俘虜其ノ他ノ交換モ大體ニ於テ終了シテ  
居ルト云フヤウナコトデアリマスカラ、強  
イテ「ソ」ビエト側ノ誠意ヲ疑フ必要ハナカ  
ラウト思フノデアリマス

○烟國務大臣 只今松本君カラ、「ソ」モンハ  
ンノ事件ノ俘虜竝ニ屍體ノ交換ノ問題ニ付  
テノ御尋ガアリマシタガ、ソレハ別ノ機會  
ニ於テ私カラ御答申上ゲマス

○松本委員 宜シウゴザイマス、別ノ機會  
ヲ待チマス、只今外務大臣ガ終リニ仰シヤ  
ツタ國境確定ノコトデアリマスガ、是ガ決  
裂ニ至リマシタ事情ヲ、若シ此ノ際承ルコ  
トガ出来マスナラバ承リタイト思ヒマス、  
強ヒテトハ申シマセヌ、別ノ機會デモ宜シ  
ウゴザイマス、何レ機會モゴザイマセウカ  
ラ……

○有田國務大臣 交渉ノ内容等ハ、アノ交  
渉ハ一段落ツキマシタケレドモ、マダ更ニ  
將來ニ互ツテ此ノ話ガ出ルコトト想像致シ  
マスノデ、只今ハ差控ヘテ置キタイト思フ  
ノデアリマス

○松本委員 餘儀ナキ次第ト存ジマス、ソ  
コデ先刻窪井君ト外務大臣トノ間ニ、二月

一日ノ貴衆兩院ニ於ケル外務大臣ノ御演說  
ノ際、此ノ國境確定委員會ガ決裂シテ居ツ  
タコトヲ御存ジデアツタカドウカト云フコ  
トノ御話ガ論題ニナツテ居ツタデアリマ  
ス、此ノ點ニ付テ私ハ承リタイノデゴザイ  
マス、一月三十一日「ソ」ビエト「ソ」  
夕刊ニハ、此ノ國境確定委員會ガ決裂シタ  
ト云フコトガ明ニ出テ居リマス、翌二月一  
日「アドバタイザー」ノ朝刊ニモハツキリ  
出テ居リマス、更ニ「アドバタイザー」ニハ  
外務省「スポークスマン」ノ談話トシテハツ  
キリ出テ居リマス、然ルニ外務大臣ノ先刻  
仰セニナツタ所デハ、二月一日ノ午後四時  
ニナツテ發表ニナツタト云フ、サウシテ日  
本字ノ新聞ハ何レモ二月二日ノ朝刊ニ之ヲ  
載セテ居ルノデアリマス、過日本會議ニ於  
テ小川郷太郎氏ノ御質問ノ中ニ、外國ノ新  
聞ニ書イテアル事デ、日本人ノ知ラナイ事  
ガ澤山アルト云フ御言葉ガアリマシタガ、東  
京ノ真中ニ於テスラ、外字新聞ニハ一日モ一日  
半モ早ク傳ツテ、而シテ日本字ノ新聞ニハ  
遅クデナケレバ書ケナイト云フ所ノ事實ガ  
存シテ居ルノデアリマス、是ハ敢テ外務大  
臣ニ御尋スルコトハドウカト思ヒマスガ、  
其ノ間ノ事情ニ付テ、或ハ外務省ノ方ニ何  
カノ行懸リガアツタトスレバ、其ノ點ヲ承  
ツテ置キタイノデアリマス、敢テ大臣ヲ煩  
ハサウト思ヒマセヌ、ドナタデモ宜シウゴ  
ザイマス

○有田國務大臣 私近クニ居リマスカラ、  
私カラ代ツテ御答申上ゲマス、其ノ點ハ  
斯ウ云フコトデアアルノデアリマス、臨時國  
境確定委員會ノ話ハ、事實上決裂致シマシ  
タノガ三十日ノ夜デアツタノデアリマス、  
之ヲ如何ニ發表スルカト云フコトニ付テ、

先程申上ゲマシタ共同「コンミニユニケ」ガ三  
十一日ノ夜晩クコチラニ著イテ居ルノデア  
リマス、ソレニ依ツテ二月一日ノ午後四時  
ニ正式ニ發表致シテ居ルノデアリマスガ、  
其ノ前ニ「アドバタイザー」竝ニ「ソ」ビエ  
タイムス」ガ其ノ記事ヲ書イタト云フ事情  
ハ、事實上決裂シタト云フコトヲ外國新聞  
記者ガ、他ノ筋カラ日本人記者ヨリ早ク聽  
込シテ來テ、サウシテ情報部長ニ尋ネタノ  
デアリマス、ソレデソレヲ否定スル譯ニモ  
參ラナカウツノデ、所謂肯定ト申シマスガ、  
シタ爲ニ、外字新聞ニハ先ニ出タト云フコ  
トニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ  
取扱者ノ手落ト致シマシテ、私ハ心カラ遺  
憾ノ意ヲ表シテ居リマス

○松本委員 ソレデ分リマシタガ、内務省  
ノ當局ニ御尋ヲ致シタイノデスガ、一月三  
十一日ノ夕刊「ソ」ビエト「ソ」  
ノ記事ヲ掲ゲテ理由カラカドウカ知リマセ  
ヌケレドモ、發賣禁止ニナツテ居ル、然ル  
ニ翌日二月一日ノ「アドバタイザー」ハ、同  
ジ記事ヲ掲ゲナガラ發賣禁止ニナラナイノ  
デアリマス、是ハ如何ナル理由デアリマセ  
ウカ

○兒玉國務大臣 取調べテ他ノ機會ニ於テ  
御返事ヲ申上ゲマス

○松本委員 ソレハ困リマス、私ハ其ノ爲  
ニコソ警保局長ニ其ノコトヲ豫メ申上ゲテ、  
此ノ委員會ニモ警保局長ニ出ルコトヲ御願  
シデアリマスカラ……

○兒玉國務大臣 警保局長カラ御答申上ゲ  
マス

○山崎政府委員 私カラ便宜御答申上ゲマ  
ス、國境協定ニ關シマスル會談ノ新聞記事  
ノ取扱ヒニ關スル御尋デアリマスガ、只今

御話ノ通りニ、一月三十一日ニ「ジャパンタイムス」ニ會談決裂ノ記事が出タノデアリマス、是ハ外務省令ニ依リマシテ差止事項ニ觸レテ居リマスノデ、禁止デハナクシテ、次版カラ削除ヲ命ジマスル處分ヲ致シタノデゴザイマス、所ガ二月一日ニナリマシテ、同ジク只今御話ノ通りニ「ジャパン・アドバタイザー」ニ同様ノ記事が出タノデアリマスカラ、直チニ外務省ノ方ト色々打合セテ致シマシタ所、只今御質問ノ中ニモ出マシタヤウニ、當日發表スルコトニナツテ居リマシタノデ、次版カラ「ジャパンタイムス」ト同ジヤウニ削除ヲ命ジマシテモ實效ヲ擧ゲルコトガ出来ナカッタヤウナ事情ニ相成ツテ居ツタノデアリマス、尙又「アドバタイザー」ニ對シマシテハ、外務當局カラ直接ニ嚴重ニ注意ヲスルト云フ御話デゴザイマシタノデ、内務省ト致シマシテハ、此ノ問題ニ付テハ不問ニ附シマシタヤウナ事情ニ相成ツテ居リマス、併シナガラ將來斯ウ云フ事態ガ繰返シテ起リマスコトハ、甚ダ遺憾ナコトデアリマスノデ、内務省ト致シマシテハ、關係ノ各省ト十分ノ連絡ヲ取りマシテ、再ヒ斯ウ云フ事態ガ起ラナイヤウニ、最善ノ注意ヲ拂ヒタイト存ジテ居リマス

○松本委員 事情ハ分リマシタガ、如何ニモ私ハ解シ得ナイ態度ダと思ヒマス、同ジ英字新聞デアツテモ、日本人ノ發行シテ居ル英字新聞ハ發賣禁止ニナツテ居ル、外國人ガ發行シテ居ル英字新聞ハ發賣禁止ニナラナイト云フ事實ガ、少クトモ明カニナツテ居リマス、如何ニ辯明ヲ御用ヒニナラウトモ、少クトモ新聞ノ發行者カラ言ヘバ、アノ「アドバタイザー」ヲ發行シテ居ル外國人ハ、優越感ヲ誇ルニ相違ナイと思フ、對

外軟弱ト云フコトハ屢々外務省ニ用ヒラレタ言葉デアリマスガ、我方内務省ニ於テモ、亦斯ノ如キコトガアルコトヲ實ニ遺憾ニ存ジマス、吾々豫々承ツテ居ル話ヲ申上ゲレバ、ドウモ「アドバタイザー」ニ對スル所ノ當局ノ取締ハ、極メテ寛大ダト云フコトデアリ、私ハアレ等ノ新聞ニ對シテコソ、嚴峻ナ所ノ態度ヲ以テ臨ムベキダと思ヒマス、吾々日本字ノ新聞ヲ讀ム者ノ目ト口ヲ封ジテ、彼等外字新聞ヲ讀ム者ニ知ラシメルト云フコトガ、屢々今マデアアルデアリマス、吾ガ耳ト目ト封ジナケレバナラナイハ、彼等外國人デアアル、日本人ニ對シテコソ、私ハ總テ示スベキ所ノ態度ヲ御執リ戴イテ然ルベキと思ヒマスガ、併シナガラ、只今警保局長カラ御苦心ノ御説明ヲ承リ、更ニ將來ニ付テノ御話ヲ承リマシテ欣快ニ存ジマス、ドウカ之ヲ契機トシテ、將來外字新聞ヲシテ獨リ優越感ヲ誇ラシメルヤウナ態度ハ續ケサセナイヤウニシテ載キタイト存ジマス

○有田國務大臣 只今松本君ノ御述ニナツタヤウニ、從來トモ此ノ北鐵讓渡金ノ殘餘ノ支拂ヲ要求シテ來テ居テ、場合ニ依レバ暫定取極ヲスル、其ノ一ツニモシヨウト云フヤウナ意思ヲ表示シタコトモアツタノデアリマス、今回ハ此ノ暫定取極ノ外ニ、長期ノ漁業條約ヲ年内ニヤラウト云フ意思表示ガ、暫定取極ノ中ニヤハリ入ツテ居ルノデアリマス、別ニソレノ交換條件ト云フ譯デハナカラウト思フデアリマスガ、此ノ北鐵讓渡金ノ支拂殘額ニ付テ、從來ハ日本ノ方デ其ノ全部ニ付テ相殺ヲ主張シテ居ツタノデアリマスガ、今回「ソ」側ニ於キマシテ滿洲國ノ對「ソ」債權中約三分ノ一ヲ相殺スルコトヲ認め、又我方ニ於キマシテモ色々調査ノ結果、其ノ殘部ニ付テハ之ヲ支拂ツテ差支ナイト云フ決定ニナツタノデアリマス、サウ云フ風ニ取計ラツタコトガ、長期漁業條約ヲ年内ニヤラウト云フ約束ヲ、暫定取極ノ中ニシタト云フコトノ原因ニ、或ハ多少ナツテ居ルカトモ思フ、ソコニ多少ノ關聯性ガアルト云フコトハ私ハ認メルノデアリマス

○松本委員 私共ハ其ノ點ニドノ位ノ關聯性ガアルカ存ジナイノデアリマスガ、「ソ」聯ノ當局ハ明ニ知ツテ居ル、「ソ」聯ノ當局ヲシテ、日本ノ當局ハ國民ヲアンナニ胡麻化シテ居ルト言ハシムルヤウナコトハ、當局ハナサルマイト思フ、只今ノ外務大臣ノ御言葉ヲ其ノ僥倖用致シテ置キマス、其ノ北鐵買收金ノ最終割賦金ヲ拂フコトハ當然ダと思ヒマスガ、之ヲ漁業條約ニ關聯セシメテノコトニ若干ノ疑ヲ持ツタノデアリマスガ、此ノ漁業條約ニ關聯セシメタカ、セシメナイカハ別トシテ、其ノ後ニ於ケル日「ソ」ノ間ノ漁業交渉ノ進展ト云フモノハ、日本ガ期待サレタヤウニ進ンデ居ルノデア

リマセウカ、日本ハ北鐵買收金ノ最終割賦金ヲ拂ツタ、然ルニ「ソ」聯ノ方ハ日本ニ對シテ好意アル態度ヲ示サナイト云フヤウナ事實ハナイデアリマセウカ

○有田國務大臣 全般ニ亘ル國境確定委員會竝ニ紛争處理委員會、此ノ委員會ノ構成問題ニ付テノ話モアリマスシ、又長期漁業條約締結交渉ノ話モアルノデアリマスガ、其ノ前者ニ付テハ既ニ案文ニ付テ話ヲ進メテ——是ハ見透シヨ言フコトハ甚ダ危險デアリマスガ、強テ申シマスレバ、國境確定委員會竝ニ紛争處理委員會ノ設置ノ問題ニ付キマシテハ、順調ニ進ンデ居ルト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、長期漁業條約ノ點ニ付キマシテハ、實ノ所マダ内容ニ入ツテ話ヲ致シヤウナ所マデ進ンデ居ラナイノデアリマス、是ハ雙方準備ノ都合等モアルノデアリマス、勿論此ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ一時纏ツタモノモアリマスルガ、更ニ其ノ後ノ狀況等モ考ヘテ、研究スベキモノハ研究シテ居ル譯ナノデアリマス、併シナガラ其ノ條約ノ交渉モ近ク開始セララル運ビニナラウト思フノデアリマス

○松本委員 ドウモ此ノ問題デハ日本ノ方ハ最終還附金ヲ拂ハサレタ、拂ハサレタト云フ言葉ハ悪イノデスガ、日本ガ拂フコトノ斡旋ヲサセラレタ、併シ「ソ」聯ノ方ハ支拂ノ話サヘ決レバ斯ウルト云ツタコトガ思フヤウニ行ツテ居ラナイト云フヤウナ感じモ持ツノデアリマス、私ハ局外者デスカラ外務大臣ノ言葉ハ信用シテ置キマスガ、其ノ北鐵賠償金ノ最終還附金ノ三百万圓ト云フモノハ物資ヲ日滿兩國カラ買入レルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ買入

レル物資或ハ買入レル時期其ノ他ニ付テ何  
等カノ話合ハアルノデアリマセウカ

○有田國務大臣 政府委員ヲシテ答辯セシ  
メルコトニ致シマス

○西政府委員 此ノ北鐵賠償金ハ此方ノ方  
デ、日本テ受取ツテ日本テ持ツテ居ル金  
デアリマス、其ノ金ヲドシテ使フカ、何  
ヲ買フカ、ドノ品物ヲ買フカ、何時買フカ  
ト云フコトハ、是ハ露西亞ノ方テ決メテ差  
支ナイ譯ノモノニナツテ居ルノデアリマス、  
併シ此方ノ方テハドウ云フモノヲ買ヒタイ  
カ、知リタイノデアリマスカラ、折角照會  
シテ居リマス、併シドウ云フ風ニナルカハ  
分リマセウ

○松本委員 三百万圓ト云フ金ハ僅カデア  
リマスカラ、是デ何ヲ買ツテモ宜イノデア  
リマスガ、ソノ聯ノ日本ニ對スル態度ハ非友  
誼的デアリ、更ニ蔣介石ニ對シテハ執拗ナ  
ル所ノ援助ヲ續ケテ居ルヤウデアリマスカ  
ラ、マサカ如何ニ日本政府ガオ人好シデ  
モ、此ノ金デ日本ニ非友誼的行動ヲ續ケ、  
若クハ蔣介石援助ニ役立ツヤウナ物ハ賣  
リニナルマイト思ヒマスガ、其ノコトニ付  
テ私ハ何かハツキリシテ諒解ガアツテ然ル  
ベキデハナイカト思フノデアリマスガ、如  
何デアリマスカ、事實タケ一ツ、何モナイ  
トカアルトカ云フコトダケ承リタイト思ヒ  
マス

○西政府委員 何モ別ニ取決メ致シテアリ  
マセウ

○松本委員 ソレデ宜シウゴザイマス、ソ  
レデ私ハ此ノ日「ソ」國交調整ノコトニ付テ承  
リタイノデアリマスガ、外務大臣「ソ」外交方  
針ノ御演説ト云フモノハ、日「ソ」國交調整  
ニ非常ニ重キヲ置カレテ居ルノデハナイカ

ト拜聴致シタノデアリマス、其ノ日「ソ」  
國交調整ニ付テハ、兩國ノ間ノ懸案ヲ解決  
スルト云フコトガドウシテモ問題ニナル、今  
日「ソ」ノ間ニ横ハツテ居ル所ノ重要ナル  
懸案ヲ私共拾ツテ見マスルト、國境ノ間  
題、通商協定ノ問題、北洋漁業ノ問題、ソ  
レカラ北鐵賠償金ノ支拂ノ問題並ニ北樺太  
ノ權益ニ對スル所ノ妨害ノ問題、是等ガ主  
ナル問題ノヤウニ私共ハ存ズルノデアリマ  
ス、所ガ其ノ中デ解決シタモノハ日本ノ方  
カラ支拂ノ斡旋ヲスベキ所ノ北鐵賠償金ノ  
最後ノ還付金ノ問題デアリマス、コチカラ  
ラ與ヘベキモノハ捉ヘ、後ノ四ツノ問題  
ハ——通商協定ノ問題ハ、是ハオ互デゴザイ  
マセウガ、其ノ他ヲ除イタ所ノ國境ノ問題  
ハ既ニ話合ガ壞レタ、サウシテ漁業問題ハ  
遲々トシテ進マナイ、更ニ北樺太ノ權益ノ  
問題ニ付テハ先刻蔣君トノ間ニ質問應答  
ガアリマシテ承ツタノデアリマスガ、是ハ  
マダ何等的確ナル進展ハシテ居ナイヤウデ  
アリマス、北樺太ノ權益ニ對スル「ソ」聯側ノ  
妨害ト云フモノハ許スベカラザルモノデア  
リマス、之ニ付キマシテハ昨年ノ議會ニ於  
キマシテ、本院ニ於キマシテハ全會一致ヲ  
以テ決議案ヲ通過シテ居リマス、「ソ」聯ノ  
帝國ノ權益ニ對スル所ノ暴戾ナル態度ハ、  
之ヲ速カニ禁ゼシメナケレバナラヌト云フ  
所ノ力強キ決議ヲ致シテ居リマス、日「ソ」  
國交調整ヲスルト云フコトニナリマスルナ  
ラバ、此ノ北樺太ノ帝國ノ重要ナル權益ニ  
對シテ不當ナル壓迫ヲ加ヘル問題ニ對シ  
テ、當然何等カノ話合ガ進メラレテ居ル  
カ、或ハ何等カノ言質ヲ得テ居ルカト云フ  
コトニナラナケレバナラナイヤウニ私共考  
ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スルサウ

キ蔣君トノ話ヲ傍デ承ツテ居ルト、ドウ  
モ其ノ點ガ餘リハツキリシナイヤウデゴザ  
イマスガ、此ノ點ヲ一ツ甚ダ諒イヤウデゴ  
ザイマスガ、モウ一遍御話ヲ願ヒマス

○有田國務大臣 昨年ノ議會後ニ於キマシ  
テモ、此ノ北樺太ノ利權ニ對スル「ソ」ビエト  
側ノ壓迫、妨害行為ニ付キマシテハ、其ノ  
都度嚴重ニ「ソ」ビエトノ方ヘ話ヲシテ參ツ  
テ居ツタノデアリマスガ、ドウモ思フヤ  
ウニ行ツテ居ナカウタノデアリマス、最近  
空氣ノ好轉ニ連レテ一層其ノ點ヲ強調致シ  
テ居ルノデアリマス、遺憾ナガラ其ノ點ハ  
先程蔣君ノ質問ニ御答シタヤウニ、或ル  
一部ニ於テハ解決ノ跡ガ多少見ラレマスル  
ケレドモ、大體ニ於テハ依然トシテ妨  
害行為ガ存シテ居ルヤウデアリマス、政府  
ニ於キマシテハ他ノ問題ノ話合ト共ニ此ノ  
點ニ付キマシテモ、出來ルダケ「ソ」ビエト  
側ノ反省ヲ促シテ状態ヲ改善スルヤウニ致  
シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○松本委員 私が申上ゲルマデモナク、此  
ノ北樺太ノ重要ナル權益ハ我方帝國ニ取ツ  
テハ實ニ忘ルベカラザル犧牲ニ對スル權益  
デアリマス、此ノ重大ナル權益ニ對スル「ソ」  
聯ノ他クナキ妨害、不信行為、條約蹂躪、  
是等ノ行為ガ繰返サレテ居ル限り、吾々日  
本國民ハ他ノ如何ナル問題ニ付テ日「ソ」  
間ノ懸案ガ解決シテモ、日「ソ」ノ間ハ此ノ問  
題ガ解決シナイ限りハ國交調整サレタモ  
ノトハ認ムルコトガ出來ナイト云フ感シヲ  
吾々ハ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ事ヲ  
「ソ」聯ノ方ニ力強ク印象セシメ、サウシテ、  
日本ガ與ヘベキモノダケハ與ヘテ、ソレダ  
ケハ懸案ガ解決シタ、向フカラ正シイコト  
ヲ正シクヤラセルベキ問題ニ付テハヤラセ

ルコトガ出來ナカウタト云フヤウナ結果ヲ  
始サナイヤウニ一ツ此ノ上トモ御盡力ヲ願  
ヒタイノデアリマス、尙ホ私ハ日「ソ」ノ國  
交ヲ調整スルニ付テハモウ一ツ重大ナ問題  
ガアルト思ヒマス、「ソ」聯ガ依然トシテ今  
日我敵デアリ蔣介石ニ對シテ援助ヲ與ヘテ  
居ルト云フコトデアリマス、「ソ」聯ガ此ノ援  
助行為ヲ止メナイ限り日「ソ」ノ國交ハ是亦  
調整スル途ハナイト思ヒマス、日「ソ」ノ國  
交ヲ調整スルト外務大臣ガ仰セラレテ、御  
盡力ヲ賜ハル以上、「ソ」聯ヲシテ此ノ蔣介  
石援助ヲ打切ラセルコトニ付テモ定メシソ  
レゾレ御力添ヲ戴イテ居ルコトト存ジマス、  
ソレニ付テノ見透ト云フモノハ如何ナモノ  
デゴザイマセウカ、此ノ點ヲ御尋致シマス

○有田國務大臣 其ノ點ハ政府ニ於キマシ  
テモ特ニ重要ト考ヘテ居ルノデアリマシテ、  
外交演説ノ中ニモ其ノ點ハ一言シテ置イタ  
所デアリマス、今後其ノ方面ニ付テハ努力  
致ス積リデアリマス

○松本委員 何卒十分ニ御努力ヲ御願シタ  
イノデアリマスガ、私ハ此處デ歐羅巴戰爭  
ガ起ツテカラ「ソ」聯ノ動キ方ト云フモノヲ  
見テ「ソ」聯ト云フモノニ對スル認識ヲ若干、  
新クニスル必要ガアルヤウニ思フノデアリ  
マス、從來「スターリン」初メ「ソ」聯ノ當局  
ハ、屢々斯ウ高言シテ居リマス、「ソ」聯ハ自ラ  
他國ニ對シテハ、斷ジテ侵略的ノ態度ニハ  
出ナイ、併シナガラ他國ガ「ソ」聯ヲ一寸ト  
雖モ侵スナラバ、「ソ」聯ハ斷乎トシテ之ニ  
立向フト申シタノデアリマス、是ガ共產露  
西亞ガ成立シテカラ、共產黨ガ終始口ニシテ  
居ツタ所ノ彼等ノ「モットー」デアリマス、  
然ルニ歐羅巴戰爭ガ始ツテカラ後「ソ」  
聯ノヤリ方ハ、オ互ニ目ノ前ニ見ル通りノ

ルコトガ出來ナカウタト云フヤウナ結果ヲ  
始サナイヤウニ一ツ此ノ上トモ御盡力ヲ願  
ヒタイノデアリマス、尙ホ私ハ日「ソ」ノ國  
交ヲ調整スルニ付テハモウ一ツ重大ナ問題  
ガアルト思ヒマス、「ソ」聯ガ依然トシテ今  
日我敵デアリ蔣介石ニ對シテ援助ヲ與ヘテ  
居ルト云フコトデアリマス、「ソ」聯ガ此ノ援  
助行為ヲ止メナイ限り日「ソ」ノ國交ハ是亦  
調整スル途ハナイト思ヒマス、日「ソ」ノ國  
交ヲ調整スルト外務大臣ガ仰セラレテ、御  
盡力ヲ賜ハル以上、「ソ」聯ヲシテ此ノ蔣介  
石援助ヲ打切ラセルコトニ付テモ定メシソ  
レゾレ御力添ヲ戴イテ居ルコトト存ジマス、  
ソレニ付テノ見透ト云フモノハ如何ナモノ  
デゴザイマセウカ、此ノ點ヲ御尋致シマス

事實、即チ「ソ」聯ハ共産主義ニナツタト雖モ、依然トシテ侵略主義國家デアル、「スラ」民族ノ傳統ヲ捨テナイモノデアルト云フコトヲ事實ノ上ニ示シテヤウニ私ハ思ヒマス、此ノ事實ヲ「ソ」聯ガ示シク以上ハ、吾々ハ「ソ」聯ニ對シテ生易シイ考ヲ以テ、「ソ」聯ガ國交ヲ調整スルデアラウ、東洋ニ對スル侵略ヲ止メルデアラウト云フヤウナコトヲ考ヘルコトハ、私ハ餘リニモ甘過ギルト云フ考ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ日本トシテハ斯ノ如キ「ソ」聯ノ出方カラ見テモ、對「ソ」ノ關係ハ益々重視シナケレバナラナイ、國民ニ對シテ氣ヲ弛メルヤウナ感ジヲ與フベキデハナイト云フヤウナ感想ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、幸ニ此ノ點ニ付テノ陸軍大臣ナリ、或ハ外務大臣ナリノ御所見ヲ承ルコトガ出來レバ仕合セト存ジマスガ、私ノ愚見デゴザイマスカラ、愚見ニ對シテ御意見ヲ承ルト云フヤウナコトハ、甚ダ非禮ナコトデアリマスカラ、承ルコトガ出來ナケレバソレデモ宜シウゴザイマス

立抗爭シロト云フコトデナイコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、併シ防共ト云フコトハ、日「ソ」ガ非常ニ親善デ、心カラ調和シ得ルモノデアイト云フコトハ、是ハ私ハ否定スルコトノ出來ナイコトノヤウニ考ヘルノデアリマス、然ラバ日本ガ一方ニ於テ、防共ト云フ此ノ政策ヲ堅持シナガラ、一方ニ日「ソ」ノ國交ヲ調整スルト云フコトニ付テハ、決シテソレハ不可能ナコトデハナイカモ知レマセヌガ、國民ノ中ニハ若干ソコニ矛盾シタカノヤウナ感ジヲ持ツ者ガアルト思フノデアリマス、ソコデ其ノ點ニ付テ私ハ政府カラ國民ヲ一ツ納得セシムルヤウナ——勿論御理解ノアル方ハ十分御分リデアリマセウガ、此ノ多數ノ大衆ノ中ニハ、防共ト云フコトガ幾ラカ弛ムノデハナイカト云フ感ジヲ持ツ者ガナシトハシナイト思ヒマス、今帝國ガ事變處理ニ付テ、支那トノ間ニ色々取纏バウト云フコトノ重要ナル項目ノ一ツニ、共同防共ト云フコトガアルノデアリマス、此ノ共同防共ト云フコトハ、何デモ彼デモ露西亞ト戰フト云フコトデモナケレバ、爭フト云フコトデモナイコトハ、是ハ事態ヲ明瞭ニ解スル人ニハ、勿論ハツキリ分ツタコトデアリマセウケレドモ、世ノ中ニハ此ノ點ニ付テ誤ツタ考ヲ持ツテ居ル者ガナシトシナイト思ヒマス、其ノ點ヲ一ツドウカ、如何ニ調和スベキモノデアアルカト云フコトノ御説明ヲ戴キタイノデゴザイマス

ターナシヨナル」ノ破壊工作ニ對抗スルモノデアツテ、「ソビエト」ニ對スルモノデハナイノデアアル、隨テ「ソビエト」トノ國交ハ調整シテ行ク積リデアアルノダト云フコトヲ、明ニシテ置イタノデアリマスルガ、併シナガラ「ソビエト」ノ方デハ、此ノ帝國政府ノ態度ヲ諒トセズシテ、遂ニ國交調整ト云フコトガ出來ズニ、最近ニ至ツタヤウナ事情デアアルノデアリマスガ、吾々ハ防共ト云フコトト「ソビエト」トノ間ノ國交ヲ調整シテ、正當關係ヲ維持シテ行クト云フコトトハ、矛盾ヲ來シテ居ナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ「ソビエト」聯邦ガ明ニ其ノ活動ヲ支援シテ、日本ニ對シテ來ルト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ勿論問題ハ別デアリマスガ、之ヲ分ケテ國交調整ト、第三「インク」ナシヨナル」トニ對スル防衛行爲ト云フモノヲ考ヘルコトガ出來、又サウシテ行カナケレバ今日ノ場合イケナイト思フノデアリマシ

ノ外務大臣トシテ防共協定ヲ御作りニナツタ、其ノ爲ニ一部ノ人カラ驚々タル——ト申シテハ少シ言葉ガ大き過ぎマスガ、或ル程度ノ非難ヲ御浴ビニナツタコトヲ、私共存ジテ居リマス、而モ昨年ハ防共協定ヲ強化スルコトニ、強硬ニ反對サレタノカドウカ知リマセヌガ、其ノ關係ヲ強化スルコトニ有田サンガ反對ダト云フノデ、一部カラ非難ヲ浴ビタ、此ノ前ハ獨逸トノ關係ヲ好クシテ反對ヲ受ケ、此ノ度ハ獨逸トノ關係ヲ好クシナイカラト云フノデ反對ヲ受ケタ、ドウモ二度トモ大變才氣ノ毒ナ立場デアツタガ、ソレダケニ有田外相ノ獨逸ニ對スル態度ハ、極メテ中正穩健デアルト云フコトハ理解出來ルノデアリマシケレドモ、其ノ有田外務大臣ニ、私ハ獨逸ノ問題ヲ承リタイノデアリマス、獨逸ト露西亞ノ間ニ、昨年ノ八月結バレタアノ協定ト云フモノト、日獨ノ防共協定ト云フモノヲ如何ニ調和セシムルカ、是ハ矛盾ヲシナイカ、アノ獨逸「ソ」ノ協定ニ依ツテ、日獨防共協定ノ精神及ビ内容ニハ、何等ノ影響ノナイモノト御認メニナリマスカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○有田國務大臣 最初ノ日獨防共協定ニ對スル私ノ態度、竝ニ昨年ノ防共協定強化ニ對スル私ノ態度ニ付テ、只今松本君ガ御話ニナリマシタガ、私ハ日本本位、何處マデモ日本本位デ外交方針ヲ決メテ行キタイ、斯ウ云フ考デアリマスカラシテ、只今松本君ノ御話ニナツタヤウナコトガ、或ハ結果トシテ一部ニハ考ヘラレルカモ知レマセヌガ、其ノ點ニ付キマシテ、松本君ハ十分私ノ立場ヲ御理解下サツテ居ルヤウデアリマスカラ、唯心持ヲ述ベルニ止メテ置タ次第

事實、即チ「ソ」聯ハ共產主義ニナツタト雖モ、依然トシテ侵略主義國家デアアル、スラ「ソ」民族ノ傳統ヲ拾テナイモノデアアルト云フコトヲ事實ノ上ニ示シタヤウニ私ハ思ヒマス、此ノ事實ヲ「ソ」聯ガ示シタ以上ハ、吾々ハ「ソ」聯ニ對シテ生易シイ考ヲ以テ、「ソ」聯ガ國交ヲ調整スルデアラウ、東洋ニ對スル侵略ヲ止メルデアラウト云フヤウナコトヲ考ヘルコトハ、私ハ餘リニモ甘過ギルト云フ考ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ日本トシテハ斯ノ如キ「ソ」聯ノ出方カラ見テモ、對「ソ」ノ關係ハ益々重視シナケレバナラナイ、國民ニ對シテ氣ヲ弛メルヤウナ感ジヲ與フベキデハナイト云フヤウナ感想ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、幸ニ此ノ點ニ付テノ陸軍大臣ナリ、或ハ外務大臣ナリノ御所見ヲ承ルコトガ出來レバ仕合セト存ジマスガ、私ノ愚見デゴザイマスカラ、愚見ニ對シテ御意見ヲ承ルト云フヤウナコトハ、甚ダ非禮ナコトデアリマスカラ、承ルコトガ出來ナケレバソレデモ宜シウゴザイマス

○有田國務大臣 「ソ」聯ト日本トノ關係ハ色々ナ點ニ於テ、極メテ重要デアアルノデアリマシテ、日本ハ勿論「ソ」聯ト國交ヲ調整スルコトニ努力致ス方針デ、現ニ實行シツツアルノデアリマスガ、併シ他方ニ於テ日本國民ガ氣ヲ許スト云フ風ナコトガアツテハナラスノデアリマシテ、政府ト致シマシテモ、勿論國交調整ニ血道ヲ上ゲテ居ル次第デハナイノデアリマス

○松本委員 ソレデ「ソ」聯國交調整ニ付テノ御考ハ分ツタノデアリマスガ、是ハ私ガ申上ゲルマデモナイコトデゴザイマスガ、防共ト申シマスコトハ、決シテ「ソ」ガ對

立抗爭シロト云フコトデナイコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイと思ヒマス、併シ防共ト云フコトハ、日「ソ」ガ非常ニ親善デ、心カラ調和シ得ルモノデアリト云フコトハ、是ハ私ハ否定スルコトノ出來ナイコトノヤウニ考ヘルノデアリマス、然ラバ日本ガ一方ニ於テ、防共ト云フ此ノ政策ヲ堅持シナガラ、一方ニ日「ソ」ノ國交ヲ調整スルト云フコトニ付テハ、決シテソレハ不可能ナコトデハナイカモ知レマセマスガ、國民ノ中ニハ若干ソコニ矛盾シタカノヤウナ感ジヲ持ツ者ガアルト思フノデアリマス、ソコデ其ノ點ニ付テ私ハ政府カラ國民ヲ一ツ納得セシムルヤウナ——勿論御理解ノアル方ハ十分御分リデアリマセウガ、此ノ多數ノ大衆ノ中ニハ、防共ト云フコトガ幾ラカ弛ムノデハナイカト云フ感ジヲ持ツ者ガナシトハシナイと思ヒマス、今帝國ガ事變處理ニ付テ、支那トノ間ニ色々取繕バウト云フコトノ重要ナル項目ノ一ツニ、共同防共ト云フコトガアルノデアリマス、此ノ共同防共ト云フコトハ、何デモ彼デモ露西亞ト戰フト云フコトデモナケレバ、爭フト云フコトデモナイコトハ、是ハ事態ヲ明瞭ニ解スル人ニハ、勿論ハツキリ分ツタコトデアリマセウケレドモ、世ノ中ニハ此ノ點ニ付テ誤ツタ考ヲ持ツテ居ル者ガナシトシナイと思ヒマス、其ノ點ヲ一ツドウカ、如何ニ調和スベキモノデアルカト云フコトノ御説明ヲ載キタイノデゴザイマス

○有田國務大臣 日「ソ」ノ國交ヲ調整スルコトハ、日獨ノ間ニ防共協定ガ締結セラレマシタ當時カラ、其ノ方針ヲ日本ハ持つテ居ルノデアリマス、當時「ソ」ビエトニ對シマシテモ、日獨防共協定ハ第三「ソ」

ターナシヨナル」ノ破壊工作ニ對抗スルモノデアツテ、「ソ」ビエトニ對スルモノデハナイノデアアル、隨テ「ソ」ビエトトノ國交ハ調整シテ行ク積リデアアルノダト云フコトヲ、明ニシテ置イタノデアリマスガ、併シナガラ「ソ」ビエトノ方デハ、此ノ帝國政府ノ態度ヲ諒トセズシテ、遂ニ國交調整ト云フコトガ出來ズニ、最近ニ至ツタヤウナ事情デアアルノデアリマスガ、吾々ハ防共ト云フコトト「ソ」ビエトトノ間ノ國交ヲ調整シテ、正當關係ヲ維持シテ行タト云フコトハ、矛盾ヲ來シテ居ナイト考ヘテ居ルノデアリマ

ス、第三「ソ」ビエトノ活動ニ對シテ「ソ」ビエト「聯邦ガ明ニ其ノ活動ヲ支援シテ、日本ニ對シテ來ルト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ勿論問題ハ別デアリマスガ、之ヲ分ケテ國交調整ト、第三「ソ」ビエトナシヨナル」トニ對スル防衛行爲ト云フモノヲ考ヘルコトガ出來、又サウシテ行カナケレバ今日ノ場合イケナイと思フノデアリマ

ス

○松本委員 「ソ」聯ト共產黨ト云フモノハ分離シ得ルモノカ、或ハ一體ノモノデアルカト云フコトハ、帝國政府ノ從來ノ考ヘ方、主張ニモ、必シモ今外務大臣ノ仰セノヤウデナカツタコトモアツタヤウニ覺ニテ居リマスケレドモ、其ノ御説明ハ只今ノ御説明デ一應満足シテ置キマス

最後ニ對獨ノ關係ノコトヲ一二承リタイノデアリマス、此ノ對獨ノ關係ヲ承リマスニ付テハ、有田外務大臣ニ一ツダケ感想ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ有田サンハ實ニ或ル意味カラ申セバ、非常ニ光榮ト申シマセウカ、或ル意味カラ言ヘバ非常ニ才氣ヲ立場デアアル、曾テハ廣田内閣

ノ外務大臣トシテ防共協定ヲ御作りニナツタ、其ノ爲ニ一部ノ人カラ驚々タル——ト申シテハ少シ言葉ガ大キ過ギマスガ、或ル程度ノ非難ヲ御浴ビニナツタコトヲ、私共存ジテ居リマス、而モ昨年ハ防共協定ヲ強化スルコトニ、強硬ニ反對サレタノカドウカ知リマセマスガ、其ノ關係ヲ強化スルコトニ有田サンガ反對ダト云フノデ、一部カラ非難ヲ浴ビタ、此ノ前ハ獨逸トノ關係ヲ好クシテ反對ヲ受ケ、此ノ度ハ獨逸トノ關係ヲ好クシナイカラト云フノデ反對ヲ受ケタ、ドウモ二度トモ大變才氣ヲ毒ナ立場デアツタガ、ソレダケニ有田外相ノ獨逸ニ對スル態度ハ、極メテ中正穩健デアルト云フコトハ理解出來ルノデアリマスケレドモ、其ノ有田外務大臣ニ、私ハ獨逸ノ問題ヲ承リタイノデアリマス、獨逸ト露西亞ノ間ニ、昨年ノ八月結バレタアノ協定ト云フモノト、日獨ノ防共協定ト云フモノヲ如何ニ調和セシムルカ、是ハ矛盾ヲシナイカ、アノ獨逸「ソ」ノ協定ニ依ツテ、日獨防共協定ノ精神及ビ内容ニハ、何等ノ影響ノナイモノト御認メニナリマスカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○有田國務大臣 最初ノ日獨防共協定ニ對スル私ノ態度、竝ニ昨年ノ防共協定強化ニ對スル私ノ態度ニ付テ、只今松本君ガ御話ニナリマシタガ、私ハ日本本位、何處マデモ日本本位デ外交方針ヲ決メテ行キタイ、斯ウ云フ考デアリマスカラシテ、只今松本君ノ御話ニナツタヤウナコトガ、或ハ結果トシテ一部ニハ考ヘラレルカモ知レマセマスガ、其ノ點ニ付キマシテ、松本君ハ十分私ノ立場ヲ御理解下サツテ居ルヤウデアリマスカラ、唯心持ヲ述ベルニ止メテ置タ次第

デアリマス

借テ獨ソノ不可侵條約ト、日獨防共協定トノ關係デアリマスガ、勿論此ノ防共協定ノ表面カラ申シマシテ、極ク法律的ニ言ヒマスレバ、獨ソノ協定ト云フ風ナモノハ、必ズシモ日獨協定ニ反スルトハ言ヘナイト思フノデアリマスガ、其ノ精神ニ於テハ必ズシモ全然合致シテ居ルモノトハ認メ難イト思フノデアリマス、當時其ノ趣旨ノ抗議ヲ獨逸ニハ致シテ置イタノデアリマス、併シ抗議ハ致シマシタガ、日獨協定ヲ別ニソレガ爲ニ廢棄シタト云フコトハナイノデアリマスカラ、日獨ニ防共協定ハ尙ホ今日現存シテ居ルト解釋致シテ居ルノデアリマス

○松本委員 此ノ獨ソノ提携問題ニ付テ、私ハ外務大臣ニ承リタイノデゴザイマスガ、是ハ獨逸、露西亞ノ提携デアアルコトハ申スマデモアリマセスガ、是ガ我が日本ニモ非常ナ關係ヲ持ツテ居ル、吾々ガ戰時中ニ平沼内閣ノ倒壊ト云フ風ナ政變ヲ迎ヘナケレバナラス原因ニナツタコトハ、繰返スマデモナイコトデゴザイマス、吾々日本ノ國ノ政治ニマデ非常ナ影響ヲ及ボシタ獨ソノ提携デゴザイマスガ、此ノ獨ソノ提携ガアリマシタ爲ニ、日本國民ガ獨逸ニ對シテ今マデ持ツテ居ツタ熱情ガ冷メタ、或ハ獨逸ニ對シテ快カラヌ感ジマデモ持ツテ居ル者ガアルト云フコトハ事實デゴザイマス、然ルニ或ル一部ニハ此ノ獨逸、露西亞ノ提携シタノハ、其ノ責任ハ日本ニアル、日本ノ態度、ヤリ方ガ惡カツタ爲ニ、獨逸、露西亞ガ結ンダノダト云フヤウナコトヲ言フ人モアリマス、其ノ點ニ付テ外務大臣カラ何等カノ御説明ヲ承リタイノデアリマス

○有田國務大臣 日本トノ間ノ關係如何ニ拘ラス、當時ノ情勢トシテ、獨逸ハアア云フ風ナ協定ヲ結ブ必要ガアツタコトト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○松本委員 此ノ點ニ付テ獨逸ノ外省「リッペン」ト云フガ日本ノ使臣ニ對シテ、豫メサウ云フ話ガアツタト云フコトデアリマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマスカ、詰リ、其ノ話ト申上ゲテハ如何カト思ヒマスガ、日本ガ防共協定ノ強化ニ連ニ賛成シテ呉レナケレバ、獨逸ハ露西亞ト結バザルヲ得ナイト云フ風ナ話ガアツタト云フコトデアリマスガ、其ノ點ヲ明確ニ伺ヒタイ

○有田國務大臣 防共協定強化ノ交渉ノ内容ニ付キマシテハ、今日未ダ之ヲ公表スル時期ニ達シテ居ナイト考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ハ差控ヘ置シテ載キタイト思フノデアリマス、併シ此ノ交渉ノ内容カラ離レテ申シマスレバ、假ニ日本ガ日獨防共協定ノ強化ヲシナケレバ、獨逸ハ「ソビエト」ト結バナケレバナラヌト申シマシテモ、其ノ防共協定強化ト云フコトガ、日本ノ建前カラ言ツテ若シ望ムベカラザルコトデアリマシタラバ、是ハ獨逸ガ「ソビエト」ト結ンデモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、是ハ交渉ノ内容デアアリマセス、私ノ意見ヲ申述ベタノデアリマス

○松本委員 此ハ其ノ點ハ諒解スルノデアリマスガ、外務大臣ハ私ガ御尋申上ゲマシテモ、獨逸ノ外務大臣ガ其ノ點ニ付テ帝國ノ使臣ニ話シタコトハ、此ノ際話セナイト云フコトデアリマス、然ルニ私ハ茲ニ印刷物ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ昨年ノ十二月八日ニ白鳥駐伊大使ガ東京講演會ニ於テ講演シタ所ノ速記デアリマス、是ハ印刷シテ

配布サレ、販賣サレテ居リマス、其ノ中ニ斯ウ書イテアリマス、十四年ノ四月二十日トハツキリ日ガ書イテアリマス、十四年ノ四月二十日ニ獨逸ノ外務大臣ハ日本ニ對シテ、即チ大島大使ト私ニ對シテ、ハツキリト明言ヲシテ居ル、日本ガ此ノ條約ニ加ハツテ來ナケレバ、吾々ハドウシテモ「ソ」ト結ビ付ク以外ニ方法ハナイ、獨逸トシテハ政策ヲ變ヘルコトハ洵ニ残念デアルケレドモ、昔ニ腹ハ代ヘラレヌ」云々ト言ツテ居リマス、私ハ此ノ點ヲ伺ハシト云フノデアリマセス、外務大臣ガ國政ヲ論スル爲ニ集ツテ居ル吾々議員ニ對シテ、豫算委員會ニ於テスラ言明ヲ俾ルト仰セラレル所ノ話ヲ、「リッペン」ト云フカラ直接話ヲ聽イタト仰セラレル所ノ現在ノ大使ガ、公開ノ席上ニ於テ講演ヲサレテ居ルト云フコトヲ外務大臣ハ何ト考ヘマスカ

○有田國務大臣 外務大臣ハ大使ヨリ上デアリマスカラ、假ニ大使ガ申シマシタコトデモ、外務大臣トシテハ言ヘヌコトモアリマスガ、併シソレハ別ト致シマシテ、白鳥大使ガ内容ノ如何ニ拘ラス公開ノ席上デア交渉ノ内容ニ互ツタト云フ風ナコトヲ、若シ上局ノ許可ヲ得ズシテ言ツタト致シマスレバ、ソレハ極メテ不穩當ダト思フノデアリマス、私ノ承知スル限りニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ當時外務省カラ注意ヲシテアルト考ヘテ居リマスシ、又最近ニ於キマシテハサウ云フ風ナコトハナイヤウニ承知シテ居リマス

○松本委員 此ハ重要ナル所ノ國民ニ對スル外務省ノ統制ノ問題カラ申上ゲタイノデアリマスガ、白鳥大使ハ其ノ講演ニ於テ、更ニ、昨日清瀨君ガ本會議ノ壇上ニ於テ御

披露ニナツタ、日本政府ニ獨逸カラ話ヲスルト、二十四時間内ニ世界ノ新聞ニ漏レルト云フコトヲ、「リッペン」ト云フガ大島大使ニ言ツタト云フコトモ話サレテ居リマス、私ハ外務省ノ統制ノ上ニ實ニ由キキコトダト思ヒマス、更ニ白鳥大使ハ此ノ講演ノ冒頭ニ斯ウ仰セラレテ居リマス、「此ノ日獨同盟ヲ壞シタ力ガ、更ニ勝ニ乘ジテ日本國民ヲ如何ニ誤マルカト云フコトヲ考ヘマス、遠方ノ歐羅巴ニ何時マデモチツトシテ居ラレナカツタノデ、政府ニ再三歸朝ヲ願ヒ出マシタ結果、漸ク其ノ許可ヲ得タノハ九月二日デアリマシタ……謂ハバ取ルモノモ取リ敢ヘズ歸ツテ來タノデアリマス、ドウシテモ歸ツテ國民ニ此ノ實情ヲ語ラネバナラス、外部ノ日本ニ敵意ヲ有スル策動ヲ、其ノ儘袖手傍觀シテ居ルコトハ、國家ノ一大事デアアルト感ジタカラデアリマス」ト書イテアリマス、白鳥君ガ憂國慨世ノ念禁ジ難キモノガアル點ニ對シテハ敬意ヲ表シマス、併シナガラ一國ノ元首ヲ代表スル所ノ大使ノ職務ノ中ニ、日本國民ノ輿論ヲ引立テル、日本國民ノ迷ヲ醒マサウナコトガ、果シテアルノデアリマセウカ、私ハ此ノ點ヲ外務大臣カラ明確ニ、是亦承ツテ置キタイノデアリマス

○有田國務大臣 特命全權大使ノ職務ハ、任國ニ在ツテ日本ヲ代表シテ、折衝ノ任ニ當ルト云フコトデアリマスガ、併シ是ガ歸朝致シ居リマス際ニ、國內ニ向ツテ外交知識ノ普及、或ハ意見ノ徹底等ヲ圖ルト云フコトモ、是レ差支ナイコトデアアラウト思フノデアリマスガ、併シソレハ白鳥大使ガ現ニ言ツタト云フコトノ適否ヲ私ハ茲ニ判斷スルノデハナイノデアリマスガ、抽象的ニ



申シマスレバ、國內ニ向ツテ大使が發言スルト云フコトモ、是ハ勿論差支ナイコトト考ヘテ居ルノデアリマス

○松本委員 私人申上ゲタノハ、白鳥君が言ツタト云フコトデハナイ、其ノ爲ニ歸朝ヲ願ヒ出テ、日本ニ歸ツテ來タト云フコトヲ私ハ御尋シテ居ル、サウ云フコトノ使命ヲ持ツ爲ニ大使が歸朝ヲ願ヒ出テ、政府ガ之ヲ許スト云フコトガ、外務省ノ統制ノ上カラ許サレルコトデアリマセウカ、之ヲ聽イテ居ル、大使が知識ノ普及ヲセラレルコトハ多々益、辨ジテ可ナリダト思ツテ居リマス

○有田國務大臣 歸朝ノ理由トシテサウ云フ風ナコトヲ申シテ、外務省ガソレヲ承知シテ歸朝ヲ命ジタトハ思ヒマセウ

○松本委員 大體諒解致シマシタ、私人御尋ヲ申上ゲタイ部分ハ是盡キタノデアリマスガ、如何ニモ今日日本ノ外交ハ、洵ニ多事多端デアリマス、此ノ外交ヲ一步誤ルナラバ、事變ノ處理其ノ他國運ノ前途等ニ對シテモ、容易ナラヌコトガアルト思ヒマスガ、此ノ點ハ練達堪能ノ有田外相ニ於キマシテ益、御加餐、國家ノ爲ニ御奉公アラシコトヲ御願致シマス、洵ニ下手ナ質問ノ爲ニ時間ヲ費シマシタコトヲ御詫ビ申上ゲテ置キマス

○川崎委員 議事ノ進行ニ付テチヨット一言シタイ、只今政府トノ質問應答ノ中ニ、此ノ儘デ散會ノ出來ナイ一事ガアルト思フノデアリマス、ソレハ委員長ヲ通ジテ政府ノ所信ヲ明確ニシテ置キタイコトガアル、先程窪井君ノ質疑中ニ、亞米利加トノ問題デ、最悪ノ場合ヲ想像シテ、禁輸問題ガ起ツタ時ハドウナルカト云フコトノ質疑ニ對

シマシテ、企畫院ノ總裁ハ之ニ對シテ、目下研究中デアルト云フコトヲ、明ニ言ハレテ居ル、ソレカラ松本君ノ同一問題ニ關スル質問ニ對シテ、總理大臣ハ明確ニ、左様ナ場合ニ於テハ、帝國政府ニ於テ用意アルト云フコトヲ言明セラレマシタ、此ノ言明ニ依ツテ一應打消サレテ居ルヤウニモ見エマスケレドモ、事柄ハ物動計畫ト重大ナ關係ガアリマスルシ、禁輸問題ハ是又物動計畫ト密接ナル關係ガアル、此ノ事柄ノ如何ハ、日本ノ國民ニ對シテ重大ナル影響ガアリマスルシ、又對外關係ニ於テモ重大ナ影響ガアリマス、最悪ノ場合ヲ想像シテ斯様ナ問題ガ起ルトシテモ、帝國政府ニハ二段、三段ノ構ヘアリト云フコトヲ、私ハ承リタイ、又二段、三段ノ構ヘガナケレバナラヌト思フ、其ノ二段、三段ノ構ヘハ如何ナル方法カト云フコトハ、私カラ申上ゲナクモ、此ノ言葉ヲ聞ク内外ノ人ガ直グニ諒解シ得ルコトデアラウト思ヒマス、政府ニ於テ二段、三段ノ構ヘアルノヲバ、之ヲ研究中ト云フ言葉デ蔽ヒ去ツタナラバ、大變ナ誤解ヲ來ス處ガアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ物動計畫ノ關係者トシテノ企畫院ノ總裁ガ、此ノ場合卒直明確ニ御話下サレテ、此ノ内外ニ對スル誤解ヲ御解キ下サルコトガ、必要デハナイカト存ジマスガ、委員長ヲ通ジテ此ノ點ヲ政府ニ求メラレンコトヲ希望スルノデアリマス

○三土委員長 企畫院總裁ドウデス

○竹内(可)政府委員 私人先程ノ御答ノ言葉ノ中デ少シク言葉ガ不十分デアリマシタ爲ニ、誤解ヲ來ス處ガアルト云フ御注意ガアリマシタカラ、此ノ際釋明ヲシタイト思ヒマス、私人申シマシタコトハ、情勢ノ推移

ニ應ジマシテ怠ラズ研究ヲ進メツツアルト、斯ウ云フ意味デアツタノデアリマス、勿論最悪ノ場合ニ二段、三段ノ用意ヲ致シテ居リマスコトハ、言フマデモナイコトデアリマス、此ノ段補足的ニ只今ノ御意見ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス

○三土委員長 本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ規則正シク開會致シマス

午後六時五十八分散會

第七十五回帝國議會 豫算委員會 議錄(速記) 第五回

(1111)

會議

昭和十五年二月八日(木曜日)午前十時八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三土 忠造君  
 理事 藤 鐵男君 理事 篠原 陸朗君  
 理事 中村三之丞君 理事 田村 秀吉君  
 理事 山本 芳治君 理事 岸田 正記君  
 理事 石坂 豐一君 理事 肥田 琢司君  
 理事 水谷長三郎君 理事 由谷 義治君  
 小川 郷太郎君 木暮 武太夫君  
 三宅 正一君 中島 彌圃次君  
 堤 康次郎君 櫻井 兵五郎君  
 石坂 養平君 塚本 重藏君  
 守屋 榮夫君 前田 房之助君  
 平川 松太郎君 吉植 庄亮君  
 安藤 正純君 富吉 榮二君  
 馬場 元治君 原 夫次郎君  
 紫安 新九郎君 小畑 虎之助君  
 星 一君 増永 元也君  
 田原 春次君 坂本 宗太郎君  
 北 吟吉君 松本 忠雄君  
 窪井 義道君 志賀 和多利君  
 牧野 良三君 矢野 庄太郎君  
 松村 謙三君 山本 厚三君  
 加藤 知正君 助川 啓四郎君  
 板野 友造君 川崎 克君  
 村松 久義君 三善 信房君  
 小山 亮君 松永 東君  
 最上 政三君 沖島 鎌三君  
 山崎 達之輔君 名川 侃市君

出席國務大臣左ノ如シ

藏原 敏捷君 太田 正孝君  
 末松 借一郎君 松尾 四郎君  
 金井 正夫君 松尾 孝之君  
 朴 春 琴君 松村 光三君

出席政府委員左ノ如シ

內閣總理大臣 米内 光政君  
 外務大臣 有田 八郎君  
 大藏大臣 櫻内 幸雄君  
 陸軍大臣 畑 俊六君  
 農林大臣 島田 俊雄君  
 文部大臣 松浦 鎮次郎君  
 拓務大臣 小磯 國昭君  
 內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君  
 厚生大臣 吉田 茂君  
 逓信大臣 勝 正憲君  
 商工大臣 藤原 銀次郎君  
 鐵道大臣 松野 鶴平君  
 內閣書記官長 石渡 莊太郎君  
 法制局長官 廣瀬 久忠君  
 企畫院總裁 竹内 可吉君  
 企畫院部長 原口 武夫君  
 企畫院部長 阿部 嘉輔君  
 對滿事務局事務官 竹内 徳治君  
 內閣情報部長 橫溝 光暉君  
 興亞院總務長官 柳川 平助君  
 興亞院部長 日高 信六郎君  
 關東局司政部長 今吉 敏雄君  
 外務政務次官 小山 谷藏君  
 外務參與官 小高 長三郎君  
 外務省東亞局長 堀内 干城君  
 外務省歐亞局長 西 春彦君

外務省亞米利加局長 吉澤 清次郎君

外務省通商局長 山本 熊一君

外務省條約局長 三谷 隆信君

外務省調查部長 松宮 順君

外務書記官 石井 康君

內務政務次官 鶴見 祐輔君

內務參與官 青山 憲三君

內務省地方局長 狹間 茂君

內務省警保局長 山崎 巖君

內務省土木局長 成田 一郎君

內務省計畫局長 松村 光磨君

內務書記官 灘尾 弘吉君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間 野武雄君

大藏省為替局長 中村 孝次郎君

大藏書記官 植木 庚子郎君

大藏書記官 湯地 謹爾郎君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

陸軍政務次官 三好 英之君

陸軍參與官 宮崎 一君

陸軍主計中將 石川 半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍步兵大佐 河村 參郎君

海軍政務次官 松山 常次郎君

海軍參與官 小山 邦太郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 千田 金二君

司法政務次官 星島 二郎君

司法參與官子爵 高木 正得君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 黒川 涉君

司法書記官 石田 壽君

文部參與官 仲井 間宗一君

文部省專門學務局長 關口 鯉吉君

文部省普通學務局長 中野 善教君

文部省實業學務局長 岩松 五良君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部書記官 永井 浩君

教學局長官 菊池 豐三郎君

農林政務次官 岡田 喜久治君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水産局長 粟屋 仙吉君

農林省畜産局長 岸 良一君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

農林省米穀局長 横山 敬教君

農林省臨時農村對策部長 重政 誠之君

農林書記官 岡本 直人君

商工政務次官 加藤 謙五郎君

商工參與官 喜多 壯一郎君

商工省鑛產局長 小金 義照君

商工省鐵鋼局長 塩谷 野野吉君

商工省化學局長 永田 彦太郎君

商工省機械局長 鈴木 英雄君

商工省纖維局長 辻 謙吾君

商工書記官 山本 茂君

商工書記官 椎名 悅三郎君

燃料局長官 東 榮二君

貿易局長官	小島 新一君
物價局次長	新倉 利廣君
逓信政務次官	武知 勇記君
逓信參與官	藤生安太郎君
逓信省電務局長	田村謙治郎君
逓信省管船局長	伊勢谷次郎君
逓信省經理局長	手島 榮君
電氣廳長官	平井出貞三君
電氣廳部長	藤井 崇治君
電氣廳部長	森 秀君
鐵道政務次官	宮澤 裕君
鐵道參與官	大島 寅吉君
鐵道省監督局長	鈴木 清秀君
鐵道省運輸局長	長崎惣之助君
鐵道省建設局長	堀越 清六君
鐵道省工務局長	阿曾沼 均君
鐵道省經理局長	池井 啓次君
拓務政務次官	松岡 俊三君
拓務參與官	男爵加藤 成之君
拓務省管理局長	副島 勝君
拓務省殖産局長	植場 鐵三君
拓務省拓務局長	安井誠一郎君
拓務書記官	森重 干夫君
朝鮮總督府政務總監	大野綠一郎君
朝鮮總督府財務局長	水田 直昌君
臺灣總督府總務局長	森岡 二郎君
臺灣總督府財務局長	中嶋 一郎君
樺太廳長官	棟居 俊一君
南洋廳長官	北島謙次郎君
厚生政務次官	一松 定吉君
厚生參與官	飯村 五郎君
厚生省體力局長	佐々木芳遠君
厚生省社會局長	新居善太郎君
厚生省勞働局長	藤原 孝夫君
厚生省職業部長	內藤 寬一君

厚生書記官 川村 秀文君  
 保險院長官 進藤 誠一君  
 保險院社會保險局長 清水 玄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案  
 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(臨時第一號)臨時軍事費豫算追加案  
 (臨時第一號)臨時陸軍材料資金豫算追加案

○三土委員長 會議ヲ開キマス、國防大臣中ニハ只今貴族院ノ本會議ニ出席サレテ居ル方ガアリマス、後カラ出ラレルサウデアリマス、質疑ヲ繼續致シマス——安藤正純君

○安藤委員 私人質問ハ事變處理ト外交ノ問題ニ付テ、一二點御伺シタイノデアリマスガ、過日來本會議並ニ豫算總會ヲ通ジマシテ、大分其ノ問題ガ出マシタカラ、私人聽キタイト思フヤウナコトモ、殆ド大部分出クノデアリマス、隨テ私人質問ガ前ノ質問ト重複スルコトモアラウカト思ヒマス、併シナガラ私モ此處ニ大抵ズツト居タノデアリマスガ、時々居ナイデ聽キ漏ラシタコトモアリマスシ、尙ホ私ノ派ノ質問ト致シマシテハ初メテデアリマスカラ、多少重複ニ互ルコトモアルカモ知レマセスガ、御聽取リヲ願ヒマシテ、御答辯ヲ願ヒタイ

總理大臣ハ過日ノ施政方針ノ演說ニ於キマシテ、我國ハ現在ノ歐洲戰爭ニ介入シナイデ、専ラ支那事變ノ解決ニ邁進スル方針ヲ云フコトヲ言明セラレマシタ、是ハ私人最モ同感ノ點デアリ、又恐ラク國民ノ

熱心ニ希望スル所デアルト思ヒマス、ソレニ付キマシテ今回汪精衛氏ヲ中心トスル中央新政府ガ、最近ニ樹立スルコトニナリマシテ、我國ト汪精衛氏トノ間ニ協定ガ成立致シマシタコトニ對シテハ、私ハ贊成ヲ致シマス、而シテ政府ノミナラズ、國民全體モ亦之ニ全幅ノ支持ト協力トヲ惜シマザランコトヲ、私ハ希望スル者デアリマス、斯ク私ノ意見ヲ豫メ明シテ置キマシテ、次ニ私人質問ニ移リタイト思フノデアリマス

抑、前阿部内閣ニ於キマシテモ、現米内閣ニ於キマシテモ、政府ノ方針ガ歐羅巴ノ國際情勢ナドニハ關係ヲシナイデ、専ラ支那事變ノ解決ニ邁進スルコトヲ云フデアリマスカラ、國民ハ其ノ政府ノ言明ヲ信賴シマシテ、何時事變ガ解決スルカト待望シテ居ルノデアリマス、ソコニ汪精衛氏ノ中央政權ガ近ク出來ル、日本政府ハソレニ向ツテ全幅ノ支持ヲスル、協力ヲスルト云フデアリマスカラ、國民ノ中ニハ之ニ依ツテ重慶政權ガ今ニモ内部的ニ崩壞ヲシマシテ、日支ノ事變ハ終結シ、平和ノ克服ハ近キニアリト即斷スル者モ少クナイノデアリマス、私ハ只今即斷ト言ヒマシタガ、國民ハ左様ニ斷定スルノハ決シテ無理デハナイ、即斷ハ必ズシモ即斷デナイ理由ヲ有スルノデアリマス、所ガ更ニ一方ニハ、汪精衛ハソコニ實力ハナイ、彼ハ滿身ノ意氣ト一部ノ人氣トハアルガ、彼ニハ兵力ト財力トガナイ、到底回天ノ大事業ナドハ不可能デアルト、斯ウ思込シテ居ル國民モ亦アルノデアリマス、獨リソレハ國內バカリデハアリマセス、支那ノ現地ノ日本ノ官民ノ間ニモ、此ノ聲ハ相當ニアルノデアリマス、役所ノ名ヲ出シテハ惡イカモ知レマセスガ、サウ

云フヤウナコトヲ研究シタリ、主トシテ取扱ツテ居ル現地ノ興亞院ノ間ナドニモ、其ノ議論ハ相當ニアルノデアリマス、私ハ直接ニサウ云フコトヲ能ク聞イタノデアリマス、成程考ヘテ見ルト、此ノ見方モ亦全然根據ノナイモノデアハナイト思ヒマス、是ニ於テ私ハ政府ニ聽キタイノデアリマス、斯様ナ事變ノ前途ヲトスルヤウナ重大案件ニ對シマシテ、志ニ國民ノ想像ニ任セテ置クコトハ、是ハ事變ノ前途ヲ五里霧中ニ彷徨サセル所以ノモノデアリマシテ、國民ノ士氣ノ上カラ言ツテモ、又國民總力ノ發揮ノ上カラ言ツテモ、其ダ好イコトデアハナイト思フノデアリマス、仍テ政府ガ既ニ汪精衛トノ間ニ公ノ協定ヲ致シマシテ、又之ヲ支持スル、協力スルト堂々發表シタ以上、政府ニハ之ニ依ツテ事變處理、平和克服ノ確タル成算ガオアリニナルニ相違ナイ、苟モ成算ガナクシテ、徒ニ汪精衛氏ト結ブ管ハナイト思ヒマス、私ハ國民ノ理解ヲ得テ、之ニ國民ノ十分ナル協力ヲ促進シナケレバナラス爲ニ、其ノ政府ノ成算ヲ承リタイノデアリマス、併シ成算ノ詳シイコトハ差支ガアツテ言ヘナイト云フコトデアアルナラ、敢テ詳シイコトヲ承ハラヌデモ宜シイ、唯此ノ儘デハ國民ハ分リマセス、先程申シタヤウニ、是デスツカリオ終ヒニナツテ、片付イテシマフノデアアル、斯ウ云フ即斷ヲシテ居ルカト思ヘバ、一方ニハサウ云フ實力ハナイカラ駄目ダト思切ツテ居ル者モアル、此ノ儘デハ甚ダ宜クナイト思ヒマス、縱ンバ二三日ノ中ニ、此ノ汪兆銘ニ對スル基本協定ナルモノガ發表サレマシテモ、ソレハ約束デアリマスカラ、ソレデハ國民ハ理解ヲ致シマセス、政府ノ之ニ對スル信念、方針、成算、

之ヲ承ツテ國民ニ傳ヘタイノデアリマス、併シナガラ詳シイコトヲ仰シヤルコトハイカスト言ヘバ、ソレハ已ムヲ得マセヌ、ソレナラバ、唯ドウ云フ方向ニ向ツテ、ドウ云フ性質、種類ノ方法、手段ヲ執ルト云フ、其ノ政府ノ目指ス所ノ方向ト、其ノ輪廓ヲケデモ示サレテ、是等ノ國民ノ即斷ト疑惑トヲ、一掃セラレンコトヲ希望スル次第デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ先ヅ政府ノ隔意ナキ御答辯ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス

○米内國務大臣

汪ノ運動ト我トノ關係ニ付キマシテハ、之ヲ全部一括致シマシテ、成ベク早イ機會ニ申上ゲル方方便利カト思ヒマスカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス  
○安藤委員 ソレハ只今私方申上ゲタヤウニ、二三日中ニ御發表ニナルト昨日モ仰シヤイマシタカラ、ソレヲ實ハ待ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ約束、或ハ基本協定、所謂法的ノモノガ其處ニ出テ來ルノデアリマス、ソレハ無論承リタイノデアリマス、併シソレヲドウ運用シテ、ドウヤツテ行クカト云フ其ノ方角、其ノ信念、ソレヲ承リタイト只今申上ゲタノデゴザイマス、併シ立チマシタ序ニ、私ノ方カラモウ少シ話ヲ進メマシテ、重ネテ一緒ニシテ御答辯ヲ願ヒマス、ソレデ總理大臣デナクトモ宜シウゴザイマスガ、總理大臣ニモ願ヘレバ結構デアリマス、外務大臣、陸軍大臣等ヨリモ御答辯ヲ願ヒタイ、是ハ私ハ唯政府ヲ突ツ込シテヤラウトカ、徒ニ辯ヲ弄スルヤウナ、ソナナ譯チヤ決シテアリマセヌ、又ソナナコトヲヤツテ居ル時代デモアリマセヌシ、ソナナ暇モゴザイマセヌ、本當ニ國民ハ迷ツテ居ルノデスカラ、其ノ氣ニナツテ、出

來ル範圍ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス  
汪精衛氏ノ實力ガ乏シイト云フノハ、是ハ兵力ト財力デアリマス、兵力ガ無ケレバ治安方保タレマセヌ、財力ガ無ケレバ經濟ノ實行ガ出來マセヌ、汪政權ノ支持ト協力トヲ誓ハレタ所ノ政府ハ、此ノ二ツノ力ニ付テ如何ナル方法ヲ以テ協力スルノデアルカ、之ヲ承リタイ、是ハ二三日中ニ協定ノ御發表ガアリマシテモ、サウ云フコトヲ御發表ニナルノデアリマス、サウ云フコトヲ御發表ニナルノ後カラ質問ヲシテモ宜イノデスガ、或ハサウ云フ機會ガナイカモ知レマセヌ、丁度私ノ願番ニ當ツテ居リマスノデ、先ニソレヲ伺フノデアリマス

而シテ此ノ兵力ト財力トニ、我方日本ガ協力スルト云フコトハ、是ハ一ツハ駐兵權ノ問題ニモ關係ガアリ、モウ一ツハ日支經濟提携、日支合辦ト云フ問題ニモ關係ガアリマス、駐兵權ノ問題ハ大マカニ申シマスレバ、駐兵ノ範圍、地域、駐兵ノ員數、駐兵ノ期限、駐兵ト治安状態トノ關係、斯ウ云ツタヤウナコトデアリマス、又日支經濟提携ノ問題ハ鐵道、港灣、航空、郵政、電政其ノ他諸種ノ資源開發ノ合辦事業ノ問題デアリマス、所ガ駐兵權ハ言フマデモナイコト、日支合辦ノ事業デモ、種類ニ依リマシテハ、支那ノ主權竝ニ行政權ニモ關係ヲ及ボシテ參リマスカラ、支那ノ主權ト行政ノ獨立ト云フコトヲ專ラ標榜シテ居ル汪精衛氏ト致シマシテハ、自分ノ國ノ實力ヲ測ルコトモナク一途ニ強硬ノ態度ニ出タコトガ思料セラレルノデアリマス、否私ハ確カナ筋カラ此ノ間ノ消息ヲ聞イテ居リマス、併シ是ハ皮肉ナル矛盾デアリマシテ、汪精衛氏ガ單ニ面子ニ囚ハレテ、飽マデ強硬デ突

張ツク主張ヲスルナラバ、實力ニ於テ缺ケル所ノアル彼ノ所謂天下平定ノ事業ハ成リ立タナイ、サリトテ汪精衛氏ガ實力主義ニノミ傾イテシマヘバ、彼ノ革命ノ先輩デアルト云フ而シテハ立タナクナル、汪精衛氏ハ即チ此ノ「チレンマ」ニ掛ツタ、併シ日本ノ立場カラ見レバ、駐兵モ、日支合辦事業モ、是ハ日本ノ權利デモデアリマスガ、又東亞協同體ト云フ關係カラ行キマシテ、日本ノ義務デモアル、シテヤラナケレバナラス日本ノ義務デモアル、ダカラ日本ハ勿論支那ノ主權ヲ尊重スルコトハ、云フマデモアリマセヌガ、支那ヲ救ヒ、東亞ヲ安定スル所ノ強力ナル支持者トシテ、駐兵權モ相當ノ範圍ニ確保ヲシ、交通其ノ他日支合辦ノ事業ハ、相當程度ニ獲得スルコトガ、私ハ至當ト信ズルノデアリマス、サウデナケレバ汪精衛氏ノ中央政權ト云フモノハ極メテ弱體ナ、弱力ノモノニナツテシマツテ、ソレハ平和ノ克服ニモ、東亞ノ安定ニモ餘リ爲ニナラナイコトニナツテシマツト思ヒマス、此ノ問題ニ付テハ國民ハ非常ニ深イ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、自分ノ子供ヲ殺シ、自分ノ兄弟ヲ殺シ、非常ナル犠牲ヲ拂ツテ、其ノ成行キ、其ノ結果、其ノ發展、日本國運ノ開拓、之ヲ非常ナル其大ノ關心ヲ持ツテ見テ居ルノデアリマスカラ、政府モ此ノ機會ヲ以ツテ國民ニ通ズルト云フ御心持ニナツテ、蓋支ナイ範圍ニ於テ、御答辯ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ國民ノ疑問ハ、最近發表ヲシテ下サイマスル其ノ發表ダケデハ、恐ラク私ハ解決スル程度ニハナラナイト思ヒマスカラ、豫メ先程申上ゲル通り質問ヲスルノデアリマス、ドウゾ只今マデ申上ゲタコトニ付キマシテ、三大臣カラ蓋支ナイ範圍ニ於

テ、成ルベク詳シク御答辯アランコトヲ御願ヲ致スノデアリマス  
○米内國務大臣 私カラ概括的ナコトヲ簡單ニ申上ゲマス、汪政權ニ對スル軍政、財政、其ノ他ニ關係致シマス援助ハ、政府ト致シマシテ十分ニ考慮ヲ致シテ居リマス、汪政權トコチヲトノ基本關係ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り、此ノ次ノ機會ニ於テ申上ゲタイト存ジマス

○烟國務大臣

只今安藤君カラ駐兵ノコトニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、現地ニ於キマシテハ、現ニ日夜作戦ガ進行中デアリマスルシ、又現地ノ治安ニ重大ナ關係ガゴザイマスルカラ、ドレダケノ範圍ニ、ドレダケノ兵力ヲドレダケ置クト云フヤウナコトニ付キマシテハ、只今マダ申上ゲル時期ニナツテ居ラスコトヲ遺憾ニ存ジマス、併シ陸軍ト致シマシテハ、此ノ生れ出ル新中央政權ニハ、出來ルダケノ武力ノ援助ヲ與ヘタイト云フ心組ヲ持ツテ居リマス

○安藤委員

サウ云フ基本條項ニ關スルヤウナコトハ、ドウモ今御答辯ガ出來ニクイヤウナ様子ニ御見受ケ致シマス、私ノ方バカリ喋ツテ居テモ仕方ガナイカラ、ソレハ此ノ位ニシマシテ、今度ハヤハリ其ノ問題ニ關スルコトナノデアリマスガ、別ノ方面ノコトヲ少シ御尋ヲ致シマス  
一體此ノ汪精衛氏ト日本トノ間ノ協定ハ、先程申上ゲマシタ駐兵權ノ問題、經濟合辦ノ問題、サウ云フモノノ外ニ、或ハ特殊地帯ノ問題デアルトカ、揚子江下流ノ經濟問題デアルトカ、或ハ南支沿岸ノ島ノ問題デアルトカ、關稅、通商、衛生、色々ナ問題ガ澤山ニアルノデゴザイマセウ、併シソレハ一日モ早ク國民ガ聽キタイト思ツテ

待ツテ居ルノデアリマスカラ、ドウソ一日  
モ——寧ロ一刻モ早ク御發表ニナツテ、國  
民ノ支持ト協力ヲ仰ガナケレバ、イカス、ソ  
レガ一内閣方之ニ協力シ、一興亞院ガソレ  
ヲ支持スル、ソナリ弱イコトデハ、コンナ  
大キイコトハ到底出來上リマセヌ、永久ニ  
地盤ヲ持ツテ居ル、永久ニ變ラザル國民ノ  
本當ノ心底カラノ理解ヲ得テ協力ヲ仰グニ  
アラスンバ、出來損ヒハシナイカト云フコ  
トヲ心配スル、ソレ故ドウソ一日モ早ク御  
發表ニナツテ、而モ其ノ御發表ハ、ヨク秘  
密會ヲナクテモ宜イヤウナコトヲ、能ク秘  
密會ヲ開イテ御話ニナルヤウナコトガアリ  
マスガ、サウ云フ風ナ状態デナク、本當ニ  
國民ノ理解ヲ得テ協力サセルヤウナ御發表  
ヲ、此ノ機會ニ私ハ希望致シテ置キマス、  
是カラ私方申上ゲルコトハ内容問題デハナ  
イノデ、無論秘密會ヲ御發表ニナルモノデ  
アリマセスカラ、ドウソ御答辯願ヒマス

ナルノデアアル、然ルニ重慶政權ハ既ニ共產  
黨ノ壓迫ヲ受ケテ、自由ニ職權ヲ行使  
スルコトガ出來ナイカラ、茲ニ法ニ依ツテ  
中央政治會議ノ決議ニ基キテ改組ヲシテ、  
從來通り政務ヲ執行シテ和議ヲ完成スレ  
バ、法統、政策何レモ遺憾ナキヲ期シ得ベ  
シ、斯ウ云フ發表ヲ青島カラシテ居ルノデ  
アリマス、サウシテ見マスルト、此ノ汪精  
衛氏ノ新中央政權ト云フモノハ、徹頭徹尾  
國民黨ノ政權デアアル、尤モ從來ノヤウナ一  
黨專制ノ政治ハ排斥ヲスルノデアリマスガ、  
政權ノ中心ハ國民黨デアアル、隨テ其ノ中央  
政權、即チ政府モ亦國民政府デアアル、要ス  
ルニ黨部、政府共ニ國民黨政權デアアルノデ  
アリマス、汪精衛氏ノ主張ハ、蔣介石政權  
ト云フモノハ、國民一黨ノ專制ヲ志ニシテ、  
遂ニ政治ノ動向ヲ誤ラシタ、且ツ近年共產  
黨ト結託シテ、聯「ソ」容共ノ政策ヲ執ツ  
テ、遂ニ國ヲ誤ラシメテシマツタ、斯ウ云  
フ偽黨、偽政府ハ排除シテ、純正國民黨、  
純正國民政府ヲ再建ヲシテ、救國和平ノ途  
ニ進ムノデアアル、斯ウ云フノデアリマス、  
併シハ汪精衛氏ノ唱ヘル理由デアツテ、  
日本國民ノ全部ガ、日本政府カラ何等ノ説  
明ナシニ、無條件デ之ヲ甘諾スル譯ニハ參  
リマセヌ、即チ國民ノ一部ニ於テハ、東亞  
ノ大局ヲ誤リ、容共抗日ヲ煽リ、遂ニ重大  
事變ヲ惹起シタノハ總テ國民黨デアアル、國  
民政府デアアル、其ノ責任ヲ無條件デ解消ス  
ル道理ハナイ、一體日本政府ガ、汪精衛氏ノ  
中央政權ノ基本條項ノ中ニ入レテアルカナ  
イカ知ラナイガ、兎モ角モ此ノ國民黨ノ法  
統ヲ認メタト云フコトガ、是ガ根本的ノ誤ダ  
ト主張スル人ガ、日本ノ國民ノ中ニアルノデ  
アリマス、考ヘルト此ノ主張ハ寧ロ常識カ

ラ考ヘ得ラレル當然ノ主張デモアリマス、  
併シナガラ更ニ深く考ヘマス、東亞ノ新  
秩序ヲ完成シテ、東亞協同體ノ文化ト生活ト  
ヲ實現セントスル所ノ現在ノ聖戰ノ意義ノ  
中ニ、汪精衛氏ノ法統繼承ノ主張ガ認容出來  
ルナラバ、此ノ一部國民ノ道理アル主張モ、  
深く讓ラナケレバナラナイグラウト思ヒマ  
ス、政府ハ此ノ點ニ付テ如何ニ御考ニナリ  
マスカ、御所見ヲ承リタイノデアリマス、  
又ソレトハ恰モ反對ニ、聖戰ノ意義ヲ徹底ス  
ル爲ニ、東亞新秩序ヲ實現スル爲ニ、此ノ  
一部國民ノ理由ノアル當然ノ主張モ拋棄シ  
テシマハナケレバナラナイ、斯ウ云フコト  
デアアルナラバ、是亦快ク自己ヲ超越セル道  
義ノ精神、犧牲ノ精神ニ殉ゼネバナラナイ  
ト思ヒマス、ダガ唯無理山、唯無條件ノ閣取  
引デハ、國民ノ理解協力ハ得ラレマセヌ、今  
ハ政府ガ斯ウ云フ協定ヲシタ、軍部ガ斯ウ  
云フ約束ヲシタ、仍テ國民ハ黙ツテ附イテ  
來イト云フ時デハアリマセヌ、頃ク汪精衛  
氏ガ國民黨ノ法統ヲ繼承シテ、日本ノ政府  
ガ之ヲ良イト認メテ協定ニ進シタ、其ノ間  
ノ情誼ト經路トヲ詳ラカニシテ、而シテ國  
民ノ自發的ノ支持協力ヲ仰ガナケレバナラ  
ナイ時ト存ジマス、仍テ只今マデ申上ゲタ  
コトニ付キマシテ、首相、陸相、外相等カ  
ラ、國民ガ納得スルヤウナ説明ヲ、此ノ機  
會ニ承リタイノデアリマス

○三土委員長 同一内閣デアアルカラ、總理  
大臣ガ言ハレタ通りデセウ  
○安藤委員 ソレデハ其ノ先ヲ申上ゲテ質  
問ヲ致シマスガ、其ノ根本的の制度ノ方ノ問  
題デ第二ニ承リタイノハ、旗ト都ノ問題  
デアリマス、汪精衛氏ノ中央政權ハ、國民  
黨ノ法統繼承ノ意義カラ、國都ヲ南京ニ  
定メル、國旗ヲ青天白日旗ニ定メル、斯  
ウ云フノデアアル、ソレハ重慶國民政府ハ偽  
政府デアツテ、新中央政權コソ純正國民政  
府ダカラ、孫文ノ眠ル南京ニ首都ヲ置ク  
ト云フコトハ、是ハ別ニ説明ヲ聽カナイデ  
モ分リマスガ、青天白日旗ハ過去二年半餘  
ニ互リマシテ、日本ノ國民ガ戰ツテ來タ目  
標デアリマス、ソレバカリデハアリマセヌ、  
現在日夜戰ツテ居ル支那ノ國旗デアリマス、  
ダカラ吾々日本國民ハ此ノ國旗ト妥協スル  
コトハ出來ナイト云フノガ、國民的感情デ  
アリマス、是ハ國內バカリデハアリマセヌ、  
現地ニ於キマスル官憲ノ中ニモ、澤山サウ  
云フコトヲ言ツテ居ル人ガアリマス、併シ  
ソレガ至誠盡忠ノ發露以上ノ理由ガアルト  
云フナラバ別デアリマスガ、現ニ一方ニハ  
青天白日旗ヲ目標トシテ戰ヒツツ、別ノ方  
而デハ之ヲ目標トシテ協定ヲ結ンデ居ツテ  
ハ、甚ダ不合理デハナイカ、情理兩面カラ  
見テ容認スルコトハ出來ナイト、國民ノ中  
ニ強硬ニ主張スル者ガ現ニ澤山アルノデア  
リマス、私ハ其ノ疑惑ヲ解カナケレバイケ  
ナイノデハナイカト思フ、サウ云フ少シデ  
モ介在シテ居ル空氣ヲスツカリ綺麗ニシテ  
シマツテ、本當ニ一本ニナツテ授ケナケレ  
バイケナイノデハナイカト思フカラ、質問  
ヲシテ居ルノデアリマス、即チ理窟カラ言  
ヒ、感情カラ言ヘバ、今言フ主張ハ無暗ニ

頭ヲ抑ヘ付ケル譯ニ行キマセヌ、併シナガラ青天白日旗ヲ用ヒナケレバナラナイト云フ其ノ主張ガ、國民ノ至誠ノ發露以上ニ理由ガアルナラバ、是ハ國家大局ノ爲ニ決然トシテ讓ラナケレバナラナイト思ヒマス、所ガ國民ニハ其ノ間ノ經緯ガマルデ分ラナイ、微塵モ之ヲ察スルコトガ出來ナイ、分ラナイ儘ニシテ置ケバ、茲ニ懷疑ガ増シマス、懷疑ガ増セバ國民ノ眞劍味ヲ協力ハ出テ來ナイノデアリマス、私ハ之ヲ心カラ心配ヲスルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御説明ヲ承リタイノデアリマス

○米内國務大臣 只今ノ御質問ハ、南京ニ首都ヲ置クコトト、黨旗ノ問題ト承リマス、第一ノ南京ノ首都ニ關シテハ、御意見ガナイヤウデアリマスガ、黨旗ノ問題ニ關シマシテハ、此ノ次ノ機會ニ、是モ一括ヲ致シテ能ク御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマスカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

○三土委員長 一寸申上ゲマス、今貴族院カラ、本會議ヲ阪谷男爵ノ質問中デ、總理大臣ニ是非出席ヲシテ戴キタイト云フコトデ、總理大臣ハ難席ヲサレルサウデアリマス、安藤君ノ御質問ニ對シテハ陸軍大臣、外務大臣カラ御答ヲサレルサウデアリマス

○安藤委員 ソレデハ總理大臣ニ對スル質問ハ保留シテ置キマシテ、他ノコトデ外務大臣、陸軍大臣及ビ其ノ他ノ大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒマス、事變處理ト云フコトガ、一番根本問題ノヤウニナツテ居リマシテ、汪精衛氏ノ新政權問題ヲ中心ニ聽キタイト思フノデアリマスガ、是カラ伺フノモヤハリソレニ關聯シマスガ、併シ今度ハ同ジコトデモ思想的方面ノ問題ニ入りマスカラ、是ハアトカラ總理大臣ニモ、私ノ質問ノ要領ヲ

御傳ヘ願ヒタイ、私ハ汪精衛氏ノ中央政權ノ指導原理ニ付テ、最モ重大ナル疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ恐ラク私バカリデハナイ、大部分ノ人々ガ疑問ヲ持ツテ居ルデアラウト思ヒマス、ソレニ付テ伺ヒタイガ、一通リ私ノ方カラ申上ゲナイト分リマセヌノデ、説明ガ少シ長クナツテ恐縮デアリマスガ申上ゲマス

汪精衛氏ハ千九百三十八年十二月重慶ヲ脱出シテ以來、數回國民黨ノ信條アル三民主義ニ付テ聲明ヲシテ居リマス、最近デハ此ノ一月二十四日ノ青島會議後ノ聲明ト云フモノガアリマス、ソレハ三民主義ガ義ハ狹隘ナル國家主義デナイト云フコト、民權主義ハ個人ノ自由主義デナイト云フコト、竝ニ民生主義ハ「マルクス」ノ共產主義ト異ナリ、相容レナイモノデアルト云フコトニ付テ、三民主義ノ信徒ハ常ニ其ノ證明ニ努力セナケレバナラナイ、斯ウ云フ聲明ヲ致シテ居リマス、彼ガ努メテ三民主義ノ共產化、又ハ狹隘ナル國家主義化ニ對シテ辯護ヲ致シマシテ、支那固有ノ文化道德ニ合致セシメント努力致シテ居ルノデアリマス、實ニ彼ノ身ヲ刻ムガ如キ苦心ノ跡ハ、私ニハ能ク理解ガ出來マス、彼ガ先師孫文ノ革命ノ教書ノ忠實ナル使徒デアリ、隨テ愛黨ノ至誠ニ燃ユル熱烈ナル愛國者デア

ルコトハ、實ニ感激ノ涙ヲ以テ迎ヘネバナリマセヌ、併シナガラ思想ノ上ニ於キマシテ、彼ノ血涙ノ宣言ガケテ承服出來ルモノデアリマセヌ、仍テ私ハ最モ簡單ニ其ノ理由ヲ述ベマシテ、此ノ重大案件ニ對スル政府ノ所見ヲ質ス者デアリマス

一體孫文ノ三民主義程不可思議千萬ナル

モノハアリマセヌ、孫文ハ千九百二十四年、十六項ニ互ル三民主義ヲ講演致シマシテ、民政主義ノ半バデ未完成ノ儘、翌年北京デ死ンダノデアリマス、然ルニ其ノ三民主義ナルモノノ内容方頗ル複雑多様デアリマシテ、有ユル反對的性質ノモノガ雜居ヲ致シテ居ルデアリマス、ガカラ之ヲ正直ニ表

面カラバカリ讀ミマシテハ、孫文ノ眞意ハ酌ミ取ルコトガ出來マセヌ、ソレハ時代ノ支配ヤ、環境ノ關係カラ態ト逆説ヲシタ所スラ少クナイト見ルベキモノガアリマス、隨テ共產主義ヲ設イテ居ルノカト思フト、之ヲ裏カラ見ルト共產主義ヲ駁撃致シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ見ル人ニ依ツテ觀方ヲ異ニシ、讀ム人ニ依ツテ讀方ヲ異ニシ、又解釋ガ色々ニ分レテ、今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、若シ孫文ガ今日マデズツト生存シテ居タナラバ、此ノ三民主義ト云フモノガ、ドウチノ方ニ發展シタ

ノカト云フコトモ、未ダ測リ知ルベカラザルモノガアリマス、或ハ共產主義ノ方ニモツト、走ツテシマツタカモ知レナイ、或ハ轉換ヲシテ東洋主義ト云フ方ニナツタカモ知レマセヌ、ドウモ分ラナイモノデアリマス、デアリマスカラ孫文ノ三民主義ハ、共產主義ダトサウハツキリ言ツテシマフコトハ出來マセヌ、併シナガラ孫文ノ三民主義ハ東洋主義デアアル、東洋精神ニ基イタモノダトモ言ヒ切ルコトハ出來マセヌ、三民主義ニ付テ汪兆銘氏ガ青島カラ出シタ聲明ニハ、是ハ中國ノ固有ノ精神ダト、斯ウ言ツデアリマス、モウ少シ先ノ方ヘ行クト、所謂修身齊家治國平天下ノ儒教ノ思想デア

受取レナイカト云フト、現ニ今日解釋ガ色色ニナツテ居リマシテ、周佛海ノ唱ヘル三民主義ト、戴天仇ノ解釋シテ居ル三民主義トハ、餘程違ヒガアリマス、戴天仇ノヤウナ解釋ニ從ヘバ餘程右翼的デアルガ、周佛海ノ解釋デアルト、可ナリ左傾ヲシテ居リマス、デアリマスカラ是ハ一ツニ斷定スルコトハ出來マセヌ、私共決シテ之ヲ共產主義トハ斷定シマセヌガ、サウカト云ツテ孫文ノ三民主義ト云フモノガ、東洋主義デア

ル、中國ノ固有ノ思想デアアル、斯ウ云フコトハ勿論言ヘナイノデアリマス、サウ云フヤウナモノデアリマスカラ、隨テ孫文ノ死後其ノ解釋ガ色々ニ分レマシテ、發達シタノデスガ、現ニ現在最モ大キナ現象トシテ考ヘテ見ナケレバナラヌノハ、抗日容共ノ重慶政府モ三民主義ダ、東洋主義ヲ中心ニシテ、和平善隣ヲヤラウト云フ汪精衛氏ノ政權モ、三民主義デ行カウト云フノデアアル、左右極端ナル思想ノ指導原理ニ、ドウチカラ

デモ使ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ全ク對蹠的ナル政治ノ方針ニ於テ、同ジヤウニ三民主義ガ採上ゲラレルト云フコト、其ノ事ソレ自體ガ、三民主義ナルモノハ、將來日本ガ支那ト手ヲ握ツテ、東亞大陸經營ニ乗出ス上ニ於テ、大イニ警戒シナケレバナラナイ内容ヲ包藏シテ居ル證左デアルト思フノデアリマス、是ハ少クトモ大ナル疑問ガアリマスガ、之ニ對スル陸軍大臣、外務大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○畑國務大臣 國民黨ノ綱領デアリマスル三民主義ハ、思想上ノ重大問題デアリマスカラ、陸軍大臣ガ御説明申上ゲマスヨリハ、今日ハ幸ヒ與亞院ノ總務長官モオ見エニナ

ツテ居リマスカラ、其ノ方カラ御説明申上  
ゲル方ガ、適當デハナイカト思フノデアリ  
マス

○柳川政府委員 只今ノ三民主義ノ問題ニ  
付テ御答致シマス、三民主義ニ付テハ安  
藤君ノ御意見ノ通りニ、主義トシテ決ツタ  
ヤウデ決ラスヤウデ、非常ニ解釋ノ範圍ガ  
廣イヤウデアリマス、隨テ是マデ支那國民  
ノ思想ガ動搖致シマシテ、其ノ一部ガ極端  
ニ一方ニ偏シテ、三民主義ヲ唱ヘテ居リナ  
ガラ、本來唱ヘ始メタ人ノ考ト、其ノ赴ク  
所トハ動モスレバ方向ヲ違ヘ、遂ニ容共ニ  
至ツクノデアリマス、此ノ度汪兆銘氏ガ起  
ツテ從來ノ如キ思想ヲ改メ、汪兆銘氏  
ノ今考ヘテ居ラレルヤウナ方向ニ指導シタ  
イト云フ其ノ三民主義ハ、之ヲ改トテ、其  
ノ根本ノ思想ヲ東洋ノ思想ニ置イテ、最近  
ニハ又我國ノ支持ヲ受ケル爲ニ、更ニ我が  
國徳、我が國光ニ其ノ影響ヲ受ケテ、是カ  
ラ改メテ方向ニ進マウトシテ居ルモノト考  
ヘマス、隨テ今安藤君モ言ハレマシタ通り  
ニ、改メテ所謂純正三民主義ハ、之ヲ認ム  
ルトシテモ、是カラ以後ノ思想指導ニ關シ  
テハ、是ト提携シ之ヲ支援シテ行ク所ノ我  
國トシテハ、大イニ警戒ヲシ、再ビ方向違  
ヒニ逸脱シナイヤウニ、注意スルコトガ必  
要ト考ヘテ居リマス

義ニ於キマシテ、國民民衆ノ強力ナル集  
團ヲ作り上ゲマシテ、今度ハ民権主義ニ  
依リマシテ、其ノ作り上ゲタ強力ナル集團  
ヲ推進力トシテ、全民政治ノ強權政府ヲ作  
ラウト云フノデアリマス、而シテ今度ハ民  
生主義ニ依リマシテ、其ノ出來タ政府ガ行  
ハントスル所ハ、所謂共產社會ノ實現ニア  
ルト思フノデアリマス、但シ共產社會ト申  
シマシテモ、「マルクス」ノ共產主義デア  
カ、ソコマデハ行カナイ最モ高度ノ社會主  
義デアルカモ知レマセヌ、併シナガラ共產  
的ノ社會ノ實現ニアルトハ疑ナイノデア  
リマス、サウ云フノガ此ノ三民主義ノ目標  
デアリマス、併シソレハ理想デアリマシテ、  
ソナコトハ實際出來ルノカ出來ナイノカ  
分リマセヌ、恐ラク出來ナイノカモ知レナ  
イ、ソレハ理想デス、實際ニハ何ガ行ハレ  
ルノカ分リマセヌ、デスカラサウ云フコト  
ヲ穿鑿シナケレバナラヌガ、長ク穿鑿スル  
ヨリモ、實際ニ關シテ直グ分ルコトガアル、  
ソレハ三民主義ヲ長イ間國民教育ニ採上ゲ  
テ、蔣介石ノ政府ガヤツテ居ル、教科書ノ  
中ニハ、三民主義ノコトヲ色々書イテア  
ル、或ハ民族主義教科書ト云フモノモ出來  
テ居リマス、サウシテ三民主義ニ抗日、排  
日、侮日ヲ注ギ込シダ長イ間ノ國民教育デ  
アリマスカラ、今支那ノ少年、或ハ青年ハ  
殆ド三民主義ノ信徒デアリマス、支那ノ有  
識階級ハ三民主義ノ信徒デアアル、又國民教  
育ダカラ堪リマセヌ、サウ云フヤウニスツ  
ト行渡ツクノデアリマスカラ、是ハ餘程骨  
ヲ折ツテヤツタニ違ヒナイノデアリマス、  
國民教育バカリチヤナイノデアリマス、或  
ハ中等教育ニ於テモ、或ハ大學ニ於キマシ  
テモ、教授、講師、先生達ノ中ニハ中々熱

心ナル抗日の三民主義、或ハ共產主義的三  
民主義ノ信奉者ガ深山ゴザイマシテ、ソレ  
ガ盛ニ鼓吹シタノデアリマス、ソレガ今日  
此ノ支那ニ三民主義ヲ行渡ラセタ所以デア  
リマス、實際今三民主義ハ抜カウトシテモ  
抜ケナイノデアラウシ、又中々アレハ抜ケ  
マセヌ、此ノ位マデ行キ渡ツテ、殆ド宗教ノ  
如クナツテシマツテ居リマス、ソレガ今日  
支那ガ強クナツタ所以デアリマス、無論日  
本ノ軍部ヤ日本ノ兵隊ニ比レバ、支那ノ  
兵隊ナドハ何デモアリマセヌガ、併シ日清  
戰爭ヤ日露戰爭ノ時代ノ支那ノ兵隊トハ、  
私ハ軍人チヤナイガ、大分違フヤウダ、ソ  
レカラ又兵隊バカリチヤアリマセヌ、支那  
ノ民衆ガ相當強クナツテ居ル、支那人ハ唯  
金サヘヤレババツツ附イテ來ル、ソレデイケ  
ナケレバ尻ヲブン殿レバ附イテ來ルト云フ  
ノハ、ソレハ無知識階級、弱力階級ノ一部デ  
アリマシテ、ソナ者バカリヲ相手ニシ  
テ居ツテハ、支那ノ全貌ハ掴メマセヌ、ヤ  
ハリ支那ノ民衆ハ強クナツテ居ル、盛シニ  
抗日意識ニ燃エテ居リマス、其ノ抗日意識  
ニ燃エテ居ルノハ何處カラ來タカ、三民主  
義ノ第一ノ民族主義ガ、ソコマデ徹底シテ  
來タノデアリマス、ダカラ汪兆銘氏ハ民族  
主義ト云フモノハ狹隘ナル國民意識デハ  
ナイ、斯ウ言ツテ居ルノデスケレドモ、今  
マデハ或ハ學校ニ於テ、或ハ家庭ニ於テ、  
或ハ社會ニ於テ注ギ込シダ三民主義ハ、狹  
隘ナル國民主義デアアル、ソレデ一面ニハ  
民生主義ノ方デハ、共產主義ヲ本當ニ鼓吹  
致シテ、今日ニ至ツタノガ今日ノ支那ノ現  
狀デアアル、結局日本トドウシテモ手ヲ握ラ  
ナケレバナラヌ支那ガ、日本ト打ツカツテ  
シマツタノデアリマシテ、是ガ實際ナノデ

アリマス、先程申上ゲタヤウニ、三民主義  
ノ目指ス理想ニ向ツテ行ツタガ、是ガ實際  
ナンデアリマス  
サウ云フ風ニ吾々モ深イ苦イ正確ナル經  
驗ガアルノダカラ、ソコヲ能ク考ヘテ誠カ  
ナケレバナラヌト、吾々ハ心配スルノデア  
リマス、斯ノ如ク致シマシテ今日三民主義  
ガ實際ニ殘シタ所ハ、結局抗日容共ノ國民  
黨政府ガ出來マシテ、遂ニ今日ノ日支事變  
ト云フ最悪ノ状態ニ陥ツクノデアリマス、  
實ニ是ガ吾々ノ經驗シタ實際的ノ三民主義  
ノ結果デアルト云フコトヲ、能ク知ラナケ  
レバナラヌト思フノデアリマス、是ハ只今  
申上ゲマシタヤウニ、決シテ理論ノ問題デ  
ハアリマセヌ、永年ニ互ル三民主義ノ教育、  
訓練、宣傳ノ結果デアリマス  
此ノ三民主義ヲ最モ惡用シタ蔣介石政權  
ガ、漸ク滅亡ニ瀕スルヤ、茲ニ汪精衛氏ノ  
政權ガ出來タ、私ハ汪精衛氏ノ政權ニ協力  
シテ行キタイノデアリマス、是ハ贊成ナン  
デスヨ、私ハ贊成ダカラ尚ホ言フノデスガ、  
一方ガ滅亡ニ瀕セントスルヤ、汪精衛氏ノ  
政權ガ出來テ、又此ノ三民主義ヲ取上ゲテ、  
之ヲ指導精神トシテ行カウト發表シテ居ル、  
ダカラソレドドウシテモ行クノデス、危險  
ト言ヘバ私ハ是程危險ハナイト思フノデア  
リマス、大イニ心配スルノハ此ノ邊デナ  
ケレバナラヌト思フノデアリマス  
唯前ニ申上ゲマシタ通り、三民主義ト云  
フノハ頗ル複雑デ、多角的デアリマスカラ、  
要ハ政權ヲ執ル人ノ如何デアリマス、政權  
ヲ執ツタ権力者ガ其ノ理想ノ鍵ヲ握ツテ、  
之ヲ教育ニ實行シタリ、宣傳シタリ、色々  
ナコトヲヤルカラ、非常ニ擴大ヲシ、非常  
ニ普及シ、非常ニ瀾漫ヲシテ行クノデアリ

マス、ダカラ政權ヲ執ル人物ノ如何デアリマセウ、幸ニ相手ハ汪精衛君デアリマス、此ノ點ニ於テハ稍、意ヲ安シズルニ足ルノデアリマス、併シ汪精衛君ニシテ百年ノ壽ヲ全ウスレバ結構デアリマスガ、是ハ何人モ保證出來マセス、サウナルト是ニ於テ動カスベカラザルモノヲ拵ヘテ置カナケレバナラス、其最モ確實ナルコトハ、私ハ三民主義ノ解釋ヲ一定スルコトデアルト思フノデアリマス、三民主義ノ解釋ヲハツキリ決メテシマツタラ宜カラウ、是ハ昔カラ決ツテ居リマセス、今日デモ決ツテナイ、汪精衛氏ハサウ云フ發表ヲシテ居ルガ、兄弟ノヤウナ周佛海ハ現ニ違ツタコトヲ言ツテ居ルノデス、周佛海ノ本デ見マスト、ソレガ皆一致シナイカラ是ハ大シタコトニナリハシナイカト思フ、ダカラ解釋ヲ一定スルコトガ最モ必要ダト私ハ申上ゲル

ソレデハソレハドウ云フコトヲ言フノカト申シマスト、私ノ意見ヲ申上ゲテ其テ恐縮デスガ、是ガ善イトカ惡イトカ仰シヤツテ載ケバ、大イニ私ノ啓蒙ニナルノデアリマス、私ハ此ノ解釋問題ト云フモノハ、非常ニ重要ナ問題デアリマスガ、斯ウ考ヘル、民族主義、民權主義、民生主義、此ノ三ツガソレ／＼獨立ヲ致シマシテ、民權主義ハ民族主義、民生主義ハ民生主義、民族主義ハ民族主義、斯ウ別々ニ獨立ヲシテ可分性ニスル、性質ニ分ケラレルヤウニ初メカラ之ヲ可分性ノモノト致シマスレバ、共產主義デナイト言ツテ宜シイ、併シナガラ若シ此ノ三ツガ相互關聯ヲ致シマシテ、分ツコトガ出來ナイト云フ不可分性ノモノトナツテ參リマスト、是ハ共產主義ニナツテシマヒマス、ソコデ汪精衛氏ハ頗ニ三民主義ガ

共產主義デハナイト云フコトヲ説イテ居リマスガ、唯説イタバカリデハ駄目デス、此ノ民族主義、民權主義、民生主義ノ此ノ各主義ノ獨立ヲ、ハツキリト確定スルノデナケレバ、何ト云ツテモ事實ハ三民主義ヲ共產主義ニ追込ムト云フ可能性ガ十分アルト私ハ思ヒマス、果シテ左様ニナリマスレバ、口デハ共產主義ニアラズト唱ヘマシテモ、イツ再ビ容共ノ事態ガ發生スルヤモ分ラナイノデアリマス、是ハ私ハ日本ノ爲ニ非常ナ重大問題デアルト思フ、此ノ問題ハ成程目ノ先ノ問題デアリマセス、目ノ先デ算盤ヲ彈イテ、幾ラ殘ツタ幾ラ足りナイト云フヤウナ、割切レタリ割切レナカツタリスル、サウ云フ結果ガ直グ目前ニ現レル問題デアリマセス、一年ヤ、二年ヤ、三年ハ其ノ儘カモ知レマセス、併シ私ハ斷言スルガ、五年經ツト間違ツタ恐ロシイコトガ出テ來マス、即チ五年ノ先ヲ考ヘテ、此ノ指導原理ヲ探究ヲシテ行ク必要ガ、日本ノ政府ニモアルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデゴザイマス、ソコデ私ハ政府ガ此ノ重大ナル指導原理ノ問題ニ付テ、速ニ汪精衛氏ト折衝ヲシテ、三民主義可分説ノ解釋ヲ一定スルト云フコトガ、急務デアラウト思フノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ柳川長官カラノ御答

モ結構デアリマスガ、是ハ併シ中々重大問題デスカラ、サウ云フコトハ善イトカ惡イトカ、或ハ私ノ言ツテ居ルコトガ惡イノカモ知レマセスガ、善クトモ出來ナイトカ出來ルトカ、何トカ一ツ御返事ヲ願ヒタイ、昨年三民主義ノコトヲ私ハ本會議デ承ツテ、内閣ハ違フガ有田外相カラ御答辯ヲ願ツタコトモアリ、又板垣陸軍大臣カラモ御答辯願ツタコトガアル、ソシテ三民主義ニバカ

リブラ下ツテ執拗イデハナイカ、ウルサイデハナイカト云フヤウナコトヲ言フ方モアルカモ知レマセスガ、私ハドウシテモ是ハ重大問題ダト思ツテ居リマスガ、御返事ヲ願ヒタイ、ドウソ有田外相カラモ、加陸相カラモ御意見ヲ承リタイ、柳川長官カラノ御答モ洵ニ結構デアリマス、更ニ松浦文部大臣ガオ居デニナリマスガ、思想問題ノコトデアリ、此ノ方面ニ造詣ノ深イ方デアリマスカラ、御答ヲ得マスレバ、是モ亦結構ト存ジマス

○有田國務大臣 只今總理大臣不在デアリマスルノデ、私國務大臣ノ一人トシテ御答ヲ致シテ置キマスルガ、三民主義ニ付テ十分警戒ヲ要スルト云フコト其ノ他ニ付テ、只今安藤君カラノ御説ハ總理ニモ傳ヘマシテ、十分研究致スコトニ致シタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 只今安藤君カラ三民主義ノコトニ關シマシテ、私ニモ御尋ガアリマシタガ、是ハ安藤君モ仰セラレマスル通り、極メテ重大ナル問題デアリマスルカラ、能ク内閣ニ於キマシテモ議ヲ練リマシテカラ、御答ヲ致ス方宜カラウト思ヒマス、彼此レト申上ゲテ色々行違ヒヲ生ジマシテモイケマセスカラ、サウ云フコトニシヨウト思ヒマス

開發維持スルコトデアラウト思ヒマス、昨年ノ九月ニ汪兆銘氏ガ重慶ニ呼掛ケマシテ、經濟侵略主義及ビ共產主義ヲシテ、其ノ跡ヲ東亞ノ天地ヨリ根絶セシムベシ、斯ウ言ツタノハ、是ハ端的ニ東洋新秩序ヲ道破シタモノダト思ヒマス

○安藤委員 ドウモ私バカリ喋ツテ居テ甚ダ恐縮デアリマスガ、私ハ東洋ニハ東洋ノ文化、東洋ノ道徳、東洋ノ信條ガアルニ違ヒナイト思ヒマス、東亞ノ新秩序ト云フコトハ、是ハ有田外相ハヨク色々場合ニ御説明ニナリマシタガ、其ノ通りデス、東亞ノ新秩序ト云フコトハ私ハ簡單ニ言ヘバ、其ノ東洋ノ文化道徳ノ上ニ、經濟的福祉ヲ

ソコデ私ハ此ノ東亞新秩序ノ指導精神、東亞新秩序ト云フノハ、精神問題バカリデナイトコトハ勿論デアリマス、色々ノ問題ガアリマスケレドモ、其ノ淵源タル所、新秩序ノ指導精神ハ、飽クマデ東洋文化、東洋精神、東洋道徳ヲナクテハナラズト思ヒマス、支那ニハ儒教ノ如キ人道教ガアリマス、又佛教ノ哲學モアリマス、併シ今儒教ガ佛教ダト云フヤウナ古典的ナ言葉ヲ用ヒナクトモ、三民主義ト云フ新シイ言葉デ宜イト私ハ思フ、併シ其ノ内容ハ儒教ナリ、佛教ナリ、要スルニ東洋文化カラ採入レテ、之ヲ根本的ニ盛り直スト云フコトガ必要ダト思ヒマス、例ヘバ御承知ノ通りニ北支ニハ新民主主義ガアリマス、新民主主義ガ出來テ、其ノ新民主主義ヲ徹底サセテ居リマス、王克敏氏ガツイ此ノ開幕ニ、其ノ會長ニ乘出シテ參リマシテ、表デハ北支臨時政府、其ノ思想的、精神的方面デハ新民主主義、要スルニ彼處ハ彼處ダケデアアルガ、政教一致ヲヤツテ居リマス、サウ云フ放送モシタ、丁度私ハ北京ニ居合セマシテ此ノ盛ナ様子ヲ見マシタ、又王克敏氏ト後デ長ク會見シマシテ、色々此ノ三民主義ト新民主主義ノ比較調節等ニ付テ話ヲシテ來タノデアリマス、汪兆銘氏ニモ上海デ相當長イ時間會ヒマシテ、此ノ話ヲ致シマシタ所ガ、相當ノ理解ヲアノ人達モ持ツテ居ルヤウデアリマス、ソコデ先程申シマシタヤウニ、汪兆銘氏ト日本政府ト



ノ間ノ協定方出来マシテモ、ソレハ基本協定、此ノ三民主義ノヤウナ、斯ウ云フ指導精神ノヤウナ問題ノコトハ、ヤハリサウ決ツテ居ルト云フ譯デアリマセヌカラ、是ハ早速一ツ相談フシテ日本のニ、東洋精神的ニ之ヲ持ツテ来ルコトガ必要ダラウト思ヒマス

一例ヲ擧ゲテ一寸話シテ見マス、北支デハ新民主義ヲ新民主會ガヤツテ居リマス、此ノ新民主義ト云フモノハ、御承知ノ通り儒教ノ原理デアリマス、更ニ煎ジ詰メテ言フト修身齊家治國平天下ト云フ大學ノ思想デアリマス、此ノ大學ノ思想ヲ持ツテ来タ、日日ニ新ニシテ又日ニ新ナリ、詰リ民ヲ新ニスルト云フ其ノ新民主ト云フノデ、新民主義新民主會トナツテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フモノガアツテ儒教トハ言ハナイ、大學トモ言ハナイ、ソナ古イ言葉ハ用ヒナイ新民主義ト云フ新シイ一句ヲ付ケマシテ、昔ナガラノ日日ニ新ニシテ日ニ又新ナリト云フ、獨リ新民主義バカリチヤアリマセヌ、時代精神ヲ採入レタ東洋文化、ソレヲ此處ニ採入レルコトガ必要ト思フノデアリマス、詰リ新民主義ノヤウナコトモ採入レルコトガ、ドウシテモ必要ト思ヒマス、中支ヘ行クト新民主義トハ言ハナイ、大民主義ト云フノガアル、大民主會ガヤツテ居ル、現ニ軍部カラハ松室少將方其ノ大民主會ノ顧問カ何カデ行ツテ居リマス、北支ノ新民主會ニハ安藤陸軍中將方顧問ト言ヒマスカニナツテ居ル私共、話合ツタ、ソレデアラカラ軍部ノ方デモ思想ノコトハ勿論大事ナコトダカラ、御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス

専ラ折衝ニ當ツタノカ、外交ノ方デヤツタノカ、ソレハ私能ク知リマセヌ、ソレヲ突止メヨウトモ思ヒマセヌ、斯ウ云フコトヲ突止メルト統帥權ガドウダトカ云フ問題ニ入りマスカラ、徒ニサウ云フ問題ニハ、此ノ忙シイ時節ニ入りマセヌ、事端ヲ刺戟スルコトハ宜シクナイト思ヒマスカラ、サウ云フコトハ避ケマスガ、要スルニ汪兆銘氏トノ非常ナ肝腎ナ交渉ハ、外務省モ關係シテ居リマセウガ、主トシテ軍部ノ方ガ當ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ私ハ外務ノ方ハ勿論軍部ノ方モ、能ク斯ウ云フコトヲ御研究下サイマシテ、根柢ヲシツカリヤツテ、表デヤツテ居ル間ニ、裏ノ方デスツカリ盛返ナレテシマツタト云フコトノナイヤウニ、支那ハソレデ来テ居ルノデスカラドンドン攻メテ来ル、少シ経ツト何時ノ間ニカ水ガズツト浸ンデシマフヤウニ、元ノ方ガ、征伐シタモノガ思想的ニ征伐サレテシマツテ居ル、文化的ニハ征伐サレテシマツテ居ル、支那四千年ノ歴史ハ殆ドサウデス、今度ハソレチヤイカス、コナラガ征伐スルト言ツテハ甚ダ語弊ガアリマスカ、思想的ニモ私ハ征伐シナケレバアラスト思フ、支那ハ東洋文化ノ持主デアリナガラ、思想的ニ墮落シテ居ル、低下シテ居ル、之ヲ日本ガ征伐スル、東洋精神、東洋文化ハ日本ニノミアリ、日本デ洗練サレテ居ル、此ノ東洋精神、或ハ縮メテ言ヘバ日本精神ト言フテモ宜イ、併シ支那ニ行ツタ東洋精神デアアル、此ノ東洋精神ヲ以テ向フテ征伐スルコトハ、是ハ仁者ノ道デアラカラ、少シモ差支ナイト思フ、ドウゾ軍部ノ方モサウ云フ點ニオ氣ヲ付ケテ下スツテヤツテ載キタイト思フノデアリマス、デアリマスカラ私

ハ汪精衛氏ガ言フヤウニ、今ノ重慶アタリデヤツテ居ル三民主義ハ、是ハ歪曲サレテシマツタ、赤化サレテシマツタ、サウ云フコトハ勿論ノコトデアアルガ、自分ノ三民主義ハ孫文ノ三民主義ニ復活スルノダ、所謂純正三民主義デアアル、斯ウ言フテ居ルガ、私ハ純正三民主義デハ不満足デアアル、大體孫文ノ三民主義其ノモノガ、ドウモ個人主義デアリ、自由主義デアリ、功利主義デアルト云フ所ガ見エル、共產主義トマデ言ヒ切ルノハ早計カモ知レマセヌガ、サウ見エルノデスカラ、三民主義ハ餘リ問題ニシナイデモ宜イト思フ、併シ東洋精神ソレニ盛込ンデ導イテ行クトガ必要ト思フ次第デアリマス、先程カラ申シマシタコトニ對シマシテ餘リ固クナラナイデ、私ヲ教ヘル積リデ政府ノ御答辯ヲ願ヒマス

○三土委員長 政府ノ御答辯ハアリマセヌカ  
○柳川政府委員 只今ノ安藤君ノ御意見ハ御尤デゴザイマシテ、東洋ノ精神ノ今様ノ表現ノ方法デ行キマセウニ、各方面協力ヲシテ、支那ノ思想ヲ非常ニ左ノ方ニ、若クハ動搖シナイヤウニ指導スルコトニ努メルヤウニト云フ御注意デアリマスカ、至極御尤モデアリマス、其ノ積リデ大イニ努力スル考デアリマス、汪兆銘氏ノ周圍ノ者ガ意見ガ異ルト云フヤウナコトモ、事實デアラウト思ヒマスカ、之ニ對シテ今直チニ定義ヲ決定スルヤウナ處置スルカト云フヤウナコトハ、尙ホモウ少シク研究ノ上デ漸進的ニ行フヤウニスルコトガ、至當デハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス  
○安藤委員 ソレデハ汪政權問題、即チ事變處理ノ質問ヲ此ノ位ニシテ置キマシテ、最後ニモウ大分本會議ヲ豫算委員會等デ、私一寸居ナカツタノデアリマスカ、昨日モ出タヤウデアリマスカラ、簡單ニ伺ヒマス、併シ是ハ重複スルカモ知レマセヌカラ、一ツ御許シテ願ヒタイ、我國ノ外交ハ自主外交デアアルガ、防共ノ方針ハ變ラナイ、斯ウ言ハレテ居ル、現ニ此ノ間外務大臣モ本會議ニ於テ言明サレマシタ、私ハ其ノ趣旨ガ不可解ナノデアリマス、分ラナイノデアリマス、一體昨年八月突如トシテ獨「ソ」不侵略條約ガ締結サレ、成立ヲサレマシタ、其ノ際ニ我國ハ獨逸ニ對シテ抗議ヲ出シタト云フノデアリマスガ、其ノ抗議ヲ出シタ結果ニ付テハ、何モ今マデ聞ク所ガナイ、詰リ日本ノ抗議ニ對シテ、獨逸ハ如何ナル回答ヲ、日本政府ニ寄越シタノデアアルカ、ソレヲ第一ニ承リタイノデアリマス、續イテ言ツテシマヒマスカ、若シ其ノ回答ガナイトスレバ、其ノ再抗議ダトカ、或ハ日本政府ノ意思ノ表明ダトカ、サウ云ツタヤウナコトヲ、何カナサレタノデアアルカ、之ニ對スル消息ヲ明ニシテ戴キタイノデアリマス  
○有田國務大臣 昨年ノ獨「ソ」不可侵略條約ノ締結サレマシタ際ニ、日本カラ獨逸政府ニ對シテ、抗議ヲ致シタノデアリマス  
〔委員長退席工藤委員長代理著席〕  
ソレハ日本ノ氣持ヲ表示シタノデアリマス、其ノ後ソレニ付テ獨逸カラ別ニ意思表示ガアツタトハ、承知致シテ居リマセヌ、併シ日本デハ此ノ獨逸ノ獨「ソ」不可侵略條約締結ニ付テ、抗議ヲ致シマシタガ、別ニソレヲ以テ防共協定ノ存立ニ、根本的ノ影響アルモノトハ考ヘテ居ナイノデアリマス  
○安藤委員 前ノ方ノ御答ハ分リマシタガ、アトノ方ノ御答ガドウモ私ニハ常識上

分ラナイ、「ソビエト」ト不可侵條約ヲ獨逸ガ結ンデ、日本ガ相手ニシテ居ル日獨防共協定ガ少シモ變リガナイ、何ノ影響モナイト云フコトハ、ドウモ受取レナイノデアリマス、要スルニ此ノ防共精神ト云フモノト「ソ」聯ノ政策ト云フモノハ、是ハ違フノデアリマス、兩立ハ出來ナイト思フ、ダカラ獨逸ト「ソビエト」ト協定ガ出來マシタ今日トナツテ、日本ガ獨逸ト昔ノヤウニ、獨「ソ」協定以前トチツトモ變リノナイ防共ノ契ガ、依然トシテ傳ハツテ居ルトハ、是ハ受取レマセズ、口デサウ言ツテモ、サウ云フコトハ精神ガ許サナイ、是ハ無論常識ニ反スルコトダト思ヒマス、日本ニ於テコソ防共ノ精神モ方針モ、從來通りデアルトハ言ヘルデアリマセウガ、獨逸ガ「ソ」聯ト結ンダ以上、防共ノ方針ガ今日マデ少シモ變リガナイ、今日マデノ通りデアラウベキ管ガナイ、要スルニ日獨防共協定ト云フモノハ、紙ノ上ノ約束ダケニナツテシマツテ行クノチヤナイカト云フノデアリマス、隨テ今後ニ於テ防共協定ハドウナルノカ、防共協定ノ行方如何デス、結局ハ防共協定ハ破棄サレテシマフノカ、或ハ獨逸ガ防共協定カラ脱却スルノカ、之ハ私バカリチヤナイ、實際國民ハ日本政府ノ方針ニ對シテ、全ク混迷ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソレデ不安ノ裡ニ包マレテ居ルノダカラ、ドウソ此ノ際ソレ等ニ付テ、現在及ビ將來ノ點ニ付テ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

イト言ヒマシタコトハ、唯獨逸ト云フコトヲ目標トシテノミ申シタノデアリマセズ、是等ノ防共協定關係諸國ト共ニヤツテ行ク、此ノ防共ノ方針ニ變リガナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、又此ノ防共協定自體ニ付キマシテハ協定ハ存續致シテ居リマシテモ——是ハ一般的ニ私ハ言フノデスガ、一般的ニ國家ノ間ニ協定條約ガ存續致シテ居リマシテモ、之ヲ遵守スル熱意ニ至ツテハ、其ノ時代々々ニ依ツテ、多少ノ厚薄ガアルコトモアリマセウ、併シナガラソレデ必ズシモ其ノ條約協定ト云フモノガ、無クナツタトカ何ト云フコトハ、是ハ自ラ別問題ダト思フノデアリマス、今日獨逸方防共ノ精神ニ於テ、日獨防共協定締結當時程熱烈デアルカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ觀ル者ニ依ツテ、自ラ考モ違フコトモゴザイマセウガ、併シ獨逸ノ方デモ防共協定ヲ、別ニ廢止シヨウト云フコトハ申シテ居ラナイ、又日本モ其ノ防共協定ヲ、日獨ノ間ニ廢止スルト云フ考ハ毛頭持ツテ居ナイノデアリマス

○安藤委員 ソレデハ其ノ問題ハソレマデニシマシテ、最後ニ簡單ニ米國トノ關係ヲ一言申上ゲテ伺ツテ置キタイノデアリマス、詰リ一口ニ言ヘバ、現在ノ通商條約、之ヲドウスルノカト云フコトデアリマス、現狀ノ儘デハ、言フマデモナク非常ニ不安デアリマス、ソレデ現在デハドウモ米國ハ本條約締結ノ意ハナイヤウデアリマスガ、ソレマデノ暫定條約ト申シマスカ、ソレニ付テモ亦餘リ考ガナイヤウデアリマス、一體米國ハ一昨年ノ十二月ニ、支那ノ無條件ノ門戸開放ヲ、日本ニ要求シテ來タ、然ルニ日本ノ回答ハ條件附キノ回答デアリマス、爾來

米國ハサウ云フ方針ヲ以テ、陰ニ陽ニ我國ニ對シテ其ノ政策ヲ運ラシテ居ルノデアリマス、遂ニ昨年ノ七月ノ日米通商航海條約廢棄ト云フ所マデ行ツテシマツタノデアリマス、是ハ言フマデモナク米國ノ經濟上ノ理由デハナク、全然政治的理由ニ基クモノデアリマスガ、更ニ米國ノ空氣ハ、日本ニ對シテ無論好クナイ、最近太平洋ニ於ケル海軍擴張モ、ドン／＼ヤラウト云フ話デアル、又物資ノ禁輸ヲ振替シテ、我國ノ向背ヲ窺ツテ居ル、要スルニ通商條約ヲ初メトシテ日本ニ嚇シノ手ヲ延バシテ、我國ノ動向ヲ窺ヒ察シテ居ルヤウナヤリ方デアリマスガ、我國ハ何モサウ云フコトニ對シテ少シモ驚キモセナケレバ、其ノ威シニ懸グコトハ勿論ナイノデアリマス、併シ日本ハ日本デ自主的方針ノ外交ニ邁進シテ居ルノデアアルガ、唯此ノ根本ニ於ケル政治的理由カラ來テ居ルノダカラ、政治的ノ其ノ理由ノ打開何トカ願ハナケレバ、結局條約問題ハ解決シナイト思フノデアリマス、政治的解決ヲスルト云フコトハ、何モ決シテ米國ニ媚態ヲ呈スル譯デモ何デモナイ、自主方針ノ根本ニ於テヤルベキ當然ノ外交デアラウト思ヒマスガ、ソレニハ東亞ノ新秩序ト云フコトガ又引懸ツテ來ル、米國ハ之ヲ承認シテ居ラナイノデアリマスカラ、此ノ東亞ノ新秩序ヲ否認シテ居ル所ノ米國ガ、東亞ノ事態ニドレダケノ修正ヲ自ラ認メテ來ルカ、斯ウ云フ問題ニテルノデアリマス、結局今日ノヤウナ狀態デハ、是ハ行詰ツテ居ル、自主外交ガカラト云ツテ、默ツテ手ヲ拱イテ居テハ自主外交ニモ何ニモナラナイ、ドウカシテ此ノ行詰リヲ打開シテ行クコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ外務大臣ノ御

答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス  
(工藤委員長代理退席、委員長著席)  
要スルニ先程申上ゲマシタ日獨防共協定ト云ヒ、又日米ノ通商條約ノ問題ト云ヒ、又東亞新秩序ノ中ニ、共同防共ト云フコトヲ原則トシテ、サウシテ一面「ソビエト」ト交渉ヲヤツテ行クト云フコト、是等モ私ハ總テドウモソコニ矛盾ガアルト思フノデアリマス、其ノ矛盾何トカ解決シテ行カナケレバ、根本的ノ問題ノ解決セラルル所以ハナイノデアリマス、要スルニ政府ハ此ノ矛盾外交ヲドウ打開ヲシテ、現在ノ行詰リ狀態ヲ切開イテ行クカ、之ヲ考ヘテ參ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ヲ私ノ最後ノ質問ト致シマシテ外務大臣ノ御答辯ヲ煩ハス次第デアリマス

○有田國務大臣 日米通商條約問題デアリマスガ、是ハ御説ノ通り米國政府ノ廢棄ノ通告ヲ致シマシタ事情ハ、其ノ後ノ經過等ニ照シ合セテ見マスルト云フト、支那ニ於テ派生シタ色々ナ日米間ノ問題ノ解決ニ資セシメヨウト云フヤウナ考ガアルト云フコトモ窺ハレルノデアリマス、更ニ廻リマシレバ、支那ニ對シマスル主義、主張ノ相違ト云フ所ニモ引懸ツテ居ルト思ハレルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ點ヲ十分ニ明瞭ナラシメザル限りハ、通商條約ノ締結、或ハ暫定條約ノ締結ト云フコトモ相當困難デアラウト思フノデアリマス、亞米利加バカリデハナイノデアリマス、其ノ他ノ歐米諸國ノ東亞新秩序ト云フコトニ對スル理解ガ十分デアナイコトヲ認メマシタノデ、一昨年来政府ハ勿論、民間ノ色々ナ團體、或ハ新聞雜誌等ノ言論ニ於キマシテモ、此ノ東亞新秩序ノ如何ナルモノデアアルカト云フコ

トフ、是等ノ各國政府並ニ國民ニ知ラシムルヤウナ措置ハ執ツテ居ツタノデアリマス、殊ニ私ト致シマシテハ、英吉利等ニモ對シテ、東亞ノ新秩序ト云フコトガ、決シテ是等ノ諸國ヲ東亞カラ全然排斥スルト云フ風ナモノデハナイ、ソコニハ十分是等ノ諸國ノ活動ノ餘地ト云フモノガ殘ツテ居ルノデアルト云フコトヲ説明シ、又同時ニ現ニ支那ニ於テ起リツツアルコトガ、亞米利加其ノ他ノ國ノ解釋スルヤウナモノデナイノデアルト云フコトモ説明ヲ致シテ居タノデアリマス、又懸案ノ解決等ニ付キマシテモ、日本ハ獨自ノ見解カラ解決スベキモノハ即時解決スルト云フヤウナ手段ヲ執ツテ居リマス、出來ルダケ是等ノ諸國方眞ニ日本ニ對スル考ヘ方並ニ東亞ノ事態ト云フモノニ對スル理解ヲ持タシメタイト考ヘテ居タノデアリマスガ、マダ十分ソレ等ノ點ニ付テノ理解方行ツテ居ナイノデアリマスカラ、更ニソレ等ノ點ニ對シマスル努力ハ政府バカリデナク、民間ノ方々ニモ諒解ヲ得テ、理解ノ行クヤウニシテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウシテ其ノ基礎ノ上ニ、新條約ノ締結ト云フヤウナコトマデ行カナケレバナラヌカト思フノデアリマスガ、併シ是ハ昨日モ豫算總會ニ於テ申述ベ、マシタヤウニ、或ハ早急ニ其ノ結果ヲ望ムコトハ出來ナイカト思フノデアリマス、ソレマデノ間ハ條約ハ無クモ條約ガアツタ時ト同シヤウナ實際ノ關係ヲ維持シテ行クト云フコトニ、雙方共努力シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

質問ガアツタヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、是ハ必ズシモ矛盾ト考ヘテ居ナイノデアリマス、抑々日獨防共協定ヲ締結致シマシタ當時ニ於キマシテモ、防共協定ハ第三「インターナショナル」ニ對スル所ノ防衛ノ措置デアリ、「ソビエト」ノ國交調整トハ別問題デアルト云フコトデ、當時カラ既ニ國交調整ノ問題ハ考ヘテ來タノデアリマスガ、其ノ時ノ空氣ガ惡クテ國交調整ノ方ハ思フヤウニ行カナカツタノデアリマス、併シ最近ニハ此ノ日「ソ」ノ一般の空氣ガ好轉シテ參ツテ居ルノデアリマスカラ、國交調整ト云フコトモ、或ル程度或ハ實現スルノデアラウト思ツテ、其ノ方面ニ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、此ノ二ツノ間ニハ矛盾ハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○安藤委員 モウ十二時ニナリマシタガ、テヨツト五分間バカリ文部大臣ニ簡單ニ御質問ヲ致シタイ、時代ガ斯ウ云フ時代ニナツテ參リマシテ、此ノ出來マシタ時局ヲ今日以後ノ人間ニ依ツテ解決シテ行カナケレバナラヌコトニナツタノデアリマス、隨テ此ノ東亞ノ新秩序及ビ此ノ聖戰、此ノ重大ナル意義ヲ能ク呑込シテ教育ヲシナケレバイケナイト思フ、教育ハ非常ニ進歩シテ參リマシタガ、マア粗糲ナ言葉デアアルガ、魂ハ抜ケテ居マス、此ノ魂ヲ蘇ラセルト云フコトガ、今日ノ教育ノ必要條件デアリマス、支那人ノ教育ニ付テモ日清戰爭以來今日マデ日本ニ留學生ヲ盛ニ呼ンデ來テ隨分金ヲ使ヒマシタガ、日本留學生ハ皆支那ニ歸ツテ引ヲ日本ニ向ケテ居ル、歐米留學生ニ引摺ラレテ日本留學生ハ駄目ナノデアアル、何處ニ缺陷ガアルカト云フト、是ハ肝腎ノ教ヘルコトヲ教ヘナカツタ、注ギ込ムコトヲ

注ギ込マナカツタ、一口ニ言ヘバ、東洋文化ヲ注ギ込マナカツタ、東洋精神ヲ注ギ込マナカツタノデアリマシテ、教ヘル所ハ唯歐米ノ學問ノ取次ヲシテ居ツタノデアリマス、歐米ノ學問ヲ日本デ教ヘテモ無論差支アリマセスガ、唯精粗ダケデアアル、何モ卓見ガアリマセス、何モ自分ノ創造ハアリマセス、ソレデ頭ノ良イ支那人ノ留學生ハ段々ソレヲ看破シテ、終ヒニハ頭ノ良クテ狡イ支那人ノ留學生ハ、日本ノ教育ト云フモノハ長ク教ヘテ與レテモ、結局吾々ガ國ニ歸ル時ニ如何ニシテ西洋思想、如何ニシテ歐米ヲ崇拜スベキカト云フコトダケヲ教ヘラレテ歸ルノダ、斯ウ云フ惡口ヲ言ツテ歸ルヤウナ結果ニナツテシマツタ、實際サウナノデアアル、ダカラ今後ハ段々協定モ出來、平和モ回復スルト共ニ、支那人ニ對スル教育モ、コツチカラ出掛ケテ大イニヤラナケレバナラヌ——今モヤツテ居リマスケレドモ、今後モ大イニヤラナケレバナラヌ、或ハ支那人ヲコツチニ呼ンデ來テヤラナケレバナラヌガ、其ノ點ヲ考慮シナケレバナラヌ、之ニ對スル文部大臣ノ御用意アリヤ否ヤ

併セテ私ハ東方學ノ建立ト云フコトガ必要デアルト思ヒマス、上ハ大學ヨリ下ハ小學校ニ至ルマデ東方學、ソレニ依ツテ養ハレル東方精神、ソレヲ涵養スルコトガ必要デアアルガ斯ウ云フコトニ對スル文部大臣ノ御用意御意見ヲ一言伺ツテ置キタイノデアリマス

ソレカラ東亞協同體ヲ拵ヘルコトガ東亞ノ新秩序ノ建設ノデスカラ、今日ハドウシテモ東亞協同體ヲ目當トシテノ教育ヲ施サナケレバナリマセス、之ニ對シマシテ教育審議會等デ昨年以來ズツトヤツテ居リマスガ、尙且ソ遺憾ノ點ガアリマス、文部大臣ハ教育審議會ノ非常ニ忠實ナル特別委員ノ一人デアツテ、吾々ト一緒ニ御審議シテ下サツタ、幸ヒ文部大臣ニナラレタカラ、一層鞭撻シテ、サウ云フコトヲヤツテ戴キタイト思ヒマス

最後ニ教育審議會程勉強スル委員會ハアリマセス、御承知ノ通り困ツテシマフ位勉強シテ居リマス、所ガコンナニ色々ノ速記録モ出來テ居ルガ、文部省デ採上げテ之ヲ行ツタコトハ極メテ少イ、今年アタリモモツト行クノカト思ツタラ、中途テ崩レテシマヒマシタ、教育審議會デ最モ御努力シテ下サツタ松浦サシガ文部大臣トシテ入閣セラレタコトハ、教育界ノ爲ニ大イニ意ヲ強ウスルニ足ルノデアリマス、願クバ教育審議會ヲモツト活カシテ、アナタノ時代ニ彼處デ決議シタコトヲ、全部ト言ハナクテモ、成タク早クヤツテ戴キタイト思ヒマスガ、サウ云フ御用意ガアルカ、尤モ組閣勿々デスカラ、マダナイカモ知レマセスガ、早クヤツテ戴カナケレバナラヌト思ヒマス、ドウゾ其ノ點ヲ御勉強願ヒタイ、一言此ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 安藤サンカラ、日本ノ教育ニ於キマシテ所謂東方學ト申シマスガ、サウ云フモノヲ確立スル必要ガアル、殊ニ今日ノ如キ重大ノ時局ニ際合シテ、興亞ノ聖戰ヲヤツテ居ル時デアルカラ、教育ガ所謂今マデノ西洋模倣ノ教育ヲ改メテ、我國獨特ノ學問ヲ打建テルヤウナ教育ヲシナケレバナラヌト云フ意味ノ御説デアリマシタガ、是ハ全く御説ノ通りデアリマス、從來我國ハ明治ノ維新以來急イデ諸外國ノ文明

ヲ採入レ、サウシテ之ヲ攝取シテ我國獨特ノ文明ヲ創リ出スト云フコトニ急デアリマシタガ爲ニ、自然最初ノ中外外國ノ模倣ト云フコトガ主ニナツテ居ツタコトハ事實デアリマス、ソレハ其ノ當時ノ事情ト致シマシテハ已ムヲ得ナカツタノデアリマセウ、併シナガラ今日ニ於テハ最早模倣ノ時代ハ過去リマシテ、我國獨特ノ學問ヲ打建テナケレバナラス時代ニ正ニ到達シツツアルノデアリマス、文部省ニ於キマシテモ、此ノ點ニ付キマシテハ殊ニ注意シマシテ、我國獨特ノ學問、日本精神、皇道精神ニ基イタル我國獨自ノ學問、獨創的ノ學問ヲ確立致スト云フコトニ付テハ、有ユル努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、有ユル學校ノ方面ニ於テ此ノ努力ハ一層爲サンケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマス、隨テ從來支那方面カラ我國ニ參リマスル留學生等ニ對シテモ、我國方之ニ對シテ傳ヘタ所ノモノハ、所謂西洋模倣ノ學問デアアル、是ガ爲ニ彼等ハ折角日本ニ參リマシテモ、所謂日本獨特ノ學問ヲ學ブ機會ガナクシテ國へ歸ルガ爲ニ、却テ我國ヲ輕ンズル傾向ニ至ツタコトモ、或ル程度マデ事實デアツタノデアリマス、今後ハ斯ウ云フ點ニ於テモ、我ニ於キマシテ立派ナ獨創的ナ、我國固有ノ學問ガ發達致シマスレバ、留學生ニ授ケル所ノ教育モ亦立派ナ我國獨特ノ所謂日本精神、皇道精神ニ基イタ、廣ク言ヘバ東方精神、東方學ト云フモノヲ授ケルコトニ相成ルト思ヒマス、此ノ點ニ於テモ今後必ズ其ノ方法ヲ講ズルコトニナルガラウト考ヘテ居リマス

又教育審議會ノ決議ノコトニ付キマシテモ、成ベク之ヲ實現スルヤウニト云フ御督勵ノ御言葉ガアリマシタガ、私モ教育審議會ニ於テ決議サレマシタコトハ、出來ルダケ之ヲ實行ニ移スコトニシタイ、此ノ點ニ於テハ出來ル限りノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、現ニ國民學校制度ノ如キモ、是ガ十五年度ノ豫算ニ準備費ヲ要求致シテ居ル譯デアリマス、之ヲ第一著歩トシテ行ツタノデアリマスガ、尙ホ他ノ學校制度ニ付キマシテモ、出來ル限り速ニ之ヲ實現サセタイト考ヘテ居リマス

○安藤委員 私人事變處理ニ關スル前半分ノ問題ニ付キマシテハ、先程申上ゲ、又御答ヲ伺ヒマシタガ、何レ本委員會會テハ又質問致スカモ知レマセスカラ之ヲ留保致シマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○三土委員長 一寸御話リ致シマス、御承知通り是マデノ豫定デハ、今日午後ニ秘密會ヲ開イテ、物動計畫ノ内容ヲ説明ヲ求メル管デアツタノデアリマスガ、物動計畫ハ議員トシテ何人モ知ラント欲スル重大問題デアルカラ、寧ろ本議場ニ於テ説明ヲ求メタイ、此處へ傍聽ニ來ルノデハ議員ノ席ガ足ラヌカラ、サウシテ貴ヒタイト云フ希望ガ起リマシテ、各派交渉會ノ結果、多數ノ議員ガサウ云フ御希望ナラバ、豫算委員會ハ構ハナイト申シマシタ所ガ、政府モソレデ宜シイト云フコトデアツタノデ、本日稅法ノ說明ガアツテ、質疑ノ途中デモ構ハス、五時カラ本會議ヲ秘密會ニシテ、ソコデ物動計畫ヲ説明スル、併シ質問ハ本會議デハシナイ、サウスルト吾々豫算委員トシテハ、ドウシテモ質問シナケレバナラヌカラ、明日デモ秘密會ヲ開イテ、ヤハリ物動計畫ノ質問ヲスル、斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス、

ソコデ稅法ノ本會議デアリマスガ、今度ノ稅法ハ軍費支辨等モ入ツテ居リマスノデ、陸海軍大臣モ出席セヌケレバナラヌサウデアリマス、又商工大臣モ物價問題ヤ色々ナコトデ關係ガ深イカラ、ヤハリ出席シタイ、少クトモ大藏大臣ガ提案ノ理由ヲ説明スル間ダケハ、各大臣成ベク顔ヲ揃ヘテ本會議ニ出席シタイト云フコトデアリマス、ソレマデ豫算委員會ハ休ミマシテ、大藏大臣ノ本會議ニ於ケル提案ノ理由ヲ説明ガ済シタガ、引續キ此處デ豫算委員會ヲ開キ、五時マデヤツテ、ソレカラ本會議ニ行ツテ物動計畫ノ秘密會ニ臨ム、斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○三土委員長 ソレデハ左様取計ヒマス、休憩致シマス

午後零時十五分休憩

午後二時三十分開議

○三土委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、是ヨリ質疑ヲ繼續致シマス——堤康次郎君

○堤委員 鐵道大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、紀元二千六百年ノ初メニ當リマシテ、總理大臣ノ施政演說ニ於テモ、又其ノ他ノ機會ニモ屢、我ガ八紘一字ノ肇國ノ大精神ガ顯現セラレテ居ルノデアリマス、我ガ肇國ノ大精神ハ、意義極メテ深遠ニシテ、廣大無邊ナモノデアリマシテ、之ヲ二十字トカ、三十字トカ、字ヲ限ツテ能ク分ルヤウニ書ケト言ハレタラ、是ハ非常ニ困難ナコトデアリマス、況シテ之ヲ外國語ニ書キ表ハスコトハ、非常ニ困難ナコトデアリマス、然ルニ鐵道省ガ監督シテ居ラレマ

スツリリスト・ビュローロ」カラ發行シテ居リマス「ツリリスト」ト云フ雜誌ノ新年號ニ「ザ・ユニバース・オブ・フアミリー」ト云フ言葉ガ書イテアルノデアリマス、是ハ即チ世界一ツノ家族ト云フコトデアアル、世界ハ一ツノ家族ト云ヘバ、世界ハ一ツノ國、世界征服ト之ヲ曲解セラルル危險ガ多分ニアルト思フノデアリマス、若シ左様ナコトガアリマス、今此ノ事變ノ處理ニ付テ、成ベク各國トノ摩擦モ少クシテ行カナケレバナラス此ノ際、我方國策上非常ニ不利益ダト思フノデアリマスガ、鐵道大臣ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○松野國務大臣 堤君ノ御質問ニ御答申上ゲマス、只今御意見ノ通り「ツリリスト」ビュローロ」デ發行シテ居ル雜誌ヲ見テミマシタ所、成程堤君ノ御質問ノヤウナ意味ノ言葉ガアリマシタガ、要スルニ全體ヲ通ジテ見マス、サウ云フ誤解ハ先ツ起ラナイト云フ風ニモ考ヘラレマスケレドモ、「八紘一字」ヲ譯讀、是ガ外國語デドウ譯スルカト云フコトガマダハツキリ決ツテ居ルトハ考ヘマセヌ、何レニシテモ誤解ヲ起サセルガ如キコトハ十分慎マナケレバナラス、斯ウ云フ意味ニ於テ、私ハサウ云フヤウナ、苟モ誤解ヲ受ケルガ如キコトハ慎ムベキモノナリト考ヘテ居リマス

○堤委員 全體ヲ通ジテ見ルト誤解ヲ起サシメルコトハアルマイト云フ御説明デアリマスガ、併シ能ク讀ムト、之ヲ曲解サレ、殊ニ惡用サレル危險ガ十分アリマス、其ノ二三行下ニハ「ザ・ユニバース・オブ・フアミリー」プリンシプルト云フ言葉ヲ使ツテ居リマス、ソレカラ次ノ頁ニ行キマスト云フト斯ウ書イテアル、「ザ・グレイト・アイデア

オプ・ザ・ユニヴァース・ワン・ファミリ  
イズ・ナウ・ビーイング・キヤリッド・オン  
世界一大家族の大ナル「アイデア」、考ガ今正  
ニ「キヤリッド・オン」進行シツツアル、是ハ  
支那事變ヲ指シテ居ル、サウスルト支那事  
變ト云フコトハ、世界一ツノ家族ニスル  
ト云フコトノ進行ダ、是ガ進行シテ居ル、  
是ハ非常ニ曲解サレ易イコトデアリマス、  
ソコデ此ノ八紘一字ト云フヤウナ肇國ノ大  
精神ヲ書キ表ハス時ニハ、是ハ八紘一字ト  
「ローマ」字ヲ書クベキダ、然ルニ是ハ「ザ  
ユニヴァース・ワン・ファミリ」ト書イテ、  
サウシテ「クオ・テ・イシオン・マーク」マデ付  
ケテ居ル、サウスルト是ハ世界一大家族ト云  
フコトハ即チ八紘一字ダ、斯ウ思ハレル、  
是ハ「ローマ」字デ「八紘一字」ト書イテ、サ  
ウシテ「クオ・テ・イシオン・マーク」ヲ付ケ  
テ、懇切丁寧ニ數百數千語ヲ費シテ此ノ意  
味ヲ明ニスル、斯ウシナケレバナラス、以  
後ハ慎シムト言ハレルガ、是ハ以後ヲ慎シ  
ムコトハ當然ノコトデアリマスガ、第一此  
ノ雜誌ハ準政府發行ト見ラレルノデアリマ  
ス、此ノ影響ハ私ハ相當大キイト思フ、デ  
アリマスカラ、之ニ付キマシテハ何カ次ノ  
號デ能ク之ヲ書キ直ストカ何トカ云フ方法  
ヲ御講ジニナラナケレバナリマスマイト思  
ヒマス、ソレト同時ニ之ヲ外國ノ言葉デ言  
ヒ表ハス時ニハ、一定ノ標準ヲ政府ニ拵ヘ  
テ置カレマシテ、將來必ズ曲解ヲ惹起サス  
コトノナイヤウニ、最善ノ注意ヲシテ置ク  
必要ガアルト思ヒマスガ、如何デアリマセ  
ウカ

ニ慎シムベキモノダ、斯ウ云フ御趣意デア  
リマスガ、其ノ事ニ對シマシテハ十分ニ注  
意シタイト思ヒマス

○堤委員 注意ヲスル、是カラ注意ヲスル  
ト言フガ、此ノ文章ニ對シテ此ノ誤解ヲ解  
クガ爲ニ次ノ號カ、其ノ次ノ號カ十分ニ  
之ヲ理解セシメルヤウニ書ク必要ガ私ハア  
ルト思フ、人間ノヤルコトデアリマスカラ、  
ヤリ損フコトハアル、其ノ書イタモノヲド  
ウスル斯ウスルト云フコトチヤナシニ、  
此ノ雜誌ニ於テ正誤ノヤウニ意味デアリ直  
サレル必要ガアルト斯ウ考ヘマスガ……

○松野國務大臣 能ク其ノ點ハ注意シマシ  
テ、尙ホヤルベキモノカドウカト云フコト  
ハ其ノ上デ御答致シマス

○堤委員 能ク讀ンデ御研究ニナツタラ宜  
シイデセウ、内務大臣ニ此ノ問題ニ付テ一  
ツ續イテ伺ヒマスガ、滿洲事變以來言論文  
章ニ對シテノ取締ハ苛酷嚴重ヲ極メテ居リ  
マス、併シソレハ極メテ事務的ノ極ク小サ  
イコトヲ喧シク言ツテ、一寸シタコトデモ  
演説ノ中止ヲ命ジ發行ノ停止ヲ命ズルコト  
ガアルガ、斯ウ云フ大キナ點ハ拔ケテ居ル、  
デアリマスカラ、是ハ斯ウ云フ大キナ點ハ  
能ク注意セラレマシテ、サウシテ枝葉末節  
ノ小サイコトニハ成ルベクコダハラス、又  
政府ノ政策ヲ批評スルト云フヤウナコトヲ  
非常ニ氣ニ病ンデ、之ニ對シテ嚴重ヲ取締ヲ  
スルト云フヤウナコトハ、私ハ政治ヲ愚劣  
ニスルモノデアルト思フ、政治ニ對シテノ  
反對ガアツテコソ政治ハ進歩シ、批判ガア  
ツテコソ政治ハ進歩スルノデアル、私ハ鹿  
ヲ馬ト言ヒ括メルヤウナコトヲ押通スト云  
フヤウナコトハ是ハ實ニ宜クナイコトデア  
ルト思ヒマスカラ、言論文章ノ取締ニ對シ

テハ政治的ノ大所高所ニ限ラ著ケテ、能ク  
其ノ邊ヲ御注意ニナルコトガ必要デアアル、  
ト同時ニ斯ウ云フ外國語デ日本ノ國體ヲ明  
微ナラシメルト云フヤウナコトニ付テハ、  
一ツノ基準ヲ拵ヘテ、再ビ斯ウ云フ間違ノ  
ナイヤウ、又取締ニ遺憾ナキヤウセラルル  
コトガ必要デアルト思ヒマスガ、如何デア  
リマセウカ

○兒玉國務大臣 日本デ出版サレル、殊ニ  
英文ノ出版物、此ノ書キ方如何ニ依リマシ  
テ是ガ外國ニ及ボス影響ハ深ク注意シナケ  
レバナラス點ガアルト思ヒマスルノデ、政  
府ニ於テモ從來此ノ點ニ付テ注意ヲ致シテ  
居ツタノデアリマス、偶、只今御指摘ニナリマ  
シタヤウナ問題ガアリマスコト、今後は等  
ノ點ニ付キマシテハ十分注意ヲ致シマシテ、  
此ノ尊重スベキ御言葉ノ趣ハ殊ニ深甚ナル  
注意ヲ致シマシテ、苟モ國際的ニ誤解ノナ  
イヤウニ努メタイト云フ事柄ヲ申上ゲテ置  
キマス、尙ホ只今前段ニ御話ニナリマシタ  
言論ノ取締ノ問題デゴザイマスガ、私ハ  
目下總力ヲ擧ゲテ此ノ時局ヲ打開シテ行  
カウト云フ此ノ際ニ於キマシテハ、廣  
ク世間ノ輿論モ聴キ、且又出來ルダケ事  
態ヲ明ニスル方針ヲ執ツテ行カナケレバナ  
ラスト考ヘテ居リマス、斯クシテコソ初メ  
テ總理方度々繰返シテ言ハレル強力ニシテ  
サウシテ正シキ政治ガ行ハレルモノト考ヘ  
テ居リマス、ソコデ言論ノ取締ニ付キマシ  
テモ、只今堤君ノ言ハレタヤウニ、軍事上  
竝ニ外交上ノ機密ニ涉ルヤウナコトハ、無  
論ハ禁止シナケレバナラス、又經濟上ノ  
問題ニ付キマシテモ、徒ニ刺戟ヲ與ヘルヤ  
ウナコトハ慎シマナケレバナリマセウカ、ケ  
レドモ、大體ニ於キマシテ此ノ言論ノ抑壓

ト云フ事柄ハ百害アツテ一利ナシト私ハ考  
ヘテ居リマスノデ、只今御質問ニナリマシ  
タ趣旨ヲ尊重致シマシテ、成ベク政府ノ所  
信ヲ國民ニ徹底セシムルヤウニ努メタイト  
考ヘテ居リマスルノデ、附加ヘテ御答申上  
ゲテ置キマス

○堤委員 ソレカラ農林大臣ニ伺ヒタイノ  
デアリマスガ、農林大臣ハ組閣初々初閣議  
散會後、國民ガ今度ノ農林大臣ハ米ニ對シ  
テドウ云フ政策ヲ執ルデアラウカト注目シ  
テ居ル時ニ、米ノ出廻ニ對シテ獎勵金ヲ交  
付スルト云フ意味ノ談話ヲ發表セラレマシ  
テ、各有力ナル新聞ハ一齊ニ之ヲ書イタノ  
デアリマス、或ル有力ナル新聞ハ「米穀出  
廻促進ニ對シテ獎勵金交付カ」ト初號活字  
デ書イテ農林大臣ノ漫畫マデ出テ居ルノデ  
アリマス、非常ニ注目シテ居ル時ニ、是ガ  
全國ニ發表セラレタ、本會議ノ席ニ於キマ  
シテ高田君ノ質問ニ對シテ、是ハ誤解デア  
ツタト云フ御釋明ガアリマシタガ、併シ一  
人ト一人トノコトデアレバ誤解モ生ジマス  
ルケレドモ、多數ノ新聞記者諸君ガ皆一樣  
ニ誤解スルト云フコトハ、一寸想像セラレ  
ナイ、ソコデ農家ガ之ヲ見ルト、ヤハリ是  
ハ獎勵金ヲ出シテ與レルノチヤナイカ、斯  
ウ思フト、是ハ米ノ出廻ノ促進ヲ阻害スル  
ト云フコトニナルノデアリマスカラ、私ハ  
組閣初々初コトデアリ、サウ云フコトノ  
起ツタコト自體ヲ深ク咎メルノデアリマ  
セウケレドモ、是ハハツキリシテ置カレマ  
セスト、將來ノ米穀政策ニ非常ナ障礙ヲ來  
スト思ヒマスガ、此ノ點ハ何カ良イ名案ヲ  
御考ニナツテ居ラルデアリマセウカ、伺  
ヒタイノデアリマス

○島田國務大臣 只今ノ堤君ノ御答デアリ

マスガ、是ハ先日ノ本會議ニ於キマシテモ、私ノ當時ノ考ヲ一應申上ゲテ置イタ次第デアリマス、私ハ米穀ノ事情ト云フコトニ付テハ、是ハ就任致シマセス以前カラ、相當深イ注意ヲ拂ツテ居ツタノデアリマス、尙ホ今次ノ重大ナル時局ニ於テ、米穀以外ニ生活ノ必需品其ノ他生産擴充ノ上ニ於テ必要ナル資材、斯ウ云フモノニ付テ現ニ本會議及ビ豫算總會ニ於テモ問題ニナツテ居リマスルヤウナ事柄ニ付テ、自分ハ自分共ノ屬シテ居リマスル政黨ノ立場、政務調査サウ云フ風ナモノカラ致シマシテ、全般ニ互ツテ相當ナ注意ヲ拂ツテ居ツタ次第デアリマス、偶、内閣ノ更迭ガアリ、私ハ眞ニ一度在任シテ居リマシタ農林大臣ノ椅子ニ就イタノデアリマスガ、丁度其ノ際ハ米ノ問題ガ、御承知ノヤウニ世間デ最モ注意ヲ惹イテ居ル際デアリ、私ハ所謂農政記者ト云フ農林省ノ受持ノ記者ノ諸君ト面會ヲシタノデアリマス、其ノ極メテ短イ時間ノ會見ニ於テ私ガ農林大臣トシテ——ト云フヨリモ寧ロ關係ノ一人トシテ、現在ノ時局ニ對處スルニ付テ、唯政府ガ口先ヲ以テ獎勵スルトカ、ヤルトカ云フコトダケデハイケナイ、政府自身ガ相當肚ヲ決メテ、政府自ラモ相當ノ支出ヲ爲シ犧牲ヲ拂フノ覺悟ガナケレバ、此ノ政府ノ言葉ヲ國民ヲシテ信ゼシムルコトハ出來ナイト云フ、自分ノ持ツテ居ル持論ノ一部ヲ其ノ場合ニ簡單ニ述ベタ次第デアリマス、是ガ偶、端のニ米穀ノ問題ニ付テ示唆ヲシタモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレテ、即チソレハ所謂獎勵金ト云フヤウナ意味デアルト云フ風ニ考ヘラレタモノト、自分ハ今日ニ於テ推察ヲシテ居ルノデアリマス、所ガ私ノ就任致シマシタ其ノ

時ハ、丁度、米ニ付テハ重大ナル窮屈ナ状態ガ一息シテ居ル時デアル、先ツ出廻リノ他ノコトモ、前内閣以來前任者等ノ非常ナ心配盡力ニ依リマシテ、段々ニ出廻リノ途モ付キ、サウシテ政府ノ持米ノ分量モ漸次殖エテ行クト云フ狀況ニ事實ハナツテ居ツタノデアリマス、隨テ其ノ場合ニ出廻リノ爲ニ單ニ獎勵金ト云フヤウナコトヲ考ヘルト云フコトハ、御言葉ノヤウニ寧ロ逆ナ效果ヲ奏スルモノデアルト云フヤウナ點ニ考ヘ及ブベキヤウナ事柄デアツタト、私ハ事實ニ於テ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デアツテ、米ニ付テ私ハ大體ニ於テハ樂觀論ト云フコトハ言ヘナイケレドモ、先ツ大體ニ於テ米ノ不足ハナイ、品ハアルノデアル、大體アルノデアルケレドモ、其ノ需給配給ノ工合ガ窮屈デアルカラ、ソレガ行キニタイノダト云フ大體ノ觀念ヲ持ツテ居リマシタケレドモ、其ノ出廻リヲセシムル爲ニ、出廻リノ獎勵ノ爲ニ獎勵金ヲヤルト云フヤウナ意味ノ具體的ナ考ヲ、其ノ當時持ツテ居ツタ譯デハナイノデアリマス、唯サウ云フ次第デ、是ハ一面カラ云ヘバ、私自身ハ政黨ノ關係等カラ、全體ニ付テ政治ヲ考ヘテ居ルト、斯ク考ヘテ居リマシタケレドモ、記者諸君ノ方カラ申シマスト、一個ノ農林大臣、農林行政ノ主管者デアルカラ、其ノ所管ノコトニ付テ、此ノ政府ノ犧牲ト云フコトヲ言フナラバ、即チ米ニ付テ言フノデアル、米ニ付テ言ヘバ、端のニ問題ニナツテ居ル獎勵金ノコトデアラ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレタト云フコトハ、是亦聽イタ人トシテハ、或ハサウ云フ風ニ聽イタカモ知レヌト私ハ思フノデアリマス、隨テソレニ付テ後ニ其ノ意味デナケレバ之

ヲ訂正スルナリ、或ハ辯解ヲスル必要ガアルノデハナイカト忠告ヲシタ人モアリマシタガ、私ハ敢テソレヲシナカッタ、事實ガ證明スル、事實ガ證明スルノデアルカラシテ、一ツノコトニ對シテ辯解ヲスレバ又他ノ辯解ヲシナケレバナラヌヤウニナルカラシテ、先ツ此ノ問題ハ成行ヲ暫ク見テ居ツテ政府ガソレヲシナイト云フコトガ漸次ニ明ニナレバ、私ノ言フ意味モ、必ズシモ米ノ獎勵金ノコトバカリヲ彼ハ言ツタノデハナイ、外ノコトモ考ヘテ居ツタノデアル、又獎勵金ノヤウナ意味ノ事柄ヲ直チニシナケレバナラヌモノモ外ニアル、肥料ノ増産ノ計畫ニ付テハ、現ニ農林省ハ前内閣ノ時カラ助成ノ方法ヲ考ヘテ、サウシテ増産ノ部分ニ對シマシテハ、政府ノ補助ヲスルト云フ意味ヲ以テ豫算ニ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又内外地ヲ通ズル米ノ不足ニ對スル懸念ヲ省クト云フコトニ付キマシテハ、外米ノ輸入ノコトモ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、ソレ等ノ事柄ハ何レモ政府ノ犧牲ヲ以テスルト云フ私ノ所管ノ關係ノ方カラ言ツテモ、大キナ廣イ意味ガアルヤウニ自分ハ考ヘテ居ツタ次第デアリマス、是ハ重ネテ御言葉デアリマスガ、私ハ少シ長ク辯明ヲスルヤウデアリマスガ、此ノ意味ニ於テ、ドウゾ一ツ獎勵金ノコトニ付テハ、自分ガ獎勵金ト云フヤウナ格段ナル言葉ヲ考ヘタリ、意味ニ於テ考ヘテ言ツタノデナイト云フコトヲ、此ノ際明ニ申シテ置キマスカラ、左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

御述ヲ願フヤウニシタイ——ソコデ私ハ其ノ農林大臣ノ御心持ハモウ能ク分ルノデス、ソレヲ追究スルノデハナイノデス、唯其ノ事ガ世ノ中ニ非常ナル誤解ヲ招イタ事實ガ起ツテ居ルガ、其ノ事實ニ對シテノ善後策ヲドウスルカ、今ハ逼迫ヲシテ居ナイ、一息吐イタト言ハレマスルケレドモ、事態ノ進行ニ依ツテハ、又青息ヲ吐カナケレバナラヌヤウナコトニナリハセヌカト云フコトヲ恨レマスルガ故ニ、又都會ノ人ト違ヒマシテ、地方ノ人ハサウ神經ガピント來マセヌカラ、中々是ハ徹底シマセヌ、今ニ出廻リル米ニ對シテ獎勵金ガ來ルカノト思ツテ居ル、其ノ内事實ガ證明スルト言ハレマスルケレドモ、端境期ニナツテシマツテハ、是ハドウスルコトモ出來ナイノデアリマスカラ、此ノ事實ニ對シテ何カ處置ヲ執ラレナケレバナラヌノデハナイカ、即チサウ云フ事態デアルカラ辯明スル必要ハナイト云フノナラバ、辯明スル必要ガナイト云フコトノ辯明ヲスル必要ガナイカ、ココナシデス、之ヲドウ處置ナサルカ、之ヲ聽キタイ

○島田國務大臣 最後ニ堤君ガ言ハレルヤウニ、私ハソレヲスルトカシナイト云フコトヲ辯明スル必要ノナイヤウニ事實ヲ以テ、此ノ米ノ出廻リノ圓滑、就中政府ノ持米ヲ豐富ニシテ必要ナ方面ニ向ツテ出來ルダケ豐富ニ流シテ行ケルヤウニト云フコトヲ第一ト致シマシテ、サウシテ尙ホ米商ノ組合等ノ扱ヒ、所謂民間ノ米ノ動キト云フコトニ付テモ、出來ルダケ圓滑ニ行クヤウニト云フ考ヲ以テ進んで行ケバ、蓋シ獎勵金ト云フコトヲ考ヘルノ必要ハナイト云フコトニ結論ガナル、斯様ニ思ヒマスカラ、此ノ場合ハ獎勵金ノコトニ付テハ之ヲ辯解ス

ルノ必要方ナイ、斯ウ云フ意味ニ御聴取ヲ願ツテ置キタイノデアリマス

○堤委員 今度々申ス通り、私ハ斯ウ云フ質問ヲスルコトモ農林大臣ヲイヂメルノデハナイ、農林大臣ニ辯明ノ機會ヲ與ヘルノダト思召ヲ願ヒタイ、決シテ意地悪ク之ヲ追究スルノデハアリマセス、農林大臣方各社へ取消ヲ出シタ所デサウ大シク效果ガアルノデハアルマイシ、ソレヨリ外ニ仕方ガアルマイガ、餘程神經過敏ニナツテ居リマス時ニハ、申スマデモナイコトデアリマスガ、國務大臣ノ言動ハ能ク御注意ヲ願ツテ置キタイ、此ノ問題ハ是デ措キマス

次ニ米ニ付テハ私ハ相當官民共ニ努力ヲシナケレバ端境期ニナツテ困ルノデハナイカト思ハレル、唯机上ノ需給推算ノ數字ノミニ安心シテ居ルコトハ出来ナイ、ソコデ來年ハドウシテモ米ヲ餘計獲ラナケレバナラヌノデアリマスガ、此ノ頃米ヲ餘計獲ルト云フコトハ、天候ハ人力ヲ以テ支配スルコトガ出来ナイカラ、シテ見ルト肥料ヲ多クヤラナケレバナラス、私ハ今ノ米ト云フモノハ、寧ロ肥料ノ化學的變形物ト思ハレル位ニ、米ノ増産ニハ肥料ノ役割ガ重要デアアル、ソレハ元祿時代ノ日本ノ大名ノ石高ハ二千六百万石、ソレカラ明治六年ニ初メテ日本ニ統計ガ出来タガ、其ノ統計ニ依ルト、一千四百万石、サウスルト、神武天皇以來二千五百有餘年掛ツテ日本ノ國ニハ二千四百万石シカ出来ナカツタノガソレカラ僅カ六十八年ノ昨年ハ其ノ三倍ノ六千九百万石ニナツテ居ル、ソレハ色々技術ノ進歩モアリマセウケレドモ、主トシテ肥料ヲ多クヤルヤウニナツタカラ、此ノ莫大ナ増産ガ出来テ來タノダ、私ハ村デ自分デ百姓

ヲ致シマシタガ、其ノ當時ハ六依ヨリ獲レナカツタガ、十五六年經ツテ郷里へ歸ツテ見マスト、八依モ九依モ獲レルヤウニナツテ居ル、暫クノ間ニ驚クベキ進歩デアアル、是ハ肥料ノ變形デアルト言ツテモ宜イ位デアアル、デアリマスカラ、肥料ニモ色々アリマスガ、一番手取早ク増産ノ目的ヲ達セラレルノハ人造肥料デアリマス、之ニ對シテドウ云フ政策ヲ御執リニナルカ、此ノ肥料ニ付テハ政府ハ獎勵金ヲヤルト云フ案、ソレカラ値上ヲスルト云フコトト、原料デア

ル電氣代ヲ安クスルト云フ、此ノ三案ガアルト私ハ思フ、政府當局ハ此ノ中ノ獎勵金ノ政策ヲ御執リニナルヤウデアリマスガ、私ハ獎勵金ヲ出スヨリモ電氣代ヲ安クスル、電氣代ヲ安クスレバ發送電氣社ハ尙赤困リマスガ、ドウモ是ハ何カ荒療治ヲシテ方法ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマスカラ、獎勵金ヲ出シマスト更ニ物價騰貴ニ拍車ヲ掛ケルヤウナコトニナリハセスカ、ソレヨリ電氣代ヲ安クスル方ガ私ハ宜カラウト思フ、大體今農村ニハ莫大ナ潜在通貨ガアルノデアリマス、農村ハ生絲ガ高イ、米ガ高イト云フコトニ依ツテ潜在シテ居リマス通貨ガ何カノ機會ニハ是方購買力トナツテ物價騰貴ニ拍車ヲ掛ケテ來ル、是ハ恐ルベキモノデス、之ヲ解消スルニハ農家ニ肥料ヲ賣ツテ此ノ金ヲ捲上ゲルヨリ外ニ方法ハナイ、農家ノ肥料ニ對スル欲望ト云フモノハ、總テノ贅澤物ニ對シテヨリ一番先ニ其ノ欲望ガ起ルノデス、私ハ自ラ米ヲ作ツタ體験ヲ持ツテ居リマスカラ其ノ氣持ハ能ク分リマスガ、田ヲ作ル、ソレヲ愛スルト云フ時ノ其ノ精神ハ農林大臣ナシカニハ一寸想像ガ付タマイ、ソレハ大變ナモ

ノデス、ソレニハ自分ガ贅澤ヲスルヨリモ肥料ヲ買ウテヤリタイ、斯ウ云フ氣持ナシデス、所方今デハ其ノヤル肥料ガナイ、ソコデ、公定相場デ一噸肥料ヲ買フヨリモ、間取引デ倍シテモ十噸買ヒタイト云フノガ農家ノ心理ダ、ソコデ肥料ヲ多ク作ツテサウシテ農民ノ潜在資金ヲ吸收スル、ソレモ安ク供給スルコトガ出来レバ宜シイケレドモ、獎勵金マデ出シテ通貨膨脹ノ危險ヲ冒シテ獎勵金デモ通貨膨脹ニ利イテ來ル所ノ影響ト云フモノハ暫クノ時ノ問題デアス、値高クスルノト獎勵金ヲヤルノトハ物價騰貴ノ影響ハ暫クノ時ノ問題デアツテ、サウ大差ハナイノデアリマスカラ、私ハ獎勵金ヲヤルヨリモ寧ロ値上ヲスル方ガ潜在通貨ノ回收ニモナルシ、サウシテ早ク利ク、大體獎勵金ヲヤレバ値上スルノト同ジモノデハナイカト云フコトハ、是ハ官僚ガ机上ノ上デ考ヘルトサウ云フ結論ニナル、實際ハ、大變違フ、獎勵金ヲ賣フト云フコトニナルト、會社ノ帳簿ヲ調査スルトカ、色々ノ説明書ヲ出セトカ度々頭ヲ下ゲテ行カネバナラス、非常ニ厄介ナモノデアリマスカラ、獎勵金デアリマストカ、補助金デアリマストカ云フモノハ、少シ氣骨ノアル事業家ハ少ヌコトハ貫ヒタクナイト云フノガ事業家ノ心理デアリマスカラ大變違フ、併シ私ハ値上スルヨリモ、電氣代ヲ安クシテ此ノ問題ヲ解決シタ方ガ宜イト思ツテ居リマスガ、ドウカ結論ダケヲ農林大臣簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○島田國務大臣 肥料ノ増産ニ關シテ獎勵金ニ依ルカ、値上ヲスルカ、或ハ電氣代ヲ安クスルカト云フコトニ付テハ、是ハ御話ノ通りニ研究ヲ要スルコトト思ヒマス、唯

本年度ノコトト致シマシテハ、既ニ前内閣ニ於テ助成ヲスルト云フ方針ヲ以テ計畫ヲ出發致シテ居リマスカラ、私ト致シマシテハ、暫ク其ノ方針ニ從ヒ肥料代ノ値上ヲシナイト云フ意味ヲ以テ、其ノ増産分ニ對シテ相當ノ助成ヲスルノ方針ヲ進ミタイト考ヘテ居リマス、今述ベラレマシタ御意見ノ點ニ付テハ、是ハ其ノ先ノ問題トシテ研究ヲ致シマス

○堤委員 是ハ相當難カシイ問題デアリマスカラ、能ク御研究ヲ願ヒタイ、倍テソコデ假ニ肥料ハ澤山出来タトシテ、其ノ肥料ヲ米ニ皆ツツテ與レバ宜シイケレドモ、今米ノ上ツテ居ル割合ヨリモ、生絲ノ上ツテ居ル割合ノ方ガ遙ニ大キイ、デアリマスカラ其ノ肥料ハ米ニヤラナイデモ、斯ウ云フ現象ガ私ハ必ズ起ツテ來ルト思フ、生絲ハ昭和九年ヨリ十三年マデノ五年平均ガ七百二十三圓、昨年ハ千三百七十八圓、昨日ノ相場ガ千七百四十圓デアアル、生絲ハ十五割高クナツテ居ル、米ハト云フト其ノ五年間ノ平均ガ三十圓二十四圓、昨年ガ三十五圓九十五圓、公定相場ガ四十三圓デアアル、米ハ四割三分ヨリ高クナツテ居ナイ、生絲ハ十五割高クナリ、米ハ四割ヨリ高クナツテ居ナイ、是ガ過去五箇年ノ丁度經濟的ノ「バランス」デアアル、米ヲ作ルノモ露ヲ作ルノモ大シテ違ハナイ經濟的ノ「バランス」デアツタノガ、斯ウ云フ大變化ヲ來シテ居ルカラ、皆肥料ヲ桑ニナル、斯ウ云フコトニナリマスガ、其ノ點ニ付テハ、何カ調節スル御考ガアリマセウカ、極ク簡單ニ御答願ヒマス

○島田國務大臣 簡單ニト云ハレマスケレドモ、「イエス」ノ一ト云フヨリハ中々簡

單ニハ行カナイ、又言フコトハ出來ナイ、米麥ノ方策、ソレカラ桑田ノ經營ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ同ジ課目ニ屬スルニハ屬スルケレドモ、之ヲヤル人ハ必ズシモ同ジデハナイト云フコトハ、御承知ノ通りデアリマスガ、大體今堤君ノ御話ニナルヤウナ傾向ノアルコトハ、之ヲ認メマス、併シナガラ是ハ農務當局ト致シマシテ、肥料ノ實際ノ配給ヲ致シマス場合ニ、十分勸告ヲシ、ソレ等ノ意味ヲ含シテヤル積リデアリマス、又當業者ノ方トシマシテモ、此ノ事ハ相當心得テ居リ、米麥ノ方ハ値上リノ變動ハ、養蠶等ヨリハ少イケレドモ、併シナガラ同時ニ又確實性モ十分アル譯デアリマスカラ、ソレハ兩々相俟ツテ適正ヲ期スルト云フコトニ、理想的ニハナラスカモ知レナイケレドモ、大體其ノ方角ニ向ツテ餘リ偏重シテ、桑園ニ流レテ行クト云フコトハ、相當矯正方出來ルモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堤委員 大抵蠶モ飼ヒ、田モ作ルト云フノガ、大多數ノ農家ノ普通ノ状態デアリマスカラ、成ルベク監督スルト言ハレマシテモ、ソレハ到底監督シ切レルモノデハアリマセス、ソコデ先ヅ必要量ダケハ、其ノ肥料ハ桑ニ行クモノト考ヘテ、肥料ノ増産ニ努力シナイト、非常ニソコニ誤算ヲ生ズル、ソレト同時ニ桑ニ行ツタ場合ニ、即チ是ガ生絲ニナル、生絲ニナツテモ國家經濟ニ於テ大ナル障礙ノナイヤウニ、先手ヲ打ツテ置ク必要ガアル、ソレハドウカ、出來タ生絲ノ國內ノ需要ニ對シテノ統制ヲ嚴重ニシテ置ク、サウシテ餘ツクモノハ皆生絲トシテ外國ニ輸出スル、サウスルト外國カラ金ガ入ツテ來ル、金方入ツテ來クラ足ラヌダ

ケ外米ヲ買ヘバ宜イ、大體日本デハ米ガ世界ノ商品デアルト云フコトニ對シテ、餘リ認識シテ居ナイ、日本ダケノモノデアルト思ツテ居ル、是ハ大變ナ間違ヒデアル、最近ノ農事年鑑ノ統計ニ依ルト、世界ノ米ノ産額ハ八千八百三十一萬噸、之ヲ一應七石トスルト、六億一千八百石デアリマシテ、内地ノ生産高ノサツト十倍程世界デ穫レルノデアリマス、世界的ノ商品デアルカラ、ソコデ今カラ先手ヲ打ツテ置イテ貰ヒタイ、其ノ時ニ農家ニ幾ラ勸奨シタツテ、桑ニナルダケノモノハ皆ヤル、幾ラ監督スルト云ツタツテ、一軒ノ農家ニ一人ツツ經濟巡查ヲ付ケル譯ニハイカナイ、ダカラソレニ行ツテモ宜イヤウニ、豫メ内地需要ノ生絲ニ統制ヲ加ヘテ、サウシテ外國ノ輸出ニ向ケル、サウスルト正貨方代リニ來ル、ソレニ依ツテ米ヲ買フ其ノ米ノ買先ハドウスルカト云フコトニ付テ、先手々々打ツテ置カナイト、發送電ノ石炭ノヤウナコトニナリマス、此ノ點ハ農林大臣ニ於テ、十分考慮シテ載イテ然ルベシト私ハ思ヒマス

ソレカラ米ノ増産ニ付キマシテ、耕地ヲモツト擴張シナケレバナラヌト思フ、然ルニ耕地ノ擴張ニ對シテノ熱心サガ、マダ足リマセス、十四年度ノ耕地擴張ニ費シタ金ハ、二百七十萬圓デアリマシテ、其ノ面積方四千九百町歩デアアル、十五年度ニハ二百八十八萬圓ノ豫算ヲ以テ、六千九百町歩擴張スルコトニナツテ居ル、是デハ足リナイ、私ハ支那事變方起リマシタ當時、戰ニナツタラ米ガ足りナクナルカラ、耕地擴張ニモツト努力ヲシナケレバナラヌト言ツテ、當時ノ有馬農相ニ十分御注意ヲ促シタ、其ノ時ニ過去十箇年間ノ統計ヲ取ツテ見ルト、

事變前ノ十箇年間ニ日本ノ耕地面積ハ一萬九千五百町歩減ツタ、所方今度十三年度ニハ一年間ニ二十萬三千町歩減ツタ、十四年度ノ統計ハマダ出テ居リマセスガ、十四年度ハモツト減ツテ居ルニ違ヒナイ、日本ノ田畑ハ耕地面積ハ六百萬町歩シカナイノデアリマス、サウスルト此ノ調子デ年ニ二三萬町歩ツツ減リマス、二三百年經テマスト、日本内地ノ耕地面積ト云フモノハ田畑一反モナクナル、斯ウ云フコトニナル、是ハ恐ルベキ數字デアリマスカラ、餘程之ニ對シテ十分ナル努力ヲセラレナケレバナリマセスガ、私ハ國費多端ノ折柄デアリマスケレドモ、米ノ問題ハ是ハ根本ノ問題デアリマスカラ、追加豫算ヲ組ムナリナンナリシテ、是ハモウ少シ努力ナサル必要ガアルト思ヒマスルガ、如何デアリマスガ、此ノ大問題ニ對シテ、年々二三萬圓デハ少ナ過ギル、日本ニハマダ耕スベキ土地ハ深山アリマス、此ノ農林省ノ統計ニシテモ、マダ二百萬町歩位アル、併シ之ハ補助金ヲ少シヤラナケレバ、耕シテモ經濟的ノ價値ハナイカラ野原ニナツテ居ルガ、兎ニ角サウ云フ所方二百萬町歩モアル、ソレカラ海抜二千尺位上ツテ居ル所ニ行キマス、マダ六百萬町歩モアルカラ、大體此ノ高イ所ヲ開墾シテ米ヲ作ル譯ニハ行キマセスガ、小麥トカ、蕎麥トカ、馬鈴薯トカ、蕎麥トカ、粟、玉蜀黍ナドハ十分出來ル、殊ニ燕麥トカ、蕎麥、粟ナドハ開墾ノ要年度カラ、相當ノ收穫量ガアルノデアリマスカラ、是ハ餘程努力セラレルコトガ必要デアアル、ソレカラ又此ノ高イ所デハ、主ニ國有地ガ多イノデアリマスカラ、此ノ國有地ヲ利用スルコトニ付テハ、各營林局ニ命ジテ、モツ

ト簡便ナ方法ヲ御執リニナルコトガ必要デアルト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○島田國務大臣 只今ノ耕地面積ノ減少スルト云フコトニ付テ、堤君ノ御心配ノ御意見ハ、私モ全く同感デアリマシテ、軍需工業、道路、鐵道等ノ交通機關其ノ他ノモノガ開ケマスルニ付テ、種々ナル原因ニ依ツテ耕地面積方減少スル傾向ガアリ、其ノ擴張ノ計畫ヲ致シマシテモ、擴張計畫方耕地ノ減少スルコトニ及バナイト云フ事實ノアルコトハ、私ハ常ニ之ヲ遺憾ニ考ヘテ居リマス、隨テ此ノ點ニ付キマシテハ、御話ノ通りニ出來ルダケ耕地ノ面積ヲ維持シ、尙ホ之ヲ擴張スルノ方針ヲ以テ努力致シタイト思ヒマス

○堤委員 ソレカラ私ハ成ベク國內ノ穀物ヲ耕作シ得ル土地ヲ、十分ニ利用スルコトガ必要ダト思フ、ソレニハ吾々ノ簡單ニ目ニ付キマスモノハ「ゴルフ」場デアリマス、此ノ「ゴルフ」場ハ全國ニ六十七箇所アリマシテ、八百五十一「ホール」アリ、面積二千三百町歩ニナツテ居ル、是ハ私ハ戰時中ダケ之ニ穀物ヲ作ルコトニシタラドウカ、「ゴルフ」ガ紳士ノ健康上非常ニ宜イト云フコトハ、私モ十分認メマス、ソレカラ決シテ感情的ニサウ云フモノハ「ブルジョア」ノ遊ビダナドト云フコトハ申シマセス、日本デモ、文明ノ進歩ニ伴ヒ、アア云フモノハ多々益々必要ナモノデアリマスケレドモ、唯此ノ事變ノ間ダケハ、之ニ穀物ヲ作ルヤウニシタラドウカ、紳士ガ「クラブ」ヲ揮ル代リニ、鐵ヲ持ツテ耕シテ見ルコトモ面白イコトデハナカラウカ、「キヤデー」ニ日傘ヲ持タセテ、悠遊歩シテ居ラレルアノ紳士ノ姿ヲ「ゴルフ」場外デ耕ヤシテ居ル農民ガ見マス、餘



リ好イ氣持ハスマイ、又汽車ノ内デモ、若イ人ガアノ大キナ荷物ヲ傍若無人ニ持ツテ居ルコトニ對シテ、餘リ愉快ナ感ジハ持タス人ガ多イノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此ノ事變中ダケハ、之ニ作物ヲ作ラシメテ、ゴルフデ遊バ代リニ、額ニ汗シテ穀物ヲ耕作シ、百姓ノ辛苦ヲ沁々味ツテ見ルコトハ、此ノ時局下ニ於ケル紳士トシテ、心懸クベキ一ツノ修養ダト私ハ思フ、(「ヒヤヒヤ」)ソコデ是ノ具體的ノ方法トシテハ、農林大臣ガ各俱樂部ノ世話人ヲ集メテ、此ノ國家ノ大目的ニ協力シヨウデハナイカト、アナタノ得意ナ辯舌ヲ以テ御勸メニナレバ、少クトモ國民ハ皆得心スルダラウト思ヒマス、サウ云フコトヲ御ヤリニナル御考ハナイカ、此ノ前ノ世界大戰ノ時ニハ、英國デハ帝室附屬ノ「ゴルフ」場ハ勿論「テニス」コト「マデモ潰シテ、麥ヲ播イタコトハ恐ラク御存ジデアリマセウ、佛蘭西ハ砲兵ノ馬マデ返シテ、耕作ニ從事シタト云フコトデアリマス、是ハ農林大臣ノ一投足ノ勞デ出來ルコトデアリマスガ、一ツヤツテ見ル心持ガアリマスガ、アリマセウカ

○島田國務大臣 只今堤君ノ御述ニナツタ氣持ハ、私ハ非常ニ同感ニ考ヘマス、私自身モ拙イ「ゴルフ」ヲヤル一人デアリマスガ、私ハ下手ナ爲ニ殆ド行ツタコトハアリマセウ、アリマセウガ、併シアノ廣イ「ゴルフ」ノ場所ガ、何カノ動機デ生産的ニ利用スルコトガ出來ルコトハ、決シテ惡イコトデハナイト考ヘマス、但シ是ハ經營者其ノ他色々關係モアリマスカラ、十分考ヘテ見タイト思ヒマス

尚ホ此ノ機會ニ先程堤君ノ御述ニナリマシタ輸出生絲ト國用生絲ノ關係、ソレカラ米

ハ世界的ノ商品デアルカラ、外米ノコトニ付テ十分注意ヲスルヤウニト云フコトハ、政府トシテモ氣付イテ、此ノ事ニ既ニ考ヲ及ボシテ居リマスケレドモ、此ノ御注意ハ謹ンデ承ツテ、之ヲ實行ニ移スヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○堤委員 俱樂部ノ幹事ヲ呼ンデ御話ヲシテ、若シ聽カレナイト農相ノ面目ニモ關スルト思ツテ、大事ヲ御取リニナツタト思フコトデアリマスガ、農林大臣ハ時局ノ重大ナコトヲ考ヘテ、必ズ是ハ御ヤリニナルダラウト云フ期待ヲ持ツテ、私ハ是ハ此ノ邊デ止メテ置キマス

ソレカラ到ル處ニ澤山ナ空地ガアリマス、恐ラク此ノ草叢ヲシテ居リマスル空地ハ、何十町歩ニ及ブカモ知レス、實ニ是ハ廣大ナモノデアリマスガ、ナゼアノ土地ガ空シタケラレテ居ルカト云ヒマスト、是ハ農地調整法ノ一ツノ缺點ナシデス、借リル人ガアレバ貸シタイ、併シ一旦貸シタラ、農地調整法ニ依ツテモウ中々取返スコトガ出來ナイ、私ハ能ク知ツテ居リマスガ、東京府下デ十町歩程ノ空地ヲ一年一反歩十圓ノ小作料デ貸シテ、翌年必要ガアツテ之ヲ取返サウトシタ所ガ、二十年分ノ小作料ニ相當スル雜作物ヲ寄越セト言ツタ、ソコデ是ガ調停裁判トナツタ、東京府ノ一ノ名前モハツキリ申上ゲマスガ、池田ト云フ小作官ガ出テ來タ、所ガ法廷ノ内ニ「マルクス」ノ本ヲ持込シテ、社會組織ヲ論ジ、經濟組織ヲ論ジ、是ハ始末ニ負ヘナイ、ソコデ到頭諦メテ、結局十年分ノ小作料ト同ジ額ヲ雜作物トシテ拂ツテ、反百圓宛ノ損害ヲ出シテ、ヤツト辯護士ヲ入レテ解決シタト云フヤウナ事例ガ方々ニ澤山

アル、ソコデ農地調整法デ一旦貸シタラ、必要ノ時ニ取返セナイト云フノデ、空シク空ケテ居ル、之ヲ臨時ニ使ハセル方法ヲ講ズルコトガ必要ダ、又相當ナ實力ノアル者ノ申込ニ對シテハ、拒ムコトノ出來ナイ義務ヲ地主ニ負ハスト同時ニ豆トカ麥トカ、其ノ作物ヲ收穫シテシマツタナラバ、雜作物無シテ地主ニ返セ、其ノ代リ小作料ハ普通ノ小作料ノ半分ニスルトカ何トカ、適當ナ方法ヲ講ゼラレマシタナラバ、必ズ私ハ空地ガ利用シ得ラレルト思フノデアリマシテ、食糧對策ノ大イナル役割ヲ演ズルト思フノデアリマス、農林大臣ハ法律家デモアラレマスカラ、此ノ點ハ如何様ナ御考デゴザイマセウカ

○島田國務大臣 只今ノ御話ハ結構ナコトデアリ、又遊園地ヲ利用スルコトハ、前カラ研究サレテ居リマスガ、御説ノヤウナ不便ガソコニアルト云フコトハ、確ニ背カレル點デアリマスカラ、研究致シマス

○堤委員 ソレカラ大藏大臣ガオキデデアリマセウカラ、政務次官デモ……

○三土委員長 大藏省ノ政府委員ハ居ラレマスガ、何デスカ

○三土委員長 チョット居リマセウガ……

○堤委員 デハ主計局長デモ(笑聲)十四年度ニ政府ハ六千八百九十町歩ト云フ穀物ノ作

レ立派ナ畑ヲ潰シテ煙草ノ増産ヲセラレタノデアリマス、所ガ十五年度ニ於テモ、專賣局ノ豫算デハ六千七百一十町歩殖ヤスコトニナツテ居ル、食糧對策ト云フコトデアリマス、食糧對策ト云フコトデアリマス、食糧對策ト云フコトデアリマス、食糧對策ト云フコトデアリマス

○谷口政府委員 只今堤君ノ御話デアリマスガ、煙草ノ方モ外國ノ葉煙草ヲ使ヒマセウデ、詰リ外國カラノ輸入ヲ成ベク控ヘマシテ、内地産ノモノデ間ニ合ハセタイト云フ要求モ一方ニアリマスル爲ニ、御話ノヤウナ増産ト云フ問題ガ起ツタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ當時專賣局ノ方デモ農林省ノ方ト能ク御相談ヲ致シマシテ、其ノ程度ノモノヲ煙草ノ方ニ廻スト云フコトニ付テヨク御話ヲシタコトガアツタヤウニ私記憶ヲ致スノデアリマス、但シ只今御

ビラヲブラ下ゲテ居ル、專賣局デハ昨年六千八百九十町歩、本年又六千七百一十歩、良イ畑ヲ潰シテ煙草ヲ栽培シヨウトシテ居ル、私ハ此ノ事變ニ於テハ煙草コソ少クシテ、穀物ノ方ニ向ケナケレバナラヌ、煙草ハ多ク作ラナクテモ宜イ、輸出ノ分量ハ微々タルモノデ、大部分ハ國內消費ニ向ケラレテ居ルノデアリ、獨逸デハ戰争ト同時ニ煙草ニ葉櫻ヲ二割混入スルコトニシテ居ル、之ニ付テハドウ云フ御考デアリマセウカ、煙草ノ輸出ハ極ク微々タルモノト思ツテ居リマスガ、輸出シテ居ルトシテモ、ドノ位ノ數字ニナルカ、恐ラク六千町歩ト云フ畑ヲ潰シテ煙草ニスルト云フ大部分ハ國內消費ニ向フノデアラウト思フノデアリマス、サウスルト實ニ矛盾シタ國策ダト思フノデアリマスガ、農林大臣ハ是ハ如何ニ御考ヘニナリマスガ

○島田國務大臣 御話ノ御趣意ハ尤モノヤウニ思ヒマスケレドモ、煙草ノ耕作面積其ノ他ノ關係ニ付テハ的確ニ今私トシテ申上ゲルコトハ出來マセウ、御趣意ハ御尤モノヤウニ考ヘマス

(「煙草ハ短期作ダカラ米トハ關係シナイヨ」ト呼フ者アリ)

○谷口政府委員 只今堤君ノ御話デアリマスガ、煙草ノ方モ外國ノ葉煙草ヲ使ヒマセウデ、詰リ外國カラノ輸入ヲ成ベク控ヘマシテ、内地産ノモノデ間ニ合ハセタイト云フ要求モ一方ニアリマスル爲ニ、御話ノヤウナ増産ト云フ問題ガ起ツタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ當時專賣局ノ方デモ農林省ノ方ト能ク御相談ヲ致シマシテ、其ノ程度ノモノヲ煙草ノ方ニ廻スト云フコトニ付テヨク御話ヲシタコトガアツタヤウニ私記憶ヲ致スノデアリマス、但シ只今御

話ニナリマシタ煙草ノ輸出方今日ドノ程度ニナツテ居リマスガ、其ノ他御話ノ御尤モノ點等ニ付キマシテ、當該專賣局ノ方ニ話ヲ致シマシテ、更ニ研究ヲ致スヤウニ致シタイト思ヒマス

○堤委員 煙草ハ短期作ダカラ米ト影響セヌトカ云フヤウナ言葉ヲ何處カラカ聴キマシタガ、私モ子供ノ時ニハマダ煙草ヲ作ツテ居リマシタカラ、自カラ煙草耕作ノ經驗ヲ持ツテ居リマス、煙草ト云フモノヲ作ツテ居リマスル其ノ期間ハ、雜穀ヲ作り得ラレスノデアリマスカラ、良キ畑ヲ煙草ニ潰セバ、ソレダケノ穀物ノ生産方減ルト云フコトハ、是ハ普通ノ常識デ、誰デモ體驗ガナクテモ分ルコトダト思フデアリマス、兎ニ角ソレガ輸出ニ向フ金額ト觀合セテ、サウ云フ矛盾シタコトノナイヤウ農林大臣ハ大藏省ト能ク御交渉ニナリマシテ、此ノ點ハ善處セラレンコトヲ希望致シタイト思フデアリマス

ソレカラ今度ハ逓信大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、委員長、總理大臣ハ何時頃御出席下サイマスカ

○三士委員長 總理大臣ハ税法ノ方ニ行ツテ居リマスカラ……

○堤委員 一ツ請求シテ戴キタイ、ソレカラ逓信大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、發送電ノ今ノ此ノ不始末、是ハモウ何トモ言フニ忍ビナイ状態デアルガ、此ノ先ヲ亦ドウスル、今ハ目前ノ石炭ニ忙殺セラレテ居ル、此ノ先ドウスル、モウ來年カラ大變ナ問題方起ツテ來ル、ト云フノハ現在水力ヲ四十五万「キロ」ソレカラ火力ヲ三十八万「キロ」ヤツテ居リマス、毎年二億五千万圓位ノ新シイ資金ガ要ルノデアリマス、是ハ

社債ノ發行ニ依ツテ之ヲ賄ツテ行カケレバナリマセスガ、發送電ハ六分五厘、七分ノ配當ヲスルト云ツテ置キナガラ、現在四分デアル、今度ハ又赤字デアル、幾ラ政府ノ息ガ掛ツテ居リマシテモ、赤字ノ會社、而シテ株式ガ額面ヲ割ツテ居ルヤウナ會社ノ社債ニ應募スル者ハ、是ハ殆ンドアルマ、滿鐵ガアレダケノ國策會社デアリマシタケレドモ、額面ヲ割ツテ居リマスル當時ハ、長ク社債ニ苦シンダノデアリマスカラ、是ハ何トカ根本的ノ對策ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマスルガ、ドウ御考デアリマスカ

○勝國務大臣 發送電ノ社債ノコトデアリマスガ、是ハ今日マデノ經過ニ依ルト、四分二厘、九十五圓五十錢ト云フ所デ、至極滑カニ行ツテ居ルノデアリマス、尙ホ是ハ御承知ノ通り政府ノ支拂保證モアリマスカラ、理論トシテハ宜シイ譯デアリマスガ、又實際ハ左様ニモ參ラス所ガアリマスカトハ堤君ノ仰セノ通デアリマス、尙ホ是ガ將來ニ付キマシテハ相當考慮ヲシテ見タイト思ヒマス

○堤委員 現在ノ石炭關係デモ、是ハ相當考慮シツツ今日ノ醜態ヲ暴露セラレタト思フデアリマス、其ノ根本ノ問題ヲ早ク御解決ニナリマセスト、明年カラ其ノ電力工事ハ中止シナケレバナラスコトニナリマスルカラ、連ニ是ハ對策ヲ講ゼラルル必要ガアルト私ハ思フ、ソレカラ總理大臣ガオ見エデアリマセスカラ、此ノ點ヲ後ニ廻シマス

引續イテ已ムヲ得ナイカラ他ノ大臣カラ御答辯ヲ伺フコトニ致シマスガ、大體斯ウ物ノ逼迫シテ居リマスル時ニハ、一ノ資材ヲ十二使フト云フコトヲ考ヘナケレバナラナイ、世界戰爭ノ時ニ獨逸デ火藥ガナクナツタノデ空氣カラ火藥ヲ取ルコトヲ「ハーバー」博士ガ發明シタガ、私ハ水ヲ十分ニ利用シテ、是ガ石炭ノ代リニナルヤウニ考ヘテ行カケレバナルマイト思フ、ソレハドウスルカト云フト、水ヲ大切ニスル、洪水ニ一時ニドツト出テ來ル水ヲ「ダム」ヲ拵ヘテ「ダム」ニ之ヲ貯ヘテ洪水時ニ落ス、ソナコトハ何モ發明チヤナイチヤナイカ、今ヤツテ居ルチヤナイカト云ハレルカモ知レナイガ、今日マデ朝鮮ニハ野口ト云フ大事業者ガ大變大キナ「ダム」ヲ拵ヘマシテ大規模ノ水力電氣ヲヤツテ居ルコトヲ聞イテ居ル、庄川電氣ノ「ダム」モ相當大キナモノト聞イテ居ル、併シナガラ是等ハ何レモ經濟的ニ算盤ヲ採ツテ別合フモノダケニ止マツテ居ル、ソコデ「ダム」ダケデハ是ハ合ハナイト云フノガ實情ナシテアル、ソコデドウカト云フト、大水ノ時ニハ日本ハドツト洪水ガ流レル、其ノ洪水ノ被害ハ年々一億、昭和九年ニハ五億三千七百萬圓ノ被害方起ツタ、十年ニハ三億二千二百萬圓ノ洪水ノ被害デアル、此ノ洪水ト云フモノハドウカト云フト、水ト云フ天カラ賜ハツタ所ノ寶ガ國富ヲ流シテ行ク禍ナンデアアル、デアリマスカラ、之ヲ「ダム」ニ一時抑留スル、サウシテ之ヲ有用ニ出スト云フコトヲシナケレバナラス、ソレガ出來ルカ、ソレガ現在農林省ノ所管ノ「ダム」ハ、水力電氣ノ目的ヲソコヘ入レルト補助金ハ與レマセス、デアリマスカラ農林省ノ「ダム」ト逓信省ノ「ダム」トハ別キニナツテ居ル、ソコデ逓信省ノ「ダム」ニ農林省ノ補助金ヲソコヘ加ヘテヤツテ、其ノ尻ノ水

ヲ灌溉用水ニ使フト云フコトニナレバ、是ハ出來ルノデアアル、大體日本ハ溪谷ノ多イ國デアリマスカラ、到ル所ニ「ダム」ガ出來ル、到ル所ニ出來ルガ故ニ之ヲ粗末ニシテ居ル、亞米利加邊リハ非常ニ「ダム」ヲ造ル場所ト云フモノヲ尊重シテ居リマシテ、「コロラド」河ト云フノハ溪谷デ世界的ニ有名ナ川デアリマスガ、「コロンバ」ガ失業救済ノ時ニ大キナ「ダム」ヲ拵ヘタ、堰堤ノ高サハ七百三十尺ニ及ビ、延長百二十哩デ、電氣ガ百五万「キロ」カラ起ツテ居ル、之ニ對シテ補助金ヲ一億七千万弗カラ出シテ居ル、「ダム」ヲ拵ヘル場所ガアレバ決シテ逃ガサイ、曾テ英吉利ガ「エチオピア」ニ對シテ眞劍ニナツタノハ、「エチオピア」ハ半年雨ガ降ツテ半年旱魃デアル、「ツア」湖ガ自然ノ貯水池トナツテ、ソレガ「ナイル」河ニ流レテ「エジプト」ノ棉花ヲ潤ホシテ居ツタガ、是ガ足りナイカラ大キナ「ダム」ヲ「エチオピア」ニ作りタイト云フコトガ眞劍ニナツタ理由ノ一ツデアルト云フコトガ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、外國デハ此ノ「ダム」ヲ造ル場所ヲ非常ニ大事ニシマスガ、日本ハ到ル處ニアル、到ル處ニアルカラ粗末ニシテ居ル、之ヲ綜合的ニ計畫ヲ立テテ、水害ノ爲ニ失ハレル國費ノコトモ觀ミ合セテ、此ノ溪谷ニ差當ツテ「ダム」ヲ造ツテ行クヤウニシタナラバ、私ハ此ノ對策ハ數年後ニハ必ズ效果ガ起ツテ來ルト思フ、今目前ハ仕方ガアリマセスカラ、石炭デ火力ヲ起シテ電氣ヲ補フノデアリマスガ、一寸餘裕ガ出來マシタナラバ、此ノ石炭ヲ直接焚ク代リニ、「セメント」ヲ造ツテ「ダム」ヲ造リ、サウシテ洪水ノ用意ト、ソレカラ灌溉用水ト、發電所ト、尙ホソコデ養魚モ出來ルト云フ譯デ、

一舉四得ト云フコトニナルデアリマス  
 ラ、此ノ點ハ一ツ綜合的ニ計畫ヲ御立テニ  
 ナルコトガ必要デアアル、私ノ郷里ノ犬上川  
 ト云フ所デ大キナ一ツノ「ダム」ヲ拵ヘテ、  
 ソコデ水力電氣ヲ兼テヤラウト思ツテ計  
 畫ヲ立テマシタ所ガ、ソレヲ水力電氣ニ利  
 用スルト四割ノ補助金ハヤラナイト云フ、  
 大體「ダム」ハ農林省ノ四割ノ補助ト、ソレカ  
 ラ府縣ノ一二割ノ補助ト、アトハ地元負擔  
 金デ此ノ「ダム」ガ出來テ居ルノデアリマス  
 カラ、是ノ綜合的ノ計畫ヲ立テタナラバ必  
 ズ是ハ出來ル、是ハ私ハ是非ヤラナケレバ  
 ナラス問題ダト思ヒマスガ、逕信大臣ト農  
 林大臣ト御兩所カラ御答辯ヲ承リタイ、是  
 ハ大問題デアリマスカラ、總理大臣ニ答辯  
 ヲ促スベキデアリマスガ、已ムヲ得マセヌ  
 カラ、兩大臣カラ御説明ヲ願ヒタイ

○勝國務大臣 御尤モナ御話デゴザイマシ  
 タガ、實ハ水源ノ第三次ノ調査ト云フモノ  
 ヲ五年計畫ヲ以テ、昨年ノ豫算カラ頭ヲ出  
 シテ、金額ハ幾ラデシタカ一寸記憶シテ居  
 リマセヌガ、是ハ内務省其ノ他ト聯合シテ、  
 稍、大規模ノ水力源ノ調査ヲ始メテ居リマス、  
 ソレニ付キマシテ今御述ベニナツタヤウナ  
 コトモ併セテ考慮シテ居リマス

○島田國務大臣 農業用ノ「ダム」ト電力用  
 ノ「ダム」ノ關係ニ付テ綜合的ニ考ヘロト云  
 フコトハ御尤モデアリマス、是ハ溜池等バカ  
 リデハナク、他ノ關係ニ於キマシテモ、各  
 省ノ間ニ綜合的ノ施設ヲ行フ所ノ必要ナモ  
 ノガ非常ニ多クアルヤウニ考ヘマスカラ、  
 此ノ考ヘ方ノ方向トシテハ私ハ之ヲ尤モダ  
 ト考ヘマス、尙ホ此ノ事ニ付キマシテハ將  
 來ノ計畫ニ付キマシテ十分考慮ヲ致シタイ  
 ト思ヒマス

○堤委員 只今逕信大臣カラ川ノ調査ヲシ  
 テ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、多分  
 是ハ事務當局カラ教ツテ御答辯ニナツタト  
 思フノデアリマスガ、私ハサウ云フ形式  
 ノコトヲ言フノデハナイ、ソレハ逕信大臣  
 ノ仰セノ如ク河水調査協議會ト云フモノガ  
 出來マシテ、昭和十二年カラ豫算ヲ取ツテ、  
 各省カラ幾ラカ持寄ツテ、今ノ右渡書記官  
 長ガ大變熱心ニ之ヲ主張サレテ綜合的調査  
 ヲヤツテ居ルサウデアアル、併シナガラ出來  
 タモノハ何カト云フト、雨水ノ調査、河流ノ調  
 査ナド極ク基本的ノモノニ三年モ掛ツテ、サ  
 ウシテソレモ極ク一部分ノモノデアアル、  
 ウカト云フト、各省ノ技師ガ集ツテ毎日講  
 論バカリシテ居ルカラ逆モ是ハ纏リハシナ  
 イ、大體事務當局デモ各省集リマスト中々  
 一致セヌモノデスガ、技術家ト云フモノハ  
 モウ一ツ強情ナモノデアリマスカラ、到底  
 是ハ一致スルモノデハナイ、私ハサウ云フ  
 事務的ノ答辯、此ノ大問題ヲ事務當局カラ  
 聽イテサウ云フ形式ノ答辯ヲセラルルト  
 云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フ、此ノ事ハ私ハ  
 餘程眞劍ニ考ヘナケレバナラヌト思フ、誠  
 意アル御答辯ヲ願ヒタイ

○勝國務大臣 調査ガアルノデス、詳シク  
 政府委員カラ答辯サセマス

○平井出政府委員 御答ヲ致シマス、逕信  
 大臣ヨリ御答辯ノアリマシタノハ、主トシ  
 テ水力電氣ヲ起スト云フ觀點カラシマシテ、  
 水力電氣ノ水力調査ヲ、第三次ヲヤツテ居  
 リマス、其ノ外ニ堤サンヨリ御話ノアリマ  
 シタ所ノ、企畫院ガ中心トナリマシテ、關  
 係各省ノ者ガ寄ツテ河水統制ノ協議會ヲ開  
 キマシテ——御話ニ依リマスト、頗ル協調  
 ガ十分デナイヤウナ御話デアリマシタガ、

御承知ノ通り昨年ヨリ電力ノ國家管理方成  
 リ立チ、其ノ以後ニ於キマシテハ、河川ヲ  
 最モ有效ニ利用スル爲ニ、單ニ電氣バカリ  
 デナク治水、灌漑、有エル方面カラ見テ此  
 ノ河川ヲ如何ニ處理スルノガ一番宜イノカ  
 ト云フコトニ付キマシテ、各省連絡ヲ取り  
 マシテ、常ニ協調ガ保タレテ、其ノ計畫ニ  
 基イテ今日デハ治水、灌漑、發電、著々進  
 行シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○堤委員 今私ノ言ウタコトヲ繰返シテ居  
 ラレルニ過ギナイ、サウ云フ事務的ノコト  
 ヲ私ハ言フノデハナイ、是ハ逕信大臣ハ國  
 務大臣トシテ考ヘテ貫ヒタイ、此ノ水ガ洪  
 水ニ依ツテ禍サレテ居ル、ソレヲ「ダム」ヲ  
 拵ヘテ利用スルト云フコトガ必要ナノデア  
 ル、是ハ國策トシテ必要ナノデアアル、デア  
 リマスカラ、是ハ逕信大臣ガヤラウト思ヘ  
 バ直グ出來ル、ト云フノハ發送電會社ヲシ  
 テ其ノ經營ノ主體ヲラシムル、サウシテ發  
 送電會社ハ「ダム」ヲ拵ヘルガ、其ノ水ハ農林  
 省所轄ノ灌漑用水ニスル、ソレデ農林省カ  
 ラドレダケ金ヲ出セ、又之ニ依ツテ洪水ガ  
 ナクナリ、河川ノ改修費ガ助カルカラ内務  
 省カラモ、是ダケ補助ヲシテ與レト云フ風  
 ニ、逕信大臣ガ主トシテ仕事ヲスルト云フ  
 考デ働キ掛ケテ行ケバ出來ルモノデアアル、  
 調査々々ト云ウテ居ツタラ、マダ二三十年  
 掛ツテモ基本調査モ出來ナイ、是ハ決マリ  
 切ツテ居ル、現ニ十二年、十三年、十四年  
 ノ三年掛ツテ何處ガ出來タカ、恐ラタ出來  
 テ居ナイ、私ハ能ク知ツテ居ル、ソシナコ  
 トデハイカス、是ハ國務大臣トシテノ國策  
 ニ對シテノアナタノ信念ヲ此處デ御述ベニ  
 ナルコトガ必要デアアル

○勝國務大臣 堤君ノ御考ヘ方ハ贊成デ  
 ス、唯今ハ何モシテ居ラヌト云フノデハナ  
 ク、アナタノ眞ニ御述ベニナツタ調査ト、  
 今度電力國家管理ガ始ツテ以來、電力源ヲ  
 得ル爲ニ河川ノ根本的調査ヲ亦始メタノデ  
 ス、ソレガ一ツアルト云フコトデス、其ノ  
 爲ニアナタノ提案ヲ否認スル譯デハナイ、  
 ソレモアリマス、尙ホアナタノ御述ベノコ  
 トハ十分考慮致シマス

○堤委員 眞劍ニナルト云フ決心ヲ持ツテ  
 考慮シナサイ、是レ以上問ウタ所デ仕方ガ  
 ナイ

○勝國務大臣 只今ノコトハ十分考慮致シ  
 テ置キマス

○堤委員 眞劍ニナルト云フ決心ヲ持ツテ  
 考慮シナサイ、是レ以上問ウタ所デ仕方ガ  
 ナイ

○勝國務大臣 只今ノコトハ十分考慮致シ  
 テ置キマス

ソレカラ私ハ商工大臣ニ是ハ極メテ重大  
ナ御事ヲシタイノデアリマス、發送電ノ石  
炭ガ不足シテ居ルト云フノデ、政府ハ三菱  
ヲ通ジテ加奈陀ノ太平洋岸ノ「ナナイモ」カ  
ラ五万噸、ソレカラ三井ヲ通ジテ印度ノ「カ  
ルカッタ」カラ五万噸、合せて十萬噸ノ外國  
炭ヲ輸入スルコトニ御決定ニナツタヤウデ  
アリマス、是ハ神戸ノ新聞ニモ出テ居リ  
マスルシ、昨日ノ朝日新聞ニモ其ノ一部分  
ノコトガ一寸記載サレテ居ツタノデアリマ  
スガ、其ノ値段ハ内地著方外國ノ船ヲ使ヒ  
マスルト一噸六十四圓ニ付ク、現在石炭ハ一  
噸二十五圓ト致シマスルト、十萬噸ニ付テ  
三百九十萬圓ノ損ニナル、斯ウ云フエライ  
經濟ヲ無視シテ價格ヲ輸入セラルルト聞及  
ンデ居リマスガ、是ハ事實デアリマセウカ  
如何デアリマセウカ

○藤原國務大臣 堤君ニ御答致シマス、大

體ニ於テ事實デゴザイマス、其ノ事實ヲ御  
諒解ノ出來マスヤウニ少シク詳細ニ申上ゲ  
タイト思ヒマス、日本發送電ガアレダケノ  
多量ノ石炭ヲ日々消費致シテ居ルニモ拘ラ  
ズ、少シモ貯炭ヲ持ツテ居リマセヌ、ソレ  
ガ爲ニ海上ノ風波其ノ他ノ故障ノ爲ニ若シ  
石炭船ガ入著方遅レルト云フヤウナコトガ  
アレバ、直ニ火力發電ヲ停止スルカ、又ハ  
發電ヲ制限シテ、爲ニ關西方面ノ國民生活  
ニ非常ナ脅威ヲ與ヘ、非常ナ不便ヲ與ヘ  
ル、同時ニ産業上ニ非常ナ支障ヲ來シテ居  
ルト云フヤウナ現状ハ、新聞紙上ニ於テ既  
ニ御承知ノ通りデアリマス、所デ之ヲ何ト  
カシテ一日モ早く救済シテ國民ノ此ノ苦痛  
ヲ少クシ、同時ニ産業ノ阻碍ヲ減少スルト  
云フコトガ目下ノ焦眉ノ急務デアルト存ジ  
マシテ、是ガ應急策トシテ第一ニ考ヘマシ

タノハ、石炭當業者ヲシテ、出來ルダケ  
ノ——無理デハアルケレドモ、此ノ時局ニ  
協力スルト云フ意味ヲ以テ至急ニ此ノ不足  
ノ石炭ヲ發送電ニ供給セシムル、是ガ一番  
早ク役ニ立ツコトヲ思ヒマシテ、當業者  
ヲ呼ビマシテ逕信大臣ト共ニ懇談シタ、其  
ノ時ノ計算ニ依リマス、二月分ノ石炭ノ  
不足高ハ十六萬噸ト云フコトデアリマシタ  
カラ、此ノ十六萬噸ヲ昭和系ノ石炭業者ニ  
分擔シテ、之ヲ急ニ發送電ニ供給シテ其ノ  
發送電ノ不足ヲ補フ、先ヅ以テサウ云フヤ  
ウナ方針ヲ立テマシタ、所方其ノ方針ヲ立  
テテ實行シテ參リマシタケレドモ、兎ニ角  
此ノ十六萬噸ノ石炭、マダ其ノ外ノ豫定ノ  
石炭ヲ合計シテ六十萬噸トカ七十萬噸ト云  
フヤウナ數字ニナル、其ノ石炭ガ中々到着  
致シマセヌ、ソレガ爲ニ大阪地方ノ民有ノ  
石炭ヲ拜借シテ、一時此ノ發送電ヲ助ケテ  
發送電ノ電氣ノ供給ヲ滑カニスルト云フヤ  
ウナ方法ヲ講ジマシタ、所方大阪方面及ビ  
其ノ他附近ノ地方ニ於キマシテ、十分ナ貯  
炭ガアリマセヌ、ソレト又同時ニ昨年來度  
度大阪府知事ノ名前等ニ依ツテ、地方ノ石  
炭ヲ所有シテ居ル者カラ拜借シテ、發送  
電ニ石炭ヲ供給致シマシタケレドモ、之ヲ  
返却スルト云フコトガ不可能デアツタ爲  
ニ、尙更民有ノ石炭ヲ借りテ此ノ發送電ノ  
急ヲ救フト云フヤウナコトガ不可能ニナツ  
テ參リマシタト云フヤウナ色々ノ事情ガア  
リマシタガ爲ニ、ドウシテモ是ハ此ノ儘ニ  
ハ捨テ置タ譯ニ行カス、之ヲ此ノ儘ニシテ  
置キマシタナラバ、單ニ發送電ノ電力ノ減  
少ノ爲ニ生産事業ニ影響ヲ及ボストカ、國  
民生活ニ困難ヲ與ヘルトカ云フバカリデナ  
クシテ、モウ少シ重大ナ問題ニナルカモ知レ

ナイト云フヤウナ懸念モ抱キマシタ、ソレ  
故ニ斯ウ云フ場合ニハ、モウ金錢ヲ超越シタ  
手段ヲ講ズルコトガ必要デアル、斯ウ云フ  
コトヲ考ヘマシタ、御承知ノ通り私ハ金ヲ餘  
計ニ使ヘ、モウ少シ奮發シテ金ヲ使ヘト仰  
シヤツテモ、無用ノ金ヲ使フヤウナ人間デ  
ハナイト存ジマス(笑聲)併シ此ノ場合ニハ大  
膽ニ國家ノ爲ニ金錢ヲ超越シタ手段ヲ講ズ  
ルコトガ必要デアル、斯ウ存ジマシテ色々  
考ヘマシタ、其ノ次ニモウ一ツ考ヘマシタ  
ノハ、今マデ政府ニ於テ拵ヘマシタ數字ハ、  
兎角實際ニ於テハ實行ガ不可能ノ數字ガ多  
クデアリマシテ、紙ノ上ニ於テ作リマシ  
タ豫定長ハ、動モスレバ事實ニ違フノデア  
リマス、故ニ二月中ニ十六萬噸ノ石炭ガ來  
レバ二月ハ大丈夫ト云フ計算ハ出ルケレ  
ドモ、其ノ計算ガ若シ實行ガ不可能デアルト  
云フコトニナレバ、是ハ大變ナ問題デアル、  
又三月ニナレバ雪解ケニモナルシ、段々ニ  
石炭ノ需要モ少クナル、此ノ計算デ行ケバ  
大丈夫ダ、四月ニナレバ尙ホ大丈夫ダ、斯  
ウ云フヤウナ數字ハ出テ居リマスガ、併シ  
果シテ大丈夫デアリウカ、大丈夫デナイカ、  
三月ニナツテモ、又古今未嘗有ノ、何十年  
ト曾テナカツタヤウナ渾水ガ積タカモ知レ  
ナイ、又ソレナ故障ガ起テストモ限リマセ  
ヌ、天災、不可抗力其ノ他ノ故障ガ起ラス  
トモ限リマセヌ、サウ云フコトヲ考ヘテ見  
レバ、政府デ調整シタ所ノ數字上ノ統計  
ハ、差引勘定デ先ヅ好都合ニ動クト云ツ  
テ茲ニ表ハシテ居ルケレドモ、是ガ實行  
ガ不可能ノ場合ニハ其ノ儘ニ捨テ置ク譯ニ  
モ參リマセヌカラ、斯ウ云フ際ニハモウ算  
盤ヲ超越シテ一ツ斯ウ云フコトデモシテ見  
ルコトガ宜カラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘタ

譯デアリマス

○堤委員 是ハ事務出身ノ大臣カラ此ノ御

答辯ヲ伺フナラバ、アリサウナコトト思ヒ  
マスルガ、實際家トシテ百戰往來ノ藤原商  
相カラ此ノ説明ヲ聽クコトハ、私ハ甚ダ意  
外ニ思フ、焦眉ノ急ニ迫ツテ居ルカラ、金  
錢ニ換ヘラレナク入レタ、其ノ金錢モ十萬  
噸ニ對シテ三百九十萬圓ト云フ血ノ出ルヤ  
ウナ金貨ヲ外國ニ拂ハナケレバナラス、發  
送電ノ一年四百萬噸ニ對シテ十萬噸、極ク  
微々タルモノデアル、ソレカラ又、發送電  
及ビ逕信當局、石炭ノ主務官廳デアル商工  
當局ガ何ト云フ情ケナイ無能ナ方々デア  
ルカ、實際私ハ涙ガ滯レル、此ノ馬鹿々々シ  
イ値段デ外國カラ買フ、金ダケノ損チヤア  
リマセヌ、太平洋岸ノ加奈陀カラ、英領印  
度ノ「カルカッタ」カラ、ソレナ所カラコンナ  
馬鹿氣々値段デ石炭ヲ買ヒマシタナラバ、  
日本ハ愈々資源ニ行詰ツタト思ハレヤシマ  
セヌカ、此ノ事ヲ御考ヘニナツタカドウカ、  
是ハ私ハ由々シキ問題デアル、ソレハ足ラ  
ヌノハ何モ石炭ダケデハナイ、外ノ物デ代  
用シタラドウカ、重油デ代用シタラドウカ、  
重油ヲ買フト云フコトハ不思議デアアリマ  
セヌ、日本ハドウセ足リナイモノダ、斯ウ  
思ツテ居ル、是ハ眼ニ立タナイ、日本ガ英  
領印度カラ、加奈陀カラ算盤ヲ超越シタ値  
段デ石炭ヲ十萬噸買ツタト云フコトハ、是  
ハ大イナル外交上ノ影響ヲ來シテ來ルト思  
フ、ソレカラ焦眉ノ急ニ應ズルト言ハレマ  
スケレドモ、是ガ注射藥トシタコロガ、  
二三箇月後デナケレバ此ノ注射ハ利キハシ  
ナイ、サウシテ現在其ノ石炭ハ何處ニモ無  
イカ、専門家ノ見ル所ニ依ルト泰皇島ニハ  
四十萬噸ノ石炭ガ氷ニ閉サレテ居ル、北海

道ニハ六十萬噸ノ石炭ガ雪ヲ被ツテ居ル、ソレハ秦皇島ノ石炭ヲ碎氷船ヲ使ツテ石炭ヲ出スト云フヤウナコトハ前代未聞デアリマセウ、北海道ノ雪ヲ撤除ケテ北海道ノ石炭ヲ出スト云フヤウナコトモ前代未聞デアリマス、併シ此ノ位選信商工兩當局ノ無能ナルコトモ私ハ前代未聞デアルト思フ、此ノ前代未聞ノコトヲ處理スル爲ニハ、サウ云フ前代未聞ノ處理方法ガアルノデハナイカ、北海道ノ雪ヲ撤除ケテ出シタ石炭ニ拂フ金ハ紙幣拂フガ、一方ハ正金拂ハナケレバナラス、是ハ非常ナ困難デアル、ソレカラ又「コロリー」ヲ計算スルト、重油ヲ焚イタ方ガ宜イ、重油ヲ焚ケヌ船モアリマセウ、然ラバ重油ト石炭ヲ兼用シテ居ルモノニ振替ヲ付ケレバ、サウ云フコトハ直グ出來ル、是ハ實際家ノ藤原商相ニハ能ク御分リノ筈デアル、「コロリー」ノ計算ヲ出シタカドウカト云フコトト、北海道ヲ秦皇島ノ石炭ニ對シテ、非常手段ヲ講ズルコトヲ考ヘタカドウカ、餘リ長クナラヌヤウニ、極ク簡單ニ商相ニ御答願ヒタイ

○藤原國務大臣 秦皇島ノ石炭モ、青島ノ石炭モ、滿洲ノ石炭モ、北海道ノ石炭モ、樺太ノ石炭モ、甚ダ何ンデアリマスケレドモ、皆調査ヲ致シマシタ、皆研究ヲシテ、其ノ上ニ斯ウ云フコトヲ斷行スルコトヲ必要ト信ジテ決行シタ次第デアリマス、ソレカラモウ一ツ重大ナコトヲ附加ヘテ置キタイノハ、此ノ石炭ハ二月ノ間ニ合ハナイト云フコトハモト／＼當然デアリマス、又此ノ石炭ヲ、是ハ加奈陀ト印度カラ買ヒマシタケレドモ、調べル者ハモット蘭領印度トカ、濠洲トカ云フヤウナ非常ナ遠方ノ所マデスツカリ調べマシテ、加奈陀ト印度トヲ以テ、

先ツ此處デ十萬噸位ノモノヲ買ツテ置イタ方ガ宜カラウト云フノデ買ヒマシタノデアリマス、私ノ考デハ十萬噸デハ少イ、モウ十萬噸カ二十萬噸ノ準備ヲシテ置キタイト云フ積リデアツタ、ケレドモ先ツココデハ十萬噸位ニシテ置イテ、サウシテ石炭ノ積込ノ状態トカ積卸シノ状態トカ、品質ノ状態「コロリー」ノ状態、サウ云フヤウナモノノ到著シタ上デ精密ニ調査ヲシテ、サウシテ今後我國ノ石炭ノ缺乏トカ云フヤウナコトガ若シアツタトシタナラバ、其ノ時ニ之ヲドウ云フ工合ニシタナラバ宜カラウカト云フヤウナ、試驗的ノ意味モ含シデ之ヲ十萬噸ニ止メタノデアリマス、是カラ先ニ若シ我國內ノ石炭ガ現在ノ如ク缺乏シテ、サウシテ社會上、生産上ニ非常ナル刺戟ヲ與ヘテ、困難ヲ與ヘルト云フヤウナ現狀ガ積キマシタナラバ、只今御話ノヤウナ重油ヲ使ツテ石炭ニ振替ヘルト云フヤウナ臨機ヲ處置モ之ヲ探リタイト存ジマシテ、其ノ事ハ其ノ事デ十分ナ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス

ソレカラ尙ホ三月、四月ニナツテ到著スル石炭ヲ買ツテ、二月三月ノ臨時緊急ノ間ニ合フカト、斯ウ云フ御尋ダラウト思ヒマシ、今ココデ入用ナノハ二月ノ石炭ガ入用ナシタカラ、此ノ入用ナ石炭ヲ買フト云フコトナラバ分ルケレドモ、此ノ入用ナ石炭デナク、三月四月ノ石炭ヲ買フノニサウ云フ高イ錢ヲ拂ツテ、經濟ヲ超越シテ買ツテ何ニナルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、是ハ能ク御諒察ヲ願ヒタイ、先刻申上ゲタ通り今在ル所ノ石炭ヲ入用ダカラ貨シテ呉レト云ツテ、石炭ヲ法律ノ力ヲ以テ徵發スレバ兎ニ角、民有ノ石炭ヲ以テ日本發送電ノ

今日ノ急ヲ救フト云フコトハ……先刻申上ゲタ通りニ八月ト十月ニ民間ノ石炭ヲ發送電ガ借用シタケレドモ、ソレヲ返サナイ、ソレ故ニ民間ハ更ニ二月中ニサウ云フ場合ガ起ツタ時ニ石炭ノ融通ヲシテ呉レナイ、ソコデ此ノ石炭ガ三月四月ニ到著スレバ、之ヲ以テ返スト云フコトモ出來ル、之ヲ以テ返スト云フコトモ出來ルカラソコデ大阪府知事ニ其ノコトヲ話ヲシテ、今度ハ確ニ商工大臣ナリ選信大臣ガ之ヲ返却スルト云フ確信ヲ持ツテ居ル、勿論此ノ外國ノ石炭ノミヲ當ニシテ居ルノデハナイ、誤解ノナイヤウニ申上ゲマスガ、北海道ノ石炭モ樺太ノ石炭モ——北海道ニシテモ小樽ノ石炭デモ室蘭、釧路ノ石炭デモ、皆港ガ遠ヒマスカラ、サウ云フ所ノ石炭ヲ輸送シテ、ソレカラ又其人他ノ地方ノ石炭モ輸送ヲシテ間ニ合ハシテ、間ニ合ツタモノヲ以テ一時二月中ノ臨時緊急ノ際ニ借用シタ炭ハ返ス、若シ日本炭返ストコトガ出來ナケレバ、三月四月ニ到著スル外國炭ヲ以テ返ストコトガ出來ル、斯ウ云フヤウナ心構ヘヲ以テ其ノ處置ヲ斷行シタノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、マダ御尋ガゴザイマシタラドウゾ十分ニ願ヒマス

○堤委員 仰セニナラナクテモ得心ノ行クマデ十分ニ質問ヲシマス、今ノ説明デハヤハリ石炭ガ無イカラ仕方ガナカッタト云フ説明ニ終始シテ居ルノデアリマスガ、日本ニハ石炭ハ幾ラモアル、石炭ハ豊富ダト思ハレテ居リマス日本ガ當局ノ無能ノ爲ニ、國ノ資材ノ貧弱ナルコトヲ此ノ時局多難ノ際ニ外國ニ之ヲ暴露シナケレバナラヌト云フコトヲ、私ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、ソコデアソレハ斯ウダト云フコト

デアレバ仕方ガナイ、私ハ是ハ非常ニ實際家デアラレル商工大臣ガ進ンデヤラレタノカドウカ相當疑問ヲ持ツ、併シナガラ何レニシテモサウ云フコトガ國ノ方針トシテ出來タコトハ私ハ非常ニ遺憾ト思フガ、セメテモ外國ニ對シテノ不信用ヲ幾分デモ補フ方法トシテ、外國へ行ク船ガ澤山「パンカー」炭ヲ積ンデ出テ行キマス、其ノ積ンデ行ク石炭ヲ、例ヘバ「カルカッタ」マデノ分ヲ積ンデ行ツテ、「カルカッタ」デ其ノ石炭ヲ其船ノ「パンカー」ニ使ツテ之ニ振替ヘテ歐洲航路ヘ廻サヤウニシタラドウデアルカ、其ノ輸入スル十萬噸ノ石炭ヲ、外國船ヲ血眼ニナツテ備船シテ内地ニ持ツテ來ルト云フヤウナコトハ、實ニ是ハ恥カシイコトデアリマスカラ、サウ云フ方法ヲ出來ルダケ講ジマシテ、サウ云フ醜態ハ成ベク出サヌヤウニシテ載キタイ、當局ノ無能ナル爲ニ此ノ質問ヲ涙ト共ニ爲サザルヲ得ナイコトヲ私ハ悲シム、洵ニ残念至極ノ次第デアリマス

○藤原國務大臣 堤君ノ御説ハ如何ニモ御尤モト存ジマス、併シナガラ外國關係ニ付キマシテハ、私ハ全然堤君ト違ツタ考ヲ持ツテ居リマス、今日我國ガ石炭、電力ノ缺乏ノ爲ニ外國貿易ガ位ニ損害ヲ受ケテ居ルカト云フコトハ、恐ラク堤君モ御承知ノコトト思ヒマス、總テ約定シタ所ノ約定品ガ電力ノ缺乏ノ爲ニ之ヲ取消サナケレバナラス、石炭ノ缺乏ノ爲ニ之ヲ取消サナケレバナラスト云フヤウナモノハ非常ニ多イノデアリマス、ソレ故ニ政府ガ加奈陀、印度ノ石炭ヲ買ハナクテモ、我國ガ資源ニ窮シテ、折角振興シテ大イニ外貨ヲ吸收シナケレバナラナイ所ノ外國貿易ガ、石炭ト電

力ノ爲ニ非常ナ妨害ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、是ハモウ諸外國ニ隠レモナイ一ツノ事實ニナツテ居リマス、何トナレバ、約定ノ期限ヲ延バシテ貰フド云フヤウナコトヲ營業者ハ皆ヤラナケレバナラス、其ノ營業者ガ約定ノ期限ヲ延バスト云フノニハ、石炭ガナイトカ、電力ガナイトカ云フヤウナ事情ヲ皆訴ヘナケレバ其ノ期限ヲ延バストトハ出来ナイ、ダカラサウ云フヤウナコトノ爲ニ、向フカラ註文ガ来ル、例ヘバ人絹ニシテモ、或ハ諸雜貨、陶磁器ノヤウナモノニシテモ註文ガ来ルガ、此ノ註文ハ受ケラレナイ、何故ニ受ケラレナイカト云ヘバ、電氣ヤ石炭ガ無イ爲ニ受ケラレナイ、是ガ爲ニ外國貿易ニ於テ恐ラク何千万圓ト云フヤウナ非常ナ損ヲシテ居ル、ソレ故ニ國家ノ面目モアリマセウ、無論日本トシテハ石炭ノ如キモノヲ加奈陀トカ、印度カラ買フコトハ國家トシテ、日本トシテ面白クナイコトデアルト云フコトハ、私モ只今提サシノ御指摘ニナツタ通りト信ジ、其ノ點ニ於テハ全然御同感デアリマス、併シナガラ今日ノ現状ハサウ云フコトニ拘泥シテ居ル時デハナイト思フ、ソレ故ニ先ヅ以テ斯ウ云フ手段ヲ講ジタノデアリマス、此ノ手段ハ講ジマシタケレドモ、私モ單ニ算盤ヲ無視シテヤツタ——無論算盤ヲ無視シテヤツタコトデアアルケレドモ、又更ニ其ノ上ノ算盤モ考ヘテ居リマス(笑聲)ソレハドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト申シマスレバ、此ノ炭ヲ以テ發送電ノ貯炭ニ振替ヘマス、茲ニ若干ノ炭ノ餘裕ガ出来マス、其ノ餘裕ヲ以テ輸出工業者ニソレダケノ炭ヲ配給シテヤリマシタナラバ、即チソコニ或ハ雜貨トナツテ現ハレ、或ハ纖維商品トシテ現ハレテ、

何千万圓、何百万圓ト云フ所ノ外貨ヲ更ニ獲得スル途モアルノデアリマス、ソレ故ニ、産業ノコト、貿易ノコトナドハ中々色々關聯シテ居リマスカラ、其ノ時ニ處シテ之ヲ巧妙ニ扱ツテ參リマシタナラバ、一應ハ國家ニ非常ナ損害ヲ與ヘタ行爲ノヤウデアリマスケレドモ、之ヲ巧ク利用スレバ國家ニ損ヲ與ヘナイデ、却テ國家ニハ外貨ノ獲得ヲ多クシテ此ノ結末ヲ付ケルト云フコトモ不可能デハナイト信ジテ居リマス

○堤委員 是ハ非常手段トシテ已ムヲ得ナカツタト云フ御説明ノ一點ニ終始シテ居リマスガ、私ハ碎米船ヲ使ツテ秦皇島ノ石炭ヲ使ヒ、雪ヲ撒イテ北海道ノ石炭ヲ使ツタラ、必ズソレハ有ルト思ヒマス、唯發送電ガ威張ツテ文句ヲ言ヒナガラ公定相場ヲ持ツテ来イト言ツテモ、中々無イ、併シナガラ市中ニハヤハリ相當有ル、唯表向キニ行ケバ無イト言フニ決ツテ居ル、其ノ表向キニ言ツタコトヲ當事務局カラ聴イテ、サウ云フ御判斷ニナツタノデハナイト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ或ハ私ノ想像デアリマスカラ、サウ云フコトハナカツタノカモ知レマセマ、兎ニ角目ヲ睨ツテ輸出貿易ノ振興モサセナケレバナラヌト云フコトデ、算盤ダケヲ御持チニナツタト思ヒマスガ、併シ色々ナ理由ニ依ツテ製品ガ間ニ合ハヌト云フコトト、石炭ヲ現實ニ買フト云フコトトノ精神的ニ及ボス影響ハ、是ハ算盤以外ニ私ハ相當重大ナモノデアラウト思ヒマスルカラ、ドウカ此ノ點ハ將來十分善處シテ戴キタイト思ヒマス、モウ答辯ハ宜シウゴザイマス

シテ鐵道ガ足りナイ、坑道ノ支柱ニハ今マデハ「レール」ヲ使ツテ居リマス、所ガ此ノ古「レール」ト云フモノガ今間ニ合ハナイ、ソコデ坑道ノ支柱ガ不完全デアル、此ノ石炭ヲ運搬スル機械ノ支柱ナドニモ十分ニ使ヘナイ、此ノ「レール」ガ非常ニ不足ヲ致シテ居リマスルノガ石炭ノ増産ヲ阻ム一ツノ原因トナツテ居ルノデアリマス、所ガ鐵道省所管ニ於テ「レール」ハ澤山私ハ遊ンデ居ルト思フ、何處ニ遊ンデ居ルカト云フト、引合ハナイ所ノ地方鐵道ニ澤山「レール」ガ遊ンデ居ル、之ヲ鐵道省ガ許スナラバ、此ノ私設鐵道ハ恐ラク澤山ノ分量「レール」ヲ上ゲルコトヲ喜ンデヤルニ相違ナイ、併シナガラ鐵道省ノ規則ニ依ルト、今此ノ鐵道ガ引合ハナイカラ「レール」ヲ一時上ゲタイト云フ時ニハドウスルカト云フト、線路ノ廢止願ヲ出サナケレバナラヌ、線路ヲ廢止シテシマウト其ノ會社ノ投ジタ建設費ニ大キナ赤字ガ生ズルカラ、ソレハ實際出来ナイ、併シ廢止シナクテモ一時休止スルト云フコトヲ認メタナラバ、「レール」ハ澤山出テ来ルト思フ、極ク手近カニ西武鐵道ト云フノガ東京郊外ニアリマス、ドノ位人ガ乗ルカト、暮ノ一週間調査ヲサシテ見マシタラ、四往復ヤツテ居リマスルガ、一往復十五人弱乗ツテ居ル、是ハ一臺ノ自動車デ十分ニ間ニ合フノデアリマス、之ヲ上ゲルト廢止願ヲ出シテシマハナケレバナラヌカラ上ゲナイ、併シナガラ今「レール」ノ相場ト云フモノハ、九・一八ニ停止セラレタ當時ノ相場デモ、六十封度「レール」デ一哩五千圓、平時ナラバ是ハ六千圓デ賣ヘル、十倍位デアリマスカラ、相當是ハ高ク賣レルノデア

〔委員長退席 藤原委員長代理著席〕  
之ヲ臨時ニ認メルヤウニセラレマシタナラバ、此ノ鐵材ノ不足ハ相當程度之ヲ補ヘルモノガアルト私ハ思ヒマスガ、サウ云フ便法ヲ御拵ヘニナツタラドウカ、今ハモウ官僚的、事務的デハイケナイ、生キタ政治ヲヤツテ、此ノ焦眉ノ急ヲ救ウテヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ、此ノ點鐵道大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○松野國務大臣 鐵道省トシマシテモ、物資ノ不足ヲシテ居ルト云フコトハ、大體見當ハ考ヘテ居リマス、現在ノ石炭ノ輸送ニ對シマシテハ、是ハ全能力ヲ發揮シマシテ、サウシテ今度發送電ガ二月分ニ不足ヲ感ジテ居ルト云フヤウナ數量ノ如キハ、輸送トシテハ遺憾ナキヲ期スル爲ニ、有ユル方法ノ下ニ其ノ計畫ハハツキリ出来テ居リマス、但シ言ハレル通りニ、輸送量ガ十二分デナイト云フコトハ、一般的ニ想像セナケレバナリマセスカラ、若シ不要ナ品物ガアリ、ソレヲ活用スルコトニ依ツテ、輸送力ヲ増強スル上ニ極メテ國家的ニ經濟的デモアリ、且ツ必要ト認メル場合ニハ、堤委員ノ言ハレル如キコトモ十分ニ考慮ニ入レテ、サウシテ其ノ國策ヲ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス

○堤委員 營業者ガ、是ハ逆モ引合ハナイケレドモ、廢止願ヲ出スコトハ辛イ、復活ヲ認メテ貰ヘルナラバ、一時此ノ「レール」ヲ引上ゲタイト云フ出願ガアツタラ、之ヲ御許シニナリマスカ、ナリマセスカ、而シテ其ノ「レール」ノ行先ヲ、例ヘバ今焦眉ノ急デアル所ノ石炭増産ナドニ、ソレガ向フコトガ明カニナレバ、サウ云フモノハ臨時ニ御認ニナルカナラヌカ、其ノ結論ヲ伺ヒ

マス

○松野國務大臣 假定的ノ問題ト致シマシテ、是ハ認メル、認メナイト云フコトハ、簡單ニ御答スルコトハ出來ナイト思ヒマス、能ク實際問題ニ即シテ、有ニル方面カラ是ハ認メテ宜シイ、又國策トシテ認メルコトガ相當ダ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシタ場合ニ、是ハハツキリシタコトヲ決メナケレバナラスト思ヒマス、唯堤君ノ御意見ニ對シテ、其ノ場合ニ認メルト云フコトハ、今日ノ場合簡單ニ御答スルコトハ出來マセス

○堤委員 當局トシテハサウ言フヨリ已ムヲ得マスマイ、併シ是ハサウ云フ便法ヲ講ズル方ガ宜イ、成ベクサウシタイト云フ政治的見地カラ善處セラレンコトヲ、私ハ望シテ置キマス

ソレカラ是ハ商工大臣ガオ居デナケレバ、商工當局ノドナカカラカ御説明ヲ願ヒタイガ、坑夫ノ使フ足袋ノコトデアリマス、私ガ或ル炭山ノ飯場ニ行キマシタ所ガ、此ノ坑口ハ百人坑夫ガ居ルケレドモ、今日ハ四十人ヨリ居ナイ、ドウシタト云フツタ所ガ、アトノ六十人ハ昨日勘定ヲ貰ツタカラ地下足袋ヲ買ヒニ行ツテ居ル、地下足袋ハ一人ニ一足ツツヨリ渡ラナイカラ、六十人地下足袋ヲ買ヒニ行ツタト、斯ウ言フ、是ハ實ニ馬鹿々々シイコトダ、一人ニ何足デモ賣ルヤウニシタラバドウカ、サウスルト買溜ト云フヤウナコトヲ心配スルト云フコトデアラナラバ、古い地下足袋ヲ持ツテ來タ者ニハ、何足デモ賣ルト云フコトニスル、サウスレバ十人、二十人ヲ代表シテ古い物ヲ持ツテ行クコトガ出來ルデハナイカ、サウスレバ、坑夫ト云フ者ハ、サウ云フ物ヲ粗末ニスルモノデアリマスカラ、廢品ノ回收ニ

モナルシ、是ハ非常ニ良イ方法ダト思フノデアリマスガ、實ニ愚ナコトヲ到ル處ニ於テヤツテ居ルコトハ、是ハ國民ノ眼ニモ顯々ト映ツテ來ルノデアリマス

○永田政府委員 只今地下足袋ノ話ガ出マシタノデ、私カラ御答申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ通りニ、只今護謨ノ輸入ガ非常ニ窮乏デゴザイマスノデ、地下足袋ノ製造ガ、平時ヨリモ大變減ツテ居リマス、ソレデ出來ルダケ之ヲ生産擴充方面答ニ配給スベク努メテ參ツテ居ツタノデアリマスガ、昨年ノ十月頃マデハ、原料ノ統制ハヤリマシタケレドモ、製品ノ統制マデ手ガ届キマセマシタノデ、總體ノ數量ハ相當廻スキウニ手配ハ致シマシタケレドモ、ソレガ本當ニ必要ナ方面ニ渡ツテ居ナカツタ怨ミガアツタノデアリマス、幸ニシテ昨年ノ十月カラ地下足袋ノ配給統制ヲ實施致シマシテ、鑛山方面等ニモ、出來ルダケ多量ニ必要ナル數量ヲ廻スヤウニ致シテ居リマス、殊ニ此ノ一月カラハ、石炭山ノ方ニ從來ヨリモ倍位ノ數量ヲ廻スコトニ致シマシタノデ、今後ハ地下足袋ノ不自由ト云フモノハ、餘程緩和サレルダラウト思ツテ居リマス

○堤委員 古いヲ持ツテ來タナラバ、廢品回收ヲ兼ネテ、一人ニ何足デモ賣ルヤウニシタラドウカ、此ノ點デス、簡單デス

○永田政府委員 ソレハ製造數量ガ少イモノデアリマスルカラ、古い物ヲ持ツテ來タ者ニハ、幾ラデモ渡スト云フコトハ出來マセス

○堤委員 一人ニ一足ツツトシテ、十人居レバ十足買ヘルノデス

○永田政府委員 其ノ製造數量ガ制限サレテ居リマスノデ、幾ラデモ持ツテ來タ者ニ

渡スト云フ風ニ、渡セナイノデアリマス

○堤委員 モウ宜ウゴザイマス、ドウモソレデハ答辯ニナラナイ、足リナイノダガ、一人行ケバ一足ツツ賣ルノダカラ、ソレヲ繼メテ廢品回收ト努力ヲ經濟的ニ使ヘ、斯ウ云フ私ノ趣旨デス、ソレハハツ御研究ニナルト宜シイ、サウ云フコトヲ御存ジナイヤウデハ話ニナラヌ、ソレカラ委員長、外務大臣ノ出席ヲ要致シマス、モウ時間ガアリマセスカラ至急ニ御出席ヲ願ヒマス、其ノ開選信大臣ニ伺ヒマスガ、今日日本ニ石炭不足ヲ來シテ居リマシタ所ノ大イナル原因ハ、船方足リナイ、所ガ現在日本ノ港ニ逃込シテ居リマス獨逸ノ汽船ガ、十二万八千六百噸アリマス、ソレカラ支那、南洋印度、南洋方面ニ五万三千五百噸アル、其ノ他東洋方面ニ、所謂日本ノ勢力ノ及ビ得ル範圍ニ、十三万五千二百噸、約三十五万噸近イ獨逸ノ船ガ港ノ中ニ隠レテ居ル、此ノ船ヲ日本ガ借りタラドウカ、恐ラク戰爭ノ済ムマデ、港ノ中ニ獨逸ノ船ハ盤居シテ居ルダラウ、盤居シテ居ル間ハ何ニモ稼ゲナイ、ノミナラズ船ハ繋イデ置キマス、大變傷ムノデアリマス、之ヲ日本デ借りルト云フ交渉ヲ、當然私ハスキモノデアルト思ヒマスガ、其ノ交渉ヲナスツタラドウカ、開戦以來既ニ五箇月ニモナリマスガ、マダ獨逸ノ船ガ一隻モ日本ニ使ハレテ居ルト云フコトヲ聞カナイ、洵ニ私ハ是ハ當局ノ怠慢ダト思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

一寸申上ゲニクイコトガアリマスガ、若シ必要ガアレバ次ニ秘密會ガアリマスカラ、其ノ機會ニ政府委員カラ詳シク申上ゲサシテモ宜シウゴザイマス

○堤委員 秘密ト云フコトハ何モアリマスマイ、唯國際法ニ依リマシテ、即チ千九百九年ノ倫敦宣言ニ依ツテ、船船ノ移轉ガ封鎖港内ニアル間ニ行ハレタ場合ハ無効トスルコト云フ、此ノ一條ニ根據スルト云フ御考デアリマセウガ、併シナガラ日本ノ港ハ英吉利ノ封鎖港トハ、私ハ思ハレナイ、其ノ點ハ私ハ國際法ニ何ノ差支モナイト思フ、唯是ハ此ノ國際法ノ法律問題チヤナクシテ、英吉利ニ對シテノ氣象ネット云フコトヲ考ヘレバ、是ハ別デアリマスガ、國際公法ニハ私ハ何モ根據シナイ、斯ウ思ヒマスガ、ソレハ英吉利ニ對スル氣象ネットシタイカラ、ソレハ止メテ置ク、使ハナイ、ソレナラ吾吾ハ分ル、ソレ以外ニ秘密ト云フモノハアルベキデハナイト思フ

○勝國務大臣 國際法ノ解釋ニ付キマシテモ、若干異論ガアルヤウデ、秘密ガアルヤウデスカラ、若シ何ナラバ秘密會ノ時詳シク申上ゲマス

○篠原委員長代理 堤サン、今向フガ商工大臣ノ答辯ヲ終ルト同時ニ、秘密會ニシタイノダサウデアリマスガ、アナタノ御質問ハモウ少シノ時間デ御答マリニナリマセウカ、如何デゴザイマセウカ

○堤委員 外務大臣ガ見エマシタカラ何ヒマス、今質問ノ要點ハ、獨逸ノ船ガ約三十五万噸位アルチヤナイカ、獨逸ノ船ト云フモノハ出レバ撃沈サレテシマフカラ、今日日本ノ港ニ逃ゲテ居ル、ソレヲ借りルト云フコトヲナゼ早クヤラナイカ、別ニソレ

ハ倫敦宣言ニモ支障ハナイヤウニ思フ、ソレカラ私ハ國際公法ノコトヲ能ク知ラスケレドモ、倫敦宣言ヲ日本ハ批准シテ居ナイト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ハ能ク私ハ其ノ點ヲハツキリシテ居リマセスケレドモ、兎ニ角ドツチニ致シマシテモ、日本ノ港ハ英吉利ノ封鎖港デアリマセスカラ、是ハ差支ナイト思フノデアリマス

○有田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ色色考究スベキ點ガアリマスノデ、目下關係省ト協議致シテ居ル最中デアリマス

(篠原委員長代理退席委員長著席)

○堤委員 兎ニ角此ノ問題ハ、至急ニ善處シテ戴キタイ、是ダケノ船ヲ遊バシテ置クト云フコトハ、如何ニモ勿體ナイ、ソレガ少少ノ疑議ガアリマシテモ、此ノ船ヲ日本ノ運送船ニ使フ、軍艦旗ヲ立テテ、日本ノ近海ニ遊戈シテ居ルノニ、英國ニ指ヲ指サレルヤウナコトガアツタラ、是ハオ終ヒデアリマス、ソナ心配ハナイ、サウスレバ御用船ニシテ、石炭ノ運送ナドニ使ヘルノデアリマス、速ニ之ヲ利用シ得ルヤウ協議ヲ開カレンコトヲ望ミマス、尙ホ秘密會ニ於テハ——秘密ト云フノハ少シドウカト思フノデアリマスガ、所謂當局者ノ稱スル所ノ秘密ト云フ點ニ付テ、御説明ヲ承リタイソレカラ厚生大臣ガ御見エニナリマスカラ伺ヒタイ、炭坑ノ坑夫ガ就業シテ居ル日數ハ、今日マデ八月ニ二十三、四日デアツタガ、健康保險ノ爲ニ遊ンデ居リマシテモ、醫者ノ形式的ノ診斷書ガアリマスラバ、四圓ノ六割、二圓四十錢ツツ金ガ取レルカラ、能ク風邪ヲ引ク、ソコデ就業ノ統計ハ今マデ二十三、四日一月ニ働イタモノガ、十

六七日ニ下ツテ居ル、斯ウ云フ事實デアリマスカラ、此ノ健康保險デ、重病ノ時ハ是ハ別デアリマスケレドモ、一寸シタ怠惰ヲ意味シテ休ム所ノ失業手當ト云フモノハ、社會政策トシテ外ノ方面ノ福利増進ニ其ノ金ヲ使ハスコトニシテ、是ハ一時御止メニナリマスルト、大變能率ガ上ルト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○吉田國務大臣 御答致シマス、只今ノヤウナ時ヲ、私共ニ於キマシテモ耳ニ致シマシタノデ、健康保險ノ傷病手當ノ申ノ休業ニ對スル手當ノ部分ハ、丁度今御話ニアリマスルヤウニ、勞務ニ堪ヘナイ程度ノ傷病患者ニ支給スルノデアリマシテ、ソレヲ濫用致シマシテ、唯遊ンデ居ケテ居ツテ金ヲ貰フト云フコトハ、平素ニ於テモ慎マナケレバナラスコトデアリマス、況ンヤ今日ノヤウナ石炭増産ノ焦眉ノ急ノヤウナ際ニ、丁度今御話ノヤウナコトガアリマシテハ、洵ニ遺憾ナコトデアルト考ヘマシテ、實地ニ人ヲ派シテ取調ヲ致サセマシテ、各炭坑ニ付テ調査サセマシタ所ガ、事變以來サウ云フ者ガ殖エタト云フヤウナ形跡ハ、大體無イノデアリマス、併シ萬一ニモサウ云フ傾向ガアリマシテハ、甚ダ残念デアリマスカラ、特ニ先月末地方長官並ニ健康保險醫ノ方面ニ對シマシテ、左様ナ傷病手當ノ濫用ノ毫末モナイヤウニ嚴重ニ戒メマシタヤウナ譯デアリマス、御提案ノヤウナ風ニシテ、傷病手當ヲ止メルト云フ風ナコトニナリマスト、實際働ケナイ程度ノ傷病者マデモ、貰ヘナイヤウナコトニナル處ガアリマスノデ、是ハ運用ヲ適正ニスルト云フコトニ、十分ノ努力ヲ致シテ、尙ホ其上ニ附加ヘテ、御話ノアリマシタ健康保險ノ趣意ニ依

リマス疾病ノ治療デアリマスルトカ、豫防デアリマスルトカ、斯ウ云フ方面ニ於ケル施設ト云フヤウナモノニモ、併セテ十分ニ力ヲ注イデ、十分能率ノ上リマスヤウニ、全力ヲ擧ゲテ努メテ参リタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○堤委員 厚相ハサウ言ハレマスケレドモ、ソレハ實際ト大變違フ、私ハ社會政策ヲ廢セト言フノデアナイ、外ノ方面ノ社會施設ニ、ソレヲ廻シテヤウタラドウカ、二圓取ル時ニハ、之ニ對スル六割ト云フト一圓二十錢ヨリ取レマセスカラ、怠ケテ遊ンデ居ルコトハシマセス、併シ四圓取レルヤウニナルト、六割デハ二圓四十錢デアツテ、不景氣ノ時働クヨリ多ク取レルヤウニナリマスカラ、兎ニ角是ハ食フニ差支ガナケレバ、怠惰ニナリ易イノデアリマス、英國ハ今デモ百四十萬人ノ失業者ヲ持ツテ居ル、失業保險ノ爲ニ英國ノ産業ハ振ハナイト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ戰時中ハ、之ヲ外ノ福利施設ニ向ケルコトニシテ欲シイ、私ハサウ云フ數字ハ嘘ダト思ヒマス、十分此ノ點ハ御注意ニナル方宜カラウト思フ、ソレカラ文部大臣ニ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○吉田國務大臣 一寸、私今ノ點デ御答ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、畢竟御提案ノヤウナコトデアリマシテモ、其ノ人間ハ實際病氣ヲ怪我ノ爲ニ働ケルノカ、働ケナイノカト云フ認定ノ問題ニナルト思フノデアリマス

○堤委員 サウデス

○吉田國務大臣 其ノ點ヲ十分ヤラウト云フコトデアリマスカラ、御趣意ト違ツタ御答辯ヲシットハ思ハナイノデアリマス、働

ケナイ人間ニ對シテ……

○堤委員 就業人員ガ少クナツテ居ラスト云フノハ、違フト言フノデス

○吉田國務大臣 此ノ點ハ十分慎重ナ調ヲ致シマシタガ、尙ホ御話ノヤウナ間違ガアリマシテハナリマセスノデ、今後モ存分氣ヲ付ケル積リデ、左様ニ申上ゲテ居ルノデアリマス

○堤委員 文部大臣ニ極ク簡單ニ伺ヒタイノデアリマス、ソレハ國民精神總動員ノ豫算方内務省、文部省、大藏省ノ貯蓄獎勵ト云フ名義ノ下ニ、所謂教化運動費ト云フモノガ、相當使ハレテ居ルノデアリマス、此ノ國民ノ精神ヲ動カスト云フノニハ、ドウシテ動カスノカ、是ハ眼カラ腦髓ニ入レテ動カスカ、耳カラ腦髓ニ入レテ動カスカ、斯ウ云フコトハ結局演說ニ依ルカ、文書ニ依ルカト、斯ウ云フコトヨリ外ニハナイ、ソコデ是ダケノ豫算ヲ今ノ組織デ官僚的ニ之ヲ運用セラレマシタナラバ、金ノ損ダケデアナイ、非常ニ是ハ努力ノ不經濟デアル、今縣廳ノ役人ガ精勵ノ講演會ヲ開クト、地方ノ有志ハ其ノ額ニ免ジテ、相當ノ人ヲ募集メナケレバナラス、其ノ人的資源ヲ勞費スルコトハ、是ハ大變チモノデアル、何ノ效果モアリハシマセス、ソコデ現在ドウ云フ機構ニナツテ居ルカト言フト、會長ノ有馬良橋大將、是ハ武將トシテハ赫々タル武勳ヲ立テラレタ立派ナ方デ、私モ尊敬ヲ致シテ居リマス、理事長ノ筑紫熊七中將亦然リ、併シナガラ何ヲ言ウテモ、有馬大將ハ八十歳ノ御老齡デアリ、筑紫中將ハ七十八歳ノ御老齡デアル、私モ、國民精神總動員ノ委員ヲ致シテ居リマスルガ、マダ有馬大將ニハ一回モ御目ニ掛ツタコトガナイヤウナ譯デアリマシテ、此



ノ方々ハ是ハ三軍ヲ動かスコトハ出來ルデアリマセウガ「三軍モ帥ヲ奪フベキナリ、匹夫モ志ヲ奪フベカラザルナリ」、中々三軍ノ指揮號令ハ自由ニ致シマシテモ、人ノ心ヲ動かスコトノ困難デアルト云フコトハ、私ハ選舉ニ直面致シマシテ、痛切ナ體驗ヲ持ツテ居リマス、是ハ中々困難デアル、之ヲ現在ノ官僚的組織デヤラウト云フコトハ、大變ナ間違ヒデアル、是ハ現在ノ組織ヲ有用ニ使ツタラドウカ、無駄ヲシナイヤウニ使ツタラドウカ、即チ如何ニシテ耳カラ入レルカト言フト、各種ノ講演會、或ハ政黨ノ演說會、宗教ノ御説教、サウ云フコトニ直

面スル人ヲ、ソレノ委員トカ何トカト云フコトニ辭令ヲ出シテ、サウシテ大イニ其人々ニ努力ヲシテ貰フ、即チ有リ合セノ機關ヲ利用致シマス、集ツタ序ニチヨツトト頭ニ入ツテ行タカラ、私ハ非常ニ是ハ有效ダト思フ、ソレカラ文章モアンナ拙イ譯ノ分ラヌ文章ヲ澤山頒布スルト云フコトハ、是ハモウ紙ト「インキ」ノ浪費デアリマスカラ、新聞、雜誌ヲ利用スル、斯ウ云フコトニシマスルト、コンナ澤山ナ金ヲ使ハズシテモ、非常ニ有效ダト思フ、現在ノ組織ハ委員會ト理事會ガ別々デアリマシテ、五ニ是ハ其ノ惡口ヲ言ウテ居ル、理事會ノ方デハ、委員會ノ決メタコトハアレハ迂遠デアルカラ巧クイカスト言フ、善イコトヲ決メテモ、委員會ノ方デハ理事會ガ無能ダカラヤラヌト、斯ウ云フ、實ニ是ハナツテ居ナイ組織デアルト思フノデアリマスカ、新東亞建設ニ付テハ非常ニ重大ナコトデアリマスカラ、アナタハ之ニ對シデドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○三土委員長 堤君ニ一寸申上ゲマスカ、

今本會議ノ方デ秘密會ノ宣告ヲシタサウデス、待ツテ居ルカラ來テ吳レト云フコトデアリマス

○堤委員 ソレデハ又適當ノ機會ニ……

○松浦國務大臣 一寸御答ヲ申上ゲマス、堤君ハ實ハ精神總動員ノコトハ、私ヨリモ能ク御承知デアリマス、私ハ今マデ少シモ關係シナカツタノデ、私ヨリモ能ク御承知デアリマス、此ノ運動ハ極メテ大切ナコトデアリマスカラ、其ノ機構、運営等ニ付キマシテハ、一ツ速ニ研究ヲ致シマシテ、御趣意モ十分參酌致シマシテ考ヘタイト思ヒマス

○堤委員 洵ニ残念デアリマスケレドモ、他ノ方ノ妨害ヲシテハ相濟マスト思ヒマスカラ、本日ハ是デ止メテ置キマス

○三土委員長 ソレデハ是ヨリ秘密會デア

ルサウデアリマスカラ、本議場ノ方ヘ行キマス、本日ハ此ノ委員會ハ是ニテ散會致シマス、明日ハハハ午前十時ヨリ開會致シマス

〔午後四時四十五分散會〕

〔參照〕

岸田委員要求ノ參考資料

一、昭和十四年度西日本旱害地各府縣名

一、昭和各縣ヨリ上申セル旱害復舊應急事業費、恒急事業並ニ右事業費ニ對スル補助金要求額(各府縣別、各省別)

二、昭和一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

水谷委員要求ノ參考資料

一、支那事變勃發以來

一、臨時陸軍材料資金會計ニテ十四年度中ニ購入並賣拂セル物品ノ種類、數量、金額

二、昭和各縣ヨリ上申セル旱害復舊應急事業費、恒急事業並ニ右事業費ニ對スル補助金要求額(各府縣別、各省別)

二、右ニ對シ各省ニ於テ査定セル補助金額、並ニ大藏省査定金額

三、昭和一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

四、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

四、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

五、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

六、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

六、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

七、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

八、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

八、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

九、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十一、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十二、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十二、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十三、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十四、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十四、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十五、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十六、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十六、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十七、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十八、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十八、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

十九、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十一、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十二、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十二、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十三、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十四、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十四、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十五、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十六、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十六、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十七、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

二十八、昭和三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二年兩年施行業議院議員選舉ニ際シ違反數調(實質犯ト形式犯トヲ區別スルコト)

昭和十五年二月八日印刷

昭和十五年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

衆議院豫算委員會議錄第二回 中正談

頁段 行 誤 正 五四 一五 民政黨 同志

第七十五回帝國議會 院 豫算委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十五年二月八日(木曜日)午前十時八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三土 忠造君

- 理事工藤 鐵男君 理事篠原 陸朗君
- 理事中村三之丞君 理事田村 秀吉君
- 理事山本 芳治君 理事岸田 正記君
- 理事石坂 豐一君 理事肥田 琢司君
- 理事水谷長三郎君 理事山谷 義治君
- 小川郷太郎君 理事山谷 義治君
- 三宅 正一君 中島彌團次君
- 堤 康次郎君 櫻井兵五郎君
- 石坂 養平君 塚本 重藏君
- 守屋 榮夫君 前田房之助君
- 平川松太郎君 吉植 庄亮君
- 安藤 正純君 富吉 榮二君
- 馬場 元治君 原 夫次郎君
- 紫安新九郎君 小畑虎之助君
- 星 一君 増永 元也君
- 田原 春次君 坂本宗太郎君
- 北 吟吉君 松本 忠雄君
- 窪井 義道君 志賀和多利君
- 牧野 良三君 矢野庄太郎君
- 松村 謙三君 山本 厚三君
- 加藤 知正君 助川啓四郎君
- 板野 友造君 川崎 克君
- 村松 久義君 三善 信房君
- 小山 亮君 松永 東君
- 最上 政三君 沖島 鎌三君
- 山崎達之輔君 名川 侃市君

出席國務大臣左ノ如シ

- 內閣總理大臣 米内 光政君
- 外務大臣 有田 八郎君
- 大藏大臣 櫻内 幸雄君
- 陸軍大臣 畑 俊六君
- 農林大臣 島田 俊雄君
- 文部大臣 松浦鎮次郎君
- 拓務大臣 小磯 國昭君
- 內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
- 厚生大臣 吉田 茂君
- 逓信大臣 勝 正憲君
- 商工大臣 藤原銀次郎君
- 鐵道大臣 松野 鶴平君
- 內閣書記官長 石渡莊太郎君
- 法制局長官 廣瀬 久忠君
- 企畫院總裁 竹内 可吉君
- 企畫院部長 原口 武夫君
- 企畫院部長 阿部 嘉輔君
- 對滿事務局事務官 竹内 德治君
- 內閣情報部長 橫溝 光暉君
- 興亞院總務長官 柳川 平助君
- 興亞院部長 日高信六郎君
- 關東局司政部長 今吉 敏雄君
- 外務政務次官 小山 谷藏君
- 外務參與官 小高長三郎君
- 外務省東亞局長 堀内 干城君
- 外務省歐亞局長 西 春彦君

外務省亞米利加局長

- 外務省亞米利加局長 吉澤清次郎君
- 外務省通商局長 山本 熊一君
- 外務省條約局長 三谷 隆信君
- 外務省調查部長 松宮 順君
- 外務書記官 石井 康君
- 內務政務次官 鶴見 祐輔君
- 內務參與官 青山 憲三君
- 內務省地方局長 挾間 茂君
- 內務省警保局長 山崎 巖君
- 內務省土木局長 成田 一郎君
- 內務省計畫局長 松村 光磨君
- 內務書記官 灘尾 弘吉君
- 大藏政務次官 木村 正義君
- 大藏參與官 松田 正一君
- 大藏省主計局長 谷口 恒二君
- 大藏省理財局長 相田 岩夫君
- 大藏省銀行局長 入間野武雄君
- 大藏省爲替局長 中村孝次郎君
- 大藏書記官 植木庚子郎君
- 營繕管財局理事 湯地謙爾郎君
- 陸軍政務次官 松隈 秀雄君
- 陸軍參與官 三好 英之君
- 陸軍主計中將 宮崎 一君
- 陸軍少將 石川半三郎君
- 陸軍主計大佐 武藤 章君
- 陸軍步兵大佐 森田 親三君
- 海軍政務次官 河村 參郎君
- 海軍參與官 松山常次郎君
- 海軍主計中將 小山邦太郎君
- 海軍少將 武井 大助君
- 海軍主計大佐 阿部 勝雄君
- 爲本 博篤君

海軍大佐

- 海軍大佐 千田 金二君
- 司法政務次官 星島 二郎君
- 司法參與官子爵 高木 正得君
- 司法省民事局長 坂野 千里君
- 司法省刑事局長 黑川 涉君
- 司法書記官 石田 壽君
- 文部參與官 仲井開宗一君
- 文部省專門學務局長 關口 鯉吉君
- 文部省普通學務局長 中野 善教君
- 文部省實業學務局長 岩松 五良君
- 文部省社會教育局長 田中 重之君
- 文部書記官 永井 浩君
- 教學局長官 菊池豐三郎君
- 農林政務次官 岡田喜久治君
- 農林省農務局長 土屋 正三君
- 農林省山林局長 田中 長茂君
- 農林省水產局長 栗屋 仙吉君
- 農林省畜產局長 岸 良一君
- 農林省蠶絲局長 吉田 清二君
- 農林省米穀局長 橫山 敬教君
- 農林省臨時農村對策部長 重政 誠之君
- 農林書記官 岡本 直人君
- 商工政務次官 加藤銀五郎君
- 商工參與官 喜多壯一郎君
- 商工省鑛產局長 小金 義照君
- 商工省鐵鋼局長 塩谷野野吉君
- 商工省化學局長 永田彦太郎君
- 商工省機械局長 鈴木 英雄君
- 商工省纖維局長 辻 謙吾君
- 商工書記官 山本 茂君
- 商工書記官 椎名悦三郎君
- 燃料局長官 東 榮二君

第七十五回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十五年二月九日(金曜日)午前十時十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三土 忠造君

- 理事工藤 鐵男君 理事篠原 陸朗君
- 理事中村三之丞君 理事田村 秀吉君
- 理事山本 芳治君 理事岸田 正記君
- 理事石坂 豐一君 理事肥田 琢司君
- 理事水谷長三郎君 理事由谷 義治君
- 小川郷太郎君 木暮武大夫君
- 三宅 正一君 中島彌團次君
- 堤 康次郎君 櫻井兵五郎君
- 石坂 養平君 塚本 重藏君
- 守屋 榮夫君 前田房之助君
- 平川松太郎君 吉植 庄亮君
- 富吉 榮二君 馬場 元治君
- 原 夫次郎君 紫安新九郎君
- 小畑虎之助君 星 一君
- 增永 元也君 田原 春次君
- 坂本宗太郎君 北 吟吉君
- 松本 忠雄君 窪井 義道君
- 志賀和多利君 牧野 良三君
- 矢野庄太郎君 松村 謙三君
- 山本 厚三君 加藤 知正君
- 助川啓四郎君 板野 友造君
- 川崎 克君 村松 久義君
- 三善 信房君 小山 亮君
- 最上 政三君 沖島 鎌三君
- 山崎達之輔君 名川 侃市君
- 藏原 敏捷君 太田 正孝君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 米内 光政君

- 外務大臣 有田 八郎君
- 大藏大臣 櫻内 幸雄君
- 陸軍大臣 畑 俊六君
- 海軍大臣 吉田 善吾君
- 農林大臣 島田 俊雄君
- 文部大臣 松浦鎮次郎君
- 拓務大臣 小磯 國昭君
- 司法大臣 木村 尚達君
- 內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
- 厚生大臣 吉田 茂君
- 逓信大臣 勝 正憲君
- 商工大臣 藤原銀次郎君
- 鐵道大臣 松野 鶴平君
- 法制局長官 廣瀬 久忠君
- 企畫院總裁 竹内 可吉君
- 對滿事務局事務官 竹内 徳治君
- 內閣情報部長 橫溝 光暉君
- 興亞院總務長官 柳川 平助君
- 興亞院部長 日高信六郎君
- 關東局司政部長 今吉 敏雄君
- 外務政務次官 小山 谷藏君
- 外務參與官 小高長三郎君
- 外務省東亞局長 堀内 干城君
- 外務省歐亞局長 西 春彦君

外務省亞米利加局長 吉澤清次郎君

外務省通商局長 山本 熊一君

外務省調查部長 松宮 順君

外務書記官 石井 康君

內務政務次官 鶴見 祐輔君

內務參與官 青山 憲三君

內務省地方局長 挾間 茂君

內務省警保局長 山崎 巖君

內務省土木局長 成田 一郎君

內務省計畫局長 松村 光磨君

內務書記官 灘尾 弘吉君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 氏家 武君

大藏書記官 湯地謹爾郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

預金部資金局長 廣瀬 豐作君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

專賣局長官 花田 政春君

陸軍政務次官 三好 英之君

陸軍參與官 宮崎 一君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍步兵大佐 河村 參郎君

海軍政務次官 松山常次郎君

海軍參與官 小山邦太郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君

海軍大佐 千田 金二君

司法政務次官 星島 二郎君

司法參與官子爵 高木 正得君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 黒木 涉君

司法書記官 石田 壽君

文部政務次官子爵 舟橋 清賢君

文部參與官 仲井開宗一君

文部省專門學務局長 關口 鯉吉君

文部省普通學務局長 中野 善教君

文部省實業學務局長 岩松 五良君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部省圖書局長 近藤 壽治君

文部省宗教局長 松尾 長造君

文部書記官 永井 浩君

農林政務次官 岡田喜久治君

農林參與官 松木 弘君

農林省農務局長 土屋 正三君

農林省山林局長 田中 長茂君

農林省水產局長 栗屋 仙吉君

農林省畜產局長 岸 良一君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

農林省米穀局長 橫山 敬教君

農林省經濟更生部長 周東 英雄君

農林省臨時農村對策部長 重政 誠之君

農林書記官	岡本 直人君
商工政務次官	加藤 謙五郎君
商工參與官	喜多 壯一郎君
商工省鑛產局長	小金 義照君
商工省鐵鋼局長	塩谷 野吉君
商工省化學局長	永田 彦太郎君
商工省機械局長	鈴木 英雄君
商工省纖維局長	辻 謙吾君
商工省監理局長	牧 楢雄君
商工省振興部長	妹川 武人君
商工書記官	山本 茂君
商工書記官	椎名 悦三郎君
特許局長官	大貝 晴彦君
燃料局長官	東 榮二君
貿易局長官	小島 新一君
物價局次長	新倉 利廣君
逓信政務次官	武知 勇記君
逓信參與官	藤生 安太郎君
逓信省郵務局長	森島 美之助君
逓信省經理局長	手島 榮君
電氣廳部長	平井 出貞三君
電氣廳部長	藤井 崇治君
鐵道政務次官	宮澤 裕君
鐵道參與官	大島 寅吉君
鐵道省監督局長	鈴木 清秀君
鐵道省運輸局長	長崎 惣之助君
鐵道省建設局長	堀越 清六君
鐵道省經理局長	池井 啓次君
拓務政務次官	松岡 俊三君
拓務參與官	男爵 加藤 成之君
拓務省管理局長	副島 勝君
拓務省殖産局長	植場 鐵三君
拓務省拓務局長	安井 誠一郎君
拓務書記官	森重 千夫君
朝鮮總督府財務局長	水田 直昌君

臺灣總督府總務長官	森岡 二郎君
臺灣總督府財務局長	中嶋 一郎君
樺太廳長官	棟居 俊一君
南洋廳長官	北島 謙次郎君
厚生政務次官	一松 定吉君
厚生參與官	飯村 五郎君
厚生省體力局長	佐々木 芳遠君
厚生省衛生局長	林 信夫君
厚生省豫防局長	高野 六郎君
厚生省社會局長	新居 善太郎君
厚生省勞働局長	藤原 孝夫君
厚生省職業部長	內藤 寬一君
厚生書記官	川村 秀文君
保險院長官	進藤 誠一君
保險院總務局長	佐藤 基君
保險院社會保險局長	清水 玄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
 昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

○臨時第一號臨時軍事費豫算追加案  
 (臨時第一號)臨時陸軍材料資金豫算追加案

○三土委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、引續キ質疑ヲ許シマス——助川啓四郎君

○助川委員 私人主トシテ農村問題ニ關シテ御尋致シタイト思フノデアリマスガ、其ノ前ニ一言政府ノ所信ヲ御伺致シテ置キタ

イコトガアルノデアリマス、ソレハ我方國民ノ皇道理念、特ニ立憲政治運用ノ指導精神ニ付テデアリマス、從來我國ノ立憲政治ハ、自由民權ノ思想ニ依ツテ、指導サレテ參ツタヤウニ思フノデアリマスガ、今ヤ經濟活動ニ於キマシテ自由主義ガ行詰ツタト同ジヤウニ、自由民權ノ思想モ、政治的ニ指導力ヲ失ツテ來タカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ秋ニ當リマシテ、フアツシヨ思想ガ輸入サレテ、其ノ思想ニ依ツテ政治並ニ經濟ノ革新ヲ考ヘラレル人々モアルカノヤウデアリマスガ、我國ノ國柄カラ致シマシテモ、亦國民性カラ考ヘマシテモ、左様ナ思想ガ容認サルベキモノデハナイト思フノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、今日ハ、我方國民ノ皇道理念ハ政治的ニモ、經濟的ニモ確立シテ居ラナイ、政治ガ渾沌ヲ來シ、又戰時下ニ於キマシテ、統制經濟ガ愈々強化サレツツアリマスルノニ、經濟界ハ益々昏迷ニ陥ルト云フヤウナコトハソコニ重大ナ理由ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ際國民ノ皇道理念ヲ明確ニスルト云フコトハ、極メテ必要ナコトダト思フノデアリマス、我方國民ノ皇道理念ヲ、外來思想ノ型ニ嵌メテ考ヘルト云フコトガ、是ガ根本的ニ間違ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス

中上ゲルマデモナク、我國ハ世界ニ類例ノナイ、天皇ヲ中心トスル家族國家デアリマシテ、我方國民ハ肇國ノ初カラ皇運ヲ扶翼シ奉ルト云フコトヲ本願トシ人生ノ最高目標トシテ進ンデ參ツタト思フノデアリマス、是ガ外來思想ニ歪メラレ、或ハ誤ラルルモノノデアリマスルコトハ、洵ニ遺憾至極ニ思フノデアリマス、ココニ紀元二千六百年ノ意義アル年ヲ迎ヘマシテ、肇國ノ大精神ニ感激ヲ新ニスル此ノ年ニ當リマシテ、我國傳統ノ國民精神デアアル皇運扶翼ノ精神ヲ昂揚致シマシテ、國民活動ノ至高目標ヲ明確ニシ、政治經濟其ノ他一切ノ國民活動ヲ

茲ニ歸一セシメマシテ、國民ヲ擧ゲテ聖業ヲ翼贊ノ大理想ニ邁進セシムルヤウニ致サナケレバナラナイト思フノデアリマス、我國ノ政治ノ現狀ニハ、團體個人ノ對立ガアリ、政治上層部ト國民大衆トノ結び付キニ缺クテ所ノデアリマスルノハ、洵ニ残念ナコトダト思フノデアリマス、此ノ重大時局ニ際シマシテ、皇運扶翼ノ精神ヲ以テ、全國民ガ一體トナリ、聖業翼贊ニ邁進シ得マスルヤウニ、政治機構ヲ整備致シマスルコトガ、極メテ肝要ナコトダト思フノデアリマス、要スルニ國民活動ノ一切ハ、其ノ最高目標ヲ皇運扶翼ニ置クベキデアリ、憲政運用ノ指導精神モ亦茲ニアラネバナラナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ政府ノ御所見、茲ニ若シ御同感デアルトスルナラバ、其ノ具現ノ方法ニ關シマシテ、御伺ヒ致シタイノデアリマス

○米內國務大臣 御答ヲ致シマス、御説洵ニ御尤モト存ジマス、吾々ハ全國民ニ天業ヲ翼贊、皇運扶翼ノ精神ヲ徹底シマシテ、此ノ時艱ヲ克服スルト共、國威ノ宣揚ニ努メナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、此ノ指導精神ノ下ニ刷新スベキコトハ、飽クマデモ刷新ヲシ、又整備致スベキコトハ、十分ニ整備致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○助川委員 農村文化ノコトニ關シマシテ御尋致シタイノデアリマスガ、農村ニモ自由主義、個人主義ノ思想ガ浸潤シテ參ツタノデアリマスガ、殊ニ最近農村ノ都會化ノ傾向ハ、顯著ナルモノガアルノデアリマス、此ノヤウナ傾向ヲ其ノ成行ク儘ニ任シテ置クコトハ許サレナイコトダト思フノデアリマス、近時農村ノ制度文物ハ非常ニ改マリマシテ、所謂文化農村ニ發展シツツアルノ

デアリマス、併シソレト同時ニ土ノ文化、森  
ノ文化方金ノ文化ニ移行シツツアル、斯様ニ  
申サル人モアルノデアリマスガ、農村ニ於  
ケル傳統ノ良風美俗方漸次失ハレツツアリ、  
仁義的、道德的成俗ニ依ツテ築キ上ゲラレ  
テ居ツク農村ノ社會體制ニ、異變ヲ來シツ  
ツアルト云フコトハ輕々ニ看過シ得ナイ大  
キナ問題デアアルノデアリマス、歐洲大戰以  
來歐羅巴ノ各國ハ民族精神ノ昂揚、國家意  
識ノ強化、更ニ經濟獨立性ノ強化、ソレ等  
ノ要求カラ致シマシテ、各、國家主義ニ立脚  
シテ、農村問題ニ非常ナ力ヲ注ギツツアル  
ノデアリマス、我國ノ農村ハ我方家族國家  
ノ根基デアリマシテ、又國民精神文化ノ溫  
床デアリ源泉デアアルノデアリマス、隨ヒマ  
シテ我國ノ農村對策ニ付キマシテハ特ニ  
農村文化ニ對シテ、深キ關心ヲ持タネバ  
ナラナイ事由ガアルト思フノデアリマス、  
即チ此ノ際我國ノ農村文化對シマシテ再檢  
討ヲ加ヘ、國運ニ即シテ其ノ再建設ガ企テ  
ラレナケレバナラナイ時機ニ直而シテ居ル  
ト考ヘルノデアリマス、農村文化ヲ確立致  
シマシテ、我國固有ノ精神文化ヲ、永遠ニ  
維持スルト共ニ、家族國家ノ根基ヲ鞏固ナ  
ラシメネバナラナイト思フノデアリマス、  
私ハ農村文化ノ再建設ハ、國內庶政刷新ノ  
基礎工作デアアル、國家發展ニ即應スル國內  
體制整備ノ基礎工作デアアルトモ考ヘテ居ル  
ノデアリマス、要スルニ農村文化ハ、其ノ  
成行クガ儘ニ放任シテ置カルベキモノデハ  
ナイ、外來文化ノ長ヲ採ツテ、傳統的國民  
文化ヲ育成發展セシメ、農村文化ノ再建設  
ヲ圖ラナケレバナラナイト考ヘルノデアリ  
マスガ、其ノ點ニ對シマシテ、政府ノ御所  
信ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○米内國務大臣 農村文化ノ再建設ニ付マシ  
テ、農村ノ健全ナル發達ヲ圖ルコトハ極メテ  
緊要ナルコトト存スルノデアリマシテ、御  
説ノ通り一而外來文化ノ長ヲ採入レマシ  
テ、我國傳統ノ醇風美俗ヲ顯揚致シマシテ、  
日本のナ農村トシテ立派ナモノニシタイト  
考ヘテ居ル次第デアリマス

○助川委員 農村文化問題ハ農村ノ制度ヲ  
改メマシテ、農村ニ於ケル社會體制ノ立直  
シヲ圖リマスコトト表裏一體ノ關係ニアル  
ト考ヘルノデアリマス、私ハ此ノ際農村制  
度ノ刷新ニ關シマシテ、二三ノ具體的ナ問  
題ニ付テ、政府ノ御所信ヲ御伺ヒ致シタイ  
ノデアリマス

第一ハ農村ノ自治制度ニ關シテデアリマ  
ス、今日ノ我國ノ自治制度ハ、獨逸ノ制度  
ノ模直シデアリマシテ、我國ノ農村ノ實際  
ニ副ハナイモノノデアリマスルコトハ、多ク  
ノ人々ノ認メラレル所デアリマス、内務省  
ニ於キマシテモ左様ナ見地カラ、農村ノ自  
治制度改正ニ著手セラレテ居ルヤウニ承知  
シテ居ルノデアリマスガ、内務省ニ於キマ  
シテモ、其ノ中ニアリマシテ特ニ町村會議  
員ノ選舉制度ニ、多クノ苦心ヲ拂ハレテ居  
ルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、仄ニ聞  
キマスト、今ノ選舉制度ハ良質ノ議員ヲ  
得ルコトガ困難デ町村會ノ組織ガ段々ニ低  
下スル、ソレデアアルカラ町村會議員ノ一定  
數ヲ、選舉ニ依ラナイテ設ケルヤウニシヨ  
ウ、左様ナ御考ガアルカノヤウニ承知シテ  
居ルノデアリマスガ、要スルニ良イ議員ヲ  
得ラレナイト云フコトハ、選舉制度ガ惡イカ  
ラナノデアリマスカラ、何處マデモ選舉制  
度ノ改善ニ關シテ、御工夫ナサラナケレバ  
ナラナイモノダト思フノデアリマス、今

日ノ町村會議員ノ選舉制度ハ、我國ノ農村  
ノ實際ニハ副ハナイノデアリマス、候補者  
ガ個々ノ投票ヲ拾ヒ集メテ自分ノ當選ヲ圖  
ル、斯ウ云フ行キ方ハ農村ノ代表者ヲ決定  
スル方法トシマシテ、適當ナ方法デハナイ  
ノデアリマス

私ノ考ヲ申上ゲテ内務大臣ノ御所信ヲ御  
伺ヒ致シタイト思フノデアリマスガ、内務省  
デハ町村會議員ノ定數ヲ各部落ニ配當スル、  
部落單位ノ小選舉區制度ニスルト云フコト  
ヲ、御考ニナツテ居ラレルヤウデアリマス  
ガ、其ノ點ニ對シテハ私モ至極結構ダト思  
フノデアリマス、部落單位ニ議員ヲ選舉ス  
ル、是ハ宜シイ、併シナガラ此ノ選舉ヲス  
ルニ當ツテ、今申上ゲタヤウニ投票ニ依ツ  
テ決メルト云フ行キ方ガ、適當デナイト思  
フノデアリマス、私ノ考ト致シマシテハ、  
部落常會或ハ毎戶主會、左様ナ寄合ニ於キ  
マシテ、其處ニ談合ノ上ニ總意ノ投合ニ依  
ツテ議員ヲ決メル、此ノ行キ方ニセラレテ  
ハドウカト思フノデアリマス、一回ノ寄合  
デ話ガ纏リマセヌ場合ハ、二回モ三回モ四  
回モ五回モ寄合ヲ開イテモ宜シイト思フノ  
デアリマス、議員候補者ガ立ツテ、個々ノ  
投票ヲ攝集メテ當選スルト云フ行キ方デハ  
ナク、總意ノ投合ニ依ツテ代表者ヲ決メル  
ト云フ行キ方ガ、我國ノ農村ノ實際ニ副フ  
モノダト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對  
シテノ内務大臣ノ御所見ハ如何デアリマス  
カ、又町村會議員ト云フ名前モ適當デハナ  
イト思フノデアリマス、是ハ町村總代ト名  
前ヲ改メルノガ宜イノデアリナイカト思フノ  
デアリマスガ、此ノ考ヘ方ニ付キマシテモ、  
御伺ヒ致シタイノデアリマス

ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、ソレハ司  
法自治制度ノ創設ニ關シテデアリマス、法  
治國ノ體制ガ整備致シマシテ、社會秩序ノ  
維持ニ重大ナ貢獻ヲ致シテ居リマスルコト  
ハ、改メテ申上グルマデモナイノデアリマ  
ス、唯農村ニ關シマシテハ、其ノ特異性ニ  
基キマシテ、新ナル工夫ガ必要ナノデハナ  
イカト思フノデアリマス、一族ノ關係ニ於  
キマシテ、親類同士ノ關係ニ於キマシテ、  
或ハ近所隣ノ者ノ間ニ於キマシテ、何カ等  
ヒ事ガ起キタト云フ場合ニ、警察ニ駆込  
ンデ行ツタリ、裁判所ニ訴ヘ出タリスルコト  
ガ、當然普通ノコトニ考ヘラレルヤウデハ、  
農村ハ精神的ニ破産ニ陥ツタト申シテモ、  
過言デハナイト思フノデアリマス、人情味  
ノ豐カナ倫理的社會ト稱セラルベキ農村ノ  
性格ヲ考ヘマス時ニ、此ノ良風ヲ維持顯揚  
スル上ニ於キマシテ、相當工夫スル所ガナ  
ケレバナラナイト思フノデアリマス、即チ茲  
ニ新ニ司法自治ノ制度ヲ設ケラレテハ如何  
デアリマセウカ、御伺ヒ致シタイノデアリ  
マス、即チ町村ニ紛議仲裁委員トデモ申シ  
マス制度ヲ設ケマシテ、町村内ニ起リマシタル  
紛議ハ、總テ此ノ仲裁委員ニ依リマシテ、之  
ヲ道義的ニ解決スルト云フコトニ致シマシ  
テ、其ノ委員ノ手ニ依ツテ解決ノ出來ナカ  
ツタ場合ニ、訴訟或ハ調停ノ申立ガ出來ル、  
斯ウ云フコトニ致シマシテハ如何カト思フ  
ノデアリマス、要スルニ村内ニ起リマシタ  
紛議ハ、村内デ之ヲ道義的ニ解決シテ、オ  
上ノ御厄介ニハナラナイヤウニスル、此ノ  
建前ニ於キマシテ、司法自治制度ヲ設ケル  
コトガ適當ダト思フノデアリマス、殊ニ農  
村ノ性格ハ權利義務ノ觀念ダケデハ、割切  
レナイモノガ非常ニ多イノデアリマシテ、

其ノ意味カラ致シマシテモ司法自治制度ヲ設ケナケレバナラナイ理由ガアルト思フノデアリマス、要スルニ個人主義、自由主義ニ立脚シテ設ケラレタル制度ハ、我國ノ農村ノ性格ニハ妥當シナイモノガアルノデアリマシテ、我國ノ農村ノ性格ニ適應スル如ク、色々ナ制度ガ改メラレナケレバナラナイノデアリマス、御伺ヒ致シタイノデアリマス

○兒玉國務大臣 地方議會ニ於キマスル選舉ノコトニ付キマシテハ、從來度々改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、今日ノ現行制度ニ於キマシテモ、未ダ十分ナリトハ考ヘテ居リマセヌノデ、何トカ之ヲ改善致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ、地方制度調査委員ニ於テモ、答申ヲ致シテ居ル點モアルノデアリマス、併シ此ノ答申ニ基キマシテ全般的ノ地方制度ヲ考ヘ、且又只今御質問ニナリマシタ點ニ付テモ、特ニ考慮致シタイト思フノデアリマスガ、只今御話ニナリマシタ地方制度ノ基調ヲ、部落ニ御置キニナルト云フ事柄ハ、是ハ私ハ理想論トシマシテモ、且又我國ノ國家組織ノ上カラ申シマシテモ、洵ニ道理アル御見解ト思ウテ居ルノデアリマス、部落ニ於キマスル良風美俗ヲ涵養スル點カラ見マシテモ、國民精神昂揚ノ問題カラ見マシテモ、部落ヲ基調トシテ總テノコトヲ考ヘルト云フ事柄ハ、是ハ至極御尤モノ御考ト存ズルノデアリマス、而シテ町村會ノ議員ヲ選舉スルノニ、部落ヲ基調ト致シマシテ、談合的ニ適當ナル總代ヲ出スト云フ

御意見、是亦一ツノ御立派ナル御考ト思フノデアリマス、併シ此ノ事ニ付キマシテハ、地方制度全般ニ互リマス議員選出ノ方法ト關聯シテ考ヘル必要モアリマスノデ、慎重ニ考慮致シタイト思ウテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ市町村議員ノ名稱ヲ、總代トスルコトガ適當デアルト云フ御意見モ、御意見トシテ拜聴致シマシテ、全般的な地方制度改善ノ折ニ於キマシテ、篤ト參考ト致シマシテ、十分ニ研究致シタイト思ウテ居ル次第デアリマス

○木村國務大臣 農林ニ於ケル紛議ヲ、道義的ニ地方ノ委員會ニ於テ解決致シマシテ、之ヲ通常訴訟手續ニ持ツテ行カナイヤウニスル方ガ、農林ノ善良ナル風俗ヲ維持スル上ニ於テ宜カラウト云フ御意見デアリマスガ、私トシマシテモ、地方ノ紛議ガ總テ道義的ニ解決シテ行カレルコトハ、實ニ望マシイコトト存ジテ居ルノデアリマス、既ニ司法省ニ人事調停ノ如キ制度ヲ設ケマシタ趣旨モ、御意見ノヤウナ趣旨ノ下ニ行ハレテ居ルノデアリマス、併シ現在行ハレテ居リマスル調停制度以外ニ、一ツノ新シキ司法自治制度ノヤウナモノヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ、他ノ方トモ關係ガアリマスシ、且ツ今内務大臣ノ方ニ御質問ニナリマシタ部落ヲ基礎トシテ町村制度ヲ新設スルト云フヤウナコトトモ、可ナリ密接ナ關係ガアルモノト存ジマスシ、兎ニ角御尤モノ御意見ノヤウニ拜シマスカラ、司法省ト致シマシテモ、其ノ方面ニ付テ調査研究ヲ重ネマシテ、其ノ上ニテ此ノ問題ノ解決ヲ圖リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

事變ノ發展ニ伴ヒマシテ、商工業團體ハ概本其ノ再編成ヲ行ヒマシテ、時局對應ノ體制ヲ整ヘツアルノデアリマス、此ノ時ニ當リマシテ農業團體ニ於キマシテハ、固ヨリ若干ノ統制的ノ機能ハ持ツテ居ルトハ申シナガラ、舊態依然トシテ何等改竄ノ企テラレタモノガナイノデアリマス、事變ノ發展ニ伴ヒマシテ、農村並ニ農業ノ擔當スベキ國家的使命ガ、益々加重サルルニ至ツタノデアリマスガ、特ニ農業生産方、計畫生産ニ發展シテ參リマシタ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、生産指導團體ト生産資材ノ購入、生産品、販賣ノ團體トガ別々ニナツテ居ル、又生産指導團體ガ、各部門毎ニバラ／＼ニナツテ居ルト云フヤウナコトハ、計畫生産ノ完遂ヲ期スル上カラ致シマシテ、妥當デアリマシテ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ農業者ガ能動的ニ一體トナツテ、國策ニ協力シヨウト云フヤウナ場合ニ、今日ノ體制デハ適當デアリマシテ考ヘラレルノデアリマス、此ノ際農業團體ノ再編成ガ爲サルベキ時期デアルト考ヘラレルノデアリマス、少クモ産業組合中央會系統ノ團體、系統農會ガケデモ、此ノ際一ツニスルコトガ適當デアリト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ御所見如何デアリマスカ、御伺致シタイノデアリマス

○島田國務大臣 只今ノ助川君ノ御質問ニ現ハレマシタ御意見ハ、現下ノ時局ト致シマシテ、極メテ重要性ヲ帯ビテ居ル事柄デアリマシテ、又其ノ必要最モ痛切ナ點ト考ヘテ居リマス、農業團體關係ノ人々ノ間ニ於キマシテモ、御承知ノ如ク、只今御述ニナツタヤウナ趣意ヲ體シテ、此ノ間ニ善處シタイ、斯ウ云フ機運ガ動イテ居ルコトハ、

御認メノコトト思ヒマス、政府ニ於キマシテモ亦其ノ點ニ付テハ、十分ナ注意ヲ拂ツテ居ル次第デアリマスガ、唯産業組合及ビ農會ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、ソレゾレ御承知ノ如ク相當長イ發達ノ歴史ガアリマシテ、強チ其ノ因襲ニ執ハレルト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、之ヲ其ノ團體ノ系統ニ考ヘテ、中央カラ地方ニ及ビマシテ、サウシテ此ノ間ノ連絡ヲ良クシ、統制ヲ旨ク付ケテ行クト云フコトモ、實際ノ問題トシテハ、相當ノ困難ガアルノデアリマス、併シナガラ今日ハ時勢ノ上カラ考ヘマシテ、左様ナ事柄ヲ單ニ困難デアルカラト言ツテ、其ノ儘ニシテ置クト云フコトハ出來難イ事情ガ、一面ニ於テ非常ニ迫ツテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此ノ事ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ、其ノ實現ヲスル程度方法ニ付テ、慎重ナ考究ヲ加ヘテ、成ベク速ニ其ノ實效ガ擧ガリ、現下ノ時局ニ對應シテ、農村諸團體ガ一齊ニ協力活動シ得ルヤウナ方法ニ出デタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ研究ヲ進メテ居ル次第デアリマス

○助川委員 此ノ際農地ノ、田畑ノ賣買價格ノ値上リノ問題ニ付キマシテ、御伺致シタイノデアリマス、最近農地ノ値上リハ洵ニ甚シイノデアリマシテ、事變前ニ比較致シマスト、今日デハ全國平均デ、約四割程度ノ値上リニナツテ居ルノデアリマス、地方ニ依リマス、殆ド倍額ノ値上リニナツテ居ル處モ珍シクナイノデアリマス、農産物ガ値上リ致シマシタガ、ソレト同時ニ農業生産費モ高クナツテ居リマスカラ、自作農民ノ採算カラ致シマス、私共ノ計算デハ、農地ノ値上リハ、採算的ニハアリ得ナイ

コトヲ考ヘルノデアリマス、唯地主的ノ採算  
カラ致シマス、地主ノ算盤上カラ致シマス、  
土地賃賃格ノ改正ガアリ、地方財政補給金  
ノ交付等ガアリマシテ、土地ニ對スル負擔ガ  
非常ニ輕減セラレタノデアリマス、事變ニ伴  
ヒマシテ小作爭議ガ少クナツタノデアリマ  
ス、農産物ノ値上リニ依リマシテ、地主ノ  
收入ハ非常ニ多クナツタノデアリマス、地  
主ノ側ノ計算カラ致シマス、出シ方ガ少  
クナツテ、收入ガ多クナツタト云フ現象ガ  
現ハレテ居ルノデアリマス、其ノ上ニ金利  
ガ安クナリ、農地ノ投資ハ非常ニ有利ニナ  
リマシタカラ、地主的ノ採算カラ致シマス  
ト、農地ノ値上リヲスル理由ハアルノデア  
リマス、過去ノ狀況カラ申シマシテモ、農  
地ノ價格ハ常ニ地主的ノ採算ニ依ツテ、支配  
サレテ參ツタノデアリマス、現在ノ狀況ニ  
於キマシテハ、地主ノ採算ハ益々有利トナリ  
マシテ、地主的採算ニ於テ、農地ノ價格ハ  
益々値上リヲスル狀況ニアルノデアリマス、  
農地ノ投資物トナツテノ利廻リ計算ニ依ツ  
テ賣買サレ、投機思惑ノ具ニ供サレト云  
フコトハ、私共ニハ洵ニ不愉快ニ感ゼラレ  
ル所デアリマス、農地ノ尊嚴性ヲ考ヘテ居  
ル私共ニハ、堪ヘ難イ不満足感ゼラレルノ  
デアリマスガ、ソレハ兎モ角ト致シマシテ、  
農業ノ實際ノ上カラ申シマシテモ、農地ノ  
値上リハ、特ニ自作農採算トハ引合ハナイ  
ヤウナ値上リハ、自作農ノ創設ヲ困難ニ致  
シマスルシ、小作條件ヲ惡化セシメマスル  
シ、農産物ノ生産、コストヲ高ムルコトニナ  
リマスルカラ、農業ノ上カラ申シマシテモ  
洵ニ好マシカラヌコトト思フノデアリマ  
ス、私ハ此ノ際獨逸ニアリマスル土地評價  
法ノ如キモノヲ設ケルトカ、又農地調整法

ノ運用ニ依リマシテ、土地ノ商品性ヲ抑制ス  
ルトカ、更ニ耕地ト耕作者ヲモツト強ク結  
付ケル工夫ヲ考ヘマシテ、農地ノ價格ハ地  
主採算デハナク、耕作農民ノ採算ニ於テ、農  
地ノ價格ヲ安定セシムルヤウナ方策ガ立テ  
ラレナケレバナラナイト思フノデアリマス  
ルガ、農地ノ價格ニ關シマシテ、政府ノ御  
所見ヲ御伺致シタイノデアリマス

ト云フモノガ出來マシテ、之ニ於テ只今御  
論議ニナリマシタヤウナ事柄ヲ議題ト致シ  
マシテ、審議ヲシテ適切ナル措置ヲ考究致  
シタイ、斯ウ云フヤウナ順序ヲ立テテ居ル  
次第デアリマス、何レ審議會ニ於キマシテ、  
十分ノ考究ヲ遂ゲテ成案ヲ得テ、之ヲ實施  
スルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ  
ス

當時對策ガ立テラレテ居タラバ、アレ程  
ニ端境期ニ周章狼狽ヲシナクトモ宜カツタ  
ノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、  
不吉ナコトヲ申上グルヤウデアリマスガ、  
最悪ノ場合ヲ想定致シマシテ、今日カラ萬  
一ノ場合ニ備フル萬全ノ策ヲ用意セラレタ  
イト、強ク要望致スノデアリマス、天候ノ  
コトハ人力ヲ以テ如何トモスルコトガ出來  
ナイノデアリマスガ、人事ノ限リヲ盡シテ、  
生産ノ確保ニ邁進致サナケレバナラナイノ  
デアリマス、所ガ本年ノ農業生産條件ヲ考  
ヘマス、勞力ノ逼迫ハ愈々深刻ナルモノ  
ガアルノデアリマス、丁度昨日ガ舊正月ノ  
一日ダト思フノデアリマシテ、雇人ノ入替  
リノ時期デアリマスガ、全國ヲ通ジテ雇人  
ノ拂底ニ惱マサレテ居ルノデアリマス、耕  
地ニ付テ考ヘマス、年ト共ニ都會地ノ發  
展、軍需工場ノ新設擴張等ノ爲ニ、耕地ノ  
潰滅スルモノ、熟田ノ潰滅スルモノガ益々  
多イノデアリマス、政府ニ於キマシテハ明  
年度耕地ノ擴張改良ニ關シマシテ、積極的  
ナ御計畫ガアルヤウデアリマスガ、此ノ熟  
田ノ潰滅ニ起因スル生産力ノ減退ヲ、カ  
バーレスルコトハ、中々容易ナコトデハナイ  
ト思フノデアリマス、其ノ上肥料其ノ他ノ  
生産資材ノ配給ガ極メテ困難ナ狀況ニアル  
ノデアリマシテ、斯ウ考ヘテ參見マス、  
本年ノ農業生産ハ、非常ニ難局ニ立ツテ居  
ルモノト申サナケレバナラナイノデアリマ  
ス、然ルニ斯ル狀況ノ下ニ於キマシテ、政府  
ハ本年ノ米ノ生産ハ七千八百萬石ト云フ目  
標ヲ立テテ、生産増進ニ進マントシツツアル  
ノデアリマス、其ノ他ノ農産物ニ付キマシ  
テモ、ソレノ増産計畫ヲ立テテ居ラレル  
ノデアリマスガ、過去ニ於テ内地デ一番多

○島田國務大臣 農地ノ値上リノ點ニ付キ  
マシテ、御話ノ通りノ傾向ガアルコトヲ認  
メマス、大體土地ハ限ラレテ居リマスルカ  
ラ、時運ノ進展ニ伴ツテ、全體トシテ土地  
ノ値打ガ上ツテ行クト云フ傾向ノアルコト  
ハ、全體論トシテ已ムヲ得ナイ、就中農地ニ  
付キマシテハ、昨日堤君ノ御質問中ニモ現  
ハレマシタ如ク、近時時局ノ影響其ノ他ノ  
關係カラ致シマシテ、段々農地ノ面積ガ減  
少シテ、開墾其ノ他ノ擴張ノ計畫ニ依リマシ  
テ之ヲ埋メテ行キ、尙ホ其ノ擴張ヲ圖ツテ  
モ、中々潰レタモノヲ補ツテ尙ホ餘リアル  
ヤウニスルト云フコトガ、事實ニ於テ頗ル  
困難ト云フ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、  
左様ナ事情カラ致シマシテ、只今御話ニ相  
成リマスヤウナ農地ノ値上リガスル、其ノ  
爲ニ自作農ノ人達ノ農作ノ方カラ言フ所ノ  
採算ニ、非常ニ困難ヲ生ジテ來ル、隨テ小  
作ノ制度ノ上ニモ、種々不利益ナ影響ヲ及  
ボシテ來ルト云フコトニ付キマシテハ、是  
ハ其ノ傾向ノアルコトヲ甚ダ遺憾ト致シテ  
居リマス、是等ノ點ニ付キマシテ  
ハ、適切ナル方法ヲ考究致シマシテ、自作  
農並ニ小作制度ノ爲ニ、又農村全體ノ爲ニ、  
農地ノ値上リノ問題ニ付テハ、適當ナル解  
決ヲ見ナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デ  
アリマスガ、御承知ノ如ク最近農地審議會

○助川委員 米穀需給ノ不安狀態ハ、一應  
解消シタヤウニト思フノデアリマス、私共  
ハ此ノ際ニ朝鮮ガ未曾有ノ旱害ニ遭ツタニ  
拘ラズ、左様ナ中ニ於キマシテ内地ノ急ラ  
緩和スル爲ニ、アノ旱害ノ損害ニ遭ツタ中  
デ、出來ルダケノ米ヲ内地ニ送ラウトシテ  
努メテ居ラレルコトヤ、臺灣ノ當局ガ非常  
ニ協力ヲササレテ居リマスコトニ對シテ深  
キ感謝ヲ致シタイト思フノデアリマス、今  
年ノ需給關係ハ、只今御手當ニナツテ居リ  
マス輸入米ガ入荷致シマシテ、豫定ノ節米  
ガ行ハレマスナラバ、大體ニ本年ノ端境期  
ニハ適量持越量ヲ抱ヘテ、無事ニ越年ガ出  
來ルノデハナイカト、私共考ヘテ居ルノデ  
アリマス、併シナガラソレデ安心ハ出來ナ  
イノデアリマシテ、本會議ニ於テ農林大臣  
ノ御話ガアリマシタヤウニ、今後節米ニ關  
シマシテハ、官民一致大イナ努力ガ必要ダ  
ト思フノデアリマス、ソレニシマシテモ、  
若シ此ノ七八月ノ天候ガ思ハシクタクテ、  
本年秋ノ作柄ガ氣遣ハレルヤウナコトガア  
リマスナラバ、私ハ實測モ起キルデアラウ、  
實措モ起キルデアラウ、サウシテ米穀事情  
ハ、非常ニ難局ニ直面スルニ至ルノデハナ  
イカト、懸念スルノデアリマス、昨年ニシ  
マシテモ朝鮮ノ旱害ヤ、西部地方ノ旱害ハ  
七八月頃ニ豫想セラレタノデアリマス、其ノ

當時對策ガ立テラレテ居タラバ、アレ程  
ニ端境期ニ周章狼狽ヲシナクトモ宜カツタ  
ノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、  
不吉ナコトヲ申上グルヤウデアリマスガ、  
最悪ノ場合ヲ想定致シマシテ、今日カラ萬  
一ノ場合ニ備フル萬全ノ策ヲ用意セラレタ  
イト、強ク要望致スノデアリマス、天候ノ  
コトハ人力ヲ以テ如何トモスルコトガ出來  
ナイノデアリマスガ、人事ノ限リヲ盡シテ、  
生産ノ確保ニ邁進致サナケレバナラナイノ  
デアリマス、所ガ本年ノ農業生産條件ヲ考  
ヘマス、勞力ノ逼迫ハ愈々深刻ナルモノ  
ガアルノデアリマス、丁度昨日ガ舊正月ノ  
一日ダト思フノデアリマシテ、雇人ノ入替  
リノ時期デアリマスガ、全國ヲ通ジテ雇人  
ノ拂底ニ惱マサレテ居ルノデアリマス、耕  
地ニ付テ考ヘマス、年ト共ニ都會地ノ發  
展、軍需工場ノ新設擴張等ノ爲ニ、耕地ノ  
潰滅スルモノ、熟田ノ潰滅スルモノガ益々  
多イノデアリマス、政府ニ於キマシテハ明  
年度耕地ノ擴張改良ニ關シマシテ、積極的  
ナ御計畫ガアルヤウデアリマスガ、此ノ熟  
田ノ潰滅ニ起因スル生産力ノ減退ヲ、カ  
バーレスルコトハ、中々容易ナコトデハナイ  
ト思フノデアリマス、其ノ上肥料其ノ他ノ  
生産資材ノ配給ガ極メテ困難ナ狀況ニアル  
ノデアリマシテ、斯ウ考ヘテ參見マス、  
本年ノ農業生産ハ、非常ニ難局ニ立ツテ居  
ルモノト申サナケレバナラナイノデアリマ  
ス、然ルニ斯ル狀況ノ下ニ於キマシテ、政府  
ハ本年ノ米ノ生産ハ七千八百萬石ト云フ目  
標ヲ立テテ、生産増進ニ進マントシツツアル  
ノデアリマス、其ノ他ノ農産物ニ付キマシ  
テモ、ソレノ増産計畫ヲ立テテ居ラレル  
ノデアリマスガ、過去ニ於テ内地デ一番多

八五

ク米ノ收穫ガアリマシタノハ、昭和八年デアリマシテ、七千八十万石ノ收穫ガアツタノデアリマス、ソレダノニ今年ハソレヨリモ餘計ノ收穫トナツテ居ル、今申上ゲタヤウナ總テノ條件ノ惡イ申ニ於キマシテ、今マデニ例ノナイ程ノ増産ヲ圖ラウト云フコトハ、非常ニ無理ナコトダト思フノデアリマス、無理ナコトデアリマスガ、無理デモヤラナケレバナラナイ、茲ニ農業生産ノ重大性ガアルノデアリマシテ、官民一致農業生産ノ確保ニ、眞劍ナル努力ヲ拂ハナケレバナラナイノデアリマスガ、ソレニ關シマシテ政府ハ、農村勞働力ノ確保ニ關シテ、十分ナ御考慮ヲ拂ハレナケレバナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテドノヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレカ、耕地ノ潰滅ヲ、成行クガ儘ニ放任シテ置カレルモノデハナイ、耕地ノ保全ニ關シテモ、適當ナ方策ガ立テラレナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテモ、ドノヤウナ御考ガオアリデアリマスカ、御同致シタイノデアリマス

○島田國務大臣 農業勞力ノ窮乏ニナツタト云フコトハ、事實デアリマス、之ニ付キマシテハ、只今御示シノ通り非常ナ心配ヲ致シマシテ、全國ヲ通ジテ各農村ニ於ケル應急必要ナル勞働力ノ分量ニ付キマシテ、調査ヲ致シマシテ、之ニ對シテ對應スベキ處置ヲ執リタイト、斯様ニ考ヘテ、只今此ノ對策ヲ考究致シテ居ル譯デアリマス、又熟田其ノ他耕地ノ減少ニ付テハ對策處置ト云フコトニ付キマシテモ、最モ注意ヲ拂ヒマシテ、之ニ對シマシテモ全國ニ互リマシテ、適切ナル處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマスガ、何分連年ノ傾向カラ致シマシテ、

熟田ト云ハズ或ハ未熟ナ土地ト云ハズ、サウ云フヤウナ土地ガ他ノ需要ノ爲ニ潰レテ行クト云フコトハ、一面カラ言ヘバ已ムヲ得ヌ次第デアリマスケレドモ、食糧問題、農産物ト云フ關係カラ言ヒマス、由々シキ問題デアリマスカラ、之ニ對シテハ端的ニ實行可能ナル方法ヲ考究シテ實施シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ需給ノ關係ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、今日ハ御承知ノ如ク食糧トシテ、米穀ダケノ問題ニ付テ考ヘルコトハ無論出來ナイ、ソレガ他ノ雜穀ニ關係ヲ持チ、サウシテソレガ肥料ト關係ヲ持チ、飼料ト關係ヲ持チ、循環的ニ色々複雑ナ關係ヲ生ジテ居リマスルノデ、今年ノ米穀ノ需給ノ關係ニ付キマシテモ、左様ナ事情ヲ併セ考ヘマシテ、殊ニ戰時下ニ於ケル食糧ト云フコトニ付テハ、第一ニ重キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ次第デアリマスノデ、斯様ナ點ニ付キマシテ、御話ノ通り天候ニ關スル事柄ハ、如何トモスルコトハ出來マセヌケレドモ、人力ヲ以テ及ブ事柄ニ付キマシテハ、出來得ル限りノ處置ヲ講ジテ、此ノ時局下ニ於ケル食糧ノ問題ニ付テ、遺憾ナキヲ期シタイ、斯様ナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、食糧ノ問題ニ關シマシテハ、最近此ノ議會ニ於キマシテ、米穀ノ應急措置ニ關スル法律ノ改正案ヲ提出致シマシテ、之ヲ麥其ノ他雜穀ニマデ及ボシテ、政府ガ相當ナ働キノ出來ルヤウナ途ヲ開キタイト云フヤウナ考モ、一方ニハ實行トシテ現ハシテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ是等ノ御指摘ノ問題ニ付キマシテハ、目下十分ニ研究シテ、其ノ結果成案ヲ得レバ、直チニ之ヲ

實行ニ現ハスヤウニ考ヘテ進ンデ居ル次第デアリマス

○助川委員 米ノ供給ヲ確保致シマス爲ニハ、色々米穀對策モ必要デアリマスガ、私共ハ、何トシマシテモ本年ノ作柄ヲ安定スル、本年度ノ米ノ生産ヲ確保スルコトガ、最モ重要ナコトダト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ各種生産資材ノ供給ヲ確保シテ、サウシテ本年ノ生産ノ安定ノ爲ニ、最善ヲ盡サナケレバナラナイト思フノデアリマス、今日農業生産資材ノ供給狀況ヲ見マスト、地下足袋ナドノ不足ノ爲ニ、農業生産ニ影響シテ居リマスコトハ、重大ナモノガアルノデアリマス、此ノ冬ノ夜長ニ、石油ノ供給ガナイ爲ニ、一箇月以上モ燈火ヲ點ゼズニ暮シテ居ルヤウナ農村ガ珍シクナイノデアリマシテ、都會ノ人達ノ想像ダニ及バナイノデアリマス、農器具類ニ致シマシテモ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、昨年ニ比ベテ一層入手ガ困難ナノデハナイカト氣遣ハレテ居ルノデアリマスガ、是等ノ資材ニ關シマシテ、ドノヤウナ御用意ガオアリデアリマスカ、御同致シタイノデアリマス

尙ホ此ノ際飼料ニ關シテ御同致シタイノデアリマス、飼料ハ殆ド飼料飢饉ノ狀況ニ在ルノデアリマス、我國ノ畜産業ハ、今ヤ重大ナル危機ニ直面シテ居ルト申シテモ宜シイノデアリマス、私共ハ此ノコトヲ豫見致シマシテ、前内閣ニ對シテ米穀對策、肥料對策ニ付テ建言ヲ致シマシタ際ニ、飼料ニ對シテハ特殊ナル考慮ガ必要ナル、滿洲ノ雜穀ニ對シテ、朝鮮モ食糧トシテ之ニ手ヲ伸ベ、北支モ旱害ノ爲ニ食糧不足テ、滿洲ノ雜穀ニ期待ヲ懸ケル、此ノヤウナ際ニ、依

然トシテ我方内地ノ飼料ヲ滿洲ニ求メルコトハ無理ナコトダ、寧ロ此ノ際飼料ハ南洋、或ハ南米カラ輸入シテ、サウシテ滿洲ノ雜穀ハ東洋ニ於ケル食糧不足ノ緩和ニ充當シテ、其ノ餘力ヲ飼料ニ充當スベキデアル、斯様ナ考慮ノ下ニ善處セラレタイト進言致シタノデアリマシタガ、遂ニ容ルル所トナリマセヌデ、今日ノヤウナ飼料飢饉ノ慘狀ヲ見ルニ至リマシタコトハ、洵ニ遺憾千萬ニ思フノデアリマスガ、此ノ飼料ニ對シマシテモ、ドノヤウナ御考ヲ持ツテ居リマスカ、御同致シタイノデアリマス

○島田國務大臣 農業用ノ各種資材ノ確保ノコトニ付キマシテハ、是ハ御指摘ノ通り、油、地下足袋其ノ他各般ニ互リマシテ、漸時非常ナ窮乏ト云フヨリモ、寧ロ不足ヲ非常ニ懸ヘテ居ルト云フ實情ニ在ルコトハ、洵ニ遺憾デアリマス、之ニ付キマシテハ、物資動員計畫ノ方カラ、農業用資材ニ付テ割當テラレテ居ル數ガアリマスガ、其ノ數量ガ既ニ相當窮乏ナモノデアリマスノガ、ソレガ配給ノ一點ニ至リマシテ、更ニ窮乏化シテ居ルト云フ現狀デアリマスノデ、之ニ付キマシテハ、此ノ方面ノ計畫ノ上カラ、少クトモ割當テラレタル數量ノ配給ノ出來ルヤウニ、折角努力致シマシテ、其ノ緩和ヲ圖リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ飼料ノコトニ付キマシテハ、御話ノ通り洵ニ飼料ノ不足ノ爲ニ、永年計畫シ、實行シ來ツタ畜産獎勵ノ事業ガ障礙ヲ受ケマシテ、現ニ鶏ヲ初メ、其ノ他ノ家畜ガ相當減少スルノ傾向ニ在ルコトハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ所デアリマス、之ニ付キマシテハ只今御話ノ通り、ドウシテモ外國ヨリ相



當ノ飼料ヲ輸入スルノ處置ニ出ナケレバ、此ノ危機ヲ打開スルコトハ出來ナイト考ヘマシテ、此ノ年度計畫ニ於テ許サレル範圍ニ於キマシテハ其ノ處置ヲ執ツテ、急ニ應ズルノ方法ヲ講ジテ居リ、尙ホ只今御話ノヤウナ趣意ニ基キマシテ、出來得ル限り飼料ノ充實ヲ圖リ、現在以上畜産業ニ影響ヲ及ボスコトノナイヤウニ考ヘテ、折角努力ヲ致シテ居ル次第アリマス

○助川委員 飼料ノ第三國カラノ輸入ノ御計畫ノアルコトヲ御致シマシテ、洵ニ満足ニ思フノデアリマス、成ベク速ニ其ノ措置ヲ講ゼラレテ、畜産界ノ不安ヲ一掃セラシムルヤウニ御配慮ヲ願致シタイノデアリマス、何ト申シマシテモ肥料ノ問題ガ一番大キイ問題デアアルノデアリマスガ、島田農林大臣ハ御就任以來此ノ問題ノ爲ニ殆ド没頭サレテ居ラレ程、御熱心ニ御心配ニナツテ居ラレヤウニ承知シテ居ルノデアリマスガ、最近ノ狀況ヲ見マス、電力ノ供給制限ノ爲ニ硫安工場デ「スキッチ」ヲ止メタ工場モアルノデアリマス、一層製造ヲ制限シタ工場モアリマスシ、硫安鑛ノ採掘ヲ中止シタ鑛山モアリマスシ、此ノヤウナ狀況ヲ參リマス、曩ニ各府縣ニ割當テラレタ硫安、石灰窒素ノ配給モ割當テケケノ數量ノ確保モ覺束ナイノデハナイカト心配サレルノデアリマスガ、是等ノ窒素工業ニ對シテ電力ノ配給ニドノヤウナ御用意ガアリマスガ、逕信大臣ニ御致シタイノデアリマス

更ニ又本年ハ從來ト違ツテ、從來ハ肥料ニ關シテハ單肥配給ノ方針ヲ採ツテ居ツタノデアリマスガ、本年ハ專ラ配給肥料トシテ配給スルコトニナツテ居ルノデアリマス

ガ、配合肥料ノ製造工場ハ餘リ能力ニ餘裕ガナイノデアリマス、其ノ上ニ原料ノ不廻リカラ今頃マデニハ相當量ヲ製造シテアルノデアリマスガ、現在マデハソレ等ノ工場ハ殆ド休止ニ相成ツテ居リマシテ、今月ノ末頃カラ俄ニ此ノ製造ニ力ヲ注グヤウニナルト思フノデアリマス、今月ノ末頃カラ今マデヨリモ餘計ナ數量ヲ製造スルト云フコトニナリマス、是等ノ工場ノ製造能力ニ對シテ私共ハ非常ナ不安ヲ抱イテ居ルノデアリマス、此ノ配合肥料ノ製造工場ニモ電力ノ配給ガ制限サレテ居ルト承知シテ居ルノデアリマス、是カラ先モ其ノ制限ガ緩クモノトシマスルナラバ、原料ノ配給ガアリマシテモ配合肥料ノ製造ガ間ニ合ハナイコトニナルノデハナイカト心配サレマスガ、配合肥料製造工場ニ對シテ電力供給ノ御用意ハ如何デアリマスガ、是モ併セテ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○勝國務大臣 今年電力不足ノ爲ニ各種ノ産業ニ對シテ色々障礙ヲ惹起シマシタルコトハ洵ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、目下ニ對スル對策ニ當リテ居リマス、コトハ過日本議場其ノ他ニ於テ申述ベマシタ通りデアリマス、特ニ肥料ニ付キマシテハ、其ノ重要性ニ鑑ミテ政府ハ特殊ノ考慮ヲ致シテ居リマス、即チ電力調整令ヲ發動致シマシテ、近ク二割平均ノ制限ヲ致シマス、際ニモ、大體産業ノ種類ヲ四種ニ分ケマシテ、其ノ種類ニ應ジテ制限ノ率ヲ變ヘテ參ツテ居ルノデアリマスガ、肥料ハ第一種ニ編入シテ最モ制限ノ少イ「クラス」ニ入レテアリマス、此ノ一種ハ一割乃至一割五分ノ制限ヲスルノデアリマスガ、其ノ中デモ肥料ハ一番優位ノ地位ヲ與ヘテ一割制限ニ留

メタイト云フ積リテ極力肥料ノ制限ハ之ヲ少クシテ行キタイト云フ方針ヲ居リマス、尙又若シ石炭ノ入手ガ意ノ如クナリマスレバ、肥料工場ニ對シマシテハ其ノ「フル・キャパシテイ」ヲ使ヘルヤウニナリタイト云フコトヲ希望シテ居リマス、今後配合肥料ノ製造ニ付テモ略同様に積リテ居リマス

○助川委員 肥料工業ニ關シマシテハ逕信大臣ノ今後格別ノ御配慮ヲ願致シタイノデアリマス、肥料問題トシマシテ、硫安、アシモニア、石灰窒素ノ供給不足カラ致シマシテ、大豆粕ノ問題ガ當面ノ極メテ重要ナル問題ト相成ツテ居ルノデアリマス、大豆粕ニ付キマシテハ農林省ト滿洲國政府トノ間ニ一月カラ三月マデニ三十三萬噸ノ輸入ノ話合ガ出來テ居ルト伺ツテ居ルノデアリマスガ、三十三萬噸ノ入手デハ——三月マデニ此ノヤウナ數量デハ少ナ過ギルト思フノデアリマス、所ガ、最近ノ模様ヲ聞キマスト、三十三萬噸モ危イ狀況デアアル、斯ウ聞イテ私共ハ非常ニ心配ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、滿洲國ニ於キマシテハ、セメテ此ノ話合ノ出來タ數量ダケデモ輸出ヲ確保サレル御用意ガアルノデアリマスガ、對滿事務局長總裁ノ此ノ點ニ付テノ御意見ヲ御伺致シタイノデアリマス

○畑國務大臣 大豆粕ノ内地輸入ニ付キマシテハ折角努力致シテ居リマス、詳細ノ數字等ニ付キマシテハ次長カラ説明ヲ致シマス

○竹内(德)政府委員 只今御質問ノ大豆粕ノ對日本供給ニ付キマシテハ、只今御話ノ如ク一、二、三月ノ期間ニ於キマシテ、今御話ノ如キ數量、出來得レバソレ以上ノ數

量ヲ是非内地ニ欲シイコトハ内地ノ希望デアリマス、同時ニ滿洲國ト致シマシテモ、出來ルダケ其ノ希望ニ副フヤウニ努力致シテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク本年ノ大豆ノ出廻ガ色々事情カラ遲延致シマシタ結果、十二月、一月ノ出廻ガ相當減ツテ居リマシタコトハ洵ニ遺憾デゴザイマス、最近ニ於キマシテハ滿洲ノ特産專管公社ノ方ノ活動モ漸ク本格的ニナリマシテ、續々大量ノ大豆ヲ大連マデ送ツテ居ル狀況デアリマスガ、今後ハ相當多量日本ニ入ツテ來ルコトヲ考ヘテ居リマス、唯申上ゲマシタ如ク、當初ノ「スタート」ニ於キマシテ出廻不圓滑ノ爲ニ、日本トシテハ最モ大事ノ時期ニ大豆粕ノ輸入ガ遅レマシタコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、滿洲側ト致シマシテモ、此ノ不足ヲ取返スベク目下懸命ニ大豆ノ出廻ニ努メテ居リマス

○助川委員 只今洵ニ樂觀的ナル御説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、私共ノ伺ツテ居ル所デハ左様ニ樂觀サレナイヤウニ思フノデアリマス、第一ニ大連ノ油房ノ様子ヲ聽キマシテモ、大豆粕ノ統制ノ結果、油房ノ手取金ハ大豆粕一枚ニ對シテ三十五錢ト相成ル譯ナサウデアリマス、從來自由放任ニアリマシタ際ニハ一圓以上ノ利益ガアツタノデアリマスガ、今度ハ統制ノ結果三十五錢ニナツタ、從來ノ利益ノ多イ時ニハ石炭ノ不足、石炭ノ値上リ、勞銀ノ不足、勞銀ノ値上リ、ソレ等ノモノモ克服シテ増産ニ努メタノデアリマスガ、油房ノ手取ガ三分ノ一ニ減ツテハ油房ニ其ノ熱意ガナクナツテ、大豆粕ノ生産ハ少クナルデアラウト云フ消息ガ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、又先程申上ゲタヤウニ昨日カラ舊ノ正月デアリ

マスガ、舊ノ正月ニハ油房ノ労働者ハ二週  
間位ハ休ムノデハナイカ、茲ニモ大豆粉ノ  
出廻ヲ滞滞サセル大キナ理由ガアルヤウニ  
思フノデアリマス、一月二十日現在ノ北滿  
ニ於ケル大豆ノ在貨ヲ聽キマシタ所ガ、本  
年ハ昨年ニ比ベテ半分ニモ足リナイト云フ  
トデアアルノデアリマス、要スルニ專管制  
度ニ對スル滿人ノ不滿、ソレカラ滿洲農  
業者ノ懐ロ合ガ好イ爲ニ、又先高見越  
ノ爲ニ賣急ギヲシナイ、ソレ等ノ爲カラ大  
豆ノ出廻ガ少クテ一月二十日現在デハ昨年  
ノ半分ニモ足リナイト云フヤウナコトガ傳  
ヘラレテ、私共ハ非常ニ悲觀ヲ致シテ居ル  
ノデアリマスガ、斯ノ如キ狀況ニ對シマシ  
テモ、曩ニ話合ノアリマシタ數量ハ大丈夫  
輸出サレルト云フコトノ御確信ガアルノデ  
アリマスカ、重ネテ御同致シタイノデアリ  
マス

○竹内(德)政府委員 多少計數ヲ申上ゲテ  
御説明致シマシタ方ガ御分リニナルコトト  
思ヒマス、本年ノ大豆ノ出廻ガ非常ニ遅レ  
マシタニ付キマシテハ色々ノ原因ガ算ヘラ  
レテ居ツタノデアリマスガ、專管公社ガ出  
來マシテ、此ノ公定値段ガ大連ニ於テ七圓  
ト云フコトニ決メラレマシタ、是ハ當時ノ  
時價カラ致シマスト約二圓方安ク決メラレ  
タノデアリマス、此ノ爲ニ此ノ値段ヲ見越  
シマシテ大豆ハ十月中——十一月一日ニ此  
ノ會社ガ營業開始ヲシマス前ニ非常ニ多量  
出テ居リマス、借テ會社ノ營業開始以來約  
一箇月ノ間ト云フモノハ非常ニ出廻リガ少  
カツタノデアリマスガ、或ハ先ニナツテ値  
ヲ上ゲハセヌカト云フヤウナ希望ヲ持ツテ  
居ツタコトモ考ヘラレマスガ、是ハ政府ト  
致シマシテハ一タビ決メテ値段ハ斷乎トシ

テ動カサス、同時ニ是ハ大豆ノミナラズ  
他ノ雜穀ノ値段モ公定致シマシテ、相場ノ  
間ニ不均衡ナカラシムルト云フ方針ヲ執リ  
マシタ結果、漸次此ノ專管公社設立ノ趣旨  
モ分ツテ參リマシタノデ十二月ノ初旬カラ  
漸ク大豆モ出廻ツテ參リマシテ、十二月ノ  
下旬、一月ニナリマシテ相當前年ニ劣ラヌ  
量ガ參ツテ居ル譯デアリマス、只今一月  
二十日現在ノ御話ガゴザイマシタガ、一月  
末現在ニ於キマシテ專管公社ガ買付ケマシ  
タ現物ガ約四十五萬噸、先物ガ同ジク四十  
五萬噸、合計九十九萬噸ト云フモノガ既ニ確  
保サレテ居リマス、二月ニナリマシテ更ニ  
此ノ數量ハ殖エルト存ジマス、此ノ中約三  
十萬噸近クハ大連マデ到着シテ居リ、大連  
ノ油房ニ七八萬噸、内地向輸出ニ決定シタ  
モノハ十二三萬噸ト云フヤウナ大體ノ數量  
ニナツテ居リマス、當初滿洲政府側デモ此  
ノ大豆ノ出廻ガ約一箇月ハ遅レルト云フコ  
トハ一ツ日本ノ方デモ考ヘテ貫ヒタイ、已  
ムヲ得ザル事情ダ、尙ホ申シ落シマシタガ、  
本年ノ大豆ノ作柄ハ當初非常ナ豐作ヲ豫  
想サレタノデアリマスガ、收穫期ニ於キマ  
シテ旱魃或ハ水害等ニ依リマシテ前年ニ比  
ベテ約一割程度ノ減收ガアツタ、同時ニ大  
豆等一般ノ値上リニ依ツテ農民ノ懐ロニ餘  
裕ガアツタト云フ結果、大豆ノ出廻ガ遅レ  
タノデアリマスガ、先程御話ノ舊正月前ニ  
農民ハ大體生産物ヲ換價スル習慣ガアリマ  
スノデ、此ノ一月下旬、二月上旬ニ掛ケマ  
シテ相當多量出廻ツテ來ルコトト考ヘテ居  
リマス、唯今申上ゲマス如ク出廻ガ大體例  
年ニ比ベマシテ、一箇月遅レテ居リマスノ  
デ、先程御話ノ一月二月三月ノ中、一月ノ  
分ハ遺憾ナガラ豫定ノ數量ニ達シテ居リマ

セスガ、二月三月ニ於キマシテハ極力之ヲ  
回復スベク大連ノ油房モ活動致シマス、同  
時ニ豆デ内地ニ入ツテ參リマスモノモアリ、  
内地ノ製油會社ニ於ケル粕ノ生産ト云フモ  
ノガ相當出ルと思ツテ居リマス

○助川委員 滿洲カラノ大豆並ニ大豆粉ノ  
送出ニ關シテ、此ノ上共何分ノ御努力ヲ御  
願致シタイと思フノデアリマス

○松野國務大臣 御答致シマス、助川君ノ  
御質問ハ當然起ルコトト考ヘマス、如何  
ニ肥料ニ付テ農林當局ガ努力シ、又政府全  
體ガ肥料ノ生産ヲ十分ニシテ、明年度ノ米  
穀ニ備ヘルト云フコトヲ致シマシテモ、最  
後ニ於ケル鐵道ノ輸送ガ完全ニ出來ルデア  
ラウカ、ドウカデアラウカト云フ御心配ハ、  
洵ニ御尤モダト思ヒマス、私ノ方カラ申シ  
マス、ヤハリ助川君ノ御説ノ通り、政府  
ニ於テ十分ナコトヲヤル、斯ウ政府ガ覺悟

致シマシテモ、生産ガ自然ニ遲レテ參リマ  
ス、遅レテ參ル結果ハ、最後ニ於ケル輸送  
ガ完全ニ行カケレバ、折角ノ努力ガ無駄  
ニナリマスカラ、其ノ點ニ對シマシテハ、  
私共當局トシテハ十分ニ努力致シマシテ、  
萬違算ナイヤウナ計畫ヲ立テテ居ルヤウナ  
次第デアリマス、要スルニ生産ト配給、即  
チ私ノ方ノ輸送ハ是ハモウ一貫シテ居ルモ  
ノデアリマスカラ、ソレデ十分ニ此ノ點ニ  
ハ注意シテ居リマスガ、御説ノ通り肥料ノ  
需要ハ要スルニ季節的ノモノデアリマスカ  
ラ、ソレデ毎年特別ノ輸送方法ヲ立テテ居  
ルヤウナ次第デアリマス、本年ハヤハリ其  
ノ初メニ出廻期ガ幾ラカ遅レル、之ニ對シ  
マシテハ又特別ノ方法ヲ立テテナケレバナ  
ラ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ萬違算ナ  
キヲ期シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソ  
レカラ本年ハ又昨年ヨリモ實際ニ荷動キガ  
幾ラカ増加スル、斯ウ云フコトモ覺悟致シ  
マシテ、之ニ對シマシテモ方法ヲ立テテ居ル  
ヤウナ次第デアリマス、私ノ方面ニ於テ  
十分努力致スコトハ當然デアリマスガ、又  
最後ノ場合ハ斯ウ云フコトモ關係各方面ノ  
御諒解ノ下ニ皆様ノ御理解ノ下ニ協力ヲ願  
ヒタイト思ウテ居ルノハ交錯輸送ノコトデ  
アリマス、甲ノ土地ニ製造工場ガアルニ拘ラ  
ズ、舊來ノ取引關係カラ同ジ種類ノモノヲ  
遠方カラ輸送スル、斯ウ云フ状態ニナツテ  
居ルモノモアリマスケレドモ、萬一ノ場合  
ハサウ云フモノハ十分ノ御理解ノ下ニ、ヤ  
ハリ特別ノ配給方法ノ下ニ萬違算ナキヲ期  
シタイ、隨テ重要物資ノ確保ニ對シマシテ  
ハ、他ノ物資ガ多少御不便ヲ感ズルコトガア  
ツテモ、重要物資ニ對スルコトダケハ絕對  
ニ輸送ヲ完全ニシタイ、斯ウ云フ覺悟ノ下

十分ノ手配ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴ  
ザイマス  
○助川委員 先程米穀ノ應急對策ニ對シマ  
シテ、今日カラ十分ノ用意ガ必要デアルト  
云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、  
政府デハ米穀ノ強制買上ノ御用意モアルヤ  
ウデアリマスガ、傳家ノ寶刀トシマシテ、  
其ノ用意ハ無用ナコトデハナイト思ヒマス  
ガ、是ガ實施ニ付キマシテハ、餘程御考慮  
ヲナサラナケレバナイト思フノデアリ  
マス、農業者ハ軍需品ノ供出ニ付キマシテ  
モ、今度ノ政府米ノ買入ニ付キマシテモ、  
賣惜ハ致シテ居ラナイト私ハ信ジテ居リマ  
ス、政府ガ強制買上ヲスルト云フヤウナコ  
トハ、眞面目ナ農業者ノ心理ニハ好マシカ  
ラス影響ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ御考  
察キタイノデアリマスガ、殊ニ強制買上ヲス  
ルト云フコトニナリマス、農業者ノ自家  
用米ヲ控除シテ、餘裕ヲ買上ゲルト云フコ  
トニナルノデアリマス、所ガ米ノ消費ニ付  
キマシテ節米ノ弾力性ノ一番多イノハ生産  
者デアリマス、都會ノ消費者ニハ節米ノ彈  
力性ハ少ナイノデアリマス、此ノ農業者ニ  
自家消費ノ必要ダケハソレヲ殘サシテ、餘  
ツタ分ダケ買上ゲルト云フコトニナリマス  
ト、消費ノ弾力性ノ少イ都會ノ消費者ニ節  
米ノ全責任ヲ負ハセルカ、其ノ不足分ヲ外  
國カラ輸入スルト云フコトニナラナケレバ  
ナラナイト思フノデアリマス、米ノ強制  
買上ニ付キマシテハ左様ナ矛盾モ起キルコ  
トヲ御考ノ上ニ慎重ニ御考ヲ願ヒタイノ  
デアリマス、昨年ノ秋ノ米穀事情ノ混亂ヲ  
來シマシタ一番大キナ原因ハ、八月二十四  
日ニ告示サレマシタ公定價格ノ決定ガ、當  
時ノ實勢ニ副ハナカツタト云フ所ニ根本

ノ原因ハアルト思フノデアリマスガ、米穀  
ノ取引ガ自由ニ放任サレテ居ツタト云フ所  
ニ重大ナ理由ガアルト思フノデアリマス、  
ソレデアリマスカラ、今後ノ難局ニ對應ス  
ベキ方策ト致シマシテハ、私ハ米ノ集荷ニ  
對シマシテハ、之ヲ一元的ニ統制スベキデ  
アル、配給ニ關シマシテモ統制ノ強化ヲ圖  
リマシテ、米ノ自由取引ニ對シテ強力ナル  
制限ヲ加ヘルト云フコトガ必要デアルト思  
フノデアリマス、今日カラ其ノ點ニ對シマ  
シテ十分ノ御用意ガ必要ダト思フノデアリ  
マスガ、之ニ對シテノ御所見ヲ御同致シタ  
イノデアリマス  
序ニ一緒ニ御同致シタイト思ヒマス、日  
滿支ヲ通ジテノ米穀對策デアリマスガ、本  
年ノ米穀事情ノ惡化ニ驚キ慌テマシテ、滿  
洲デ米ノ増産ヲ圖ルベキデアアル、或ハ支那  
デ米ノ増産ヲ圖ルベキデアアル、滿支ニ依存  
シテ我國ノ食糧安定ヲ考ヘヨウトスル向キ  
モアルノデアリマスガ、私ハ非常ニ輕率ナ  
誤ツタ考ヘ方ダト思フノデアリマス、滿洲  
モ支那モ共ニ食糧ノ不足カラ食糧ノ輸入國  
デアリマスカラ、サウシテ現在ハ滿洲ニ於  
キマシテハ、滿洲人ノ生活ノ向上カラ米ノ  
消費ガ年々増加シツツアルノデアリマス  
ガ、支那ニ於キマシテモ將來ハ其ノヤウナ情  
勢ヲ豫想サレルノデアリマスカラ、滿洲モ  
支那モ今後米ノ増産ニ努力致シマシテ、一  
日モ早ク自給自足ノ出來ルヤウニ誘導協力  
致スベキダト思フノデアリマスガ、我國ト  
致シマシテハ内外地ヲ通ジテ食糧ノ自給自  
足ノ計畫ヲ立テ行クベキモノデアアル、即  
チ日滿支各、食糧ニ關スル限り、自給自足ヲ  
建前ト致シテ、過不及ヲ生ジマシタル場合  
オ互ニ補給シ合フ、此ノ見地ニ立チマシテ、

日滿支ノ食糧政策ハ立テラレナケレバナラ  
ナイモノダト思フノデアリマスガ、此ノ點  
ニ對シテノ御所見モ御同致シタイト思フノ  
デアリマス  
モウ一ツハ貯穀制度デアリマスガ、内外  
地ヲ通ジテ大規模ナ増産計畫ガアルノデア  
リマスガ、今日ノ情勢ニ於キマシテ當然ノ  
コトダト思フノデアリマス、併シ此ノ際御  
考慮ヲ願ヒタイコトハ、大正七八年當時ノ所  
謂豐作飢饉ニ對シマシテ、此ノ苦イ經驗ニ  
我國ノ農業者ハ政府ノ増産計畫ニ多少ノ不  
安ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ  
ヤウナ大規模ナ増産計畫ニ進シテ行クナラ  
バ、生産過剩ヲ來シタ場合ノ對策ニ萬全ヲ  
講ジナケレバナラナイト思フノデアリマス、  
今日自治管理法ハアリマスガ是ハ需給調節  
ノ應急ノ處置デアリマシテ、是デハマ  
ダ十分デハナイノデアリマス、此ノ際貯穀  
制度ヲ確立致シマシテ、過剩米ノ恆久的貯  
藏方策ヲ樹テラレナケレバナラナイト思フノ  
デアリマス、三年ノ蓄無ケレバ國其ノ國ニア  
ラズト言ハレタノデアリマスガ、最近交換  
經濟ノ發達ニ伴ヒマシテ、民間ニ於ケル貯  
藏ト云フモノハ——其ノ貯穀ノ風習ト云フ  
モノハ殆ドナクナツタノデアリマス、其ノ  
上ニ政府ニ於キマシテハ、八百萬石——八  
百萬石ト云フト、我が國民ノ一箇年ノ食糧ニ  
足リナイノデアリマス、八百萬石ノ持越量  
之ヲ適量持越量ダト考ヘテ居ツタ所ニ米穀  
政策ノ根本的ナ誤ガアルト思フノデアリマ  
ス、米作ニハ屢不作ガアリマシテ、連續ス  
ル時ニハ積算二千萬石程度ノ減收ガアルノ  
デアリマス、今度ノ事變ノヤウナ場合ニ消  
費ノ激増スルコトモ御承知ノ通りデアアル  
デアリマスルカラ、私ハ此ノ際恆久的ナ貯

穀制度ヲ確立致シマシテ、過剩米ノ恆久的  
ナ貯藏、同時ニ非常時ニ備フル方策ヲ確立  
スルノ必要ガアルト思フノデアリマスガ、  
之ニ對シテノ政府ノ御所信ヲ御同致シタイ  
ノデアリマス  
次ニ先程農林大臣ノ御話ガアリマシタヤ  
ウニ、食糧ト肥料ト飼料トハ極メテ密接ナ  
相互關係ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、之  
ヲ各、切離シテ考ヘマス、ソコニ思ハザル  
手違ヲ生ズル場合ガアルノデアリマス、肥  
料トシテ考ヘラレテ居リマシタ大豆粕ガ、  
今日飼料トシテ使用サレ、肥料ノ不足ニ拍  
車ヲ掛ケテ居ル  
〔委員長退席、山本(芳)委員代理著席〕  
又食糧トシテ朝鮮ニ輸入サレテ居ルノデア  
リマス、内地ノ飼料トシテ考ヘテ居リマシ  
タ滿洲ノ高粱、玉蜀黍ガ食糧トシテ朝鮮、  
北支ニ輸入サレツツアリマスコトモ御承  
知ノ通りデアリマス、又飼料不足ノ結果内  
地ニ於キマシテ穀十大家、裸麥ガ家畜ノ飼  
料ニ供セラレマシテ、食糧不足ニ拍車ヲ掛  
ケテ居ルコトモ明ナ事實デアアルノデアリマ  
ス、サウデアリマスカラ、私共ハ前内閣ニ  
對シマシテ、食糧ト肥料ト飼料、此ノ三ツニ  
對シテ綜合的ナ調査研究機關ヲ設ケ、サウ  
シテ三者ノ供給確保ニ遺憾ナキヲ期スベキ  
デアルト進言致シタノデアリマシタガ、其  
ノ實現ヲ見ルニ至ラナカツタノデアリマス、  
現内閣ニ於キマシテハ、此ノ問題ニ對シテ  
ドノヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレマスガ、御  
同致シタイノデアリマス  
次ニモウ一ツ農林大臣ニ御同シタイコト  
ガアリマス、ソレハ蠶絲業ニ對シテデアリ  
マス、其ノ第一ガ生絲ノ輸出振興ニ關スル  
御方針デアリマスガ、昨年ノ輸出生絲ハ數

量ニ於キマシテ、三十八万餘依デアリマシテ、一昨年ニ比ベマス、約二割ノ減少ニ相成ツテ居ルデアリマス、數量デハ二割減デアリマスガ、金額デハ五億六百餘万圓デアリマシテ、一昨年ニ比ベテ約四割ノ増加ニ相成ツテ居ルデアリマス、生絲ハ外貨獲得ノ上ニ於キマシテ、重要ナル役割ヲ擔當シテ居ルデアリマスガ、是カラ先更ニ生絲ニ對シテ期待スル所ガ非常ニ多イト思フデアリマス、所ガ過去ノ經驗カラ申シマス、價格ガ騰貴スレバ必然的ニ輸出ノ數量ヲ減ズルデアリマス

(山本委員長代理退席、委員長著席)

價格ガ無暗ニ高クナリマス、販路ヲ縮小シテ將來ニ禍根ヲ貽スト云フ憾ガアルバカリデナク、其ノ結果トシテ外貨獲得ニモ不安ガアルカノヤウニ思フデアリマス、若シモ數量ノ増加ヲ圖ラウト致シマス、價格ノ値下リガ免レ得ナイデアリマス、此ノ兼合ヒガ非常ニ面倒ナノデアリマス、政府ハ此ノ見透シニ付キマシテ、ドノヤウナ見透シヲ御持チニナリ、此ノ數量ト價格トノ關係ニ於テ、ドノヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレルカヲ御伺致シタイデアリマス

其ノ次ハ積立金ノ問題デアリマスガ、積立金ノ問題ハ極メテ重要問題トシテ蠶絲業者ノ深い關心ヲ持ツテ居ル問題デアリマス、此ノ積立金ハ生絲ノ價值ガ高クナリマス、容易ナラナイ大キナ金額ニナリマシテ、若シ生絲ノ價值ガ三千圓ニナルト致シマス、積立金ハ約八百圓ニナルデハナイカト思フデアリマス、生絲ノ價值ガ三千圓シタ其ノ時ニ生絲ヲ賣ツタ者ハ二千二百圓切り手取ガナイ、斯ウ云フコトハ生絲ノ取引ノ上ニ色々ナ影響ガアルト思

フデアリマスガ、第一ニ私共ノ心配サレマスコトハ、生絲ガ高クナツテモ高クナツタ大部分ハ積立金ニナル、手取ハ幾ラモ殖エナイト云フコトニナリマス、製絲家ハ採算圖内ニ於テ實益ギヲスル、値下リハ心配サレマスガ、値上リニナツテモ收入ハ幾ラモナイ、大部分ハ積立金ニサレト云フノデ、生絲ノ値上リヲ抑制シ、絲價ノ壓迫ヲ來スノ虞ガアルカノヤウニ思フデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ御所見ハ如何デアリマスカ、又會テ生絲ニ對シマシテ、我國ガ輸出關稅ヲ課セルデアラウト云フコトガ新聞ニ報道サレマシタ當時、亞米利加ノ識者ノ間ニハ、相殺關稅ノ議論ガ起ツタデアリマス、是カラ考ヘマシテ、積立金ガ僅カノ間ハ左程ノコトモアリマスマイガ、生絲ノ價值ガ段々ニ高クナリ、積立金額ガ段々ニ多クナリマス、私ハ此ノ事ハ相當輸出先デアリ亞米利加ヲ刺戟致シマシテ、輸出ノ増進ニ惡イ影響ガ來ルデアリナイカト考ヘルデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ御所見ヲ御伺致シタイデアリマス

○島田國務大臣 御質問ノ簡答ガ多ウゴザイマスカラ願々ニ成ベク簡單ニ御答致シタイト思ヒマス

第一ニ米ノ強制買上ノコトデアリマスガ、是ハ御意見ノアリマシタ通り、又全體カラ考ヘマシテ、人心ニ及ボス影響ト云フコトモ非常ニ重大ト考ヘマシタノデ、殊ニ現時ノ米穀事情ニ於キマシテハ左様ナ必要ハアリマセス、現在ニ於テナイノミナラズ、將來此ノ規定ヲ發動スルヤウナコトニ付キマシテハ、最モ慎重ナル態度ヲ以テ臨ミタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、所謂傳家ノ寶刀ト仰セデゴザイマシタガ、決シテ抜カナ

イ、抜ク場合ノナイヤウニ致シタイト、斯様ナ心配デ居ル次第デアリマス、尙ホ配給ノ一元化ノコトニ付キマシテハ、是ハ尚ホ議論トシテ御尤モデアアル、實際左様ニ致シテ配給權ヲ整理統一致シマシテ、一元的ニ之ヲ行ハセルト云フコトニスルコトガ最モ必要ナコトト思フデアリマス、又サウ云フ風ナ方向ニ向ツテ諸施設ヲ考ヘテ行カナケレバナイト考ヘテ居ル次第デアリマスガ、何分日々ニ非常ニ廣汎ニ多量ニ動クモノデアリマスカラシテ、之ヲ直チニ抜本的ニ一元化スルト云フ處置ニ出ルコトニ付テハ、相當ナ困難ガ伴フデアラト云フコトヲ、御諒察ヲ願ハナケレバナラヌデアリマシテ、其ノ方針ニ向ヒ其ノ趣意ニ依ツテ之ヲ考ヘテ居リ、努メテ居ルト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ日滿支ノ關係ニ付キマシテ、米穀其ノ他——主トシテ米穀ニ付テノ御話デアリマシタガ、是ハ尚ホ尤モデアアル、私共モ其ノ通りノ方針ヲ以テ進ミタイト思フノデス、何レニ致シマシテモ、朝鮮ハ大陸ニアルノデアリマスケレドモ、内外地ヲ通ジテ日本ノ本土ハ島デアリマスカラ、此ノ瑞穂ノ國ノ食糧ノ問題ニ付テハ、米穀ヲ内外地ヲ通ジテ大體配給ノ出來ルヤウニスル、已ムヲ得ナイ場合ニハ無論ソレニ應ズルノ處置ヲ執ラネバナラヌデアリマスガ、サウ云フ方針ヲ以テ進ムベキデアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、滿洲國ニ於キマシテモ、北支ニ於キマシテモ、大體御話ノヤウナ趣意ヲ以テ其ノ國內ニ於ケル需要ニ對シテハ、國內ノ産額ヲ以テ之ニ充テルノ方針ヲ以テ指導シ、又其ノ方針ヲ以テ進ムヤウニ致サナケレバナラヌ、サウシテ三者相俟ツ

テ食糧問題全體ニ付テ又不足ノナイヤウニ、相當ナ用意ヲ以テ進ムコトノ出來ルヤウニ綜合的ニ考ヘテ行クベキデアルト思フノデス、左様ナ見地カラ致シマシテ、是ガ其ノ次ニ御尋アリマシタ貯蓄ノ制度ニ關係シテ居ルト私ハ思フノデスガ、是マデノ考ヘ方デ御話ノヤウニ、餘リ多クナイ額ヲ以テ端境期ニ於ケル持越ノ理想量トシテ居ツクノデアリマスガ、吾々ガ此ノ十數年ノ間ニ經驗ヲ致シマシタ米ノ非常ナ過剩ノ出來タ場合、又現時ノ如ク米ノ供給ニ相當窮屈困難ヲ感ズル、此ノ兩方ノ貴重ナル苦イ經驗ヲ經テ、今日ニ至ツテ居ルコトヲ考ヘルト、米穀ニ付テハ貯蓄ニ重キヲ置イテ、相當多量ノ貯蓄ヲスル、又過剩米ニ付キマシテハ、其ノ始末ニ困ツテ騒グヤウナコトノナイヤウニ、同時ニ多少ノ不作ガアリマシテモ、其ノ不作ニ應ジテ狼狽ヲスルコトノサイヤウナ用意ヲ持ツテ立タナケレバナラヌ、是ハ今日誰モ考ヘテ居ルコトデアリマシテ、自分共モ左様ニ考ヘテ居ルデアリマス、隨テ此ノ點カラ考ヘマシテ、内外地ヲ通ジテ相當量ノ持米ヲ持チ、或ハ之ヲ制度カラ云ツテ、恆久的ナ貯蓄ノ方法ヲ立テルコトガ、極メテ必要ナコトト考ヘテ居ルデアリマス、而シテ更ニ之ヲ日滿支ト云フ一層大キナ見地カラ考ヘルト、此ノ貯蓄ノ制度ニ付テハ、更ニ深く考ヲ致スベキ必要ガアルト思ツテ居リマス

次ニ食糧、肥料、飼料ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ先刻モ一寸申上ガマシタガ、食糧ノ一部ガ即チ飼料ニナリ、又飼料ノ一部ガ肥料ニナリ食糧ニナルト云フ相關關係ガアリマシテ、今日現實ニ其ノ事情ガ錯綜シテ現ハレテ居ルデアリマス、ソレガ爲ニ先

テ食糧問題全體ニ付テ又不足ノナイヤウニ、相當ナ用意ヲ以テ進ムコトノ出來ルヤウニ綜合的ニ考ヘテ行クベキデアルト思フノデス、左様ナ見地カラ致シマシテ、是ガ其ノ次ニ御尋アリマシタ貯蓄ノ制度ニ關係シテ居ルト私ハ思フノデスガ、是マデノ考ヘ方デ御話ノヤウニ、餘リ多クナイ額ヲ以テ端境期ニ於ケル持越ノ理想量トシテ居ツクノデアリマスガ、吾々ガ此ノ十數年ノ間ニ經驗ヲ致シマシタ米ノ非常ナ過剩ノ出來タ場合、又現時ノ如ク米ノ供給ニ相當窮屈困難ヲ感ズル、此ノ兩方ノ貴重ナル苦イ經驗ヲ經テ、今日ニ至ツテ居ルコトヲ考ヘルト、米穀ニ付テハ貯蓄ニ重キヲ置イテ、相當多量ノ貯蓄ヲスル、又過剩米ニ付キマシテハ、其ノ始末ニ困ツテ騒グヤウナコトノナイヤウニ、同時ニ多少ノ不作ガアリマシテモ、其ノ不作ニ應ジテ狼狽ヲスルコトノサイヤウナ用意ヲ持ツテ立タナケレバナラヌ、是ハ今日誰モ考ヘテ居ルコトデアリマシテ、自分共モ左様ニ考ヘテ居ルデアリマス、隨テ此ノ點カラ考ヘマシテ、内外地ヲ通ジテ相當量ノ持米ヲ持チ、或ハ之ヲ制度カラ云ツテ、恆久的ナ貯蓄ノ方法ヲ立テルコトガ、極メテ必要ナコトト考ヘテ居ルデアリマス、而シテ更ニ之ヲ日滿支ト云フ一層大キナ見地カラ考ヘルト、此ノ貯蓄ノ制度ニ付テハ、更ニ深く考ヲ致スベキ必要ガアルト思ツテ居リマス

次ニ食糧、肥料、飼料ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ先刻モ一寸申上ガマシタガ、食糧ノ一部ガ即チ飼料ニナリ、又飼料ノ一部ガ肥料ニナリ食糧ニナルト云フ相關關係ガアリマシテ、今日現實ニ其ノ事情ガ錯綜シテ現ハレテ居ルデアリマス、ソレガ爲ニ先

程申上ゲマシタヤウニ、飼料ニ付キマシテ、  
第三國ヨリ輸入ヲ仰グノ必要ガ生ジテ來テ  
居ル現狀デアリマスカラ、此ノ三者ノ關係ニ付  
キマシテ、之ヲ十分ニ圓滑化シテ、支障ノナイ  
ヤウニスルコトニ付テ、現ニ省內關係部面  
ニ於キマシテ、連絡協議ヲ致シテ居リマス、  
尙ホ此ノ事柄ニ關係ノアル他ノ部局、對滿  
事務局、或ハ企畫院、サウ云フ方面ニ對シ  
テモ協力ヲ求メ、協議ヲ致シマシテ、之ニ  
關スル處置ニ付テ圓滿完全ヲ期シタイ、斯  
様ニ考ヘテ居リマス

蠶絲ノ問題ニ付テ二點ニ互ツテノ御尋デ  
コザイマシタガ、是ハ申スマデモナク貿易  
ノ大宗デアツテ、外貨獲得ノ爲ニハ、絲ノ  
値上リヲ希望スルガ、絲ノ値ガ上リマスコ  
トガ、自然ニ輸出量ノ減退ト云フコトヲ惹  
付ケル、サウ云フ結果ヲ現在見テ居ルノデア  
リマス、此ノ點ニ付キマシテハ頗ル困難ナ  
事柄デアアル、又他ノ一面カラ云ヒマス、  
生絲ニ對シテ競争スベキ纖維ノ發達ト云フ  
コトモ、考ヘナケレバナラスコトデアリマ  
シテ、是モ頗ル困難ナ事柄デアリマス、何レ  
ニ致シマシテモ外貨ヲ獲得スル上カラ云ヒ  
マスト生絲貿易ハ極メテ重大ナ地位ニアル  
事柄デアリマスカラ、之ニ付キマシテハ十  
分ノ用意ト研究トヲ致シマシテ、此ノ對策  
ヲ立テテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第  
デアリマス

次ニ生絲ノ價格方騰貴致シマスニ付キマ  
シテ、積立金ヲセシムル事柄デアリマスガ、  
積立金ニ付テハ只今助川君ノ御述ニナリマ  
シタヤウナ考ヘ方モアリマス、併シ又一面  
ニ於キマシテハ、或ル程度以上ニ値上リマ  
シタ場合ニ、其ノ値上リノ部分ニ付テ、相  
當強度ナ積立ヲスルコトハ、製絲業者ノ方

面カラ言ヒマシテ、之ヲ安定セシムル、斯  
ウ云フ意味ニモ相成ル次第デアリマス、製  
絲業者自體、當業者自體方進ンデ積立ヲ行  
ハウト云フ機運ヲナシテ居ルト云フ事情ニ  
モ鑑ミマシテ、御話ノヤウナ次第モアリマ  
スケレドモ、或ル意味カラ言ヘバ、製絲業  
ノ安定ヲスルコトニ效力ノアルモノト考ヘ  
マシテ、積立金制度ハヤハリ實行シテ行ク  
コトガ宜イノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ  
居リマス、ソレト同時ニ積立金ヲスレバ、  
ソレガ需要者ノ方ニ反感ヲ抱カセルトカ、  
或ハ他ニ面白カラザル影響ヲ及ボスト云フ  
事柄ニ付キマシテハ、是ハ値上リヲシタ部  
分ニ付テ積立ヲスルノデアツテ、積立金ヲ  
需要者ニ轉嫁スル、斯様ナ意味合ニハ相成  
ラスト考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテ  
ハ、差當リ疑念ハナイカノヤウニ考ヘテ居  
リマス、何レニ致シマシテモ、御承知ノ如  
ク數年前ノ非常ニ安イ絲ノ値段ハ、其ノ當  
時豫想ダモシナカッタト云フヤウナ事情デ  
アリマシテ、動モスレバ生絲ノ問題ガ、投機  
思惑ノ具ニ供サレルコトモアリマスノデ、  
極メテ之ニ對シテハ周密慎重ナル考ヲ以  
テ、對處スベキ必要ガアルト思フノデアリ  
マス、左様ナ全體的ナ考カラ、此ノ積立制  
度ガ考究セラレテ居ルノデアリマシテ、此  
ノ點ニ付キマシテハ尙ホ十分ナ研究ハ致シマ  
スケレドモ、現在政府ノ方針ト致シマシテ  
ハ、或ル程度以上ノ騰貴ヲ致シタ積立ヲセ  
ニ對シマシテハ、相當強イ程度ノ積立ヲセ  
シムルト云フヤウナ方針ヲ以テ進ミタイ、  
斯様ニ考ヘテ居リマス、ドウゾ御諒承置キ  
ヲ願ヒマス

○助川委員 大層時間ヲ遅ラセテ申譯ナイ  
ノデアリマスガ、唯一ツダケ興亞院ニ質問

致シマス、東亞新秩序建設ニ關聯スル東亞  
ノ農林政策ニ付テデアリマス、此ノコトニ  
付キマシテハ、色々御伺シタイコトガアル  
ノデアリマスガ、時間ガアリマセヌノデ、  
唯結論ダケ申上ゲテ、政府ノ御所信ヲ御伺  
致シタイト思フノデアリマス、支那ハ申上  
ゲルマデモナク世界第一ノ農業國デアリマ  
シテ、而モ農業生産ガ極メテ幼稚デアリマ  
スカラ、我國ノ農業技術ガ之ニ入りマスレ  
バ、支那ノ農業ハ刮目ニ値スル發展ガアル  
ト思フノデアリマス、隨ヒマシテ支那  
ノ農業ノ將來ニ對シテ、日本ノ農業關  
係ノ人々ガ、非常ナ脅威ヲ感ズル向モア  
ルノデアリマスガ、私ハ必ズシモソレ  
ハ當ラナイコトダト思フノデアリマス、  
農作物ハ自ラ地理的ニ分業ガ行ハレルノデ  
アリマス、之ヲ滿洲ニ付テ考ヘマシテモ、  
滿洲建國ノ當時ニ於キマシテハ、滿洲ノ農  
業ノ發達ガ、我國ノ農業ニ非常ナ打擊ヲ與  
ヘルデアラウト云フコトガ、多クノ人々ニ  
心配サレタノデアリマスガ、今日ニナリマ  
スト何等ノ脅威ヲ與ヘナイバカリデナク、  
内地ノ農業ハ滿洲カラ肥料、飼料ノ供給モ  
受ケテ、共存共榮ノ實ヲ收メテ居ルノデアリ  
マス、サウデアリマスカラ、支那ノ農業ニ  
對シテモ、徒ニ脅威ヲ感ズルト云フコトハ  
當ラナイト思フノデアリマス、併シ滿洲ト  
我國トノ農業ガ、今日共存共榮ノ實ヲ初メ  
テ居ルト云フコトハ、自然ノ地理的分布ノ  
爲バカリデハナイノデアリマス、建國ノ初メ  
ニ當リマシテ、我國ノ政府當局ト滿洲國ノ  
當局トノ間ノ深キ用意ノ下ニ兩國ノ農業ノ  
根本方策ニ對シテ十分ナ方策ヲ立テラレタ  
結果デアルト思フノデアリマス、地理的ナ  
自然ノ分布ニバカリ依頼シテ居ル譯ニハ參

ラナイノデアリマシテ、支那ニ新タナル中  
央政權ガ設ケラレルト云フ此ノ時ニ當リマ  
シテ、滿洲建國ノ當時ノ如クニ兩國ノ農業  
政策ノ上ニ十分ナ將來ヲ考ヘテノ工作、工  
夫ガ廻ラサレマセスト、將來ニ禍根ヲ貽ス  
デアラウト思フノデアリマス、此ノ事ニ私  
ハ蠶絲業ニ關シマシテ其ノ懸念ヲ多ク持ツ  
テ居ルノデアリマスガ、申上ゲルマデモナ  
ク日滿支各、農業國デアリマシテ、東亞新秩  
序ノ建設ニハ三國ノ農業ノ連絡調整ト云フコ  
トガ極メテ重要ナ地位ヲ占メナケレバナラ  
ナイノデアリマシテ、其ノ意味カラ申シマシ  
テモ、兩國ノ農業ノ將來、是ノ根本方策ト云  
フモノハ、何ヨリモ先ニ定メラレテアラネ  
バナラナイ答デアリマスガ、此ノ點ニ對シ  
マシテ、政府ニドノヤウ御用意ガアリマ  
スカ御伺致シタイノデアリマス

○柳川政府委員 支那ノ農業指導協力ニ關  
シテノ御質問ニ對シテ御答致シマス、先刻  
カラノ助川君ノ御意見ハ大體支那ノ實情  
ニ非常ニ能ク合致シテ居ル御尤モノ意見ト  
存ジマス、隨テヨク協議ヲシ、相携ヘテ行  
ケルヤウナ方針ニ進マナケレバナラスコト  
ハ御説ノ通りデアリマス、ガ大體ハ支那ハ  
御存ジノ通りニ、各地方事情ヲ異ニシテ居  
リマスルノデ、支那ノ中央政權、各地方ノ  
政權ニ自ラ進ンデ、其ノ政治——農業指導  
ヲ委スルノデアリマスガ、我國若クハ滿洲  
等トノ關係ハ能ク調節ヲシ、協議ヲシテ行  
クヤウニスルヤウニ計畫努力ヲ進メル考デ  
居ルノデゴザイマス、只今ドレダケノ計畫  
ガアルカト云フコトハ、具體的ニ申上ゲル  
マデニハ至ツテ居リマセヌ

○三土委員長 今日午後ニ政府ノ方デ臨時  
開議ヲ開ク時間ノ都合ガアルカラ、開會ヲ

少シ遅ラシテ吳レト云フコトナノデ、二時ニ開會致シマス

○勲川委員 商工大臣其ノ他ニ對スル質問ガアリマスガ、大層時間方遅レマシタカラ、大體是デ……

○田村委員 議事進行ニ付テ……豫算委員會ガ始マリマシテ既ニ五日ニナリマス、此ノ五日カラ豫算總會ヲ始メテ居リマシテ、五日ニ吾々委員ノ方カラソレ……豫算審議ニ必要ナル資料ヲ政府ニ要求シテ居ルノデアリマスガ、未ダ五日ニナルニ拘ラズ殆ド資料ト認ムベキモノガ政府側カラ提出ニ相成ツテ居リマセヌ、洵ニ遺憾ニ存スルノデアリマスガ、此ノ際委員長ヲ通ジテ嚴重ニ政府ニ資料ノ提出方ニ付テ御督促願ヒタイト思フノデアリマス

○三土委員長 田村君ヨリ言ハレル所ハ御尤モト思ヒマスカラ、政府ニ於キマシテモ、出來ルダケ早ク御出シ願ヒマス、ソレデハ二時ヨリ開會致シマス、是デ休憩致シマス  
午後零時二十五分休憩

午後二時二十七分開議

○三土委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ、質疑ヲ續行致シマス——松村謙三君

○松村(謙)委員 私人質疑ハ、最初總理大臣、商工大臣ノ御立會ヲ願ヒタイト存ジマスガ、時間ヲ惜ミマスカラ始メマスケレドモ、出來ルダケ早ク御出席ヲ御願致シマス、私ハ主ニ食糧ノ問題ニ付テ御同致シタイト存ジマス、食糧ノ問題ハ是ハ今日非常ニ大キナ問題デアリマシテ、若シモ此ノ上ニ米ガ足りナイ、食ベ物ガ足りナイト云フコトニナリマス、石炭ノ不足ドコロノ懸ギデハアリマセヌカラ、是ハ非

常ニ重大ニ考ヘナクテハナリマセヌ、隨ヒマシテ、私ノ御同致シマスコトモ、決シテ政府ノ揚足ヲ取り、攻撃ヲシヨウト云フヤウナ考デハ斷ジテナイノデアリマシテ、誰ガヤリマシテモ、非常ニ困難ナ問題デアリマスカラ——殊ニ今ノ大臣ニ對シテハ、是カラ御始メニナルノデアリマスルカラ、決シテ非難ガマシイコトヲ申スノデハアリマセヌ、此ノ間本會議ニ於キマシテ、吾々ノ同僚デアアル高田君アタリカラ、色々ノ質問ヲ致シマシタガ、就任日淺イカラ藉スニ時日ヲ以テセヨト云フ御言葉デアリマシタ、隨テ多ク明確ナ御答ヲ得マセヌデ、是ハ御無理モナイコトデアリマシテ、日ノ淺イ今日ニ責任ノアル話ガ、或ル程度マデ出來ナイコトハ能ク諒承致シマス、諒承致シマスガ、併シ米ノ問題ハ一日ヲ緩ウスルコトノ出來ナイ問題デゴザイマシテ、所謂考ヘテ居ル間ニ、後カラ追ツ掛ケテ參ルノデアリマス、前ノ内閣ノ時ニ、米ノ問題ガ複雑致シマシタ時ノ如キモ、政府ノ考ヘテ實行セヌ先ニ、問題ガソレヲ飛越エテ進ンデ參リマシタガ爲ニ、ゴテノトナツテ來ル譯デアリマシテ、此ノ問題ハ考ヘテ研究スルト云フガ如キ餘裕ノナイ場合ガ起ルノデアリマスカラ、私ハ今日ニ於テ相當ニ農林大臣ト致シマシテハ、御考慮ハ勿論デアリマスガ、進ンデ或ル程度決斷ヲナサラネバナラヌノデハナイカト考ヘマス

ソレデ先ツ第一ニ御同致シタイコトハ、此ノ米穀政策ト云フモノハ、大體ドノ省ガ責任ヲ以テ遂行セラレルカト云フコトデゴザイマス、是ハ甚ダ分リ切ツタコトノヤウデゴザイマスケレドモ、去年ノ秋米ガ斯ウ云フ状態ニナリマシテカラ以後ト云フモノハ、農林省ハ責任ヲ以テ米穀政策ヲ遂行致シマセナシタ、隨テ内務省モ相當ナ大キナ部門ヲ受持タレ、商工省ハ勿論デゴザイマスガ、斯ノ如クアチラコチカラ綜合セラレテ、此ノ困難ナ米穀政策ヲ遂行セラレルト云フコトニ付テハ、是ハ無理モアリマセヌ、殊ニ治安ノ問題ガ重大化シテ來マス時ニ、内務省ガ之ニ關與セラレルコトハ當然デゴザイマス、當然デアリマスガ、此ノ非常ナ深い研究ト相當ニ専門的ナ考ヲ要スル食糧政策ガ、其ノ爲ニ區々ニナリマシテ、最終ヒニハ支離滅裂、何處デドウシテヤツテ行クノカ分ラナクナツタ、斯ウ云フコトガ實際デナカクツカト思ヒマス、ソレガヤハリ今日マデ繼續シテ居リマシテ、今日ニ至ルマデモ米ト云フモノハ何處デ取扱フノカ、ドノ大臣ガ責任ヲ持ツノカト云フコトガ、明ニナツテ居リマセヌ、各府縣ニ、ブロッケガ出來テ、ソレガ殆ド總テノ地方事務ノコトヲヤツテ居ル、是等ノコトハ同僚ノ人達カラ話ガアリマシタカラ、詳シクハ申シマセヌケレドモ、今日左様ナ状態ニナツテ居リマス、隨テ先ツ私ノ食糧ニ關スル質問ヲ致ス其ノ初メニ、食糧問題ハ農林大臣ハドレマデノ部門ヲ御受持ナサイマスカ、内務省ハ何處マデノ範圍ヲ受持タレルノデアリマスカ、商工大臣ハドノ程度ニマデ、食糧政策ニ關與セラレルノデアアルカ、此ノ點ヲ先ツ明ニスル必要ガアルト存ジマス、ドウカ農林大臣、内務大臣、商工大臣ヨリ其ノ各ノ分擔スル範圍ニ付テ、御答辯ヲ願ツテ置キタイノデアリマス

○見五國務大臣 米穀ノ配給ニ關シマスル主管廳ハ、固ヨリ生産官廳デアリマスノデ、内務省デハナイノデアリマス、地方廳ニ於

キマシテモ、同様ノ系統ノ部課ヲシテ之ヲ取扱ハシメルコトニ致シテ居ルノデアリマス、唯例ヘバ此ノ米ノ配給ガ著シク逼迫シテ參リマシテ、其ノ結果普通ノ配給方法ニ依ツテハ、只今御話ニナリマシタヤウニ、治安維持ノ上ニ影響スル虞ガアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、御手傳ヒスルト云フ意味合ニ於テ、内務省ガ之ニ關與スル場合ガアルノデアリマス、現ニ只今御話ノ昨年ノ暮ノ如キハ、其ノ實例デアリマスノデ、隨ヒマシテ内務省ノ取扱ツテ居ルコトハ、其ノ臨機ノ處置ト致シマシテ、配給ヲ圓滑ニスルコトニ助力スルト云フ程度ニ止マツテ居ルノデアリマス、隨テ例外的デアリ、一時的ノモノデアリマスノデ、之ヲ永久ノ制度トシ又、永久ノ仕事トシテ、内務省ガ之ヲ取扱フト云フ事柄ハ避ケタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ内務省ノ取扱ヒマシタ仕事ハ、一時ノ例外的ノ處置ト御諒承ヲ願ヒマス

○島田國務大臣 只今内務大臣ヨリ御答ガアリマシタガ、御承知ノ如ク米ノ問題ニ付キマシテハ、大體ニ於テ其ノ主管廳ハ、農林省デアアルコトハ言フマデモナイ譯デアリマス、唯昨年ノ秋米穀事情ガ甚ダ逼迫ヲ致シマシテ、米ノ出廻リガ非常ニ窮屈ニナリ、大消費地ノ方面ニ於ケル需給關係ガ圓滿ヲ缺キ、隨テ治安ノ上ニ急ヲ要スル状態ガ起ツタ、斯ウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、此ノ状態ヲ急速ニ緩和安定セシムルノ必要上、關係各省ニ於テ協力ヲ致スコトニナリマシテ、十二月ノ初メニ農林、内務、鐵道、逓信、四省ノ關係官ヲ以テ、臨時ニ聯絡委員會ヲ設置致シマシテ、ソレニ依リマシテ出荷ノ促進、輸送、又各地ノ需給狀況ノ調

キマシテモ、同様ノ系統ノ部課ヲシテ之ヲ取扱ハシメルコトニ致シテ居ルノデアリマス、唯例ヘバ此ノ米ノ配給ガ著シク逼迫シテ參リマシテ、其ノ結果普通ノ配給方法ニ依ツテハ、只今御話ニナリマシタヤウニ、治安維持ノ上ニ影響スル虞ガアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、御手傳ヒスルト云フ意味合ニ於テ、内務省ガ之ニ關與スル場合ガアルノデアリマス、現ニ只今御話ノ昨年ノ暮ノ如キハ、其ノ實例デアリマスノデ、隨ヒマシテ内務省ノ取扱ツテ居ルコトハ、其ノ臨機ノ處置ト致シマシテ、配給ヲ圓滑ニスルコトニ助力スルト云フ程度ニ止マツテ居ルノデアリマス、隨テ例外的デアリ、一時

在等ノ事務ヲ行フヤウナコトニ致シタ次第  
デアリマス、併シ其ノ後ニ於キマシテ、各  
地ニ於ケル出荷ノ状況ハ、段々進捗致シマ  
シテ、消費地ニ於ケル需給状態モ、漸次安定  
ヲ致スヤウナ次第ニ相成リマシタノデ、今  
年ニ至リマシテ右ノ委員會ハ一先ツ打切ル  
コトニ致シマシタ、只今ニ於キマシテハ關  
係各省ノ間ニ於テ、隨時ニ緊密ナル連絡ヲ  
圖ツテ、圓滑ヲ期シテ居ルト云フヤウナ次  
第デアリマス、要シマスニ農林、内務兩省  
ハ、米穀政策ノ上カラ致シマシテ、農林省  
ハ此ノ生産供給等ノコトニ付テ、内務省ト  
致シマシテハ、治安維持ノ關係カラ協力ヲ  
致シテ居ル、斯様ナ状態デアリマス、此ノ  
變態ノ事情ハ御承知ノ通りデアリマシテ、  
御質問ノヤウナ點ガアツタコトハ、甚ダ遺  
憾デアリマスケレドモ、只今申上ケルコト  
ニ依ツテ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 米穀配給ノ問題ニ付キマ  
シテハ、商工省ガ專ラ監督ヲ致シテ居ル所  
デアリマスコトハ、御承知ノ通りデアリマ  
ス、本問題ハ他ノ總テノ商品ノ問題ヲ超越  
致シマシタル最重要ナル問題ト存ジマス  
ガ、從來取扱上ニ於キマシテ、多少遺憾ノ  
點ガアリマシタコトヲ承知致シテ居リマス  
カラ、今後ニ於キマシテハ出來ルダケ全力  
ヲ注ギマシテ、農林省ト協調シテ、圓滑ニ  
此ノ運用ヲ致シテ、遺憾ノナイヤウニ努メ  
タイト存ジテ居リマス

○松村(謙)委員 大體ノ御説明ハ分リマシ  
タガ、農林大臣ノ御話ヲ要約シマスト、アア  
云フ非常ノ際デアツタカラ治安ノ爲ニ内務  
省ノ御協力ヲ願ツタ、鐵道省ノ運輸其ノ他  
ニ付テノ協力ヲ願ツタ、併シナガラ米穀政  
策ニ關スル全責任ハ、農林大臣ガ背負フノ

ダ、斯ウ云フ風ニ解シテ宜シイノデゴザイ  
マスカ、尙又今商工大臣ト農林大臣ノ御答  
辯ノ中ニ、多少私ニ範圍ノ分ヲナイ點ガアツ  
タノデアリマス、今農林大臣ガ御話ニナツ  
タノハ、配給モ農林大臣ノ掌ラルル範圍ノ  
ヤウニ御答辯デアリマシタ、商工大臣モ配  
給ハ當然商工省ガオヤリニナルヤウナ御答  
辯デゴザイマシタ、茲ニ、矛盾撞著ガアルヤ  
ウニ考ヘラレルノデアリマス、是ハ實ハ非  
常ニムツカシイ所デアリマシテ、此ノ問題  
ガ解決セヌガ爲ニ、是マデ米穀政策、食糧  
政策ノ迅速ナル運用ト云フモノガ、非常ニ障  
碍ヲ受ケマシテ、遂ニヤルベキ時機ニナルコ  
トガ出來ナカワツタ例ガ、非常ニ多イノデゴ  
ザイマスカラ、此ノ點ハ此ノ場合ニ於テ、  
極メテ明ニシテ置ク必要ガアルト思フノデ  
アリマス、之ヲキツパリト兩大臣カラ承リ  
タイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今ノ問題ニ付キマシテ  
ハ、御説ノヤウナ事態ガアル處ノアルコト  
ヲ憂ヘテ居ルノデアリマスルガ、此ノ事柄  
ハ米穀問題ニハ離ルベカラザル最重要ナ事柄  
デアリマスノデ、之ニ付キマシテハ、商工、  
農林間ニ於テ疎隔ノナイヤウニ、圓滑ナル  
運用ノ出來マシヤウニ、出來ルダケ協力ヲ  
致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○藤原國務大臣 商工省ノ立場ヲ先刻申上  
ゲマシタガ、是ハ兩省ノ間ニ極メテ緊密ナ  
ル連絡ヲ執リマシテ、遺憾ノナイヤウニ致  
シマスル積リテ居リマス、配給ノ方面ニ付  
テ農林省ヲ助ケテ、集荷ト配給ト共ニ完全  
ニ運行ヲ致シマシヤウニ、努力ヲ致シタイ  
ト思ヒマス

○松村(謙)委員 今兩大臣ノ御答辯ヲ伺ヒ  
マシテモ、雙方協力スルト云フ御話ハ、是

ハ御尤モデアリマシテ、協力セヌトハ仰セラ  
レスダラウト思ヒマス、併シナガラ其ノ限  
界方極メテ明カデアリマセヌガ爲ニ、今日マ  
デ此ノ農林政策ガドレダケ障礙ヲ受ケタカ  
ト云フコトハ、申スマデモナイコトデアリ、  
世間モ此ノ點ヲ非常ニ注意シテ見テ居ルノ  
デアリマス、隨ヒマシテ私ハ是レ以上ニハ  
追究ヲ致シマセヌケレドモ、食糧政策ノ本  
當ニ行ハレナイ一ツノ原因ガ、ソコニ存ス  
ルコトデアリマスカラ、總理大臣ニ於カレ  
マシテ、能ク此ノ事情ヲ御聽取願ヒタ  
イ、各省割據ノ状態ノ爲ニ、重要ナ國  
務ガドレダケ滯滞スルカ、申セハ一  
朝一夕ニ改マラナイ從來カラノ弊害デアリ  
マス、總理大臣ハ此ノ場合ニ於テ閣僚ヲ統  
率シ、官僚ヲ統率セラレル上ニ於テ、ドウ  
云フ御考ヲ以テ、斯ウ云フ矛盾ヲ除去セラ  
レル御積リデアルカ、此ノ場合其ノ點ヲ極  
メテ明確ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○米內國務大臣 要スルニ各省ニハ、ソレ  
ソレ各省ノ任務ガゴザイマス、ソレカラ又各  
省ノ間ニハ連繫ガアルノデアリマスカラ、  
省トシテハ上下ノ系統ガ眞ツ直グニ行キ、  
又各省間ニ於キマシテハ、左右ノ連絡ガ密  
接ニナツテ居リマシテ、オ互ニ相協調協力  
シテ、而モ各省ノ仕事ヲオ互ニ——何ト  
申シマスカ、拘束シ又拘束サレルコトノナ  
イヤウニ努メマスト云フコトハ、是ハ國務  
ヲ圓滑ニ遂行スル要諦デアルト、斯ウ考ヘ  
テ居リマス

○松村(謙)委員 私ハ今ノ總理大臣ノ御答  
辯ニ、必ズシモ満足スル者デハアリアマセ  
ヌケレドモ、マア其ノ程度デ、能ク將來  
ニ起ル問題ヲ總理大臣ノ手ヲ抑ヘテ裁カナ  
ケレバナラヌ場合ガ、相當ニ多イダラウト

云フコトヲ申上ゲテ置キマス  
内務大臣モ此ノ非常ノ際治安ノ爲ニト仰  
セラレマス其ノ御氣分ハ能ク分リマス、又  
此ノ先ノ内閣デ内務省ガ執ラレタ色々ノ御  
盡力ガ、ドウカ斯ウカ食糧問題ヲ今日マデ  
持チ堪ヘテ來タト云フコトニ付テ、非常ナ  
力ノアリマシタコトハ、私共モ明ニ認メマ  
ス、唯併シナガラ其ノ結果ト致シマシテ、  
今日デモ大體米ノ問題ガ只今ノ所デハ一先  
ヅ收マツタ形デアリマス、此ノ收マツタ形  
ニ於テモ、尙ホ内務省ノ方ニ關係シテ居ル  
分量ガ、相當ニ多イノデゴザイマス、是ハ  
大臣御存ジカドウカ知リマセヌカラ、二三  
ノ例ヲ申上ゲマス、例ヘバ東京市ハ今日米  
ガ相當入ツテ參リマシテ、非常ニ配給ガ好  
クナツタト申シテ居リマス、併シナガラサ  
ウ言ヒナガラ、今日米ノ配給ヲ實際ニ管理  
シテ居ル者ハ誰デアルカ、商工省ガ受持ツ  
テ居ルノデアリマセヌ、農林省ガヤツテ  
居ルノデモアリマセヌ、實ニ警視廳ノ手ニ  
依ツテ行ハレテ居ルノデアリマス、即チ東  
京府ノ經濟部ガ特ニ配給組合ヲ作ツテ、ソ  
シテソレニアラザレバ集荷ヲサセナイ、ソ  
レニアラザレバ配給ヲヤラセナイ、サウシテ  
日々入ツテ來タ米ヲ分ケルニハ、警視廳ノ  
警官ノ手ニ依ツテ行ハレテ居ルノデアリマ  
ス、斯ウ云フ事態ガ今日ト雖モ行ハレテ居  
リ、恐ラクハ是ハマダズツト繼續シテ居ラ  
レルコトト思ヒマス、是ハ已ムヲ得ナイコ  
トトハ思ヒマスガ、併シ食糧問題ノ制度ガ  
恒久化シタトハ言ハレナイ、實ニ酷イ形ニ  
於テ行ハレテ居ルト思フノデアリマス、是  
ハ東京ノ一例デアリマスカ、大阪ニ於キマ  
シテモ、農林省ノ施設ニ満足シマセヌデ、別  
ニ四百万圓ノ配給會社ヲ、二三ノ問屋其ノ

他ノモノデヤラセテ、之ニ依ツテ米ノ配給ヲヤラウト致シマシタ、ソレガ或ハ會社ニナルカ、配給組合ニナルカ知リマセヌケレドモ、サウ云フ姿デアリマシテ、東京、大阪トモ今日其ノ責任者アル農林省ノ手デ配給ガ行ハレテ居リマセヌデ、實ハ内務省ノ、而モ治安ノ方面ノ手ニ依ツテ行ハレテ居リマス、ソレカラ地方々々ノ長官デ、米ノヤリ方ハ區々デアリマシテ、此ノヤウナ状態デハマルツ切り各府縣割據デ、サウシテ知事ノ思ヒ付通りニヤツテ居ルノデアリマス、譬ヘテ申シマスナラバ、福岡縣ハ自己ノ縣ノ經費ヲ以テ、五十万俵ノ米ヲ買ツテ貯ヘテ居リマス、又兵庫縣モ之ニ倣ツテ、二十五万俵ノ米ヲ貯ヘテ居リマス、斯ウ云フ風ニ各府縣方思ヒノ米穀政策ヲ執リ、鎖國的ニ外ニ出サナイデ、自分ノ所ヘ貯ヘテ置カウ、其ノ府縣ノ中ニ於テハ、又各町村毎ニ、各、自衛ノ途ヲ講ジテ、自給自足ノ數量ヲ貯ヘテ後ニアラザレバ外ヘ出サナイ、此ノヤウナコトデ一國ヲ通ズル米穀政策ト云フモノガ、果シテ行ハルルモノデアアルカドウカ、曩ニ朝鮮、臺灣ガ別ニ「ブロックリ」ヲ作ツテ居リマス爲ニ、全國ニ互ル米穀政策ト云フモノハ、非常ニ行ヘニクカツタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、ソレガ四十何府縣全部ガ朝鮮、臺灣ノヤウナ形ニナツテ、思ヒノニヤリ、是デ米穀政策ガ皆ク行クナラバ、モウ苦勞ハ要ラナイト思ヒマス、假ニ米ガ一億万石要ル所ヘ、一億五千万石獲レタトシテモ、此ノ各府縣々々封建政治ト同ジコトヲヤツテ居ツテハ、米穀政策トシテハ行詰ルニ決ツテ居リマスガ、此ノヤウナ形ガ今モ残ツテ居リマスノニ對シテ、内務大臣ハ之ヲドウ云フ風ニシテ行カルル御考デ

ゴザイマスカ、私ハ今日マデノコトハ、洵ニ結構デアリマシタガ、今後ハ此ノ形ハイカスト思ヒマス、之ヲドウ云フ風ニ改メテ行カウト御考デアリマスガ、斯ウ云フ形ヲヤハリズツト繼續シテオヤリニナル御考デアアルカ、承リタイト思ヒマス  
○兒玉國務大臣 米ノ配給ニ關シマシテ、東京市ノ状態ハ今御話ニナツタ通りト心得テ居リマス、御承知ノヤウニ最近ニ至リマシテ、稍、米ノ出廻リモ良クナリマシテ、東京ニ於キマスル米モ、稍、豐富ニナツテ參ツタノデアリマスルガ、今日ニ於テモ尙ホ其ノ多クヲ取扱ツテ居ル者ハ、政府拂下米ガアリマシテ、是デ調整シテ居ルト云フ状態デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ政府ノ拂下米ヲ取扱ヒマスルノニ、只今御話ノヤウナ變則的ノ有様ヲ、今日尙ホ持續シテ居ルヤウナ状態デアリマスガ、是ハ配給機關ノ機能ガ充實致シテ參リマスレバ、一日モ早ク是ハ止メナケレバナラス、本來ノ形ニ返サナケレバナラスト考ヘテ居リマス  
ソレカラ各府縣ニ於キマスル經濟封鎖ノ問題デアリマスルガ、從來米ガ餘ルノコト云フヤウナ所ヘ持ツテ行キマシテ、急ニ米饑饉ト云フヤウナ事態ガ起リ、ソシテ其ノ事態ガヒドク地方ニ響キマシタ爲ニ、各府縣ニ於キマシテ、各々自分ノ縣下ノ食糧問題ニ熱中シタル餘リニ、封建的ノ有様ヲ來シタ點ガ數々アルノデアリマス、福岡縣ノ如キハ、全ク朝鮮並ニ臺灣ノ米ニ依存シテ居ツタノガ、殆ド收穫皆無ト云フヤウナコトニ相ナリマシタカラ、ソコデ臨機ノ處置トシテ、サウ云フ手段ヲ執ツタモノト考ヘテ居ルノデアリマス、新潟縣ノ如キハソレニ反シマシテ、出來ルダケ多クノ米ヲ、縣外

ニ移出致シマシテ、有無相通ズル運用ノ方法ヲ執ツタ所モアルノデアリマスルケレドモ、大體ニ於キマシテ、只今御話ノヤウニ、各地封建的ノ有様ヲ一時現出シタト云フ事柄ハ、經濟ノ原則カラ見マシテモ、統治ノ上カラ見マシテモ、洵ニ遺憾ノコトト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ問題ハ一度サウ云フコトガアリマスルト、申々元ヘ戻シニタイヤウニ考ヘルノデアリマスガ併シナガラ是ハ内務省ト致シマシテハ、飽クマデモ一元的ニ、全國ヲ通ジマシテ、此ノ食糧ノ問題ニ付キマシテモ有無相通ジ、經濟共通ノ元則ニ立タナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ過去ノ事實ハ事實ト致シマシテ、今後内務省ト致シマシテハ、全國ヲ一體ト考ヘマシテ、此ノ米ノ配給ノ問題ニ於キマシテモ、有無相通ジテ、ココニ米ガ有ルノニ無イト云フヤウナ狀況ノ起ラナイヤウナ風ニ、努力致シタイト考ヘテ居リマス  
○松村(護)委員 此ハ此ノ點ニ付キマシテ、農林大臣ニモ承リタイト存ジマスガ、此ノ機構ノ問題ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス、先ヅ第一ニ農林大臣ニ御伺致シタイノハ、米ノ需給ノ見込デゴザイマス、是ハ此ノ間同僚ノ高田君ガ、本會議ニ於テ御伺致シマシタ所、未ダ其ノ發表ノ時機デアリト致シマシテ、御明示ニハナリマセヌデシタガ、御言葉デハ最早大丈夫デアアルカラ之ヲ信ゼヨ、斯ウ云フ御言葉デアリマシタ、併シナガラ私共ノ見マス所ニ依リマス、ヤハリ大體ハ此ノ間ノ御話ノヤウナ譯デ、先ヅ需給ノ見込ハ是デ立ツタノデアリナイカ、五六百万石モ端境期ニ米ヲ持越セルト云フコトヲ、農林大臣ガ御話ニナル、私等モ多分サ

ウデアラウト思フ、サウダラウトハ思ヒマスガ、併シナガラ其ノ計數ノ根據ヲ示サナイデ、唯餘ルカラ大丈夫ダ、安心シロト云ツテモ、今日マデ米ニ替エテ來テ居リマス國民ハ、ソレデ安心致シマセヌ、今日ノ食糧問題ノ最モ大切ナルコトハ、是マデ食糧ニ付テ政府ニ對スル信頼ヲ失ツテシマツタ、是ガ政府ガ何ヲ言ハレテモ、何ヲ爲サツテモ、國民ガ食ベ物ハドウナルノダト云フ不安ノ念ガ消エナカツタ原因デアリマス、隨ヒマシテ今ノ内閣トシテ食糧問題ニ付テ一番重要ナモノハ、食糧問題ニ對スル根本義ハ、食ベ物ニ對スル政府ノ施設ニ對シテ、國民ニ全幅ノ信頼ヲ置カセル、是ガ何ヨリ大切ナルコトデナケレバナラスト考ヘマラス、恐ラク御同感デアラウト思ヒマス、然ラバ斯ウ云フ機會ニ御尋致シテ、ソレハ言ヘナイ、唯俺等ヲ信ゼヨ、所謂由ラシムベシ、知ラシムベカラズト云フヤウナ態度ヲ此處デ御執リニナルト云フコトハ、私ハ此ノ問題ノ解決ニ非常ニ不利益デハナイカ、寧ロ此ノ場合マダ見据エノ付カヌ所ガアルカモ知レマセヌケレドモ、明ニ御話ニナツテ、サウシテ國民ニ安心ヲ與ヘルト云フコトガ、此ノ場合最モ必要デナイカト思ヒマス、私ハ此ノ意味合ニ於キマシテ此ノ機會ニ農林大臣カラ大體需給ノ見据ヲココデ御明示ナサツタ方ガ宜シイ、シテ載キタイト思フノデアリマス  
○島田國務大臣 昭和十五年ニ於ケル米ノ需給ノ關係ニ付テハ、先般本會議ニ於キマシテ、高田君ヨリ色々ノ點カラソレヲ明確ニシ、發表スルコトノ必要ヲ述ベラレマシタ、只今又松村君ヨリ熱心ナル御意見デアリマシテ、洵ニ御尤モト考ヘルノデアリマス、



唯御承知ノ如ク本年ノ米ノ需給ノ關係ノ上ニ於キマシテハ、一方ニ於キマシテ朝鮮ニ於ケル早魃ニ依ル異常ナ減産、内地ニ於キマシテハ幸ニ早魃ニ依ル減産ヲ「カバ」シテ尙ホ餘リガアルト云フ成績ヲ現ハシタノデアリマスケレドモ、總體ノ數量ニ於キマシテ相當ノ減産ガアリマス、尙ホ昨年度ヨリノ持越米ノ數量モ亦前年度ニ比シマシテ少イヤウナ状態デアリマスノデ、米ノ需給ノ關係ガ十分デアルト申シマシテモ、相當窮痛ナル實情ニ相成ツテ居リマスノデ、其ノ關係カラ致シマシテ、現ニ酒造米等ニ對シマシテハ、相當ナ節減ヲ加ヘ、其ノ他或ハ七分搗ノ獎勵、混食ノ獎勵、所謂節米ノ獎勵ト云フコトヲ盛ンニヤリ、是ハ現在ニ於キマシテハ全國各地ニ行渡ツテ此ノ節米ノ方針ト云フモノハ徹底ヲシテ、ソレノ實行ヲ致シテ相當ノ成績ヲ擧ゲルモノト考ヘ、又擧ゲツアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ノ事柄ヲ考ヘ、更ニ色々ノ原因カラ致シマシテ、農家ノ經濟ガ比較的裕カデアルト云フヤウナ事情、ソレカラ早魃地ニ於キマシテハ收穫皆無ノ所ガアリマスケレドモ、又早害ニ遭ハザル地方ニ於テハ寧ロ近年見ザル農作デアツタト云フヤウナ地方モアリマシテ、左様ナ地方ニ於キマシテハ節米ノ獎勵ヲ致シマシテモ、尙ホ農作時ニ於ケル相當ノ消費數量ノ増加ト云フヤウナコトモ亦近年ノ統計ガ之ヲ示シマシテ、ソレモ亦一方ニ於テハ見ナケレバナラヌト云フヤウナ種々複雑ナ事情ガアリマス爲ニ、之ヲ一概ナル、唯推定ヲ以テ不明確ナル數字ヲ竝ベルト云フコトヲ出來ルダケ避ケナケレバナラヌト云フ用意カラ致シマシテ、需給推算ヲ爲シテ、其ノ剩餘ノ米ヲ自

治管理法ニ依ツテ處分スルト云フヤウナ程度ニ至ラナイコトヲ非常ニ遺憾ト致シマスヤウナ事情カラ致シマシテ、單ニ概括的ナ答辯ヲ申上ゲテ次第デアリマスガ、只今ノ御意見ニ依リマシテ、茲ニ今申上ゲタヤウナ種々ノ事柄ヲ考慮ニ入レタル上ノ政府ノ現在見テ居リマスル數字ヲ大體ニ於テ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、昨年度ヨリ持越シマシタ米ハ、御承知ノ如ク内地、外地ヲ通ジマシテ凡ソ四百七十萬石デアリマス、而シテ今年ノ生産額ハ内地約六千九百萬石、臺灣千萬石、朝鮮一千四百萬石、之ヲ合計致シマシテ凡ソ九千九百萬石デアリマス、此ノ外ニ外米ノ輸入ト云フコトニ付テ、豫ネテ手配ヲ致シテ居リマス、外米ノコトニ付キマシテハ二様ノ見解ガアリマシテ、買付ケ得ル所ノ外米ノ數量ト云フモノハ非常ニ範圍ガ狭イト、斯ウ云フ風ニ見タ見方ガアツタノデアリマスガ、實際ニ於テノ狀況ハ必ズシモ左様デハアリマセス、是ハ正貨ヲ以テシナケレバ得ラレナイト云フ事情ガアツタノデアリマスカラ、茲ニ所謂爲替ノ關係等カラ微妙ナ問題ガアリマスケレドモ、正貨ヲ以テ輸入ヲ圖リマスレバ、相當ノ數量ヲ輸入シ得ルト云フコトノ見込ハ是マデノ調査ニ依ツテハツキリシテ居リマス、ソレカラ現ニ又是ハ相當ノ數量ノ買付ヲ既ニ手配ヲシ終ツタモノモアリマシテ、尙ホ現ニ手配中ノモノモアルノデアリマス、斯様ナ所謂供給ノ方面カラ申シマスルト、持越米及ビ内地ノ産米ヲ合計致シマシテ凡ソ九千八百萬石、ソレニ外米ヲ合計シテ、先ツ供給ト致シマシテ、一億萬石以上ノ確保ガ出來ルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、之ニ對シテ消費ノ見込ハ、是

ハ先列申上ゲマスヤウニ、酒米其ノ他ノ節米ノコトヲ考慮ニ入レ、又ソレト同時ニ一方ニ於テハ豐作地ニ於ケル多少ノ消費増ト云フコトモ考慮ニ入レマシテ、之ヲ大體合計致シマシテ消費見込額九千九百萬石、是ハ内地外通ジテノ數字デアリマス、ソレニ此ノ輸出ノ數量ト云フモノハ、外地ニ居ル所謂在留邦人ノ必要等ニ依リマシテ、例年必ズ相當ナ輸出米ハ免レナイノデアリマスガ、輸出ノ數量ト云フモノガ凡ソ一百万石、之ヲ合計致シマシテ、消費總數及ビ輸出ノ見込額ヲ合算致シマシテ、凡ソ九千九百萬石ノ消費ガアルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ數字ノ上カラ之ヲ判斷ヲ致シマシテ、外米ノ輸入ニ於テ尙ホ相當ノ數量ヲ考ヘ、サウシテ更ニ節米ノ成績等カラ推算ヲ致シマシテ、更ニ他ノ時期ニ於キマシテハ今少シ明確ナ數字ヲ申上ゲルコトガ出來ルカト考ヘマスガ、今日只今ノ状態ニ於テ言ヒ得ル數字ヲ申シマスレバ、以上ノ需給關係ニ於キマシテ、差引致シマシテ少クトモ昨年度ヨリ本年ニ持越シマシタ四百七十萬石ノ端境期持越米ヲ下ラザル持越米ヲ以テ、此ノ端境期持越スコトガ出來ルト云フ程度ノ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、即チ是ガ私ガ米ハ大體ニ於テ消費數量ニ達シ得ル確信アリト云フコトヲ申上ゲル次第デアリマスガ、此ノ數字ハ只今申上ゲマシタヤウニ、色々ノ點ニ於テ尙ホ推定ヲ含ンデ居ルヤウナ關係、又外米ノ輸入量ト云フヤウナコトモ含マツテ居リマスカラ、相當ノ動キガツコニアルコトヲ御承知願ツテ、先ツ自分ノ考ト致シマシテ、四百七十萬石ヲ下ラザル五百萬石程度以上ノ持越米ノアルト云フコトヲ申上ゲテ間違ナイ、斯

様ニ考ヘテ居ルノデアリマス  
○松村(護)委員 一寸御尋致シマスガ、其ノ數字ハ消費節約運動カラ來ル數字ヲ見込シテ居ラレマスカ、如何デアリマスカ  
○島田國務大臣 見込シデアリマス  
○松村(護)委員 十分ノ御話ヲ承リマシテ私満足致シマス、此ノ數字ノ内容ニ付キマシテハ色々ノ見方モアルモノトハ存ジマスガ、併シ大體是位ノコトハ今日マデ外米ノ手當モ出來テ居リマスルシ、アルモノト存ジマス、是ハ一ツノ國民ト共ニ此ノ推算ヲ認メテ安心シテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツノデアリマス、然ラバ此ノ需給推算ヲ斯ウ云フ風ダト致シマシテ、ココデ考ヘネバナリマセスコトハ、「バランス」ハドウカ斯ウカ合ヒマシテモ、政策ノヤリ方ノ善シ惡シニ依ツテ是ガ非常ナ梗塞ヲ來シ、又案外業ニ移リ變ツテ行クコトガ出來ル、要スルニ今後ノ食糧政策ノ問題ハ其ノヤリ方、運營ノ善シ惡シト云フコトガ今後ノ食糧問題ノ解決ヲ支配スルモノデアツテ、今後ノ天候其ノ他ノコトモアリマスガ、大體政策ノ問題ガ大切ナイカト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ政策ノ問題ニ付テ御聽キ致シタイト存ジマスガ、大體米ガ不足シテカラ、今日マデハ、私ハ政府ト致シマシテ、確乎タル食糧政策ガ缺ケテ居タノデアリナイカト云フ感ジヲ痛切ニ持ツノデゴザイマス、サウシテ最モ手ツ取り早ク一番簡單ニヤレル方法ヲヤツタノデアリナイカ、政府ガ去年カラヤラレタコトヲ見マスルト、一ツハ米ノ四十三圓マデノ値上デゴザイマス、モウ一ツノ大キナコトハ外米ノ輸入デゴザイマス、是ハ一番ヤリ易イコトデ、何モ國民ニ諒解ヲ求メナクテモポント上ゲ

テヤレバソレデ宜イコトデア、財布ノ金ヲ持ツテ行ツテ外國カラ米ヲ買ツテ來レバソレデ宜イコトデアリマス、併シナガラ是ニハ相當ノ條件ガ伴ヒマス、即チ私ハ農村ノ關係カラ米ヲ上げラレルト云フコトハ異存ハアリマセス、異存ハアリマセスガ、米ガ出渡ルカラ米ノ値ヲ上げトラバ米ガ出ルダラウト云フ考ガ非常ニ間違ツテ居リマスコトハ、今ノ大臣ハ能ク御分リノコトデアリマス、物ハ高クナレバ高クナル程賣惜ム、安くナレバ安くナル程賣リタイト云フノガ經濟人ノ心理狀態デアリマスカラ、米ノ値ヲ上げテソレデ米ガ出テ來ルト考ヘルノハ是ガ抑、間違デアリマスカ、兎ニ角ヤラウト思ヘバ一等ヤリ易イ方法デアリマス、ソレカラ外國米ヲ入レテソレデ辨ズルコトハ、入レサヘスレバソレハ結構デアリマスガ、併シナガラソレニハナケナシノ金ヲ出サナケレバナラス、此ノ金ガ才構ヒナシデアリマスカラバ、是ハ一等簡單ナ方法デアリマス、此ノ二ツノヤリ易イ方法ダケヲヤラレマシタカラ、其ノ他ノ政策ト云フモノハ全ク手ヲ著ケラレナイ、サウシテ波ノマニマニ、成行キ其ノ儘ノ姿ガ今日ニ現ハレテ居ルノデハナカラウカ、ソレガ今日及ビ今日以後ノ食糧ノ配給ニ大キナ障礙ヲ來スノデナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、アノ危急ナ際ニ色々警察力其ノ他ノ力デ以テ已ムヲ得ズ其ノ當座デヤツテ來タコトガ、今日其儘ノ配給ノ姿トナツテ居リマス、是デヤツテ行ケバ、例ヘバ東京ノコトヲ申シマス、米ノ買出シニ行クノハ東京府デ作ツタ配給組合ノ手ダケデシカ米ハ買ヒニ行ケナイ、前カラ米ヲ買付ケニ行ツタ者ハ買ツテハナラナイゾト云フコトヲ含

メラレタノデアリマス、隨テ今日東京ヘ入リマスノハ、商人ノ從來ノ配給機構ノ手カラ入ル米ハ殆ドアリマセス、所謂ギゴチナイ警察、政府ノ手デ入ル米デアアルノデアリマシテ、御承知ノヤウニ警察官ガ組合ノ手合ヲ連レテ他ノ府縣ヘ買出シニ行クト云フヤウナコトマデヤツテ居ル委ガ今日ニヤハリ殘ツテ居ルノデアリマス、即チ警察廳ノ警察官ガ米ノ配給ニ當ルト云フノガソレデアリマスカ、斯ウ云フ自然ニ出來テ、サウシテ從來ノ機構ヲマルキリ打切ツテシマツタ形ガ今後ノ米ノ配給ヲ圓滑ニスル所以デアリマスカドウカ、私ハ今日米ガ在リナガラ極塞スルト云フコトハ、從來ノ米ノ配給組織ヲ打切ツテ、サウシテ何ヤラ警察ガカ何ダカ分ラヌ組織ガ一ツ出來タカラデアルノデハナイカ、之ヲ此ノ儘ニシテ抛ツテ置クナラバ、其ノ爲ニ必ズ近イ將來ニ極塞ガ來ル、斯ウ云フ米ガアリナガラ極塞ヲスルト云フヤウナ處ガ必ズシモナキニシモアラズト考ヘルノデアリマス、ソコデ能ク御考ニナラナケレバナラスコトハ、今後ノ米穀配給機構ヲ如何ニスルカト云フ問題デアラウト思ヒマス、是ハ而モ考ヘテカラト言ハレル問題デハナイト思ヒマス、今ノ問題デアリマス、政府ハ現在ノ此ノ至メラレタル配給機構ヲ以テヤツテ行ケルト御考デアリマスカ、ソレトモ何カ別ノ方法ヲ探ラナケレバナラナイト御考デアリマスカ、先ヅ其ノ點カラ承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 申スマデモナク現在ノ行ハレテ居ル——差向キ東京ニ於テ行ハレテ居ルヤリ方ハ私モ承知致シテ居リマスカ、今行ハレテ居ルヤウナ變則ヲ以テ當座ニスルト云フヤウナコトヲ將來ガ行ケナイト云フコトハ明カデアリマス、隨テ之ニ付テ適正ナル方法ニ之ヲ軌道ヲ還シテ、サウシテ此ノ配給ヲ圓滑ニスルコト云フコトニ致サナケレバナラス、之ヲスル爲ニ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマシテ、差向キ政府ト致シマシテハ、尙ホ此ノ安定ヲシタトハ言ヒナガラ、尙ホ餘波ガ殘ツテ居リマシテ、サウシテ各府縣ニ於ケル所謂「ブロック」ト云フヤウナモノヲ全然今日解消シテ居ルト云フヤウナ状態ニハナツテ居ラス、漸次緩和ヲヤウナ傾向ニ在ルコトハ申上ケルマデモナイコトデアリマスカレドモ、マダ完全ニ解消シテ、其ノ間ノ漸給ガ圓滑無礙ニナツテ居ル譯デハナイノデアリマス、斯様ナ事態ト能ク觀ミ合セマシテ、サウシテ此ノ變則状態ヲ常軌ニ復スルヤウニ、一日モ速ニ常態ニ復シマシテ、現時政府トシテ努メテ手ト致シマシテ、現時政府ノ手持テ居リマスノハ御承知ノ通り政府ノ手持テ居ル米ノ量ヲ出來ルダケ多クシマシテ、サウシテ之ヲ必要ナル消費地ニ向ツテ流ス、其ノ流れルノガ、段々圓滑ニ行キ、安定ガ出來ルニ從ツテ、此ノ配給機構ト云フモノモ適正ニ動く方面ニ向ツテ、ソレガ矯メラレテ行クヤウニ直シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、今日ノ状態ハ御指摘ノ通りニ、是マデノ米穀商ノ手ニ依ツテ配給サレル米ハ殆ド無イトハ言ハナイノデアリマスカ、ソレハ少クテ、變則ナ臨時ノ方法ニ依ツテ配給セラレル部分ガ大部分ニナツテ居ツテ、ソレ自體ガ非常ニ窮屈ナ状態デアルコトハ全ク御同感デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、一日モ早ク此ノ状態ヲ適正ナ方法ニ還シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ際一言先刻申シマシタコトニ附加ヘテ置キ

マスガ、私ノ申上ケタ趣意ハ御諒察下スツタト思フガ、少クトモ五百万石ヲ下ラザル持越米ヲ以テ端境期ヲ越スコトガ出來ルト云フコトハ、私ガ發表ヲ躊躇シタダケ、ソレダケ之ニ付テ農林大臣トシテハ安心ヲシテ居レナイノデアリマス、色々ナ事情ガ更ニ加ハツテ居リマスカラ安心ガ出來ナイノデ、尙ホ相當多額ノ持越米ヲ持ツヤウナ状態ニナルコトヲ希望致シテ居ル次第デアリマスガ、是モ絶對量ヲ殖ヤスコトハ相當困難デアリマスガ、之ニ付キマシテハ、尙ホ相當諸種ノ方法ガ考ヘラレルト思ヒマスノデ、差向キ此ノ議會ニ提案致シテ居リマス米穀ノ應急處置ニ關スル法律ノ改正案ノ如キモ、既ニ今日ハ米穀ダケデハ考ヘラレナイ、麥ノコトモ考ヘ、豆ノコトモ考ヘ、雜穀ノコトモ併セ考ヘテ行カナケレバナラスト云フ状態ニアリ、又サウスルコトガ必要デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、自分ノ申上ケタ持越米ノ程度ヲ以テ農林當局ハ満足シテ、ソレダケアレバ宜イチヤナイカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ニナラナイヤウニ、ソレハ節米ノ問題ト關聯シマシテ重要ナ點デアリマスカラ、私ハ自分ノ躊躇シタル意思ガソコニアルト云フコトヲドウゾ此ノ議會ヲ通ジテ國民ニ知ラセタイト思フ、中々今日日滿支ヲ通ズル、又内地ノ事情、戦地ノ状態カラ、五百万石ヤソコヲ持越米ヲ以テ安心シテ、米穀事情ハ安定シタリ、斯ウ云フコトヲ農林當局トシテハ絶對ニ斷言出來ナイノデアリマス、故ニ私ハ此ノ數字ヲ發表スルコトヲ躊躇シテ居ツタノデ、モット安心ノ出來ルヤウナ程度ニナリ、モット國民ニ安心ヲ與ヘ得ルヤウナ事情ニ導イタ上デ、正確ナ事情ヲ發表シタイト考ヘテ居ツタ意

味デアリマスカラ、松村君ニ於カセラレマシテモ無論御諒察下サツテ居ルト思ヒマシガ、尙ホ此ノ點ハ私ノ答辯ノ趣意ヲ左様ニ御諒解下サルヤウニ、特ニ附加ヘテ置キマス

○松村(護)委員 其ノ御苦心ノ點ハ能ク分リマシタ、今配給機構ノコトニ付テノ御話ニ、米ノ手持ヲ殖ヤシテ常態ニ復スル、斯ウ云フ御言葉ガアリマシタ、常態ニ復スルト云フノハ米ノ行詰ラナイ前ノ機構ヘ還ルト云フ意味デアリマスカ、ソレトモ又別ノ適正ナ機構ヲ打立テテ永久ノ機構トスルト云フ御考デアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ承リタイ

○島田國務大臣 配給ノ機構ヲ一元的ニシテ、サウシテ此ノ間ノ需給ヲ圓滑ニスルト云フコトハ是ハ理想デアリマス、併シナガラ此ノコトニ付キマシテハ松村君御承知ノ通りニ、是ハ所謂米穀商、商業組合、並ニ産業組合、此ノ間ノ關係ヲ考ヘテ見マシテモ、ソコニ相當實行ノ上ニ於テ而到ナ事情ノアルコトハ御諒察下サルデアラウト思フデアリマシガ、此ノ事柄ニ付キマシテハ年來ノ問題デアリ、難問デアリ、又何時カハ之ヲ圓滑ニ解決ヲシナケレバナラヌ問題デアリマシテ、之ニ對スル恒久策ト應急ノ處置——焦眉ノ急ニ處スル處置トシテハ、今變則ナコトデモ行ハナケレバナラヌガ、更ニ其ノ次ニ來ルベキ應急ノ處置トシテ一應ノ處置ヲ考ヘ、サウシテ恒久ノ問題ニ付テハ更ニ根本的ニ考ヘテ對策ヲ立テナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、是等ノ事ニ付キマシテハ農村問題ニ造詣ノ深い、又實情ニ精通シテ居ラレル質問者ノ御立場ナリ、御經驗等モ利用致シマシテ協力ヲ願フツテ、是等ノ

問題ノ解決ニ當ラネバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、之ヲ常態ニ復スルト申シタカラト云ツテ、直グ之ニ代ルベキ、謂ハバ一元化ト云フヤウナ機構ガ直チニ茲ニ生レ出テ、之ヲ實行スルト云フヤウナ程度ノ運ビニハ行キ兼ねルト考ヘマスガ、繋ギハ繋ギノヤウニ、然ルベクヤウテ行カナケレバナラヌ、唯今ノヤウナ状態ヲ續ケテ行クト云フコトハ、弊アツテ利益ノナイコトデアリマスカラ、一日モ早ク此ノ状態ハ脱却シナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ニ御聽取リヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 松村君ノ御尋御尤デアリマシテ、最重要ノ問題デゴザイマスカラ、私ヨリ重ねテ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、大體ニ於テハ只今農林大臣ノ御述ベニナリマシタコトト同様デゴザイマス、即チ此ノ東京地方ニ於ケル臨時配給組合ノ状態ハ、是ハ一時的ノ手段デゴザイマシテ、只今ニ於キマシテハ、配給機構ヲ整備スルト云フコトガ最重要ノ問題ト存ジマスノデ、商業組合ノ制度ヲ活用シテ、此ノ商業組合ヲシテ此ノ配給ニ專ラ當ラシメルト云フコトニ付キマシテ、商工農林兩省ノ事務當局ニ於テ協議ノ結果、サウ云フ方針ニ大體ニ於テ話ガ纏リマシタノデ、其ノ方針ニ進ムデ参ルフトニナツテ居リマス、サウ致シマスレバ、東京モ大阪モ漸次配給機構モ整備サレマシテ、今日ト比較マシマスルト、段々圓滿ニ進行致シテ參ルコトト考ヘマシテ、商工省トシテハ其ノ積リヲ以テ、此ノ配給機構ヲ漸次整備シテ完全ナモノニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ是等ノ根本的ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ農林大臣ガ御話ヲ申上ゲタト同様ニ考ヘテ居リマス

○松村(護)委員 只今兩大臣ノ御話ヲ承リマシテ、兩省ノ間ニサウ云フ御相談ガ纏ルト云フコトナラバ結構デアリマス、唯ココデ私ガ考ヘマスコトハ、米ノ事情ガ全然以前ト違ツテ來テ居リマス、例ヘテ申シマスレバ、公定米價ト申シマシテモ、米穀統制法ニ依リ基準米價ノ觀念ヲオ五ニ持ツテ居リマス、併シナガラ今日米穀統制法決メタ最高値段トハ言ヒナガラ、ソレハスツカリアノ統制法ノ米價ト云フモノノ機能ヲ失ツテシマツテ、ソレ一本ニナツテ居リマスカラ、アノ規則決メタトハ言ヒナガラ公定米價ト云フモノハ上ヘモ下ヘモ行カナイ、一本ノ線ニナツタノデアリマス、此ノ線ニナツタノニ、ドレダケノ利潤ヲ商人ガ取り、ドレダケノ分配ヲ中間業者ガ取ルト云フヤウナコトハ決ツテ居テ決ツテ居ナイヤウナ所ガアリマシテ、ソレデ米ノ買出し、米ノ動キト云フモノガ、全然政府ノ手ニアラザレバ動カナイ形ニナツテ居ルノデス、動かナクナツタラ、ソレデモ宜ウゴザイマスガ、兎ニ角サウ云フ形ニナツテ來テ居リマス、ソレカラ農林大臣ハ是カラノコトハ考ヘルノダト言ハレマシタガ、私ハ其ノ常態ニ復スルノカドウカト言ツテ御聞キジタノハ、大臣ノ御考ガ元ヘ戻ルノカ、先ヘ進ムノカ、其ノ動キ方ノ方向ヲ知りタイト思ツテ、一寸御聞キ致シタ譯デアリマスガ、大體今日政府ハ、手持米ヲ御買ヒニナリマス、アノ手持米ヲ買ハレルノモ、平生手持米ヲ買フノト全然意味ガ違ツテ參リマシタ、私共ガ豫テ平時考ヘテ居リマシタノハ、手持米ト云フノハ、ソレヲ政府ガ持ツテ居ツテ、米穀政策ノ運用ノ威力ニスルト云フコトガ、大體ノ觀念デアリマシタ、所ガ今度六百五

十萬石カ御買上ニナリマス、ソレガ只今ノ所、ドレダケ買上ゲラレテ居ルカ、私存ジマセヌガ、御買上ニナツタ其ノ最初ハ、ヤハリ手持米ニシテ置イテ、一ツノ米穀價格政策運用ノ威力ニ副ハウト考ヘラレタノダラウト思ヒマスガ、實際入ツテ御覽ニナルト、サウデナク、全ク違ツタ意味ニナツタ、即チ政府ガ一方カラ米ヲ買集メテ、ソレヲ一方ヘ直グ拂下ラスル、即チ政府ガ民間ノ米ヲ集メテ、ソレヲ配給スル、斯ウ云フコトニ變ツテシマツタノデアリマス、政府ガ手持ヲシテ居ルト云フノデハナク、一種ノ配給機構ヘ政府自ラガ關與シタコトデアリマス、事務ノ方カラ承ツテモ宜シウゴザイマスガ、昨今ノ東京アタリノ米ノ事情ヲ御覽ナサイ、殆ド地方カラ入ル米ガナクテ、全部ガ全部、殊ニ今月ニ入ツテハ東京ハ儲カ五六萬俵一日ニ入ル管デスガ、ソレガ全部毎日政府米ノ拂下デ漸ク辨ジテ居ルト云フコトデアリマス、サウシマス今日ノ米穀配給ノ機構ト云フモノハ、最早普通ノ經濟状態ヲ離レテ、一種ノ國家管理ト云ヒマスカ、若シクハ專賣ト云ヒマスカ、ソレハ意識シテハ居ラレナイ、意識シテ居ナイナガラ、サウ云フ所ヘ來テシマツタノデハナイカ、是ガ近頃ノ米穀事情デアリマス、島田サンハ此ノ間專賣ハヤラナイ、中々困難ダト言ツテ居ラレマス、所ガ事實ニ於テハ部分的デアリマスケレドモ、少クトモ六大都市ハ、殆ド政府米ニ依ツテ賄ツテ居ルト云フ形デハナイカト思ヒマス、是ハ米ノ事情ガズツト切迫シテ來レバ來ル程、殊ニ消費ガ段々進ムデ參リマシテ、所謂端境期ニ近寄ツテ來レバ來ル程、サウ云フ状態ニナリマスカラ、是ハ此ノ儘考ヘル考ヘルト云ツテ

オ居デニナリマス、ソレハ今日ノ所謂國  
家管理ナリ、專賣ナリノヤウナ形ヲ、少ク  
トモ六大都市位デオヤリニナラナクテハナ  
ラナイノダ、現ニ其ノ形ニナツテ居ルノダ、  
斯ウ云フ風ニ私共ハ見マスガ、此ノ見方ハ  
大臣、間違ツテ居ルト御考デアリマスカ、  
承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今松村君ノ見方ト御話  
ニナリマシタコトハ、私ハ間違ツテ居ラス  
ト思ヒマス、大體アナタノ見方ガ正シイ米  
穀事情ノ現在ノ見方ダト、斯様ニ思ツテ  
居リマス、即チ先程申シマシタ法律案ノ  
改正案ヲ出スト云フコトモ、ソコニアルノ  
デアリマスガ、現在ノ事情ト云フモノハ、  
米ノ最高價格ノ發表サレタ上値ニクツ付テ  
居リマシテ、其ノ動キガ出來ナイト云フ實  
情ニアルト云フノガ、米穀事情ノ實際デア  
リマス、隨テ只今御指摘ニナツタヤウナ、  
大消費地ニ對シテ臨機ノ處置トシテ、政府  
ノ所有米ヲ賄フ付ケテ行クト云フヤウナ實  
情ニ現在アルト云フコトハ、是ハドウモ否  
ミ難イ事實ダラウト思ヒマス、大體ニ於テ  
サウ云フヤウナ傾向ニナツテ居ルト思ヒマ  
ス、故ニ此ノ傾向ヲ續ケテ行クト云フコト  
ガ、已ムヲ得ナクシテ又致シ方ナイノデア  
リマスガ、事情ノ推移ヲ見マシテ、根本的  
ナ問題ニ付テハ、暫ク時ヲ藉スト致シマシ  
テモ、更ニ其ノ次ノ差當リノ處置ト致シマ  
シテハ、現在ノヤリ方ヲ離レテ、之ニ應ズ  
ルダケノ處置ヲ、ドウシテモシナケレバナ  
ラスノデハナカラウカ、ソレニハ一段ト進  
ンダ——退クト云フコトハ申シマセヌ、一  
段ト進ンダ何等カノ機構ヲ考ヘテ、其  
ノ機構ニ依ツテ處置スルノ方法ヲ講ジナク  
テハナラナイノデハナカラウカ、是ハ決シ

テ遷延スル意味デハナク、焦眉ノ急ヲ救フ  
一ツノ處置ト致シマシテ、考究ヲ致シテ居  
ル次第デアリマス、事情ト致シマシテハ、  
只今松村君ノ御指摘ニナツタヤウナ實情デ  
アルコトハ、遺憾ナガラ認メザルヲ得ナイ  
ト、斯様ニ考ヘマス

○松村(護)委員 之ヲ御認メニナリマスナ  
ラバ、茲デ起リマス問題ハ少クトモ六大都  
市位ノ米ノ供給ハ當分ハ之ヲ政府デオヤリ  
ニナラナクテハナラナイト云フコトデアラ  
ウト思ヒマス、所方之ヲ政府デオヤリニナ  
ルト云フコトニナリマス、中々六百万石  
位ノ米デハ足リマセヌ、少クトモ千五百万  
石、二千万石ノ米ヲ用意ナサラナクテハナ  
ラスト考ヘマス、何ダカ此所ヘ來テ見テ之  
ニ應ズル用意ヲシテ置カナイデ、ソレニ引  
摺ラレテ行ツタラ是ハ大變ナコトニナルダ  
ラウト私ハ考ヘマス、隨ヒマシテ斯ウ云フ  
形ガ現レタナラバ、之ニ對應スルダケ政府  
ガ買上ゲテヤラルルナラバ、其ノ用意ヲナ  
サル必要ガアラウト思ヒマス、サウデナク  
シテ斯ウ云フヤリ方ハ不自然ダカラ從來ノ  
機構ヲ復活シテヤラウト云フコトデアリマ  
スナラバ、ソレモ一ツノ方法デアリマスガ、  
何分今日ノ儘デ行タコトガ出來ナイコトハ  
明カデアリマス、隨ヒマシテ政府ハドウ云  
フコトヲオヤリニナラウト云フノカ分リマ  
セヌケレドモ、大體此ノ問題ガ起リマシテ、  
去年ノ秋頃大臣ハ送リマシタケレドモ、事  
務ノ方ハズツトオイデニナルノデアリマスカ  
ラ、今頃ハ何等カ相當ナ政策ガ立ツテ居ラ  
ナクチヤナラナイ、今ニナツテ是カラ考ヘル  
ト云フコトニナリマス、モウ既ニ新米穀年  
度ヘ入リマシテカラ四箇月モ経ツテ居リマス  
ソレダケ米ガ減ツテ來テ居リマス、私ハ此

ノ以上承リマセヌガ、其ノ點ヲ餘程御注意  
ニナリマシテ、機宜ヲ失セザル施設ガ必要  
ダラウト思ヒマス、尙ホ今御話ニ何等カノ  
法律ヲ以テ之ニ應ズルヤウナコトヲアルノ  
ダト云フコトデアリマスガ、其ノ意味ハ例  
ノ戰時ニ買上ゲ得ル米ノ價格ヲ時價ニ引上  
ゲルト云フヤウナ程度ノコトデアリマスカ、  
モウ少シ廣範圍ノ御考デアリマスカ、一  
寸承リマス

○島田國務大臣 今ノ質問ハ一寸聽取レマ  
センデシタガ……  
○松村(護)委員 今度戰時ニ限ツテ米ヲ或  
ル一定ノ價格デ買上ゲ得ル法律ガアリマス  
ネ、アレヲ時價デ買フコトニ直サレルト云  
フヤウナコトガ新聞ニ出テ居ツタヤウデス  
ガ、サウ云フヤウナコトデモナサルト云フ  
位ノ程度ノモノデスカ、モウ少シ強制力ヲ  
伴ツタコトヲ御考ヘニナツテ居ルノデアリ  
マスカ、買上等ノ強制力ヲ伴ツタコトハ、  
或ハ去年ノ米穀配給統制法ノ第四條ノ運用  
デ宜シイト考ヘルノデアリマスカ、其ノ點  
ヲ承リタイト思ヒマス

○松村(護)委員 私ハモウ少シ米ノ機構ノ  
大體ノ方向デモ承リタイト思ヒマス、ドウ  
モ大臣ノ御話ニナリマス今後ドウ云フ風ニ  
シテ行カウト云フコトニ付テハ、甚ダ十分  
ニハ分リマセヌノデ、ソレヲモウ少シ承リ  
タイトハ存ジマス、併シ之ヲ承ツテ見テモ  
其ノ程度シカ今日ハ進ンデ居ナイノデハナ  
イカト思ヒマスカラ、時間モ経チマスノデ、  
ココデ其ノ點ハ止メテ置キマスガ、私モ多  
少ノ責任ガアリマスカラ、一ツ承ツテ置キ  
タイコトガアリマス、ソレハ去年ノ議會ニ  
通りマシタ米穀配給統制法デゴザイマス、  
是ハ去年色々ノ論議ヲ盡シマシタガ、衆議  
院ヲ滿場一致ヲ以テ通過テ成立シタ法律デ  
アリマスガ、是ノ運用ハ遺憾ナガラ今日マ  
デ殆ド手ヲ付ケラレテ居リマセヌ、アノ第  
四條ノ如キ、之ヲ操作致シマシタナラバ、  
斯ウ云フ際ニ相當役立ツト思ヒマスガ、傳  
家ノ寶刀ト御考ヘニナツテ居リマスカ、餘  
リ使ツテハ居ナイヤウデアリマス、殊ニ又  
アノ配給統制法ノ最モ大キナ部面デアリマ  
ス取引機構ノ問題デアリマス、是ハアレガ  
通りマシタ爲ニ、斯ウ云フ際ニ米價ガ不當  
ニ暴騰スルト云フヤウナコトガ止リマシタ  
ケレドモ、併シ新市場ト云フモノノ活用ハ  
全然今日停止サレテ居リマス、併シ若シモ  
米ヲ進ンデ國家管理等ニナサレルナラバ、  
アレハ不要デアリマスケレドモ、サウデナ  
イナラバ、市場ナクシテ米ノ配給ノ行ハ  
レナイコトハ明カデアリマスカラ、今日ノ  
市場ハ之ヲ許シマセヌデモ、アノ市場ヲ利  
用シテ米穀政策ヲ運営シテ行クト云フ御考  
デアリマスガ、ソレトモ此ノヤウニナツタナ  
ラバ、最早米穀事情ガ一變シテ居リマスカ  
ラ、去年通ツタ法律ヲ改正シテ新ナル出

○島田國務大臣 只今改正案トシテ提案ヲ  
致サウトシテ、既ニ日程ニ上ルヤウニナツ  
テ居ル管デアリマスガ、是ハ米穀ニ對スル  
應急處置ニ付テノ法律ノ改正デアリマシテ、  
現行法ニ依リマス、最低價格ヲ下廻ツタ  
場合デナケレバ買ヒ得ナイコトニナツテ居  
リマス、尙ホソレハ米穀ノミニ限ラレテ居  
ルノデアリマスカラ、之ヲ範圍ヲ擴メ、サ  
ウシテ最低價格ヲ下廻ラザル場合ニ於テモ  
政府ガ買フコトガ出來ルヤウニ致シタイ、  
斯ウ云フ程度ノ改正デアリマス、尙ホ其ノ  
他ノ點ニ付テハ今法案ノ改正トシテハ提案  
ヲスル準備ハ持ツテ居リマセヌ

發ラシヨウト御考ヘデアリマスカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今論議サレテ居リマス問題トシマシテハ、今御指摘ノヤウナ米穀會社ノ利用或ハ現在ノ狀態ニ對スル對策ニ付テ至急實行ノ案ヲ立テルベクヤツテ居リマスカラ、今日直チニ如何ナル方法ニ依ツテドウ云フ風ニスルカト云フコトヲ申上ゲル程度ニ達シテ居リマセスガ、是ハ急イデ其ノ處置ヲ立テル積リデアリマスカラ、ドウゾ左様御諒承ノ上暫ク是ハ御猶豫ヲ願フテ置キマス

○三土委員長 松村君マダ相當長イデスカ  
○松村(謙)委員 時間ノ御都合ハドウデセウ

○三土委員長 委員長トシテハ餘リ長クナイ方ヲ希望スルノデス

○松村(謙)委員 モウ少シ重要ナコトガアリマスカラ願ヒマス、ドウカ一ツ政府ノ今御話ニナリマシタ點ニ付テ違算ノナイヤウニ私ハ御願ヲ致シマスガ、併シ此ノ問題ハ大體今年ノ需給推算ニ於テハ宜シイガ、寧ロ心配ハ來年以後ノ食糧問題ニアルト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ政府トシテドウ云フ成算ヲ御持ニナツテ居リマスカ、先程御話ノアリマシタ七千何十万石ノ増産計畫、是ハ去年ノト違ヒマシテ、今年アレダケニ又増産ヲスルノハ肥料ニ依ツテ增收ヲ期スル計畫ノ管デアリマス、然ルニ其ノ肥料ヲ得ルコトガ困難ニナツテ來タ今日ニ於テ七千何十万石ト云フ數字ヲドウシテ御出シニナルカ、是ガ心配デアリマス、況ヤ先刻御話ノ通り、手持米ハ相當ニ持タナクテハナラナイト云フコトハ戰時ノ際殊ニ痛切ニ感ジマス、サウ云フ意味合カラ言ツ

テ先刻御話ノ際ニハ、内地ダケデ需給推算ヲ立テル、是ハ出來レバ結構デアリマスガ、サウデナイナラバ、滿洲支那全體ヲ通ズル食糧政策ヲ此ノ場合ニ御立ニナツテ、今日サヘ通レバ來年ハ大丈夫ダト、斯ウ云フ安心ヲ計畫ノ上ニ於テモ國民ニ與ヘラレルコトガ何ヨリモ米穀政策ノ運用ニ付テ結構デアラウト考ヘマス、ソレニ付キマシテ先刻太體内外地ヲ通ズルダケデ日本ノ食糧ハ出來ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ長期ノ需給推算カラ見ルトソレハ望マイコトデ、吾々モ異存ハアリマセスガ、併シ長期ノ需給推算カラ言ツクナラバ、所謂日滿支三國ヲ通ズル大キナ食糧政策ヲ立テテ、依存スル譯デアリマセスケレドモ、ヤツテ行カナケレバイカヌノチヤナイカト云フヤウナ考カラ、長期ニ互ル需給推算ニ付テ大體ノ御見込ダケデモ承リタイ

○島田國務大臣 數字ヲ以テ長期ノコトヲ申上ゲルコトハ無論出來難イ所デアリマスガ、私ノ午前中ニ助川君ノ御質問ニ對シテ御答致シマシタ趣意ハ、日滿支ノ間ニ於テ大局的ニ考ヘテ、綜合的ニ食糧ノ問題ニ對スル對策ヲ立テル必要ガアルト云フコトハ是ハ固ヨリデアアルガ、其ノ各内地外地ヲ通ズル我國ト滿洲支那——現状ニ於キマシテハ動モスレバ滿支カラ入ルト云フヨリモ、寧ロ滿支ニ向ツテ出ルト云フ傾向ガアル位ナ狀態デアリマスカラ、ソレデ日滿支各、大體需給計畫ヲ立テテ、其ノ上ニ綜合的ニ米穀、所謂食糧問題ノ解決點ヲ見出スヤウナ對策ヲ立テテ行ナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ意味デ申シタノデアリマシテ、大體ノ方針トシテハ只今松村君ノ御述ニナリマシタ御趣意ニ合致致スヤウニ考ヘテ居ル次第デアリ

○松村(謙)委員 時間ガアリマセヌカラ端折ツテ申上ゲマスガ、拓務大臣ニ御伺申シマス、ソレハ斯ウ云フ際デアリマスカラ出來ルダケ本年度ノ米ハ作ラナクテハナリマセヌ、隨テ朝鮮ハ早魃ノ後デアリマシテドウカ存ジマセヌガ、臺灣邊リニ於テ今年ハ何カ特別ノ方法ヲ以テ米ヲ増産シテ、少シデモ内地ニ餘計持ツテ來ルヤウニシナクテハナラヌト思ヒマスガ、斯ウ云フ際デアリマスカラ、非常ノ手段方法ヲ執ツテ、サウシテ臺灣カラハドレ位ノ米ヲ入レルコトガ出來マスカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○小磯國務大臣 只今ノ御質問ニ對シ答辯申上ゲマス、臺灣ハ明年度ニ於キマシテハ約五十萬石ノ増産ヲ確保シ得ル見込デゴザイマス、近年立案致シマシタ今後十年間ノ恒久計畫ノ上カラ言ヒマスレバ、其ノ最後年度ニ於テ大體二百三十四萬石程度ノ増産ヲ豫想シテ居リマス、唯御承知ノ如ク從來消費經濟ノ目標トナツテ居リマス米——石炭ナドモサウデゴザイマスガ、内地ノ需給推算上、必要ト思フ時ニハ成ベク餘計寄越セ、少シ内地ノ方ガ體作デ需給推算上餘リ多ク外地カラ移入スル必要ノナイ場合ニハ、成ベク餘計寄越スナト云フヤウナ立場ニ置イテオカレマシタガ從來ノ外地デゴザイマス、併シ先程松村君段々ノ御質問、又其ノ間ニ御述ニナリマシタ御意見ノ通り、將來ハ左様ナコトヲ考ヘテ居ル譯ニ行キマセヌノデ、大體的ニ少クモ日本ハ食糧ニ於テハ斷ジテ不安ガナイト云フ風ニスル必要ガアルダラウト考ヘマス、臺灣ニ付テハ前申シマシタ通りデアリマス同時ニ、朝鮮ニ於テモ永年ニ互リ増産計畫ヲ實行致シテ居ル大

○松村(謙)委員 只今ノ御話ヲ承リマシタガ、大體豫定ノ計畫ハ豫ネテ存ジテ居リマス、併シナガラ斯ウ云フ少シデモ米ガ欲シイ時デアリマスカラ、特ニ臺灣邊リデ御考ヲ願ヒタイト申スノデアリマス、私共ハ去年ノ議會ニ臺灣ノ米ノ專賣ノ案ノ出マシタ時ニハ砂糖ト全然關係ノナイヤウナ御説明デゴザイマシタガ、此ノ間拓務大臣ノ御話ヲ承リマス、砂糖トノ「パランス」ヲ取ルコトガ非常ニ必要デアルト云フ御話ガアリマシテ、去年ノ御説明トハ違フヤウニ考ヘマシタケレドモ、併シナガラ現ニモ角ニモ是ハ砂糖ヨリモ食物ノ方ガ大切ト考ヘマスカラ、出來ルダケノ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村(謙)委員 只今ノ御話ヲ承リマシタガ、大體豫定ノ計畫ハ豫ネテ存ジテ居リマス、併シナガラ斯ウ云フ少シデモ米ガ欲シイ時デアリマスカラ、特ニ臺灣邊リデ御考ヲ願ヒタイト申スノデアリマス、私共ハ去年ノ議會ニ臺灣ノ米ノ專賣ノ案ノ出マシタ時ニハ砂糖ト全然關係ノナイヤウナ御説明デゴザイマシタガ、此ノ間拓務大臣ノ御話ヲ承リマス、砂糖トノ「パランス」ヲ取ルコトガ非常ニ必要デアルト云フ御話ガアリマシテ、去年ノ御説明トハ違フヤウニ考ヘマシタケレドモ、併シナガラ現ニモ角ニモ是ハ砂糖ヨリモ食物ノ方ガ大切ト考ヘマスカラ、出來ルダケノ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ厚生大臣ニ一ツ御伺申シタイノデアリマス、ソレハ外デモゴザイマセスガ、節米ノ運動デアリマス、七分搗ニシロ、節米シロト言ツテヤツテ居リマスガ、私ハ寧ロ法律デモウ少シ徹底シテ、七分搗ノ外ニ麥ヲ混ぜ、外米ヲ混ぜテ食ハナケレバナラスト思ヒマスガ、ソレニシマシテモヤリ方ガアラウト思ヒマス、先達テアナタノ方ノ原ト云フ醫學博士ノ技師ト一緒ニナリマシテ御話ヲ承リマシタ、私ハ非常ニ參考ニナルコトガアリマシタノハ、所謂營養食ニ關シテデアリマス、今日ノ日本ノ一人當リノ米八年一石一斗程度デアリマスガ、營養食ニ致シマスソレガウント減ルノデゴザイマス、一日大人デ三合三勺位デ宜シイ、サウシテソレデヤツタ全國ノ實例ヲ見ルト、國民營養ガ非常ニ良クナツテ、サウシテ米ハウント減ル、凡ソ一人ニ付テ一年一俵位ノ米ガ減リハセヌカト云フ位ナ御話ガアリマシタ、營養食ニスレバ、副食物等ノ關係モ

○松村(謙)委員 只今ノ御話ヲ承リマシタガ、大體豫定ノ計畫ハ豫ネテ存ジテ居リマス、併シナガラ斯ウ云フ少シデモ米ガ欲シイ時デアリマスカラ、特ニ臺灣邊リデ御考ヲ願ヒタイト申スノデアリマス、私共ハ去年ノ議會ニ臺灣ノ米ノ專賣ノ案ノ出マシタ時ニハ砂糖ト全然關係ノナイヤウナ御説明デゴザイマシタガ、此ノ間拓務大臣ノ御話ヲ承リマス、砂糖トノ「パランス」ヲ取ルコトガ非常ニ必要デアルト云フ御話ガアリマシテ、去年ノ御説明トハ違フヤウニ考ヘマシタケレドモ、併シナガラ現ニモ角ニモ是ハ砂糖ヨリモ食物ノ方ガ大切ト考ヘマスカラ、出來ルダケノ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村(謙)委員 只今ノ御話ヲ承リマシタガ、大體豫定ノ計畫ハ豫ネテ存ジテ居リマス、併シナガラ斯ウ云フ少シデモ米ガ欲シイ時デアリマスカラ、特ニ臺灣邊リデ御考ヲ願ヒタイト申スノデアリマス、私共ハ去年ノ議會ニ臺灣ノ米ノ專賣ノ案ノ出マシタ時ニハ砂糖ト全然關係ノナイヤウナ御説明デゴザイマシタガ、此ノ間拓務大臣ノ御話ヲ承リマス、砂糖トノ「パランス」ヲ取ルコトガ非常ニ必要デアルト云フ御話ガアリマシテ、去年ノ御説明トハ違フヤウニ考ヘマシタケレドモ、併シナガラ現ニモ角ニモ是ハ砂糖ヨリモ食物ノ方ガ大切ト考ヘマスカラ、出來ルダケノ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス

アリマセウガ、同ジ節米ヲ獎勵スルナラバ  
寧ロ榮養食ヲヤレ、榮養食ヲ國民ニ普及セ  
シムル、殊ニ農村ナドへ普及セシムルト云  
フコトニナリマス、ソレハ單ニ消極的ニ  
米ヲ節約セヨト云フコトデハナクシテ、榮  
養ヲ良クシヨト云フコトデ、其ノ結果ハ非  
常ニ恆久的ニ國民ノ衛生ニ及ボスノデアリ  
マスカラ、寧ロ禍ヲ轉ジテ福トスル譯デア  
ラウト思ヒマスガ、斯ウ云フコトハ政府ト  
シテ出來ルダケノ努力ヲセラレタ方宜カ  
ラウ、單ニ事務的ニ多少ノ獎勵ヲシテ居リ  
マスト云フ程度デナク、節米運動ヲ榮養食  
運動ニ轉換シテ大キクオヤリニナルト云フ  
考ガ政府ニアリマセウカ、一寸御同致シマ  
ス

○吉田(茂)國務大臣 只今ノ御意見ノ點詢  
ニ御同感ニ存ジマス、今回豫算ニモ現ハレ  
テ居ルコトデアリマスガ、在來ノ公衆衛生  
院或ハ榮養研究所等國民生活ニ直接關係ノ  
アリマス自然科學方面ノコトヲ綜合致シマ  
シテ、厚生科學研究所ト云フモノヲ設立致  
シマシテ、國民榮養保健等ノ緊要ナ問題ニ  
付キマシテ、科學的基礎ニ立チマシタ十分  
ナ研究ヲ遂ゲ、陣容ヲ整ヘルコトニナツテ  
居ル譯デアリマス、勿論在來ト雖モサウ云  
フ方面ニ於ケル研究ハヤラナカツタ譯デア  
ナイノデアリマスケレドモ、マダ十分デア  
ツタトハ言ヒ兼ネルノデアリマス、今後ノ  
食糧問題ヲ解決致シマス上ニハ左様ナ科學  
ノ基礎ニ立チマシタ十分ナ研究ヲ行ヒタイ、  
今マデモ實際ニヤツテ居リマシタ範圍ヲ擴  
大スルト共ニ、ソレニ堅實ナ科學的基礎ヲ  
與ヘルト云フコトガ、食糧問題解決ノ爲ニ  
最モ肝腎デアラウト考ヘマスノデ、其ノ點ニ  
付キマシテハ大イニ力ヲ致シタイト云フコ

トヲ希望致シテ居ル譯デアリマス  
○松村(謙)委員 大藏大臣ガ居ラレマセウ  
ガ、大藏省ノ政府委員ガ居ラレマセウカ  
一寸ツダケ御尋ヲ致シタイ、ソレハ御承知  
ノ通り酒ガ現在デモ足リマセウコトハ是ハ  
言フマデモナイコトデアリマス、殊ニ是カ  
ラ本年度減額セラレマシタ後ニ於テハ、恐  
ラタ今年ハ金持ヤ上流階級ガ飲ム酒ハ料理  
屋ニ行ケバアルカモ知レマセウガ、本當ノ  
勞働者ナドノ飲ム酒ハナクナルノデハナイ  
カ、是ハ止メレバ宜イデハナイカト申シマ  
スガ、勞働者、農民階級ニ於テハ酒ハ決シ  
テ贅澤品デハナクテ、必需品デアリマス、  
是ガ若シ彼等ガ飲ムコトガ出來ナイ、サウ  
シテ一方金ノアル方面ニ於テハ十分ニ飲メ  
ルト云フガ如キ社會ノ状態ガ出テ來マシタ  
ナラバ、是ハ容易ナラヌ問題デアラウト思  
フノデアリマス、隨ヒマシテ或ハ外米ナドニ  
依ツテ極ク惡イ酒デモ宜イカラ造ツテ、勞  
働者、農民ニ飲マセルカ、或ハ稅ノ關係ハ  
モウアリマセウカヲ潤酒デモ十分ニ造ラセ  
ルカ、若クハ他ノ方法ニ依ルカ、少クモ下  
層勞働農民ノ方面ニ、十分トハ申セマセウ  
デモ、節シテ酒ガ飲メルダケノコトハ  
シテヤラナクテハイケナイノデハナイカト  
思ヒマスガ、政府ノ御考ヲ承リタイト思ヒ  
マス

○松田政府委員 松村君ノ御尋ニ對シテ御  
答致シマス、政府ハ既ニ酒ノ製造ニ付テ、  
資源ノ關係カラ色々心配ヲ致シテ居リマ  
ス、目下其ノ代用品等ニ依ツテ酒ガ造ラレ  
ルヤウニ考慮中デアリマス、將來ニ付キマ  
シテハ、色々ト對策ヲ講ジテ行ク見込デア  
リマス、左様御承知ヲ願ヒマス  
○松村(謙)委員 最後ニ農林大臣ニ一ツ御

同申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ外デモアリ  
マセウガ、産業組合ニ關スルコトデアリマ  
ス、私共ハ産業組合ニ對シテハ熱心ナ、寧  
ロ産業組合派ノ人間デアルト自分ハ思ツテ  
居リマス、併シ最近斯ウ云フコトガ起ツテ  
居リマス、大臣ハドウ御考デアルカ知リマ  
セウガ、前ノ阿部内閣ノオ終ヒノ頃ニ、農  
林省ニ人事ノ異動ガゴザイマシタ、私ハ其  
ノ人事ノ異動其ノモノニ付テハ、決シテ善  
シ惡シヲ茲ニ申スノデアリマセウカラ、  
其ノ點ハ誤解ナイヤウニ御願致シタイト思  
ヒマスガ、唯其ノ人事ノ中デ、一ツ非常ニ  
奇妙ニ感ジマシタコトハ、本省ノ經濟更生部  
長ヲ致シテ居リマシタ者ガ、東京營林局長  
ニ送ツテ出マシタ、此ノコトハ當リ前カモ  
存ジマセウガ、嘗テ例ノナイコトデアリマ  
シテ、謂ハバ左遷ヲサレタコトト考ヘマス、  
嘗テサウ云フ例ハ、鐵道局長ガ何カノ事デ大  
阪へ左遷セラレタコトガアル、ソレ以來ノ  
コトデアリマス、ソコデ人ハ是ト結付ケマ  
シテ、全購聯ヲ經濟更生部長ノ手デ檢査ヲ  
致シタカラダ、彼處ハ中々檢査ヲヤラナイ  
所デアリマスガ、ソレヲ敢然トシテ阿部内  
閣ノ時ニヤリマシタノデ、或ル方面カラノ  
抗議ガ出テ、ソレデ遂ニ左遷セラレルノ已  
ムナキニ至ツタ、斯様ナ噂ガ相當ニ廣ク行  
ハレテ居リマス、私ハ左様ナコトハナイト  
存ジマスガ、産業組合ニ對スル農林省ノ監  
督權ト云フモノハ、儼トシテ動かカスベカラ  
ザルモノガナケレバナラナイト思ヒマス、  
産業組合ノ王國ヘハ、農林省ト雖モ手ヲ付  
ケルコトガ出來ナイ、之ニ手ヲ付ケタナラ  
バ左遷セラレルト云フコトガ農林省ノ官吏  
ノ頭ニ滲込シテハ大變ダト思ヒマス「ヒヤヒ  
ヤ」此ノ事ハ意識セラレテヤツタコトデア

カナイカハ知リマセウケレドモ、形ノ上デ  
ハサウ云フ形トナツタコトヲ、私ハ甚ダ遺  
憾ニ存ジマス、即チ檢査ヲヤツタ結果、推  
問狀ヲ出ストカ何トカ言ツテ、新聞ニモ流  
布セラレテ居ツタ、其ノ直後ニ斯ノ如キ  
人事ガ行ハレタト云フコトハ、如何ニモ農  
林省ガ其ノ監督ノ位置ニ立ツ上ニ於テ、非  
常ニ疑惑ヲ起サセル、嚴正ニ監督權ノ行使  
ニ付テマデモ疑ヲ起サセルコトガアツテハ  
ナラナイト考ヘルノデアリマスガ、農林大  
臣ハ之ニ對シテ何ト御考ヘデアリマセウカ、  
今ノ大臣ノナサツタコトデアリマセウケ  
レドモ、御考ハ聽イテ置カケレバナラヌ  
ト思ヒマス

○島田國務大臣 産業組合ニ對シテ、農林  
大臣ガ監督ヲ嚴シナケレバナラヌ、監督  
ヲ公正ニシナケレバナラヌコトハ、申スマデ  
モナイコトデアリマス、過去ノ人事ノコト  
ニ付キマシテハ、私ハ就任日淺クシテ其ノ  
實情ヲ承知致シマセウガ、其ノ趣意ニ於キ  
マシテハ、左様ナ産業組合ノ關係カラ、本  
省ノ人事ガ動かサレルト云フコトハ、アル  
ベカラザルコトデアリ、アツテハナラヌ、  
斯様ニ考ヘテ居リマス

○松村(謙)委員 其ノ御答辯ヲ承リマシテ  
洵ニ結構ダト思ヒマス、私ハ産業組合ガ健  
全ヲ發達ヲスルノニハ、農林省ガ本當ニシ  
ツカリト御指導ニナラナイトイカヌト思ヒ  
マス、殊ニ戰爭中デアリマスガ爲ニ、産業  
組合、農會等ノ力ヲ要スルコトガ非常ニ多  
イ、米ノ集荷ニ致シマシテモ、其ノ他ノ物  
ノ生産ニ付キマシテモ、私共ハ日本ノ農村  
ニ産業組合アリ、農會ガアツテ、之ヲ正シ  
ク使フコトガ戰時ノ農業生産ヲヤルニ大イ  
ニ役立つト思フ、ソレガ邪道ヘ入ツテハ相

成ラスト思ヒマス

ソレデアリマスカラ私ハ茲ニ一ツ御同致シマスガ、近頃承リマス、産業組合中央會其ノ他信聯等ニ於キマシテ、生命保險會社及ビ火災保險會社ヲ買受ケテ、其ノ經營ヲシヨウト云フコトデ、殆ド話ガ進行致シタト云フコトデアリマス、産業組合ガサウ云フ保險會社ヲ買込シタルコトガ、産業組合ノ範圍ヲ逸脱シテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、相當ニ研究ヲ要スル問題デアラウト思ヒマス、法規ノ上カラ言ツテモ、實質ノ上カラ言ツテモ、相當ニ考慮ヲ要スル問題ト思ヒマス、而モ三流、四流ノ最モ惡イ生命保險會社、最モ惡イ火災保險會社ハ、此ノ間ノ靜岡アタリデアア云フ打擊ヲ受ケテ居ル、サウ云フ保險會社ヲ産業組合ノヤウナ公ノ團體ガ引受ケテヤルト云フガ如キコトハ、相當ニ考慮シナクテハナラナイ問題デハナイカ、産業組合ノ健全ヲ發達ノ上カラ言ツテモ、是ハ邪道ニ陥ルモノデナイカト、私共ハ深ク憂フル者デゴザイマス(拍手)斯ウ云フコトガアリマスナラバ、私ハ農林大臣ハ其ノ監督ヲ嚴重ニシテ、過チナキコトヲ期セラレナクテハナラナイト固ク思ヒマス、先年之ト同ジ問題ガ、現在サウ云フヤウナ事ヲヤラウト云フ人達ノ手ニ依ツテ計畫セラレタコトゴザイマス、其ノ時農林省ハ、サウ云フコトハ産業組合ノ爲ニ宜シクナイ、産業組合ヲ紊ルモノデアルトシテ、之ヲ止メタコトゴザイマス、今モ尙ホソレト同ジ方針デアラレマスルカドウカ、私ハ其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス、産業組合ノ健全ナル發達はハ非常ニ結構デアリマス、ソレテ保險ノ事業ノ如キモ、産業組合内ダケノ相互保險ノヤウナモ

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回 昭和十五年二月九日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回 昭和十五年二月九日

ノヲ新ニ考ヘルト云フヤウナコトナラバ、

是ハ一ツノヤリ方ダトハ思ヒマス、併シナガラ産業組合ソレ自身ガ、古イ經營ガ出來ルカ出來ヌカ分ラナイヤウナ普通ノボロ會社ヲ買ツテ、サウシテ經營ニ當ルト云フガ如キコトヲスルコトハ、是ハ産業組合ノ墮落ダト存ジマスガ、大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ(ヒヤ〜)

○島田國務大臣 産業組合ノ健全ナル發達ヲ希望スル意味ニ於テ、適當ナル指導監督ヲスルト云フコトハ、是ハ中スマデモナイコトデアリマス、組合ノ活動ガ法規ノ許サザル、若シクハ法規上疑義ノアル點ニ互ルヤウナ事柄ニ對シマシテハ、其ノ事實ニ付キマシテ十分研究調査ヲ致シマシテ、其ノ公正ヲ失ハザルコトニ致シタイト思ヒマス

○松村(議)委員 私ハ其ノ内容ハ存ジテ居リマス、居リマスガ之ヲ一々此處テ細カク申上ゲナイ方宜カラウト存ジマス、ドウカ大臣ニ於テハ十分ニ御調査ニナツテ 御調査ニナラヌデモ既ニ御存ジトハ思ヒマスガ、十分ノ監督上ノ處置ヲ執ラレシコトヲ希望致シマス、尙ホ御方針ガ決リマシタナラバ、次ノ機會ニデモ明確ニ御答辯ガアレバ、尙ホ結構ト思ヒマス、畢竟是ハ先程ノ問題ト云ヒ、産業組合ト云フモノハ、相當ニ農政ノミナラズ、全體ニ關スル重大ナ問題デアリマスカラ、十分ニ御努力ヲ下サイマシテ、是等ノ危險ナル事柄ヲ禁ジテ載キマスヤウニ要望致シテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○三宅委員 三宅正一君

○三宅委員 總理大臣、大藏大臣、外務大臣ハ直ダ來ラレマセウカ

○三宅委員 外務大臣ハ來ラレマシタ、總理大臣、大藏大臣ハ今丁度本會議ニ於テ

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回 昭和十五年二月九日

税法ノ審議中デアリマスカラ、暫ク來ラレ

マセヌガ、其ノ内來ラレマスカラ、御出席ノ大臣ニ關スル質問ヲ先ニヤツテ載キタイ

○三宅委員 ソレデアリ私農林問題ノ方カラ先ニ質問ヲ致シマシテ、順次他ノ問題ニ入リタイト思ヒマス、私ハ政府全體ニ付テ御同シタイノデアリマスガ、今日マデ日本ノ農業政策ニ對シ、食糧問題ニ對シテ非常ニ樂觀ガアツタト云フコトハ確カデアリマス、此ノ意慢ニ過ギマシタ食糧政策ガ、豐原瑞穂國ニ於テ明日ノ米ニモ困ラセルト云フヤウナ、出來秋ニアア云フ大醜態ヲ演ジマシテ、遂ニ阿部内閣ヲ倒シタノデアリマス、私ハ米ノ問題ニ付テ、アノ状態ハ過ギ去リマシタケレドモ、色々ノ見地ニ於テ憂慮スベキ非常ニ多クノ問題ヲ持ツテ居ルコトハ、石炭問題ト違モ違ヒガナイト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ日本ノ政策ノ誤リマシタ第一點ト致シマシテ、何故ニ生産力擴張計畫ノ中ニ、農産物増産計畫ヲ加ヘナカッタカ滿洲ニ於キマシテハ五箇年計畫ノ中ニ、工業ト共ニ農業ヲチヤント加ヘテ居ルノデアリマス、苟モ長期戰ヲ戦ハウトスル時ニ、十五ノ品目ハ生産力擴張計畫ヲ作ツテ、内閣直屬ノ企業院ヲ以テ物資其ノ他ニ付テモ優先ヲサセルガ、一番大切ナル食糧ノ問題ニ付テハ、其ノ範圍カラ除外シタト云フ所ニ、私ハ日本政府ノ非常ナル失態ガアルト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、今カラデハ少々手遅レデアリマスルケレドモ、少クとも私ハ是カラデモ宜シイガ、農産物増産計畫ヲ生産力擴張計畫ノ中ニ包含シテ賈ヒタイト考ヘルノデアリマス、ソレハ資料ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ肥料ノ問題ニ致シマシテモ、日本ノ行

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回 昭和十五年二月九日

政機構ヲ以テ致シマスレバ、商工省ガ何ヲ

言ツタト云フコトデ決ラナイ、何處ヘ持ツテ行カケレバ決ラナイト云フコトデ以テ、常ニ肥料ノ手當ニ致シマシテモ、資料ノ手當ニ致シマシテモ、或ハ百姓ガ早タ米ヲ摺リマスル爲ノ扱摺リノ石油ニ致シマシテモ時機ヲ失シマシテ、是ガ減産ノ大キナ原因ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、農林省ニ於テハ食糧問題ノ重大ナルニ鑑ミラレマシテ、食糧局ヲ作ラウト云フコトガ新聞ニ出テ居リマスガ、私ハ農林省ガ食糧局ヲ作ツタツテ駄目ダト考ヘルノデアリマス、食糧問題ハ單ナル農林省ノ問題デハナイ、外地ノ關係ニ於テハ拓務省ニ關係シ、資料ノ關係ニ於テハ商工省ニ關係スルノデアツテ、戰時ノ食糧政策ノ根幹ハ、内閣自ラガヤルベキモノデアルト考ヘルモノデアリマス、隨テ食糧局ヲ御作りニナルナラバ、内閣直屬トシテ御作りニナラナケレバイカナイ、米ノ問題ガ今日ノ如クナリマシタト云フ事情ハ、獨リ農林省ノ責任デハナイト私ハ考ヘルノデアツテ、我國朝野ヲ舉ゲテ、米ノ問題ハ大丈夫ダト云フ意慢ニ過ギタ漫然タル樂觀ガ、ココニ來ツタノデアリマシテ、此ノ措置ヲ誤リマスルナラバ、戰爭ナド減茶苦茶ニナツテシマフト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ第一ニ農産物増産計畫ヲ、生産力擴張計畫ノ中ニ包含スルカドウカト云フコトヲ、一ツ總理大臣カラ伺ヒタイノデアリマスガ、總理大臣ガ居ラレマセヌカラ、主管ノ農林大臣及ビ企業院總裁ノ御答辯ヲ得タイト考ヘルノデアリマス

○島田國務大臣 總理大臣、企業院總裁トモ居ラレマセヌカラ、私ヨリ一應ノ御答ヲ致シマス、只今ノ御趣意ハ御尤デアリマス、

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回 昭和十五年二月九日





五十二錢ノ成分シカ持ツテ居ラナイ、斯ウ云フ無茶苦茶ナ状態ガ行ハレテ居ルノデアリマス、ソコデ、新潟縣ニ有名ナ篤農家ノ青木順兵衛ト云フ人ガアル、此ノ人ガ魚粕三號ヲ十一圓四十錢デ四十噸買ヒマシタガ、是ダケデ農業經營ニ於ケル損失ハ、三百圓以上ト云ハレテ居ルノデアリマス、篤農家ガ増産ノ爲ニ肥料ヲ買入レタラ、損ヲスルト云フ状態デハ仕方ガナイ、隨テ農村ノ状態ハドウデアアルカト云ヘバ、生産資金ノ計畫ガ立タナイ、肥料ガ何時來ルカ分ラナイ、幾ラデアアルカ分ラナイ、現金デナケレバ賣ツテ與レナイト云フヤウナ状態ニナツテ居リマスノデ、生産計畫ガ無茶苦茶ニナツテ居ル、政府ニ信賴スルコトガ出來ナイト云フ不安焦躁ノ念ノ下ニ、商人ノ不正ヲ知リナガラ、農民ハ高イ肥料ヲ買ツテ居ルト云フ状態デアアル、隨テ此ノ肥料ノ状態ノミカラ來ル農村ニ底流シテ居ル思想ハ、コンナ不安ナ馬鹿々々シイ農業ハ、一人前ノ能力ヲ持ツ者ハヤツテ居レヌ、爺トカ婆トカ或ハ細君トカ子供任セテ置ケバ宜イ、男ハ賃銀收入ニ出タ方ガ得ダト云フコトデ、農業生産ニ依ル収入減ハ、賃銀收入ヲ取ルト云フコトデ、滔々トシテ町ニ出テ居ルノデアリマス、農業副業化ノ大勢ト云フモノハ、私ハ實ニ恐シイ現象ヲ呈シテ居ルト云フコトヲ感ジテ居ルノデアリマシテ、具體的ナ事實ヲ農會ノ調ニ依ツテ申上ゲルノデアリマスガ、昭和十一年事變ガ始マリマシタ前年ニ、新潟縣ニ於キマシテハ、專業農家ハ十六萬八千九百三十六軒アツタ、ソレガ僅カ二年ノ間ニ、十三年ニハ十五萬五千三百七十軒ニ減ツテ、一万三千五百六十軒專業農家ガ減ツテ居ルノデアリマス、

然ルニ兼業農家ト申シマシテ、家族ダケガ農業ヲシテ居ツテ、親父ハ仕事ニ出テ居ルカラ五萬三千八百四十四軒ニ殖エテ居ルノデアリマス、即チ一万三千六百二十八軒殖エテ居ル、是ハ新潟縣ダケノ例デハアリマセヌ、廣島縣ニシマシテモ、愛知縣ニシマシテモ、軍需工業ノドツト來マシタ所ハ、皆斯ウ云フ傾向ヲ統計ノ上ニ現ハシテ居ルノデアリマス、即チ肥料ハ何時來ルカ分ラナイ、無茶苦茶ニ高クナリ、小作料ハ高イト云フ事情ヲ以チマシテ、ドン／＼町へ出テシマフ、隨テ片手間農業ニナツテシマフ、親父ガ中心ニナツテ一生懸命増産ヲ考ヘレバ、増産ハ可能デアリマスガ、片手間農業ニナツテ、自分ノ現金收入デ物ハ買ツテ來ルノダ、家族ノヤツテ居ル農業ト云フモノハ、飯米サへ取レバ宜イト云フ傾向ニナリマシタナラバ、是實ニ私ハ日本農業ノ破滅デアルト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、實ニ農村ニハ不安ナ空氣ガ流レテ居リマス、現ニ勞働市場ノ延長擴大ハ、斯ウ云フ思想ト實行ヲ全面的ニ可能ニ致シマシテ、全縣的ニ私ハ生産減ヲ來ス危險性ガアルト考ヘルノデアリマス、而モ是ハ技術家ガ言ツテ居リマスガ、本年度ニ於テ東北ノ氣候ガ早冷ニナリマシタナラバ、過磷酸不足ノ稻作ハ全減ノ虞ガアルト云フコトヲ、是ハ専門家ガ言ツテ居ルノデアリマス

レバ、其ノ方ガ上ツテ來テ却ツテ悪クナル、統制ハ部分的デハ駄目デアアル、全面的デナケレバ駄目デアアル、ヤルナラバ全部ヤル、ヤラヌナラバ自由主義デヤツタ方ガ宜イ、何故オヤリニナラナカツタカ、之ヲ急速ニ打開スルニハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、此ノ弊害ノ一ツハ商人ガ配給シテ居ルト云フコトニ、大キナ弊害ガアルノデアリマシテ、農業ノヤウナ金儲ケ主義デヤラナイ仕事ニ對シマシテ、商業主義ノ配給ヲサシテハ駄目デアアル、私ハ商業者ノ生活ニ付テハ別ニ考ヘナケレバナラナイと思フガ、少クとも肥料ノ配給等ニ付テハ、生産者團體ニ一元的ニ配給ヲサセラレルコトガ當然デアルト思フ、ソレヲ少々ノ摩擦ヲ恐レテ合理的ノ解決ヲナサラス所ニ、日本ガ前ニモ進メヌシ、後ロニモ引込メヌシ、五相會議七十回ト云フ筈ナラバ現出シテ居ルト考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ一ツ承リタイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 有價ノ肥料ノ問題ニ關シテ實情ニ付テ御話ノ點ハ謹ンデ拜聴致シマス、又魚粕其ノ他ニ付キマシテ、御話ノヤウナ事實ノアツタコトハ、其ノ通りデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ相當ナ統制ヲ行ヒ、配給ヲ適正ニスルコトノ必要ナルハ、是ハ論ヲ俟チマセヌ、左様ナ次第デアリマシテ、之ニ關シマシテハ、此ノ二月一日ヲ以テ開業ニ相成リマシタ有價ノ肥料ノ統制會社ト云フモノノ機能ニ依リマシテ、大豆粕ニ付キマシテハ、先ヅ以テ之ヲ獨占シテ、之ニ依ツテ配給ノ圓滑ヲ期スルヤウニシ、現ニ是ハ二月中ニ約十萬噸ノ大豆粕ノ配給ヲ爲スコトノ見込ガ立ツテ居リマス、魚粕ノ問題ニ付テハ、

是ハ内地ノ魚粕ニ付テハ、尙遺憾ノ點ガアリマシテ、困難ノ點ガアリマスガ、朝鮮ヨリ入レテ來マスモノニ付キマシテハ、ヤハリ此ノ會社ノ手ヲ以テ統制ヲシテ、適當ナル配給ヲスルノ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、併シ實際ハ只今三宅君ノ御指摘ニナリマシタヤウナ事柄ノ憂ノ尙未跡ヲ絶タナイコトハ、之ヲ遺憾トスルノミナラズ、サウ云フ事實ノアルコトニ付キマシテハ、出來ルダケ此ノ會社ノ働キ、政府ノ監督ニ依リマシテ、是等ノ事情ヲ除去スルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○三宅委員 此ノ際此ノ有價肥料ノ統制會社ノ設立ニ付キマシテ希望致シマスガ、何時モ不徹底ノモノヲ御作リニナル、此ノ前ノ米穀配給統制法ハ、櫻内農林大臣ノ時デアリマスガ、私共ハ出サナケレバ、今年ハ危イソト云ツテ、漸ク出サセタ所ガ摩擦ヲ慎ラレテ不徹底ナモノニナツタカ、今日米穀配給會社ハ半身不隨デアリマス、事態ハ急轉直下ノ如ク進展シツツアルノデアリマシテ、是ハ一歩先ンジテ強イモノヲ拵ヘナケレバ役ニ立タヌノデアリマシテ、サウ云フモノニ付テ、怠ラレナイヤウニ希望致シマス

ソコデ第二ニ御伺シタイコトハ、一體春肥ハ何時配給ニナリマスカ、肥料ハ適期ニ配給ニナラナケレバ駄目ダ、春肥ガ夏來テ、夏肥ガ冬來テハ役ニ立タヌ、私ハ昨年ノ實例ニ付テ申上ゲマス、斯ウ云フコトガ如何ニ政治ニ對シテ不信任ヲ及ボシテ居ルカト云フコトヲ、私ハ指摘スル意味ニ於テ申上ゲマスガ、是亦新潟縣ノ石山村ノ例デアリマス、昨十四年度ノ秋肥ノ申請ヲ致シマシテ、秋肥ガ來タノ方何時カト云フト、第一回ノ

配給ガ十一月ノ九日デス、秋肥ガ雪ノ降ル十一月九日ニ來タ、第二回ガ十一月二十日ニ來タ、第三回ハ十二月五日デス、到頭秋肥トシテハ一収モ間ニ合ハナカツタト云フ狀況デアリマス、滿洲ノ豆粕ヲ入レルコトニ付テ對滿事務當局ト農林省ガ、一生懸命ニ御配慮ニナツテ居ル、又硫安ヲ造ラナケレバナラヌト云ツテ、電氣ヲ「フル」ニ出スコトニ御配慮ニナツテ居ルコトハ、私共知ツテ居ルガ、何故之ヲ半年前ニヤラナカツタカ、何時モ手遅レニナル、今度ノ春肥ハ春ノ適期ニ間ニ合フカドウカ疑問ニ感ズルノデアリマス、東北ニ於テハ冷害等ノ心配モアリマシテ、今盛ニ陳情ヲヤツテ居リマス、北陸ノ早場地方ニ於テハ、春肥ガ入ラナカツタラ減收ニナル、量ニ付テモ問題ハアルガ、量ガ假ニ餘計行ツテモ、時期ガ遅レテハ駄目ダ、有機質及ビ無機質ノ肥料ニ付テ、適期ノ配給ガ出來ルカドウカト云フ點ニ付テ、是コソ全農民ニ聽カセル爲ニ、責任ノアル御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○島田國務大臣 御話御尤モデアリマス、又私ハ此ノ機會ニ於テ、春肥ノ配給ニ付キマシテハ機ヲ失シナイヤウニ、分量ニ付テハ或ハ從來定メマシタ割合以上ニスルト云フコトハ出來兼ネルガモ知レマセスガ、時期ニ於テハ之ヲ誤ラナイヤウニスルト云フコトニ付テ、全力ヲ擧ゲテ努力ヲシ、ソレヲ實現サセタイト考ヘテ居リマス

○三宅委員 肥料ノ増産ニ付テ、肥料價格引上ノ問題ニ關聯シマシテ伺ヒマス、前ノ内閣方途ニ肥料價格ノ引上ヲヤラナカツタコトハ私共非常ニ賛成デアリマス、米ノ値段ヲ五圓上ゲラレタコトナドモ、地主ダケガ賛成デアリマシテ、農民ハ反對ナンデア

リマス、米ガ上レバ小作料モ上ルシ、生産費モ上ルノデアリマシテ、私ハ生産農民ノ聲ガ、農林大臣ニ通ラナケレバ駄目ダト思フノデス、帝國農會トカ、或ハ陳情ニ來ル羽織紋付ノ連中ノ意見ト云フモノハ、大體地主ノ意見デス、働カズシテ米ダケ取ツテ居ル人デアリマスカラ、勞賃ノ上ツタ問題モナイ、肥料ノ上ツタ問題モナイ、何モナイ、ソレハ物納ノ小作デスカラ、上ツタ方ガ得デス、私ハサウ云フコトニ付テ今日本當ノ真相ヲ把握サレナケレバイカスト思フノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於テ、私ハ米ノ値上リモ大反對デアリマス、有馬前農相ガ低米價政策デ以テ、農會ナドノ反對ヲ押切ラレマシテ、三十五圓四十錢ニ最高價格ヲ御決メニナツタノハ、英斷ダト思フ、唯其ノ後ニ資材ヤ肥料ノ騰貴停止、引下ヲ遂行サレナイカラ問題ガ起キタノデアリマシテ、大英斷ダト思フノデアリマスガ、ソレハ最早アナタノ御責任ノ問題デアリマセヌノデ、其ノ補助金ノ政策ヲ以テ、肥料代ヲ上ゲナイト云フ政策ヲ御執リニナツテ、ドレダケ金ヲ御出シニナルノカ、大體五千萬圓位ノ金ヲ御出シニナルヤウデアリマスガ、是ガ廻リ廻ツテ結局「インフレ」ノ結果ニナリマスノデ、斯ウ云フコトヲオヤリニナルノハ私共反對デアリマスガ、此ノ際一ツ選信大臣ニ問イテ置キタイ點ハ、肥料會社ハ電力ヲ胡麻化シヤシナイカト云フ問題デアリマス、過燐酸ノ製造ヤツテ居リマス肥料會社ハ、殆ド全部燐酸ノ製造ヤツテ居ルノデアリマス、過燐酸ハ公定價格ヲ抑ヘラレテ居ル、硫酸ノ方ハ高イ、營利會社デアリマスカラ肥料ノ方ノ生産ダト云ツテ、電力ヲ「フル」ニ使ツテ、公定價格ヲ抑ヘラ

レテ居ル肥料ヲ造ラズニ、儲カル方ノ硫酸ヲ造ツテシマフト云フコトハ、一本ノ送電線ヲ以テヤルノデ、ドツチニ使ツタカ譯ガ分ラナイノデアリマスカラ、斯ウ云フコトハ相當ニアリ得ルト思フノデアリマシテ、サウ云フ點ニ付テノ用意ガアルカドウカ、選信大臣ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○勝國務大臣 只今ノ御話ノ點ハ、開閉器竝ニ計量器等ヲ付ケテ、相當ニ取締ツテアルサウデアリマスガ、詳細ノコトハ政府委員ヨリ御答ヘ致サセマス

○平井出政府委員 御答ヘ申上ゲマス、大キナ肥料工場等ニ於キマシテハ、色々他ニ同時ニ生産シテ居ル場所モアリマスガ、殆ド總テノ工場ハ一々開閉器若クハ計量器ガ付イテ居ルト云ツテ差支ヘナイト思ヒマス、但シ肥料ニ付テノ電力ヲ優先シテ、之ニ供給スルト云フ場合ニ於キマシテハ、或ハサウ云フ電氣ヲ、他ニ流用スルト云フ虞モアリマスカラ、今後ニ於テハ一層サウ云フコトノ取付ヲ勵行サセマス、殆ド現在付イテ居リマスガ、嚴重ニ取締ツテ行キタイト存ジテ居リマス

○三宅委員 私ハ肥料ノ生産ニ付テハ、補助金政策ナドト云フ胡麻化シノ政策ハオヤメニナツタラ宜イト思フノデアリマス、私共ハ先年寺內陸軍大臣ニ、「二六事件」ノアトデ、肥料ノ國營ヲオヤリナサイト云フコトヲ、重要肥料統制法ガ出來マシタ時ニ強ク要求シタノデアリマス、肥料ナドト云フモノハ、平素澤山ノ生産ヲシテ置カナケレバ、戰時ニ間ニ合ヒハシナイ、サウスレバ其ノ電力ト云フモノヲ他處ニ廻セルノデアリマスカラ、國家管理デヤツテ置カナケレバ駄目ナンデアリマシテ、私ハ長期戰ヲヤ

ラウト云フノダツタラ、米ノ一億万石位ハ貯藏ヲシテ置ク、是ハ内外地ヲ通ジテ一年ノ消費量デアリマス、肥料モ一年ノ總消費量ハチヤント用意シテアル、生産ガ二割減ツテモ五年位ハ續クト云フ位ノ計畫ヲ立テテ置カナケレバ、長期戰ノ態勢ハ執レナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於キマシテ今度ノ補助金政策ト云フモノハ第一ドウ云フコトヲシテ居ルカト云ヘバ、營利資本ノ手ニ依ル所ノ生産擴充ハ既ニ限界ガ來テ居ル、強テヤラセヨウトスレバ、低物價政策ニ破綻ヲ來ス、隨テ現在ノ補助金政策ノ持つ意味ハ——獎勵金ノ制度ハ此ノ營利資本ノ貪婪性ヘノ妥協デアツテ、政府ハ寧ロ之ヲ國營化スルトニ依ツテ解決スベキデアルト考ヘルノデアリマス、而モ補助金ノヤリ方ニ付テモ問題ガアルノデアリマシテ、現在ノ肥料價格ハ私ハ「カルテル」價格デアルト考ヘルノデアリマス、即チ硫酸ヲ作ル工場ガ澤山アル、其ノ中ニ於キマシテ一番生産費ノ餘計掛ル工場ガ損ヲシナイ程度ニ公定價格ガ決ツテ居ル、隨テ補助金ヲヤリマスレバ、設備ノ良イ會社ハウント儲ケルト云フコトニナルノデアリマス、ダカラシテ所謂物價委員會ニ於テ決メラレテル平準價格ト云フヤウナコトハ個々ノ營利會社ニ依ツテハ出來ナイノデアリマス、昭和電工ナドデハ非常ニ安イ硫安ガ出來ル、其或ル會社デハ非常ニ高イ硫安ガ出來ル、其ノ高イ所ノ標準デ、而モ高イモノガ電力ガ上ツタノニ引合フ程度ニ補助金ヲ出スト云フコトデアレバ、安イ方デ出來ルモノハウント儲カルト云フコトニナル、サウ云フ所ニ私ハ非常ニ不合理ガアルト思フノデアリマシテ、此ノ際米ガ國家管理ノ一歩手

前ニ來テ居ルノデアリマスカラ、肥料ニ付テモ國家管理ヲ斷行サレタラドウカ、本當ニオヤリニナルナラバ、其處マデ行カナケレバ駄目ダト思フノデアリマス、後カラ農村問題以外ノ石炭其ノ他ニ付テ國家管理ヲ主張シタイノデアリマスガ、ソレヲオヤリニナラスカドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○島田國務大臣 現在ノ肥料ノ状態等カラ考ヘマシテ、相當政府ノ統制力ヲ強度ニシナケレバナラス、斯ウ云フコトハ大體ニ於テ同感デアリマス、併シナガララ之ヲ更ニ一歩進メテ、全部ニ對シテ直ニ國家管理ヲ行フト云フ所マデ、マダ進ンデ考ヘテ居リマセヌガ、大體ノ考ノ方向ニ付テハ、左様ナ方針ニ向ツテ行カザルヲ得ナイヤウナ情勢ニアルト斯様ニ考ヘテ居リマス

○三宅委員 肥料ヲ配給スルニ付キマシテハ、私ハ本當ニ増産ヲヤラウト思ツタラ階級的ナ偏在ガアツテハナラヌト思フノデアリマス、今日マデノ肥料ノ状態ヲ見マスルト、富農ハ肥料ヲ入レ過ギテ居リマス、貧農ハ無施肥農耕ヲヤツテ居ルノデアリマス、耕地ガアレバ必ズ肥料ガ入ルヤウニシナケレバイケナイ、所ガ貧農ノ方ハ金融機關ヲ持タナイノデアリマスカラシテ、大體商人ト連繫ヲシテヤル、商人ト連繫ヲシテヤルト、全部トハ申シマセヌガ、多クハインテキナ物ヲ賣付ケルノデアリマス、單肥ヲ持ツテ來テ吳レト言ツテモ商人ハ持ツテ來ナイ、混ゼタ物ハ分ラナイカラ混ゼタ物ヲ持ツテ來ル、或ハ自分ノ取引スル會社ノ物ハ儲ケガ多イカラ、ソレヲ持ツテ來ル、隨テ商人ノ口車ニ日本ノ五百五十万戸ノ農民ガ乘リマシテ、インテキナ肥料ヲ入レタコトハ實ニ澤山アル、ソレカラ資金ノ融

通ト共ニ生活費ノ融通マデ商人トノ間ニ連繫ガ付イテ居ルノデアリマス、隨テ今日連モ悠長ナコトヲ言ツテ居レナイノデ、耕地ガアツタラ其ノ品種別ノ耕地ノ面積ニ應ジテ、本當ニ平等ニ肥料ガ入ル途ヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ素朴ナ御考ハ持ツテ居ラレルト思ヒマスガ、一ツ具體的ニサウ云フ點ニ付テドウ云フヤウニオヤリニナルカト云フコトヲ承リタイ、今日ノ産業組合ハ生活ニ付テノ無擔保融通ヲヤツテ居リマセヌカラ、高利ノ借金ト知りナガラ商人トノ特殊關係ハ貧農程多イ、貧農ハ産業組合ニ入ラズ商人ト組ンデ居ル、ソレデ非常ナ高率金融ニ廻ツテイカモノヲ食ハセラレル、産業組合ハ富農ノモノニナツテ居ル、斯ウ云フコトナノデ、肥料ノ階級的偏在ヲ如何ニシテ防止スル考ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ農林大臣カラ承リタイノデアリマス

○島田國務大臣 其ノ點ハ只今御指摘ニナレバ只今ノ問題ノヤウニ明ニマセケレドモ、是ハ中々深イ根ノアル問題デアリマシテ、一面カラ云ヘバ、只今御話ノヤウニ、貧農ハ不良ナル配給ノ肥料ヲ使ハサレ、又産業組合ノ手ニ依ツテアレバ適正ニ行クト、斯ウ云フ風ナ事實モ或ル部分ニ於テハ無論アリマス、アリマスケレドモ、ソレヲ以テ全體ヲ推シテ直チニ是ニ所謂理想的ナ一元化ノ處置ヲ執ルト云フコトニハ、尙ホ研究ヲシ、考慮ヲシナケレバナラス事情ノアルコトヲ、是ハ三宅君御自身モ能ク御承知ノコトト思ヒマスカラ、多年ノ懸案デゴザイマスカラ、是ハ能ク研究シテ善處スル方法ヲ考ヘタイト思ツテ居リマス

○三宅委員 是ハ厚生大臣ト農林大臣ト内務大臣ニモ關係スルコトト思フノデアリマスガ、此ノ頃肥料ガ足ラナイノデアリマスノデ、都市ノ人糞、屎尿ト云フモノニ對シテモウ少シ私ハ——ソレコソ、外貨ハ要ラナイノデアリマスカラ、何等カノ方法ヲ以テモウ少シ糞尿ヲ利用サセル方法ニ付テモ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、東京ナドノ實例ハ十分ニ御承知ノ通り、請負ハセマシテ海ヘ持ツテ行ツテ捨テル、所ガ請負ノ連中の方違クヘ持ツテ行クト金ガ掛ルカラ、割合ニ近海ニ捨テル、サウスルト鳥ガヒューツト降りテ參リマシテ直グ見付カル、魚ガ死ンデシマツタリ、何ソカスルカラ漁師ガ怒ル、斯ウ云フ状態デアツテ漁師ノ生活難、延イテ實ニ非衛生デアリマス、直グ側ヘ持ツテ行ツテ東京市ノ糞尿ヲ捨テテ居ルノガ澤山アルノデアリマス、新潟市ナドノ近郊ニ於キマシテハ、其ノ點ニ付キマシテハ私共ガ獎勵ヲ致シマシテ、農事實行組合ニ牛ヲ持ツテ來テヤラシテ居ルノデアリマス、新潟市外ノ上木戸ト云フ部落デ農事實行組合ニヤラシテ居ル、サウシテ昭和十四年度ニ付テ見レバ、農家二十七戸ノ農事實行組合ヲ作りマシテ牛車千九百十九臺ヲ出シマシテ糞尿ヲ持ツテ來テ居ル、一臺三石二斗持ツテ參リマスカラ、穢イ話デスガ三千五百十六石八斗持ツテ參リマス、此ノ見積價格ガ、肥料ノ成分トシテノ見積價格デ三千三百圓、之ニ要シマシタ經費ガ入札代金ガ四十五圓六十三錢デ雜費ガ十四圓二十三錢、合計五十五圓八十六錢デ肥料ヲ出シテ居ル、勞力ハ自分デ牛ヲ持ツテ居ルカラ勘定ニ入レテナイノデアリマシテ、現金支出トシテハ市價ノ六十分ノ一デヤツテ行ケルト云フノデアリマス、是

ハ私ハ此ノ頃肥料ガ色々足ラナイノデアリマスカラシテ、斯ウ云フ點ニ付テハ厚生省、農林省、内務省等モ十分ニ御考ヘ下サイマシテ、一ツ肥料對策ノ一ツトシテ御配慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シテ、若シ御意見ガアレバ承ツテ置キマス

○吉田(茂)國務大臣 只今ノ御質疑ハ、全國ノ各都市ノ現實ガドウナツテ居ルカト云フコトニ付テ私マダ十分ニ承知致マセヌガ、少クモ東京市ノ現狀ニ於キマシテハ、丁度仰シヤル通り洵ニ困ツタ状態ニナツテ居ルト存ジマス、近郊ノ農家ハ東京市ノ此方面ノ肥料ヲ非常ニ熱心ニ手ニ入レタガツテ居ルノデアリマスガ、運搬機材等ノ不自由ノ爲ニソレガ手ニ入り難イ、又市ノ方デハ隨テソレヲ海ニ捨テルト云フコトガ一番經濟的デアルガ爲ニ、海ニ捨テテ居ルヤウナ現狀デアリ、ソレモ船舶其ノ他ノ資材ノ不足ノ爲ニ遠方ニ捨テルト云フコトデナクシテ、割合近イ所ニ捨テテ居ルヤウナ現狀デアラウカト私大體承知致シテ居ルノデアリマス、是ハ今日ノ資材ノ現狀カラ申シマスルト、單ニ東京市デサウデアルベカリデナク、同ジ状態ハ全國ノ各都市ニアル、大都市ノ附近ハ大體サウ云フコトニ近イノデハアルマイカト思ヒマス、衛生上モ非常ニ憂慮スベキコトデアアルマイカト思ヒマスト同時ニ、肥料ノ缺乏時代ニ於キマシテ、斯様ナ有效ナ資源ヲ徒ニ海ニ投棄スルト云フヤウナコトハ、洵ニ勿體ナイコトデゴザイマスカラ、何トカ考ヘナケレバナルマイト思ヒマス、ヤハリソレニ付キマシテハ、具體的ナ方法ヲ考慮スコトガ非常ニ困難ナ現狀デアリマスガ、御説洵ニ御尤デアリマシテ、自分ノ所トシテモ考慮ヲシ、尙ホ

ハ私ハ此ノ頃肥料ガ色々足ラナイノデアリマスカラシテ、斯ウ云フ點ニ付テハ厚生省、農林省、内務省等モ十分ニ御考ヘ下サイマシテ、一ツ肥料對策ノ一ツトシテ御配慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シテ、若シ御意見ガアレバ承ツテ置キマス

ハ私ハ此ノ頃肥料ガ色々足ラナイノデアリマスカラシテ、斯ウ云フ點ニ付テハ厚生省、農林省、内務省等モ十分ニ御考ヘ下サイマシテ、一ツ肥料對策ノ一ツトシテ御配慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シテ、若シ御意見ガアレバ承ツテ置キマス

關係ノ各方面トモ協議ヲシ、出來得ル限リ其ノ問題ノ解決ヲ適正ニ導クヤウニ骨ヲ折ツテ見タイト思ヒマス

○三宅委員 次ハ飼料ノ問題ニ付テ承リタイノデゴザイマスガ、是ハ助川サンカラモ御質問ニナツテ居リマスノデ、私ハ極メテ簡單ニ觸レテ置キタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ農業ト云フモノハ食糧農業デアリマシテ、食糧ニ付キマシテモ、植物性ノ食料シカ内地ニ於テ出來ナイ、動物性ノ食料ト云フモノハ内地ニ於テハ殆ト出來ナイ、最近動物性ノ食料、豚トカ、鶏ナドガ段々殖エテ参リマシタガ、其ノ飼料ハ滿洲ニ依存スルノ外ハナイノデアリマス、此ノ飼料ニ付テノ對策ガナリ手遅レニナリマシタノデ、最近ニ於キマシテハ豚ナドト云フモノハドン／＼死ンデシマヒツツアル状態デアリマス、最モヒドイ實例ニ付テ申シマスレバ、近頃デハモウ豚ハ飼料ノ關係デ飼ヘマセヌノデ、昨秋二三箇月ノ間ニ、一頭ニ付テ仔豚ノ値段ガ十圓カラ三圓ニ下ツテシマツタ、生レタバカリノ仔豚ノ値段ガ十圓デアツタノガ三圓ニ暴落シタ、ソレカラ大キナ腹ヲシタ豚豚肉豚トシテ賣ツテ居ル者ガアル、豚ハ三十貫目位ニシテ賣ルノガ當然デアリマスガ、十二三貫目ノ豚ヲモウ飼ヒ切レズニ賣リニ出シテ居ルト云フ状態デアリマス、是ハ飼料ガ減茶苦茶ニ高クナリマシテ、米糠ガ上ツテ來タ、米糠ガ非常ニ高クナツテ來テ、米糠ノ一貫目ト米ノ一貫目ト大體地方ニ於テハ同ジ値段ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ重大ナコトナノデアアル、ダカラ糠ヲ買ツテ來テ食ハスヨリハ米ヲ食ハシタ方宜イト云フノデ、豚ニ米ヲ食ハシテ居ルト云フ事例ハ澤山アル

ノデアリマス、愛知縣ニ於テハ飼料ガ無いノデ、鶏ニ米ヲ食ハシテ居ル、私共ニ陳情ヲシテ懇ヘテ來テ居ル實例ガアリマスノデ申上ゲタイト思ヒマスガ、是ハ新潟縣ノ北蒲原郡鴻沼村カラ陳情書ニシテ私共ノ所ニ持ツテ來テ居ル、是ハ要スルニ米糠ノ値段ガ高イノデ、米ト糠ト同ジ値ニナルカラ、毎日米一升ヲ豚ニ食ハセテ餘命ヲ繋イデ居ル、米ハ手許ニアルシ、米ナラ少シノ分量デ豚ガ腹ヲ膨ラセルコトガ出來ルカラ米糠ヨリ宜シイト言ツテ居ル、手許ニアルカラサウ云フコトニナル、私ハ後カラ伺ヒタイノデアリマスガ、政府ノ需給推算ト云フモノハ斯ウ云フ所ニ大キナ穴ガ明イテ居ルト思フノデアリマス、豚ガ食ツタリ、雞ガ食ツタリシタラ、到底人間ガ食フ方ニ廻ラスコトハ當然ノ話デアリマシテ、此ノ點ニ付テ馬ヲ飼ツテ居ル者モ糠ガナイノデ困ツテ居ル、小糠ガナイノデ困ツテ居ル、是ハ段々日本ノ國カラ無クナツテシマフノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、今ハマダ都會ニ於テ豚ナドガ食ヘマスガ、モウ三箇月モ經ツタラ都會デハ恐ラク豚モ食ヘヌヤウニナリハシナイカ、勞働者ノ家庭ノ中カラ骨ノ無イ子供ガ生レハセヌカト私ハ心配スル、隨テ飼料對策ニ付キマシテ、馬モ飼ヘヌ、豚モ飼ヘヌト云フヤウナコトノナイヤウニ、相當眞剣ナル御考慮ヲナサラナケレバイカヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ農林大臣ダケガ御考ヘニナリマシテモ、他ノ大臣ガ下情ニ通ジテ居ラレヌト申ソレハ通ラナイ、ダカラ私ハ農林大臣ノ御奮起ヲ御願スルト同時ニ、各大臣ガ斯ウ云フヤウナ實情ニ付テ能ク御諒承ニナツテ對策ヲ立テテ戴キタイト思フノデアリマス、厚生大臣ニ

付テハ、勞働者ニ動物性ノ食物ヲ食ハサナケレバナラス、若イ勞働者ガ——最近ノ人口統計ニ依リマシテモ、二十歳カラ三十二歳マデノ者ガ結構デ登レル數ガ事變始マツテ以來非常ニ殖エテ居リマス、一番大切ナ勞働階級ノ人口ガ減少シツツアルノガ統計ノ上ニ現ハレテ居リマス、私ハ肉ガ到頭食ヘナクナルト云フコトニナルナラバ、今カラ臺所ノ殘物ニ付テノ處理方法ヲ一ツ御考ニナツタラ宜イト思フノデアリマス、各家庭ノ殘物ニ付テ、植物性ノ殘物ト、骨デモ何デモ宜イガ、動物性ノ殘物ト分ケテ之ヲ集メル、サウスルト是ハ何トカ云フモノニナルサウデアリマスガ、ソレヲ粉ニスルナリ、成分ニスルナリシテ勞働者等ニ食ハセル勸考ヲシナイト、實際肺病モ殖エルシ、ソレカラ骨ノナイ子供ガ出テ來ル危險性ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ何等カノ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ、若シ御考ヲ御持チニナツテ居ラヌトスレバ、是非共ヤツテ戴キタイ、是ハ獨逸ナドデハ此ノ前ノ戰爭ノ例カラ言ツテモ、モツト深刻ナコトヲヤツテ居ルノデアリマス、日本ナドハ今マデ寧ロソビリシテ居タコトガ惠マレタ事情ダト思ヒマスガ、モウ此處ニ來テハ加速度ニ進行スルノデアリマスカラ、ドウカ共ノ點ニ付テノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

(篠原委員長代理退席委員長著席)  
○島田國務大臣 飼料ノコトハ午前中助川君ノ御質問ニ對シマシテ私ノ考ヲ申上ゲタ通りデアリマス、只今三宅君ノ御意見ニ對シマシテモ、洵ニ御尤ナ點デアリマス、飼料、肥料、米穀、此ノ關係ヲ循環的ニ考ヘマスト、申々是ハ容易ナラヌ問題デアリマス、隨テ私ハ此ノ實情ニ付テ多少在野當時ニ於テモ知ラナイノデアアリマセヌケレドモ、偶此ノ任務ヲ帯ビマシタノデ、就任以來此ノ事ニ付キマシテハ晝夜苦心ヲ致シマシテ、又只今御話ニナリマシタヤウナ、内閣ノ他ノ同僚ノ人達、大體ニ於テ承知シテ居ラレル人ニ對シテモ其ノ事ヲ極力述ベマシテ、サウシテ其ノ協力ヲ求メ、同意ヲ得テ、此ノ問題ニ對スル最モ早キ解決ノ途ヲ付ケタイト考ヘテ苦心ヲシテ居ル次第デアリマス、飼料ノコトニ付キマシテハ、午前中ニ申シマシタヤウニ、差向キ年度内ニ於ケル第三國ヨリ輸入スル分量ニ付キマシテハ、相當ノ確信ヲ得テ居リマスガ、尙ホ國內及ビ「ブロック」關係ノ方面ニ關スル事柄ニ付キマシテモ、十分手配ハシテ違算ナキヤウニ致シタイト思フノデアリマスガ、併シ御話ノヤウニ、既ニ相當家畜ノ數ガ減少シテ居ルト云フ事實ハ洵ニ遺憾デアリマス、此ノ事實ヲ是以上ニ至ラシメナイヤウニ致シタイト云フコトヲ先ヅ以テ考ヘ、其ノ維持、尙ホ之ヲ増産ニ至ラシムルマデノ考ヲ持チ當面ノ急ニ應ジテ處置ヲ考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、其ノ點ヲ御諒承願ヒマス

○三宅委員 資材ニ付テ御致シタイト思フノデアリマスガ、資材ノ配給ガ非常ニ不圓滑デアリマシテ、是ガ米ノ出廻ナドヲ遅ラシテ居ル一番大キナ原因デアリマス、私共ガ東京ニ出テ参リマシタ時ニ如何ニモ不愉快ニ感ジマスノハ、歌舞伎座ノ前ナドニ自動車ガハネ時ニナルト列ヲ爲シテ竝ンデ居ル、彼處ニ行ク「ガソリン」ガアツタナラバナゼ米ノ脱穀製糶ヲヤリマスル石油ヲ配給シテヤラナイカ、アア云フ事實ヲ見テハ、戰時態勢ト云フモノハ崩レテシマヒマス、

待合ハ繁昌スルシ、劇場ハ一杯ダシ、其處  
ヘハブー、自動車乗付ケテ行クガ、百  
姓ノ米ヲ摺ル石油ガナイト云フコトデ  
ハ、是ハ私ハ問題ニナラヌト思フノデアリ  
マス、護謨靴ノ問題モアル、地下足袋ノ問  
題モアル、農具ノ問題モアル、作業用ノ木  
綿ノ問題モアル、石油ノ問題モアル、是  
等ノ資材ニ付テ、本當ニ生産ニ必要ナ資材  
ダケハ私ハタシト出シテヤラレタラ宜  
イト思フノデアリマス、日本ノ戦時體制カ  
ラ行キマシテモ、地下足袋位何故オ惜ミニ  
ナルカ、私ハ是非常ナ人心ニ對スル惡イ  
影響ダト思フ、モットヤツテ呉レタツテ餘分  
ニ使カヘルモノデハナイ地下足袋位澤山出シ  
タラ宜シイ、若シ其ノ護謨ガ足ラヌナラバ、  
自動車ヲ一ツブツ潰シタラ宜イ、要ラヌ自  
動車ヲ潰シテ、其ノ「タイヤ」ヲ以テ地下足袋ヲ  
造ツタラ宜シイ、シツカリヤツテ呉レ、斯ウ云  
フ氣合ヒガナカッタナラバ、農業生産ナント  
云フモノハ無理ヲシテ増産ナドハ出来ハシナイ  
ト思フノデアリマス、斯ウ云フ資材ノ點ニ付テ、  
今マデノ農林省トシテハ非常ニ御骨ヲ折ツ  
テ居ラレマスケレドモ、生産計畫十五品目ノ  
中ニ入ツテ居リマセシタノデ、差別的  
待遇ヲ受ケテ今日マデ非常ナ窮狀ニナツテ  
來テ居ル、唯私共ハ濫費ヲサセル必要ハア  
リマセヌカラ、此ノ前ノ議會デモ申上ゲタ  
リデアリマス、農具ノ「センサス」ヲオヤ  
リニナツタラドウガ、マダ富農ノ所ニハ農  
具ガ剩ツテ居ルモノモアリマスカラ、農具  
ノ「センサス」ヲオヤリニナツテ、農具ノ國  
勢調査ヲオヤリニナリマシテ、ソレデ以テ  
剩ツタ物ハ取上ゲテ共通ニ使ハセル、足ラ  
ヌモノニ付テハ適當ノ數ヲ直ダ配給サシテ  
ヤルト云フ風ニ一ツヤツテ戴カカレバ仕

様ガナイト思フノデアリマス、私ハ今日ハ  
勞力ノ問題ニ付テ聽キタイコトガアリマス  
ガ、時間ガアリマセヌカラ多クハ申シマセ  
ヌガ、マダ農村ニ於テハ勞力ハヤリ方ニ依  
ツテハ私ハ出セルト思フ、無茶ナヤリ方ヲ  
ヤツテハ困ルガ、ヤリ方ニ依ツテハ取レル、  
若シ勞力ヲ御取リニナラウト云フ方針デア  
ルナラバ、是ハ資材ヲヤラナケレバナラヌ、  
農業ヲ機械化シテ、今マデ五反歩シカ作ツ  
テ居ナカッタモノヲ三町歩作レルト云フ「ト  
ラクター」ガ入ツテ参リマスカラバ、ソレハ  
一軒ノ農家ヲ減ラシテモ宜シイ、其ノ方ヲ  
ヤラズニ置イテ、サウシテ農家ノ勞力ヲ減  
ラスト云フヤリ方ヲシテハ問題ニナラヌ、  
即チ資材ト「リンク」サセナケレバ勞力ノ關  
係モイカナイノデアリマシテ、資材ノ問題  
ニ付テ第一ハ一ツ農具ノ國勢調査——大キ  
ナコトヲオヤリニナル必要ハアリマスカイ  
ケレドモ、今マデモヤツテ居ラレマセウガ、  
ソレ等ニ依ツテ實際ノ計畫ヲ立テテ廻シテ  
戴キタイ、特ニ今日「ストック」ガ無クナツ  
テシマツテ、本綿ヤ地下足袋ニ致シマシテ  
モ今マデ持合セノモノデヤツテ居ツタノデ  
アリマスカ、段々使用致シテ全ク「ストッ  
ク」ガ無クナツテシマツタ、赤ン坊ガ生レ  
テモ本綿ノオ糧無クモ無ク「ス・フ」デハ一  
日デ破レテシマフト云フ状態デアリマス、田  
圃ヘ「ス・フ」ノ股引ヲ穿イテ入りマスカ、船  
ンデ膠カラ下ハ出デシマフ、「二三遍デ破レ  
テシマフ、到底ソレデハ「ス・フ」デ以テヤレ  
ルモノデハアリマセヌ、私ハ農家ガ使ヒマ  
スル——或ハ農家ダケデハアリマセヌ、炭  
坑ナドノ勞働者モ其ノ通りデシガ、是ハ外  
ノ人ガ言ハレテ居リマスカ、ソレ位ノモノ  
ニ付テハ一ツタンマリ出シテ戴キタイ、サ

ウヤラナケレバ人心ハ收マラナイ、本當ニ  
無ケレバ既足デモ入ルデアリマセウケレド  
モ、自動車デ以テブー、歌舞伎座ノ前ハ  
一杯デハナイカ、其ノ「ガソリン」ヲ浪費シテ  
置イテ、ソレデ百姓ノ糧摺ノ資材モ出サナ  
イト云フ行キ方デ以テ、此處デ生温イ氣ノ  
抜ケタ「ビール」ノヤウナ議論バカリヲオ互  
ニ交シテ居ツテモ、其ノ間ニ私ハ事態ハ益々  
惡イ事態ニ入ツテ行クト思フ、事態ハ非常  
ニ深刻ダト云フ點ニ付テオ互ガ再認識ヲシ、  
國民モ亦今日ノ日本ノ状態ハ東亞新秩序ヲ  
作ル上ニ於テ生柔シイコトデハナイト云フ  
コトガ分レバ、私ハ茲ニ新シイ元氣ガ出テ  
來ルト思フ、徒ニ革新ト言ツテモ、何ノ事カ  
分ラナイ、流言蜚語ガ飛ブト云フ點ニ私ハ  
非常ニ憐ミガアルト思フノデアリマシテ、  
増産ノ根本對策トシテ肥料ト共ニ資材ノ點  
ニ付テモ一ツ御意見ヲ承ツテ置キタイト思  
フノデアリマス

○島田國務大臣 農業用ノ資材ノ配給ニ付  
キマシテハ御話ノ通りニ甚ダ遺憾ナル點ガ  
アリマス、是ハ物動計畫ニ關係致シマスル  
ノデ、ソレ等ノ計畫ノ中ニ於テ認メラレテ  
居リマスル部分ニ付キマシテハ、之ヲ確實  
ニ確保シテ、サウシテ多少不足ナガラモ圓  
滿ナ、公平ナル供給ヲスルヤウニ致シタイ  
ト云フコトデ努力ヲ致シテ居ルノデアリマ  
ス、中々是ハ實現シ難キ情ニアルト云  
フコトハ非常ニ困ツタコトデアリマシテ、  
私ハ其ノ點ニ付キマシテ尙ホ大イニ努力ヲ  
シナケレバナラヌト思フノデアリマス、而  
シテ只今御質問中ニ御述ニナリマシタ農具  
ノ現在ノ状態ヲ調ベル所謂「センサス」ト云  
フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進ムベキデアルト云  
フ御意見ニ對シマシテハ洵ニ御尤デアリマ  
シテ、是ハ大イニ參考ト致シマシテ、實施  
上善處致シタイト思ツテ居リマス

○三宅委員 私ハ資材ノ一分野ト致シマシ  
テ、マダ餘リ多クノ人ガ指摘シテ居リマセ  
ヌケレドモ、實際問題トシテハ非常ニ大キ  
ナ問題ニ付テ、農林省ノ御手配ガ出来テ居  
ルカドウカヲ承リタイト思フノデアリマス、  
ソレハ農藥ニ關スル問題デアリマス、御承  
知ノ通り稻熱病ト云フ病氣ガアリマシテ、  
稻ガ稻熱病デ以テ熱ガ付イテ倒レマスカイ  
ガ非常ニ多イ、其ノ損害ハ非常ニ多イノデ  
アリマス、ソレカラ麥ニ於キマシテハ莖ガ  
折レテシマツテ倒レル病氣ガ非常ニ多イ、  
私共ハ斯ウ云フ稻熱病ノ原因ニ付テ全クノ  
素人デアリマスカ、専門家ニ聽キマスルト、  
窒素ガ多過ギル場合ニモ稻熱病ガ起キル、  
磷酸ガ過多ノ場合、或ハ不足ノ場合ニモ起  
キル、加里ガ不足ノ場合ニモ起キル、日常  
キルノ惡イ時、日照日數ノ不足ノ時ニモ起キ  
ル、冷温ノ時ニモ起キル、土壤ガ乾燥シ過  
ギテ居ル時ニモ起キル、雪ナド播種ガ非  
常ニ遅レタト云フ時ニモ起キル、斯ウ云フ  
ノデ、之ニ對スル藥劑ノ散布ニ依リマシテ  
稻熱病ヲ防ガウト云フコトハ相當ニ近頃行  
ハレテ來テ居ルノデアリマスカ、此ノ稻熱  
病デ倒レルモノガ非常ニ多イト思フ、私ハ  
本年ハ如何ニ政府ガ努力セラレマシテモ、  
肥料ノ偏在ガアリマシテ——過磷酸ハ餘計  
ヤツタケレドモ、窒素ガ足ラナカッタトカ、  
何ガ足ラヌト云フヤウナコトデ、稻熱病  
ニナル危險性ハ非常ニ多イト思フノデアリ  
マス、隨テ例ヘバ誘因ヲ除去致シマスカイ  
モ必要ダシ、藥劑ヲ撒布スルコトモ必要ダ  
シ、糧種ノ消毒ヲ初メカラヤルコトモ必要

午後七時八分開議

○三土委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——三宅正一君

○三宅委員 我先程農村ノ問題ニ付キマシテ、肥料ト資材ト飼料ノ關係ニ付テ質問ヲシテ、是カラ米ノ問題ニ付テ質問ヲシタリト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、所管ノ大臣方居ラレマセヌノデ、順序ヲ變更致シマシテ、其ノ他ノ問題ヲ進メタイト思ヒマス

第一ハ總理大臣ニ御伺ヲシタイノデゴザイマス、私ハ支那事變ノ處理ニ關シマシテ、近衛聲明ノ再確認ヲヤラナケレバイカスト考ヘルノデアリマス、私共ガ支那事變勃發以來ノ經過ヲ考ヘマス、最初ニ於テハ現地解決、不擴大方針ヲ堅持シ、暫ク致シマシテ獨逸大使ノ轉旋ヲ以テ、賠償金其ノ他ノ四條目ニ依ツテ片付ケヨト云フコトヲ考ヘ、色々ノ苦心ヲ致シマシタ最後ノ結論トシテ、東亞新秩序建設ト云フ大キナ目標ノ下ニ、所謂近衛聲明トナツテ現ハレタノデアリマス、此ノ近衛聲明ト云フモノハ、日本民族ヲ持ツテ居リマス一ツノ雄大ナ大精神デアリ、此ノ大精神ト云フモノハ獨リ日本民族ヲ鼓舞シタダケデナシニ、支那ノ知識階級ニ大衝動ヲ與ヘ、汪兆銘騰起ノ契機ヲナシ、更ニ是ハ重慶政府ニ對シマシテモ精神的ニ非常ナ大動搖ヲ與ヘタモノダト考ヘルノデアリマス、ソレデハナゼ重慶政府ガ全面的ナ崩壞ヲ來サナイカト云フト、外力ノ援助トカ色々ノ點ガアリマスケレドモ、根本ハ近衛聲明ノ表裏ニ對スル疑ダト思フ、表裏ナシニ、額面金額ノ近衛聲明ヲ日本ハ本氣ニ遂行スルカト云フ點ニ對スル疑ガ、ヤハリ重慶政府ノ崩壞ヲ妨ゲテ居ル一ツノ原因デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、陸軍大臣ガ議場ニ於テ齋藤君ノ演說ニ對シテ言ハレマシタ通り、善隣友好、經濟提携、共同防共、共同外交、共同國防ノ大業ガ成リマシテ、千年萬年ニ互ツテ一ツノ兩民族ノ提携ガ出來ルコトニナリマシタナラバ、是レ程大キナ戰果ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ付テ私ハ平沼内閣、阿部内閣及ビ米内閣ガ、折角近衛聲明ニ依ツテ表ハサレマシタアノ非常ニ世界的ニ大キナ影響ヲ及ボシマス雄大ナル一ツノ指導原理ヲ發展サセラレマシテ、國民ニ之ヲ徹底セラレルコトガ、内ニ對シテモ必要デアツタト考ヘルノデアリマス、唯近衛聲明ヲ根本原則トシテ支持スルト云ツテ居ラレマスケレドモ、之ヲ發展サセ、之ヲ深メル所ノ大キナル「イデオロギー」的ノ努力ガ三内閣ニ依ツテ爲サレナイト云フコトガ、事實目的ニ對シマシテ國民ヲシテ嚆矢ニ陷ラシメル大キナ原因デアルト思フノデアリマス、私ハ單ニ總理大臣ノ言ハレルヤウナ、確定セル根本方針ニ依リ斷乎云々ト云フヤウナ表現デナシニ、其ノ持ツテ居リマス雄大ナ精神ヲ具體化サレテ、國民ニ對シテモ之ヲ徹底サセル途ヲ講ゼラレタイト思フノデアリマス、隨テ汪政權ガ本當ニ強イ政權ニナリ、蔣介石政權ヲシテ崩レシメル根本ハ、汪政權ヲ漢奸政府タラシメナイコトデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、汪政權ガ愛國者政府トナリマシタナラバ、重慶政府ニ對スル威力ト云フモノハ非常ニ大キイト思フノデアリマス、此ノ際其ノ具體化ニ對シマス方針ガ進ンデ居リマスガ、其ノ根本精神ガ表裏ナシニ近衛聲明ヲ全幅的ニ守ルノダト云フ考ノ下ニ、汪政權ヲシテ愛國者

ノ政府タラシメ、サウシテ其ノ表裏ノナイ雄大ナル精神ガ重慶政府ヲ切崩スヤウニナルコトヲ希望スルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ總理大臣ノ御所見ヲ私ハ承リタイト思フノデアリマス

同時ニ時間ガアリマセヌノデ、序ニ興亞院長官ニ承リタイト思フノデアリマスガ、此ノ雄大ナル近衛聲明ノ實踐ノ上ニ於テ、支那ニ於ケル日本人ノ一部及ビ日本資本ノ一部ノ動キニシテ眼ニ餘ルモノガ相當アルト私ハ思フノデアリマス、百年千年ニ互ツテ支那民族ト互助連環ノ關係ヲ樹立致シマス上ニ於テ、目前ノ利益ノ爲ニ、如何ニモ日本人ノ精神ヲ阻礙スルガ如キ眼ニ餘ル色ノ資本ノ蠢動、或ハ日本人ノ不心得ナ者ノ蠢動ニ對シマシテ、興亞院ハ此ノ近衛聲明遂行ノ見地ニ立ツテ、相當善處サレル必要ガアルト私ハ考ヘマス、以上ノ點ニ付テ總理大臣並ニ興亞院長官カラ御意見ヲ承リタイト考ヘマス

○島田國務大臣 農藥ノコトニ付キマシテハ、大體物動計畫ニ於テ認メテ居ル程度ニ於キマシテハ、手配ガ出來ル積リデアリマス

○米内國務大臣 御答致シマス、東亞新秩序建設ノ大精神ヲ國民ノ間ニ徹底セシメマスコトノ最モ必要デアルコトハ、全ク御説ノ通りデアリマス、政府ト致シマシテハ、政府ノ諸機關ヲシテ之ニ當ラシメルト同時ニ、國民精神總動員聯盟等ヲ通ジマシテ、極力之ニ努メテ居ルノデアリマスガ、今後ハ一層是ガ徹底ヲ期シタイト思フテ居リマス申スマデモナク汪精衛氏ハ和平救國ヲ念トシテ起ツタノデアリマスカラ、支那自身ノ爲ニモ大イニ歡迎サルベキモノト信ズルノデアリマシテ、東亞新秩序建設ヲ意圖スル點ニ於キマシテ、帝國ト全ク志ヲ同ジクスルモノデアリマスカラ、帝國ト致シマシテハ之ニ全幅ノ支持ト協力トヲ與ヘマシテ、

○三土委員長 三宅君、本議場ノ方ガ丁度質問ノ片ガ付イタノデ、此ノ際秘密會ヲ開クト云フ通知ガアリマシタカラ、茲デ一旦休憩ヲシテ、本議場ノ秘密會ガ終ツタラ、此處ヘ歸ツテ來テ、アナタノ質問ヲ繼續スルコトニシタイト思ヒマス

○三土委員長 ソレデハ午後七時マデ休憩致シマス 午後五時十分休憩

速カナル其ノ成立ト、順調ナル發展トヲ期待シテ居ル次第アリマス、要スルニ支那ニ於テハ、或ハ汪精衛氏ヲ漢奸ト稱スル者ガアルカモ知レマセスガ、日本ト共鳴シテ、而モ日本ノ肇國ノ大理想ニ合致シタル運動アルコトガ分リマスレバ、汪精衛氏ニ對スル漢奸ト云フ評ハ自然ニ消滅スルモノデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○柳川政府委員 支那ニ於ケル事業ヲ、資本的ニ或ハ其ノ他ノ點ニ於テ我ガ國民ガ横暴ナ事ノナイヤウニシナケレバナラス、眼ニ餘ル事ガアルト云フ御話デアリマシタガ前段ノ橫暴デアツテハナラスト云フ御意見ハ全ク御同感デアリマス、其ノ積リデ萬事指導シテ居リマス、後段ノ眼ニ餘ルモノガアルト云ハレマシタ事柄ハ、絶無トハ言ヘマセスガ、漸次各方面デモ氣付イテ居リマスシ、私共モ氣付イテ居ツテ、指導ヲ致シテ居ル所デアリマス、御存ジノ通り作戦ノ進行中デ、局部的ニ取急シ事業トシテ急イデヤツタ事柄モアリマスガ、大體ハ先方ニ能ク納得サセテ、合作ノ積リデヤツテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 外務大臣ニ御同致シマスガ、東亞新秩序ノ意義ニ付キマシテハ、外交方針ノ御演説ノ中ニモ言ツテ居ラレマスシ、色々ノ意義ガ私ハアルト思フノデアリマス、其ノコトニ於テ、私ハ少クモ東亞新秩序ノ中ニハ、二ツノ重要ナル意義ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、一ツハ政治的ナ關係デアリマシテ、東亞新秩序トハ、東亞ニ於ケル善隣相率ヒマシテ、西歐ノ帝國主義若シクハ亞米利加等ノ帝國主義的支配ヨリ獨立シテ、自主獨立ノ國家トシテ、相提携シテ世界ノ進歩及ビ平和ニ貢獻スル、斯ウ

云フ所謂西歐ノ植民地的立場ヨリ、自主獨立ノ解放ヲ爲ス、東洋民族ノ開放ト云フコトガ、一ツノ意義ダト私ハ考ヘルノデアリマス、第二ニハ、經濟的ニハ東亞善隣諸國ガ協同體ヲ結成致シマシテ、經濟的ニモ歐洲ニモ依存シナクテモ宜イ、亞米利加ニモ依存シナクテモ十分經濟的ニモ亦國防的ニモ、自立シ得ル所ノ經濟的基礎、物質的基礎ヲ東亞ノ協同體トシテ持ツコトガ、東亞新秩序ノ意義ダト私ハ思フノデアリマス、此ノ自立セル立場ニ立チマシテ、其ノ上デ——併シナガラ世界ノ通商ニ對シテ門戸ヲ鎖スノデナク、世界各國ト平等ノ關係ニ立ツテ貿易、交通等ノ關係ヲ樹立スル、此ノ二ツノ意義ガ、私ハ東亞新秩序ノ中ノ大キナ意義トシテ存在スルモノト考ヘルノデアリマスガ、御同感デアアルカドウカ、同感ナラ同感、反對ナラ反對ト、ソレダケデ宜シイカラ御答願ヒタイト思ヒマス、外務大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、總理大臣カラモ御答辯戴ケレバ結構デアリマス

○有田國務大臣 東亞ノ新秩序ノ點ニ付キマシテハ、昨年ノ議會ニ於キマシテハ、主トシテ私カラ御説明申上ゲタノデアリマスガ、元來外務大臣トシテハ、外ニ向ツテ説明スルノガ主デアリマシテ、内部的ノ關係ニ於キマシテハ、必ズシモ私デナイトモ考ヘルノデアリマス、併シ外務大臣ト云フ御指名モアリマスカラ、私カラ御答スルコトニ致シマス、昨年モ申上ゲタト思ヒマスガ、東亞ノ新秩序ハ、主トシテ日滿支ノ三國ガ各、其ノ獨立ヲ維持シテ、其ノ個性ヲ保持シツツ、密接ニ連絡ヲシテ行ク、政治的ニモ、經濟的ニモ、亦文化的ニモ、互助連環ノ關係ヲ作ツテ行ク、斯ウ云フコトニアルト思フノデアリ

マス、隨ヒマシテ日滿支ノ三國中、殊ニ支那ニ於キマシテ、行政ノ範圍等ニ於キマシテ、制限ヲ受ケルト云フガ如キコトガアリマスレバ、ソレ等ノ點ニ於テ、完全ナ行政的獨立ヲ保持シテ行クコトガ、必要ニナツテ來ルト思フノデアリマス、又經濟的ノ意味カラ言ヒマスレバ、此ノ三國ハ最モ密接ナル連絡ヲ取ツテ、サウシテ世界ノ經濟組織ニ於ケル一ツノ單位トシテ、他ノ大キナ單位ト競争モシ、又協力モシテ行ケルヤウニシテ行クコトガ、其ノ目的デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論經濟的ノ關係ニ於テ、日滿支ノ三國ガ、密接ナル連絡ヲ取ツテ行クコトニ付テ、十分ニ指摘致シテ置カケレバナラスト考ヘマスルコトハ、一方ニ於テハ此ノ日滿支ノ經濟的ノ關係ト云フモノガ出來マスレバ、モウ全然外ノ國トハ、例ヘバ經濟的ニ關係ガナクナツテ來ルノダト云フヤウナ考ヲ、一方ニ於テ持ツ者モアリ得ルト思フノデアリマス、又此ノ經濟的ノ關係ガ出來レバ、隨テ外國ノ經濟活動ト云フヤウナモノハ、此ノ東亞ニ於テハ全ク排斥スルノダト云フヤウナ考ガアルト思フノデアリマス、是ハ全然私ハ間違ッテ考デ、誤解デアルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ日滿支ガ經濟的ニ連絡ヲシタカラト云ツテ、他ノ經濟世界カラ、全然孤立シテ行ケル譯ノモノデモナイノデアリマス、唯主ナル點ニ於テハ、勿論自足ガ出來ルト云フコトヲ、目標トシテ進ム譯デアリマスガ、併シ其ノ他ノ點ニ付テ有無相通ジテ、相互ノ間ニ經濟的ノ關係ガ出來——相互ト申シマスルノハ日滿支ノ一ツノ單位ト、他ノ單位トノ間ニ經濟上ノ連絡ガ出來、交通ガ生ジテ益、高

イ經濟上ノ發展ト云フ所ニ邁進シテ行ケル、斯ウ云フモノダト考ヘテ居ルノデアリマス

○三宅委員 大分御丁寧ナ御答辯ヲ願ツタノデアリマスガ、私ノ聽キマシタ點ハ近衛聲明ニモゴザイマスガ、必ズシモ東亞新秩序ト云フ意味ハ、私ハ日滿支三國ダケノ意味デハナイト考ヘルノデアリマス、東亞ニ國ヲ爲シ、東亞ニ居住ヲ致シマスル東亞善隣ノ諸民族ガ、政治的ニ自主獨立ノ立場ヲ共同シテ持チ、經濟的ニモ、國防的ニモ自立シ得ル物質的基礎ヲ獲得シテ、其ノ上ニ立ツテ平等ノ關係ニ於テ、亞米利加ノ「ブロッケ」トモ交渉シ、歐羅巴ノ「ブロッケ」トモ交通シテ、世界ノ平和ト貿易ニ貢獻シロ、斯ウ云フ意味ダト私ハ考ヘルノデアリマシテ、其ノ點ハ其ノ儘デ宜シイナラ宜シイト云フ御答辯ヲ願ヘバ宜イノデアリマスガ、如何デスカ

○有田國務大臣 簡單ニ御同意デアルトカ御同意デアリト云フコトヲ申上ゲマスコトハ、誤解ヲ生ズル處ガアルト思ヒマスノデ、私ノ考ヲ申上ゲテ置カウト思ヒマス、此ノ東亞ニ於ケル新秩序ト云フコトハ、先ヅ日滿支ノ關係カラト云フコトニ、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○三宅委員 私ハ其ノ點ハ、アナタハ近衛聲明ヲ歪曲シテ居ラレルト思フノデアリマス、今此處ニ材料ヲ持ツテ居リマセスケレドモ、私ハ近衛聲明及ビ日本ノ東亞新秩序ニ對スル觀念ト云フモノハ、單ニ日滿支ガ互助連環ノ關係ニ立ツダケデハナイ、東亞ニ國ヲ致シマスル國々ガ、善隣友好ノ關係ニ立チマシテ、經濟的ニモ、政治的ニモ連繫ノ關係ニ立ツト云フ意味ダト、近衛聲明

ニ於テモ言ウテ居ルト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○有田國務大臣 私ハ前議會以來、東亞新秩序ト云フコトハ、日滿支ノ關係ヨリト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、昨年モ其ノ趣旨ヲ御説明ヲ申上ゲタト思ツテ居ルノデアリマス

○三宅委員 先ヅ日滿支ノ關係ヨリト云フヤウナ御説明デアリマスガ、ソレハ其ノ通りニ違ヒアリマセヌ、違ヒアリマセヌガ、東亞新秩序ノ理想ト云フモノハ、近衛聲明ニモサウ書イテ居ルト思フノデアリマス、私ノ言ツクヤウニ書イテ居ルト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○有田國務大臣 私ハヤハリ日滿支ノ關係ヨリト云フヤウニ解シテ居リマス

○三宅委員 ソレデハ總理大臣ニ其ノ點ニ付テノ御見解ヲ質シマス、私ハ近衛聲明ニ書イテアルト記憶シマスガ、如何デスカ

○米內國務大臣 ソレデハ私カラ申上ゲマス、日本、滿洲、支那ガ各、其ノ本然ノ特質ヲ發揮シツツ有無相通ジマシテ、サウシテ相互ノ固キ結合ヲ圖リマシテ、其ノ發展ヲ遂ゲテ、而シテオ互ニ善隣友好、共同防共、經濟提携ノ實ヲ擧グルト云フコトハ、我國ノ國防上ノ見地カラ考ヘマシテモ缺クベカラザルコトデアリマス、又經濟上カラ考ヘテモヤハリ同ジコトダト思ツテ居リマス

○三宅委員 時間モ取急ギマスシ、「先ヅ」ト云フ枕詞ガアリマスカラ、段々東亞ノ全局ニ及ブト云フ意味ニ於キマシテ意見一致ト云フ前提ノ下ニ更ニ質問ヲ進メマス、私ハ東亞新秩序ノ本當ノ確立ノ見地ニ立チマスレバ、日滿支ノ經濟提携ノミヲ以テシテハ物質的基礎ガ不足デアルト考ヘル者デアリマス、即チ日滿支ノ「ブロック」ノミヲ以テ致シ

マシテハ護謨デアルトカ、錫デアルトカ、其ノ他南洋地帯ニ澤山アリマスル錫トカ石油等ノ點ニ付テ——鐵々其ノ他ニ付キマシテハ別問題デアリマスガ、護謨、錫、石油等ニ付キマシテ、自立致シマス上ニ於テ一ツ不足ガアルト考ヘルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ意味ニ於テ開發ヲ待ツテ居リマス

ル南洋方面ニ對シマシテ、其ノ開發及ビ移住並ニ自由ナル貿易關係ノ樹立ヲ東亞新秩序建設ノ上ニ於テ必要ナリト考ヘルノデアリマス、特ニ支那問題ハ御承知ノ通り一面カラ見レバ人口問題デアアル、滿洲ハ三千万ノ漢民族ガ入り、蒙古ノ五百五十万ノ人口ノ中五百萬漢民族ガ入り、南洋ヘ七八百萬ノ漢民族ガ出テ居リマシテ、一面カラ見マスルナラバ、土地ハ廣大デアルケレドモ、此ノ支那ニ於ケル人口稠密ハ日本以上デアアル、支那問題ハ其ノ意味ニ於テ人口問題デアリマシテ、私ハ南洋地方ノ殆ド開發サレズニ居ル土地ニ對シマシテ、特ニ支那人ガ移住致シマスルコトニ對シマシテ門戸ヲ開カセ

ルコトハ當然ダト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ資源ノ開發、移住ノ自由、自由ナル貿易關係ノ設定ト云フヤウナコトニ付テ、印度、蘭領ノ南洋、此ノ方面ニ對シマシテ私共ハ其ノ關係ヲ連結スルコトガ必要ダト思フノデアリマス、特ニ比律賓及ビ蘭領印度等ニ付キマシテハ無用ニ誤解ヲサレテ居ルノデアアツテ、此ノ際日本ト致シマシテハ不可條約ヲ締結致シマスルト共ニ、領土の野心ト云フヤウナモノハ持ツテ居ルナイノダ、併シナガラ隣リ合デテ資源ガ利用出來ナイ、移住ガ出來ナイ、貿易關係ニ於テ非常ナ差別待遇ヲ蒙ルト云フヤウナコトノナイヤウニシテ貴ハナケレバ困

ルト云フヤウナ點ニ付キマシテ、蘭領印度支那及ビ比律賓ト不可條約ヲ締結シテ、和蘭等ニ安心ヲサセルト共ニ、支那人、東洋民族ノ移住、開發及ビ自由ナル貿易關係等ニ付テ關係ヲ設定サレル意思ガアルカナイカト云フコトヲ承リタイト思フノデアリマス

○有田國務大臣 南方諸地方トノ間ニ經濟關係ヲ密接ニシテ行クコトガ必要デアリ、又サウ云フコトハ日本トシテ希望スル所デアルト云フ趣旨ノコトハ、一日ノ外交演説ノ中ニモ特ニ述ベテ置イタヤウナ次第デアリマス、只今御述ベニナリマシタヤウニ日本トシテハ其ノ方面ニ發展シ、其ノ方面ノ資源ヲ利用シテ行クコトハドウシテモ是カラ爲サナケレバナラヌ所デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ方面ニ對シテ——其ノ方面バカリデハナイノデスカ、此ノ南方諸地方ニ對シテ日本ガ領土の野心ヲ持ツテ居ルカノ如ク宣傳ヲシタリ、或ハサウ云フ風ナ誤解ヲシタリシテ居ル向キガ從來少クナイノデアリマス、隨テ過去ニ於テ、又現在ニ於テモサウ云フ風ナ誤解ヲ解クコトニハ十分努メテ居ルノデアリマスガ、色ナ關係カラマダソレ等ノ疑惑ガ全然去ツタトモ言ヘナイヤウデアリマスルシ、又色ナ事件ガ出來マスレバ、ソレニ判裁サレテ少シ薄ライダ疑惑ガ更ニ濃クナルト云フヤウナコトモアリ得ルノデアリマス、隨テ何等カ日本ハアノ方面ニ對スル領土の野心ガナイト云フ風ナコトヲ明カニシ、サウシテサウ云フコトヲ信ゼシメ得ルヤウナ方法ガアルナラバ、是ハ勿論シテ行クベキコトダト思フノデアリマス、只今御話ノ不可條約デモ提議シタラト云フ御説ハ洵

ニ御尤モデアリマスガ、歐羅巴ノ諸國ノ中ニ於キマシテハ、其ノ傳統的ノ中立政策カラシテ、他國トノ間ニ不可條約ヲ結ブコトヲ好マナイ國ガ尠カラズアルノデアリマシテ、日本トシテ勿論向フガサウ云フ風ナコトニ應ズル氣持サヘアレバ締結ニ付テ考ヘテ毫モ差支ヘナイノデアリマス、サウ云フ風ナ國ガアルト云フコトダケヲ一ツ御考ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ南方諸地方ニ對シテ日本ガ領土の野心ヲ持ツテ居ナイノダ、併シナガラ日本トシテハ經濟的ニハ發展ヲシテ行カケレバナラヌノダト云フコトヲ能ク理解セシメルヤウニ政府トシテハ努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○三宅委員 私ハ今日日本ガ東亞新秩序ヲ建設致シマス立場ニ於テ、亞米利加ニ對スル依存度ハ現状ニ於テ非常ニ多イト云フ點ガ日本ノ立場ヲ非常ニ卑屈ニシテ居ル、隨テ出來マスナラバ日本ダケニ於テ或ハ又日滿支三國ニ於テ依存度ノナイヤウナ程度ニマデ産業ヲ發達サセル必要ガアリマスガ、ソレニ致シマシテモ海ノ向フノ隣リノ所ニ殆ド人ガ居ラズ、而モ其處ニハ石油モアリ、護謨モアリ、錫モアルモノニ對シテ、吾々ガソレヲ橫領スルナラバ問題デアルガ、行ツテ開發スルト云フコトニ對シテ何時マデモ此ノ門戸ヲ閉シテ居ルト云フコトハ、外務大臣ノ御演説ニアルヤウニ是ガ不合理ナノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ一方ニ於テ不可條約モヤリ、或ハ領土ノ安全保障モスル、併シナガラ人ノ入ルコトニ付テ、資源ヲ開發スルコトニ付テ、ソレヲ阻止スルガ如キコトノナイヤウニシテ行カナケレバナラヌ、然ラザレバアノ一角ダケハ

ニ御尤モデアリマスガ、歐羅巴ノ諸國ノ中ニ於キマシテハ、其ノ傳統的ノ中立政策カラシテ、他國トノ間ニ不可條約ヲ結ブコトヲ好マナイ國ガ尠カラズアルノデアリマシテ、日本トシテ勿論向フガサウ云フ風ナコトニ應ズル氣持サヘアレバ締結ニ付テ考ヘテ毫モ差支ヘナイノデアリマス、サウ云フ風ナ國ガアルト云フコトダケヲ一ツ御考ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ南方諸地方ニ對シテ日本ガ領土の野心ヲ持ツテ居ナイノダ、併シナガラ日本トシテハ經濟的ニハ發展ヲシテ行カケレバナラヌノダト云フコトヲ能ク理解セシメルヤウニ政府トシテハ努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス



新秩序が舊秩序ノ儘デ居ツテコソチノ方ダ  
ケ新秩序ガ出来タト云フノデハ、ソレコソ  
ビツコノ秩序ニナツテシマフノデアリマシ  
テ、私ハサウ云フ點ニ付テハ相當御考ニナツ  
テ居ルトハ思フノデアリマスガ、一ツ御努力  
ナサツテ戴キタイ、誤解ヲ致シマス點ハ、  
要スルニ公然言ハナイカラデアル、公然日  
本ノ立場ヲ主張致シマシテ、正シイコトハ  
正シイト主張シナケレバ、コソノ  
シテ居ルカラ却ツテ誤解ヲサレルノデアリ  
マシテ、其ノ點ニ付テハ、日本ガ是ダケノ大  
キナ仕事ヲ始メマシタ限リニ於テハ、一ツサ  
ウ云フ點ニ付テノ自主的ノ外交ヲ展開サレ  
ンコトヲ希望致スノデアリマス

私ハ更ニ自主外交ノ意味ニ付テ御伺シタ  
イノデアリマスガ、自主外交ト云フ意味  
ニ付テハ、昨日モ外務大臣ハ外務大臣ノ考  
ヘテ居ラレル自主外交ノ意味ヲ言ツテ居ラ  
レタノデアリマスガ、私ハ自主外交ニ付テ  
ハ色々ニ解釋出来ルケレドモ、是ハ孤立外  
交デモナク、追隨外交デモナイト考ヘルノ  
デアリマス、自主外交ト云フノハ東亞新秩  
序ノ建設ニ共鳴スルモノヲ誘導シ、是ト提  
携致シマシテ、之ニ反對スル者ヲ追隨サセ、  
諦メサセマシテ、サウシテ一ツ外交關係ヲ  
展開スルト云フコトガ私ハ自主外交ダト思  
フノデアリマス、外務大臣ハ東亞新秩序ノ  
建設ガ進ンデ居ルト同時ニ、歐洲新秩序ノ  
建設モ進ンデ居ルト言ハレテ居リマスガ、私  
ハ外交的意味カラ申シマスナラバ、歐洲新秩  
序トハ「ベルサイユ」條約ノ不合理性ノ破棄  
デアリ、東亞新秩序ヲ外交的ニ見ルナラバ、  
九箇國條約關係ノ破棄ヲ中心トスルト考ヘ  
ルノデアリマス、サウ云フ見地ニ立チマシ  
テ自主的ニ考ヘマス時ニ於テ、私ハ九箇國

條約ヲ東亞ニ於テ破棄シ、東亞協同體ヲ結  
成シ、支那ノ植民地性ヲ排除シ、印度、タ  
イ、其ノ他ノ自主性ニ付テ一ツ十分ニ考慮  
スル、斯ウ云フ方向ニ東亞新秩序ノ行キ方  
ガ行クト致シマスナラバ、私ハ英國ノ立場  
トハ結局新秩序ハ兩立シナイト考ヘルノデ  
アリマス、亞米利加ノ立場ニ付テハ亞米利  
加ガ南北亞米利加ニ付テ優越ナ地位ヲ持ツ  
テ居ツテ、更ニコチラニマデ喉ヲ容レル  
ト云フ考ヲ除キサヘスレバ、經濟的ノ  
關係、政治的ノ關係ニ於テ私ハサウ大キナ  
對立ハナイト考ヘルノデアリマスガ、英國  
ノ立場ハ新秩序トハドウシテモ兩立シナイ  
ト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ日本  
ノ外交ガサウ云フ事實ヲ認識シテ行カナケ  
レバ駄目ダト私ハ考ヘルノデアリマス、此  
ノ點ハ英米ニ對スル外交關係ガ、日本ノ國  
内ノ輿論ヲ二ツニ分裂サセテ居ルト私ハ考  
ヘルノデアリマシテ、大體有田外相ノ立場  
ハ其ノ一ツノ方ノ立場デアリマシテ、私共  
ト一寸立場ガ違フカモ知レナイト思フノデ  
アリマス、サウ云フモノダト思フノデアリ  
マス、亞米利加ニ付テハ私ハ非常ニ努力ヲ  
サレテ居ルコトヲ認メテ居リマスガ、亞米  
利加ハ誤解ヲシテ居ラヌト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、色々ノ懸案ヲ解決スレバ東亞新  
秩序ニツキ其ノ誤解ガ解ケルト御考ニナツ  
テ居ルヤウデアリマスガ、私ハ亞米利加ハ  
誤解ヲシテ居ラヌト思フ、「ダール」大使ノ  
亞米利加カラ歸ツテ來テカラノ日米協會ニ  
於ケル演説ニシテモ、或ハ「ハル」長官ノコ  
チラヘ寄越シマシタ手紙ニ致シマシテモ、  
私ハ誤解ヲシテ居ラヌト思フノデアリマス、  
誤解ヲシテ居ラヌ者ニ對シマシテ唯戰爭ノ  
行爲中ニ起キタ懸案ヲ解決スルト云フダケ

デ問題ハ解決シナイト私ハ思フノデアリマ  
ス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、ヤハリ日  
本ハ歐羅巴新秩序建設ヲシツツアリマス所  
ノ獨逸及ビ伊太利トノ間ニモツト親密ナル  
友好關係ヲ結ビマシテ其ノ立場ニ立ツテ行  
カナケレバ私ハイカスノチヤナイカト考ヘ  
ルノデアリマス、特ニ此ノ際外務大臣ノ意  
見ヲ質シテ置キタイノハ、外務大臣ハ歐羅  
巴戰爭ハ何時マデ續クト御觀測ニナツテ居  
ルカ、歐羅巴戰爭ガ何時マデ續クカト云フ  
コトニ付テハ神様デナケレバ分ラナイ、見  
ル人ニ依ツテ意見ガ違フ、併シナガラ私ハ  
多クノ可能性ガ案外早ク歐羅巴戰爭ハ片付  
クノデハナイカト云フコトニ在ルノチヤナ  
イカト考ヘルノデアリマス、前ノ世界大戰  
ニ於キマシテハ日本ハ英吉利ニ附キマシ  
テ——聯合國側ニ附イテ其ノ援助ヲシタ  
デアリマス、然ルニ歐羅巴戰爭ガ濟ミマシタ  
後ニ日英同盟ハ破棄スル、サウシテ山東ハ  
還付サセル、九箇國條約ハ作ル、有ニル袋  
叩キニ遭ツテ居ルノデアリマス、今度若シ  
歐羅巴ノ戰爭ガ案外簡單ニココ數箇月ノ中  
ニ片付クト云フコトニナリマシタ時ニ、獨  
逸トノ日本ノ協力關係ハ非常ニ稀薄ニナツ  
テ居ル、而シテ今日亞米利加ハ日本ノ立場  
ヲ理解セズ、英吉利ハ今日便宜主義デ以テ  
日本ト妥協シヨウトハ考ヘテ居ルケレドモ、  
前ノ戰爭ノ時ト同ジ立場ニ居ルト致シマス  
ナラバ、改メテ世界ノ袋叩キニ遭フ情勢デ  
ハナイカと思フノデアリマス、隨テドチラ  
モ味方ニシナイ、ドチラモ敵ニシナイト云  
フヤウナ態度ハ、遂ニ味方ガナイト云フ態  
度ニナルト考ヘルノデアリマス、此ノ見地  
ニ立チマシテ新秩序再建ノ爲ニハ、私ハ新  
秩序再建ノ政治的協定ヲ獨逸、伊太利等ト

結バレマシテ、歐羅巴戰爭ガ案外早ク片付  
イタ時ノ私ハ日本ノ立場ト云フモノニ付テ  
御考ニナツテ置ク必要ガアルンデハナイカ  
ト考ヘルノデアリマス  
ソレカラ時間ガアリマセヌノデ幾ツモノ  
コトヲ聽キマスガ、對「ソ」關係ニ付キマシ  
テモ援將行爲ヲ止メロ、共產主義ノ宣傳  
ヲ止メロ、北樺太ノ利權問題ヲ早ク片付ケ  
ロ、漁業條約ヲ早ク極メロ斯ウ云フヤウナ  
點ニ付テ大臣ハ希望ヲシテ居ラレルノデア  
リマスガ、私ハ獨逸、伊太利トノ間ノ友好關  
係ガ更ニ鞏固ニナリマシタナラバ獨逸ヲ通  
ジマシテ、仲介サセマシテ、其ノ對「ソ」關  
係ノ調整ニ付テモ積極的ニ進出サレル必要  
ガアルト私ハ考ヘルノデアリス、露西亞ガ  
援將行爲ヲ止メルト云フコトニナリマスル  
ナラバ、私ハ重慶政府ト云フモノノ運命ハ  
知ルベキノミデアルト考ヘルノデアリマシ  
テ、是等ノ諸點ニ付テ一ツ外務大臣ノ御所見  
ヲ承ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス  
○有田國務大臣 英吉利、亞米利加ト云フ  
モノガ、東亞新秩序ニ對スル妨害デア  
ル——今ノ御説ニ依リマス、亞米利加ハサ  
ウデモナイガ、英吉利ガサウダト云フ風ニ  
御説ノヤウデアツタノデアリマスルガ、隨  
テ此ノ「ベルサイユ」條約ヲ歐羅巴ニ於テ廢  
棄シタ如ク、東洋ニ於テモ九箇國條約ヲ廢  
棄デモシナケレバ東亞ノ新秩序ガ完全ニ樹  
立出来ナイ、斯ウ云フ風ナ御意見デアツタ  
ヤウニ拜聽致シタノデアリマスガ、前同ニ  
モ申述ベタカト存ジマスガ、九箇國條約ノ中  
ノ或ル條項ガ今日ノ時勢ニ適應シテ居ラヌ  
ト云フコトハ私共モ夙ニ認メテ居ル所デア  
リマス、ガ併シ九箇國條約廢止ノ手續ヲ今  
日執ルト云フコトガ果シテ東亞新秩序ノ建

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回  
昭和十五年二月九日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回  
昭和十五年二月九日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回  
昭和十五年二月九日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回  
昭和十五年二月九日

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回  
昭和十五年二月九日

設ヲ早メル所以アルカ、或ハ却テ其ノ建設ヲ一時的ニシテ阻碍スルヤウニナルカト云フヤウナコトハ是ハ餘程研究ノ餘地ガアル問題デアルト思フデアリマス

第二點ハ歐羅巴戰爭ノ見透シ如何ト云フコトデアリマスガ、是ハ御話ノ中ニモ述ベラレタヤウニ中々難カシイ問題デアリマシテ、恐ラク戰爭ヲシテ居ル當事國ト雖モ何トモ言ヘナイ所デアルト思フデアリマシマスガ、少クモ日本ト致シマシテハ、歐羅巴戰爭ガ早ク終ラウガ又是ガ長引カウガ、何レニシテモ宜シイト云フ考デ總テノ問題ヲ處理シテ行カナケレバナラヌデアリマシラウカト思フデアリマス、御話ノ中ニハ前回ノ歐羅巴大戰ノ時ニハ、日本ハ英吉利トノ同盟ノ誼ニ依ツテ、戰爭ニ參加シタケレドモ、後デハ其ノ日英同盟ハ破壞サレ、又日本ノ東洋ニ於ケル行動ヲ束縛サレルヤウナ結果ニナツテシマツタデハナイカ、斯ウ云フ御話、私モソレハ實ハ同感デアアルデアリマスガ、併シ結論ガ違ヒマシテ、要スルニ先ツ第一ニ特ムモノハ自力デアアル、自分ノ力デアアル、大戰當時ノ英吉利トカ、或ハ佛蘭西トカ、或ハ亞米利加トカ云フ風ナモノデアリノデアツテ、ヤハリ自分ノ力ヲ恃マナケレバナラヌ譯ノモノデアリマシテ、其ノ當時特ミニシテ居ツタカ、シテ居ラスカ知ラヌノデスガ、コチラガ友達ダト思フテ居ツタ英米等カラ、戰爭後ニハ日本ハ満足ハ得ラレナカッタト、斯ウ云フ風ニ御話ニナル譯ナシデアリマシマスガ、今回ノ戰爭ニ於テモ案外友達ダト思フタ者カラ戰爭後ニ果シテ其ノ通り報イラレルカ、報イラレヌカ分ラヌコトニナルト思フノデス、ソレデスカラ、餘リ友達ニ多クヲ期待スルト云

フコトハ、何レニシテモ間違ヒデアツテ、自分ノ力ヲ恃ンデ、自分ノ力ノ範圍内ニ於テヤル事ハヤル、ヤレナイ事ハヤラヌト云フコトデ行クベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、又「ソビエト」トノ關係ニ付テノ御話デアリマスガ、是ハ外交方針ノ中ニモ述ベマシタヤウニ、最近ノ空氣ノ好轉シタ

ノニ乘ジマシテ、色々ナ懸案モ解決シ、又出來得レバ「ソビエト」ヲシテ重慶政府ノ援助ヲモ取止メシメルヤウニシタイト考ヘルノデアリマスガ、併シソレハ今ノ三宅君ノ御話ノヤウニ、果シテ獨伊ト日本ガ結シダカラ「ソビエト」ヲシテサウ云フ風ニセシメ得ルヤ否ヤト云フ點ニ付テハ、私多少疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○三宅委員 私人外交ノ問題ノ細カイ内部ノ事ニ付テ申上ゲタクナイノデアリマスガ例ヘバ「リッペン」ト「ロップ」カラ我方方ノ或ル全權大使ニ向ツテ、サウ云フコトニ付テノ斡旋モシマセウト云フ申出モアツタト云フコトヲ、私ハ漏レ聞イテ居ルノデアリマシマスガ、兎モ角最後ニ特ミニナルモノハ自分ノ力ダト云フコトハ、是ハ心得デアリマシテ、固ヨリ申スマデモナイ所デアリマス、ソレデアラナラバ外交ハ要ラスノデアリマシテ、外交トハ目的ヲ同ジタスルモノト結ビマシテ、サウシテ出來ルダケ敵ヲ少クシ味方ヲ多クシテ、以テ目的ヲ貫徹スルコトデアリマス、私ハ私ノ豫測ガ外レルコトヲ望ミマスガ、假ニ歐羅巴ノ戰爭ガ案外早ク片付イテ、今ノ儘ノ状態ニ於テ東亞新秩序ノ建設ニ日本ガ臨ムト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ私ハ非常ニ國家ノ運命ニ取ツテ重大ナコトト考ヘルノデアリマシテ、深く思フ故ニ致サレマシテ、一ツ御考ヲ願

ヒタイト考ヘル譯デアリマス

次ニ内政ヘ移リマシテ、總理大臣ニ承リタインノデスガ、總理大臣ハ我が政府ガ事變以來執ツテ參リマシタ統制經濟ハ、成功シタト御考ニナツテ居ルカ、失敗シタト御考ニナツテ居ルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○米内國務大臣 經濟統制ハ大體ニ於テ軌道ニ乘ツテ居ルト自分ハ思ウテ居リマス、併シ今後改正シナケレバナラヌモノハ、必要ニ應ジマシテ改正スル、無論改正スベキモノハ多クアルト思フデアリマスガ、大體ニ於テ軌道ニ乘ツテ居ルト考ヘテ居リマス

○三宅委員 經濟ノ全クノ素人デアラレル總理大臣カラ、サウ云フコトニ付テ色々深ク御同致シマスコトハ恐縮デアリマスガ、大局觀ト致シマシテハ私ハ統制經濟ハ總理大臣ノ言ハレル通りダト思フデアリマス、併シ考ヘテ見ナケレバナラコトハ、開相場ハ横行シテ居ル、低物價政策ヲ決メテ「ストップ」令ヲ出シタラバ物價ハ却テ上ツテ來ル、サウ云フ所ニ、此ノ儘デ行キマシレバ日本ノ統制經濟ハ破綻スル危險性ガ多ク分ニアルト思フデアリマス、豫算總會ニ於テ誰モマダ其ノ點ニ觸レテ居ラレマセヌガ、斯ウ云フ状態デ行ツタノデハ、私ハ戰時體制ガ弛ムノデハ、ナイカト心配シテ居ルノデアリマス、兎モ角國民ノ不平ハ深刻ナルモノガアリマス、買占ガアリ、賣惜ガアリ、開相場ガアリマシテ、斯ウ云フモノノアルノハ、政治ニ對スル信頼ガ缺ケテ居ルカラデアルト私ハ考ヘテ居ル、物ヲ持ツテ居レバ肥料ハ買ヘルガ、金ヲ持ツテ行ツテモ肥料ハ買ヘナイ、今日ハ物ト物トノ交

換ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハドウ云フ點カラ來テ居ルカト考ヘマスルト、統制經濟ヲヤツテ居ルケレドモ、弱者慮メノ統制ヲヤツテ居ルノダト私ハ考ヘルノデアリマス、而モ消費ノ統制ノ如キニ付テハ、物ガ公平ニ廻ツテ漸ク一枚ツツ廻ルダケノ着物シカナイノニ、或者ガ十枚モ二十枚モ買ヘバ、片方ノ所ニ廻ラスコトハ當然デア

ル、炭ガアル時ニ、一年分買占メル者ガアリマスレバ、廻ラスコトハ當然デアリマス、統制經濟ヲ強化シテ、戰時體制ヲ整ヘテ行カウト云フニ付テハ、此ノ點ニ付テ私ハ政府ガ深い思フ譯ヲサナケレバ駄目ダト思フノデアリマス、官僚ノ統制ガ惡イト云フコトガ言ハレテ居ル、官僚ノ統制ガ惡イコトハ私共モ認メテ居リマスガ、根本ハヤハリバ「ノ」ノ統制ガカラ駄目デアアル、綜合的計畫ノ下ニ立ツタ一貫シテ動カナイ統制デナケレバ問題ニナラス、ソレノミナラス、戰時經濟ニ於ケル人心ヲ安定セシムル根柢ハ、最低生活ダケハ確保シ、贅澤ヲスル者ハ無イト云フ行キ方デナケレバ駄目ダト思フノデアリマス、先程モ申シマシタヤウニ、劇場モ一パイ、待合モ一パイ、「デパート」モ一パイダト云フ状態デ、氣狂ノヤウナ消費増ヲ一方ニ於テ來シテ居ル、地方ニ於テハ食ヘナイ者ガ澤山アル、斯ウ云フ状態デ以テ私ハ長ク戰時體制ガ整ツテ行クトハ考ヘマセヌ、斯ウ云フ點デ天下ノ人心ヲ失ツタト云フ點ニ於テ、私ハ日本ノ統制經濟ハ今日マデノ段階ニ於テハ、大失敗デアルト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ總理ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○米内國務大臣 個々ノ事實ヲ舉ゲテ見マ

スト、御説ノ通りノコトガ澤山アルト思ヒマ  
ス、是ハ要スルニ事變勃發以來慣レナイ仕  
事ヲ色々ノ方面ニ向ツテヤツタ結果デハナ  
イカト思フノデアリマス、換言スレバ今ノ  
御話ノ通り大分一貫性ガ缺ケテ居ツタ、斯  
ウ云フ所カラ今ノヤウナ状態ニナツタ思  
フノデアリマス、併シ大體カラ考ヘテ見マ  
スト、今申上ゲマシタ通り、軌道ニハ乗ツ  
テ居ル、ダカラ之ヲモット直スベキモノハ  
直シ、統制ヲ強化スベキモノハ強化スル  
云フ風ニ持ツテ行キ、而モ一方ニ於テ國民  
ノ生活ヲ保障シ得ルヤウニ持ツテ行キマス  
レバ、自然ニ直ツテ來ル、素人考デアリマ  
スケレドモ、自分ハサウ思ツテ其ノ方ニ力  
ヲ注ガウト考ヘテ居リマス

○三宅委員 總理ノ御意見ヲ承ツタノデア  
リマスガ、私ハ精神的ナ點デ第一ニ考ヘラ  
レナケレバナラスコトハ、其ノ點ダト思フ、  
戰爭デアリマスカラ、火事ニ遭ツタリ、地  
震ニ遭ツタト同ジコトデアル、下世話ナ例  
デアリマスガ、平素ハ刺身ヲ食ツテ居ツタ  
者モ、漬物ヲ食ツテ居ツタ者モ、火事デ燒  
ケ出サレマスレバ、上下共ニ握飯デヤル、  
握飯ダケハ之ヲ保障スル、サウシテ刺  
身ヲ食ツタリ、色々贅澤スル者ガ無イ  
ト云フコトニナルノガ、戰時經濟ノ本  
體デアルト私ハ思フノデアリマス、元々  
五十圓ノ給料デ家族三人食ツテ居ル、  
四人食ツテ居ルト云フ者ニナリマスレバ、  
ソレヨリ減ラスコトハ命ヲ減ラスコト  
ニナルノデアリマス、人間ノ命ヲ減ラシテ  
シマツタラ、戰爭モ何モ出來ナイ、隨テ一  
番下ハモウ抑ヘルコトハナイカラ、ソコヘ  
ハ供給ヲ確保スル、併シナガラ平時ニ於  
テ、少シ餘計食ヒ過ギテ居ル者、或ハ贅澤

ヲシテ居ル者ノ消費ヲ減ラスコト云フ所ニ行  
カナケレバ駄目デアル、戰時經濟ノ要諦ハ  
「寡シキヲ患ヘズ均シカラザルヲ患フ」ト云  
フ論語ノ言葉其ノ通りダト思フノデアリマス、  
此ノ點ニ付テハ深イ思遣リヲ以テ政治ヲオ  
ヤリニナリマセスト、戰時體制ハ危イト私  
ハ思フノデアリマス、サウ云フ點ガシヤン  
ト行キサヘスレバ、日本國民ノ愛國心ト云  
フモノハ、マダ「新ナル元氣ガ何處マ  
デモ出テ來ルト思フ」デアリマスガ、現在  
ハ如何ニモフヤケ過ギテ居ル、勞働者ヤ農  
民方炭ガ無イト言ツテ困ツテ居ル話ハサラ  
ニアル時ニ、炭ヲ積ンダ「トラック」ガ一臺  
通ツテ居ルノヲ捉ヘテ離イテ見タ所ガ、ソ  
レガ或ル大官ノ所ニ行タモノダツタトカ、  
或ハ又商工大臣ガ「ステールブルファイバー」  
ノ弱イコトヲ女中カラ聴イテ、初メテビツ  
クリシタトカ云フコトデ、國民トノ間ニ有  
機的ナ關係ガナイノデアリマス、斯ウ云フ  
點ニ一ツ深ク思ヒヲ入レラレマシテ、ヤハ  
リ本當ニサウ云フ點ニ付テハ心掛ガナケレ  
バ私ハイカスト思フ、近衛内閣ノ時ニ事變  
ガ始マリマシテ、アノ時ノ國民ノ一致協力  
致シマシタ力ハ強力ナモノデアツタ、其ノ  
新秩序ニ對スル民族ノ理想モ、之ヲ演繹  
シ、發展スルコトナクシテ、唯口ダケデ新  
秩序新秩序ト言ツテ居リマスカラ、日本ノ  
大キナ時代ヲ對シテ理想的ノ精神ガ後退シ  
タ、サウシテ人心ガ弛緩シテ來タト思フノ  
デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、此ノ經濟  
ヲオヤリニナル大前提トシテ深ク御考ヲ願  
ヒタイト云フコトヲ申述マシテ、私ハ具體  
的ナ質問ヲ致シタイト考ヘマス

國內ノ體制ニ付キマシテハ、私ハ生産力  
國防國家ヲ建設スルコトガ國內ノ體制ダト

思フノデアリマス、生産力國防國家ヲ作ラ  
ナケレバ駄目ダ、金ノアル内ハ外國カラ品  
物ヲ澤山買ツテ來テ、良イ飛行機モアル  
ガ、國內デハ出來ナイト云フ國防力デハ駄  
目ダ、生産力國防國家ヲ建設致シマスコト  
ガ戰時體制ノ要諦ダト私ハ考ヘマス、生産  
力國防國家トハ、第一ハ日本ノ産業體制ヲ  
輕工業ヨリ重工業ヘ計畫的ニ移行サセルコ  
トデアルト考ヘマス、即チ今日ノ日本ノ産  
業全體ノ基礎ガ輕工業ヲ基礎ニ致シマシテ、  
非常ニ其ノ點ニ付キマシテハ重工業の基礎  
ヲ缺イテ居ル、「フォード」ノ自動車ト豐田  
ノ日産ノ自動車トト比レバ、日産ノ方ハ  
値段ハ「フォード」ヨリハ倍價ニ高イガ、直  
グエンコヲシテシマツテ傷ンデシマフコト  
ハ問題ニナラナイ、自動車工業ト云フモノ  
ガ戰車ノ基礎デアル、自動車ガ飛行機ノ「エ  
ンジン」ノ基礎デアル、其ノ自動車工業自  
體ガ「フォード」ニモ敵ハナイ、「シボレー」  
ニモ敵ハナイト云フ生産力ノ段階ニ於テ、  
其ノ國內製ノ戰車ヲ以テ如何ニ忠勇ナル日  
本軍隊ガ戰ヒマシテモ、「フォード」ノ  
如キ性能ヲ持ツタ戰車ガ來レバヤレナイ  
ト云フコトニナリマスノデ、私ハ生産力  
國防國家建設ノ第一ノ要件ハ、輕工業ヨ  
リ重工業ヘノ計畫的移行ニアルト考ヘマ  
ス、第二ハ、其ノ計畫的移行ノ間ニ國民  
生活ニ不均等ヲ來サナイヤウニ、國民生活  
ヲ確保スルコトガ必要デアル、第三ハ、其  
ノ間ヲ通ジマシテ國民ヲ再組織スルコトデ  
アルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ三ツ  
ノ方向ニ向フテ日本ノ戰時體制ヲ躍進シテ  
行キマスレバ、私ハ長期戰ヲトモ惧ルル  
ニ足リナイト考ヘルノデアリマスガ、此ノ  
生産力國防國家ノ理念ニ付テ總理大臣ノ御

意見ハ如何デアリマスカ

○米内國務大臣 生産力國防國家、一寸名  
前ガ了解出來マセヌノデスガ、要スルニ今  
ノ御話ノヤウニ立派ナ物ヲ日本デ造ルト云  
フ御趣意ニハ一向反對モ何モアリマセヌ、  
造ラナケレバイカヌ、ソレデナケレバ戰ハ  
出來マセヌシ、國モ發展シテ行キマセヌ、  
極ク常識的ニ考ヘテソレダケダト思フノデ  
アリマス

○三宅委員 私ハ其ノ觀點ニ立チマシテ以  
下一二各省大臣ニ御質問ヲシテ置キタイト  
思ヒマス、要スルニ其ノ見地ニ立チマシテ、  
問題ハ人ト物ト金トヲ、戰爭目的遂行ノ爲  
ニ、生産力ノ飛躍的増大ヲ期シ得ルヤウニ合  
理的ニ調整シ、活用スルコトニアルト私ハ  
考ヘルノデアリマス、物ニ付テ私ハ二三ノ  
點ヲ質問シタイノデアリマスガ、物ニ付テ  
ハ最低量ヲ國民生活確保ニ廻シマシテ、他  
ノ全部ハ生産力擴充ニ廻スト云フ根本原則  
ニ付テハ、國ガ今日マデヤツテ來テ居ラレ  
ル所デアリマス、更ニ物ニ付テハサウ云フ  
經濟ノ根本ヲ固メマスル爲ニ、軍需産業偏  
重ノ立場デハナシニ、軍需トシテノ産業、  
輸出産業、民需産業ノ間ニ適當ナ比率ヲ設  
ケテ、生産力ノ綜合的發展ヲ圖ルコトガ必  
要デアル、第三ニハ生産、配給、消費ニ至  
ル完全ナル計畫經濟ヲ行フコトガ必要デア  
ル、第四ニハ低物價政策ヲ一段ト強化シ、  
其ノ大キナル基礎ノ上ニ、私共ハ政治價格  
ト申シマスガ、物ニ依ツテハ損ヲシテモ行  
ク所ノ價格形成ヲヤリマシテ、サウシテ其  
ノ物ヲ使フト云フ建前デ行カナケレバイカ  
ヌト思フノデアリマス、此ノ低物價ノ原則  
ニ立チマシテ是カラ大藏大臣、商工大臣ニ  
御答辯ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

ガ、勞賃ニ付キマシテハ、私ハ家族手當ノ問題ノ解決ヲ希望シタノデアリマスガ、是ダケ生計費ノ指數ガ上リ、物價ガ上ツテ居リマスル状態ニ於キマシテハ、特別ニ考慮シナケレバイカヌノデアツテ、之ヲ下ゲル餘地ト云フモノハ特殊ナモノヲ除イテハ少イ、寧ロモツト優待スル途ヲ考ヘナケレバイカヌト思フデアリマス、利潤ノ點ニ付テモ、勞働賃銀ニ付テハ「ストップ」令ヲ出シテ置イテ、利潤ニ付テハ極メテ不徹底ダト思フデアリマス、ソコデ第一大藏大臣ニ、總動員法ニ依ル配當制限ヲ更ニ強化スル意圖ナキヤ、今日ハ一割ト云フコトニナツテ、今マデ配當ヲシテ居ルモノハソレ以上デモ宜シイト云フヤウナ行キ方デアリマスガ、生産費低下ノ見地カラシテ、配當制限ヲ更ニ低下スル意圖ナキヤ、是ハ單ニ事業會社ノ配當制限ヲ強化スルコトダケデナシニ、産業組合ノ六分配當、工業組合其ノ他公益資本ノ配當六分ヲ引下ゲル意思ハナイカ、更ニ公債利子ノ引下ヲ斷行スル意思ハナイカ、是ガ第一デアリマス、第二ニハ配當制限ノ強化ハソレ自身デハ駄目ダ、配當制限ダケヤリマスルト、重役賞與ノ方ニ化ケテシマツタリ、交際費ノ方ニ化ケテシマツタリシテ、赤坂、新橋ノ方ニ化ケテシマフト云フ状態デアツテ、バラ／＼ノ配當制限ノ如キハ、ソレガ新橋ヤ赤坂ヲ繁榮サシテ居ル原因デアリマシテ、ソレハ駄目デアリマス、其ノ爲ニハ配當制限強化ト共ニ、私ハ經理命令ヲ御出シニナル必要ガアルト思フデアリマス、經理ノ統制ヲオヤリニナル必要ガアルト思フデアリマス、經理ノ統制ニ付テハ商法ノ改正ヲシ、會社法ノ改正ヲ致シマシテ、同時ニ社内保留ニ對スル規定、

償却ニ對スル規定、研究費——研究費等ニモ制カセナケレバイカヌ、研究費ニ對スル規定、更ニ利潤ノ一部ヲ強制的ニ失業豫防資金ニ廻ス規定等ヲ考慮シレル必要ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、此ノ經理命令ヲ發スル意圖アリヤ否ヤト云フコトヲ一ツ聽キタイノデアリマス、第三ニハ、政府ハ來ルベキ産業ノ再編成ノ爲ノ資金ヲ何處ニ求メル積リデアルカ、此ノ三ツノ點ニ付テ利潤ノ關係デ大藏大臣其ノ他ノ御意見ヲ承リタイト思フデアリマス

○櫻内國務大臣 三宅君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、利潤ノ低下ノ問題ハ今日各方面ニ於テ論ゼラレテ居ル所デアリマシテ、之ヲ適正ナ所ニ置クト云フコトニ付キマシテハ、私何等ノ異存ヲ持ツテ居リマセヌ、今日利潤ノ問題ト關聯致シマシテ、配當制限ノ問題ガゴザイマスガ、今日ハ只今御話ノ如ク新ナル事業ニ付テ一割以上ノ配當ハ認メテ居リマセヌ、此ノ一割ト云フモノヲ低下スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ種々意見ガアルト思ヒマスガ、今日ノ如ク最モ生産擴充ニ力ヲ致サナケレバナラヌ時代ニ於キマシテハ、新ニ事業ヲ起シマス者ガ相當ノ利潤ガ廻ルニアラザレバ企業ヲ致シ兼ねマスノデ、大體ニ於テ現在ノ最高一割ト云フ事柄ハ今日之ヲ變ヘルト云フコトニ付キマシテハ考ヲ持ツテ居リマセヌ、御承知ノ如ク現在ハ如何ニ儲カツテモ一時ニ配當ヲ増加スルコトヲ致サズシテ、一期一分ヅツ増加ヲ致シマシテ、最高一割デ止メテ居ルヤウナ譯デアリマス、唯經濟界ノ事情ガ今後變化スルニ從ヒマシテ、或ハソレガ低下スルヤウナコトガ起ルカモ知レマセヌケレモ今日ノ實情ト致シマシテハ、先ヅ此ノ程度

デ然ルベキデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ會社ノ經濟ヲ監督スル上ニ於テ、經理命令ヲ出ス意思ハナイカト云フ御話デアリマスガ、今日經理命令ハ出シマセヌケレドモ、徵稅ノ上ニ於テハ具サニ會社ノ會計ヲ調査致シテ居リマシテ、若シ其ノ經理上ニ誤ツタコトガアリマスレバ、嚴重ニ之ニ對シテ適當ナル方法ヲ執ルコトニ相成ツテ居リマス、今日デモ各會社ニ對シ、其ノ内容ニ付キマシテハ徹底シタル調査ヲ致スヤウナ方針デ進ンデ參ツテ居ルノデアリマシテ、今直チニ經理命令ヲ出シテドウスル、斯ウスルト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌ、併シナガラ若シ會社ノ經營ノヤリ方ガ甚ダ不都合ナ點ガアリマシテ、ドウシテモ當リ前ノ手段ヲ以テソレヲ監督スルコトガ出來スト云フ風ナ状態ガ起ルヤウナ場合ガアリト致シマスレバ、其ノ節ニ於テ適當ナル方法ヲ講ジタイト思ヒマス

ソレカラ利潤ノ中デ、一部ヲ割イテ福利施設ヲサセル考ハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ現在ニ於テモ相當ナル會社ハ可ナリ考慮致シテ居リマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、出來得ル限りサウ云フ風ニ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス

事業所得ニ對シマシテノ問題ハ、今日各稅務署等ニ於テモ各ノ事業ニ付キマシテ、大體事業所得ニ對シテハドウ、或ハ其ノ減價償却ニ對シテハドウ、斯ウ云フ風ナ方法ヲ講ジテ居リマシテ、監督ニ於テ遺漏ナキヲ期シテ居ルヤウナ次第デアリマス

ソレカラ公債ノ利子ヲ引下ゲル意思ハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、今日ハ御承知ノ通り今ヨリ數年前カヲ見マスト

非常ナ低金利ニナツテ居リマス、公債ノ利率モ今日三分臺ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ公債ニ對シマシテモ、更ニ今回増稅ヲ致スヤウニナツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ以上ニ公債ノ利率ヲ低下スルト云フコトニナリマス、今日ノ戰時金融政策ノ上ニ於テ少カラザル影響ガアルノデハナカラウト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ私共ノ見テ居リマス所ハ、今日ノ公債ノ利子ハ先ヅ適當ナモノナリト信ジテ居リマスノデ、今此ノ際ニ於テ公債ノ利子ヲ引下ゲルコト云フ風ナ考ハ持ツテ居ナイ譯デアリマス

○三宅委員 産業組合其ノ他ノ公益的資本ノ配當六分ト云フモノヲ、モツト引下ゲタラドウカト云フコトモ伺ツタノデアリマスガ、後カラ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ更ニ利潤ノ制限ノ見地カラ、株價ノ釘付ヲ行フ意思ハナイカ、取引所機構ノ改革ヲヤラレル意思ハナイカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

更ニ物價統制ノ大綱、其ノ他物價委員會等ニ於テモ決ツテ居ルヤウデアリマスガ、同種産業間ニ於ケル共同計算制ニ依ル標準價格ヲ形成シ、利潤ノ引下ト共ニ其ノ精奇セヲ行フベキデハナイカ、是等ノ點ニ付イテ一ツ御同致シマス

○櫻内國務大臣 産業組合其ノ他ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ農林大臣カラ御答ガアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ公益的法人其ノ他ニ對シマスル利潤ノ問題ハ、六分ヲ最高限度ト致シテ居リマスガ、是モ勿論今之ヲ引下ゲルト云フコトニ付キマシテハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

株式取引所ノ機構ノ改善ニ付キマシテハ、是ハ商工省ノ關係デアリマスカラ、商工大